

かり ぬま ひがし はら
刈沼東原遺跡

宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査

平成17年3月

宇都宮市教育委員会

序

宇都宮市の東部、刈沼町、野高谷町付近は、鬼怒川東部に位置し、旧刈沼川に沿って南北に開けた低地には田園を中心とした集落が広がっています。また台地上は畑地や果樹園が中心でしたが戦後地下水の汲み上げによる水田も増加し、近年まで農村景観がよく残っていましたが、平成7年度より独立行政法人都市再生機構によるテクノポリス開発で宅地化が進み、その姿を大きく変えつつあります。このテクノポリスセンター地区の遺跡は当初、栃木県埋蔵文化財センターによって確認調査が行われてきましたが、平成8年よりこの刈沼東原遺跡は、この開発に伴い宇都宮市教育委員会が記録保存のための発掘調査を同年より実施し、古墳～奈良時代の大規模な集落跡が確認されました。

今回刊行となった刈沼東原遺跡は、現在「とちぎ産業創造プラザ」となっている箇所にあたり、芳賀台地から刈沼低地に下る緩やかな西側斜面上に立地し、古墳時代の大きな集落です。造成に先立ち、埋蔵文化財の取り扱いについて、事業者(当時の都市基盤整備公団)と協議をした結果、遺構保存が行えない部分に関して記録保存を目的とした発掘調査を実施しました。調査によって掘立柱建物跡や住居跡等の遺構や遺物を確認することができました。特に芳賀地域に特徴的な床下土坑をもつ住居跡が多数確認され、これはこの台地上における集落展開や住居の構造を知るうえで非常に貴重な資料を得ることができたものと考えております。

本報告書は、発掘調査で得られた成果をまとめたものであり、多くの方々が多方面におかれまして、広く活用していただけますことを期待するものであります。

最後になりましたが、埋蔵文化財の取り扱い協議から発掘調査、そして報告書作成・刊行に至るまで多大なるご協力とご理解をいただきました関係各位、関係機関並びに終始ご協力いただきました地元関係各位に対しまして、厚く御礼申し上げます。

平成17年3月

宇都宮市教育委員会
教育長 伊藤文雄

例 言

1. 本書は栃木県宇都宮市刈沼町字東原337-1番地ほかに所在する刈沼東原遺跡の発掘調査報告である。本遺跡は「平成12年 栃木県埋蔵文化財地図」に記載された東原遺跡（栃木県遺跡番号3330）及び向原遺跡（同3338）の範囲内に含まれている。
2. この調査は住宅・土地基盤整備公団（現：独立行政法人都市再生機構）によるテクノポリスセンター地区開発に伴うもので、宇都宮市教育委員会が調査の主体となり、同機構との調査委託契約に基づき実施された。調査費のうち、調査員の人件費以外は同機構の負担による。
3. 現地調査期間及び担当調査員は以下のとおり
平成8年度：平成8年6月17日～平成9年3月31日 神野安伸、清水正幸、大塚雅之
平成10年度：平成10年5月13日～ 同年 6月30日 高野欽也、大塚雅之
4. 整理・遺物写真撮影・挿図作成にあたっては、高野欽也、塚田文雄、須田浩太郎、茂木真澄、上野とも子、臼井美智子の協力のもと、下記の整理作業員が行った。
5. 本書の編集は、大塚雅之が中心となり、遺構は塚田文雄、須田浩太郎、遺物は上野とも子、その他は大塚雅之があたった。
6. 出土遺物及び記録類は、宇都宮市教育委員会が保管している。
7. 発掘調査及び整理作業においては下記の機関、及び方々から多大なご指導、ご教授を賜った。記して謝意を表す。（敬称略）
栃木県教育委員会、(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター、埴 静夫、大金 宣亮、橋本 澄朗、植木 茂雄、中山 晋、田代 隆、田熊 清彦、鈴木 泰浩、中村 亨史、上野 修一、水野 順敏、岩淵 一夫、仲山 英樹、安永 真一、永岡 弘章、大澤 伸啓
8. 本報告書の整理作業に係わった作業員は以下のとおり。（敬称略）
池田ひとみ、生出 栄子、河上 幸子、熊谷 順子、黒須 博子、紺野 浩子、佐々木啓子、須藤 公子、高梨 洋子、高橋 恵子、田中 朱美、菊池 京子、浜野真知子、福田 桂子、松本れい子、渡辺恵美子、渡辺 秀実、大沢 順子、大野 節子、大森八重子、岡田有紀子、賀来 孝代、君島 朱美、鈴木 芳子、鈴木 道子、樋口 静子、福田貴久栄、赤羽 郁美、赤羽 直美、石川 篤子、上野とも子、臼井美智子、大久保礼子、鈴木 弘美、鈴木まち代、茂木 真澄、山形 浩子、吉田 里佳

9. 発掘調査の作業に係わった作業員は以下のとおり。(敬称略)

阿久津和宏、阿久津芳一、伊藤 啓子、井上 由子、岩本 クメ、近江 稔充、近江 操、大金 守人、大塩 晴美、梶山カヲル、加藤 誠吾、刈部 ハキ、河上 智晴、川田 芳子、日下邊道子、小池 徳治、越野 裕孝、小林 久、小林真希子、小松 新一、斉藤 盛夫、酒井 利典、坂本 一好、坂本トシエ、佐々木治正、菅谷 茂、鈴木 貴、鈴木 トミ、関口 典子、大宮司克己、関 明美、高田 悦子、田崎 洋子、田中 大亮、塚田 浩平、直井 邦夫、直井 竣亮、直井マスエ、直井 由男、永井 政江、中村 雅子、仲山 正夫、半田 弘、檜山 一雄、桧山 ミイ、藤田 信雄、藤原 明美、古澤 武男、古澤 千代、古澤マツノ、増渕アイ子、増渕 ノブ、村上 アイ、森島 時枝、横堀きみ子、吉川 早苗、長谷川智彦

10. 本調査の主体者である事務局組織は以下のとおり

宇都宮市教育委員会 (平成8～16年度)

教 育 長：大塚 一之 (H9～12)、高梨眞佐岐 (H13・14)、伊藤 文雄 (H15～)

教 育 次 長：須田 彰市 (H9～11)、阿部 正樹 (H12・13)、伊藤 文雄 (H14)、
福田 幹雄 (H15～)

文 化 課 長：橘 晴征 (H8)、小野 三男 (H9)、桜井 敬朔 (H10～13)、
北条 和久 (H14・15)、渡辺 卓 (H16～)

文化課課長補佐：渡辺 卓 (H13・14)、石井 孝男 (H15)、小林 房夫 (H16～)

文化財保護係長：手塚 英男 (H9～13)、梁木 誠 (H14～)

担 当 者：神野 安伸、大塚 雅之、清水 正幸、高野 欽也、塚田 文雄、須田浩太郎



凡 例

1. 遺跡の略号は、UTKH (Utsunomiya Technopolis Karinuma-Higashihara) である。

2. 遺 構

- (1) 遺構は種類毎に次の略号で示した。なお遺構番号は確認順の通し番号とした。
- (2) 住居跡：SI、掘立柱建物跡：SB、溝状遺構：SD、井戸跡：SE、土坑：SK、性格不明遺構：SX、ゴボウトレンチ：Tr
- (3) 遺構実測図中の方位は国土方眼座標による北を示す。遺構実測に用いた座標系は「旧日本測地系」である。
- (4) 遺構の縮尺は1/60、うちカマド実測図の縮尺は1/30である。

3. 遺 物

- (1) 遺物実測図は、出土遺物別に通し番号を付し、土器は、土師器、須恵器で、坏、埴、高坏、鉢、甕（小型→大型→底部）、甗（小型→大型）、土錘、石器（紡錘車、砥石）、鉄製品（鎌、刀子、釘）、石製模造品の順で行った。遺物実測番号は、本文、遺物実測図、観察表、遺物出土位置、写真図版に共通である。
- (2) 遺物の実測・拓本図の縮尺は、土師器、須恵器、手捏土器、陶磁器は1/3、石器（砥石は1/3、紡錘車は1/2）、土錘は1/3、鉄製品（鎌、刀子、釘）、鉄滓、石製模造品は1/2、縄文土器は1/3、縄文時代石器（石鏃等）は1/2、縄文時代石器（敲石、石皿）は1/4、弥生土器は1/3である。
- (3) 遺物実測図で、須恵器の断面を黒塗りで表した。
- (4) 遺物実測図中の  は赤彩、刻みを、 は染付けを表す。
- (5) 遺物実測図中の整形で、ヘラ削りの方向を示す矢印を入れた。
- (6) 遺物観察表の記載法は下記のとおり。
 - ・法量は、数値のみは計測値、(数値)は、残存値、〔数値〕は推定値である。
 - ・色調は、赤彩、黒斑、煤等は、観察表の備考に記載した。炭化物付着は黒色、漆処理は焼成時の色調を記載した。
 - ・胎土は、A：緻密な胎土、B：緻密であるが砂質なもの、C：粗い胎土、に大別した。
 - ・混和材は、色調（黒色、白色、赤色、灰色、透明、半透明）と、粒の大きさ（細砂粒：0.5mm未満、砂粒：0.5～1.0mm、粗砂粒：1.1～2.0mm、粗粒：2.1mm以上）を組み合わせた。
 - ・雲母（金・黒・白）と赤色粒の混和材は、一次（鉱物性のもの）、二次（粘土性のもの）、鉄粒を付して記した。
 - ・焼成は、良好ーやや良好ー不良で示した。

4. その他

- (1) 遺構、遺物の写真図版の縮尺は不統一である。

目 次

序・例 言・凡 例

I 調査の経緯と方法	
1 調査の経緯	1
2 調査の方法	1
II 位置と環境	
1 地理的環境	5
2 歴史的環境	5
III 調査結果	
1 竪穴式住居跡	10
2 土 坑	266
3 溝	270
4 その他の出土遺物	273
IV ま と め	

挿 図 目 次

第 1 図 遺構配置図	3・4	第 21 図 SI05断・遺物平面図	27
第 2 図 周辺遺跡地図	8	第 22 図 SI05平・カマド平・断・遺物平面図	28
第 3 図 SI01遺物平面図	10	第 23 図 SI05出土遺物実測図(1)	29
第 4 図 SI01平・断面図	11	第 24 図 SI05出土遺物実測図(2)	30
第 5 図 SI01カマド平・断・遺物平面図	11	第 25 図 SI06・SI15平・断・遺物平面図	31
第 6 図 SI01出土遺物実測図	12	第 26 図 SI06・SI15カマド平・断・遺物平面図	32
第 7 図 SI02遺物平面図	13	第 27 図 SI06出土遺物実測図	32
第 8 図 SI02平・断面図	14	第 28 図 SI15出土遺物実測図	33
第 9 図 SI02カマド平・断面図	15	第 29 図 SI07遺物平面図	33
第 10 図 SI02出土遺物実測図	16	第 30 図 SI07平・断面図	34
第 11 図 SI03断・遺物平面図	17	第 31 図 SI07カマド平・断面図	35
第 12 図 SI03平面図	18	第 32 図 SI07出土遺物実測図	35
第 13 図 SI03カマド平・断・遺物平面図	19	第 33 図 SI08断・遺物平面図	36
第 14 図 SI03出土遺物実測図(1)	19	第 34 図 SI08平・断面図	37
第 15 図 SI03出土遺物実測図(2)	20	第 35 図 SI08カマド平・断面図	38
第 16 図 SI03出土遺物実測図(3)	21	第 36 図 SI08出土遺物実測図(1)	38
第 17 図 SI04断・遺物平面図	22	第 37 図 SI08出土遺物実測図(2)	39
第 18 図 SI04平面図	23	第 38 図 SI09断・遺物平面図	40
第 19 図 SI04出土遺物実測図(1)	24	第 39 図 SI09平・断面図	41
第 20 図 SI04出土遺物実測図(2)	26	第 40 図 SI09カマド平・断・遺物平面図	42

第 41 図	SI09出土遺物実測図(1)	42	第 81 図	SI18出土遺物実測図(1)	83
第 42 図	SI09出土遺物実測図(2)	43	第 82 図	SI18出土遺物実測図(2)	84
第 43 図	SI09出土遺物実測図(3)	44	第 83 図	SI19遺物平面図	85
第 44 図	SI10遺物平・カマド断面図	46	第 84 図	SI19平・断面図	86
第 45 図	SI10平・断面図	47	第 85 図	SI19カマド平・断・遺物平面図	87
第 46 図	SI10出土遺物実測図	48	第 86 図	SI19出土遺物実測図(1)	87
第 47 図	SI11断・遺物平面図	50	第 87 図	SI19出土遺物実測図(2)	88
第 48 図	SI11平面図	51	第 88 図	SI19出土遺物実測図(3)	89
第 49 図	SI11カマド平・断面図	52	第 89 図	SI19出土遺物実測図(4)	90
第 50 図	SI11出土遺物実測図(1)	52	第 90 図	SI20断・遺物平面図	92
第 51 図	SI11出土遺物実測図(2)	53	第 91 図	SI20平・断面図	93
第 52 図	SI12遺物平面図	54	第 92 図	SI20カマド平・断・遺物平面図	94
第 53 図	SI12平・断面図	55	第 93 図	SI20出土遺物実測図(1)	94
第 54 図	SI12カマド平・断・遺物平面図	56	第 94 図	SI20出土遺物実測図(2)	95
第 55 図	SI12出土遺物実測図(1)	56	第 95 図	SI21遺物平面図	96
第 56 図	SI12出土遺物実測図(2)	57	第 96 図	SI21平・断面図	97
第 57 図	SI12出土遺物実測図(3)	58	第 97 図	SI21カマド平・断・遺物平面図	98
第 58 図	SI12出土遺物実測図(4)	59	第 98 図	SI21出土遺物実測図(1)	98
第 59 図	SI13断・遺物平面図	61	第 99 図	SI21出土遺物実測図(2)	99
第 60 図	SI13平面図	62	第 100 図	SI22平・断・カマド断面図	100
第 61 図	SI13カマド平・断面図	63	第 101 図	SI23遺物平・カマド平・断・遺物平面図	101
第 62 図	SI13出土遺物実測図(1)	63	第 102 図	SI23平・断面図	102
第 63 図	SI13出土遺物実測図(2)	64	第 103 図	SI23出土遺物実測図(1)	103
第 64 図	SI13出土遺物実測図(3)	65	第 104 図	SI23出土遺物実測図(2)	104
第 65 図	SI13出土遺物実測図(4)	66	第 105 図	SI24平・断・遺物平面図	106
第 66 図	SI14断・遺物平面図	68	第 106 図	SI24出土遺物実測図	108
第 67 図	SI14平・断・カマド平・断・遺物平面図	69	第 107 図	SI25遺物平・カマド平・断面図	109
第 68 図	SI14出土遺物実測図(1)	70	第 108 図	SI25平・断面図	110
第 69 図	SI14出土遺物実測図(2)	71	第 109 図	SI25出土遺物実測図(1)	111
第 70 図	SI14出土遺物実測図(3)	72	第 110 図	SI25出土遺物実測図(2)	112
第 71 図	SI14出土遺物実測図(4)	73	第 111 図	SI26遺物平・カマド断面図	112
第 72 図	SI16平・断・カマド断・遺物平面図	76	第 112 図	SI26平・断面図	113
第 73 図	SI16出土遺物実測図(1)	77	第 113 図	SI26出土遺物実測図	113
第 74 図	SI16出土遺物実測図(2)	78	第 114 図	SI27平・断・遺物平面図	114
第 75 図	SI17遺物平面図	79	第 115 図	SI27出土遺物実測図(1)	114
第 76 図	SI17平・断面図	80	第 116 図	SI27出土遺物実測図(2)	115
第 77 図	SI17出土遺物実測図(1)	80	第 117 図	SI28遺物平面図	117
第 78 図	SI17出土遺物実測図(2)	81	第 118 図	SI28カマド平・断・遺物平面図	117
第 79 図	SI18断・遺物平面図	82	第 119 図	SI28平・断面図	118
第 80 図	SI18平・カマド平・断面図	83	第 120 図	SI28出土遺物実測図(1)	118

第 121 図	SI28出土遺物実測図(2)	119	第 161 図	SI37カマド平・断・遺物平面図	160
第 122 図	SI28出土遺物実測図(3)	121	第 162 図	SI37出土遺物実測図	160
第 123 図	SI28出土遺物実測図(4)	122	第 163 図	SI38平・断・遺物平面図	161
第 124 図	SI29遺物平面図	122	第 164 図	SI38カマド平・断・遺物平面図	162
第 125 図	SI29平・断・カマド平・断面図	123	第 165 図	SI38出土遺物実測図(1)	162
第 126 図	SI29出土遺物実測図	124	第 166 図	SI38出土遺物実測図(2)	163
第 127 図	SI30遺物平・カマド平・断・遺物平面図	125	第 167 図	SI38出土遺物実測図(3)	164
第 128 図	SI30平・断面図	126	第 168 図	SI39遺物平面図	165
第 129 図	SI30出土遺物実測図(1)	126	第 169 図	SI39平・断面図	166
第 130 図	SI31遺物平面図	127	第 170 図	SI39出土遺物実測図	167
第 131 図	SI31平・断・カマド平・断面図	128	第 171 図	SI40平・断面図	168
第 132 図	SI31出土遺物実測図	129	第 172 図	SI40東カマド、北カマド平・断面図	169
第 133 図	SI32遺物平面図	131	第 173 図	SI40出土遺物実測図(1)	170
第 134 図	SI32平・断面図	132	第 174 図	SI40出土遺物実測図(2)	171
第 135 図	SI32カマド平・断・遺物平面図	133	第 175 図	SI41遺物平面図	172
第 136 図	SI32出土遺物実測図(1)	133	第 176 図	SI41平・断・カマド平・断面図	173
第 137 図	SI32出土遺物実測図(2)	134	第 177 図	SI41出土遺物実測図(1)	174
第 138 図	SI32出土遺物実測図(3)	135	第 178 図	SI41出土遺物実測図(2)	175
第 139 図	SI32出土遺物実測図(4)	136	第 179 図	SI42遺物平面図	176
第 140 図	SI32出土遺物実測図(5)	137	第 180 図	SI42平・断・カマド平・断・遺物平面図	177
第 141 図	SI33遺物平面図	139	第 181 図	SI42出土遺物実測図(1)	178
第 142 図	SI33平・断・カマド平・断面図	140	第 182 図	SI42出土遺物実測図(2)	179
第 143 図	SI33出土遺物実測図(1)	141	第 183 図	SI42出土遺物実測図(3)	180
第 144 図	SI33出土遺物実測図(2)	142	第 184 図	SI42出土遺物実測図(4)	181
第 145 図	SI33出土遺物実測図(3)	143	第 185 図	SI43遺物平・カマド平・断・遺物平面図	184
第 146 図	SI33出土遺物実測図(4)	144	第 186 図	SI43平・断面図	185
第 147 図	SI33出土遺物実測図(5)	145	第 187 図	SI43出土遺物実測図(1)	186
第 148 図	SI34平・断・遺物平面図	147	第 188 図	SI43出土遺物実測図(2)	187
第 149 図	SI34出土遺物実測図(1)	148	第 189 図	SI44平・断・遺物平面図	188
第 150 図	SI34出土遺物実測図(2)	149	第 190 図	SI44カマド平・断面図	189
第 151 図	SI34出土遺物実測図(3)	150	第 191 図	SI44出土遺物実測図	189
第 152 図	SI35遺物平面図	151	第 192 図	SI45平・断・遺物平面図	190
第 153 図	SI35平・断面図	152	第 193 図	SI45カマド平・断・遺物平面図	191
第 154 図	SI35カマド平・断面図	153	第 194 図	SI45出土遺物実測図	191
第 155 図	SI35出土遺物実測図	153	第 195 図	SI46平・断・遺物平面図	193
第 156 図	SI36平・断・遺物平面図	155	第 196 図	SI46カマド平・断・遺物平面図	194
第 157 図	SI36カマド平・断面図	156	第 197 図	SI46出土遺物実測図(1)	194
第 158 図	SI36出土遺物実測図(1)	156	第 198 図	SI46出土遺物実測図(2)	195
第 159 図	SI36出土遺物実測図(2)	157	第 199 図	SI46出土遺物実測図(3)	197
第 160 図	SI37平・断・遺物平面図	159	第 200 図	SI47遺物平面図	198

第 201 図	SI47平・断面図	199	第 238 図	SI56カマド平・断・遺物平面図	236
第 202 図	SI47カマド平・断面図	200	第 239 図	SI56出土遺物実測図(1)	236
第 203 図	SI47出土遺物実測図(1)	200	第 240 図	SI56出土遺物実測図(2)	237
第 204 図	SI47出土遺物実測図(2)	201	第 241 図	SI56出土遺物実測図(3)	238
第 205 図	SI48平・断・遺物平面図	203	第 242 図	SI57平・断・遺物平面図	241
第 206 図	SI48カマド平・断面図	204	第 243 図	SI57カマド平・断・遺物平面図	242
第 207 図	SI48出土遺物実測図	204	第 244 図	SI57出土遺物実測図	243
第 208 図	SI49遺物平面図	205	第 245 図	SI58遺物平面図	244
第 209 図	SI49平・断面図	206	第 246 図	SI58平・断面図	245
第 210 図	SI49出土遺物実測図	207	第 247 図	SI58断面図	246
第 211 図	SI50平・断面図	208	第 248 図	SI58カマド平・断・遺物平面図	246
第 212 図	SI50出土遺物実測図	209	第 249 図	SI58出土遺物実測図	247
第 213 図	SI51遺物平面図	209	第 250 図	SI59平・断・遺物平面図	250
第 214 図	SI51平・断・カマド平・断面図	210	第 251 図	SI59出土遺物実測図	251
第 215 図	SI51出土遺物実測図	211	第 252 図	SI60平・断・遺物平面図	252
第 216 図	SI52遺物平・カマド平・断・遺物平面図	213	第 253 図	SI60カマド平・断・遺物平面図	253
第 217 図	SI52平・断面図	214	第 254 図	SI60出土遺物実測図(1)	254
第 218 図	SI52出土遺物実測図(1)	215	第 255 図	SI60出土遺物実測図(2)	255
第 219 図	SI52出土遺物実測図(2)	216	第 256 図	SI60出土遺物実測図(3)	256
第 220 図	SI52出土遺物実測図(3)	217	第 257 図	SI61遺物平面図	259
第 221 図	SI52出土遺物実測図(4)	218	第 258 図	SI61平・断面図	260
第 222 図	SI53断・遺物平面図	221	第 259 図	SI61カマド平・断・遺物平面図	261
第 223 図	SI53平・断面図	222	第 260 図	SI61出土遺物実測図(1)	261
第 224 図	SI53出土遺物実測図	223	第 261 図	SI61出土遺物実測図(2)	262
第 225 図	SI54遺物平面図	225	第 262 図	SI61出土遺物実測図(3)	263
第 226 図	SI54平・断面図	226	第 263 図	土坑平・断面図	266
第 227 図	SI54出土遺物実測図	227	第 264 図	SK04出土遺物実測図	267
第 228 図	SI55遺物平面図	227	第 265 図	SK05出土遺物実測図	268
第 229 図	SI55平・断面図	228	第 266 図	SK07出土遺物実測図	268
第 230 図	SI55カマド平・断・遺物平面図	229	第 267 図	SK09出土遺物実測図	269
第 231 図	SI55出土遺物実測図(1)	229	第 268 図	溝平・断面図(1)	270
第 232 図	SI55出土遺物実測図(2)	230	第 269 図	溝平・断面図(2)(3)	271・272
第 233 図	SI55出土遺物実測図(3)	231	第 270 図	SD01出土遺物実測図	273
第 234 図	SI55出土遺物実測図(4)	232	第 271 図	SD06出土遺物実測図	273
第 235 図	SI55出土遺物実測図(5)	233	第 272 図	古 銭	273
第 236 図	SI56断・遺物平面図	234	第 273 図	弥生・縄文土器実測図	274
第 237 図	SI56平・断面図	235	第 274 図	石器実測図	275

表 目 次

第 1 表	周辺遺跡一覽表	7	第 37 表	SI17床下土坑一覽表	79
第 2 表	SI01土器觀察表	13	第 38 表	SI17土器觀察表	81
第 3 表	SI02床下土坑一覽表	15	第 39 表	SI18床下土坑一覽表	83
第 4 表	SI02土器觀察表	16	第 40 表	SI18土器觀察表	84
第 5 表	SI02砥石觀察表	17	第 41 表	SI19床下土坑一覽表	86
第 6 表	SI03床下土坑一覽表	18	第 42 表	SI19土器觀察表	90
第 7 表	SI03土器觀察表	21	第 43 表	SI20床下土坑一覽表	93
第 8 表	SI04床下土坑一覽表	23	第 44 表	SI20土器觀察表	94
第 9 表	SI04土器觀察表	24	第 45 表	SI21床下土坑一覽表	97
第 10 表	SI05床下土坑一覽表	28	第 46 表	SI21土器觀察表	99
第 11 表	SI05土器觀察表	30	第 47 表	SI23床下土坑一覽表	102
第 12 表	SI06土器觀察表	33	第 48 表	SI23土器觀察表	104
第 13 表	SI15土器觀察表	33	第 49 表	SI23石製模造品白玉觀察表	105
第 14 表	SI07床下土坑一覽表	34	第 50 表	SI24床下土坑一覽表	107
第 15 表	SI07土器觀察表	35	第 51 表	SI24土器觀察表	107
第 16 表	SI07鉄滓觀察表	35	第 52 表	SI25床下土坑一覽表	109
第 17 表	SI08床下土坑一覽表	37	第 53 表	SI25土器觀察表	110
第 18 表	SI08土器觀察表	39	第 54 表	SI26床下土坑一覽表	113
第 19 表	SI08石製模造品觀察表	40	第 55 表	SI26土器觀察表	113
第 20 表	SI09床下土坑一覽表	41	第 56 表	SI27床下土坑一覽表	114
第 21 表	SI09土器觀察表	44	第 57 表	SI27土器觀察表	116
第 22 表	SI09石製紡錘車觀察表	46	第 58 表	SI28床下土坑一覽表	118
第 23 表	SI10床下土坑一覽表	47	第 59 表	SI28土器觀察表	119
第 24 表	SI10土器觀察表	49	第 60 表	SI29床下土坑一覽表	123
第 25 表	SI10土錘觀察表	49	第 61 表	SI29土器觀察表	124
第 26 表	SI11床下土坑一覽表	51	第 62 表	SI30土器觀察表	127
第 27 表	SI11土器觀察表	53	第 63 表	SI31土器觀察表	129
第 28 表	SI12床下土坑一覽表	55	第 64 表	SI32土器觀察表	134
第 29 表	SI12土器觀察表	57	第 65 表	SI32土錘觀察表	139
第 30 表	SI12土錘觀察表	60	第 66 表	SI32鉄製品刀子觀察表	139
第 31 表	SI12砥石觀察表	60	第 67 表	SI33床下土坑一覽表	140
第 32 表	SI13床下土坑一覽表	62	第 68 表	SI33土器觀察表	145
第 33 表	SI13土器觀察表	66	第 69 表	SI34床下土坑一覽表	146
第 34 表	SI14土器觀察表	74	第 70 表	SI34土器觀察表	150
第 35 表	SI16床下土坑一覽表	77	第 71 表	SI35床下土坑一覽表	152
第 36 表	SI16土器觀察表	78	第 72 表	SI35土器觀察表	154

第 73 表	SI36床下土坑一覽表	154	第 108 表	SI55土器觀察表	229
第 74 表	SI36土器觀察表	157	第 109 表	SI56床下土坑一覽表	235
第 75 表	SI37床下土坑一覽表	160	第 110 表	SI56土器觀察表	239
第 76 表	SI37土器觀察表	161	第 111 表	SI57床下土坑一覽表	241
第 77 表	SI38土器觀察表	162	第 112 表	SI57土器觀察表	243
第 78 表	SI39床下土坑一覽表	166	第 113 表	SI58床下土坑一覽表	244
第 79 表	SI39土器觀察表	167	第 114 表	SI58土器觀察表	248
第 80 表	SI39土錘觀察表	168	第 115 表	SI58土錘觀察表	249
第 81 表	SI40床下土坑一覽表	169	第 116 表	SI58石製紡錘車觀察表	249
第 82 表	SI40土器觀察表	171	第 117 表	SI58石製模造品白玉觀察表	249
第 83 表	SI41土器觀察表	175	第 118 表	SI58鉄滓觀察表	249
第 84 表	SI41砥石觀察表	176	第 119 表	SI59土器觀察表	251
第 85 表	SI42土器觀察表	181	第 120 表	SI59土錘觀察表	251
第 86 表	SI42砥石觀察表	183	第 121 表	SI60床下土坑一覽表	251
第 87 表	SI43土器觀察表	187	第 122 表	SI60土器觀察表	257
第 88 表	SI44床下土坑一覽表	188	第 123 表	SI60土錘觀察表	258
第 89 表	SI44土器觀察表	189	第 124 表	SI60鉄滓觀察表	258
第 90 表	SI44石製紡錘車觀察表	190	第 125 表	SI61床下土坑一覽表	259
第 91 表	SI45土器觀察表	192	第 126 表	SI61土器觀察表	261
第 92 表	SI46床下土坑一覽表	194	第 127 表	SI61石製模造品白玉觀察表	265
第 93 表	SI46土器觀察表	195	第 128 表	SI61石製紡錘車觀察表	265
第 94 表	SI47床下土坑一覽表	199	第 129 表	SI61鉄滓觀察表	265
第 95 表	SI47土器觀察表	200	第 130 表	土坑一覽表	267
第 96 表	SI48土器觀察表	204	第 131 表	SK04土器觀察表	267
第 97 表	SI49土器觀察表	207	第 132 表	SK05土器觀察表	268
第 98 表	SI50土器觀察表	209	第 133 表	SK07土器觀察表	268
第 99 表	SI51床下土坑一覽表	210	第 134 表	SK07鉄製品・釘觀察表	269
第 100 表	SI51土器觀察表	212	第 135 表	SK09土器觀察表	269
第 101 表	SI52床下土坑一覽表	214	第 136 表	SK09鉄製品・鎌觀察表	269
第 102 表	SI52土器觀察表	219	第 137 表	SD01土錘觀察表	273
第 103 表	SI53床下土坑一覽表	221	第 138 表	SD06土器觀察表	273
第 104 表	SI53土器觀察表	224	第 139 表	古錢觀察表	273
第 105 表	SI54床下土坑一覽表	225	第 140 表	石器觀察表	276
第 106 表	SI54土器觀察表	227	第 141 表	石器觀察表	276
第 107 表	SI55床下土坑一覽表	228			

写真図版

PL 1 刈沼東原遺跡周辺遠景（南上空から）

PL 2 刈沼東原遺跡Ⅰ次調査区全景（南上空から）

PL 3 ①刈沼東原遺跡Ⅱ次調査区遠景（東西上空から）

PL 4 ①SI01床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴は未掘

②SI01貯蔵穴遺物出土状況（西から）

③SI01カマドセクション（南から）

④SI01床下土坑完掘状況（南から）

PL 5 ①SI03床面完掘状況（南東から）柱穴未掘

②SI03カマド完掘状況（南から）

③SI03床下土坑完掘状況（南東から）

④SI04遺物出土状況（南西から）

PL 6 ①SI05カマド完掘状況（南から）

②SI05床下土坑完掘状況（南から）

③SI06遺物出土状況（南から）

④SI06床面完掘状況（南から）

PL 7 ①SI07カマド完掘状況（南から）

②SI07床下土坑完掘状況（南から）

③SI08カマドセクション（南から）

④SI08床下土坑完掘状況（南東から）

PL 8 ①SI09床下土坑セクション（南から）

②SI09床下土坑完掘状況（南から）

③SI10住居セクション（南から）

④SI10遺物出土状況（南から）

PL 9 ①SI11床下土坑セクション、SD12完掘状況（東から）

②SI12遺物出土状況（南から）

③SI12床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘

④SI12カマド遺物出土状況（南から）

⑤SI12床下土坑完掘状況、SD10完掘状況（南東

②刈沼東原遺跡Ⅱ次調査区遠景（南上空から）

⑤SI02遺物出土状況（南から）

⑥SI02カマドセクション（南から）

⑦SI02床下土坑完掘状況（南東から）

⑧SI02遺物出土状況（南から）

⑤SI04床面完掘状況（南から）柱穴未掘

⑥SI04カマド完掘状況（南から）

⑦SI04床下土坑セクション（南から）

⑧SI04床下土坑完掘状況（南から）

⑤SI06カマド遺物出土状況（南から）

⑥SI06床下土坑完掘状況（南から）

⑦SI07遺物出土状況（南から）

⑧SI07床下土坑完掘状況（南から）

⑤SI09遺物出土状況（南西から）

⑥SI09床面完掘状況（南から）

⑦SI09貯蔵穴遺物出土状況（南から）

⑧SI09カマド遺物出土状況（南から）

⑤SI10床面完掘状況（南から）柱穴未掘

⑥SI11住居セクション（東から）

⑦SI11床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘

⑧SI11カマドセクション（南から）

から）

⑥SI13遺物出土状況、SD08・10完掘状況（南東から）

⑦SI13床面完掘状況、SD08・10完掘状況（南から）

⑧SI13カマドセクション（南から）

- P L 10 ①SI13床下土坑完掘状況（南から）
 ②SI14遺物出土状況（南から）
 ③SI14床面完掘状況（南から）
 ④SI14カマド遺物出土状況（南から）
- P L 11 ①SI16遺物出土状況（南から）
 ②SI16貯蔵穴遺物出土状況（南から）
 ③SI16カマドセクション（西から）
 ④SI16床下土坑完掘状況（南から）
 ⑤SI17遺物出土状況（南から）
- P L 12 ①SI18遺物出土状況（西から）
 ②SI18床面完掘状況（南から）
 ③SI18カマド完掘状況（南から）
 ④SI18床下土坑完掘状況（南から）
- P L 13 ①SI19カマド遺物出土状況（南から）
 ②SI19床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI20遺物出土状況（南から）
 ④SI20床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘
- P L 14 ①SI21カマドセクション（南から）
 ②SI21床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI22住居セクション（南から）
 ④SI22遺物出土状況（南から）
- P L 15 ①SI23床面完掘状況（南東から）
 ②SI23床下土坑完掘状況（南東から）
 ③SI24遺物出土状況（南から）
 ④SI24カマドセクション（南から）
- P L 16 ①SI25カマド完掘状況（南から）
 ②SI25床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI26住居セクション（南西から）
 ④SI26遺物出土状況（南から）
- P L 17 SI28遺物出土状況（南から）
 ②SI28床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘
 ③SI28カマド遺物出土状況（南から）
 ④SI28床下土坑完掘状況（南から）
- ⑤SI14床下土坑完掘状況（南から）
 ⑥SI15遺物出土状況（南から）
 ⑦SI15床下土坑セクション（南から）
 ⑧SI15床下土坑完掘状況（南から）
- ⑥SI17床面完掘状況（南から）
 ⑦SI17床下土坑完掘状況（南東から）
 ⑧SI17床下土坑完掘状況、SD02・04・09完掘状況（東から）
- ⑤SI19遺物出土状況（南から）
 ⑥SI19床面完掘状況（南から）柱穴未掘
 ⑦SI19カマドセクション（南から）
 ⑧SI19カマド遺物出土状況（南から）
- ⑤SI20カマドセクション（南から）
 ⑥SI20床下土坑完掘状況（南から）
 ⑦SI21遺物出土状況（南から）
 ⑧SI21床面完掘状況（南から）
- ⑤SI22床面完掘状況（南から）
 ⑥SI22床下土坑完掘状況（南から）
 ⑦SI23住居セクション（南東から）
 ⑧SI23遺物出土状況（南から）
- ⑤SI24床下土坑完掘状況（南から）
 ⑥SI25遺物出土状況（南から）
 ⑦SI25床面完掘状況（南東から）柱穴未掘
 ⑧SI25カマドセクション（南から）
- ⑤SI26床面完掘状況（南から）柱穴未掘
 ⑥SI27住居セクション（南から）
 ⑦SI27遺物出土状況（南から）
 ⑧SI27床下土坑セクション（南東から）
- ⑤SI29遺物出土状況（南から）
 ⑥SI29床面完掘状況（南東から）
 ⑦SI29カマドセクション（南東から）
 ⑧SI29カマド完掘状況（南から）

- P L 18 ①SI30遺物出土状況（南から）
 ②SI30床面完掘状況（南から）
 ③SI30カマドセクション（南から）
 ④SI30床下土坑セクション（南から）
 ⑤SI31遺物出土状況（南から）
 ⑥SI31床面完掘状況（南から）
 ⑦SI31床下土坑セクション（南から）
 ⑧SI31床下土坑完掘状況、SK04完掘状況（南から）
- P L 19 ①SI32住居セクション（南から）
 ②SI32床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI33住居セクション（南から）
 ④SI33遺物出土状況（南から）
 ⑤SI33カマド完掘状況（南から）
 ⑥SI33床下土坑完掘状況（南から）
 ⑦SI34カマドセクション（南から）
 ⑧SI34カマド遺物出土状況（南から）
- P L 20 ①SI34床下土坑セクション（南から）
 ②SI35住居セクション（南西から）
 ③SI35カマドセクション（西から）
 ④SI35床下土坑完掘状況 SD11・SK06・07完掘状況（南から）
 ⑤SI36遺物出土状況、SD14・15完掘状況（南東から）
 ⑥SI36カマドセクション（南から）
 ⑦SI36床下土坑完掘状況、SD14・15確認状況（南から）
 ⑧SI37遺物出土状況（南から）
- P L 21 ①SI37床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘
 ②SI37カマドセクション（西から）
 ③SI37カマド遺物出土状況（南から）
 ④SI38遺物出土状況（南から）
 ⑤SI38床面完掘状況（南から）
 ⑥SI38カマド遺物出土状況（南から）
 ⑦SI38床下土坑セクション（南から）
 ⑧SI39遺物出土状況（南東から）
- P L 22 ①SI39床下土坑完掘状況（南から）
 ②SI40床面完掘状況（南から）
 ③SI40カマドセクション（南から）
 ④SI40北カマド完掘状況（南から）
 ⑤SI40床下土坑完掘状況 SD13・14・15完掘状況（南から）
 ⑥SI41遺物出土状況（南から）
 ⑦SI41床面完掘状況（南から）
 ⑧SI41カマド遺物出土状況（西から）
- P L 23 ①SI41床下土坑完掘状況（南から）
 ②SI42住居セクション、遺物出土状況（南西から）
 ③SI42遺物出土状況、SD18確認状況（南から）
 ④SI42床下土坑セクション SD14・15完掘状況（南東から）
 ⑤SI43遺物出土状況（南から）
 ⑥SI43床面完掘状況（南から）柱穴未掘
 ⑦SI43カマドセクション（南から）
 ⑧SI43カマドセクション（西から）
- P L 24 ①SI43カマドセクション（南から）
 ②SI43床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI44遺物出土状況（南東から）
 ④SI44カマド完掘状況（南から）
 ⑤SI44床下土坑完掘状況、SD13完掘状況（南東から）
 ⑥SI45遺物出土状況（南から）
 ⑦SI45カマド完掘状況（南から）
 ⑧SI45床下土坑セクション（南から）

- P L 25 ①SI46遺物出土状況（東から）
 ②SI46床面完掘状況（南から）
 ③SI46カマドセクション（南から）
 ④SI46カマド遺物出土状況（南から）
 ⑤SI46床下土坑セクション（南から）
- P L 26 ①SI47床下土坑完掘状況（南から）
 ②SI48遺物出土状況（南から）
 ③SI48カマドソデセクション（南東から）
 ④SI48カマドソデセクション（南から）
- P L 27 ①SI50床下土坑完掘状況（南から）
 ②SI51住居セクション（南東から）
 ③SI51遺物出土状況（南から）
 ④SI51床下土坑セクション（南西から）
- P L 28 ①SI52遺物出土状況
 ②SI52遺物出土状況
 ③SI52貯蔵穴遺物出土状況（西から）
 ④SI52床面完掘状況（南から）
- P L 29 ①SI53床面完掘状況（南から）柱穴未掘
 ②SI53カマドセクション（南西から）
 ③SI54住居セクション、SD12確認状況（南から）
 ④SI54カマドセクション（南から）
 ⑤SI54床下土坑完掘状況、SD12・14確認状況
- P L 30 ①SI55カマド遺物出土状況（南から）
 ②SI55床下土坑完掘状況（南から）
 ③SI56遺物出土状況（南から）
 ④SI56カマド遺物出土状況（南から）
 ⑤SI56カマド遺物出土状況（南から）
- P L 31 ①SI57カマド遺物出土状況（西から）
 ②SI57床下土坑セクション（南から）
 ③SI57床下土坑完掘状況（南から）
 ④SI58床面完掘状況（南から）
- P L 32 ①SI59遺物出土状況（南から）
 ②SI59床面完掘状況（南から）
 ③SI59床下土坑完掘状況（南から）
 ④SI60遺物出土状況（南から）
- ⑥SI47遺物出土状況（南東から）
 ⑦SI47床面完掘状況、SD13・14・15確認状況（南から）
 ⑧SI47カマドセクション（南から）
- ⑤SI48床下土坑完掘状況（南から）
 ⑥SI49遺物出土状況（南から）
 ⑦SI49床下土坑完掘状況（南から）
 ⑧SI50床面完掘状況（南東から）
- ⑤SI51床下土坑完掘状況（南から）
 ⑥SI52遺物出土状況（南から）
 ⑦SI52遺物出土状況
 ⑧SI52遺物出土状況
- ⑤SI52床面完掘状況（南から）
 ⑥SI52カマドセクション（西から）
 ⑦SI53住居セクション（南西から）
 ⑧SI53遺物出土状況（南から）
- （南から）
 ⑥SI55遺物出土状況（南から）
 ⑦SI55遺物出土状況（南から）
 ⑧SI55床面完掘状況（南から）柱穴・貯蔵穴未掘
- ⑥SI56床下土坑完掘状況（南から）
 ⑦SI57遺物出土状況、SD20・21完掘状況（南から）
 ⑧SI57床面完掘状況、SD20・21完掘状況（南から）
- ⑤SI58カマドセクション（南から）
 ⑥SI58カマド床下土坑完掘状況（南から）
 ⑦SI58床下土坑セクション（南から）
 ⑧SI58床下土坑完掘状況（南から）
- ⑤SI60貯蔵穴セクション（南から）
 ⑥SI60カマド遺物出土状況（南から）
 ⑦SI60カマド遺物出土状況（南から）
 ⑧SI60床面完掘状況（南から）

- P L 33 ①SI60床下土坑完掘状況、SD19完掘状況（南から）
 ②SI61遺物出土状況（南から）
 ③SI61カマド完掘状況（南から）
 ④SI61床下土坑セクション（北から）
- P L 34 ①SK05完掘状況（南から）
 ②SK06セクション（東から）
 ③SK06完掘状況（南東から）
 ④SK07人骨出土状況
- P L 35 ①SD05セクション（東から）
 ②SD05セクション（西から）
 ③SD06・08セクション（北から）
 ④SD20セクション（南から）
- P L 36 ①SD22・28・29遺物出土状況（西から）
 ②SD22・28・29完掘状況（東から）
 ③SD25完掘状況（南から）
- P L 37 SI01出土遺物
 SI02出土遺物
 SI03出土遺物(1)
- P L 39 SI03出土遺物(3)
 SI04出土遺物
- P L 41 SI07出土遺物
 SI08出土遺物
 SI09出土遺物(1)
- P L 43 SI09出土遺物(3)
 SI10出土遺物(1)
- P L 45 SI11出土遺物(2)
 SI12出土遺物(1)
- P L 47 SI12出土遺物(3)
 SI13出土遺物(1)
- ⑤SI61床下土坑完掘状況、SD23完掘状況（南から）
 ⑥SK01セクション（南から）
 ⑦SK02セクション（南から）
 ⑧SK04セクション（南西から）
- ⑤SD02南側セクション（西から）
 ⑥SD02北側セクション（西から）
 ⑦SD02全景（南東から）
 ⑧SD03セクション（北から）
- ⑤SD20遺物出土状況（南から）
 ⑥SD20完掘状況（南から）
 ⑦SD21セクション（西から）
 ⑧SD22・26完掘状況（南から）
- ④SE01セクション（南から）
 本遺跡発掘調査報告書作成関係者
- P L 38 SI03出土遺物(2)
- P L 40 SI05出土遺物
 SI06出土遺物
- P L 42 SI09出土遺物(2)
- P L 44 SI10出土遺物(2)
 SI11出土遺物(1)
- P L 46 SI12出土遺物(2)
- P L 48 SI13出土遺物(2)

P L 49 SI13出土遺物(3)
SI14出土遺物(1)

P L 51 SI14出土遺物(3)

P L 53 SI16出土遺物
SI17出土遺物(1)

P L 55 SI19出土遺物(2)

P L 57 SI20出土遺物(2)
SI21出土遺物(1)

P L 59 SI23出土遺物(2)
SI24出土遺物(1)

P L 61 SI25出土遺物(2)
SI26出土遺物
SI27出土遺物(1)

P L 63 SI28出土遺物(2)

P L 65 SI30出土遺物(2)
SI31出土遺物
SI32出土遺物(1)

P L 67 SI32出土遺物(3)

P L 69 SI33出土遺物(2)

P L 71 SI34出土遺物(2)

P L 50 SI14出土遺物(2)

P L 52 SI14出土遺物(4)
SI15出土遺物

P L 54 SI17出土遺物(2)
SI18出土遺物
SI19出土遺物(1)

P L 56 SI19出土遺物(3)
SI20出土遺物(1)

P L 58 SI21出土遺物(2)
SI23出土遺物(1)

P L 60 SI24出土遺物(2)
SI25出土遺物(1)

P L 62 SI27出土遺物(2)
SI28出土遺物(1)

P L 64 SI28出土遺物(3)
SI29出土遺物
SI30出土遺物(1)

P L 66 SI32出土遺物(2)

P L 68 SI32出土遺物(4)
SI33出土遺物(1)

P L 70 SI33出土遺物(3)
SI34出土遺物(1)

P L 72 SI35出土遺物
SI36出土遺物(1)

P L 73 SI36出土遺物(2)

P L 74 SI36出土遺物(3)

SI37出土遺物

SI38出土遺物(1)

P L 75 SI38出土遺物(2)

P L 76 SI39出土遺物

SI40出土遺物

P L 77 SI41出土遺物

P L 78 SI42出土遺物(2)

SI42出土遺物(1)

P L 79 SI42出土遺物(3)

P L 80 SI42出土遺物(4)

SI43出土遺物(1)

P L 81 SI43出土遺物(2)

P L 82 SI44出土遺物(2)

SI44出土遺物(1)

SI45出土遺物

SI46出土遺物(1)

P L 83 SI46出土遺物(2)

P L 84 SI46出土遺物(3)

SI47出土遺物(1)

P L 85 SI47出土遺物(2)

P L 86 SI48出土遺物

SI49出土遺物

SI51出土遺物(1)

P L 87 SI51出土遺物(2)

P L 88 SI52出土遺物(2)

SI52出土遺物(1)

P L 89 SI52出土遺物(3)

P L 90 SI52出土遺物(4)

SI53出土遺物(1)

P L 91 SI53出土遺物(2)

P L 92 SI55出土遺物(2)

SI54出土遺物

SI55出土遺物(1)

P L 93 SI55出土遺物(3)

P L 94 SI56出土遺物(2)

SI56出土遺物(1)

P L 95 SI56出土遺物(3)

P L 96 SI57出土遺物

SI58出土遺物(1)

P L 97 SI58出土遺物(2)
SI59出土遺物
SI60出土遺物(1)

P L 98 SI60出土遺物(2)

P L 99 SI60出土遺物(3)
SI61出土遺物(1)

P L 100 SI61出土遺物(2)

P L 101 SI61出土遺物(3)
SK04出土遺物
SK05出土遺物
SK07出土遺物
SK09出土遺物

P L 102 SD01出土遺物
SD06出土遺物
石鏃
打製石斧
石皿
出土遺物（繩文・弥生土器）

I. 調査の経過と方法

1 調査の経緯

住宅・都市整備公団（現：都市再生機構）によるテクノポリスセンター地区の開発に先立ち、平成7年12月、栃木県埋蔵文化財センターが確認調査を実施した。調査は幅1mのトレンチを10m間隔で入れて遺構の確認を行った。その結果、竪穴住居跡と考えられる遺構が数基確認されたため、本調査が必要になった。

栃木県と宇都宮市との協議の結果、当地域の発掘調査を宇都宮市教育委員会で行うことになり、平成8年度内から本調査を実施することとし、調査日程を調整した。

本調査は平成8年5月9日から開始し、重機により全面的に表土剥ぎを行った。その結果、予想よりもかなり多数の住居跡が確認された。調査は当初の予定通り、年度内の終了の計画に従って進めたが、その遺構の多さで時間が掛かり、年度内最終日の3月31日までかかって終了した。

2 調査の方法

平成7年度に行った県のトレンチ調査により数件の竪穴住居跡が確認できたため、その範囲の表土を重機により除去し、面的に広げた。

測量を行い、国家座標を基準とした杭を設置して、基本的には10m間隔でグリット杭を設置した。また、標高は近くの水準点を基準として設定した。

基本層序は、Ⅰ 耕作土→Ⅱ 鹿沼軽石層→Ⅲ 七本桜軽石層→Ⅳ ローム地山の順で、遺構の確認は地表下20cmの耕作土層除去後に行った。

（発掘日誌抄）

平成8年

5月9日(木) 調査区内の栗の切り株抜去。

13日(月) 表土除去開始（～6月20日まで）

14日(火) 作業員初日。朝概要説明。

調査区南方から、外壁の清掃。遺構確認のためのジョレンかき開始。

住居跡2軒確認。

15日(水) 現場内にテント設営。

20日(月) 18軒の住居跡を確認。いずれもカマドを有する。

遺構分布は台地西縁部に集中する傾向がある。

29日(水) 調査区の東辺拡張を決める。

6月10日(月) 遺構確認作業。ジョレンがけ。

19日(水) SI-01排土

24日(月) 基準杭・グリット杭設定完了

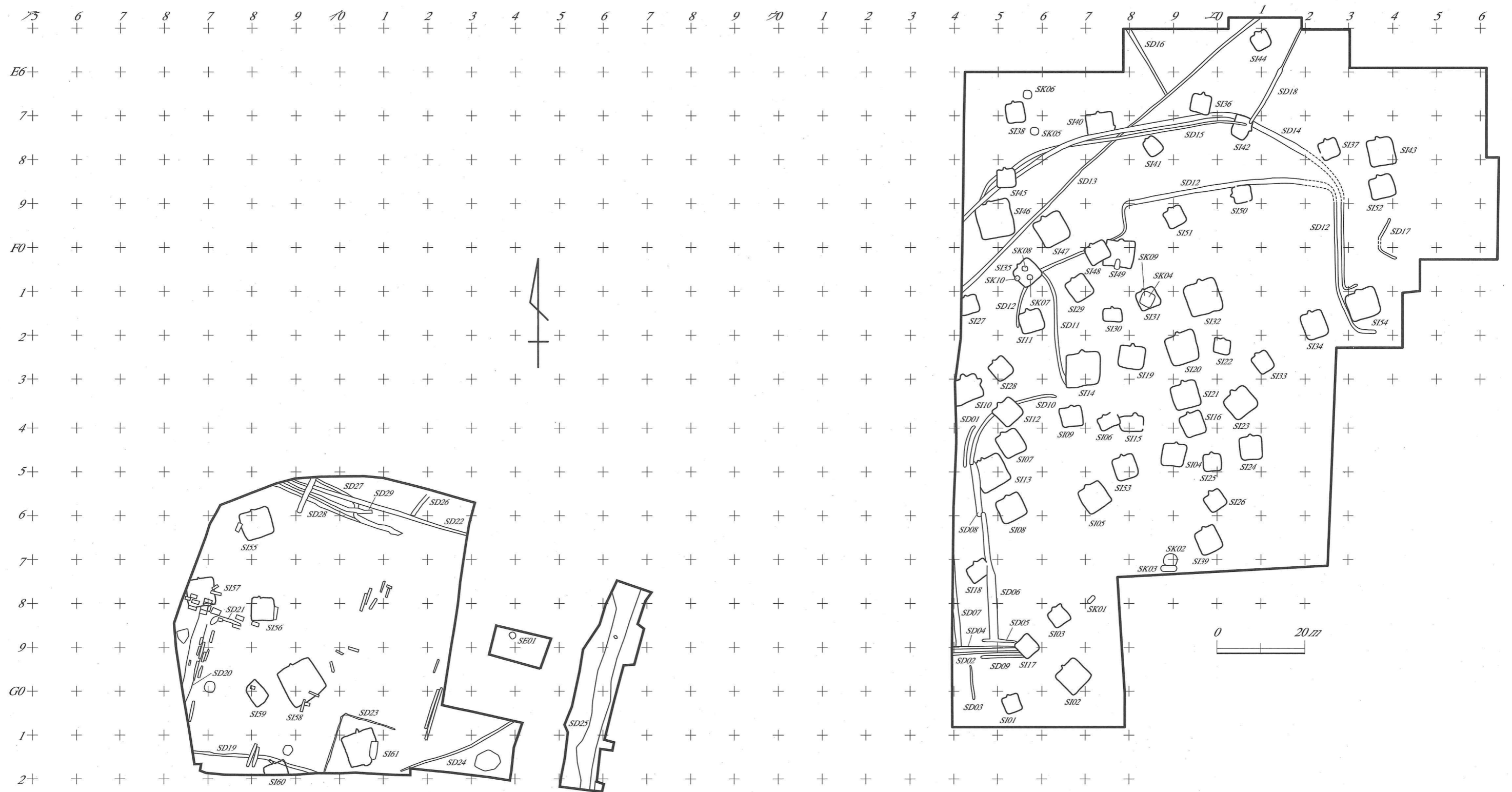
28日(金) SI-01・SI-02・SI-17・SI-02排土

SI-17とSD-02の切り合いを確認する。

- 7月17日(水) SI-03遺物平面図・SI-8 排土開始
 27日(土) 文化財体験教室。3軒の住居跡を37人の親子が発掘。
- 8月6日(火) SI-43ベルト除去。SI-03床下Sec (張床はがし)。
 SI-08カマド切開→Sec
 20日(火) SI-09のB区より石製紡鐘車出土。
 30日(金) SI-43・37カマド排土。平面図完了。
- 10月9日(水) SI-26床下Sec。SI-24遺物平面図。
 17日(木) SI-54を発見。
 24日(木) 朝、SI-10にて床出しの研修。
- 11月12日(火) SI-19遺物平面図。SI-34カマド排土。
- 12月3日(火) SI-48・49・14・30床はがし。
 SI-28カマド生活面Sec。
 12日(木) SI-38床掃除、貯蔵穴半切。SI-51・48・46カマド平面図。

平成9年

- 1月13日(月) 雪の影響で、今日から発掘開始。
 20日(月) SI-44より紡錘車、鏝出土
 22日(水) AM9時頃から降雪 午前中で作業中止
 29日(水) 道路南の試掘開始
- 2月5日(水) 遺跡の航空撮影実施
 12日(水) SI-12付近の溝図面 SI44付近の溝排土
 毎日映画社VTR取材
 28日(金) 掘りの作業は、今日で終了
- 3月3日(月) SI-54、34、09遺構平面図 SI-47付近溝平面図
 10日(月) SI-40南の溝合流点精査
 17日(月) 航空撮影実施
 21日(金) SI32・47・38・40・36・44遺構平面図
 27日(木) 図面の最終チェック
 31日(月) 4軒分のポイント確認 テント等撤収



第1図 遺構配置図

Ⅱ. 位置と環境

1 地理的環境

栃木県は、関東平野の北端に位置し、東は茨城県、西は群馬県に接している。県都宇都宮市は、県中央部のやや南よりに位置している。刈沼東原遺跡は、この宇都宮市の北東部、清原地区の刈沼町と野高谷町にかけて所在する。宇都宮市の中心部から東へ約9km、JR宇都宮線宇都宮駅から東へ約7kmに位置しており、東に約1km行くと芳賀町に入る。遺跡は海拔130mの鬼怒川左岸台地上に位置し、東側は芳賀台地、西側は約20mの急斜面で刈沼地区の集落に至る。また近くを通る主要地方道宇都宮向田線の西には、南北に連なる刈沼川の低地と台地があり、さらに西1.5kmには鬼怒川が南流している。

清原地区は、1954年に宇都宮市に合併する以前は、芳賀郡清原村であった。合併後は、清原町として開発が進み、清原工業団地を中心として、多種企業が立地している。近年、遺跡一帯は、都市再生機構の「宇都宮テクノポリスセンター地区」として、地区東側の芳賀工業団地、南側の清原工業団地と連携した高度技術産業集積活性化計画の拠点となる街づくりが進んでいる。

2 歴史的環境

第2図からもわかるように、鬼怒川東方の宝積寺台地及び芳賀台地上には、多数の遺跡が存在する。以下、時代ごとに周辺遺跡について概観してみる。

縄文時代

本遺跡周辺においては、刈沼遺跡、向原遺跡、刈沼・向原遺跡、鎮守林西遺跡、野高谷北台遺跡、竹下遺跡、千波ヶ原遺跡、板戸不動山遺跡が存在する。刈沼遺跡、向原遺跡、刈沼・向原遺跡も本遺跡と同様に宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴い埋蔵文化財調査を行った。刈沼遺跡では、平成10年度の1次調査で、縄文時代晩期の竪穴住居跡や環状盛土遺構の痕跡が確認された。同じく縄文時代晩期の刈沼・向原遺跡では竪穴住居跡や溝が確認され、遮光器土偶や石斧、石錘などが出土している。

古墳時代

本遺跡以外の古墳時代の遺跡としては、満美穴古墳群、大塚古墳、竹下浅間山古墳、五味内古墳、不動山古墳群、板戸愛宕塚古墳群、日陰坂上古墳群、野高谷東原遺跡がある。その中で、竹下浅間山古墳は、7世紀に築かれた前方後円墳で、墳丘は失われていたが、昭和48年に農地造成中に発見され、発掘調査が行われた。その結果、頭椎太刀・鉾・馬具類などが出土している。また、前述の刈沼遺跡では、古墳時代前期の方形周溝墓が7基確認されている。また、不動山古墳群では、平成14年度に最終処分場建設に伴う発掘調査において、3基の円墳が確認されている。いずれも台地の南側斜面付近に位置する、横穴式石室を主体部とする円墳である。遺物は耳環、長頸壺が数点出土しており、これらの遺物から古墳時代終末期の古墳と考えられる。

古 代

上野遺跡・釜根遺跡・日枝神社南遺跡では、幅8～15mの2～3本の平行する溝が確認された。これらの土中からは、古代の土器が出土し、また、各遺跡間とも同様の断面形状であることから、直線的に繋がると考えられ、古代の東山道と推定されている。

中 世

近隣における城館跡として、飛山城跡、淡路城跡、同慶寺館、中世から近世の墓址・集落跡として野高谷薬師堂遺跡が挙げられる。そのうち、飛山城跡は、鎌倉時代後半に芳賀高俊により築城されたと伝えられ、豊臣秀吉の時代に主家である宇都宮氏の改易とともに、芳賀氏が滅亡し、廃城となった城である。昭和52年に国指定史跡となり、平成の発掘調査では、掘建柱建物跡、竪穴建物跡、木橋跡等が確認された。また、平成7年の調査では、「烽家」（ホウケあるいはトブヒヤ）と書かれた墨書土器が出土し、古代の「烽」に関する遺構が確認されている。この近くにある同慶寺館は、芳賀氏の居城跡である。

野高谷薬師堂遺跡も本遺跡と同様に宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴い埋蔵文化財調査を行っており、中世から近世の墓穴や建物跡が多数確認されている。遺構では地下式壙や方形竪穴遺構、遺物ではカワラケ、内耳土器、砥石等が出土している。

また、江戸時代には、遺跡の東を流れる鬼怒川の、板戸、道場宿、石井に河岸が設けられ、1885年の東北本線の開通以前までは、清原は物資の拠点としてにぎわっていた。

(参考文献)

宇都宮市教育委員会 1983『宇都宮の遺跡』

宇都宮市教育委員会 1999『史跡飛山城跡Ⅲ』

No	遺跡名	所在地	種別	時期(型式)	備考
1	刈沼東原遺跡	刈沼町東沢344-1他	集落跡	古墳	
2	岡本小学校遺跡		散布地	縄文(後期)	
3	第二公園内古墳群	下岡本町	古墳	古墳	円墳(供養塚)
4	第二公園南遺跡	下岡本町		縄文(加曾利E)	
5	日枝神社南遺跡		散布地	先縄文	
6	日枝神社南古墳	下岡本町	古墳	古墳	円墳
7	第二公園古墳群				
8	第一公園東遺跡	下岡本町		縄文(加曾利E)	
9	古坂峯高塚	板戸町1711 他	高塚	江戸	
10	中丸遺跡	板戸町3420 他	古墳	縄文	
11	板戸愛宕塚古墳群	板戸町2215 他	古墳	古墳	円墳2
12	山田遺跡	板戸町3463 他	集落跡	縄文・古墳	
13	不動上供養塚	板戸町3620-1	供養塚	江戸	
14	不動山古墳群	板戸町3630 他	古墳	古墳	円墳2
15	日陰坂上古墳群	板戸町1839 他	古墳	古墳	円墳2
16	不動遺跡	板戸町3660 他	集落跡	縄文	
17	刈沼池前遺跡	野高谷・刈沼	散布地	縄文・土師	
18	鎮守林西遺跡	刈沼町552-1 他	集落跡	縄文・奈良	
19	淡路城跡	刈沼町469 他	城館跡	室町	
20	向原遺跡	刈沼町298-4 他	集落跡	奈良・平安	
21	薬師堂遺跡	野高谷町657 他	墓	中世?近世	
22	刈沼向原遺跡	刈沼町268-11 他	集落跡	縄文・古墳	
23	刈沼遺跡	刈沼町482-1 他	集落跡	縄文・古墳	
24	野高谷東原遺跡	野高谷町1066 他	集落跡	古墳	
25	野高谷北台遺跡	野高谷町1135 他	集落跡	縄文・古墳	
26	平出城跡	平出町1512 他	城館跡	室町	
27	免の内台古墳	平出町4106 他	古墳	古墳	円墳
28	上野遺跡	平出町411 他	道路跡	奈良・平安	
29	大塚古墳	大塚西	古墳	古墳	
30	大塚古墳	道場宿町	集落跡	奈良	新規命名
31	山之内遺跡	竹下町字山之内885 他	集落跡	奈良・平安	
32	とどづか高塚	道場宿町27 他	高塚	江戸	
33	同慶寺館跡	竹下町1107 他	城館跡	室町	
34	竹下浅間山古墳	竹下町1100-5 他	城館跡	古墳	前方後円墳 市指定
35	飛山城跡	竹下町393-6 他	城館跡	室町	
36	竹下遺跡	竹下町712 他	集落跡	縄文・古墳	
37	山下台高塚群	下平出町1019-1 他	高塚	江戸	円形高塚2
38	石井城跡	石井町1721 他	城館跡	室町	
39	五味内古墳	氷室町五味内	古墳	古墳	
40	五味内遺跡	氷室町五味内	集落跡	奈良	
41	氷室中ノ島北遺跡	氷室町字中島973-7 他	集落跡	奈良・平安	
42	千波ヶ原遺跡	竹下町1412 他	集落跡	縄文・古墳	
43	氷室中ノ島遺跡	氷室町1781-1 他	集落跡	縄文・奈良	
44	鑑山東原遺跡	鑑山町191-1 他	集落跡	縄文・奈良	
45	草倉坂下遺跡	鑑山町草倉坂下672 他	集落跡	縄文	
46	根木内遺跡	鑑山町字根木内617 他	集落跡	奈良・平安	
47	臼内遺跡	氷室町705-8 他	集落跡	縄文・奈良	
48	免の内遺跡	氷室町1012-1 他	集落跡	縄文・古墳	
49	鷲ノ谷庚申塚	宝積寺字鷲ノ谷	塚	中世・近世	
50	鷲ノ谷A遺跡	宝積寺字鷲ノ谷	散布地	中世・近世	板碑
51	鷲ノ谷弁天塚	宝積寺字鷲ノ谷	塚	中世・近世	頂部に弁天様の祠
52	鷲ノ谷B遺跡	宝積寺字鷲ノ谷	散布地	縄文・古墳・中世・近世	内耳土器
53	台の原A遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文	打斧・磨石 旧名:台の原遺跡
54	一斗内遺跡	石末字一斗内 他	散布地	縄文(中~後)・奈良	
55	西根遺跡	上高根沢字西根、大竜内他	散布地	旧石器・縄文(前~後)	西根A,十九夜坂入口遺跡を含む
56	台の原D遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文・中世・近世	
57	井戸山塚古墳	上高根沢台の原	古墳	古墳	滅失 平成5年確認調査
58	台の原古墳群	上高根沢台の原	古墳	古墳	8基牧場造成時に滅失
59	井戸山古墳	上高根沢台の原	古墳	古墳	開田時に滅失
60	上の原A遺跡	上高根沢上の原	散布地	縄文・中世・近世	内耳土器
61	台の原E遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文	
62	不動塚古墳群	下高根沢字大塚不動山	古墳	古墳	円墳3 旧名:大塚古墳群
63	大塚遺跡	下高根沢字大塚	集落跡	縄文	
64	箸塚遺跡	下高根沢字箸塚	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
65	下原遺跡	下高根沢字下原	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
66	後久保遺跡	東水沼字後久保・古留2930	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	
67	梨の木原遺跡	東水沼字梨の木原	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
68	後久保古墳	東水沼字後久保・古留2944	古墳	古墳	前方後円墳
69	谷近台古墳群	西水沼字谷近台	古墳	古墳	円墳6 市町村番号「325/谷近台遺跡」

第1表 周辺遺跡一覧表



第2図 周辺遺跡分布図 (1 : 50000)



現地説明会



発掘調査状況

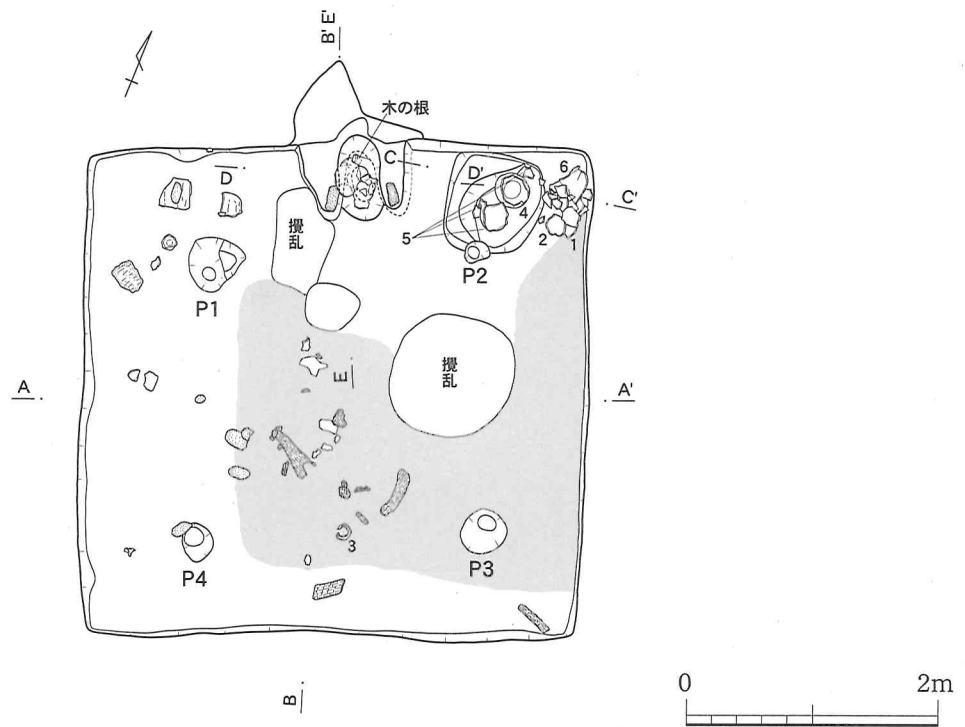
Ⅲ. 調査結果

1 竪穴住居跡

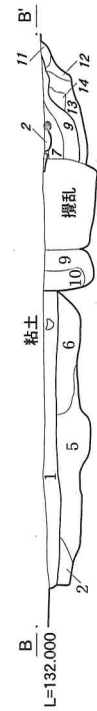
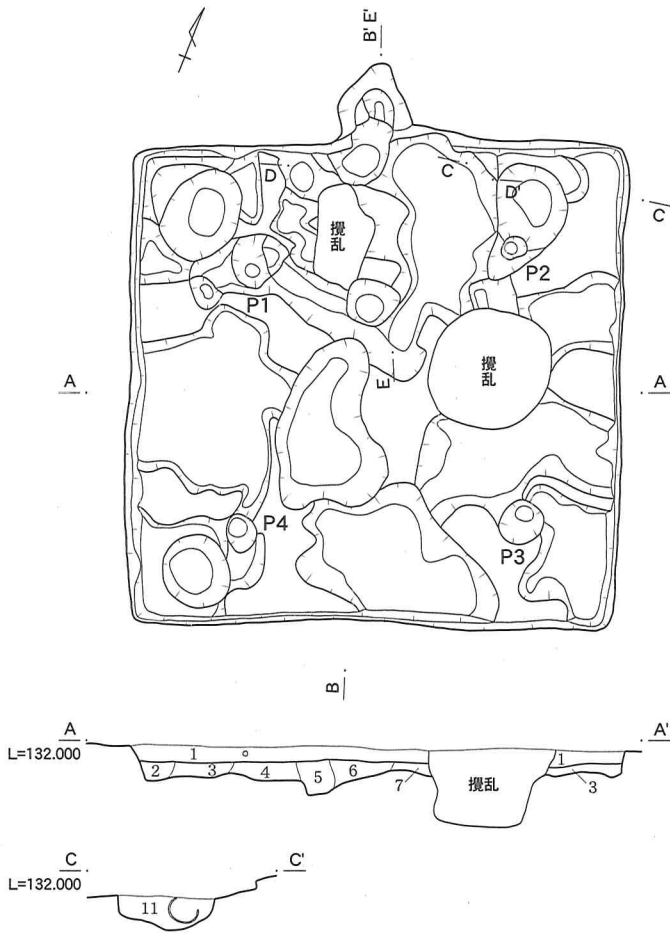
調査区内から61軒の竪穴住居跡が確認できた。内訳は東側の第1次調査区内に54軒、西側の第2次調査区内に7軒である。

SI01

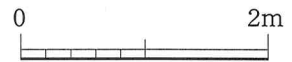
位置 ウ5G0杭付近。規模 東西4.0m×南北3.9m。主軸方向 N-23°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏2, 埴1, 甕2, 甑1である。



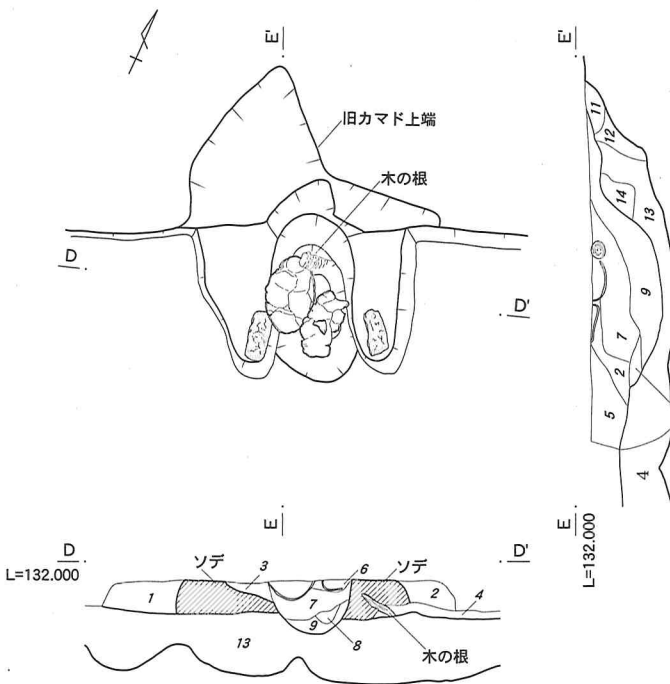
第3図 SI01遺物平面図



- SI01
- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | LR微量、CR・微小IPB少量、微小SPB微量 |
| 2 淡黄褐色土 | IPB微量、LR多量、小LB微量(張床) |
| 3 明褐色土 | LB少量、LR多量、小IP微量(張床) |
| 4 明黄褐色土 | LB・LR多量、IPB微量、微小IPB少量、黒色土混入(張床) |
| 5 暗褐色土 | LR多量、IPB少量、植物根多い、柔らかい(張床) |
| 6 黒褐色土II | LR少量、IPB微量(張床) |
| 7 明褐色土II | 3層より黒色土がやや多い、焼土R極微量(張床) |
| 8 明黄褐色土II | LR多量、焼土R微量 |
| 9 黒褐色土III | LR少量、微小SPB・微小IPB微量 |
| 10 明淡褐色土 | 微LR多量、微小IPB少量 |
| 11 褐色土 | LR少量、凝灰岩變成粘土、2~4cm大のCB・小IPB少量、小SPB微量 |



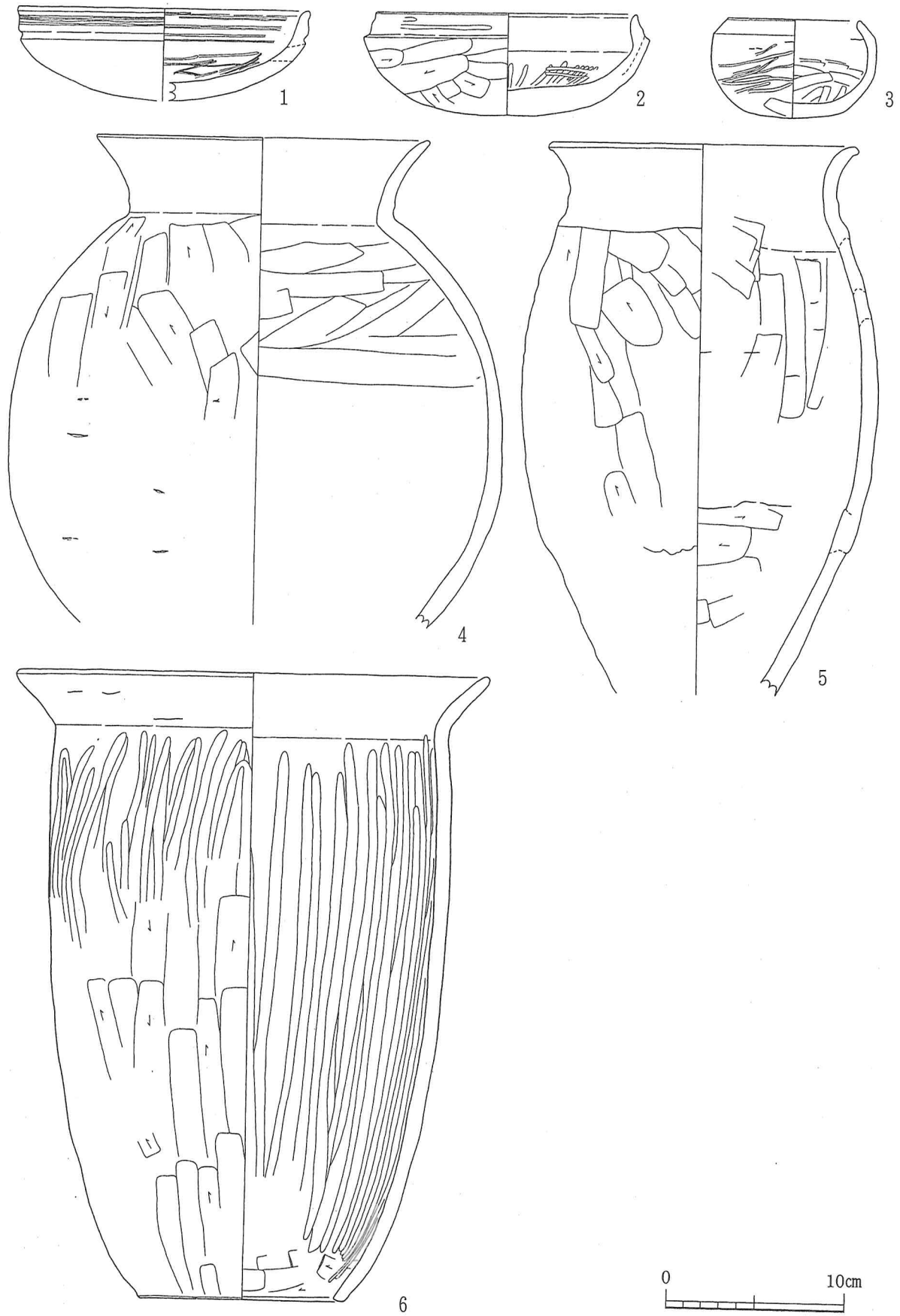
第4図 SI01平・断面図



- SI01カマド
- | | |
|------------|------------------------------------|
| 1 褐色土 | LR多量、微小IPB・焼土R・CR微量 |
| 2 明褐色土 | 小LB・焼土R多量、CR少量 |
| 3 淡黄褐色土 | LR・小LB・小焼土B多量、ザクザクとした感じ |
| 4 黒褐色土 | LR微量、硬い(張床) |
| 5 黒褐色土II | LR微量、CR・微小IPB少量、微小SPB微量、焼土R、CR少量含む |
| 6 明褐色土II | 2層に比べLBが少ない |
| 7 暗赤褐色土 | 焼土B極多量、CB多量 |
| 8 黒色土 | LR少量、腐植土か?(根) |
| 9 明褐色土III | 2層に比べ焼土Bが少ない |
| 10 暗淡褐色土 | 13層より焼土Rが多い |
| 11 暗黄褐色土 | 黒色土とLRの均一混入土、微小IPB少量 |
| 12 明黄褐色土 | 焼LR・灰少量、微小IPB多量 |
| 13 暗淡褐色土II | 黒色土少量、微小IPB・微小SPB微量 |
| 14 淡黄褐色土II | 小LB多量、IPB・微小SPB少量、砂粒微量、硬い |



第5図 SI01カマド平・断・遺物平面図

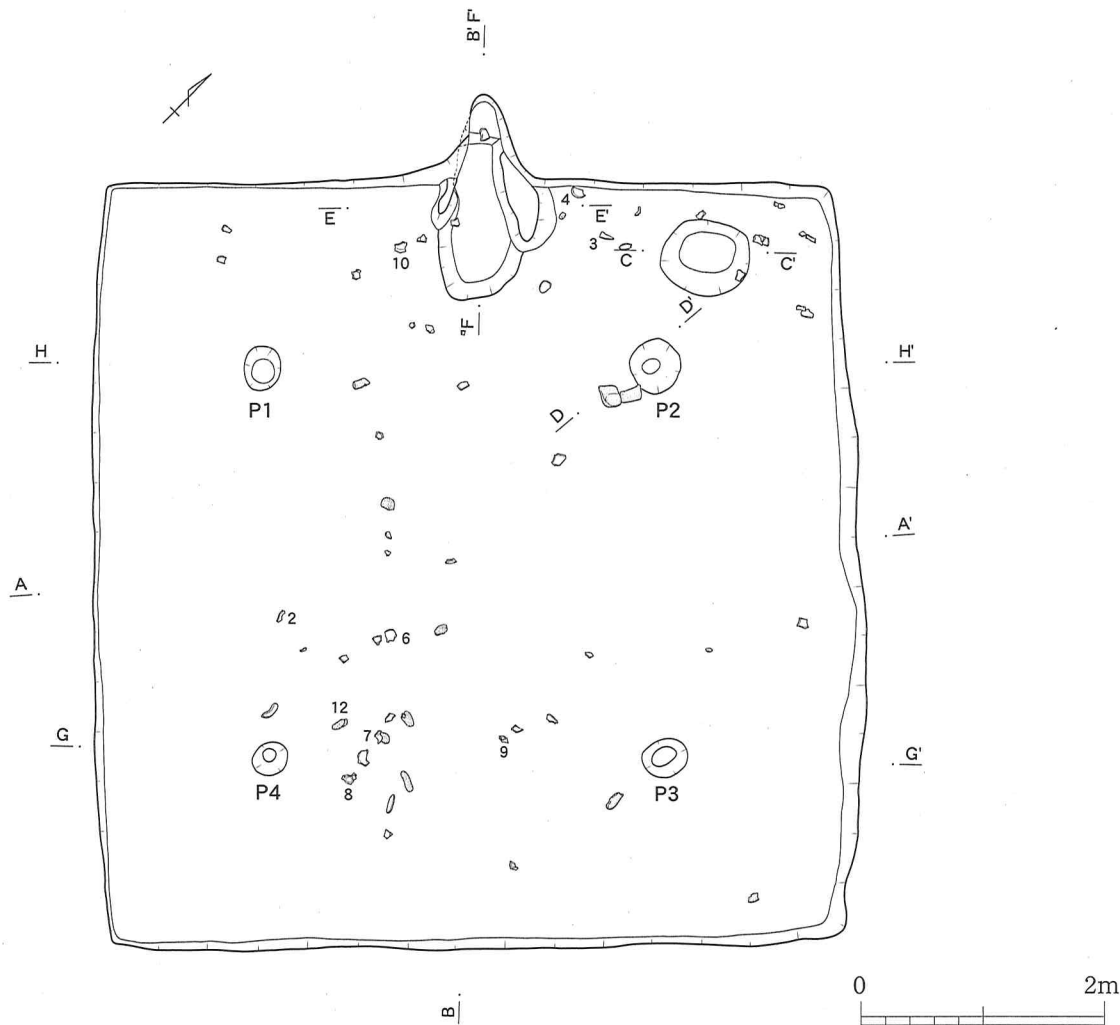


第6图 SI01出土遺物実測図

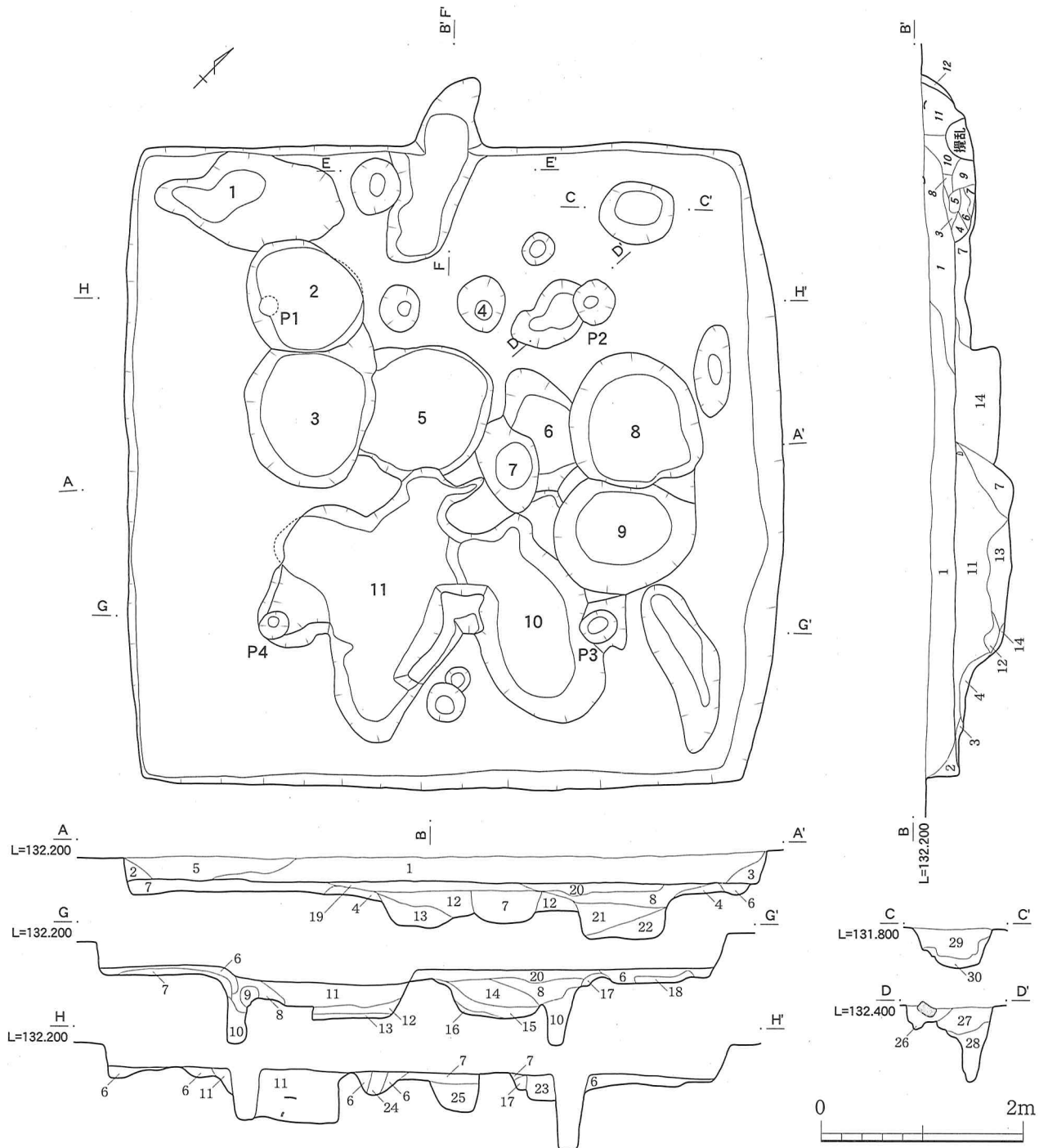
第2表 SI01土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (16.0) 器高 5.1	A 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に4mm幅の工具による強いヘラナデ。	1/2	床直No.3	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 14.4 器高 5.6	A 白色細砂粒 赤色砂粒(鉄粒)。白色砂粒を含む。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面粗い横方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.2	漆仕上げ
3	土師器 ワン	口径 (7.2) 器高 5.4	A 透明細砂粒 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	B: 口縁部は内傾し、体部は半球形。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.4	輪積痕
4	土師器 甕	口径 (18.2) 器高 (26.2)	A 黒色砂粒 白色細砂粒。黒色粗砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	B: 口縁部はやや直立後外反し、胴部は中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/5	床直No.14	輪積痕 内外面煤付着
5	土師器 甕	口径 (16.8) 器高 (30.2)	B 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は外湾し、胴部は張りが有り緩やかにすぼまる。	胴部内面ヘラナデ、接合部ヘラ削り、胴部外面ヘラ削り、中位ヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/2	床直No.15,16,17	輪積痕 内外面煤付着 別作り
6	土師器 甕	口径 25.6 底径 10.0 器高 34.3	A 黒色細砂粒 赤色砂粒(鉄粒)。白色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	C: 口縁部は外傾し、胴部は長胴。	口縁部横ナデ、胴部内外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	3/4	床直No.1	筒抜け 輪積痕 黒斑 内外面煤付着

SI02



第7図 SI02遺物平面図



SI02

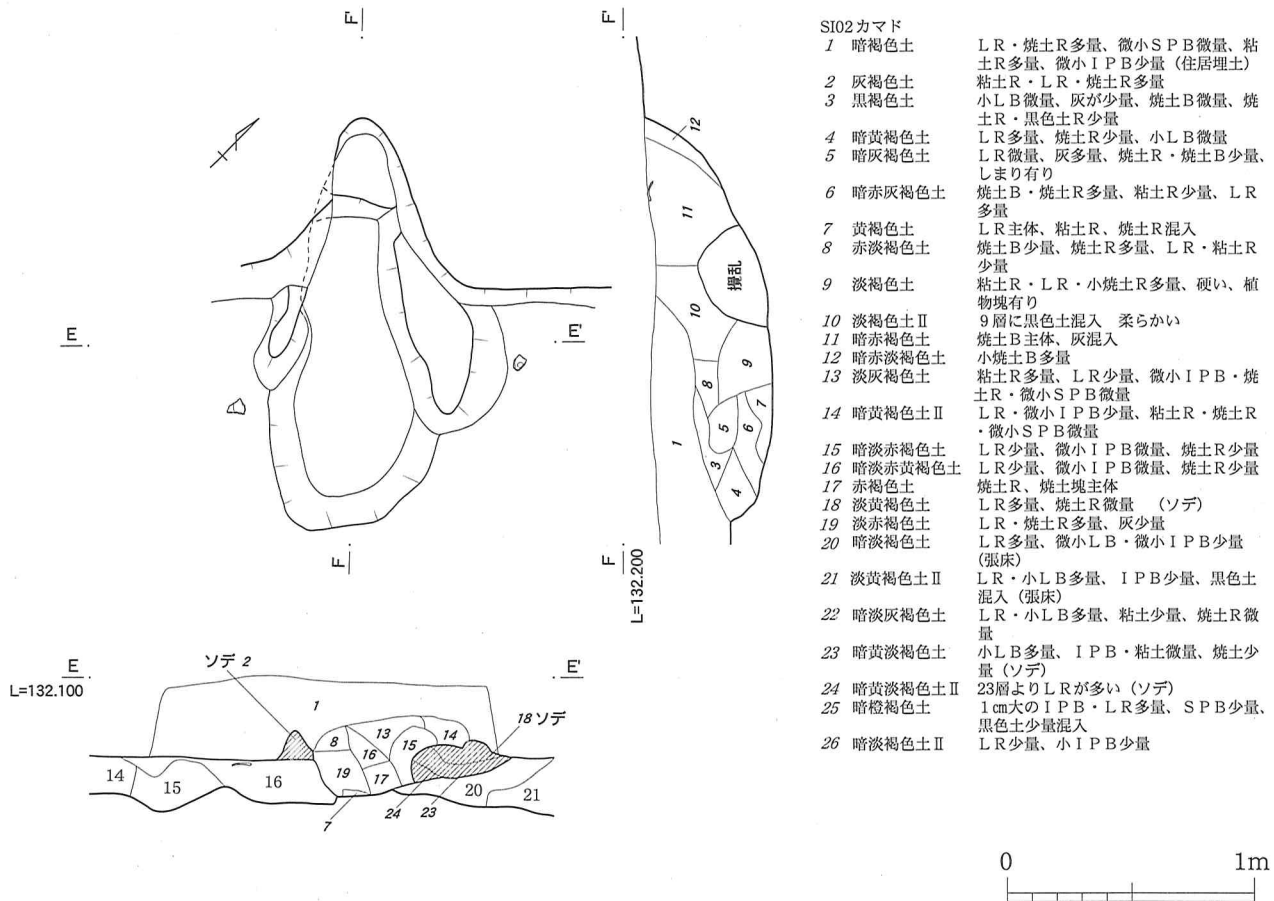
- | | | | |
|------------|-----------------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 1 黒褐色土 | LR微量、IPB少量、SPB・CR微量 | 17 明淡黄褐色土 | LR多量、小IPB微量、微小LB少量 |
| 2 褐色土 | LR・IPB少量、SPB極微量、1~2cm大のIPB混入 | 18 明黄褐色土II | LR多量、微小IPBやや多量 |
| 3 明黄褐色土 | LR多量、小LB少量、IPB・SPB・粘土R微量 | 19 暗褐色土II | LR・微小IPB少量、微小SPB微量 |
| 4 暗赤褐色土 | LR少量、微小LBやや多量、IPB多量、SPB微量 | 20 暗褐色土III | LR・小LB微量、微小IPB少量、微小SPB・CR微量 |
| 5 暗褐色土 | LR極微量、IPB少量、SPB微量、1~2cm大のIPB混入 | 21 明淡黄褐色土II | LR主体、3~4cm大のLB微量、小LB多量、IPB少量、黒色土混入 |
| 6 暗淡褐色土 | LRやや少量、微小LB微量、微小IPB少量、微小SPB微量 | 22 淡黒褐色土 | LR・小IPB少量、小SP微量、黒色土混入、2~3cm単位で層状に堆積 |
| 7 淡赤褐色土 | 小IPB・微小IPB多量、LR少量 | 23 明淡褐色土 | LR多量、小IPB少量 |
| 8 暗淡褐色土II | LR・微小IPB少量、微小SPBキメが細かい | 24 淡褐色土 | LR多量、微小IPB・小IPB少量 |
| 9 淡黄褐色土 | LR多量、微小IPB・微小LB少量 | 25 明淡黄褐色土III | 21層よりLB・黒色土少ない |
| 10 暗黄色土 | L主体、小LB・小IPB微量、ザクザクしている | 26 暗褐色土IV | LR・小IPB少量、微小IPB少量、黒色土混入 |
| 11 黒褐色土II | LR微量、小IPB少量、微小SPB・GR微量、硬く締まっている | 27 暗褐色土V | 26層より小IPBが少ない |
| 12 淡黄褐色土II | LR多量、微小IPB少量、硬く締まっている | 28 暗黄褐色土III | LR多量、2~3cm大のLB(柔らかい)少量、しまりなく柔らかい |
| 13 黄色土 | L主体、微小IPB微量 | 29 黒褐色土III | LR・微小IPB少量、小IPB・小SPB微量 |
| 14 暗黄褐色土 | LR・小LBやや多量、微小LB少量、小IPBやや多量、小SPB微量 | 30 黒褐色土IV | 29層よりLRが多い、小LB微量、粘土少量 |
| 15 暗黄褐色土II | 14層よりLRが多く、粒が全体的に小さくなる | | |
| 16 暗淡黄褐色土 | LR多量、小IPB微量、微小LB少量 | | |
| 17 明淡黄褐色土 | LR多量、小IPB微量、微小LB少量 | | |

第8図 SI02平・断面図

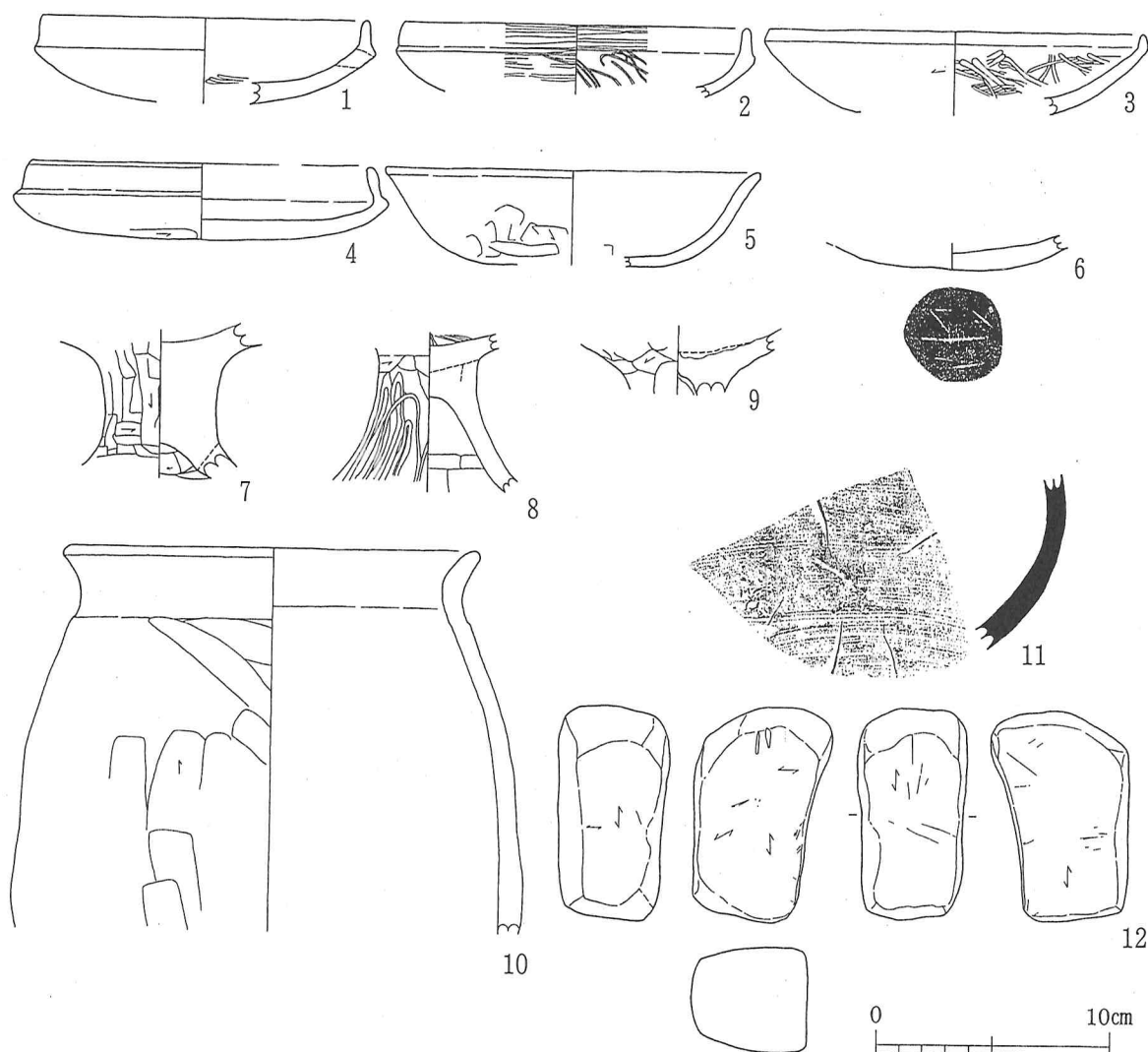
位置 ウ6F9杭付近。規模 東西6.2m×南北6.2m。主軸方向 N-44°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 11基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 高坏3, 甕1, 須恵器壺破片1, 砥石1である。

第3表 SI02床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.90	0.90	-	楕円形			土坑2と重複、土坑2が新しい
2	1.25	1.05	0.53	円形	平坦	ほぼ垂直	土坑3と重複、土坑2が新しい
3	1.30	1.20	-	円形			土坑5と重複、土坑3が新しい
4	0.55	0.46	0.28	円形	丸底	やや開きながら立ち上がる	
5	1.40	1.10	0.35	円形	平坦	オーバーハング	土坑7・11と重複、土坑7が古く土坑11が新しい
6	1.25	0.35	0.20	不整形	平坦		土坑7・8と重複、土坑7・8が新しい
7	0.95	0.56	0.32	楕円形	丸底	やや開きながら立ち上がる	
8	1.40	1.30	0.33	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	
9	1.40	1.05	-	円形			土坑8と重複、土坑8が新しい
10	2.10	1.15	0.35	楕円形	ほぼ平坦	大きく開きながら立ち上がる	土坑10・11は隣り合っている
11	2.75	2.15	0.13	不整形	平坦	やや開きながら立ち上がる	



第9図 SI02カマド平・断面図



第10図 SI02出土遺物実測図

第4表 SI02土器観察表

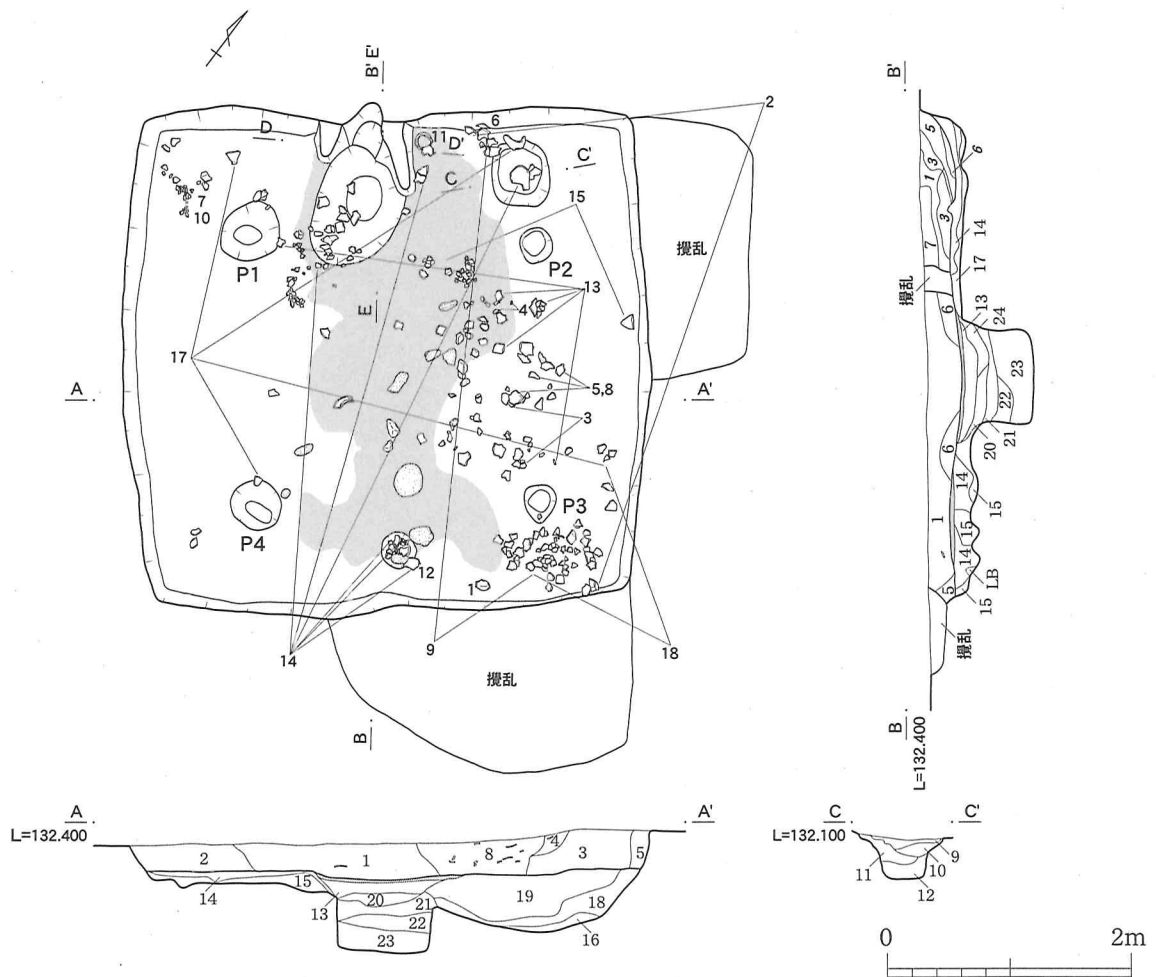
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.5)	B 白色細砂粒 透明 細砂粒 黒色細砂粒。 赤色粗砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	内:黒色 外:乳白 色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨 き、口縁部横ナデ。	1/4	埋土	内面黒色処理 摩耗が激し い。
2	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (2.9)	A 白色細砂粒 透明 細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨 き、体部外面ヘラ削り後一定 方向のヘラ磨き、口縁部横ナ デ後横方向のヘラ磨き。	1/9	床直No.32	漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (15.9) 器高 (3.4)	B 黒色細砂粒 白色 砂粒。 焼成良好	内:暗褐 色 外:褐色	E: 口縁部は短く つまみ上げ、体部 外面に弱い稜を有 する。	体部内面一定方向のヘラ磨 き、体部外面ヘラ削り後一定 方向のヘラ磨き、口縁部横ナ デ後内面横方向のヘラ磨き。	1/6	床直No.11	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 3.3	A 黒色細砂粒 赤色 粗砂粒 (鉄粒)。白 色細砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	G: 口縁部はやや 内傾し、体部外面 に稜を有する。	体部外面ヘラ削り、口縁部横 ナデ。	1/2	床直No.12	漆仕上げ 摩 耗が激しい。
5	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒 透明 細砂粒。白色細砂粒 を含む。 焼成良好	乳白色	I: 底部は平底 で、膨らみを持ち ながら立ち上がり、 口縁部でやや 外傾する。	口縁部から体部内面に横ナ デ、体部外面ヘラ削り。	1/5	埋土	黒斑

6	土師器 坏		A 赤色粗砂粒 (二次)。 焼成良好	乳白色	不明：	体部内面ナデ，体部外面ヘラ 削り。	底部	床直No.29	木炭痕 漆仕 上げ
7	土師器 高坏	器高 (5.6)	A 黒色細砂粒 黒色 砂粒。半透明粗砂粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	A1：脚部上半は 柱状，下半は大き く開く。	脚部内外面ヘラ削り。	脚部の 1/2	床直No.26	坏部内面剥離 が激しい。
8	土師器 高坏	器高 (6.2)	A 黒色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	A2：脚部は 「ハ」の字に開 く。	坏部内面ヘラ磨き，脚部内面 ヘラナデ，脚部外面ヘラ削り 後ヘラ磨き。	坏底部 ～脚上 部	床直No.38	黒斑
9	土師器 高坏	器高 (2.8)	A 黒色砂粒 白色砂 粒。黒色細砂粒を含 む。 焼成良好	内：黒色 外：淡褐 色	不明：	坏部内面ヘラ磨き，脚部内面 ヘラナデ，脚部外面ヘラ削 り。	坏底部	床直No.23	内面黒色処理 坏部内面剥離 が激しい。
10	土師器 甕	口径 (16.8) 器高 (16.0)	B 黒色細砂粒 透明 細砂粒。半透明粗砂粒 白色細砂粒を含む。 焼成良好	内：淡褐 色 外：暗褐 色	C1：口縁部は外 湾し，頸部外面下 端に弱い稜を有す る。胴部はやや張 る。	胴部内面上位ヘラナデ，中位 ヘラ削り，胴部外面ヘラ削 り，口縁部横ナデ。	1/7	床直No.35	黒斑
11	須恵器 壺		A 白色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	灰色		ロクロナデ。	破片	床直	ロクロ成形

第5表 SI02砥石観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)			材質	使用面	残存率	出土位置	備考	
		最大長	最大幅	最大厚						
12	砥石	9.0	5.9	5.0	370.0	泥岩	一面	不明	床直No.12	比較的大型

SI03



第11図 SI03断・遺物平面図

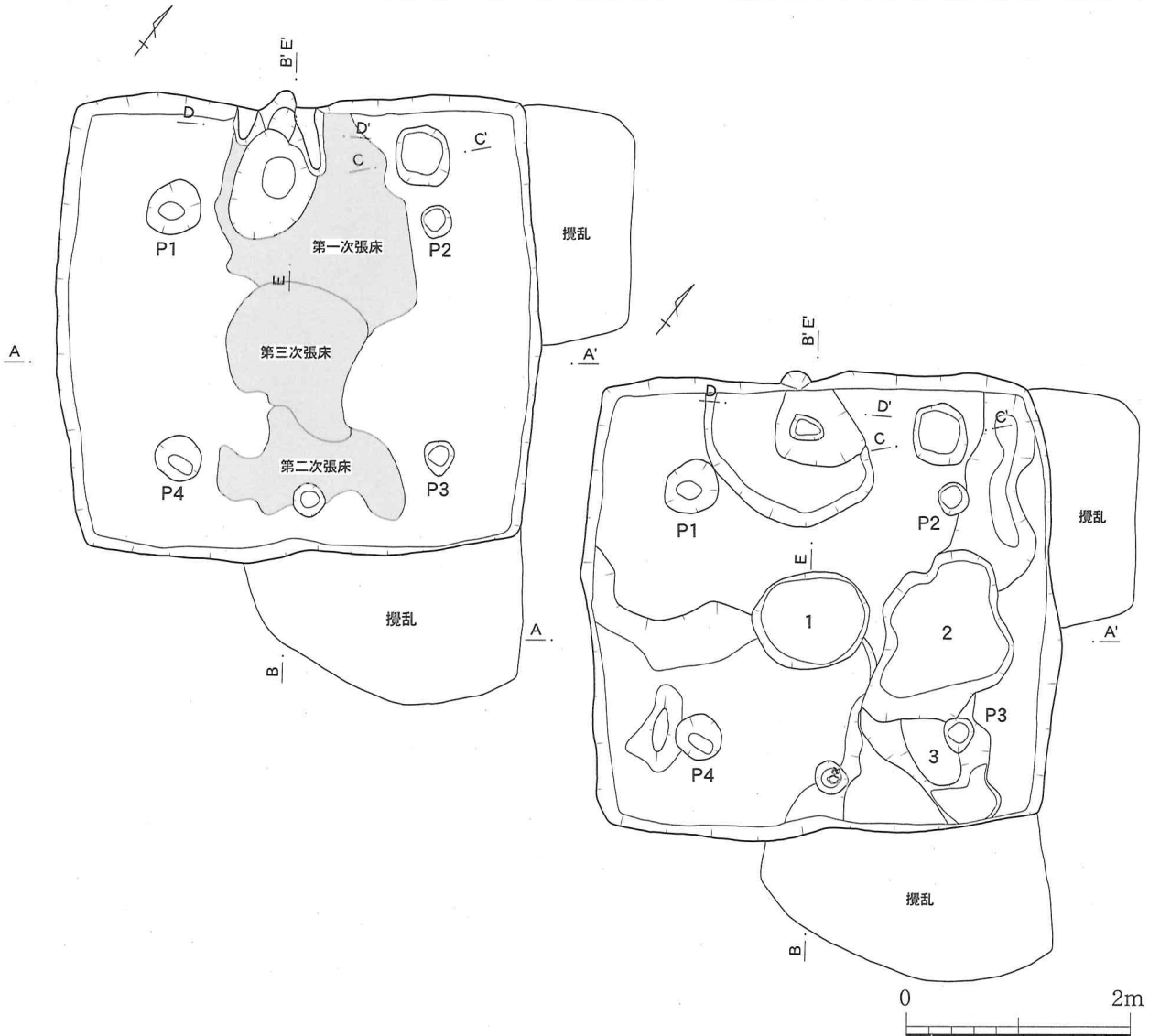
SI03

- | | | | |
|-----------|---|-------------|---------------------------------|
| 1 黒褐色土 | LR極微量、小IPB少量、微小SPB微量、硬く縮まっている | 12 暗淡褐色土II | 小IPB多量、小LB少量 |
| 2 淡褐色土 | LR・微小IPB少量、小IPBやや多量、小SPB少量 | 13 明淡褐色土 | LR・微小SPB少量、微小IPB多量 (人為埋土) (粘床層) |
| 3 暗褐色土 | LR微量、小IPB・微小IPB少量、小SPB・GR微量 | 14 暗褐色土III | LR・微小IPB少量 |
| 4 暗淡褐色土 | LR少量、小IPBやや多量、微小LB少量 | 15 暗黄褐色土II | LR多量、微小IPB少量 |
| 5 暗黄褐色土 | LR多量、小IPB・CR微量 | 16 明黄褐色土 | LR主体、微小IPB少量 |
| 6 黄褐色土 | LR多量、小LBやや多量、小IPB少量 | 17 黄褐色土II | LR多量、微小IPB少量 |
| 7 褐色土 | LRやや少量、小IPB少量、小SPB微量、CR少量、粘土R・
焼土R微量 | 18 暗淡黄褐色土 | LR・微小SPB少量、微小IPB微量 (人為埋土) |
| 8 黒色土 | LR・微小IPB微量 | 19 黒褐色土III | LR・微小IPB・微小SPB少量 (人為埋土) |
| 9 黒褐色土II | 小IPB微量、LR少量 | 20 暗褐色土III | LR・微小IPB・微小SPB少量 (人為埋土) |
| 10 暗褐色土II | 2cm位のIPBあり、IPB・LR少量 | 21 明淡褐色土II | LR多量、微小IPB・微小SPB・小LB少量 (人為埋土) |
| 11 淡褐色土II | 小IPB多量、1cm位のIPBあり、LB多量 | 22 暗淡黄褐色土II | LR・微小IPB少量 (人為埋土) |
| | | 23 明淡黄褐色土 | LR多量、微小IPB少量、微小SPB微量 (人為埋土) |
| | | 24 黒褐色土IV | LR・小IPB少量、微小IPB微量、淡褐色粘土少量 |

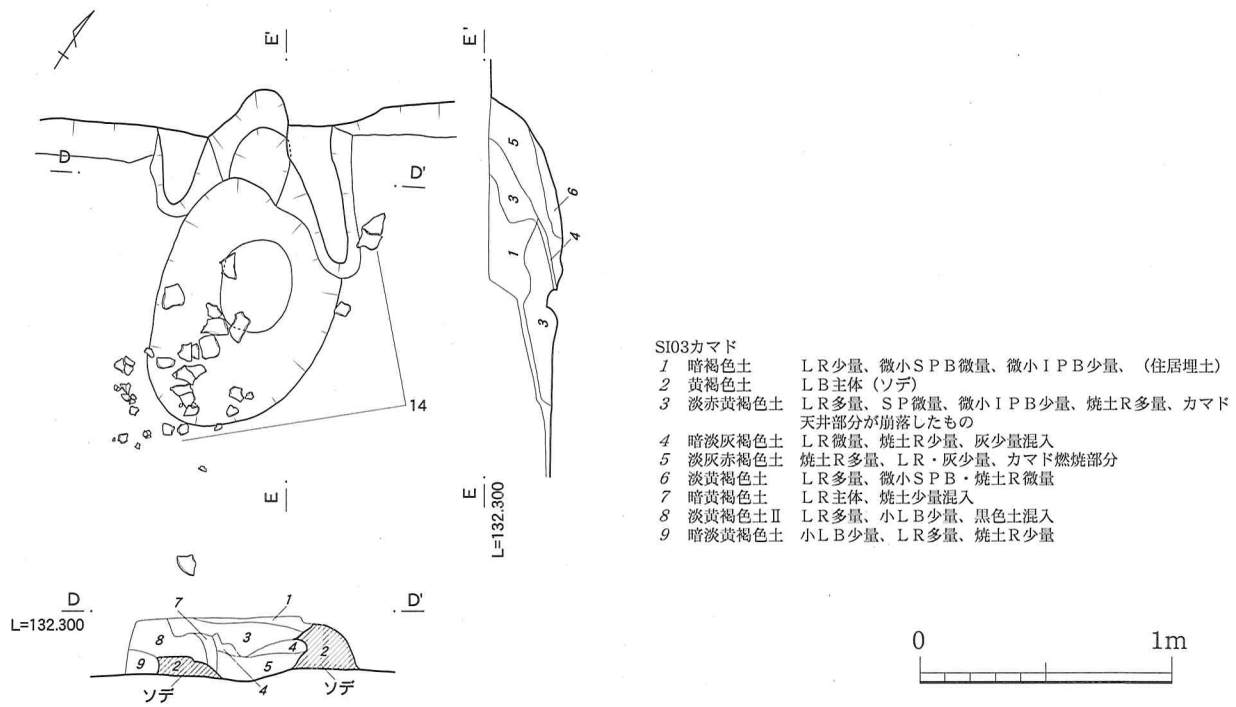
位置 ウ7F8杭付近。規模 東西4.2m×南北4.2m。主軸方向 N-37°-W 床面 概ね平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 3基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏8, 甕8, 甗2である。備考 南壁中央床にピット。

第6表 SI03床下土坑一覧表

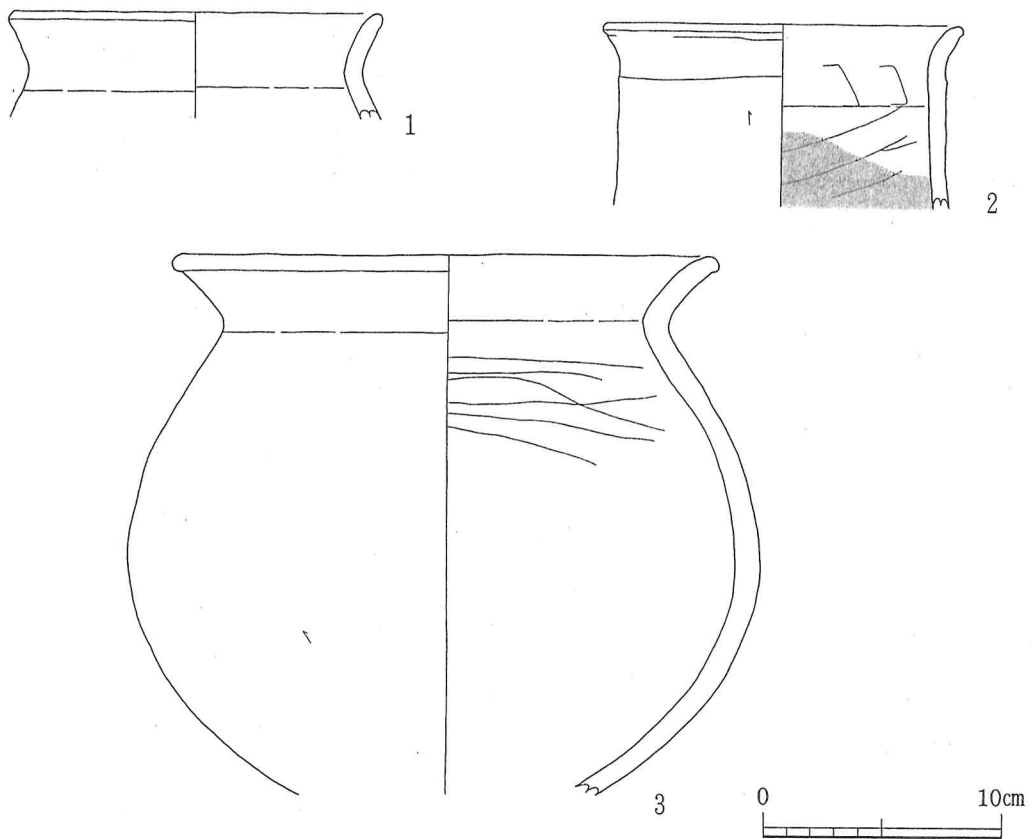
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.06	0.87	0.58	円形	平坦	ほぼ垂直	
2	1.74	1.05	0.47	不整形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	土坑3と重複、土坑2が新しい
3	1.35	0.85	-	不整形			



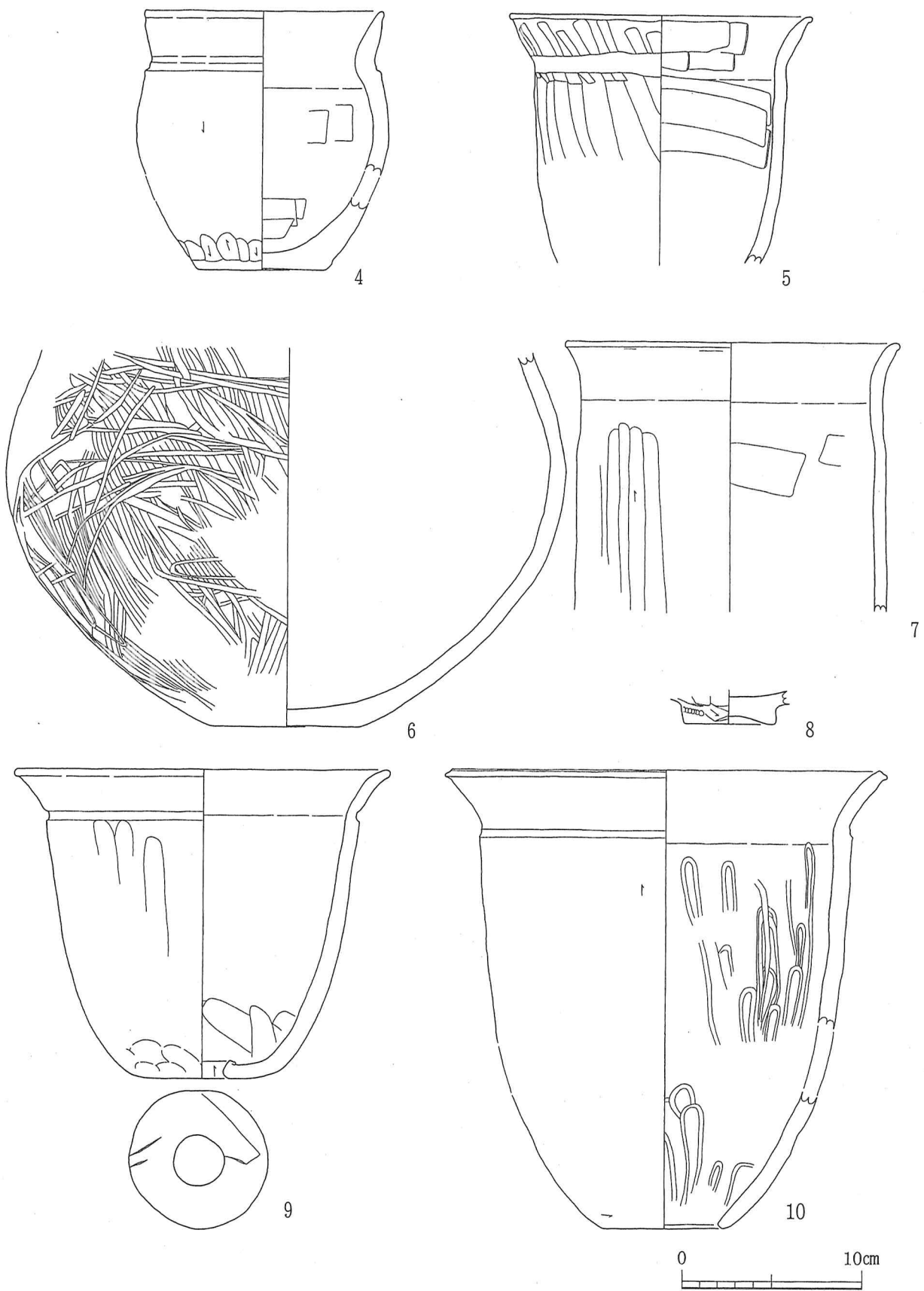
第12図 SI03平面図



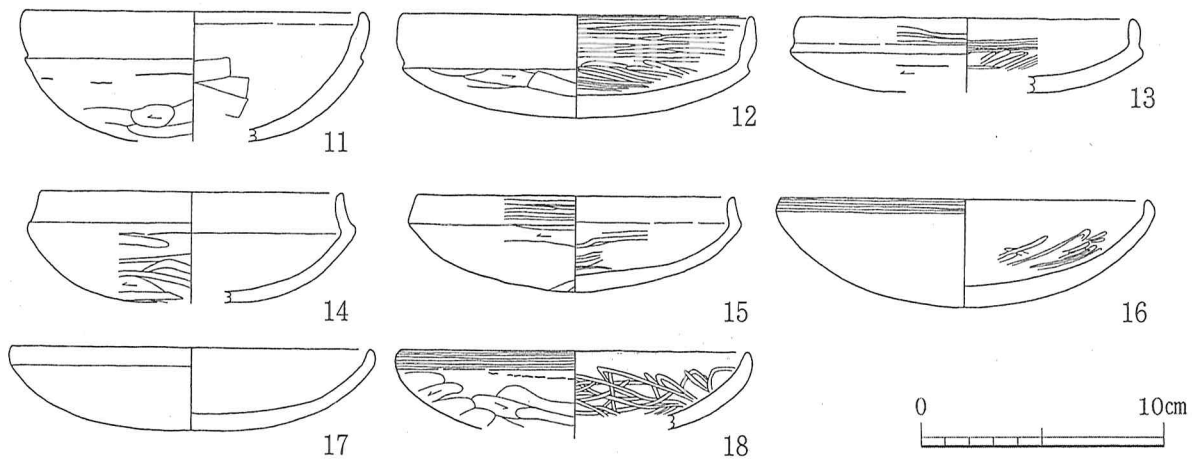
第13図 SI03カマド平・断・遺物平面図



第14図 SI03出土遺物実測図(1)



第15图 SI03出土遺物実測図(2)



第16図 SI03出土遺物実測図(3)

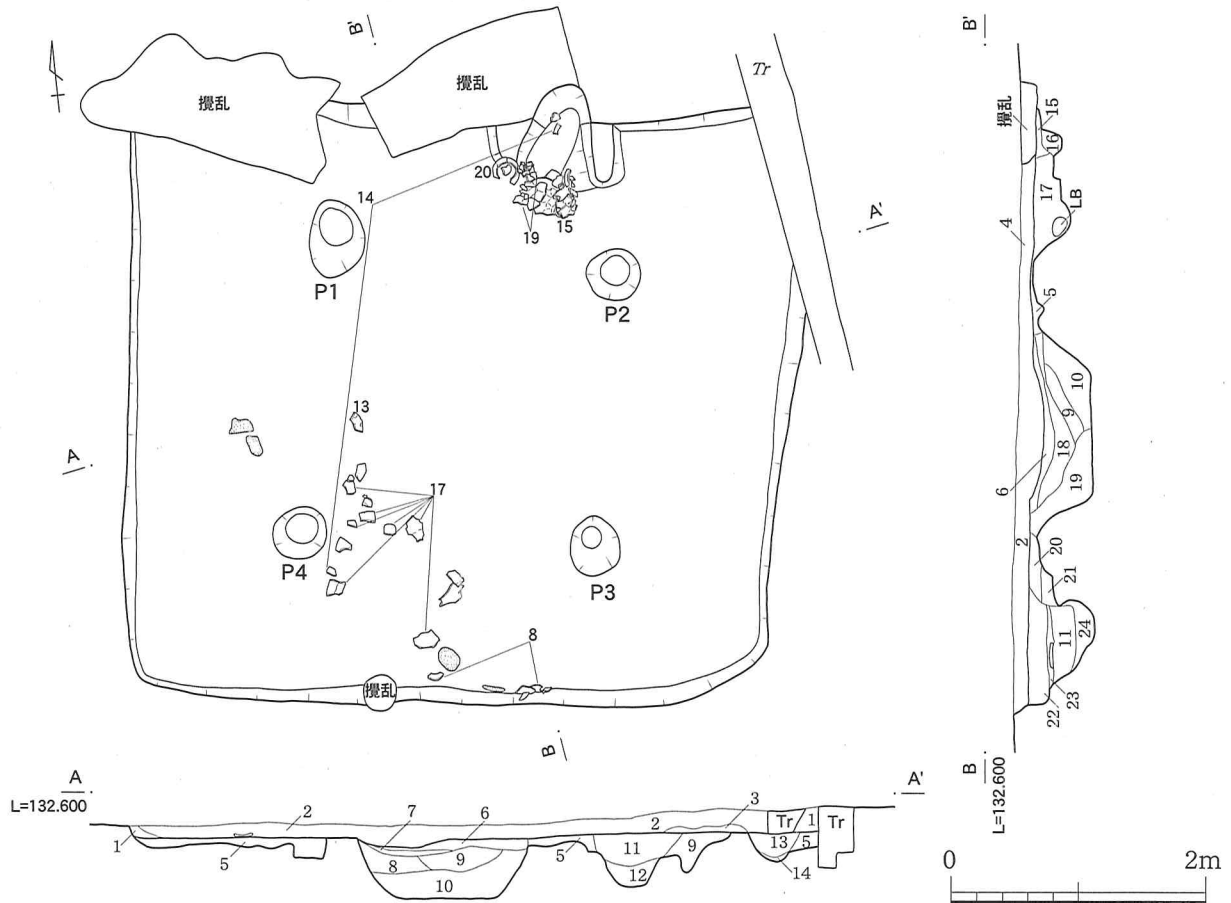
第7表 SI03土器観測表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 小型甕	口径 (14.8) 器高 (4.4)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	淡褐色	C1: 薄手。口縁部は「く」の字を呈する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4	床直No.1	
2	土師器 小型甕	口径 (14.8) 器高 (7.6)	A 黒色砂粒 白色砂粒。2~3 ^{mm} 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 薄手。口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は長胴ぎみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り一部ナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	口縁部の1/3	床直No.23	赤色付着物煤付着
3	土師器 甕	口径 (22.4) 器高 (22.2)	A 半透明粗砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	乳白色	A: 口縁部は「く」の字を呈し、端部で外側に丸く収まる。	胴部内面ヘラナデ、接合部斜め方向のヘラ削り、胴部外面上半ナデ、下半横方向のヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/3	床直No.5,33,34,36,52	内外面煤付着別作り
4	土師器 小型甕	口径 13.0 底径 7.0 器高 14.2	A 赤色粗砂粒 (一次) 黒色砂粒。 焼成良好	橙褐色	C1: 口縁部はやや外傾し、頸部外面下端に強い稜を有し、やや張りながらすばまる。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	9/10	床直No.20,25	
5	土師器 小型甕	口径 16.8 器高 (13.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾し、端部は外に巻き込む。胴部はやや長胴ぎみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ、口縁部ヘラナデ後横ナデ。	4/5	床直No.69	黒斑
6	土師器 甕	底径 (8.1) 器高 (20.5)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	内:褐色 外:黒色	A: 胴部中位に最大径を持ち、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	1/2	床直No.21,22,23,59,64,68	別作り
7	土師器 甕	口径 18.2 器高 (14.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色粗粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	橙褐色	D: 薄手。口縁部は緩やかに外湾し、頸部は長胴ぎみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	床直No.15,16	歪み有り。
8	土師器 甕	底径 5.0 器高 (1.8)	A 赤色砂粒 (鉄粒) 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	不明: 凹底。	胴部内面ヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	底部	床下	縄文 (一条)
9	土師器 甕	口径 (20.2) 底径 7.6 器高 17.0	A 黒色細砂粒 赤色砂粒 (鉄粒)。白色細砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	A2: 口縁部は緩やかに外湾し、頸部外面下端に強い稜を有しすばまってい。	胴部内面ナデ、下半に強いナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に5 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ。底部外面から穿孔。	2/3	床直No.2,8,19,27	単孔 輪積痕 黒斑
10	土師器 甕	口径 (23.8) 底径 (6.6) 器高 25.1	A 白色砂粒 白色粗砂粒。白色粗粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は外傾し端部で面取りされ、頸部外面下端に強い稜を有しすばまってい。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面縦方向のヘラ削り、底部付近のみ横方向のヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に5 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ。	2/3	床直No.25,27	筒抜け 輪積痕
11	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (5.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	乳白色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	3/5	床直No.24	輪積痕
12	土師器 坏	口径 14.6 器高 4.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.17,26	内面黒色処理

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
13	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.1)	A 白色砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/4	床直 No.40,46	漆仕上げ
14	土師器 坏	口径 (12.4) 器高 (4.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	床直No.37	漆仕上げ
15	土師器 坏	口径 (13.2) 器高 4.0	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:暗褐色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.31	
16	土師器 坏	口径 15.6 器高 4.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短くつまみ上げ、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.18	漆仕上げ
17	土師器 坏	口径 (14.9) 器高 3.5	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短くつまみ上げ、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	2/5	床直No.1	
18	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	黒褐色	E: 口縁部は短くつまみ上げ、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	1/3	床直No.31	輪積痕 漆仕上げ

SI04

位置 ウ8F4杭付近。規模 東西5.1m×南北4.7m。主軸方向 N-10°-E 床面 若干の凹凸がある。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 7基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏12, 埴1, 鉢2, 甕5である。



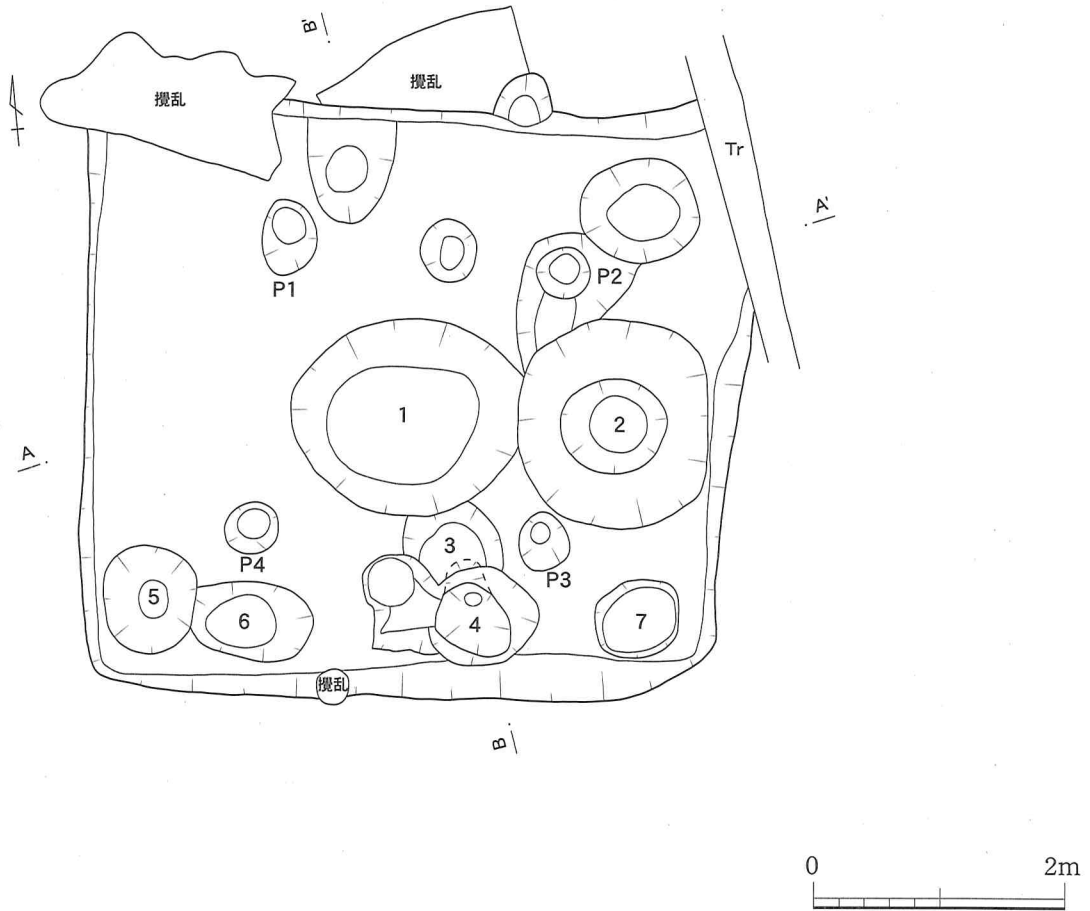
第17図 SI04断・遺物平面図

SI04

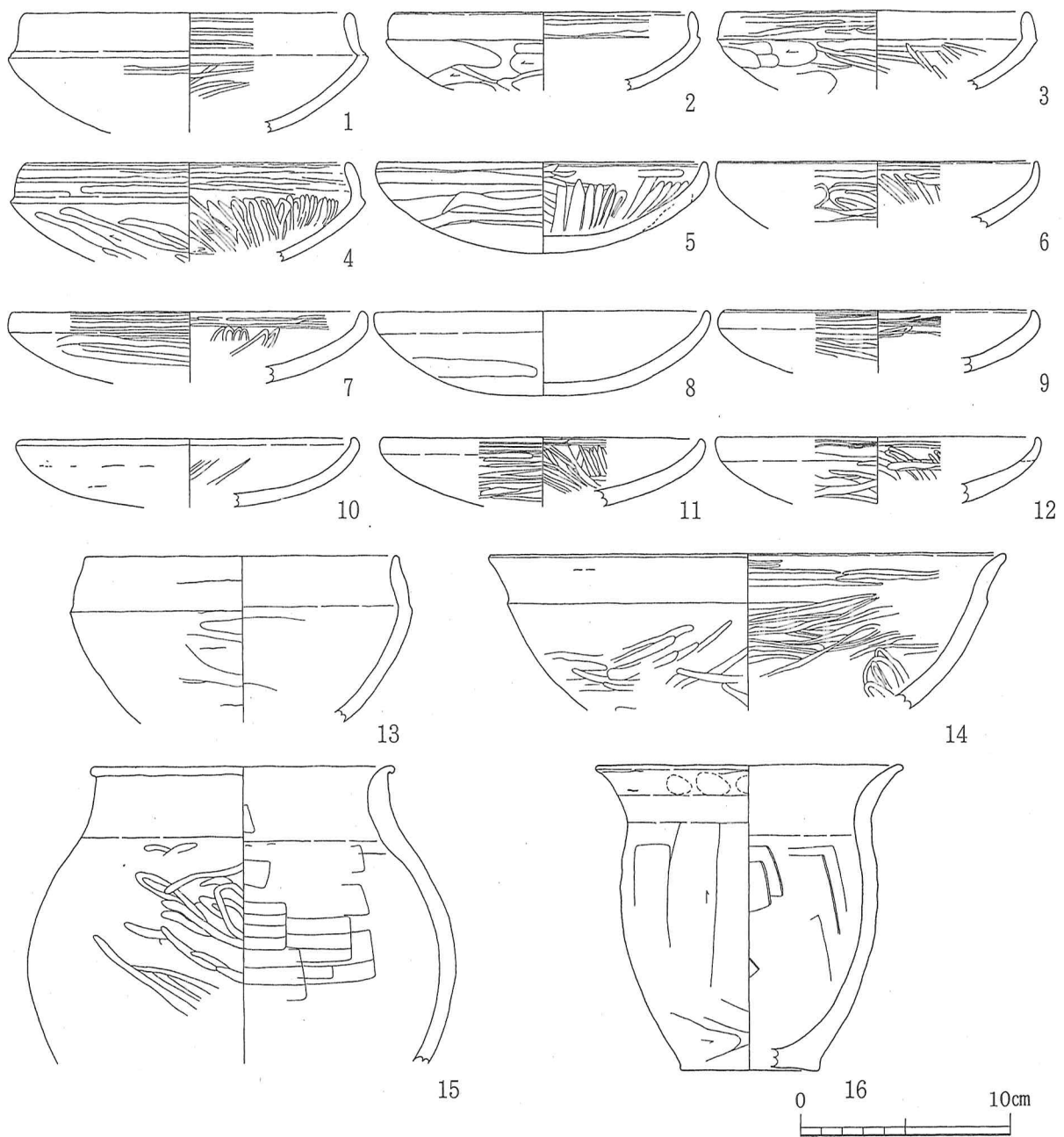
1 暗黄褐色土	LR多量、微小IPB少量	12 明褐色土	LR極多量、微小IPB・焼土R少量、CR微量
2 黒褐色土	LR・微小IPB・小IPB少量、小LB微量	13 暗橙褐色土	LR・微小IPB多量、黒色土混入
3 暗淡黄褐色土	LR多量、小IPB微量、焼土微量	14 黄褐色土	LR主体、黒色土微量均一混入
4 暗赤黄褐色土	LR多量、焼土・微小IPB少量	15 黒褐色土III	LR・微小IPB・焼土微量
5 暗黄褐色土II	小LB少量、LR多量、2~3cm大のIPB・微小IPB少量、小SPB微量、黒色土B混入	16 淡褐色土	LR主体、小IPB・焼土R少量
6 淡黄褐色土	LR多量、小IPB微量、微小IPB少量(硬い張床)	17 淡褐色土II	16層より焼土が増え、黒色土がブロック状に混入
7 明黄褐色土	LR極多量、小IPB微量、微小IPB少量(硬い張床)	18 暗黄褐色土V	2~3cm大のLB・LR多量、IPB・微小IPB少量
8 暗黄褐色土III	2~3cm大のLB微量、小LB少量、小IPB微量、微小IPB少量、微小SPB微量、LR多量	19 暗淡黄褐色土II	2~3cm大のLB少量、LR多量、IPB・微小IPB少量、黒色土少量混入
9 暗黄褐色土IV	8層よりLRが減る	20 暗褐色土	LR・微小IPB少量
10 黒褐色土II	2~3cm大のLB微量、LR・小IPB少量、微小IPB・小SPB微量	21 暗褐色土II	20層から黒色土が減り、焼土少量
11 褐色土	小LB微量、LR多量、微小IPB・焼土R少量	22 暗黄褐色土VI	5層に焼土B微量混入
		23 暗赤褐色土	焼土R極多量、LR少量
		24 暗赤褐色土II	焼土B・焼土R主体、LR少量

第8表 SI04床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.80	1.55	0.40	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	土坑2と重複、土坑2が新しい
2	1.65	1.50	-	円形			
3	0.85	0.65	0.18	不整形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	土坑1・4と重複、土坑3が古く土坑4が新しい
4	0.90	0.78	0.54	円形	丸底	やや開きながら立ち上がる	
5	0.85	0.70	-	円形			土坑6と重複、土坑5が新しい
6	0.96	0.60	-	楕円形			
7	0.75	0.65	-	円形			



第18図 SI04平面図

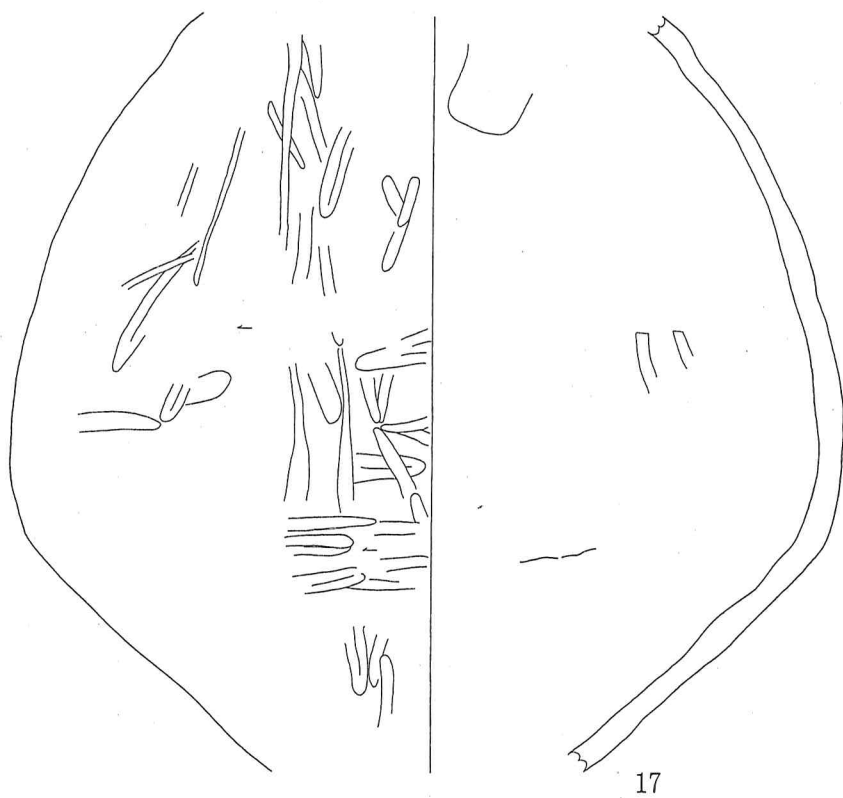


第19図 SI04出土遺物実測図(1)

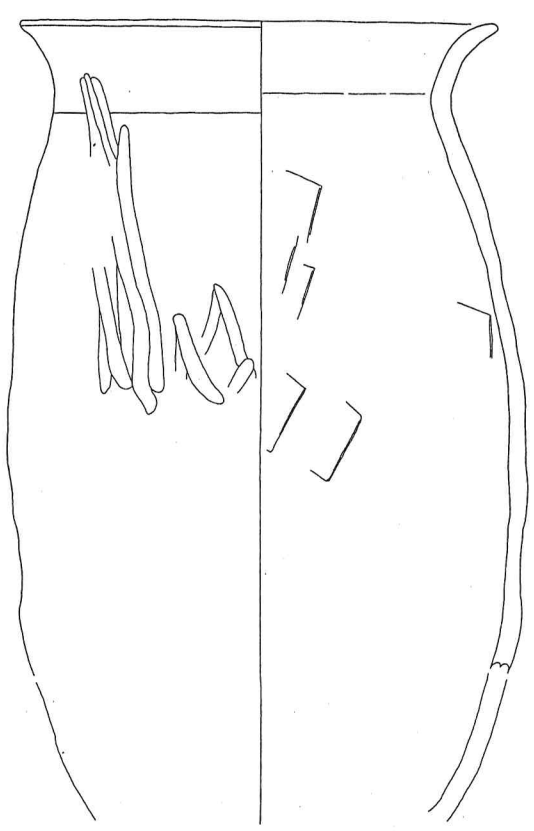
第9表 SI04土器観測表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (14.8) 器高 (5.6)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。透明細砂粒 を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部内面横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に5°幅の工具による強いヘラナデ。	1/6	出入口P	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (14.1) 器高 (3.7)	A 赤色砂粒 (二次) 黒色細砂粒。透明細 砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	

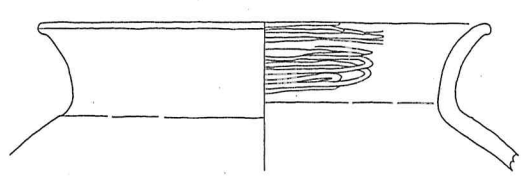
3	土師器 坏	口径 (14.2) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 透明細砂粒 黒色細砂粒。焼成良好	橙褐色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後外面横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き。	2/5	床下	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 15.0 器高 (4.6)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き。	2/5	床下	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 4.3	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	乳白色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗い不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	中央土坑	漆仕上げ 輪積痕
6	土師器 坏	口径 (15.2) 器高 (3.1)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/8	床下	輪積痕
7	土師器 坏	口径 (16.3) 器高 (3.4)	A 白色砂粒 半透明砂粒。半透明粗砂粒を含む。焼成良好	乳白色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/3	床下	
8	土師器 坏	口径 15.7 器高 4.0	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	3/4	床直 No.15,18	輪積痕 漆仕上げ
9	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 (3.0)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	内:黒色 外:褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/5	床下	内面黒色処理
10	土師器 坏	口径 (15.3) 器高 (3.2)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面横ナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/4	出入口P	輪積痕
11	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (3.2)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/6	床下	輪積痕
12	土師器 坏	口径 (15.1) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/5	床下	漆仕上げ
13	土師器 埴	口径 (14.6) 器高 (7.9)	A 白色砂粒 黒色砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	褐色	C: 口縁部は内傾し端部で直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/8	床直No.1	輪積痕
14	土師器 鉢	口径 (24.6) 器高 (7.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。2~4 ^号 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は外傾する。	口縁部横ナデ後内面のみに横方向のヘラ磨き、体部内面ナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後不定方向のヘラ磨き。	1/5	床直No.8,21	輪積痕
15	土師器 鉢	口径 (13.8) 器高 (14.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	D2: 口縁部は内傾しながら立ち端部で外に摘ままれる。体部は中位に最大径を持つ。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	床直No.25 竈	輪積痕
16	土師器 小型甕	口径 (14.4) 底径 (6.6) 器高 14.4	A 黒色細砂粒 黒色砂粒。2~3 ^号 大粗粒を含む。焼成良好	褐色	D: 口縁部は外傾し、胴部はやや張りながらすぼまる。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面縦方向のヘラ削り、底部外面付近横方向のヘラ削り、口縁部横ナデ後外面に指押さえ。	2/3	床下	輪積痕 煤付着



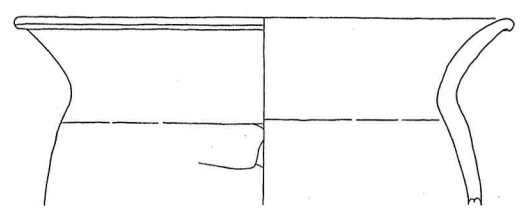
17



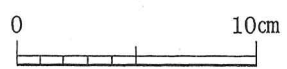
19



18



20

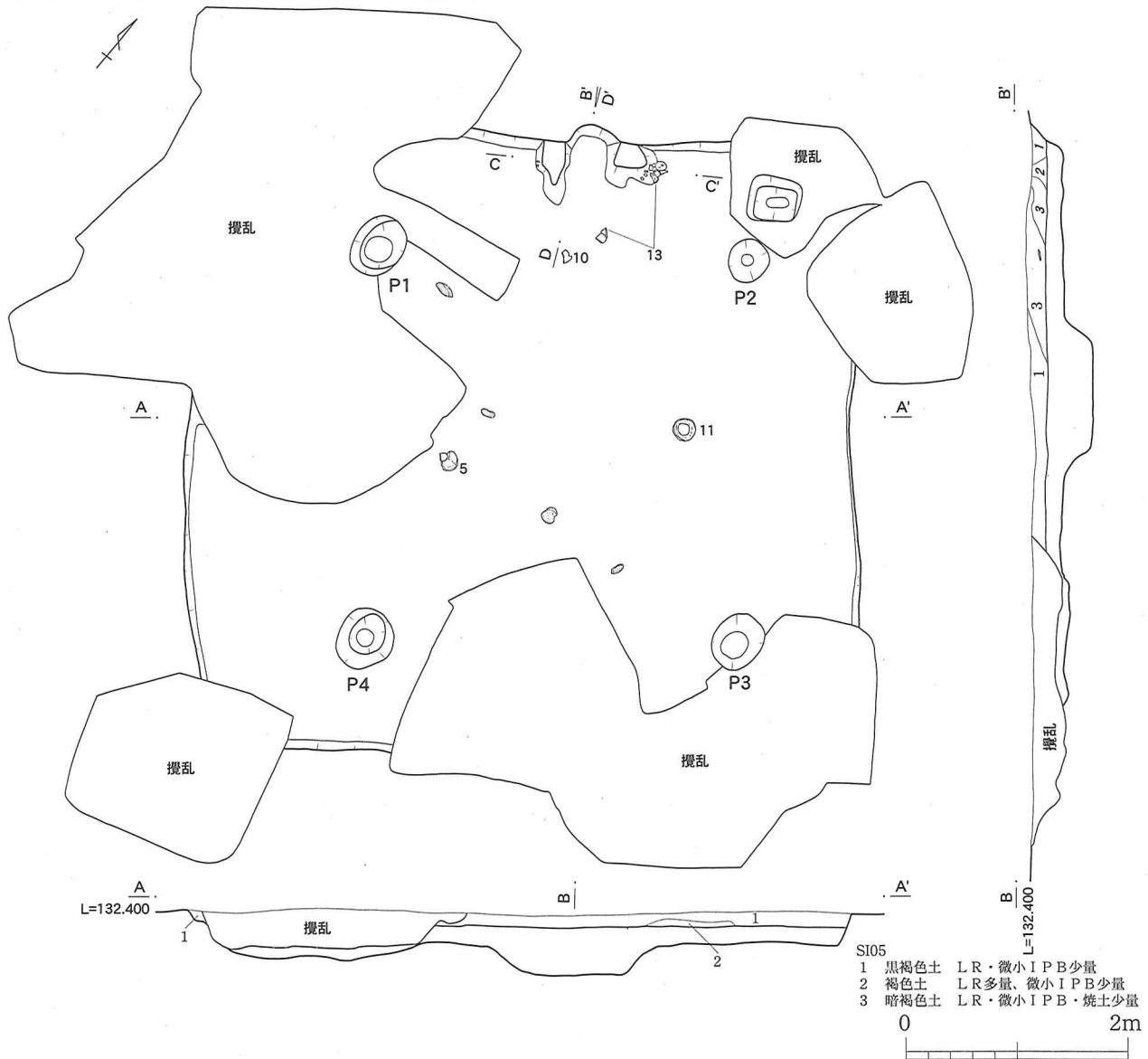


第20図 SI04出土遺物実測図(2)

17	土師器 甕	器高 (31.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 赤色砂粒 (二次)。3~5 ^{mm} 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	A: 胴部は中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面上半にヘラナデ, 下半に斜め, 横方向のヘラ削り後全体にヘラ磨き。	1/2	床直 No.3,5,6,9, 10,11,14	輪積痕 煤付着 別作り 胴部下半摩耗が激しい。
18	土師器 甕	口径 (18.7) 器高 (5.5)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 赤色砂粒 (二次)。焼成良好	暗褐色	B: 口縁部は外湾し, 頸部外面下端に弱い稜を有する。	胴部内外面ヘラナデ, 口縁部横ナデ後内面の方に横方向のヘラ磨き。	口縁部の 1/2	床下	
19	土師器 甕	口径 (19.4) 器高 (27.0)	A 白色細砂粒 透明細砂粒 黒色細砂粒。焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は外湾し, 胴部はやや張りながらすぼまる。	口縁部横ナデ, 胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラ削り後上半ヘラ磨き。	3/4	床直 No.22,24 竈	煤付着
20	土師器 甕	口径 (20.6) 器高 (7.8)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色粗砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は「く」の字を呈し, 端部で外に摘まれる。	胴部内外面ヘラナデ, 口縁部内面に横ナデ, 外面に縦方向のヘラナデ後横ナデ。	口縁部	床直No.26	輪積痕

SI05

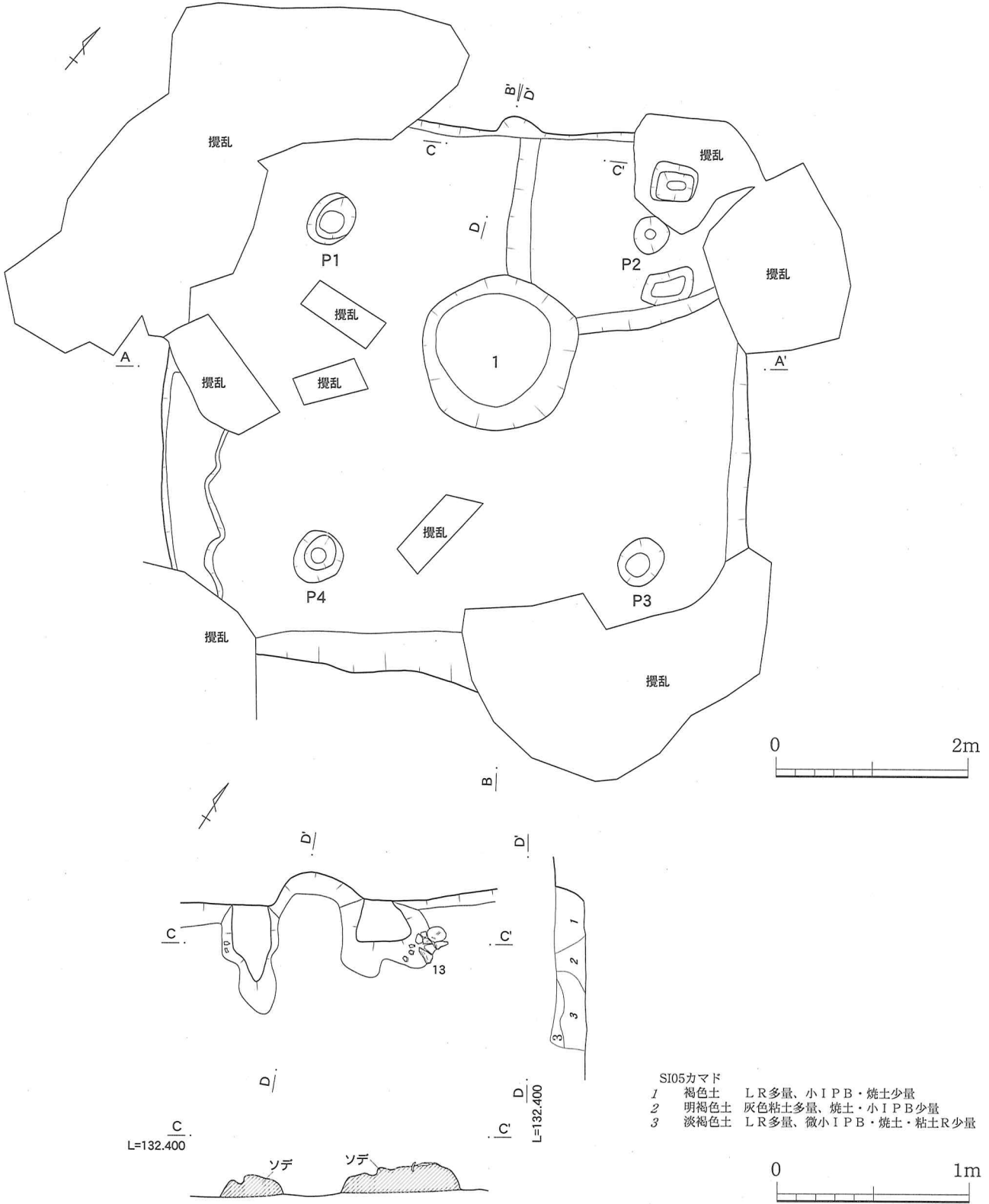
位置 ウ7F5杭付近。規模 東西6.0m×南北5.6m。主軸方向 N-36°-W 床面 概ね平坦。壁 開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏10, 甕4, 須恵器甕1, 甕口縁1である。



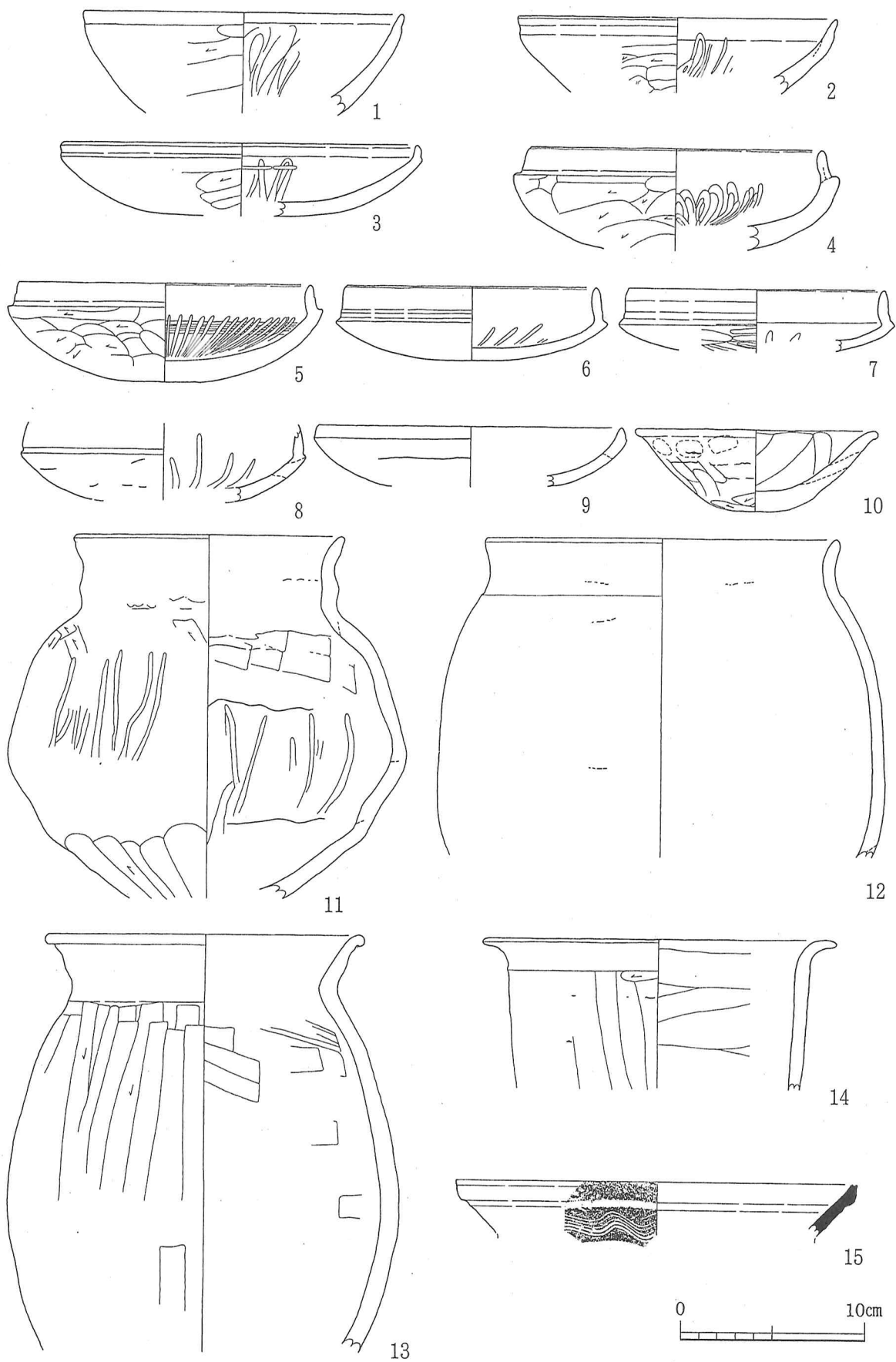
第21図 SI05断・遺物平面図

第10表 SI05床下土坑一覧表

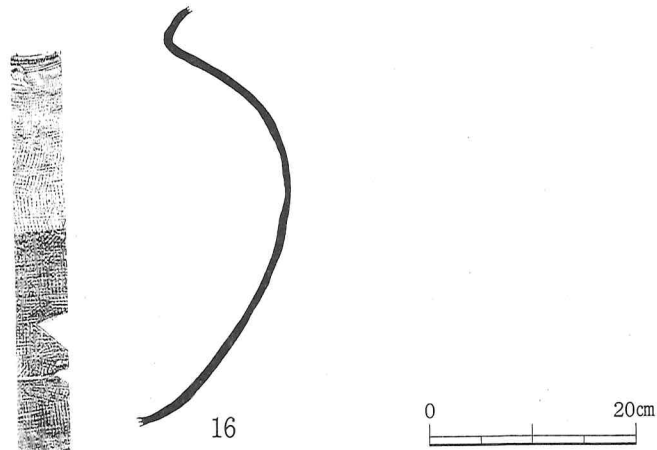
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.66	1.61	0.42	円形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	



第22図 SI05平・カマド平・断・遺物平面図



第23图 SI05出土遺物実測図(1)



第24図 SI05出土遺物実測図(2)

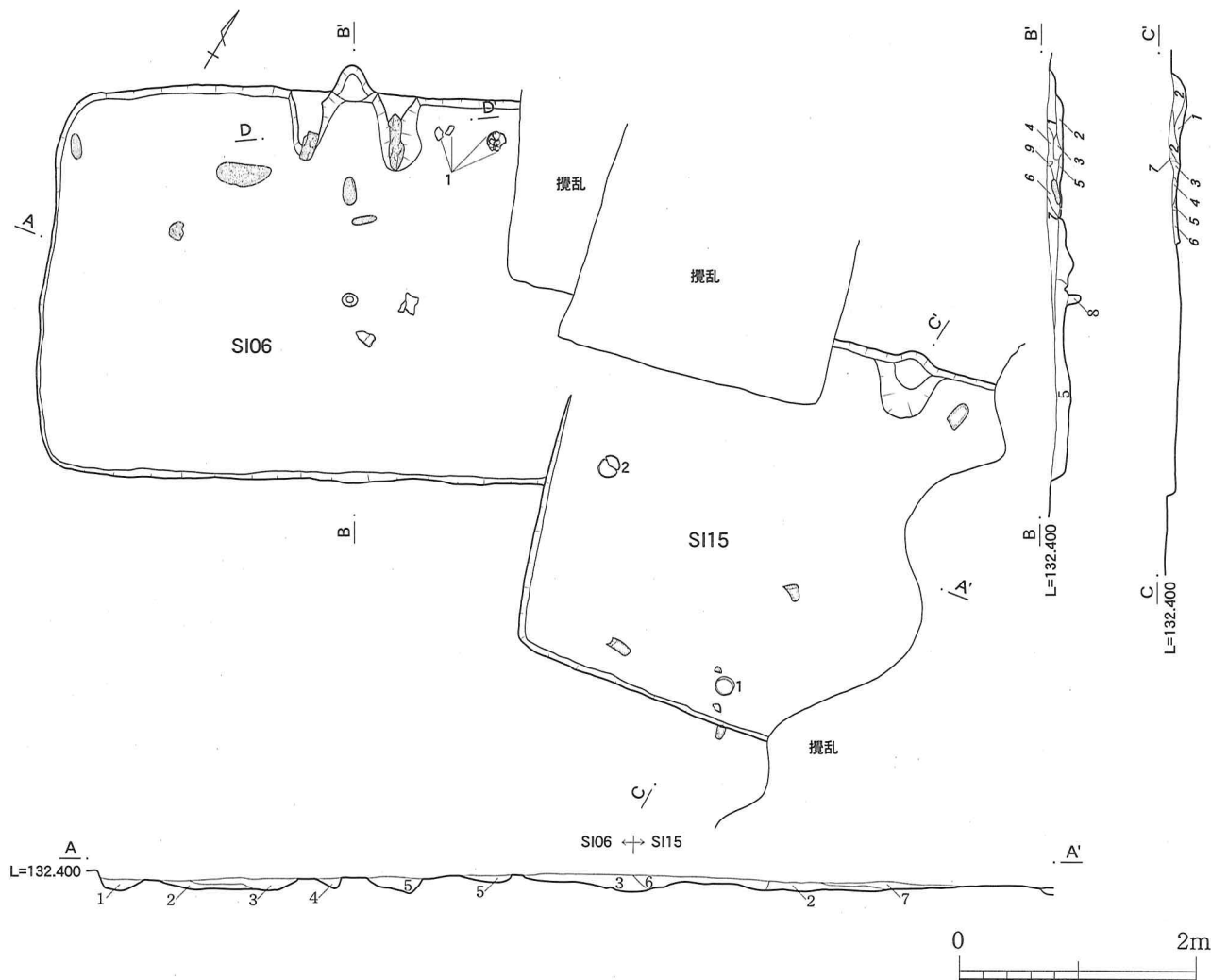
第11表 SI05土器観察表

No.	器種	寸法(・)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (17.0) 器高 (5.4)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	暗褐色	B:口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/8	埋土	
2	土師器 坏	口径 (17.4) 器高 (4.0)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	B:口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/9	埋土	
3	土師器 坏	口径 (19.0) 器高 (3.9)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	暗褐色	C:口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に4・幅の工具による強いヘラナデ。	1/5	埋土	
4	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 (5.4)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色粗砂粒(二次)を含む。焼成良好	暗褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	埋土	
5	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 5.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き後放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.4	漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (13.5) 器高 4.0	A 透明細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	黒褐色	D:口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に4・幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	埋土	漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.3)	A 透明細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	内:黒色 外:黒褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に4・幅の工具による強いヘラナデ。	1/9	埋土	漆仕上げ
8	土師器 坏	口径 (14.3) 器高 (4.1)	A 透明細砂粒 赤色砂粒(二次)。焼成良好	暗褐色	D:口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗い不定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に3・幅の工具による強いヘラナデ。	1/5	埋土	漆仕上げ 輪積痕
9	土師器 坏	口径 (16.4) 器高 (3.2)	B 黒色細砂粒 白色砂粒 半透明細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	淡褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	床下	輪積痕
10	土師器 坏	口径 (12.8) 器高 4.4	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	橙褐色	その他:口縁部は大きく外傾し、端部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後底部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.2	輪積痕 指押さえ
11	土師器 小型甕	口径 14.2 器高 (19.5)	A 黒色細砂粒 白色砂粒 半透明粗砂粒。赤色粗粒(鉄粒) 透明細砂粒を含む。焼成良好	橙褐色	B:口縁頸部に段状の膨らみを持ち、端部で外傾する。胴部中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ後粗いヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ、下端の接合部に強いナデ。	4/5	床直No.3	輪積痕 黒斑別作り

12	土師器 甕	口径 (19.0) 器高 (17.0)	A 黒色細砂粒 白色 砂粒 透明細砂粒。赤 色砂粒 (二次) を含 む。 焼成良好	乳白色	C1: 口縁部は緩 やかに外湾し、頸 部外面下端に稜を 有する。胴部中位 に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、口縁部横 ナデ。	1/5	埋土	輪積痕 煤付 着 摩耗が激 しい。
13	土師器 甕	口径 (16.6) 器高 (22.2)	B 黒色細砂粒 白色 細砂粒。透明細砂粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は 「く」の字を呈 し、胴部はやや張 りがありすばま る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.1 竈No.1	輪積痕 煤付 着 偶発的と思 われるヘラ による沈線 別作り
14	土師器 甕	口径 (18.4) 器高 (8.0)	A 白色細砂粒 透明 細砂粒。赤色粗粒 (一次) を含む。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は外湾 し、頸部外面下端 に稜を有する。胴 部は長胴ぎみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部 の1/6	埋土	輪積痕 煤付 着
15	須恵器 甕	口径 (21.6) 器高 (2.8)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。黒色粗粒を 含む。 焼成良好	青灰色	口縁部は外傾す る。	口縁部横ナデ、波状文。	口縁部 の1/12	床下	
16	須恵器 甕	器高 [37.4]	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。白色粗粒を 含む。 焼成良好	青灰色	口縁部は「く」の 字を呈し、胴部上 半に最大径をも つ。	胴部内面同心円の叩き押さえ 後ヘラナデ、胴部外面平行叩 き後カキ目、口縁部から胴部 上半内面に横ナデ。	1/4	埋土	自然釉付着

SI06

位置 ウ7F3杭付近。規模 東西4.3m×南北3.2m。主軸方向 N-28°-W 床面 概ね平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器甕2である。備考 SI15に切られる。



第25図 SI06・SI15平・断・遺物平面図

SI15

- 1 暗黄褐色土 LR少量、微小IPB多量、小IPB少量
- 2 明黄褐色土 LB多量、微小IPB・小IPB少量
- 3 褐色土 LR・微小IPB・小IPB少量、小SPB微量
- 4 明褐色土 LR微量、微小IPB少量、小IPB極微量、微小SPB少量
- 5 褐色土II LR・微小IPB・小IPB少量、小SPB・小粘土微量
- 6 褐色土III LB・LR少量、小IPB・小SPB微量
- 7 暗黄褐色土II 1層よりLRが多い
- 8 暗橙褐色土 LR少量、小IPB・微小IPB多量、微小SPB微量

SI06カマド

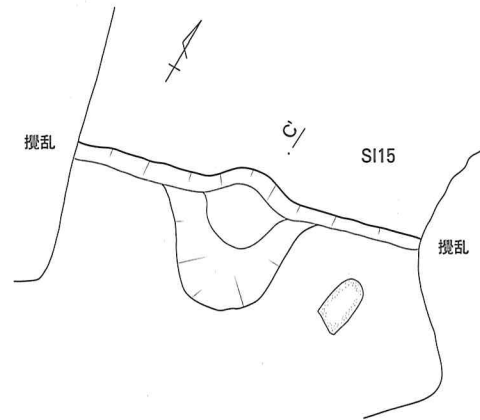
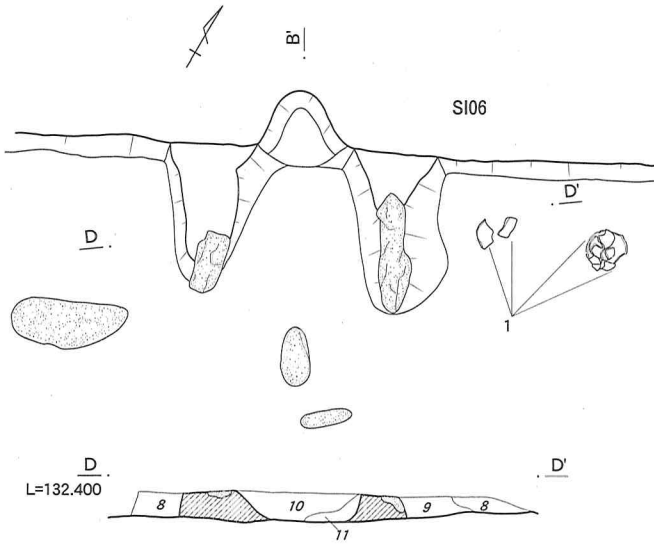
- 1 黒褐色土 LR・微小IPB少量
- 2 暗黄褐色土 LB少量、LR多量、微小IPB少量、小SPB微量
- 3 暗褐色土 LR・小IPB・焼土R少量、粘土B含む
- 4 暗黄褐色土II LR多量、小IPB微量、焼土R少量

SI15カマド

- 1 淡黄褐色土 LB・LR多量、焼土B少量(張床)
- 2 暗赤褐色土 焼土・LR多量、C少量、黒色土混入
- 3 淡赤褐色土 焼土R・LR多量、黒色土混入
- 4 暗褐色土 LR・焼土R少量
- 5 暗黄褐色土 LB微量、LR多量、焼土R微量
- 6 褐色土 小LB・焼土・LR少量
- 7 暗赤褐色土II 2層よりLRが多い

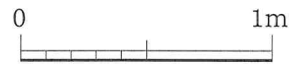
SI15

位置 ウ8F3杭付近。規模 東西3.3m×南北3.4m。主軸方向 N-15°-E 床面 若干の凹凸がある。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏2である。備考 SI06を切る。

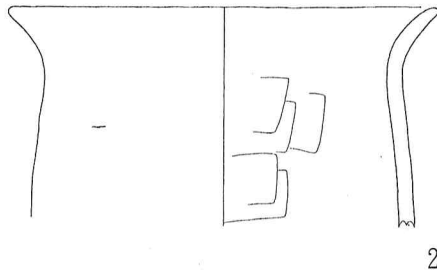
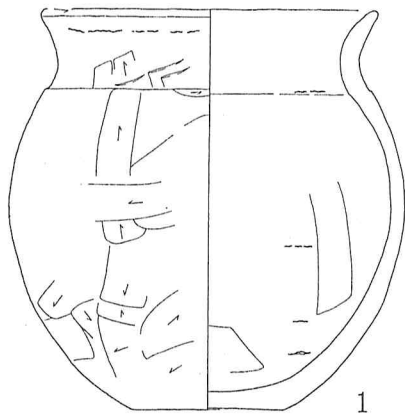


SI15カマド

- 8 黒褐色土II LR少、IP少
- 9 暗黄褐色土 LB少、LR多、IPR少、少SPB微
- 10 暗褐色土III LR少、少IPB少、焼土R少、粘土B含む
- 11 暗黄褐色土II LR多、少IPB微、焼土R少



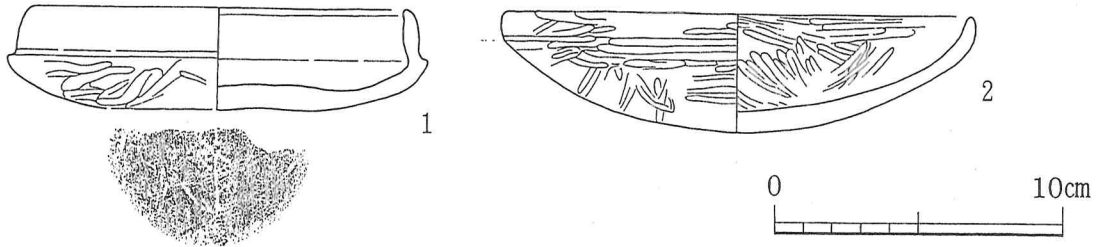
第26図 SI06・SI15カマド平・断・遺物平面図



第27図 SI06出土遺物実測図

第12表 SI06土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 小型甕	口径 13.4 底径 6.2 器高 16.5	A 赤色粗砂粒 (鉄粒) 黒色細砂粒。 焼成良好	橙褐色	A: 口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直 No.1,2,3,4 竈	摩耗が激しい。
2	土師器 甕	口径 (17.6) 器高 (9.0)	B 黒色細砂粒 半透明砂粒。 焼成良好	乳白色	D: 口縁部は外傾し、胴部はやや張りがありすばまる。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/8	床直	輪積痕 煤付着 剥離が激しい。

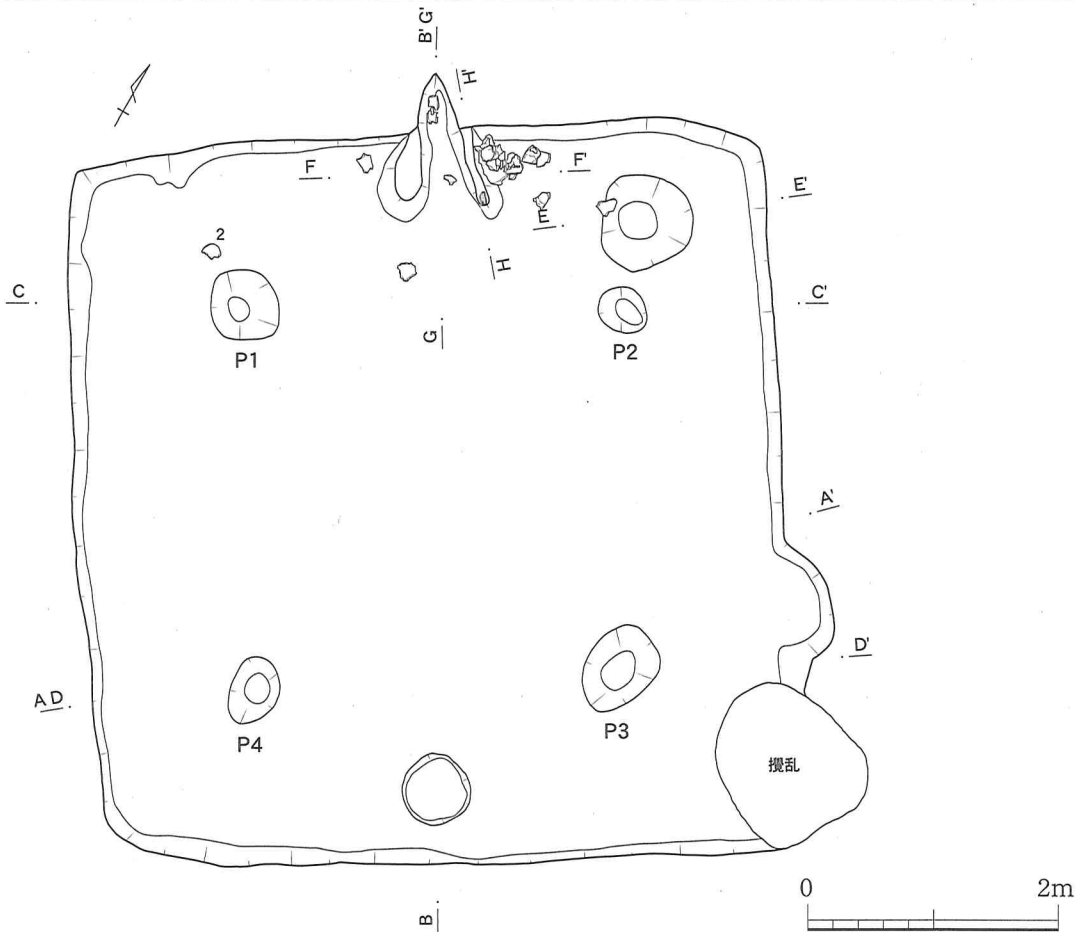


第28図 SI15出土遺物実測図

第13表 SI15土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 12.9 器高 3.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、口縁端部が上方へつまみ上げられ、内面に稜を有する。平底。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.3	木葉痕
2	土師器 杯	口径 16.2 器高 4.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	内: 黒色 外: 暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き。	完形	床直No.1	黒色処理

SI07

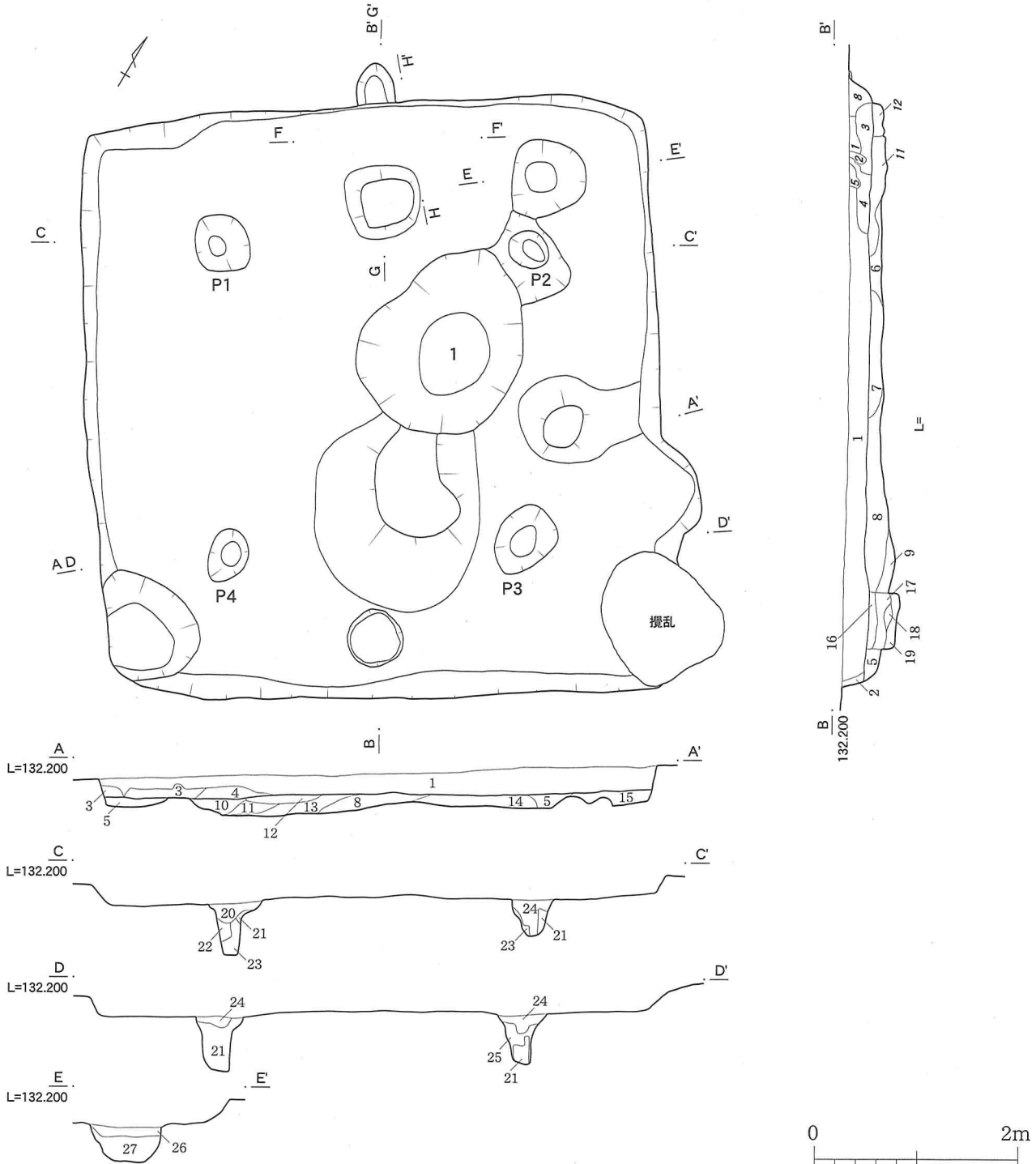


第29図 SI07遺物平面図

位置 ウ5F4杭付近。規模 東西5.6m×南北5.8m。主軸方向 N-35°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器環2、鉄滓1である。備考 南壁中央床にピット。

第14表 SI07床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.87	1.62	-	楕円形			

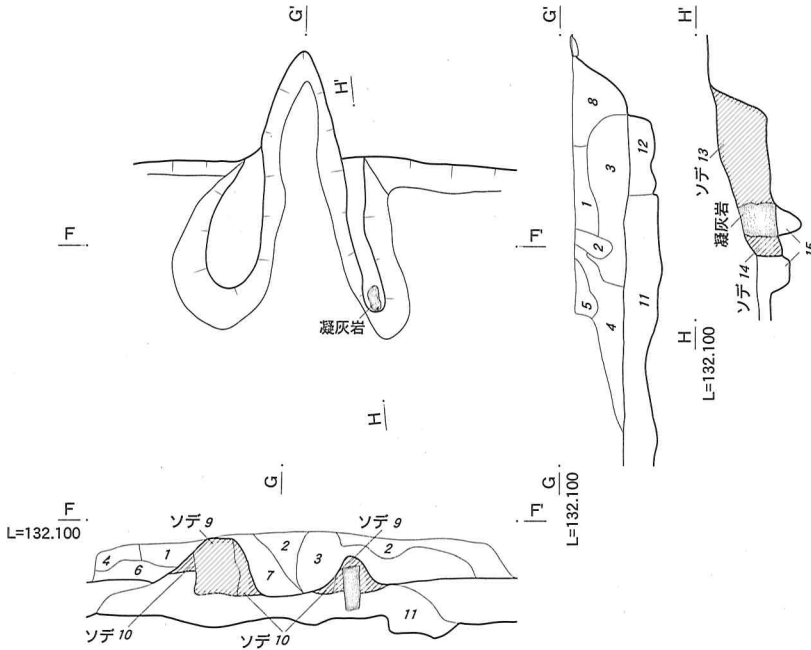


第30図 SI07平・断面図

SI07

- 1 黒褐色土 LR・微小IPB微量、小IPB少量、小SPB微量
- 2 橙褐色土 LR・微小IPB多量、小IPB微量、小粘土B極微量
- 3 暗褐色土 LR少量、微小IPBやや多量、小SPB・小粘土B微量
- 4 暗黄褐色土 LR多量、小IPB少量、小SPB・微小IPB微量
- 5 暗橙褐色土 II LR少量、微小IPB多量、小IPB・小SPB・小LB微量
- 6 淡黄褐色土 LR主体、IPB少量、小IPB・LB微量、黒色土少量混入
- 7 暗淡黄褐色土 LR多量、小LB少量、1cm大のIPB多量、微小IPB微量
- 8 暗褐色土 LR多量、2cm大のIPB少量、SPB微量
- 9 黒褐色土 II LR少量、小IPB・小SPB微量
- 10 暗橙褐色土 III LR少量、小LB・小IPB・微小IPB微量
- 11 暗褐色土 IV 10層にLRが増える
- 12 淡黄褐色土 LR主体、小LB微量、微小IPB少量
- 13 淡黄橙褐色土 II 12層に黒色土が微量混入

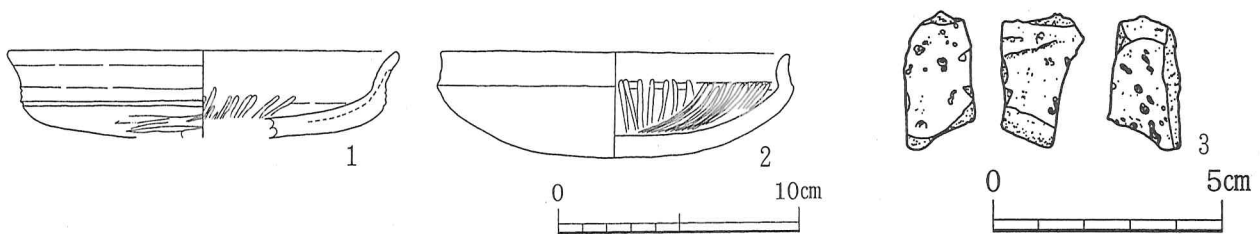
- 14 暗淡黄褐色土 II LR多量、小LB・小IPB・微小IPB微量
- 15 暗橙褐色土 V 5層から小SPBと小LBがなくなる
- 16 暗褐色土 LR・LB・微小IPB・小IPB・SPB微量
- 17 暗淡褐色土 II LR・微小IPB少量、小IPB微量、小SPB極微量
- 18 明黄褐色土 LR主体、微小IPB少量
- 19 明黄褐色土 LR主体、微小IPB微量
- 20 黒褐色土 III LR少量、微小IPB微量
- 21 暗黄褐色土 II LR多量、微小IPB微量
- 22 暗黄褐色土 III LR多量、微小IPB微量、21層より明るい
- 23 暗黄橙褐色土 LR少量、微小IPB多量
- 24 暗褐色土 II LR少量、小IPB・SPB微量
- 25 淡黄褐色土 II LR極多量、微小IPB微量、小IPB少量、小SPB微量
- 26 暗褐色土 III LR少量、微小IPB・IPB微量
- 27 暗黄褐色土 IV LR多量、小LB微量、微小IPB多量、小IPB少量、柔らかい層



SI07カマド

- 1 暗淡褐色土 LR少量、微小IPB微量
- 2 暗褐色土 LR・微小IPB微量
- 3 暗淡黄褐色土 LR少量、小LB微量、微小IPB・小IPB少量、微小SPB微量
- 4 淡黄褐色土 LR多量、小LB・微小IPB少量、小IPB微量
- 5 暗褐色土 II LR少量、微小IPB微量
- 6 暗黄赤褐色土 LR少量、焼土R多量、小焼土B
- 7 暗褐色土 焼土R・小焼土B多量、LR微量
- 8 暗黄褐色土 LR多量、小IPB少量、小LB微量、微小IPB少量
- 9 黄褐色土 L主体、焼土R少量(ソデ)
- 10 淡黄赤褐色土 LR・焼土R多量(ソデ)
- 11 暗褐色土 III LR・LB少量、微小IPBやや多量、小IPB少量、小SPB微量(張床)
- 12 暗褐色土 IV 11層に焼土が加わる
- 13 黄褐色土 II LR主体、小IPB少量(ソデ)
- 14 暗黄褐色土 II LR多量、小IPB微量(ソデ)
- 15 暗褐色土 V LR微量、LB・微小IPB少量(張床)

第31図 SI07カマド平・断面図



第32図 SI07出土遺物実測図

第15表 SI07土器観察表

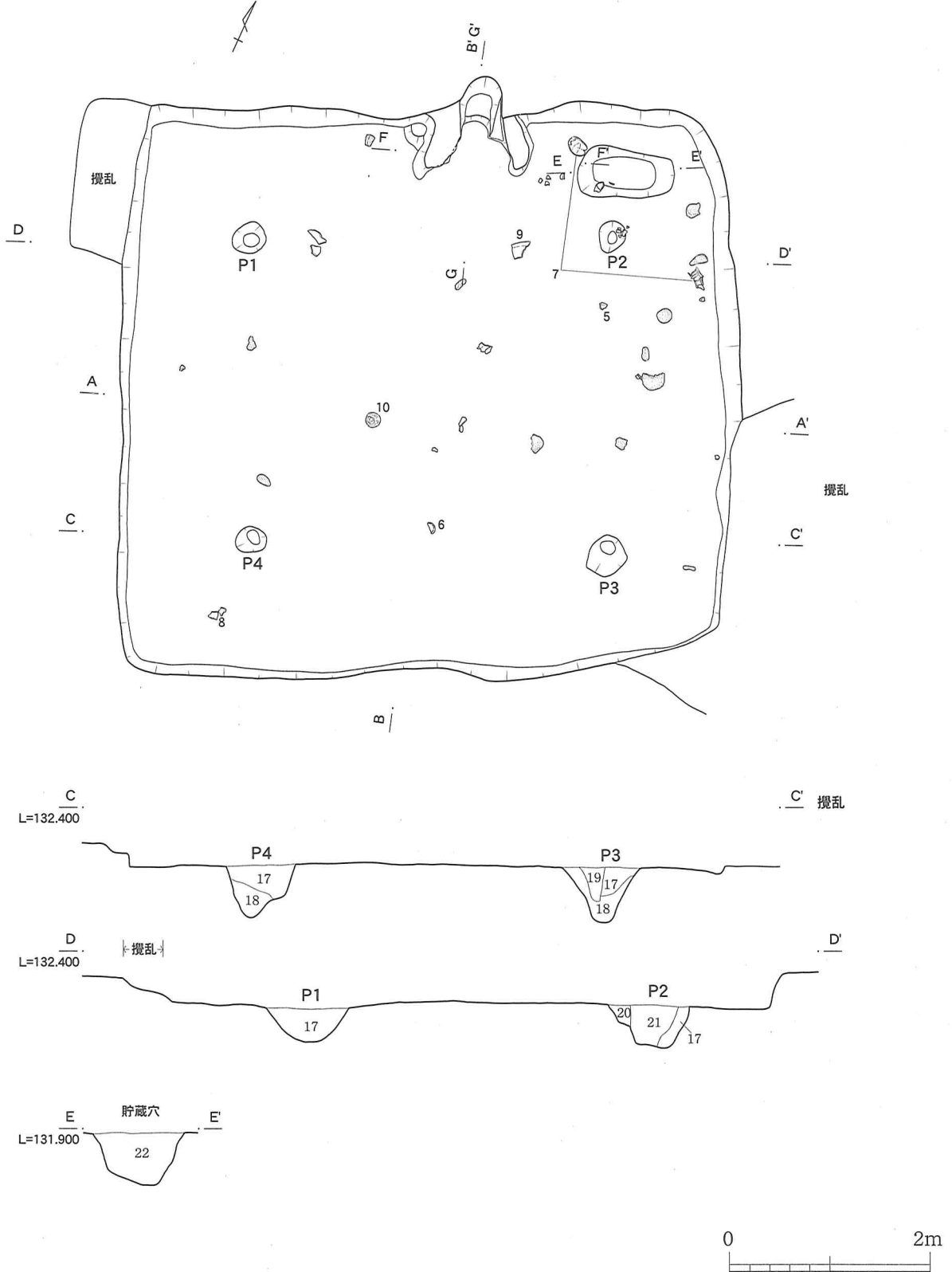
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (15.6) 器高 (3.6)	A 赤色砂粒 (二次) 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。焼成良好	橙褐色	A: 口縁部は外反し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端にヘラによる数回のナデ。	2/3	埋土下層	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (14.4) 器高 4.3	B 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	橙褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	1/2	床直No.1	輪積痕

第16表 SI07鉄滓観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				色調	特徴	出土位置	備考
		縦	横	厚	重量				
3	鉄滓	2.5	1.4	1.8	7.3	暗青灰色		埋土	小破片

SI08

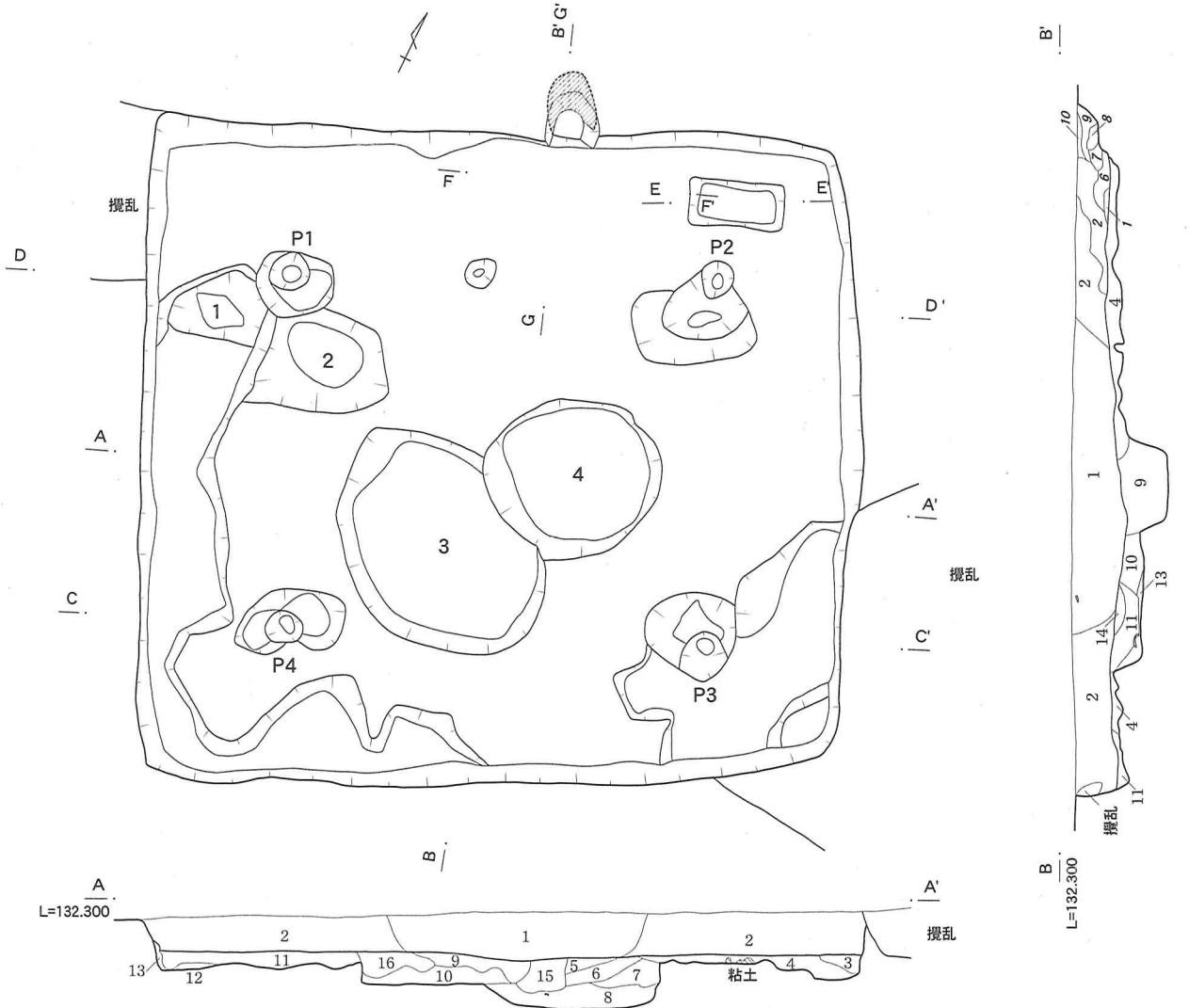
位置 ウ5F5杭付近。規模 東西6.1m×南北5.6m。主軸方向 N-24°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 4基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6、甕3、須恵器壺1、壺口縁1、甕破片1、石製模造品不明2である。



第33図 SI08断・遺物平面図

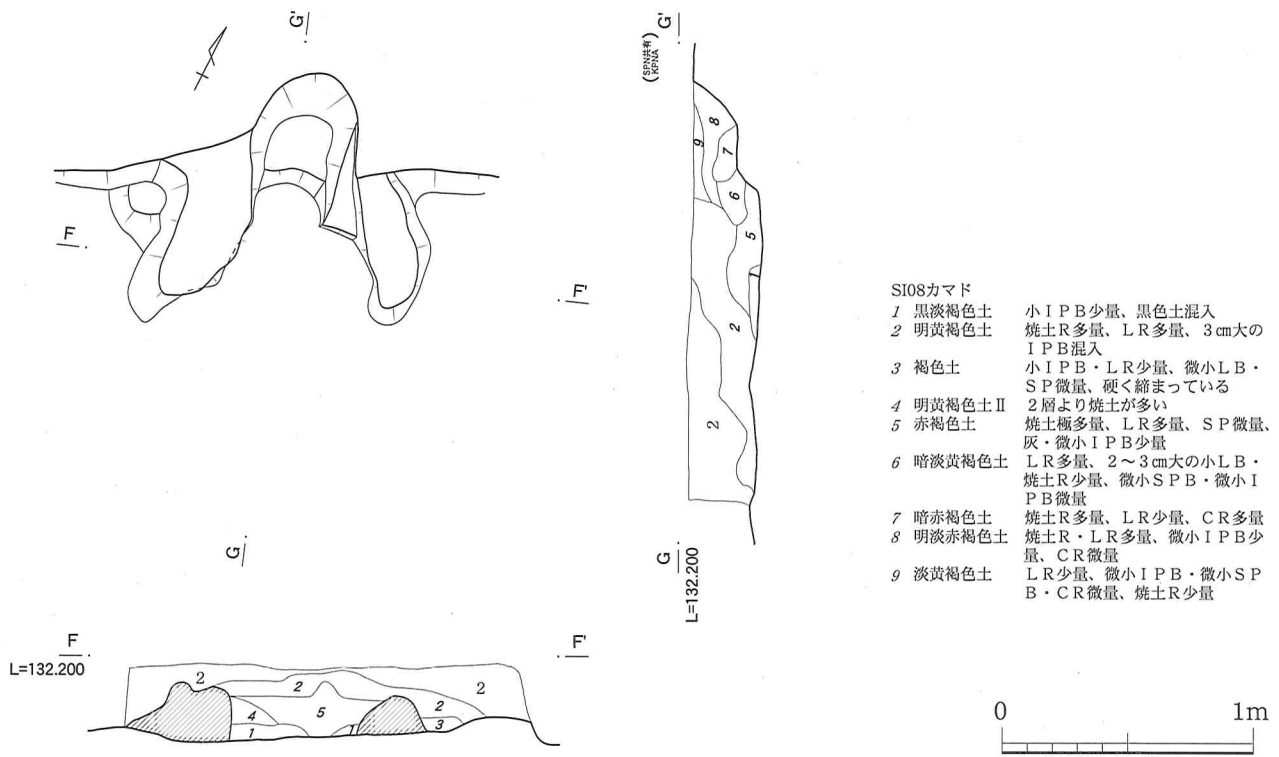
第17表 SI08床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	0.87	0.60	-	不整形			
2	0.98	0.86	-	不整形			
3	2.15	1.35	0.28	楕円形	平坦	オーバーハング	土杭4と重複、土坑4が新しい
4	1.50	1.35	0.45	円形	平坦	左：やや開きながら立ち上がる 右：オーバーハング	

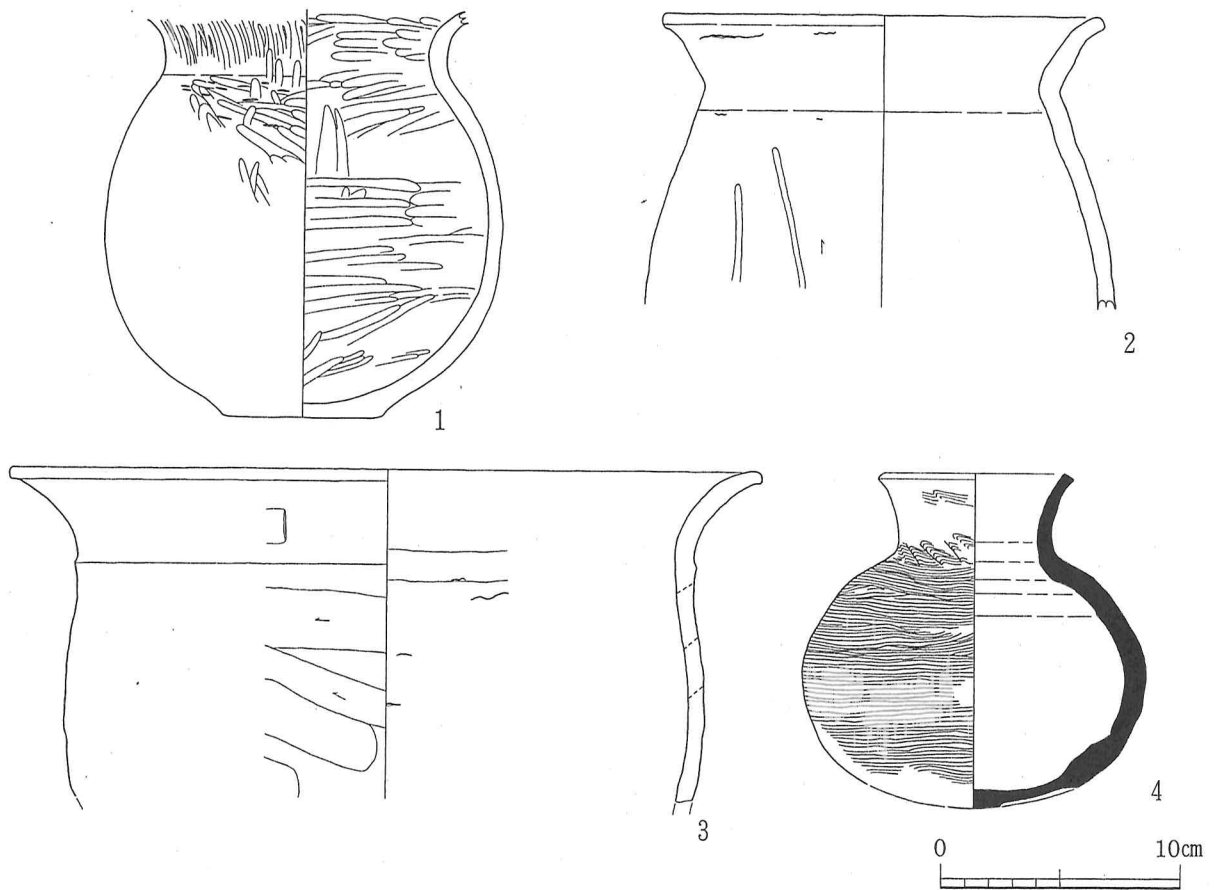


- SI08
- 1 暗褐色土 L R少量、微小SPB微量、微小IPB少量、硬く縮まっている
 - 2 明褐色土 L R少量、微小SPB微量、微小IPB多量、硬く縮まっている
 - 3 明淡褐色土 L R・微小IPB・小IPB多量、黒色土混入
 - 4 暗黄褐色土 L R主体、微小IPB・小IPB少量、黒色土混入
 - 5 明黄褐色土 IP主体、LR混入
 - 6 褐色土 LR極多量、IPB微量、小IPB少量、黒色土混入
 - 7 褐色土II LR極多量、小IPB多量、小LB微量、黒色土微量混入
 - 8 褐色土III LR極多量、LB・IPB・小IPB多量
 - 9 暗褐色土II LR多量、微小IPB少量、IPB微量
 - 10 暗褐色土III 9層に黒色土が混入、1cm大のIPBが少量
 - 11 黒褐色土 LR少量、小IPB微量、微小IPB少量、微小SPB微量
 - 12 黄褐色土 LB極多量、LBの隙間を埋めるように黒色土
 - 13 暗褐色土IV 黒色土とLRが均一混入
 - 14 黒褐色土II 11層にIPB多量混入
 - 15 暗黄褐色土II LR多量、小IPB多量、IPB少量、小SPB微量、2~4cm大の小LB混入
 - 16 黒褐色土III 11層よりLRが少ない
 - 17 褐色土IV LR・小IPB少量、微小SPB微量、黒色土混入、硬く縮まっている
 - 18 暗黄褐色土III LR多量、小IPB微量、小LB少量、硬く縮まっている
 - 19 暗褐色土V LR微量、小IPB少量、SP微量(柱痕)
 - 20 暗黄褐色土 LR少量、小LB・小IPB少量、硬く縮まっている
 - 21 暗褐色土VI LR微量、小IPB少量、小LB微量、黒色土混入、ザクザクしている
 - 22 黒褐色土IV LR微量、小IPB多量、小SPB・微小IPB・CR微量

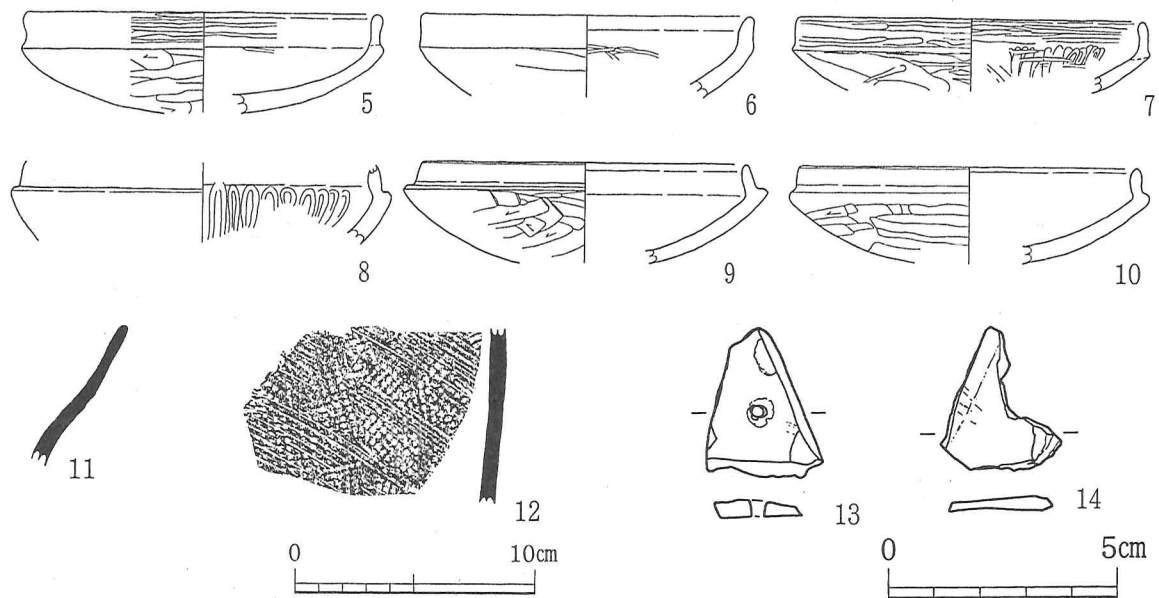
第34図 SI08平・断面図



第35図 SI08カマド平・断面図



第36図 SI08出土遺物実測図(1)



第37図 SI08出土遺物実測図(2)

第18表 SI08土器観察表

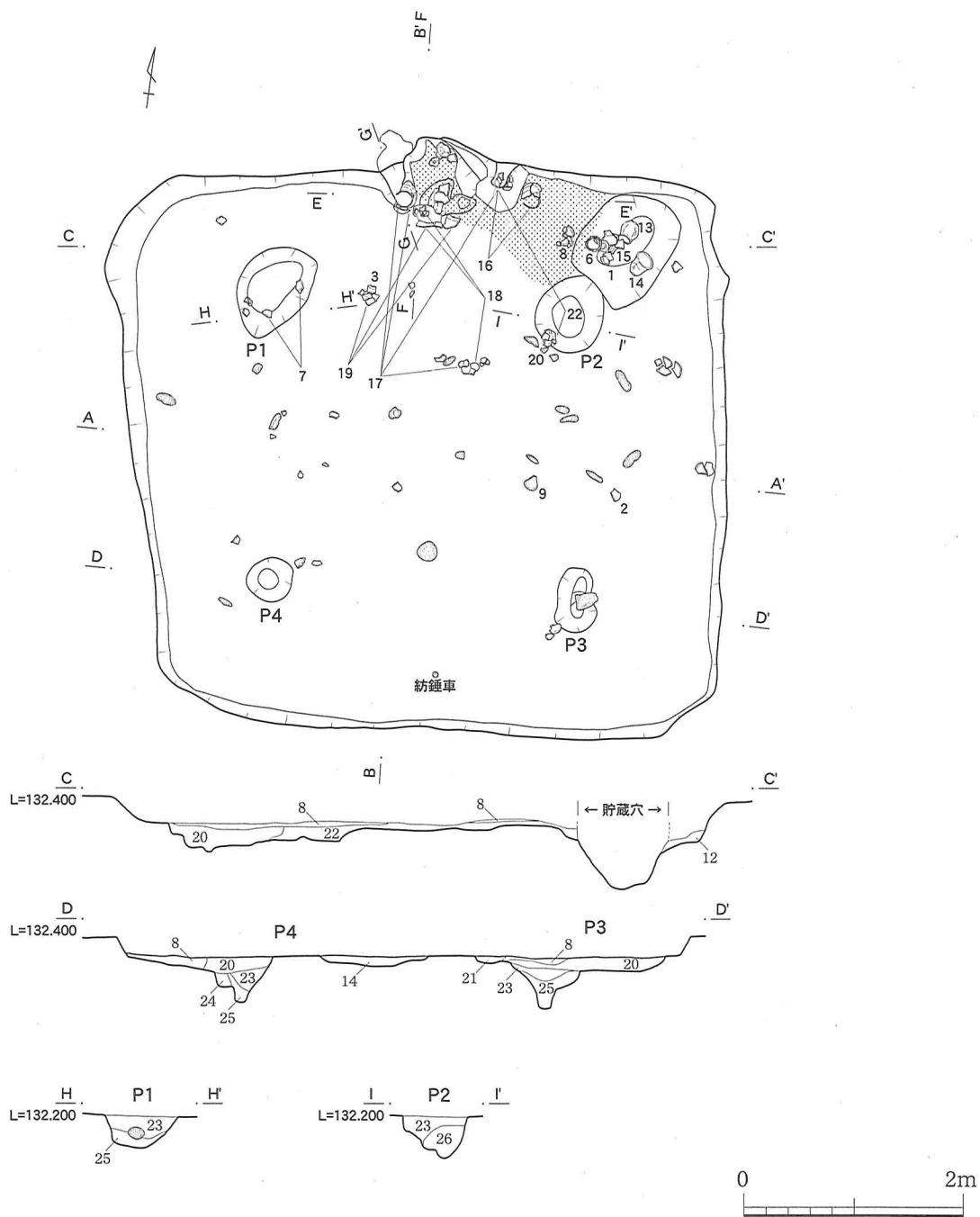
No.	器種	寸法(・)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 小型甕	口径 (13.0) 底径 6.6 器高 (16.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	A : 口縁部は外湾し、胴部中位に最大径を持つ。平底。	胴部内外面ヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、外面縦方向のヘラ磨き。	2/3	床直No. 1, 16	黒斑 偶発的と思われるヘラ痕 摩耗が激しい。
2	土師器 甕	口径 (18.0) 器高 (12.0)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C1 : 口縁部は「く」の字を呈する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/8	床直No. 8	輪積痕
3	土師器 甕	口径 (30.6) 器高 (13.6)	B 白色粗砂粒 半透明粗砂粒。透明細砂粒 金雲母 黒雲母を含む。 焼成良好	褐色	D : 口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は張らない。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4	床直No. 3	輪積痕
4	須恵器 壺	口径 (7.5) 器高 13.8	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗粒を含む。 焼成良好	灰白色	口縁部は外湾し、端部で面取りされる。胴部は球形。丸底。	胴部外面ハケメ、口縁部横ナデ後波状文。	ほぼ完形	床直No. 7	ロクロ成形
5	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (4.1)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	褐色	C : 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/4	床下土坑No. 1	輪積痕 漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.4)	A 赤色砂粒(二次) 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	内: 褐色 外: 橙褐色	C : 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後口縁部から体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	1/10	埋土	
7	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (3.0)	A 透明細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C : 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後粗いヘラ磨き。	1/12	埋土	輪積痕 漆仕上げ
8	土師器 坏	口径 (14.3) 器高 (3.3)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	D : 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き。	1/8	埋土	漆仕上げ 摩耗が激しい。
9	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 (4.1)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	D : 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ、体部外面ヘラ削り。	1/8	床直No. 4	
10	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	D : 口縁部はやや内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	床直No. 19	漆仕上げ
11	須恵器 壺		A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	暗灰色		ロクロナデ	口縁部破片	埋土	ロクロ成形 自然釉付着 歪み有り。
12	須恵器 甕		A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	青灰色		内面ナデ、外面平行叩き後カキ目。	破片	床直	

第19表 SI08石製模造品観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				色調	材質	出土位置	備考
		最大長	最大厚	孔径	重量				
13	石製模造品 不明	(3.2)	0.4	0.21 0.29	(3.4)	暗灰色	滑石	埋土	
14	石製模造品 不明	(3.1)	0.3	-	(1.8)	暗灰色	滑石	埋土	

SI09

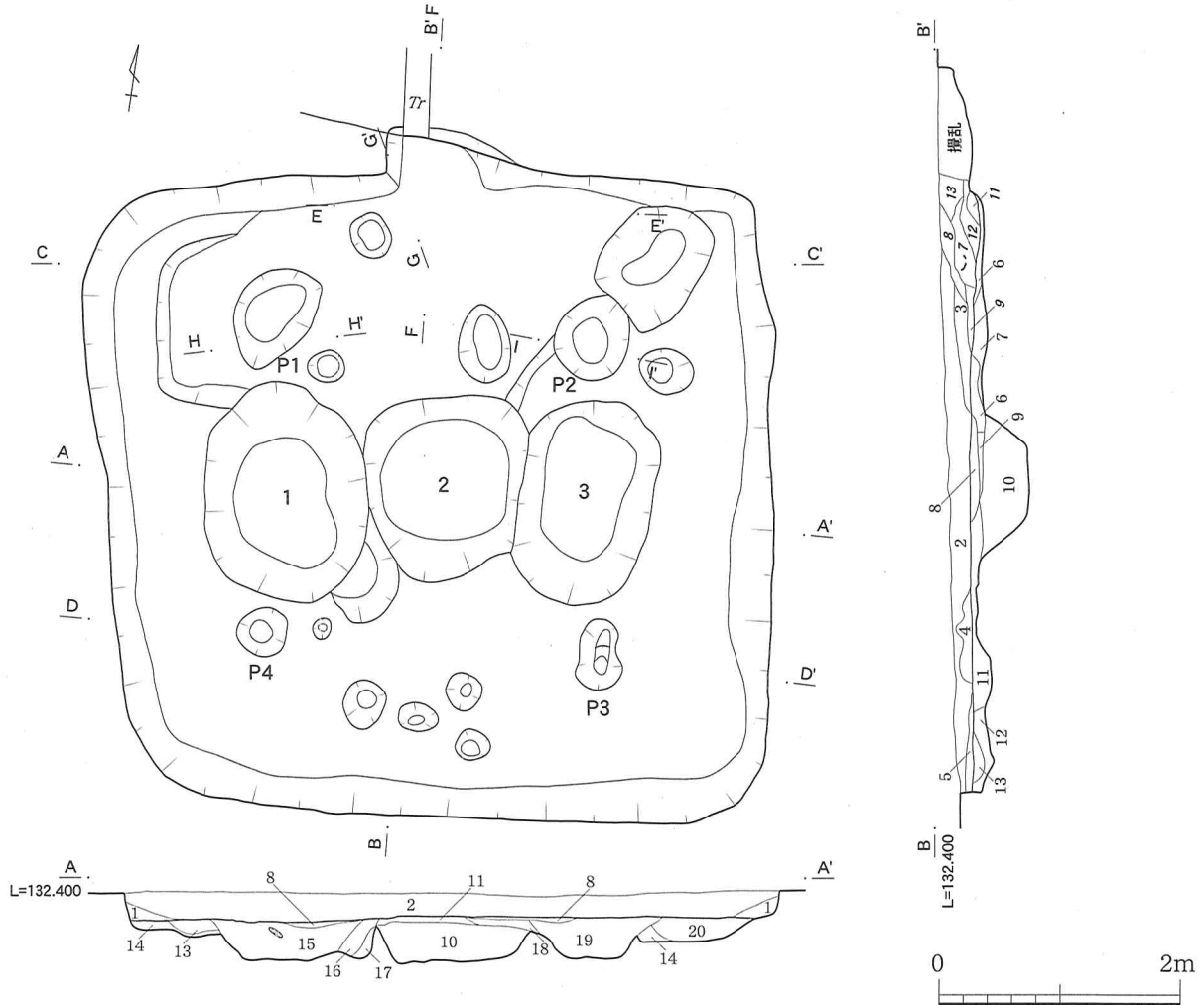
位置 ウ6F3杭付近。規模 東西5.3m×南北5.1m。主軸方向 N-6°-W 床面 平坦。壁 開きながら立ち上がる。床下土坑 3基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏11, 高坏1, 甕4, 埴1, 須恵器壺破片3, 石製紡錘車2である。



第38図 SI09断・遺物平面図

第20表 SI09床下土坑一覽表

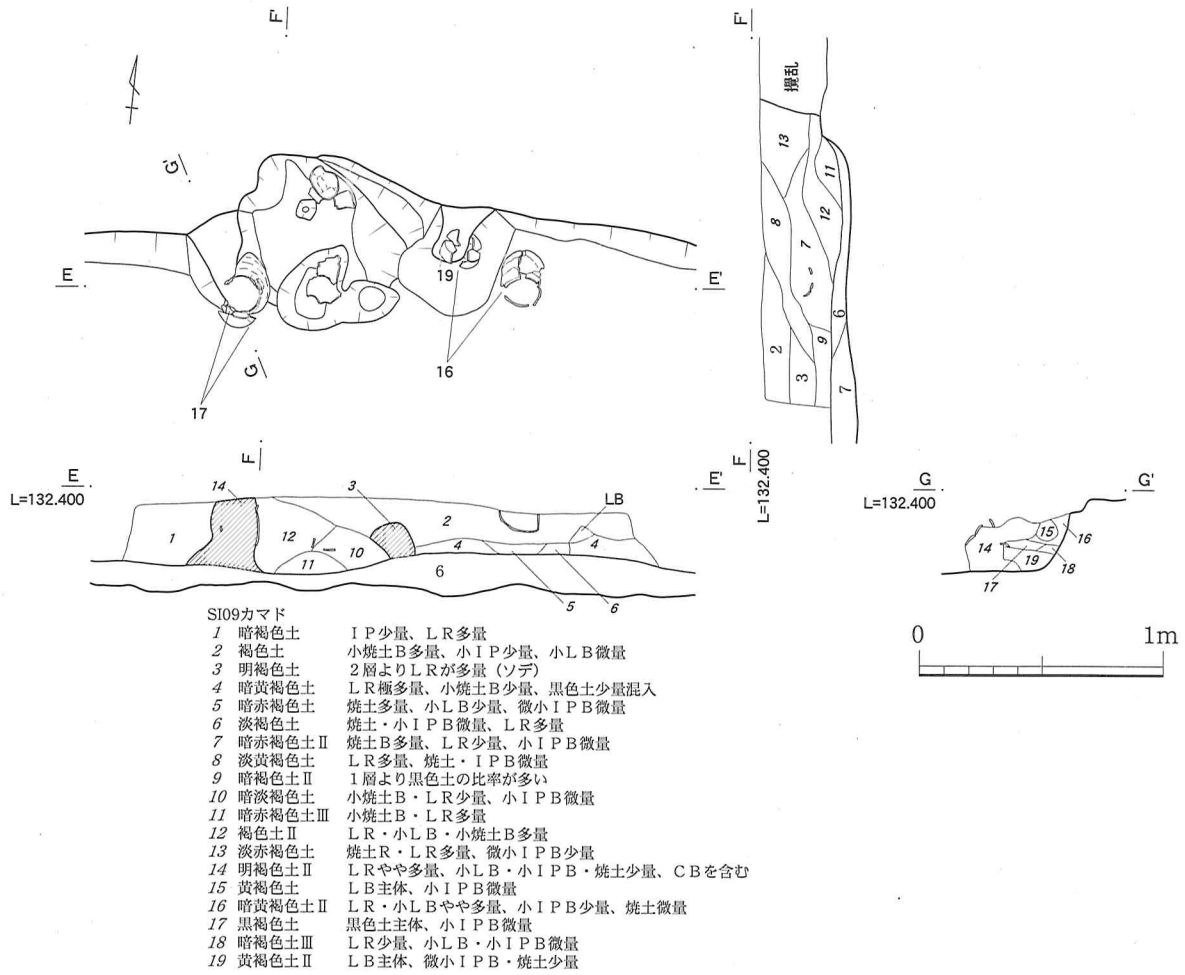
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.84	1.34	0.31	楕円形	ほぼ平坦	大きく開きながら立ち上がる	
2	1.57	1.38	0.37	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる 大きく開きながら立ち上がる	土坑3と重複、土坑3が新しい
3	1.71	1.08	0.33	楕円形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	



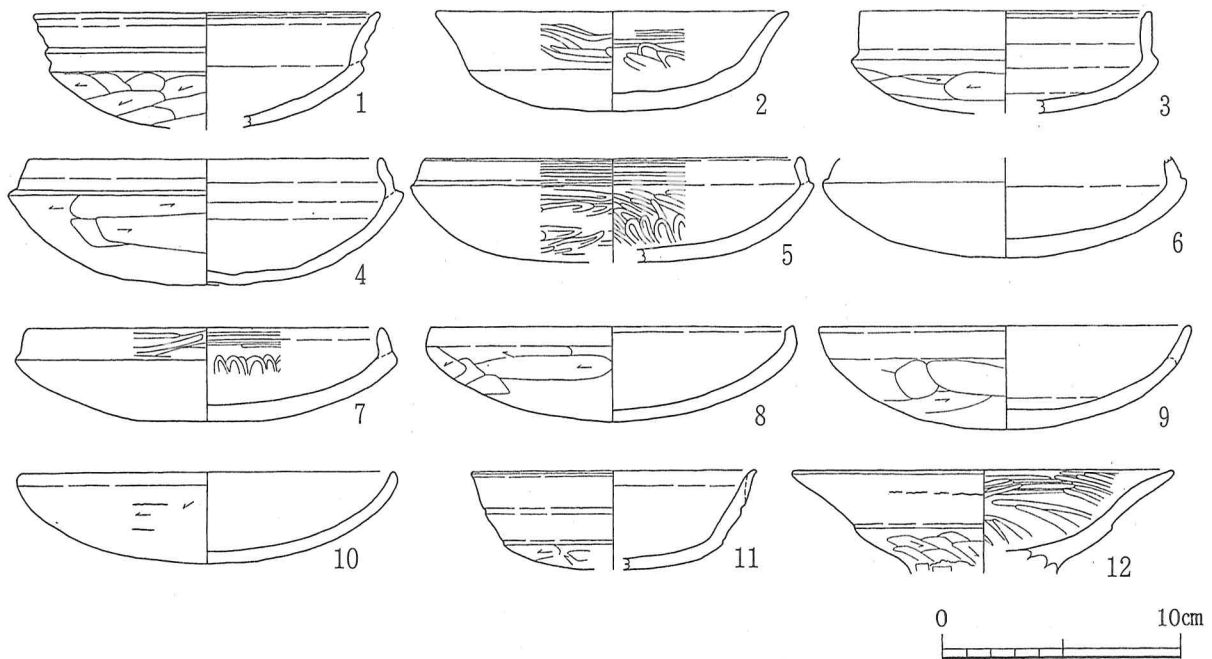
SI09

- | | |
|--------------|---|
| 1 暗黄褐色土 | LRやや多量、小IPB微量 |
| 2 黒褐色土 | LR・小IPB少量 |
| 3 淡褐色土 | 焼土R少量、LR・小LB多量、小IPB微量 |
| 4 明淡褐色土 | LR多量、小IPB少量 |
| 5 暗黄褐色土II | LB少量、LR多量、小IPB微量 |
| 6 明淡褐色土II | LR多量、LB微量、焼土R少量、小IPB微量 |
| 7 明黄褐色土 | LB・LR主体、小IPB・焼土R少量、黒色土混入 |
| 8 暗淡褐色土 | LR多量、小LB少量、小IPB・小SPB微量、焼土R少量 |
| 9 淡黄褐色土 | LR主体、小IPB微量(張床) |
| 10 橙褐色土 | IPB・小IPB・微小IPB多量、LB・LR少量、小SPB微量(一括埋土) |
| 11 暗橙褐色土 | 微小IPB多量、小IPB少量、黒色土混入 |
| 12 暗淡黄褐色土 | LR主体、小IPB少量 |
| 13 黒褐色土II | LR少量、小IPB微量 |
| 14 明黄褐色土II | 7層の焼土なし |
| 15 暗淡黄褐色土II | LR・小LB多量、2~3cm大のLB・小IPB少量、小SPB微量、黒色土混入 |
| 16 暗淡黄褐色土III | 15層よりLBが減少 |
| 17 淡黄褐色土II | LR・小LB多量 |
| 18 黄橙褐色土 | LR・1~2cm大のLB多量、小IPB少量、橙色ローム多量、層状堆積(張床) |
| 19 橙褐色土II | LR極多量、1~2cm大のIPB・小LB多量、黒色土少量混入 |
| 20 暗褐色土 | 1cm大の小IPB少量、LR・小LB多量 |
| 21 小豆色土 | 焼土B・焼土R・灰多量、灰色粘土少量 |
| 22 褐色土 | 小焼土B・LR多量、小LB微量、C混入、中間に白色粘土の層が入り、上下2層に分かれて見える |
| 23 黒褐色土III | LR少量、微小IPB・微小SPB微量 |
| 24 黄褐色土 | LR・LB多量、微小IPB少量 |
| 25 暗黄褐色土III | LR多量、微小IPB少量、焼土・灰微量 |
| 26 褐色土II | IPB微量、小IPB・微小IPB・LR少量 |

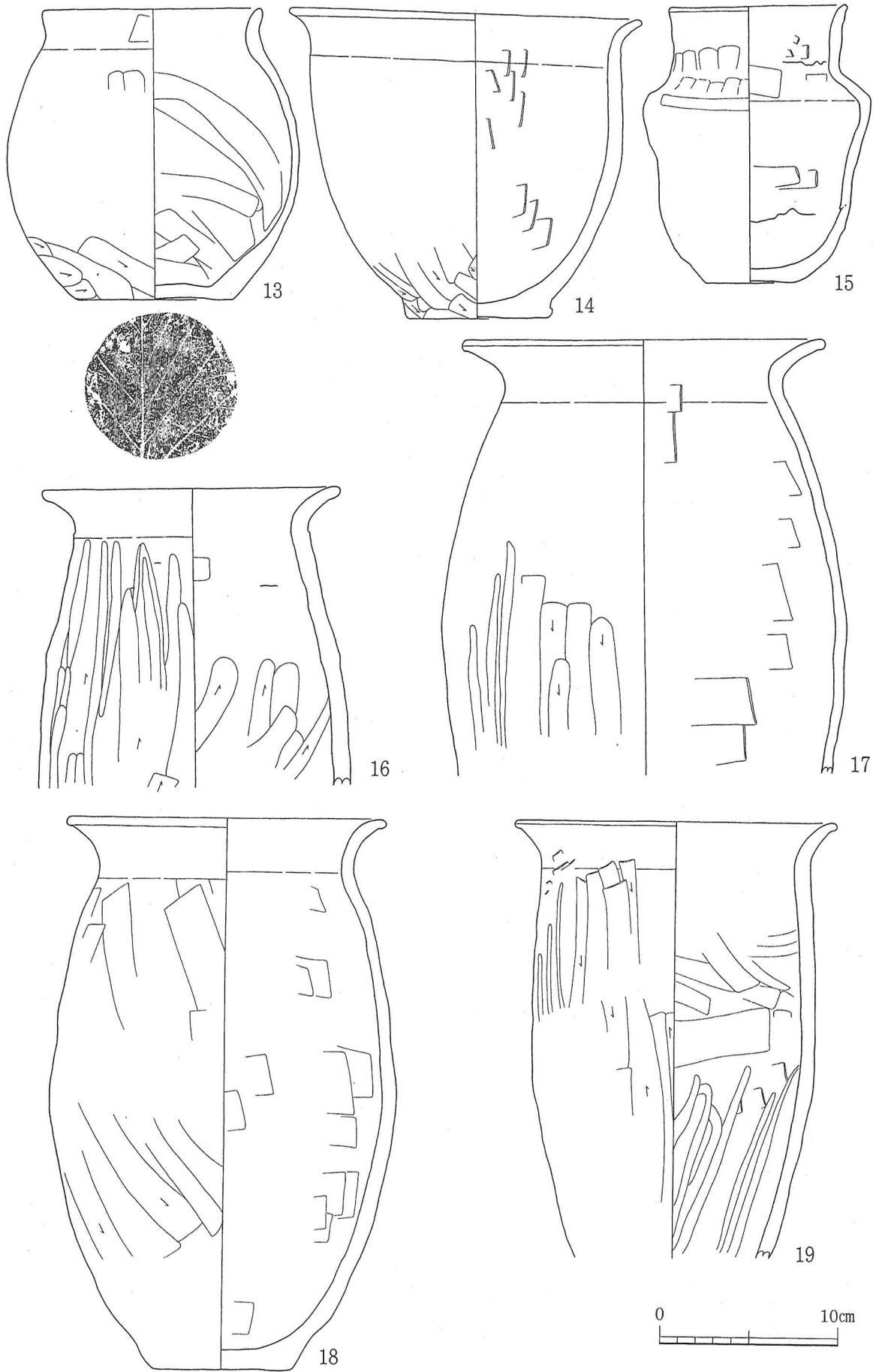
第39図 SI09平・断面図



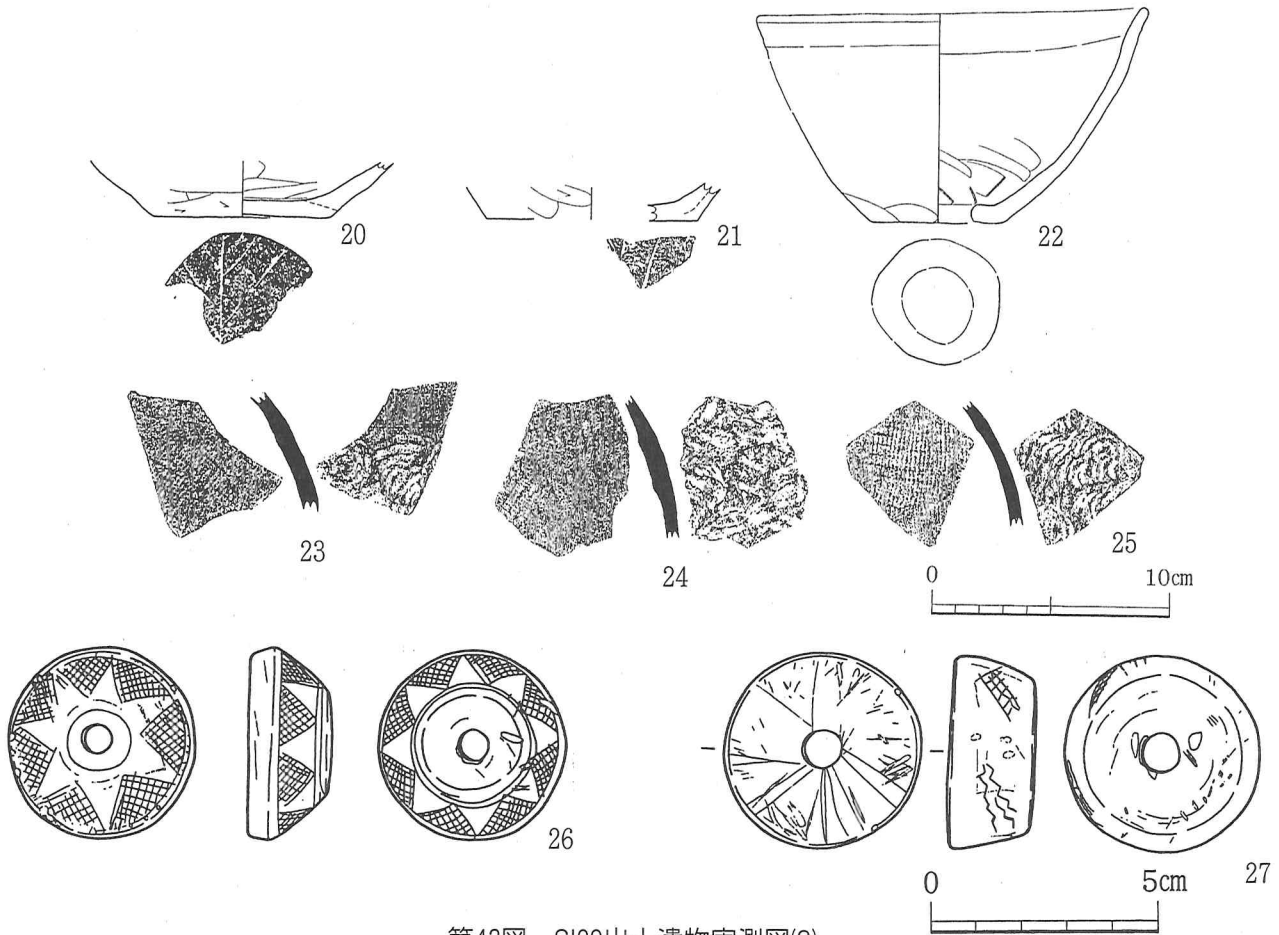
第40図 SI09カマド平・断・遺物平面図



第41図 SI09出土遺物実測図(1)



第42図 SI09出土遺物実測図(2)



第43図 SI09出土遺物実測図(3)

第21表 SI09土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (4.7)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	A：口縁部は外反し、端部内面に稜を有する。体部外面に二条の稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ後端部内面と外面下端に3 ⁵ / ₁₆ 幅の工具による強いヘラナデ、体部外面ヘラ削り。	2/5	床直No.34	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 4.1	A 黒色細砂粒 半透明砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A：口縁部は外反し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.3	
3	土師器 坏	口径 (12.2) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	黒褐色	C：薄手。口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ後口縁部外面下端に5 ³ / ₁₆ 幅の工具による強いヘラナデ、体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り。	2/5	床直No.21	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 14.4 器高 5.2	A 黒色細砂粒 半透明砂粒。 焼成良好	乳白色	D：薄手。口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/2	埋土下層	漆仕上げ 摩耗が激しい。
5	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 (4.3)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	黒褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に5 ³ / ₁₆ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (13.9) 器高 (4.1)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成やや良好	乳白色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.33	漆仕上げ 摩耗が激しい。
7	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 3.9	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.19,24	漆仕上げ

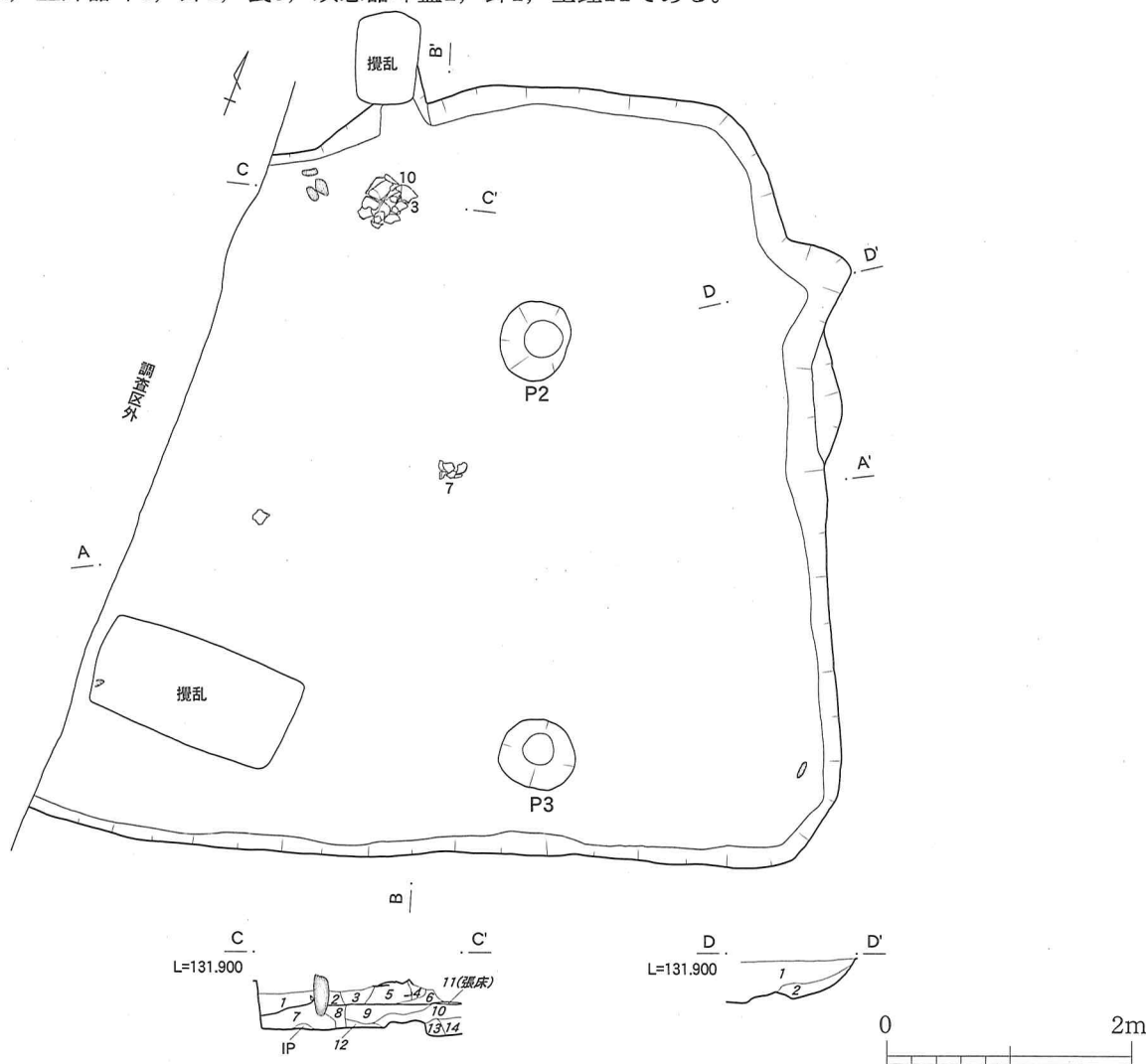
8	土師器 坏	口径 器高	(15.0) 4.0	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	乳白色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部外面へラ削り。	3/4	床直No.29	漆仕上げ 摩耗が激しい。
9	土師器 坏	口径 器高	(15.5) 4.3	A 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	暗褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面へラナデ、口縁部から体部内面横ナデ、体部外面へラ削り。	1/2	床直No.5	漆仕上げ
10	土師器 坏	口径 器高	(15.3) 3.5	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後口縁部内面から体部内面に一定方向のへラ磨き、体部外面へラ削り後一定方向のへラ磨き。	1/3	竈	輪積痕 剥離
11	土師器 坏	口径 器高	(10.8) (4.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	褐色	F:口縁部は大きく外傾し、口縁部外面と体部外面に二条の稜を有する。	体部内面へラナデ、体部外面へラ削り、口縁部横ナデ後外面中位と下端に2 ³ 幅の工具による強いへラナデ。	1/6	埋土	漆仕上げ
12	土師器 高坏	口径 器高	(15.8) (4.2)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	内:黒色外:淡褐色	不明:口縁部は外傾し、坏部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後内面に横方向のへラ磨き、坏底部内面一定方向のへラ磨き、坏底部外面へラ削り。	坏部の1/8	床直	輪積痕 内面黒色処理
13	土師器 小型甕	口径 底径 器高	11.7 8.6 16.0	A 透明細砂粒 赤色砂粒(二次) 白色細砂粒。焼成良好	淡褐色	A:口縁部は垂直に立った後端部で外に開き、胴部中位に最大径を持つ。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面上半へラナデ、下半斜め方向のへラ削り、口縁部横ナデ。	完形	床直No.32	木葉痕
14	土師器 小型甕	口径 底径 器高	19.1 7.6 17.2	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外湾し、胴部は膨らまらずにすぼまる。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面上半へラナデ、下半斜め方向のへラ削り後全体に縦方向のへラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.30	
15	土師器 小型甕	口径 底径 器高	9.7 5.0 15.3	B 黒色砂粒 白色砂粒。白色粗砂粒を含む。焼成良好	褐色	その他:口縁部はやや外傾し、胴部上半部に最大径を持つ。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面一部へラ磨き、口縁部内外面へラナデ、頸部外面縦方向のへラナデ、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.37	輪積痕 摩耗が激しい。歪み有り。
16	土師器 甕	口径 器高	(15.8) (16.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	橙褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部は長胴きみ。	胴部内面上位へラナデ、中位以下にへラ削り、胴部外面上位へラナデ、中位以下にへラ削り後全体にへラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.5,6	輪積痕 内外面に煤付着
17	土師器 甕	口径 器高	(19.6) (24.0)	B 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色粗粒を含む。焼成良好	褐色	C1:口縁部は「く」の字を呈し、胴部はやや張る。	胴部内面へラナデ、胴部外面上半へラナデ、下半へラ削り後全体に粗いへラ磨き、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.11 竈No.1,5,7	輪積痕 煤付着
18	土師器 甕	口径 底径 器高	17.0 7.8 30.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部は長胴きみ。	胴部内面へラナデ、胴部外面上半へラナデ、下半へラ削り後全体にへラ磨き、口縁部横ナデ。	3/5	床直 No.12,27,28 竈	煤付着 別作り
19	土師器 甕	口径 器高	(17.6) (24.2)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。2~3 ² 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外傾し、胴部は長胴。	胴部内面へラナデ後粗い縦方向のへラ磨き、胴部外面へラ削り後縦方向のへラ磨き、口縁部横ナデ。	2/5	床直 No.20,26,27 竈	
20	土師器 甕	底径 器高	(7.2) (2.3)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	内:灰褐色 外:褐色	不明:平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラ削り。	底部の2/5	床直No.7	木葉痕 内面煤付着
21	土師器 甕	底径 器高	(8.8) (1.6)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	内:灰褐色 外:褐色	不明:平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラ削り。	底部	埋土	木葉痕 内面煤付着
22	土師器 甕	口径 底径 器高	16.4 5.4 8.9	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	A1:口縁部は外傾し、胴部はすぼまる。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラナデ後底部付近に斜め方向のへラ削り、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.6 竈 No.5	単孔 外面剥離
23	須恵器 甕			A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色粗砂粒を含む。焼成良好	内:灰色 外:褐色		内面横ナデ、同心円の叩き後指押さえ、外面横ナデ、平行叩き。	破片	埋土	内面に黒色物質付着
24	須恵器 甕			A 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	内:淡褐色 外:灰色		内面同心円の叩き後指押さえ、外面叩き後ナデ。	破片	床直	
25	須恵器 甕			A 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	灰色		内面同心円の叩き後指押さえ、外面平行叩き。	破片	埋土	

第22表 SI09石製紡錘車観察表

No.	No.	器種	寸法 (cm・g)					重量	特徴	材質	残存率	出土位置
			上径	下径	厚	上孔径	下孔径					
26	2	石製紡錘車	3.8	1.9	1.8	0.6	0.6	45.7	全面擦痕。 截頭円錐形	蛇紋岩	完形	床直
27	1	石製紡錘車	4.1	3.6	1.9	0.8	0.8	61.5	截頭円錐形	蛇紋岩	完形	床直

SI10

位置 ウ4F3杭付近。規模 東西6.3m×南北6.2m。主軸方向 N-18°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 8基。柱穴 2カ所。貯蔵穴 無。カマド 北・東壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 鉢1, 甕3, 須恵器坏蓋1, 鉢1, 土錘11である。



SI10北カマド

- 1 暗赤褐色土 小焼土B少量、焼土R多量、LR少量
- 2 暗赤褐色土II 1層よりも焼土R少なめ
- 3 暗黄褐色土 LR多量、焼土R少量
- 4 暗淡黄褐色土 小IPB極微量、LR多量、焼土R極微量
- 5 明淡黄褐色土 LR多量、小LB少量、小IPB・小焼土B微量、黒色土混入
- 6 黒褐色土 LR少量、小LB・焼土R微量、小IPB極微量
- 7 暗褐色土 小IPB少量、微小IPB多量、焼土R極微量、LR微量
- 8 暗褐色土II 7層に比べ黒色土が増加、小SPB極微量
- 9 暗褐色土III 小LB少量、LR多量、小IPB極微量、微小IPB微量、焼土R少量
- 10 淡褐色土 LR多量、小IPB極微量、微小IPB少量、焼土R多量
- 11 黒褐色土II LR少量、微小IPB微量(張床)
- 12 暗淡黄褐色土II LR主体、微小IPB少量、黒色土微量混入
- 13 暗黄褐色土II LB・LR極多量、小IPB・微小IPB少量、黒色土はブロック状に少量混入
- 14 淡褐色土II 10層に比べ焼土は減少する

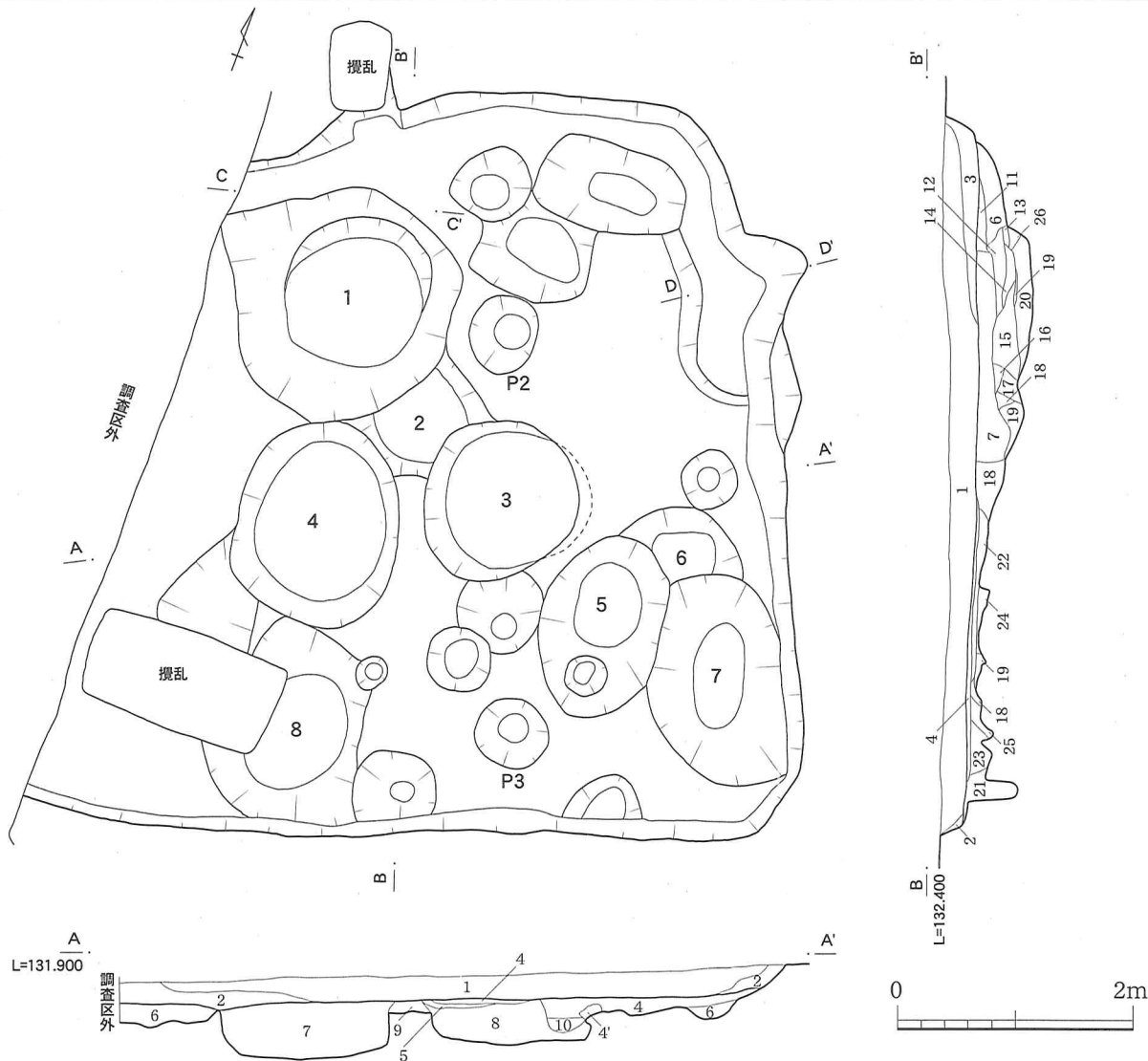
SI10東カマド

- 1 暗赤褐色土 小焼土B微量、焼土R少量、LR多量
- 2 暗淡黄褐色土 LR極多量、微小IPB多量

第44図 SI10遺物平・カマド断面図

第23表 SI10床下土坑一覧表

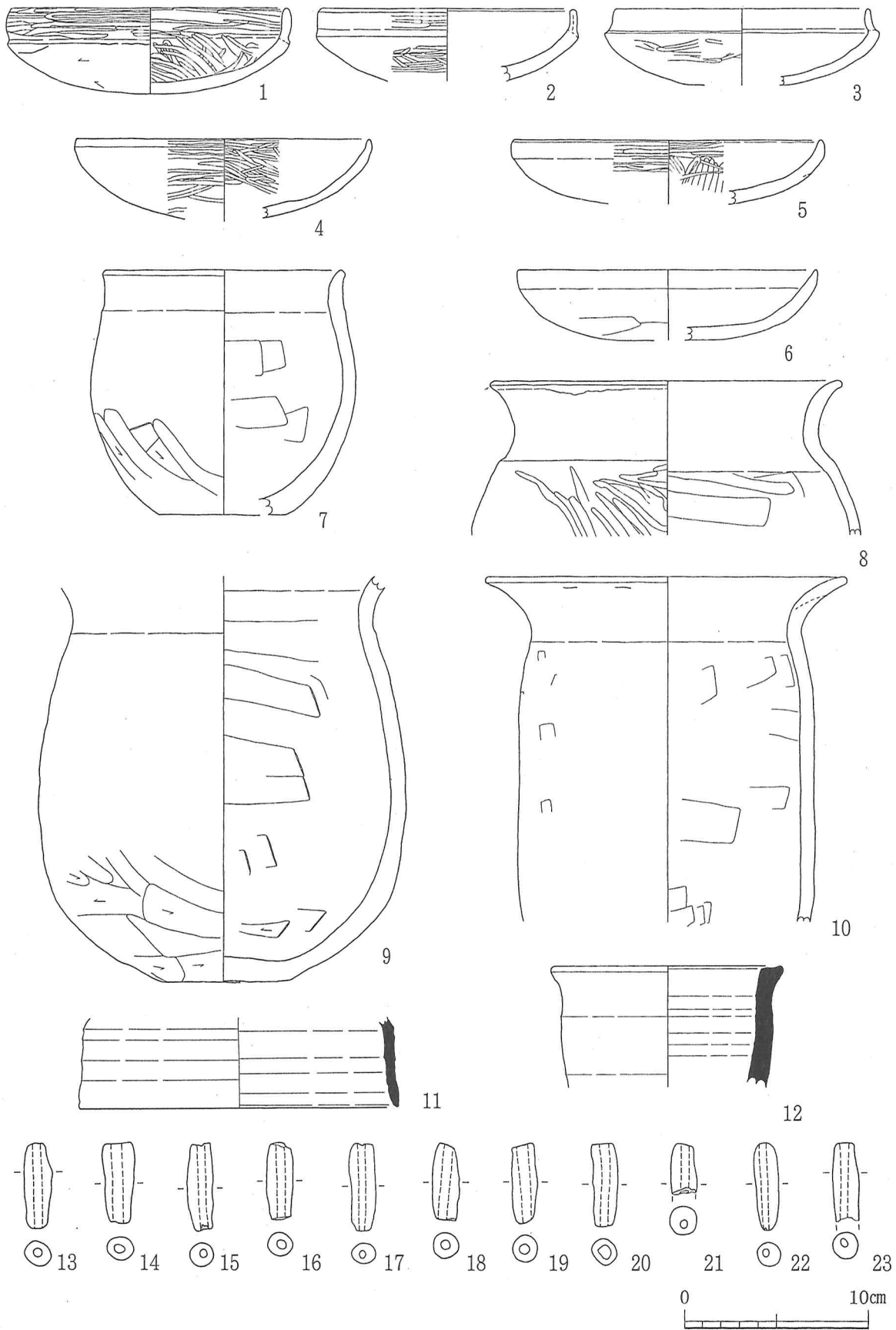
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	2.17	1.92	0.48	円形	ほぼ平坦	大きく開きながら立ち上がる	
2	1.18	0.96	0.40	不整形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	土坑1・3・4と重複、土坑2が古く1・3・4が新しい
3	1.41	1.29	0.38	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	
4	1.76	1.36	0.47	円形	平坦	ほぼ垂直	
5	1.56	0.98	-	楕円形			
6	1.10	0.65	-				土坑5・7と重複、土坑6が古く土坑5・7が新しい
7	1.86	1.18	-	楕円形			
8	1.75	1.55	-				



SI10

- | | | | |
|------------|-----------------------------------|------------|-----------------------------------|
| 1 暗褐色土 | LR多量、小LB・小SPB微量 | 14 暗灰黄褐色土 | LR多量、小LB・微小IPB・小IPB微量、焼土R・粘土R少量 |
| 2 暗黄褐色土 | LR多量、IPB・微小IPB少量 | 15 暗褐色土IV | 10層より小IPBがやや増す |
| 3 褐色土 | 小LB・LR多量、焼土少量 | 16 淡褐色土II | 7層より粒が細かい |
| 4 褐色土II | LRやや多量、微小IPB微量、小IPB少量、小SPB微量 (張床) | 17 明褐色土II | 6層より微小IPBがかなり少ない |
| 4' 褐色土III | 4層にLR少量混入 | 18 明黄褐色土IV | 5層より小IPBがやや増す |
| 5 明黄褐色土 | LR主体、微小IPB微量、小SPB極微量 (張床) | 19 暗褐色土V | 10層より小IPBが少なく、暗く見える |
| 6 明褐色土 | LR・LB少量、微小IPBやや多量、小SPB微量 | 20 暗淡黄赤褐色土 | LR多量、微小IPB・小IPB・焼土R少量、粘土R微量 |
| 7 暗褐色土 | LRやや多量、小LB・小IPB少量、小SPB微量 | 21 暗褐色土 | LR・小IPB微量、きめが細かい |
| 8 明黄褐色土II | 5層より粒小さく、LRがやや多め | 22 明黄褐色土V | 5層より微小IPBが少なく、粒が細かい |
| 9 明黄褐色土III | 8層とほとんど変わらないが、粒子が細かい | 23 暗橙褐色土 | LR微量、微小IPB少量、IPB微量、小IPB少量、小SPB極微量 |
| 10 暗褐色土II | LR・小LB微量、微小IPB少量、小IPB微量、小SPB極微量 | 24 暗褐色土II | 23層より小IPBが多い |
| 11 褐色土IV | LRやや多量、小IPB微量、焼土R少量 | 25 暗褐色土VI | 10層より小IPBが多い |
| 12 暗褐色土III | 10層よりLRが多め | 26 黄褐色土 | LR主体、焼土R微量 |
| 13 暗淡黄褐色土 | LR多量、LB・小IPB・焼土R・粘土B微量 | | |

第45図 SI10平・断面図



第46图 SI10出土遺物実測図

第24表 SI10土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)		胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
		口径	器高							
1	土師器 坏	口径 (14.6)	器高 4.6	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	埋土	輪積痕 漆仕上げ 偶発的と思われるヘラ痕有り。
2	土師器 坏	口径 (13.6)	器高 (3.9)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	内:乳白色 外:褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面ヘラ磨き。	1/5	床下	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (13.8)	器高 (4.1)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ後ナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部外面下端に2 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	床直No.4	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 15.7	器高 (4.2)	A 黒色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	床下	輪積痕 漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (16.6)	器高 (3.4)	A 透明細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/6	埋土上層	輪積痕 漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (16.2)	器高 (3.8)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	H: 口縁部は外傾する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/2	床下	漆仕上げ 粘土付着 外面剥離
7	土師器 鉢	口径 12.6	底径 (6.8) 器高 13.1	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒 半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D2: 口縁部は直立するが端部で開き、体部はやや張る。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.2	輪積痕
8	土師器 甕	口径 (18.6)	器高 (8.2)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	B: 口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	口縁部の1/6	埋土	
9	土師器 甕	底径 6.1	器高 (21.9)	A 黒色細砂粒 白色粗粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外傾し、胴部下半で小さくすばまり、下ぶくれの呈。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上半ヘラナデ、下半にヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	床下	煤付着
10	土師器 甕	口径 (19.4)	器高 (18.6)	B 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は外傾し、胴部は長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	床直No.1	輪積痕 摩耗が激しい。
11	須恵器 坏蓋	口径 (14.6)	器高 (4.1)	A 白色砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	青灰色	体部はほぼ直立。	ロクロナデ、体部外面下端に4 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	1/12	埋土	ロクロ成形
12	須恵器 鉢	口径 (12.2)	器高 (6.5)	A 白色細砂粒 白色粗砂粒。 焼成良好	灰色	体部は緩やかに内湾しながら立ちあがる。	ロクロナデ。	1/7	埋土	ロクロ成形 自然釉付着

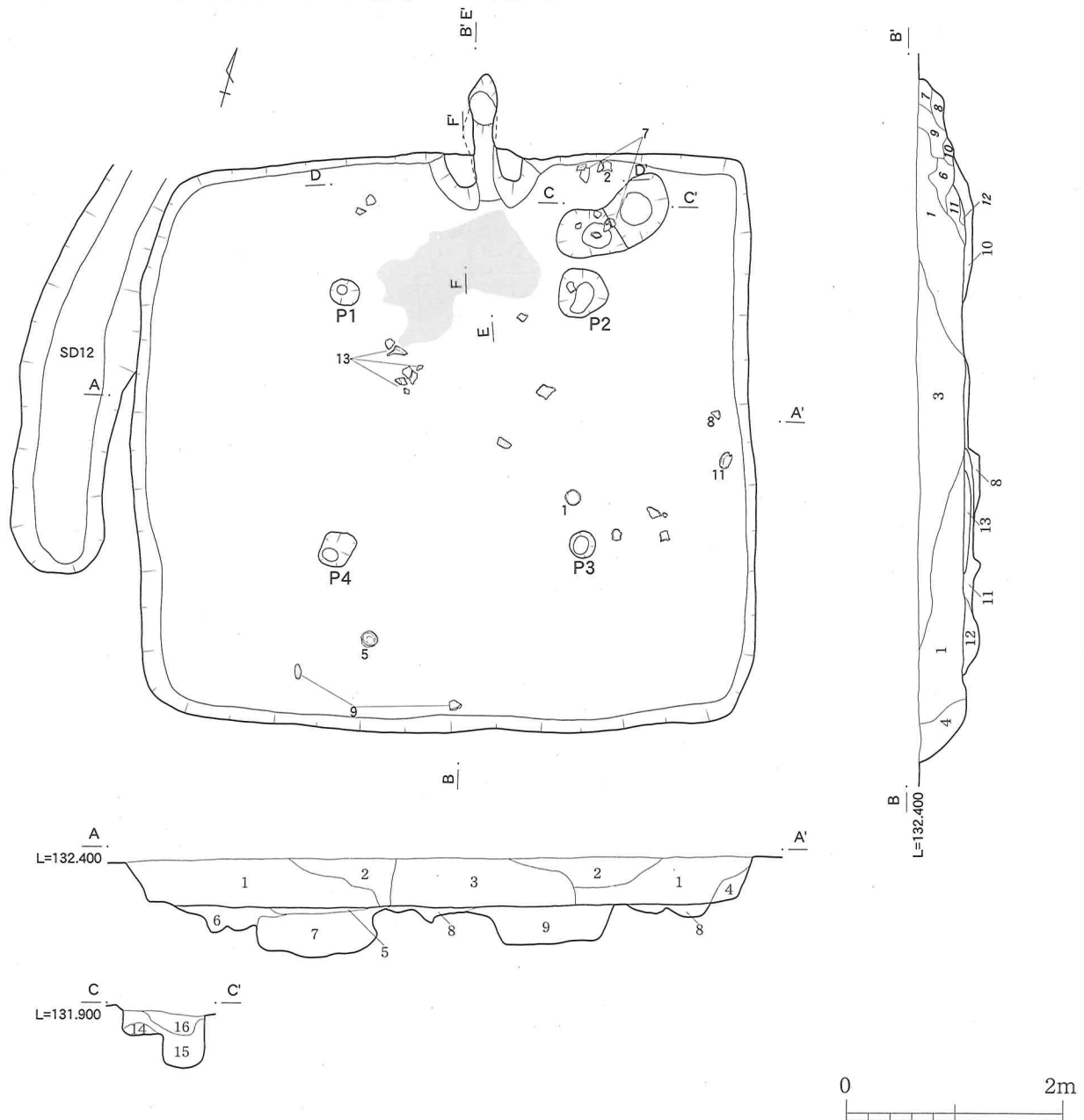
第25表 SI10土錘観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				胎土・焼成	色調	器形・調整の特徴	残存率	出土位置
		長さ	最大径	孔径	重量					
13	土錘	4.5	1.4	0.4	7.2	A 黒色細砂粒 白色砂粒。2~3 ^号 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B: ミガキ	完形	ピット内
14	土錘	4.3	1.4	0.5	6.8	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	淡褐色	B: 一部ミガキ	完形	ピット内
15	土錘	4.6	1.4	0.4	7.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B: ミガキ	完形	ピット内
16	土錘	4.0	1.4	0.4	7.0	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B: ミガキ	完形	ピット内
17	土錘	4.7	1.4	0.3	7.5	A 黒色砂粒 白色細砂粒。2~3 ^号 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B: ミガキ	完形	ピット内
18	土錘	4.2	1.4	0.5	7.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B: ミガキ	ほぼ完形	ピット内

19	土錘	4.2	1.3	0.5	6.9	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B:ミガキ	完形	ピット内
20	土錘	4.4	1.3	0.7	6.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。1~2 ³ 大粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B:ミガキ	ほぼ完形	ピット内
21	土錘	(2.5)	1.5	0.4	(4.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B:ミガキ	2/3	ピット内
22	土錘	4.7	1.3	0.3	7.5	A 黒色細砂粒 白色砂粒。透明細砂粒 赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	淡褐色	A:ナデ	完形	ピット内
23	土錘	(4.3)	1.4	0.5	(7.4)	A 白色細砂粒 黒色砂粒。 焼成良好	褐色	B:ミガキ	4/5	埋土

SI11

位置 ウ5F1杭付近。規模 東西5.7m×南北5.2m。主軸方向 N-17°-W 床面 平坦。壁 壁面は、開きながら立ち上がる。床下土坑 5基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏11, 甕3, 甑1である。備考 SI12を切る。



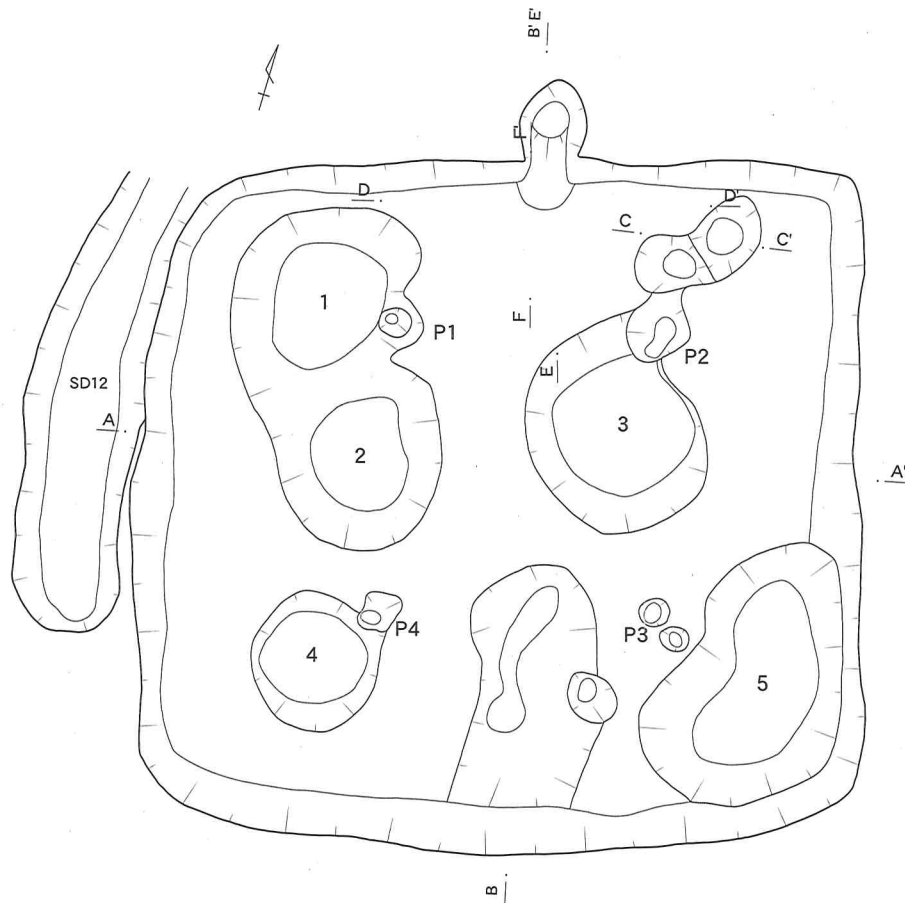
第47図 SI11断・遺物平面図

SI11

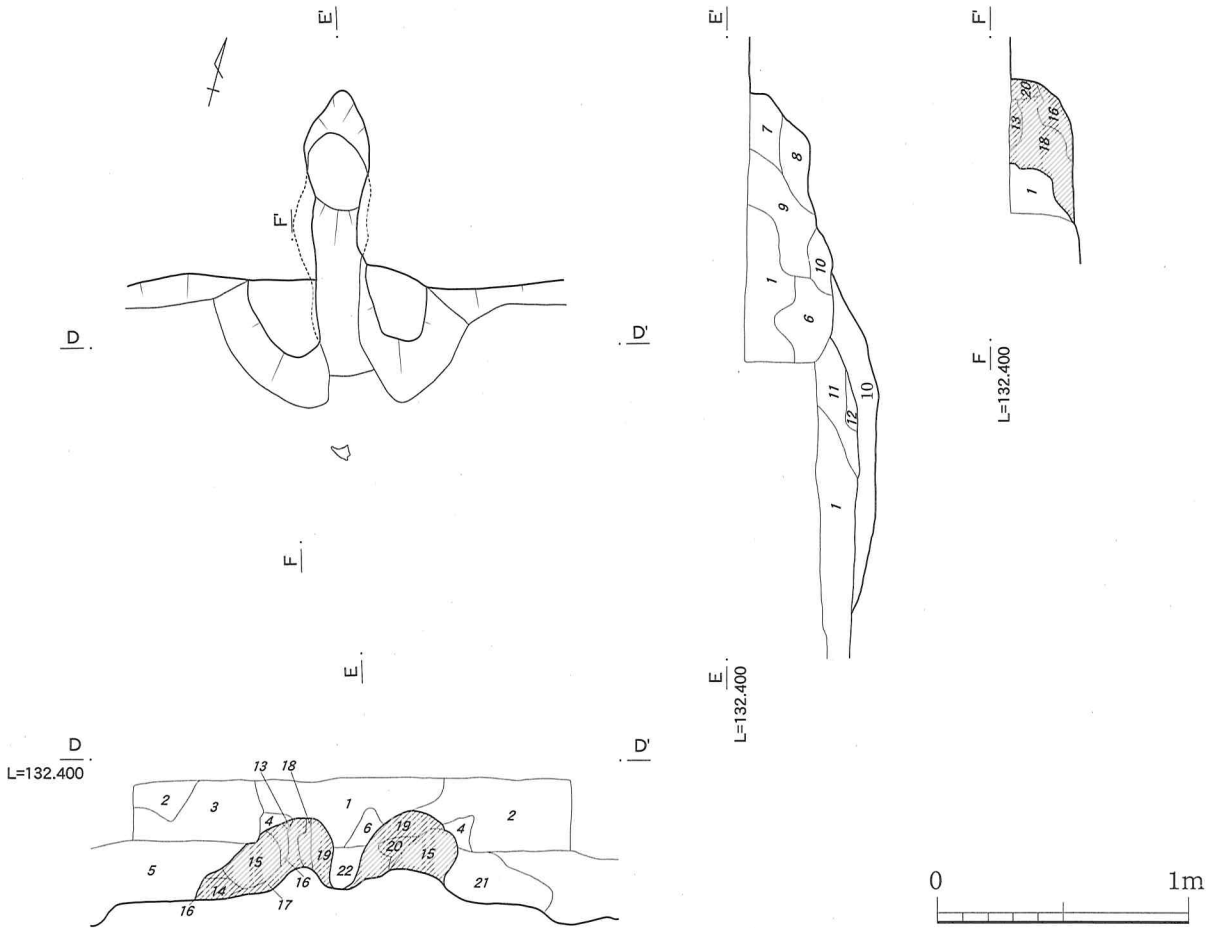
- | | | | |
|-----------|---|-------------|------------------------------|
| 1 褐色土 | LR・小IPB少量、SPB・CR微量 | 9 明褐色土 | 小LB・LR多量、IPB微量、小IPB・微小IPB多量 |
| 2 暗褐色土 | LR・IPB・SPB微量、GRを含む | 10 褐色土IV | LR少量、微小IPB微量、焼土R少量 |
| 3 暗褐色土 | LR・小IPB微量、SPB極微量、小LB微量 | 11 暗黄褐色土III | L少量、LR多量、微小IPB少量(張床) |
| 4 暗黄褐色土 | LRやや少量、小IPBやや多量、小LB微量、SPBやや少量 | 12 暗褐色土II | LR・微小IPB少量 |
| 5 黒褐色土 | LR・微小IPB少量 柔らかい(張床) | 13 暗黄褐色土IV | 11層にLBが加わる(張床) |
| 6 褐色土II | LB微量、小LR少量、LR多量、小IPB・微小IPB少量・IPB・小SPB微量 | 14 暗黄褐色土V | LR多量、微小IPB少量、黒色土少量混入 |
| 7 褐色土III | 6層からLBが減る | 15 暗黄褐色土VI | 小LB少量、LR多量、小IPB少量、小SPB・焼土R微量 |
| 8 暗黄褐色土II | LB少量、LR多量、小IPB・微小IPB少量(張床) | 16 暗褐色土III | LR・微小IPB・焼土R少量 |

第26表 SI11床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.90	1.40		不整形			土坑1・2は上端が共通
2	1.55	1.35	0.50	円形	ほぼ平坦	ほぼ垂直 オーバーハング	
3	1.78	1.30	0.35	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる 大きく開きながら立ち上がる	
4	1.15	1.05	—	円形			
5	2.30	1.26	—	楕円形			



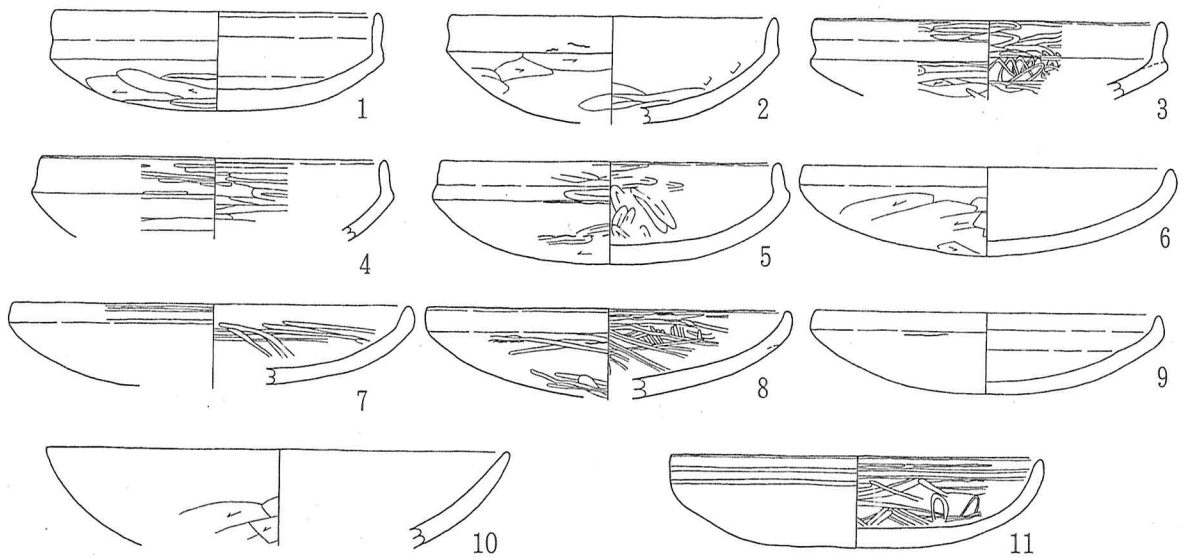
第48図 SI11平面図



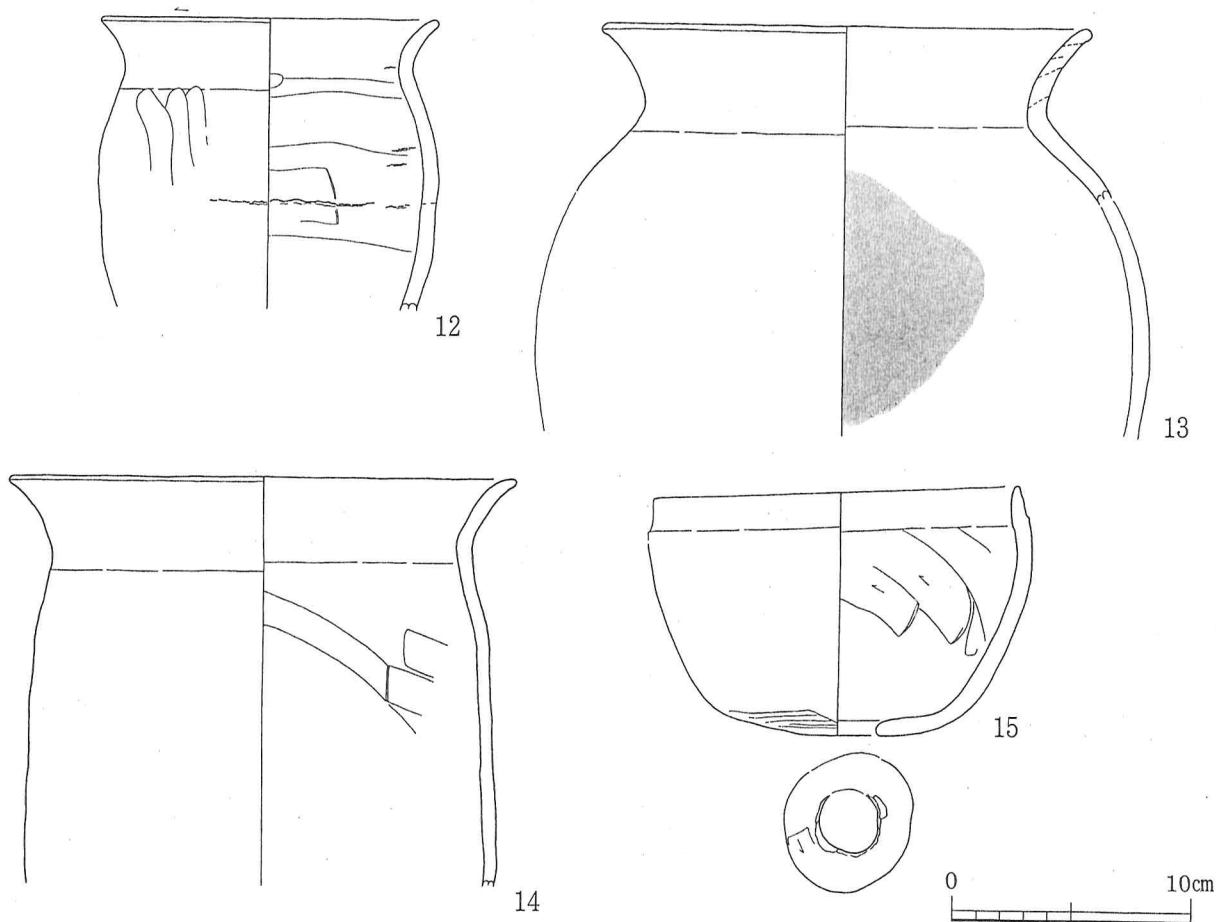
S111カマド

- | | | | |
|-----------|------------------------------------|-------------|----------------------------|
| 1 淡黄褐色土 | LR多量、小LBやや多量、小IPB・焼土微量 | 12 暗褐色土 | LR少量、小LB微量、小IPBやや少量、粘土R微量 |
| 2 暗淡褐色土 | LR微量、小LB・小IPB少量、微小SPB微量 | 13 淡黄赤褐色土 | LR主体、焼土R少量(ソデ) |
| 3 黄褐色土 | LR多量、小IPB少量、小LBやや多量 | 14 黄褐色土II | LR主体、小IPB極微量、黒色土微量混入(ソデ) |
| 4 暗赤褐色土 | LRやや少量、焼土R・粘土R・小LB・小IPB少量 | 15 淡黄褐色土II | LR主体、焼土R・小SPB・微小IPB微量(ソデ) |
| 5 暗黄褐色土 | LR微量、小LB少量、小IPB・CR微量 | 16 赤褐色土II | LR微量、焼土主体、ザクザクした感じ(ソデ) |
| 6 灰褐色土 | LR、小LB少量、小IPB微量、粘土Rやや多量、焼土R少量 | 17 淡赤褐色土 | LR・小焼土B多量、粘土R少量混入(ソデ) |
| 7 暗黄褐色土II | LR・焼土R少量、小LB微量、黒色土混入 | 18 灰褐色土II | LR少量、焼土R微量、粘土R多量(ソデ) |
| 8 暗赤褐色土II | LR少量、小LBやや少量、焼土Bやや多量、ザクザクした感じ、CR微量 | 19 暗灰褐色土 | LR・焼土R少量、粘土R多量、黒色土微量混入(ソデ) |
| 9 暗淡黄褐色土 | LRやや少量、小LBやや多量、小焼土B少量、粘土R微量 | 20 淡黄褐色土III | 15層に焼土R微量混入(ソデ) |
| 10 赤褐色土 | LR少量、焼土B多量、粘土R少量、小LB微量、ザクザクした感じ | 21 暗黄褐色土III | LR主体、小IPB・小SPB微量、黒色土混入 |
| 11 淡褐色土 | LR・小LB微量、小IPB少量、粘土R微量 | 22 赤褐色土III | 焼土主体、ザクザクしている |

第49図 S111カマド平・断面図



第50図 S111出土遺物実測図(1)



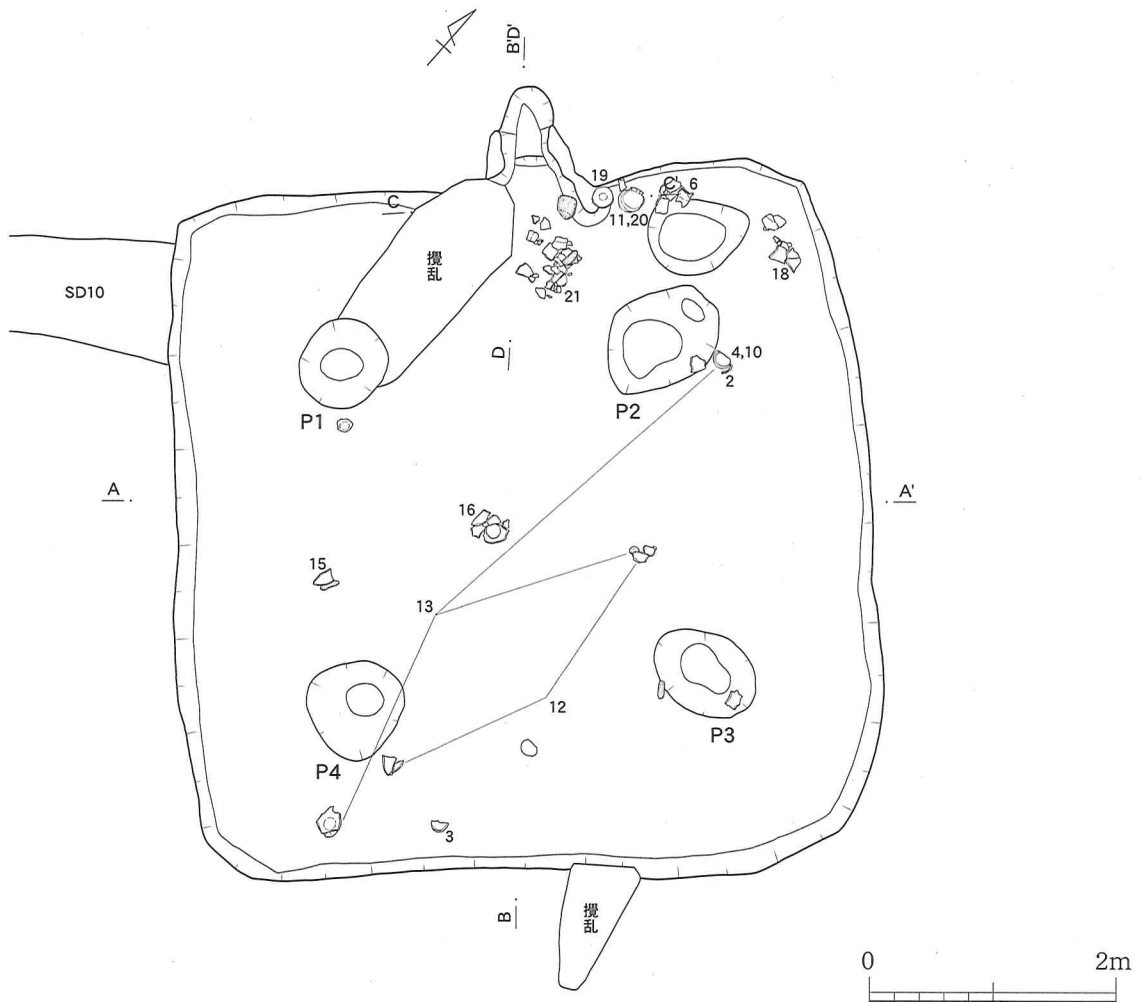
第51図SI11出土遺物実測図(2)

第27表 SI11土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 13.2 器高 4.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後へら削り、一部へら磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.12	輪積痕 漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 (4.4)	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	内: 橙褐色 外: 淡褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面へらナデ、体部外面へら削り後一部へら磨き、口縁部横ナデ。	1/2	床直No.16	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (3.2)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のへら磨き、体部内面放射状のへら磨き、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き。	1/12	埋土	輪積痕 漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色細砂粒(二次)を含む。 焼成良好	橙褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のへら磨き、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き、口縁部横ナデ後横方向のへら磨き。	1/12	埋土	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 14.0 器高 4.2	A 白色粗砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	黒褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のへら磨き、体部内面一定方向のへら磨き、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き。	ほぼ完形	床直No. 1	輪積痕 漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (15.3) 器高 3.7	A 黒色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	黒褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き、口縁部横ナデ。	3/4	埋土下層	
7	土師器 坏	口径 (16.2) 器高 (3.4)	A 透明細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のへら磨き、体部内面一定方向のへら磨き、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き。	4/5	床直 No.17,20	漆仕上げ 摩耗が激しい。

8	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (3.7)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。 焼成良好	褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	1/5	床直No.6	輪積痕 漆仕上げ
9	土師器 坏	口径 (14.3) 器高 3.4	A 白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/5	床直No.2	輪積痕 漆仕上げ
10	土師器 坏	口径 (18.8) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	乳白色	H：口縁部体部ともに緩やかに内湾しながら開く。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/8	埋土	漆仕上げ
11	土師器 坏	口径 15.4 器高 3.8	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	黒褐色	H：口縁部は外傾する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	3/4	床直No.5	輪積痕 漆仕上げ
12	土師器 小型甕	口径 (13.7) 器高 (12.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	D：口縁部は外湾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	埋土	輪積痕 剥離が激しい。
13	土師器 甕	口径 (20.0) 器高 (16.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A：口縁部は「く」の字を呈し、胴部中位に最大径を有する。	胴部内面ハケメ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/10	床直No.8,15,21	赤色付着物 煤付着
14	土師器 甕	口径 (20.6) 器高 (16.8)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D：口縁部は外傾し、胴部は長胴ぎみ。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/12	床下	
15	土師器 甕	口径 15.1 底径 5.3 器高 10.4	B 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒（鉄粒）を含む。 焼成良好	淡褐色	A1：口縁部は内傾し、胴部は張らずにすぼまる。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、底部付近にハケメ、口縁部横ナデ。底部外面から穿孔。	3/4	床下	単孔 煤付着 摩耗が激しい。

SI12

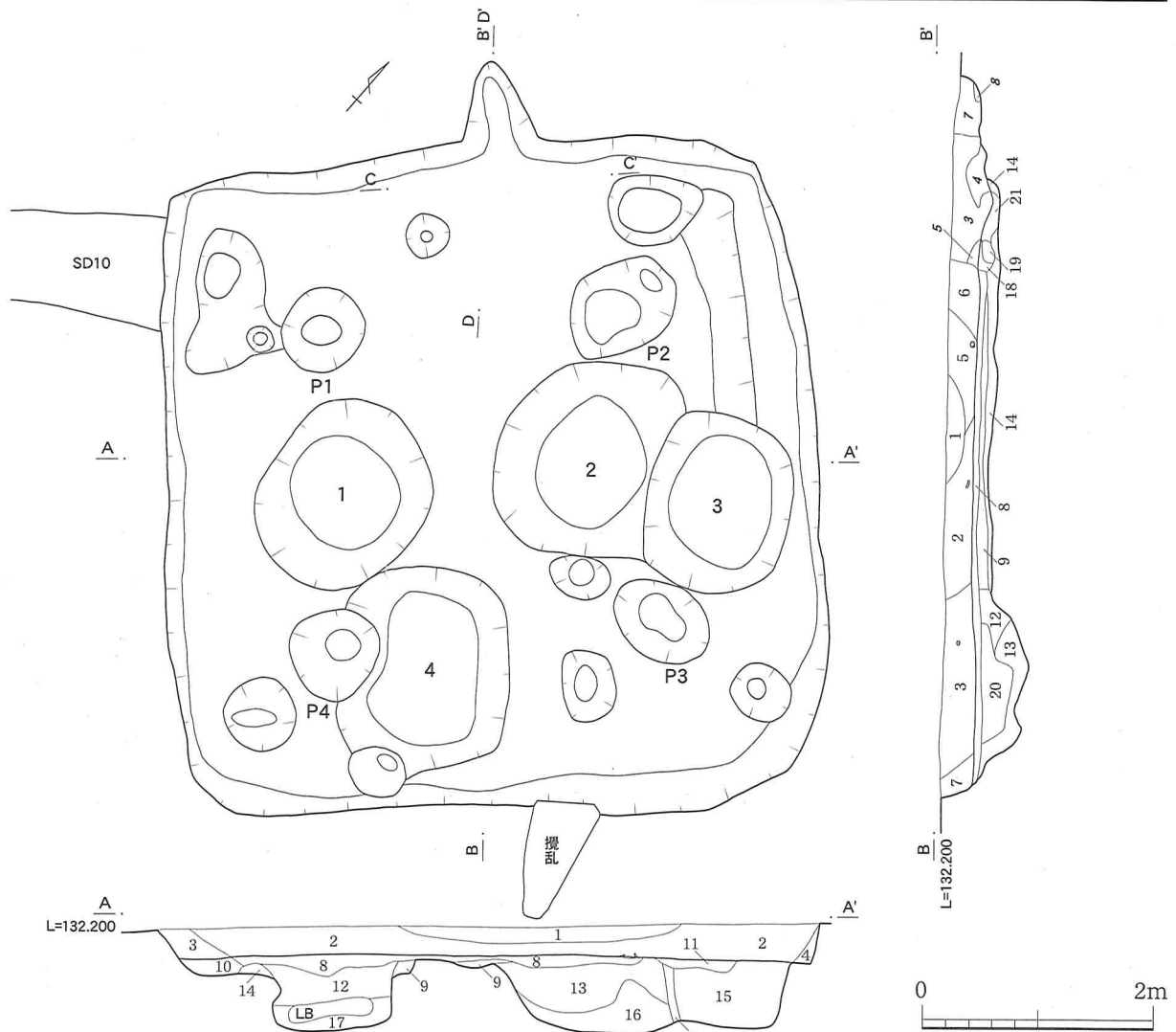


第52図 SI12遺物平面図

位置 ウ5F3杭付近。規模 東西5.6m×南北5.5m。主軸方向 N-47°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 4基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器杯8, 鉢1, 甕10, 甑2, 土錘2, 砥石1である。備考 SDを切る。

第28表 SI12床下土坑一覧表

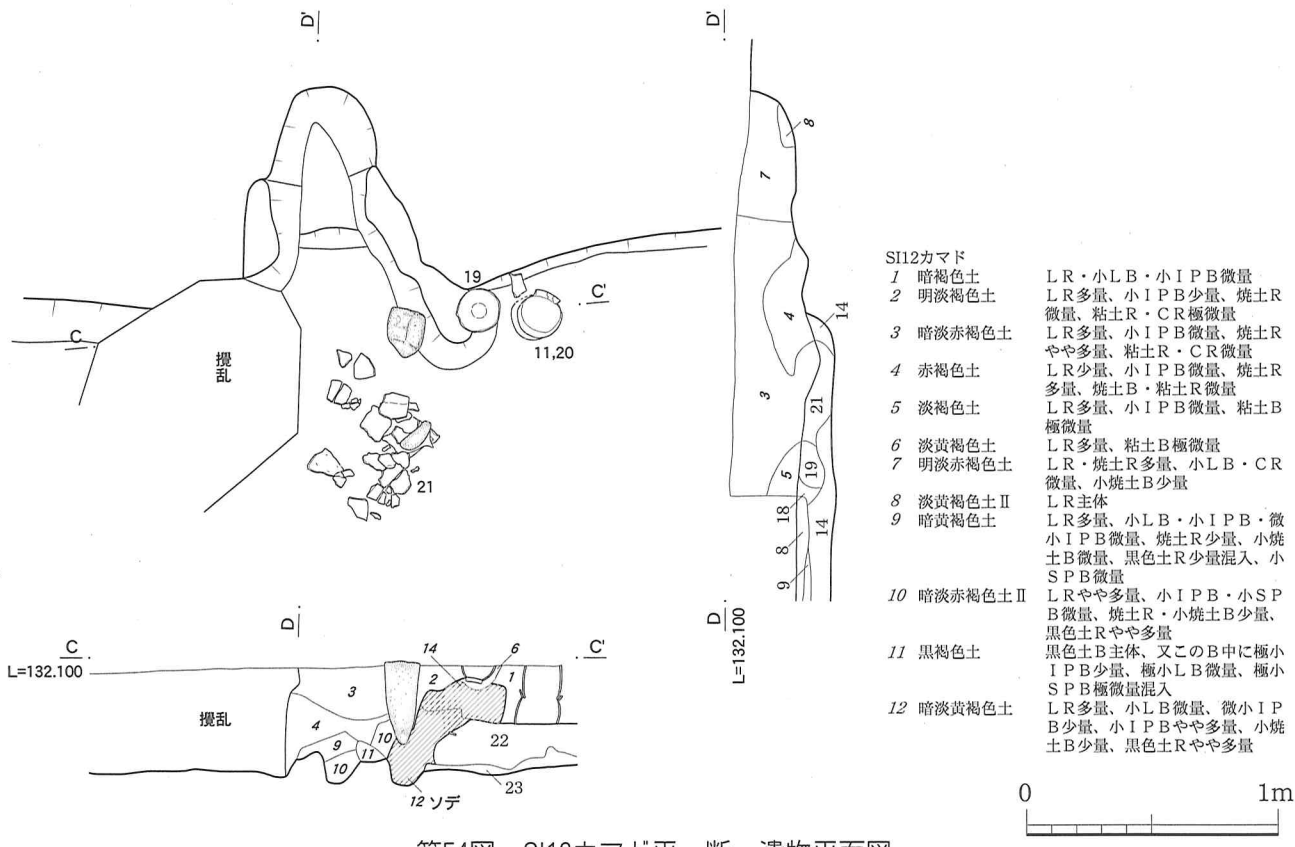
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.65	1.40	0.65	円形	ほぼ平坦	ややオーバーハング ほぼ垂直	
2	1.72	1.34	0.65	円形	丸底	やや開きながら立ち上がる	土杭3と重複、土杭3が新しい
3	1.54	1.24	0.56	楕円形	楕円	ほぼ垂直	
4	1.83	1.45	-	楕円形			



SI12

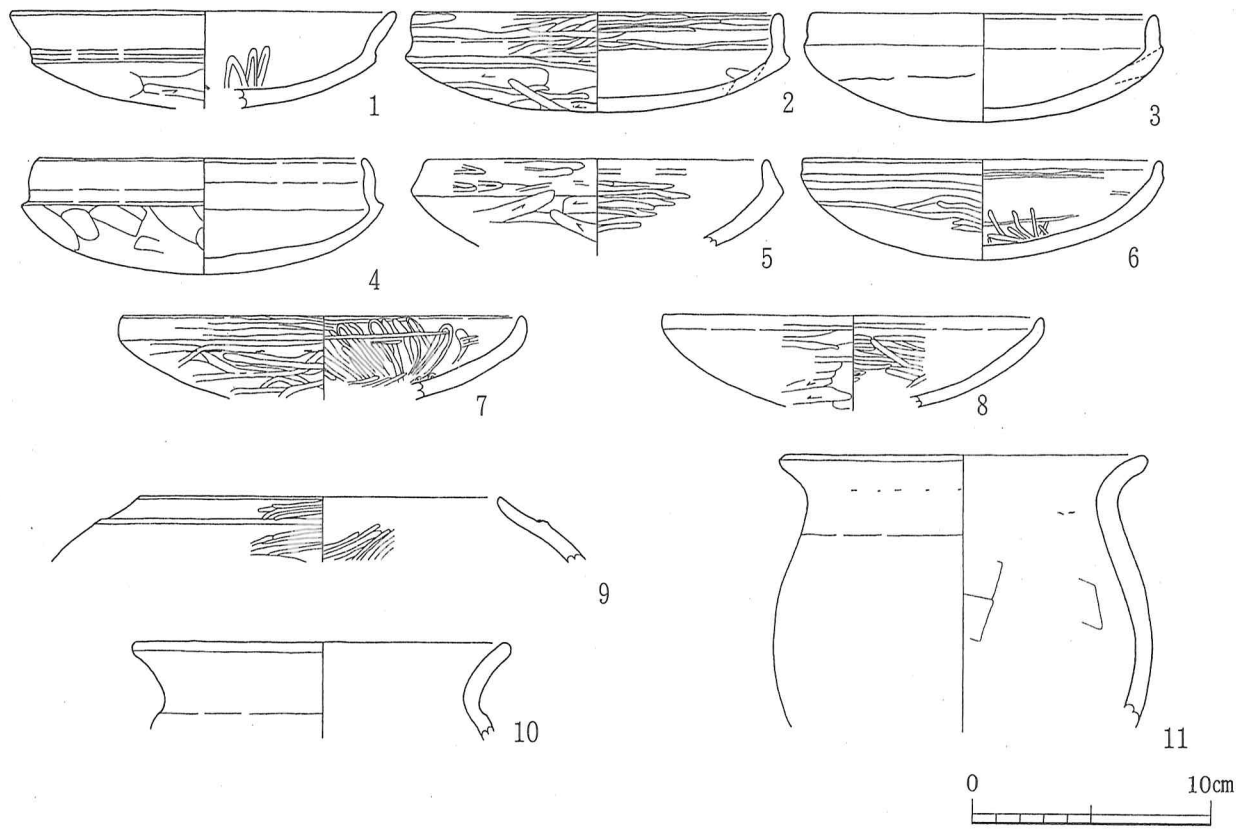
- | | | | |
|------------|-----------------------------------|------------|---|
| 1 黒褐色土 | LR・小IPB・小SPB極微量 | 13 明褐色土IV | 9層に比べてLB・IPBの粒大きい |
| 2 暗褐色土 | LR微量、小IPB少量、小SPB極微量、CB微量 | 14 明黄褐色土I | LB主体、微小IPBやや多量、小IPB微量 |
| 3 褐色土 | LR微量、小IPBやや少量、小SPB微量 | 15 暗褐色土III | LR・小LB少量、微小IPB微量、小IPB少量、小SPB微量 |
| 4 明褐色土 | LR・微小IPB少量、小IPB微量、小SPB極微量 | 16 暗黄褐色土II | LR多量、LB・微小IPB・小IPB少量、微小SPB微量 |
| 5 淡褐色土 | LRやや多量、小LB・小IPB少量、小SPB・焼土微量 | 17 淡黄褐色土 | LR主体、小IPB・小SPB極微量、粒子のきめが細かい |
| 6 淡褐色土II | 5層よりLRが少ない | 18 淡褐色土III | LR・小LB・小IPB少量 |
| 7 明褐色土II | 4層より微小IPB・小IPBやや多量 | 19 明褐色土V | LR・LB・微小IPB・焼土R少量、焼土B微量 |
| 8 暗淡褐色土 | LR・小LB・小IPB少量、小SPB微量 | 20 淡褐色土IV | LRやや多量、小LB・小IPB少量、小SPB微量、焼土R少量 |
| 9 明褐色土III | LR・LB・小LB・IPB・小IPB少量、微小IPB・小SPB微量 | 21 明褐色土VI | LR少量、LB微量、小LB少量、微小IPB・小IPB微量、焼土R少量 |
| 10 暗褐色土II | LR・小LB微量、微小IPB少量、小SPB微量 | 22 暗淡黄褐色土 | LR多量、小LB微量、微小IPB少量、小IPB多量、小焼土B少量、黒色土R多量(張床) |
| 11 暗淡褐色土II | LR微量、小IPB少量、小SPB・CB微量 | 23 黄褐色土 | L主体、小IPB少量、黒色土R微量(張床) |
| 12 暗黄褐色土 | LR多量、LB少量、微小IPB微量、IPB少量、小SPB微量 | | |

第53図 SI12平・断面図

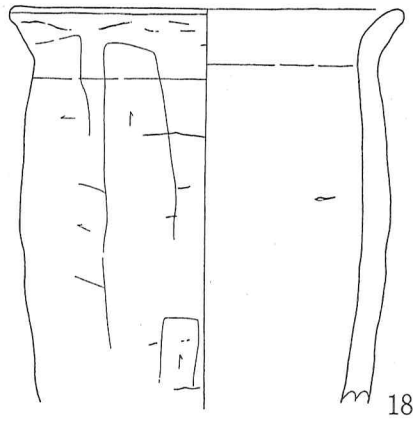


- SI12カマド
- 1 暗褐色土 LR・小LB・小IPB微量
LR多量、小IPB少量、焼土R
微量、粘土R・CR極微量
 - 2 明淡褐色土 LR多量、小IPB微量、焼土R
やや多量、粘土R・CR微量
 - 3 暗淡赤褐色土 LR少量、小IPB微量、焼土R
多量、焼土B・粘土R微量
 - 4 赤褐色土 LR多量、小IPB微量、粘土B
極微量
 - 5 淡褐色土 LR多量、粘土B極微量
 - 6 淡黄褐色土 LR・焼土R多量、小LB・CR
微量、小焼土B少量
 - 7 明淡赤褐色土 LR主体
 - 8 淡黄褐色土II LR多量、小LB・小IPB・微
小IPB微量、焼土R少量、小焼
土B微量、黒色土R少量混入、小
SPB微量
 - 9 暗褐色土 LRやや多量、小IPB・小SP
B微量、焼土R・小焼土B少量、
黒色土Rやや多量
 - 10 暗淡赤褐色土II 黒色土B主体、又このB中に極小
IPB少量、極小LB微量、極小
SPB極微量混入
 - 11 黒褐色土 LR多量、小LB微量、微小IP
B少量、小IPBやや多量、小焼
土B少量、黒色土Rやや多量
 - 12 暗淡黄褐色土

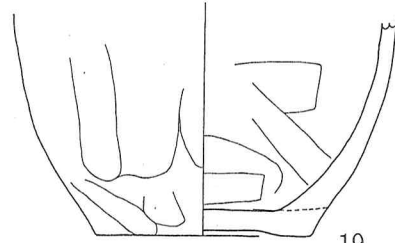
第54図 SI12カマド平・断・遺物平面図



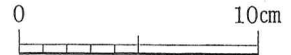
第55図 SI12出土遺物実測図(1)



18



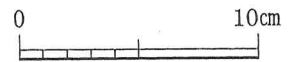
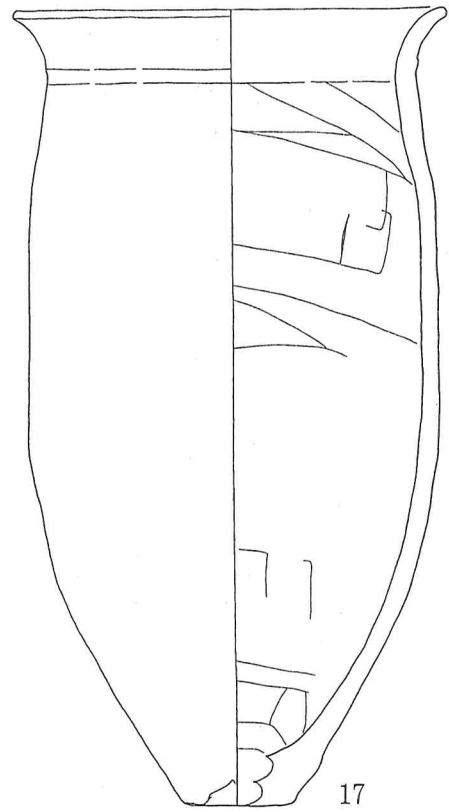
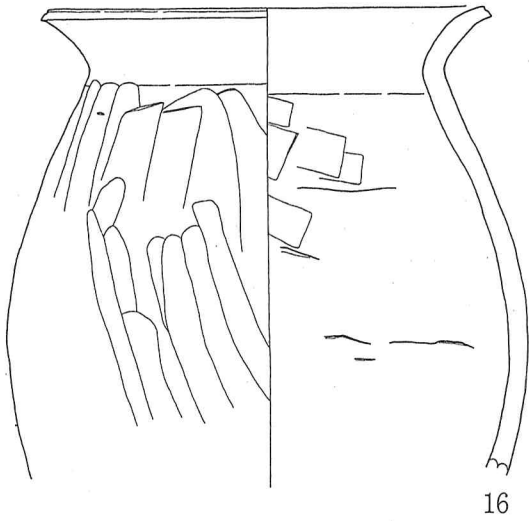
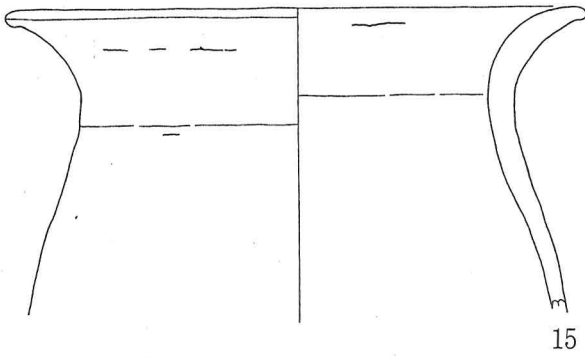
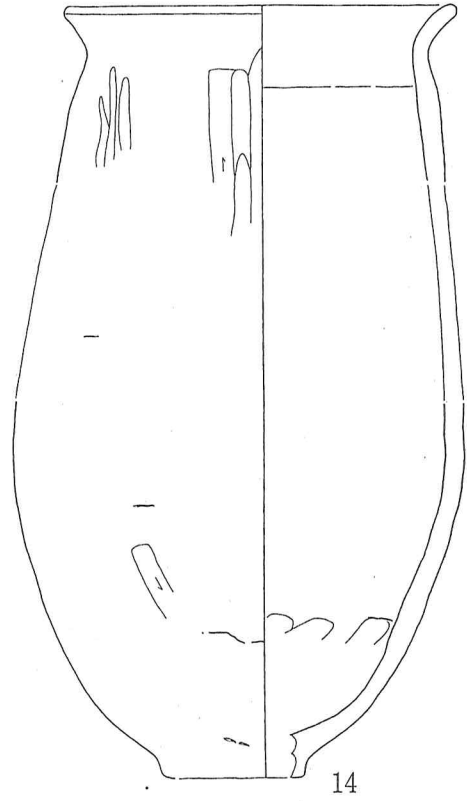
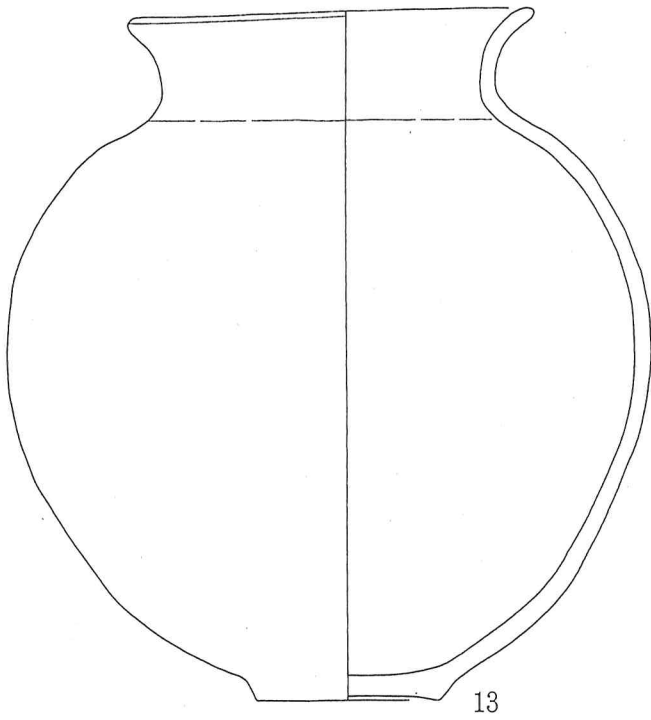
19



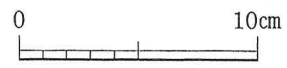
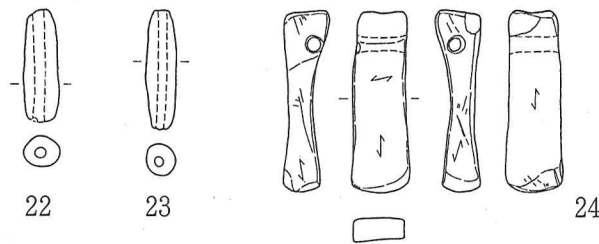
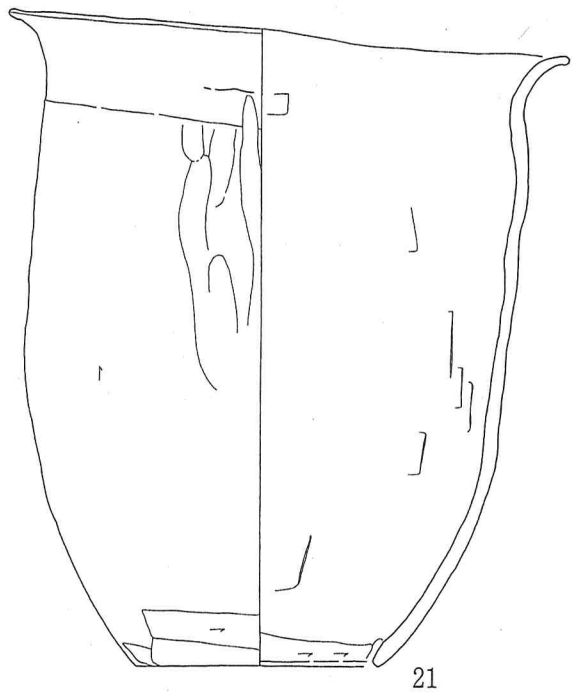
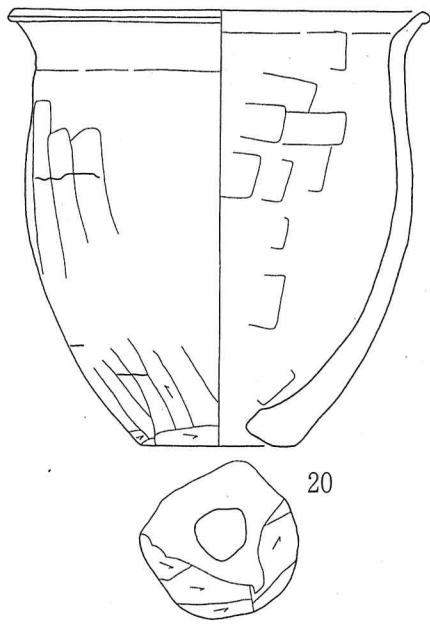
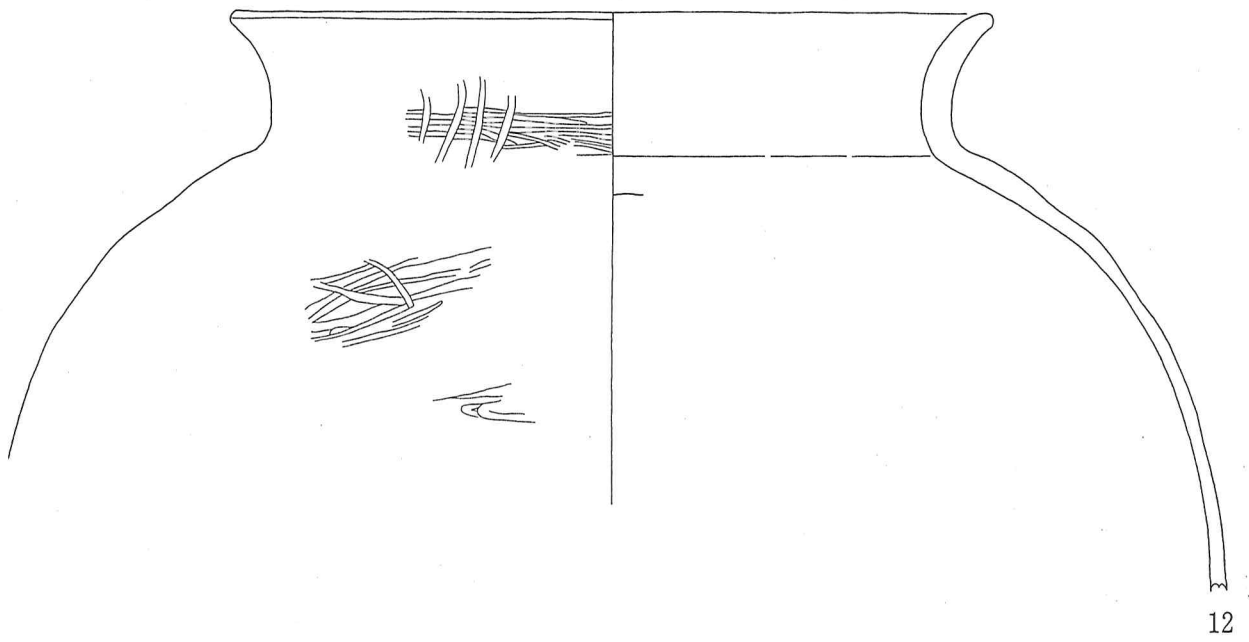
第56図 SI12出土遺物実測図(2)

第29表 SI12土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (15.7) 器高 (4.0)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	A: 口縁部は大きく開き、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ後体部内面一定方向の粗いヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に2 ³ / ₄ 幅の工具による強いヘラナデを二重にめぐらす。	1/6	埋土	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (15.0) 器高 4.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.5	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 杯	口径 (14.4) 器高 4.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒 白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に3 ³ / ₄ 幅の工具による強いヘラナデ。	3/5	床直No.12	輪積痕 漆仕上げ
4	土師器 杯	口径 13.4 器高 4.8	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に3 ³ / ₄ 幅の工具による強いヘラナデ。	2/3	床直No.4	漆仕上げ
5	土師器 杯	口径 (14.0) 器高 (3.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/5	埋土	黒斑 葉脈圧痕
6	土師器 杯	口径 14.9 器高 4.2	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.1	漆仕上げ
7	土師器 杯	口径 (16.4) 器高 (3.5)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。黒色砂粒 半透明砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	2/5	埋土	輪積痕 漆仕上げ
8	土師器 杯	口径 (15.8) 器高 (3.8)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ後不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/4	埋土	漆仕上げ
9	土師器 鉢	口径 (14.7) 器高 (2.7)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	その他: 口縁部は内傾する。	体部内外面一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面に横方向のヘラ磨き。	口縁部の1/9	埋土	
10	土師器 小型甕	口径 (15.2) 器高 (4.1)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒 赤色砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は外傾する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/5	床直No.4	
11	土師器 小型甕	口径 (14.8) 器高 (11.3)	B 白色砂粒 白色粗砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外傾し、胴部は中位に最大径を有する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.3	輪積痕 煤付着 内面白色物質付着 剥離が激しい。
12	土師器 甕	口径 31.2 器高 (24.0)	A 白色砂粒 黒色砂粒。透明細砂粒 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は外湾し、胴部は大きく膨らむ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、口縁部外面縦方向のヘラ磨き。	1/10	床直No.7,15 竈	剥離が激しい。輪積痕



第57図 SI12出土遺物実測図(3)



第58図 SI12出土遺物実測図(4)

13	土師器 甕	口径 16.4 底径 7.6 器高 28.6	A 黒色砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	B：口縁部は外湾し、胴部は肩から張り出し中位に最大径を有する。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上半ヘラナデ、下半ヘラ削り後全体にヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直 No.4,7,13 竈	煤付着 別作り剥離、摩耗が激しい。
14	土師器 甕	口径 (16.0) 底径 (6.0) 器高 32.0	A 黒色砂粒 白色細砂粒。2~5 ³ / ₁₀ 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は外傾し、胴部は長胴ぎみで下半に膨らみがある。平底。	胴部内面ヘラナデ、接合部に斜め方向のヘラ削り、胴部外面ヘラ削り後一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/5	床直 竈	輪積痕 煤付着 別作り剥離している。
15	土師器 甕	口径 (23.0) 器高 (12.6)	A 白色砂粒 白色粗砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は外湾する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/2~胴部上半一部	床直No.14	輪積痕
16	土師器 甕	口径 18.0 器高 (19.3)	A 白色細砂粒 白色粗砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は「く」の字を呈し、端部で面取りされる。胴部は中位に最大径を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.8 竈	輪積痕
17	土師器 甕	口径 17.7 底径 (4.8) 器高 32.8	B 黒色細砂粒 白色粗砂粒。2~5 ³ / ₁₀ 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	C2：口縁部は外傾する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	2/3	床直 竈	粘土付着 煤付着 内面剥離 別作り
18	土師器 甕	口径 15.8 器高 (16.2)	A 黒色細砂粒 白色粗砂粒。4~10 ³ / ₁₀ 大粗粒を多量に含む。 焼成良好	乳白色	D：口縁部は外傾し、胴部は長胴ぎみ。厚手。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.3	輪積痕 剥離が激しい。
19	土師器 甕	底径 9.0 器高 (9.2)	B 白色砂粒 白色粗砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	不明：凹底。	胴部内外面ヘラナデ。	底部	竈No.2	輪積痕 木葉痕 煤付着 内面白色物質付着
20	土師器 甕	口径 (16.8) 底径 6.4 器高 18.0	A 白色砂粒 半透明粗砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A2：口縁部は外傾し、端部で面取りがなされる。胴部はやや張りながらすばまる。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ、底部付近に斜め方向のヘラ削り、口縁部横ナデ。	9/10	竈No.3	単孔 底部を人為的に穿孔 内面に乳白色の付着物 輪積痕
21	土師器 甕	口径 23.4 底径 10.1 器高 27.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C：口縁部は外湾し、胴部は膨らみで下半ですばまる。	胴部内面ヘラナデ、底部付近のみに横方向のヘラ削り後全体にヘラ磨き、胴部外面縦方向のヘラ削り、底部付近のみに横方向のヘラ削り後全体にヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.1 竈	筒抜け 輪積痕

第30表 SI12土錘観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				胎土・焼成	色調	器形・調整の特徴	残存率	出土位置
		長さ	最大径	孔径	重量					
22	土錘	4.6	1.5	0.4	6.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	A：ミガキ	完形	埋土
23	土錘	4.9	1.3	0.5	6.8	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	A：ミガキ	完形	埋土

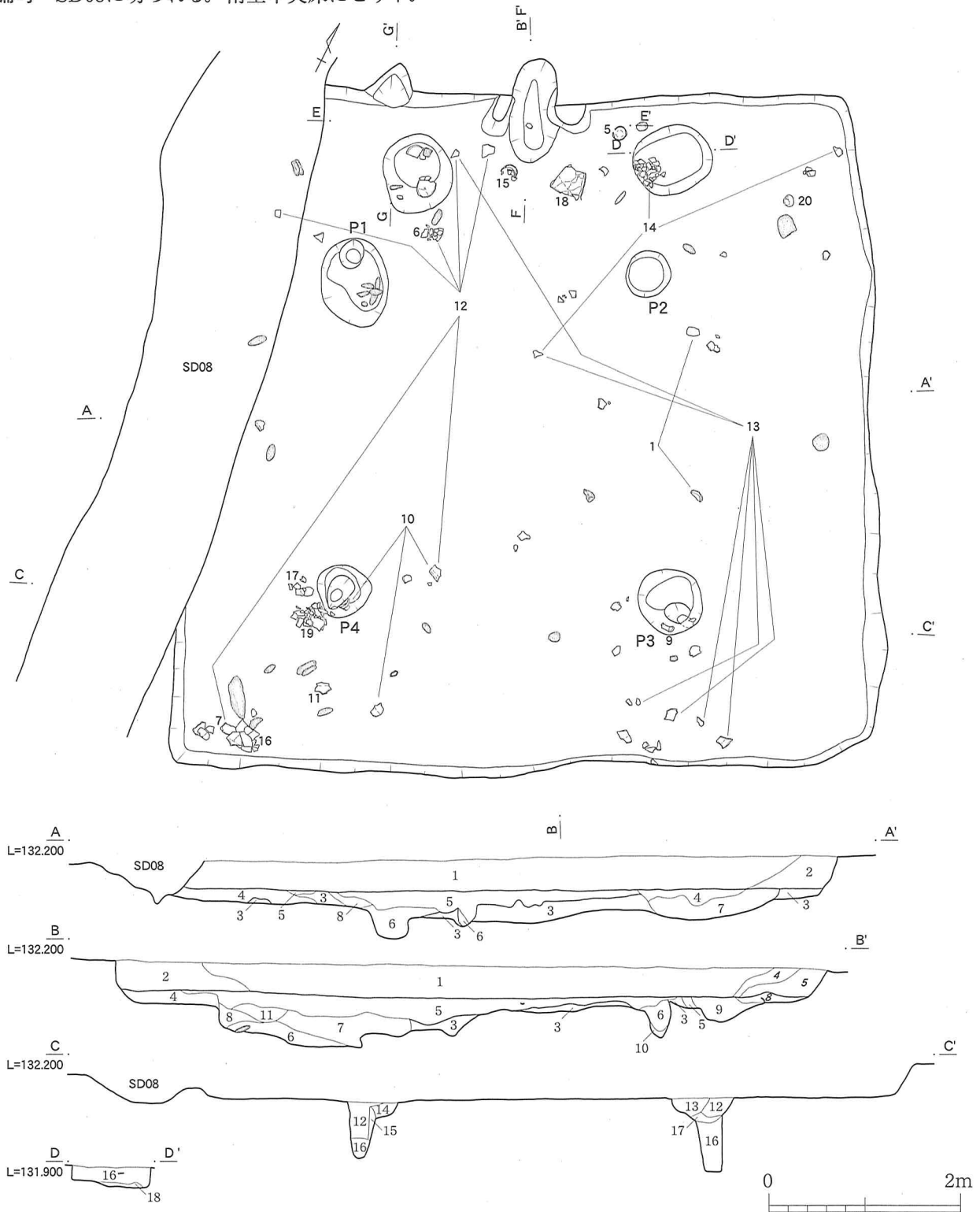
第31表 SI12砥石観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				材質	使用面	残存率	出土位置	備考
		最大長	最大幅	最大厚	重量					
24	砥石	7.3	2.4	1.9	38.5	泥岩	四面	ほぼ完形	埋土	穿孔1 著しい磨耗

SI13

位置 ウ4F4杭付近。規模 東西7.3m×南北6.9m。主軸方向 N-27°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 5基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁2カ所。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6、埴1、高坏2、甕8、甑2、須恵器甕口縁1、甕破片1、壺1である。

備考 SD08に切られる。南壁中央床にピット。



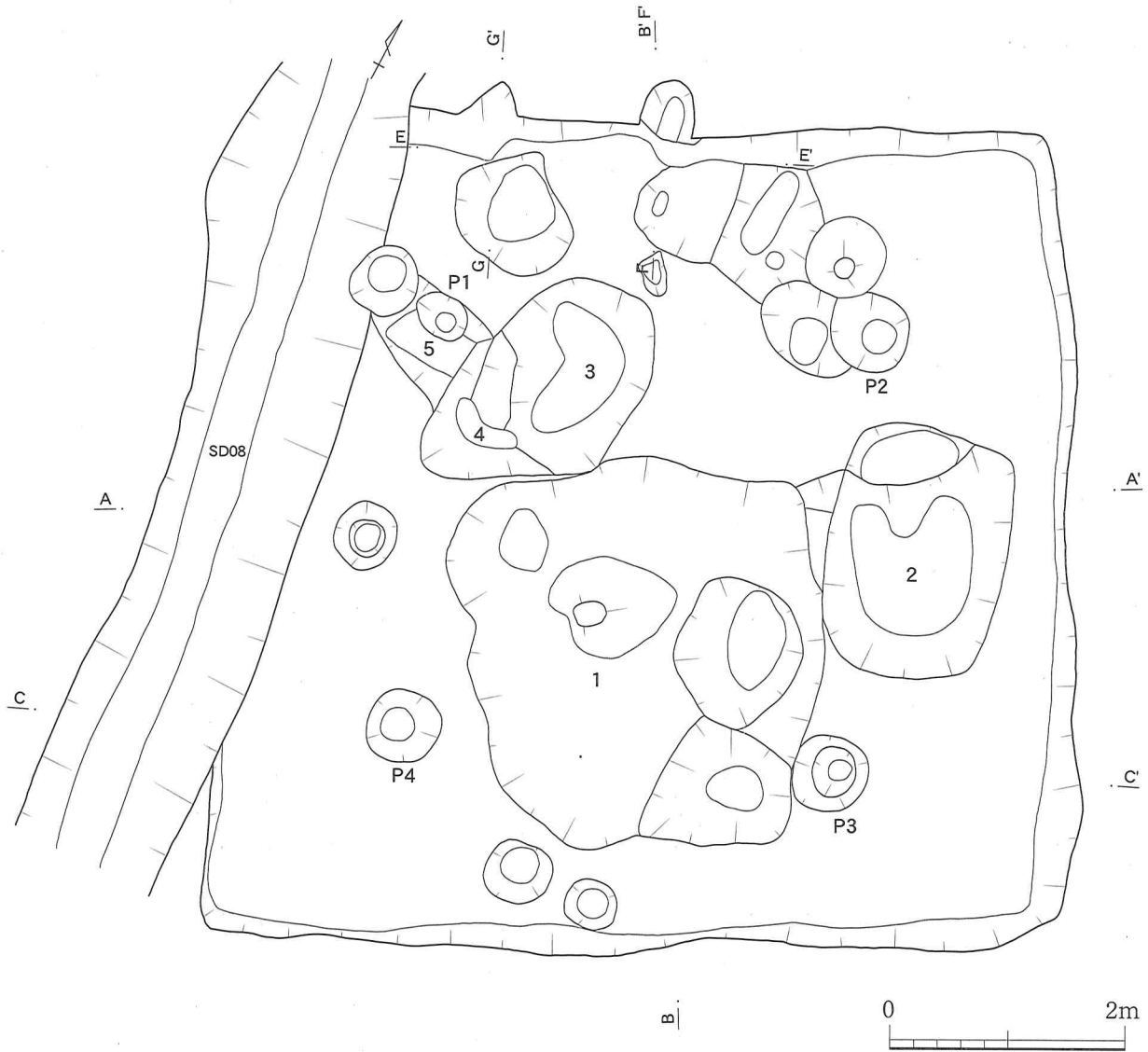
第59図 SI13断・遺物平面図

SI13

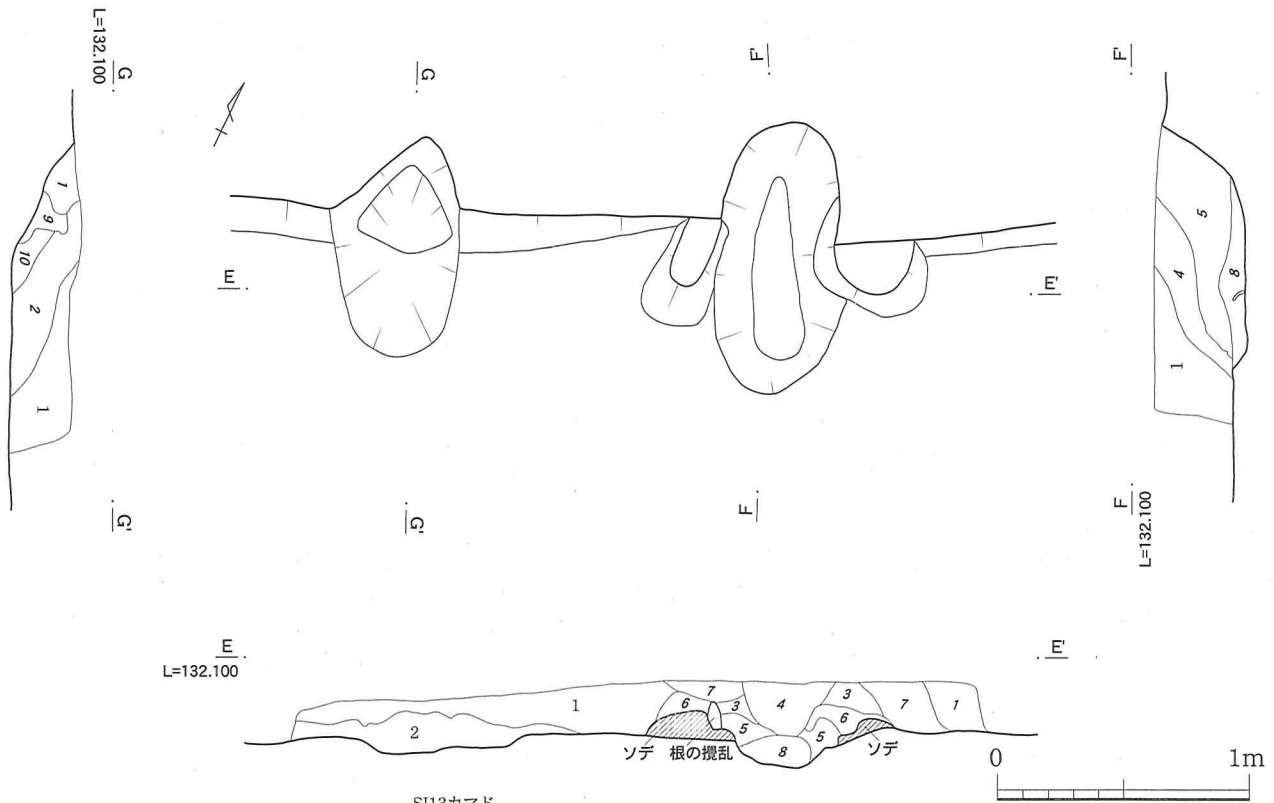
- | | | | |
|-----------|---------------------------|-------------|------------------|
| 1 黒褐色土 | 小IPB微量 | 10 暗淡褐色土III | 6層に黒色土混入 |
| 2 淡褐色土 | 小IPB多量 | 11 褐色土III | 5層にIPB多量混入 |
| 3 淡黄褐色土 | L R主体、微小IPB・微小SPB微量混入(張床) | 12 暗黄褐色土 | L R多量、小IPB微量 |
| 4 褐色土 | 小LB・LR・微小IPB多量 | 13 暗褐色土 | 小IPB・LR・IPB微量 |
| 5 褐色土II | 4層より小LBさらに増加 | 14 黄褐色土 | 黒色土混入、小IPB微量 |
| 6 暗淡褐色土 | L R極多量、小LB・小IPB少量 | 15 暗黄褐色土II | 12層よりLR多量、小IPB微量 |
| 7 暗淡褐色土II | 小LB多量、LR極多量、小IPB・微小IPB少量 | 16 暗淡黄褐色土 | 小IPB微量、LR多量 |
| 8 淡黄褐色土II | 3層に黒色土少量混入 | 17 暗赤褐色土 | 小LB・IPB少量 |
| 9 暗淡赤褐色土 | L R多量、微小IPB少量、焼土R多量 | 18 黄褐色土II | L R主体 |

第32表 SI13床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	3.40	2.90	-	不整形			
2	2.20	1.50	-	楕円形			
3	1.65	1.30	-	楕円形			土坑4と重複、土坑3が新しい
4	1.15	0.95	-	楕円形			土坑5と重複、土坑4が新しい
5	1.15	0.79	-	楕円形			

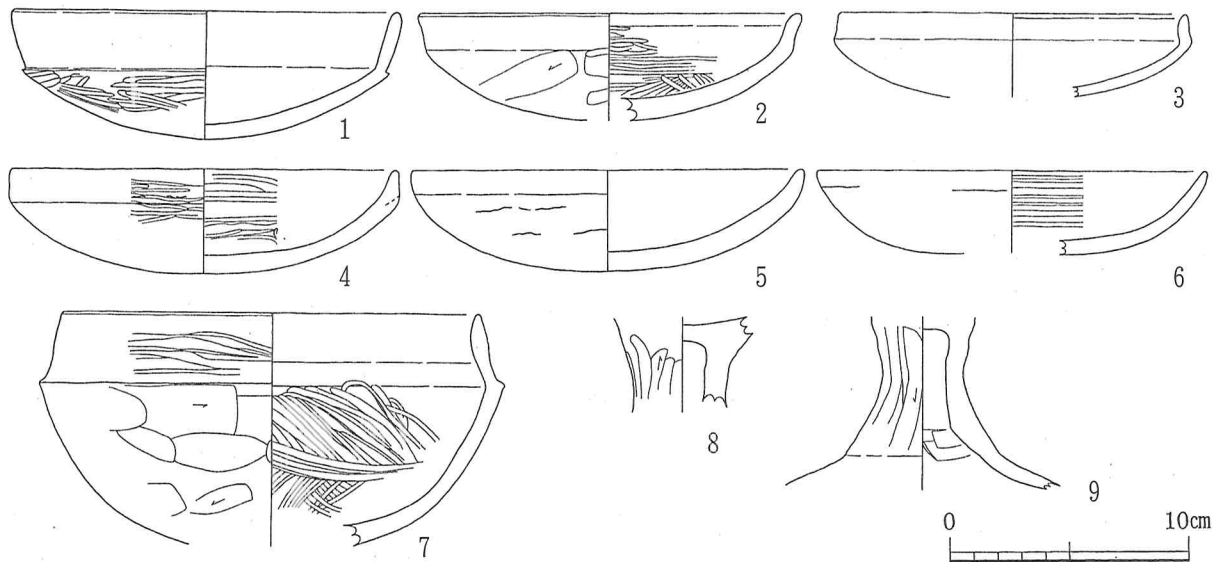


第60図 SI13平面図

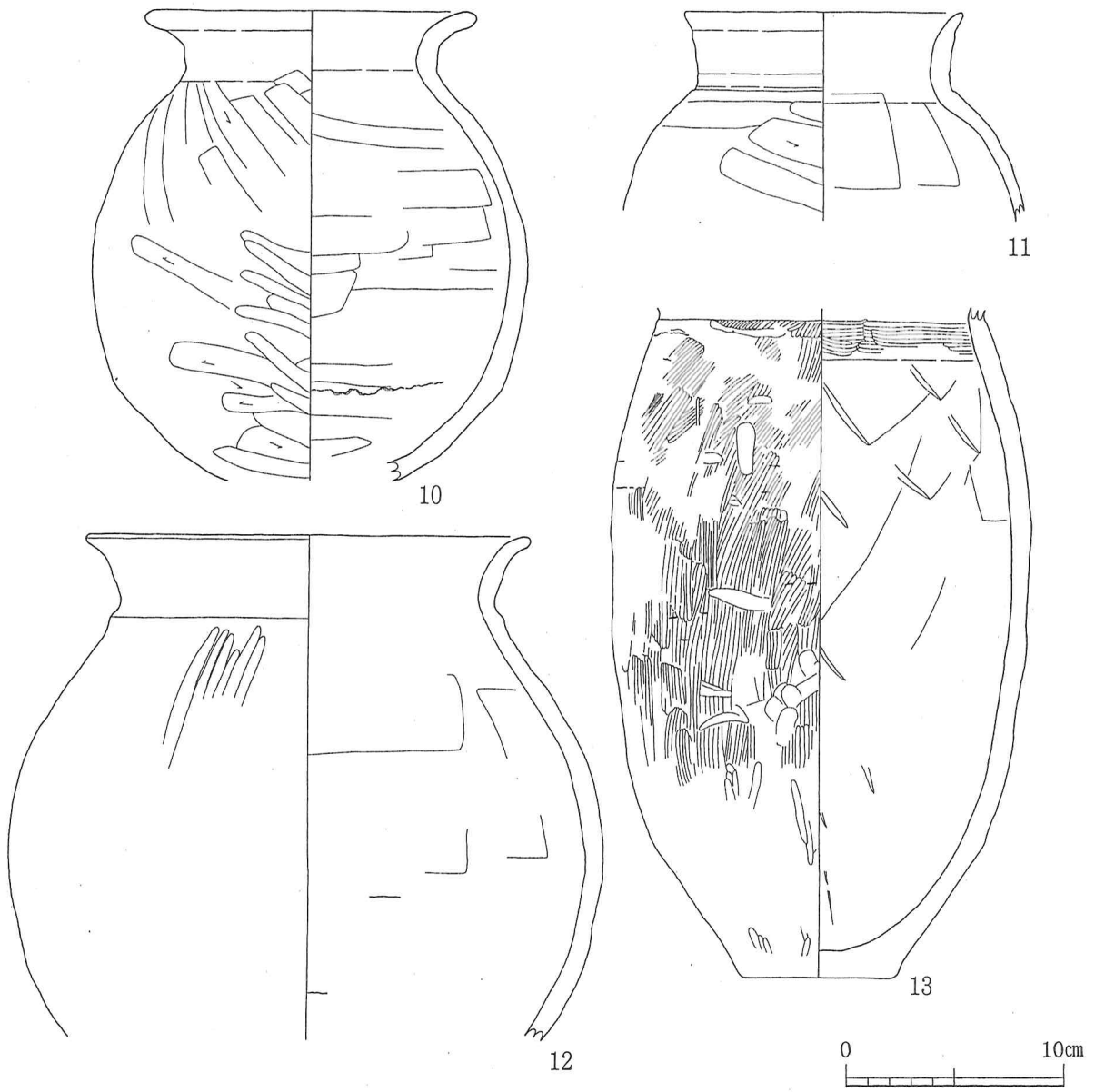


- SI13カマド
- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1 褐色土 | LR多量、小IPB少量 |
| 2 明黄褐色土 | LR多量、小IPB少量、焼土R多量 |
| 3 明黄褐色土II | 2層より焼土Rが少ない |
| 4 暗赤褐色土 | LR・焼土R多量、黒色土少量混入 |
| 5 明赤褐色土 | 焼土B・焼土R極多量、CR少量 |
| 6 淡褐色土 | LR多量、小IPB少量(ソデ上部) |
| 7 明褐色土 | LR多量、小IPB少量、焼土微量 |
| 8 暗赤褐色土II | 焼土B多量、LR少量、CR微量 |
| 9 淡黄褐色土 | LR多量、焼土R少量、焼土B・小SPB微量 |
| 10 暗淡赤褐色土 | 焼土R多量、小焼土B・LR少量 |

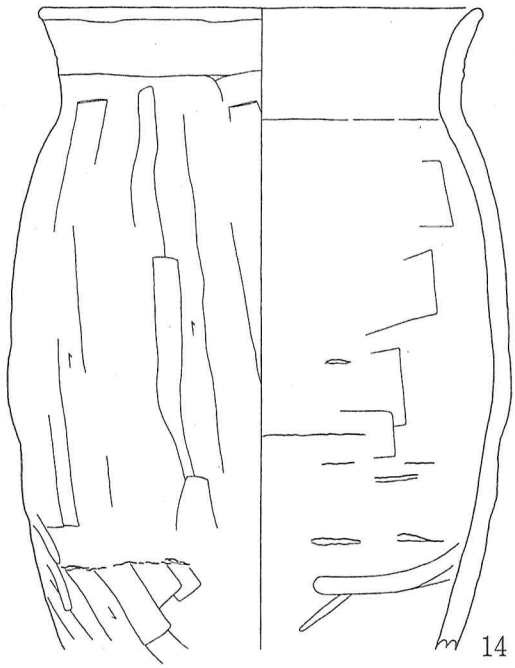
第61図 SI13カマド平・断面図



第62図 SI13出土遺物実測図(1)



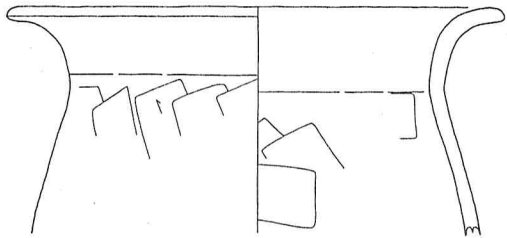
第63图 SI13出土遺物実測図(2)



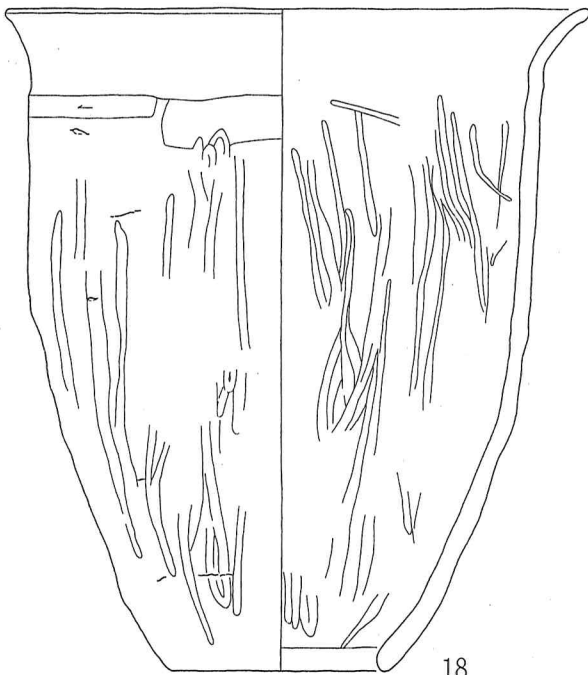
14



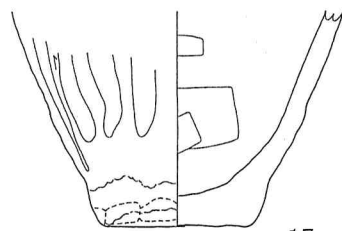
16



15



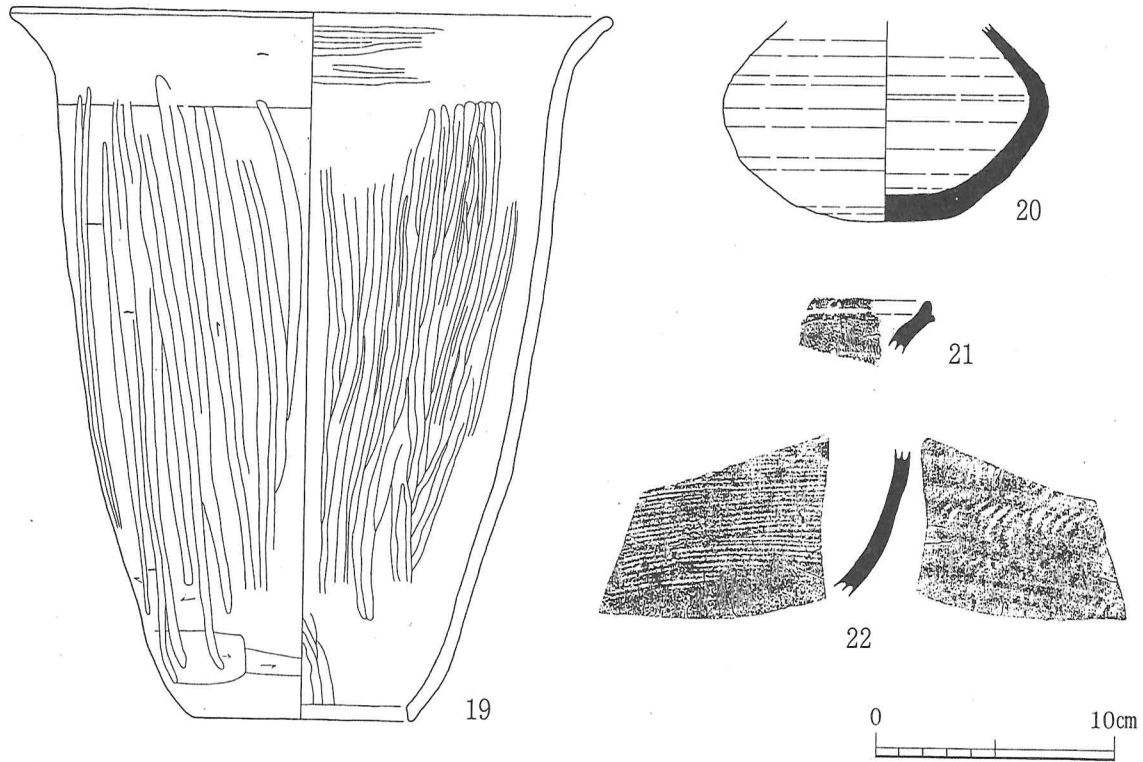
18



17



第64図 SI13出土遺物実測図(3)



第65図 SI13出土遺物実測図(4)

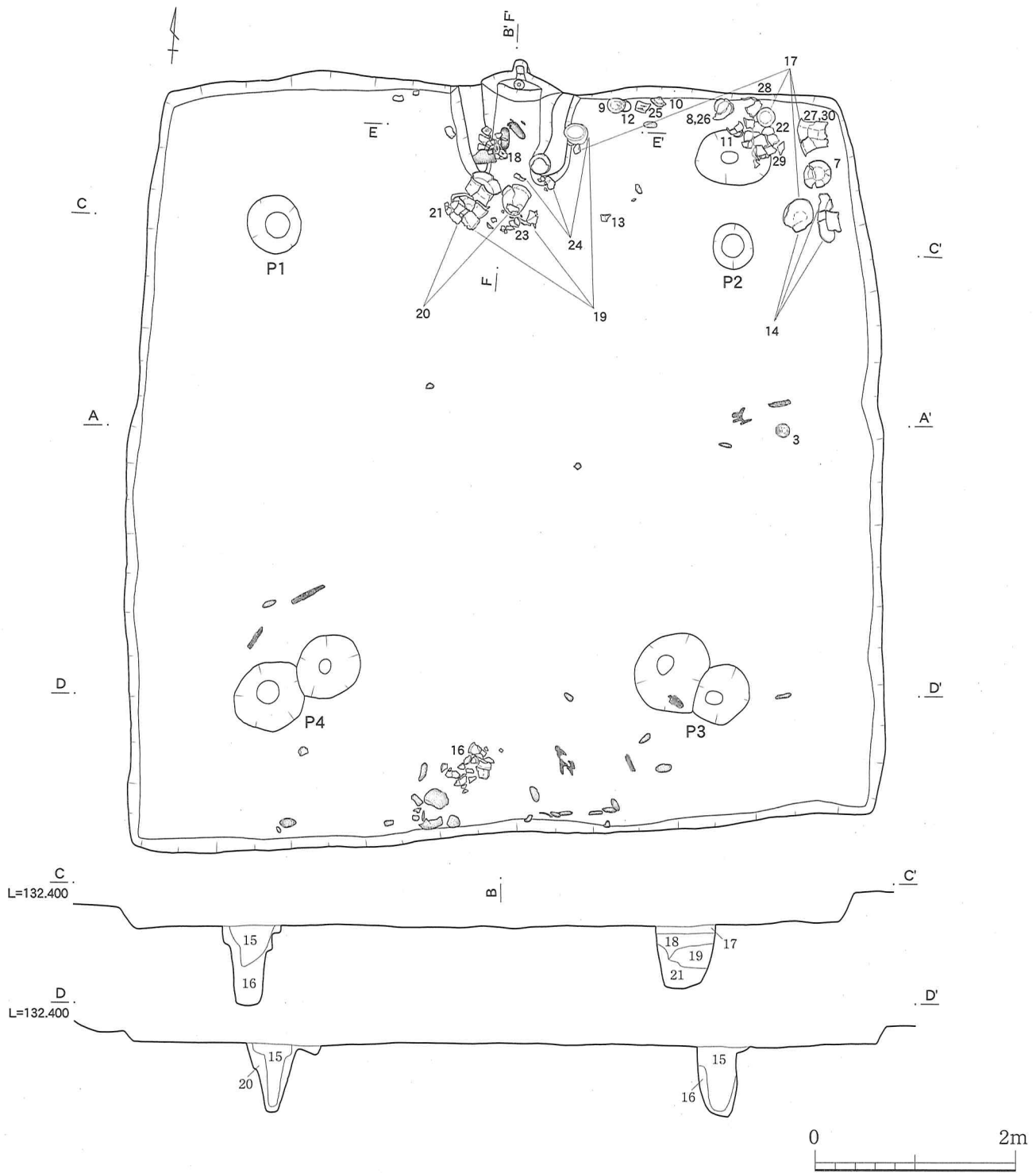
第33表 SI13土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 5.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ヘラナデ、ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/3	床直 No.39,42	輪積痕 黒斑
2	土師器 坏	口径 (15.7) 器高 (4.4)	A 透明細砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒 赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	橙褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ後内面に一定方向のヘラ磨き、底部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/3	床下	漆付着
3	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 (3.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部はやや内傾し、体部外面に弱い稜を有する。	体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/3	床直	
4	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 4.3	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	黒褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	2/3	床下	
5	土師器 坏	口径 16.2 器高 4.2	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.48	輪積痕 漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (16.2) 器高 (3.4)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	H: 口縁部は外傾する。	口縁部から体部内面に横ナデ、口縁部横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/3	床直No.40 東竈	輪積痕 漆仕上げ 剥離が激しい。
7	土師器	口径 (17.1) 器高 (9.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面横方向のヘラ磨き。	1/3	床直No.20	漆仕上げ 煤付着
8	埴師器 高坏	器高 (4.2)	A 黒色砂粒 白色砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	内: 黒色 外: 淡褐色	B1: 脚部上半で緩やかにくびれる。	坏底部内面ヘラ磨き、脚部内外面ヘラ削り。	坏底部 ~脚上部	埋土	内面黒色処理

9	土師器 高坏	器高 (7.0)	A 黒色砂粒 白色砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	B1:脚部は筒状で、裾部にかけて「八」の字状に開く。	脚部下半ナデ、内面上半ヘラナデ、外面上半ヘラナデ。	脚部	床直No.30	
10	土師器 小型甕	口径 14.2 器高 (21.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒) 白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	A:口縁部は直立してから大きく外傾し、胴部は中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位ヘラナデ、下位から中位にヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/2	床直No.23,43,50	輪積痕 別作り
11	土師器 小型甕	口径 (12.8) 器高 (9.5)	A 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B:口縁部は三段の稜を持ち、緩やかに外傾する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ、口縁部横ナデ後外面に3 ⁵ / ₁₆ 幅の工具による強いヘラナデ。	口縁部の1/3	床直No.22	剥離が激しい。
12	土師器 甕	口径 (19.7) 器高 (22.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 白色砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	A:口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ、外面に横方向のヘラ磨き。	2/3	床直No.12,13,15,20,40,50 東電西電	輪積痕 別作り 剥離が激しい。
13	土師器 甕	底径 7.0 器高 (30.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。2~3 ⁵ / ₁₆ 大粗粒を含む。 焼成良好	橙褐色	C1:頸部外面下端に稜を有する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、頸部近くにハケメ、胴部外面上位から中位までハケメ、下位ヘラナデ後ヘラ磨き。	7/10	床直No.13,33,34,35,36,49	輪積痕 偶発的と思われる指の痕
14	土師器 甕	口径 (18.0) 器高 (26.5)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。2~3 ⁵ / ₁₆ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部はわずかに外傾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ後接合部に一部ヘラ磨き、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ、外面下端に3 ⁵ / ₁₆ 幅の工具による強いヘラナデ。	4/5	床直No.1,44,49	輪積痕 内外面煤付着 別作り
15	土師器 甕	口径 19.6 器高 (9.3)	B 黒色細砂粒 半透明砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外湾する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4	床直No.41	煤付着
16	土師器 甕	口径 (18.4) 底径 6.4 器高 31.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒 2~5 ⁵ / ₁₆ 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外湾する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/10	床直No.21	輪積痕 煤付着 別作り
17	土師器 甕	底径 6.0 器高 (8.9)	B 白色砂粒 金雲母。2~4 ⁵ / ₁₆ 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	不明:底部は平底で厚い。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、指押さえ。	底部	床直No.17	輪積痕 木葉痕
18	土師器 甕	口径 24.0 底径 9.0 器高 27.3	A 黒色細砂粒 白色砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	C:口縁部は外傾し、胴部は張らずにすばまってゆく。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.10	筒抜け 輪積痕 内外面煤付着
19	土師器 甕	口径 24.4 底径 9.0 器高 29.3	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C:口縁部は外傾し、胴部は張らずにすばまってゆく。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ、内面に横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.18	筒抜け 輪積痕 内外面煤付着
20	須恵器 壺	器高 (8.2)	A 白色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	灰色	口縁部は欠損して不明だがやや直立する。胴部は中位に最大径を持つ。丸底。	ロクロナデ。底部外面ヘラナデ。	胴部~底部	床直No.3	ロクロ成形
21	須恵器 甕		A 白色砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	青灰色		ロクロナデ。	口縁部破片	埋土	ロクロ成形
22	須恵器 甕		A 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	青灰色		ロクロナデ、内面同心円の叩き後横ナデ、外面平行叩き後カキ目。	破片	埋土	ロクロ成形

SI14

位置 ウ6F2杭付近。規模 東西7.5m×南北7.6m。主軸方向 N-2°-W 床面 ほぼ平坦。壁 ほぼ垂直。床下土坑 無。柱穴 4カ所+2カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏7、壺1、高坏2、鉢1、甕16、甕3、須恵器甕破片1である。備考 南壁中央床にピット。

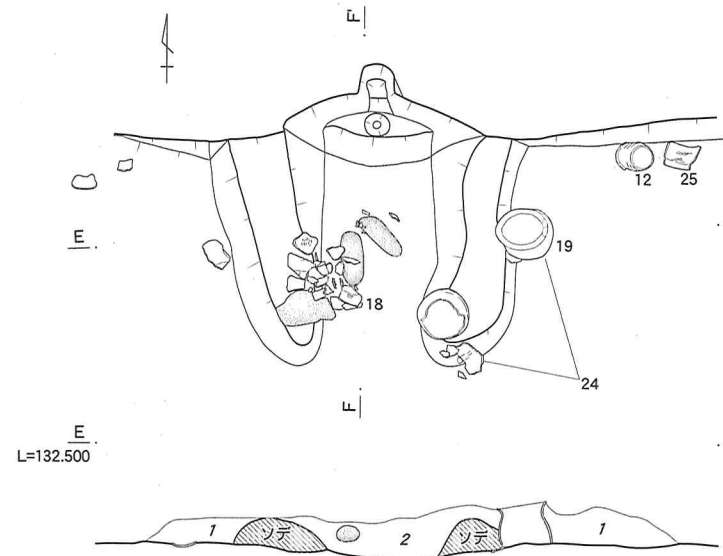
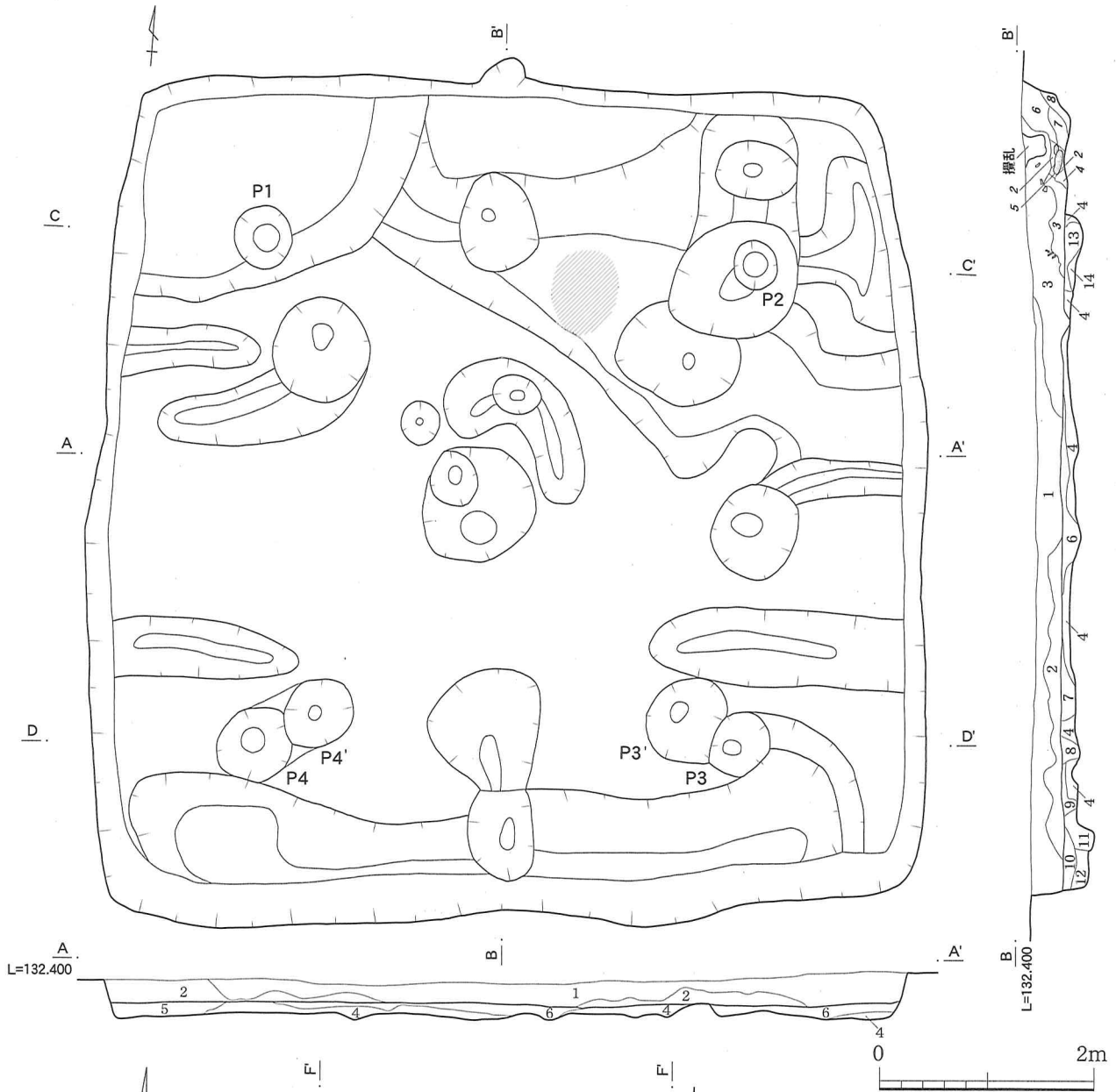


SI14

- 1 黒褐色土 LR・微小IPB少量
- 2 黒褐色土II 1層よりLR・微小IPB多い
- 3 暗褐色土 LR・小IPB・粘土B少量、CR・小LB微量
- 4 明黄褐色土 LR主体、小IPB微量、小SPB・CR極微量
- 5 明褐色土 LRやや多量、LB・微小IPB・小IPB少量、小SPB微量、CR極微量
- 6 淡褐色土 LRやや多量、小IPB・小SPB微量、CR極微量
- 7 明淡褐色土 LR多量、LB微量、小IPB極微量
- 8 暗褐色土 LR少量、小IPB極微量
- 9 淡褐色土II 6層より小IPBが少ない、若干暗い
- 10 暗褐色土II LR・微小IPB・小IPB少量、CR極微量

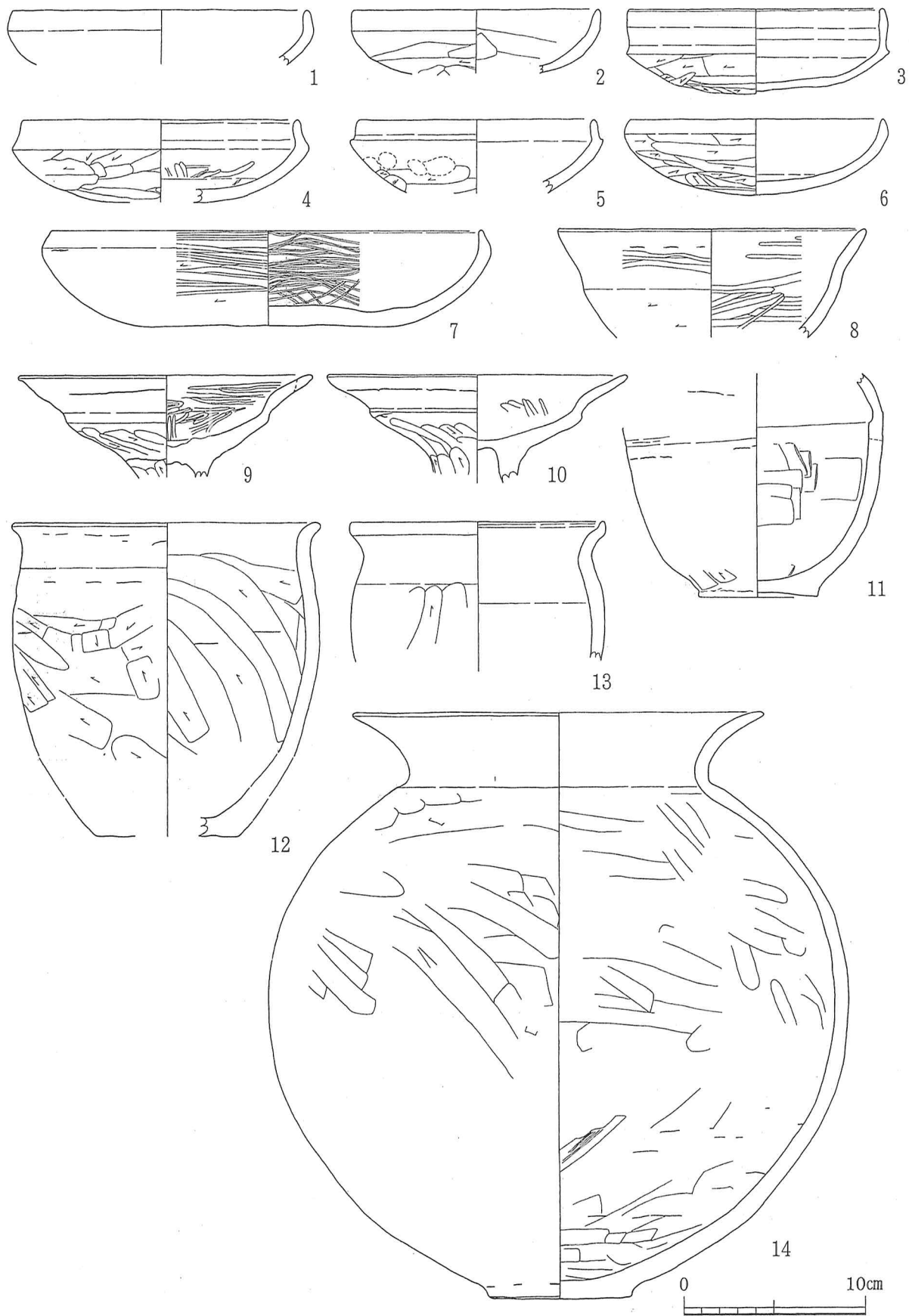
- 11 暗淡黄褐色土 LR多量、小LB少量、小IPB・CR極微量
- 12 暗淡褐色土II LRやや多量、小IPB・小SPB微量、CR極微量
- 13 暗灰褐色土 LR・小LB少量、微小IPB・小IPB微量、粘土Bやや多量、焼土R少量(焼粘土)、CB微量、灰が少量含まれる
- 14 暗灰褐色土II 13層よりLR・小LBが多い
- 15 明淡褐色土II LR多量、小IPB少量、小SPB・CR極微量
- 16 淡黄褐色土 LR極微量、微小IPB・小IPB極微量
- 17 明淡褐色土III 15層よりLRが少ない
- 18 明褐色土II LR・LBやや多量、微小IPB微量、小IPB少量、IPB・小SPB微量、粘土B・CR極微量
- 19 暗褐色土III LR・小LB・小IPB少量、微小IPB・小SPB・粘土R微量
- 20 黄褐色土 LR主体、微小IPB・小IPB微量、小SPB極微量
- 21 灰黄褐色土 LR多量、粘土R・粘土B・焼土B少量(焼粘土)、灰が多量混入している

第66図 SI14断・遺物平面図

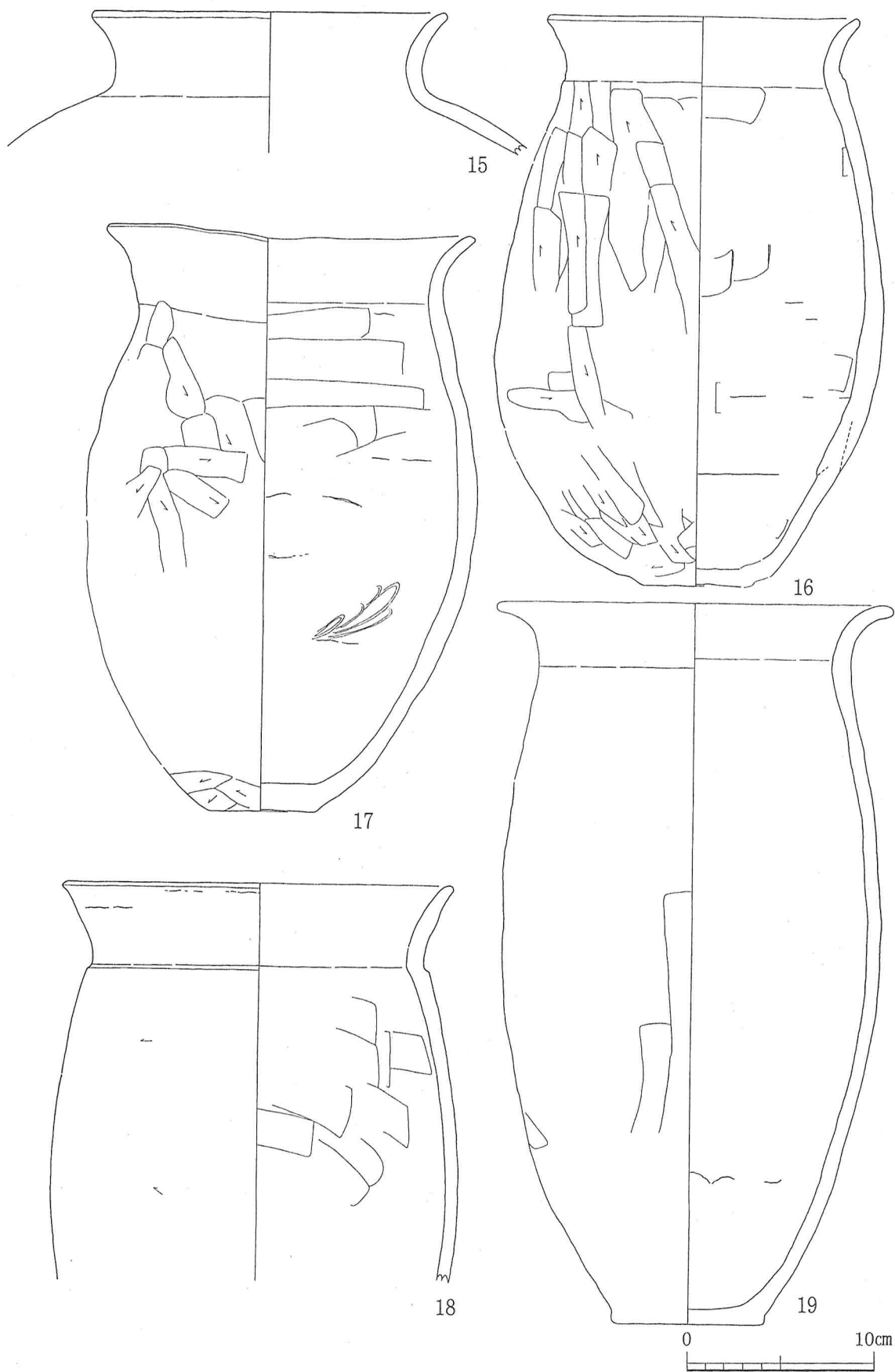


- SI14
- 1 淡灰褐色土 灰粘土主体、焼土R微量、黒色土少量混入
 - 2 暗赤褐色土 焼土R・焼粘土多量、白色粘土少量、黒色土微量混入
 - 3 灰褐色土 焼土R・焼粘土R・粘土B少量、CR微量
 - 4 灰黄褐色土 LR多量、焼粘土・白色粘土微量
 - 5 淡灰褐色土II 1層より粘土が少ない
 - 6 明灰褐色土 粘土主体、焼粘土R少量、焼粘土B微量
 - 7 明灰褐色土II 6層より焼粘土増える、焼土黒色土が少量混入
 - 8 暗灰褐色土 灰粘土が主体、焼粘土微量、キメ細かい

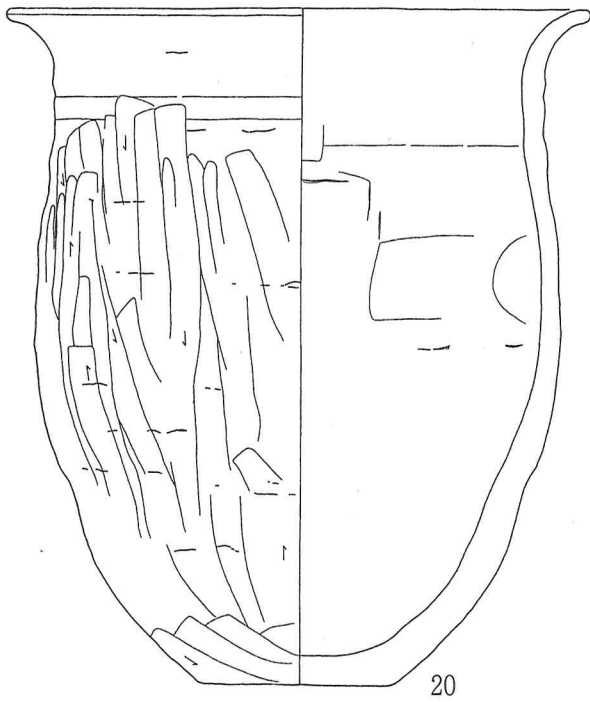
第67図 SI14平・断・カマド平・断・遺物平面図



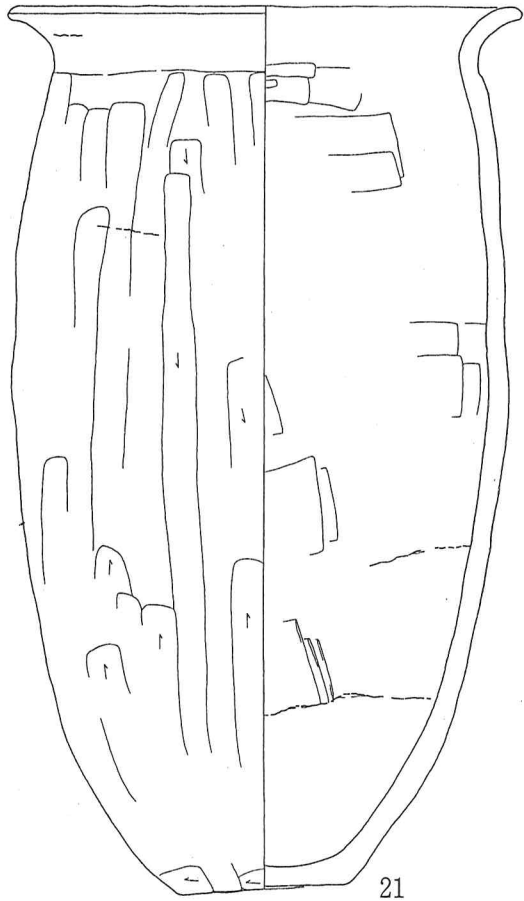
第68图 SI14出土遺物実測図(1)



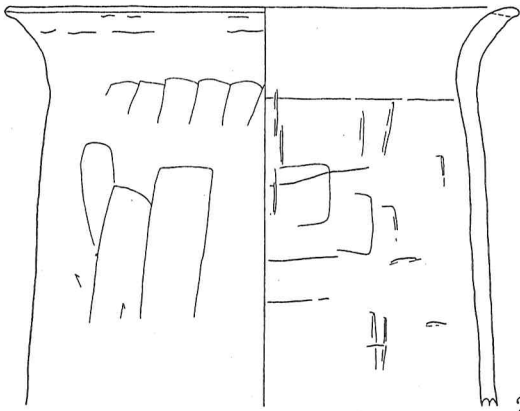
第69図 S114出土遺物実測図(2)



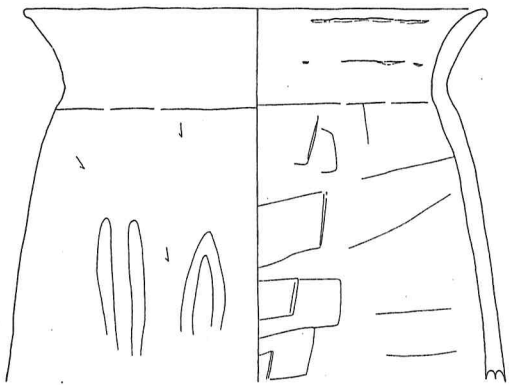
20



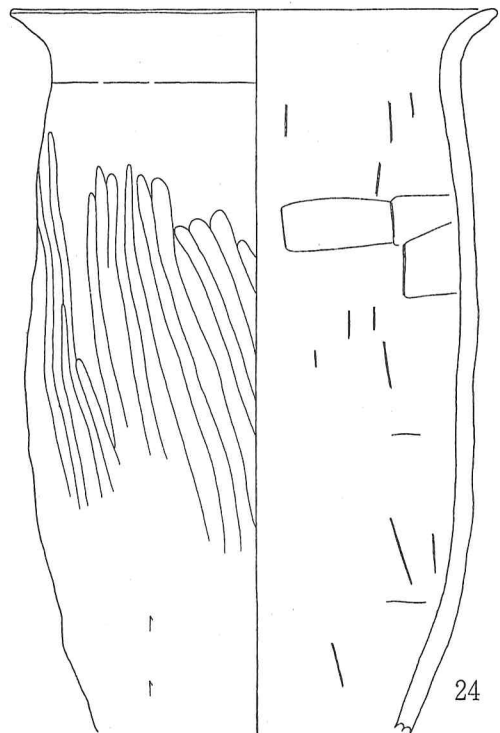
21



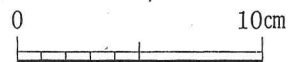
22



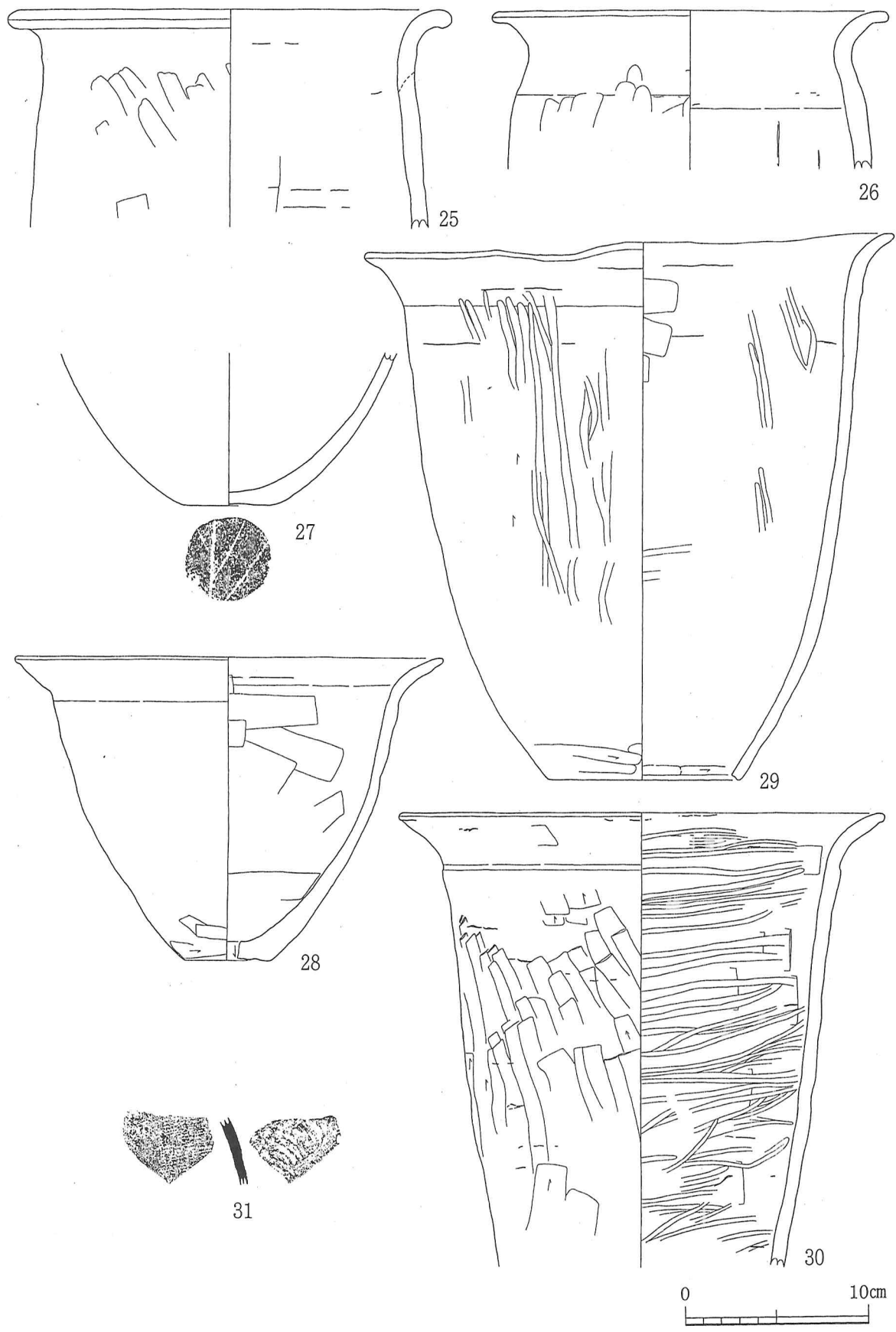
23



24



第70图 SI14出土遺物実測図(3)



第71图 SI14出土遺物実測図(4)

第34表 SI14土器観察表

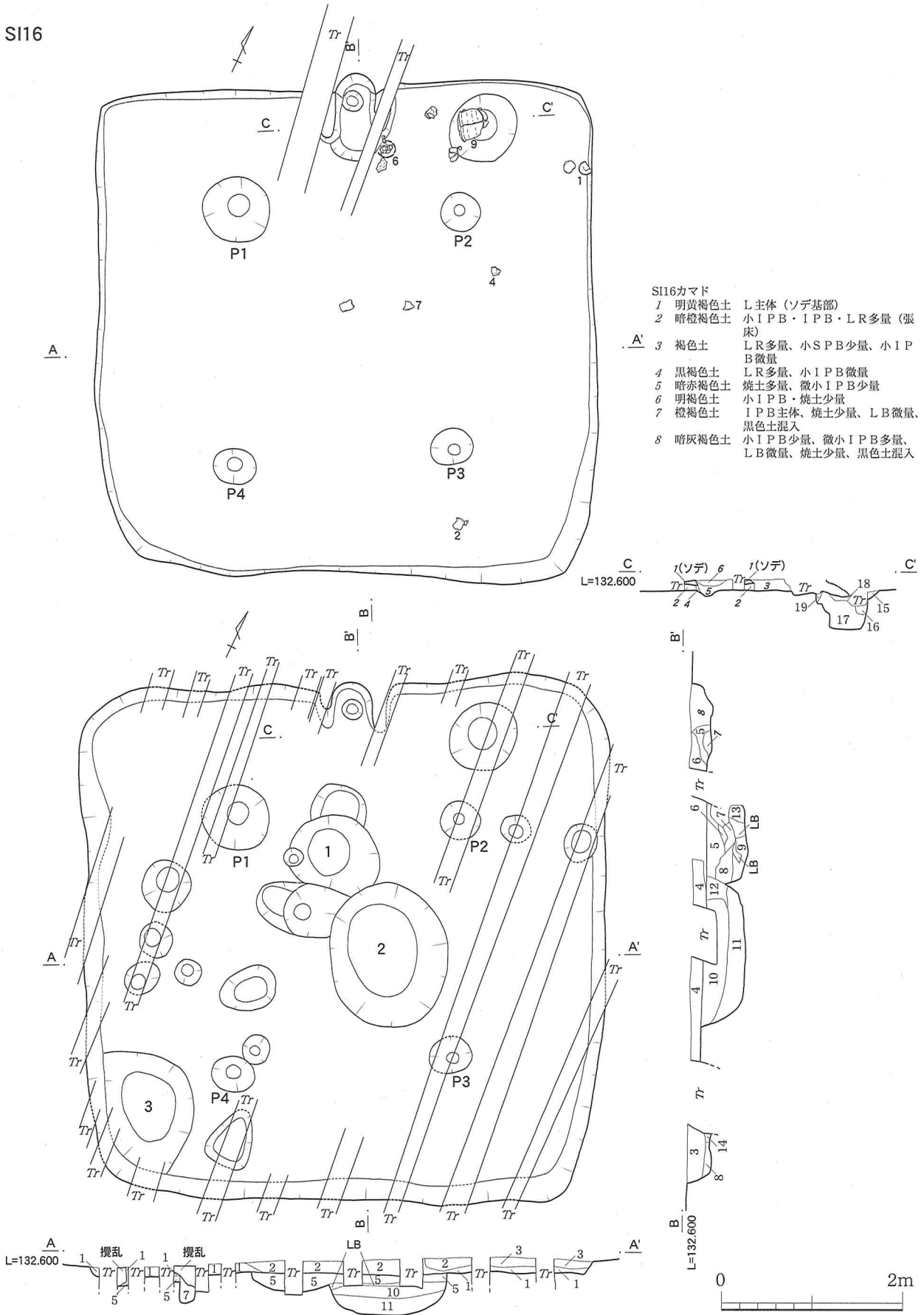
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 (3.0)	A 混和材が少ない。 焼成良好	乳白色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ、体部外面ヘラ削り。	1/12	竈	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.5)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/6	埋土	漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 14.0 器高 4.7	A 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	乳白色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ、体部外面ヘラ削り。	完形	床直No.22	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 (14.9) 器高 (4.5)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ、体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	1/3	埋土	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (12.9) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/4	竈	付着物 指押さえ
6	土師器 坏	口径 14.0 器高 4.1	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部から体部内面横ナデ。	9/10	埋土	漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 23.4 器高 5.3	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒、赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	黒色	E:大型。口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。平底。	体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.4	輪積痕 黒色処理 内外面付着物
8	土師器 -	口径 (17.0) 器高 (6.0)	A 白色砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	A:口縁部は外傾し、体部は張らずにすばまる。	体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後ヘラ磨き。	1/8	床直No.8	輪積痕 内面黒色処理
9	土師器 高坏	口径 15.6 器高 (5.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	不明:口縁部は大きく開き、坏底部外面に稜を持つ。	坏底部内面不定方向のヘラ磨き、坏底部外面ヘラ削り、脚部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	坏部	床直No.10	輪積痕 内面黒色処理 内面剥離が激しい。
10	土師器 高坏	口径 16.4 器高 (5.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	不明:口縁部は大きく開き、坏底部外面に稜を持つ。	坏底部内面不定方向のヘラ磨き、坏底部外面ヘラ削り、脚部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	坏部の5/6	床直No.9	輪積痕 内面黒色処理 内面剥離が激しい。
11	土師器 鉢	底径 6.6 器高 (12.2)	A 黒色砂粒 赤色粗砂粒(鉄粒)。白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	その他:口縁部は内傾し、体部は緩やかにすばまる。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.24	輪積痕 内面炭化物付着 外面煤付着 摩耗
12	土師器 小型甕	口径 16.4 底径 (7.7) 器高 17.2	A 黒色細砂粒 白色砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	橙褐色	C1:口縁部は直立した後に短く外傾し、胴部はやや張る。平底。	口縁部横ナデ、胴部内外面ヘラ削り。	9/10	床直No.25 竈	輪積痕 煤付着 粘土付着
13	土師器 小型甕	口径 (13.9) 器高 (7.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部をつまみ上げる。胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/8	床直No.13	
14	土師器 甕	口径 (22.6) 底径 8.0 器高 32.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	A:口縁部は「く」の字を呈し、胴部は中位に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ後下位にヘラ削り、胴部外面上位から中位にかけてヘラナデ、下位ヘラ削り後斜め方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.1,2,3	輪積痕 別作り
15	土師器 甕	口径 (18.4) 器高 (7.4)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	A:口縁部は外湾し、胴部は大きく張る。	胴部外面ヘラ磨き、口縁部横ナデ後粗い縦方向のヘラ磨き。	口縁部の1/5	埋土	剥離が激しい。
16	土師器 甕	口径 16.3 底径 6.0 器高 30.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。黒色粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1:口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部はやや張る。平底。	口縁部横ナデ、胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部外面下端に5°幅の工具による強いヘラナデ。	4/5	床直No.20	輪積痕 別作り 内外面煤付着
17	土師器 甕	口径 19.0 底径 5.6 器高 31.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色粗砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	C1:口縁部は外湾し、胴部はやや張る。平底。	胴部内面ヘラナデ後接合部に粗い斜め方向のヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	床直No.3,5,6,11 27 竈	輪積痕 別作り 煤付着
18	土師器 甕	口径 20.2 器高 (21.0)	B 黒色砂粒 白色砂粒。赤色粗砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	C1:口縁部は外傾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は長胴さみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/2	竈No.2	輪積痕 煤付着

19	土師器 甕	口径 底径 器高	(20.0) 8.0 37.9	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C2:口縁部は外 湾する。長胴。平 底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部 横ナデ。	9/10	床直 No.15,17 竈No.6	別作り 粘土 付着
20	土師器 甕	口径 底径 器高	23.4 7.9 27.2	A 白色細砂粒 透明 細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外湾 し、胴部はやや張 る。平底。	口縁部横ナデ、胴部内面ヘラ ナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘ ラ磨き、上半一部ヘラナデ、 口縁部外面下端に3 ^号 幅の工 具による強いヘラナデ。	9/10	床直 No.14,17	輪積痕 煤付 着 別作り 内 面剥離してい る。
21	土師器 甕	口径 底径 器高	20.2 7.1 36.0	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。透明細砂粒 赤色砂粒(鉄粒)を 含む。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外湾 し、頸部外面下端 に稜を有する。長 胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り、上半一部ヘラナ デ、口縁部横ナデ。	ほぼ完 形	床直No.17	輪積痕 別作 り 煤付着 粘 土付着
22	土師器 甕	口径 器高	20.4 (16.1)	A 黒色砂粒 黒色細 砂粒。赤色砂粒(二 次)を含む。 焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外湾 し、胴部は長胴ぎ み。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後ヘラナデ、口縁部 横ナデ。	1/2	床直No.6	輪積痕 内外 面煤付着 粘 土付着
23	土師器 甕	口径 器高	18.6 (15.0)	A 黒色砂粒 白色砂 粒。黒色粗砂粒 白色 粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外傾 する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部 横ナデ。	2/3	床直No.15 竈	輪積痕 煤付 着 摩耗
24	土師器 甕	口径 器高	19.4 (29.6)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外傾 し、胴部は長胴。	体部内面ヘラナデ、体部外面 ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部 横ナデ。	9/10	床直No.16 竈No.1,6	輪積痕 煤付 着
25	土師器 甕	口径 器高	(22.6) (11.7)	B 黒色細砂粒 白色 砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	橙褐色	D:口縁部は外湾 する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部 横ナデ。	1/10	床直No.26	輪積痕
26	土師器 甕	口径 器高	(21.0) (8.6)	A 透明細砂粒 黒色 細砂粒 白色砂粒。赤 色粗砂粒(鉄粒)を 含む。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外湾 し、胴部は長胴ぎ み。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部 横ナデ。	口縁部 ~胴部 上半一 部	床直No.8	輪積痕 煤付 着
27	土師器 甕	底径 器高	5.0 (8.3)	B 白色砂粒 黒色砂 粒。黒色細砂粒を含 む。 焼成良好	橙褐色	不明:平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り。	底部~ 胴部下 半一部	床直No.5	木葉痕
28	土師器 甕	口径 底径 器高	23.0 4.6 16.4	A 黒色細砂粒 赤色 粗粒(鉄粒)。白色 細砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	A2:口縁部は大 きく外傾し、胴部 は張らずにすぼま る。	胴部内外面ヘラナデ、底部付 近のみヘラ削り、口縁部横ナ デ。底部内面から穿孔。	ほぼ完 形	床直No. 7	単孔 輪積痕 木葉痕 煤付 着 外面剥離
29	土師器 甕	口径 底径 器高	28.0 10.4 29.6	A 黒色細砂粒。透明 細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	C:口縁部は外湾 し、胴部は緩やか にすぼまる。	胴部内面接合部と底部の際に ヘラ削り、全体にヘラナデ後 ヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り 後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完 形	床直No.23	筒抜け 輪積 痕 別作り 内 外面煤付着 外面剥離 歪 み有り。
30	土師器 甕	口径 器高	26.0 (24.5)	A 黒色細砂粒 赤色 粗砂粒(鉄粒)。白 色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C:口縁部は外傾 し、胴部は緩やか にすぼまる。	胴部内面ヘラ磨き、胴部外面 ヘラ削り後ヘラナデ、ヘラ磨 き、口縁部横ナデ後内面にヘ ラ磨き、外面下端に5 ^号 幅の 工具による強いヘラナデ。	4/5	床直No.5	輪積痕 煤付 着
31	須恵器 甕			A 白色砂粒 白色粗 砂粒。 焼成良好	灰褐色		内面同心円の叩き後指押さ え、外面平行叩き。	破片	床下	

SI15

SI15の遺構図・遺物実測図・遺物観察表は P 31・32・33を参照。

S116



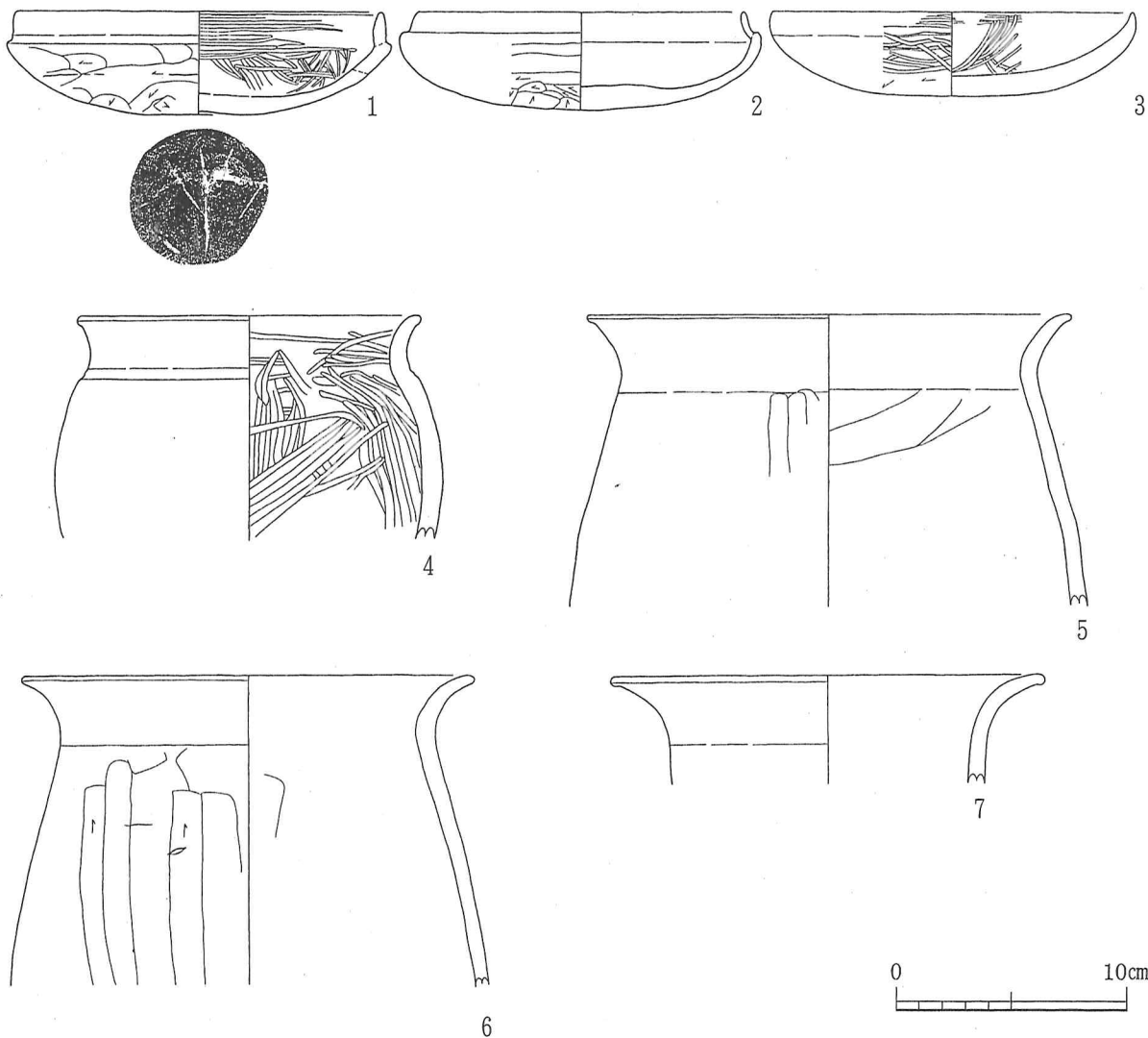
SI16

- | | | | |
|---------|---------------------------|-----------|---------------------------|
| 1 暗褐色土 | LR多量、小IPB少量 | 11 明褐色土Ⅲ | LR少量、IPB多量、微小IPB少量、小SPB微量 |
| 2 暗褐色土Ⅱ | LR多量、小IPB少量、小SPB微量 | 12 黒褐色土Ⅲ | 8層に微小IPB少量混入 |
| 3 黒褐色土 | 小IPB・LR微量 | 13 暗淡褐色土Ⅱ | LR少量均一混入 |
| 4 暗淡褐色土 | LR多量、小IPB少量、小SPB極微量、黒色土混入 | 14 暗黄褐色土Ⅱ | 小LB多量、微小IPB少量 |
| 5 褐色土 | 小LB微量、LR多量 | 15 淡褐色土 | LR・微小IPB少量 |
| 6 暗黄褐色土 | LB多量、IPB微量、黒色土少量 | 16 淡黄褐色土 | LR多量、小LB少量、極めて柔らかい層 |
| 7 明褐色土 | LR多量、IPB微量、黒色土多量 | 17 暗淡褐色土Ⅲ | LR・微小IPB少量、粘土R微量 |
| 8 黒褐色土Ⅱ | LR少量 | 18 暗褐色土Ⅲ | LR少量、微小IPB微量 |
| 9 明褐色土Ⅱ | LB少量、LR多量、IPB微量 | 19 暗褐色土Ⅳ | LR少量、微小IPB・小IPB微量 |
| 10 褐色土Ⅱ | LR少量、小IPB微量、微小IPB少量 | | |

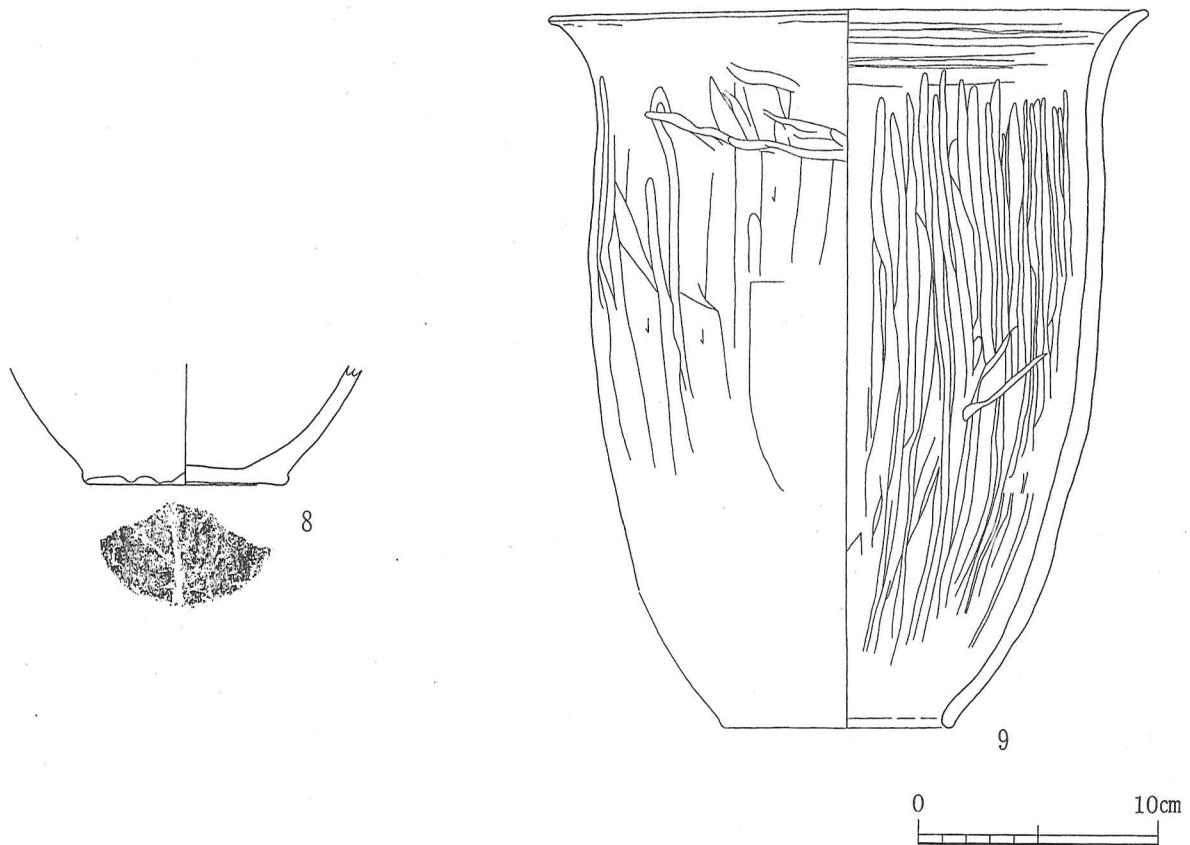
位置 ウ9F3杭付近。規模 東西5.4m×南北5.4m。主軸方向 N-28°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 3基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏3、甕5、甑1である。

第35表 床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.00	1.30	-	円形			土坑2と重複
2	1.57	1.30	0.32	楕円形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	
3	1.41	0.95	-	円形			



第73図 SI16出土遺物実測図(1)



第74図 SI16出土遺物実測図(2)

第36表 SI16土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 15.4 器高 4.4	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	C：口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後外面下端に4 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部内面横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.8	輪積痕 木葉痕 漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (14.0) 器高 4.2	A 白色砂粒 黒色砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/3	床直No.1 SI-21埋土	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 杯	口径 15.7 器高 3.7	A 黒色細砂粒 白色砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	3/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ
4	土師器 小型甕	口径 14.2 器高 (9.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	C1：口縁部は緩やかに外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部はやや張る。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、胴部内面不定方向のヘラ磨き、胴部外面ヘラナデ、口縁部外面下端に2 ^{mm} 幅と4 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	床直No.5 SI-21埋土	内面黒色処理
5	土師器 甕	口径 (20.9) 器高 (12.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は外傾する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の2/3~ 胴部一部	竈	輪積痕 内外面煤付着 粘土付着
6	土師器 甕	口径 18.8 器高 (13.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1：口縁部は外湾する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、一部ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	床直No.10 竈	輪積痕 煤付着

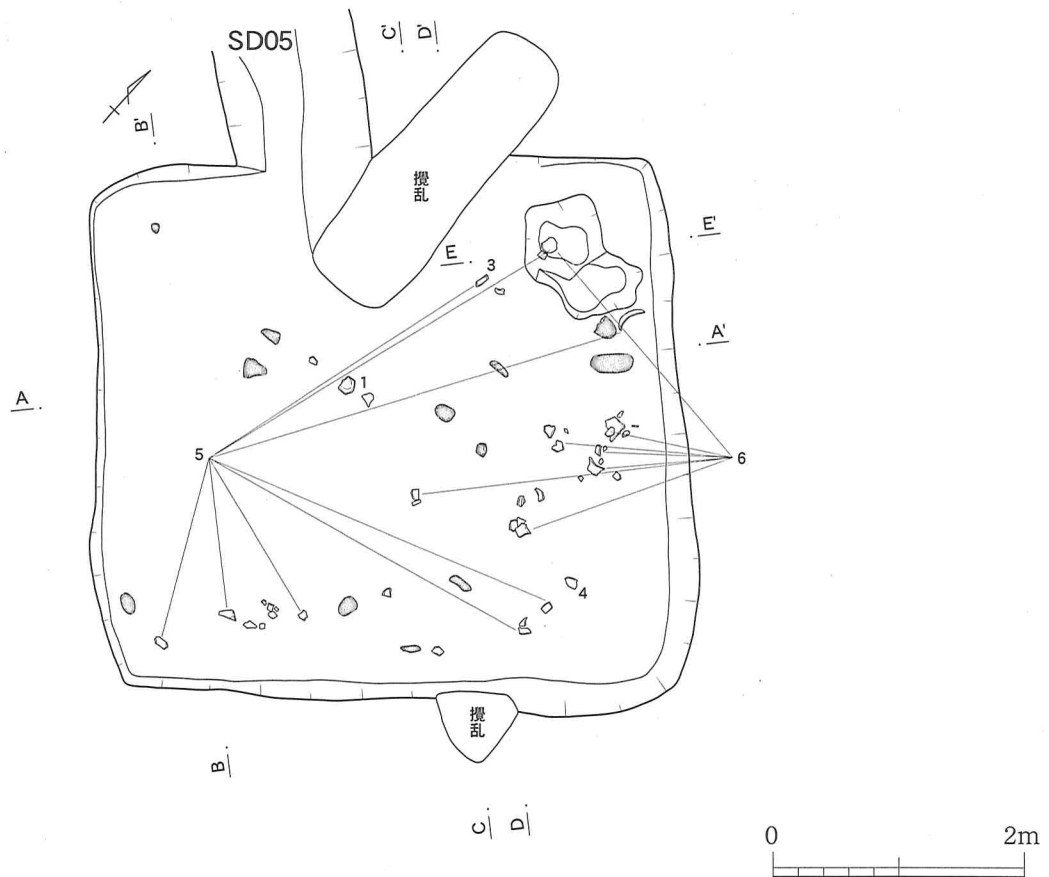
7	土師器 甕	口径 器高	(18.6) (4.7)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。半透明粗砂 粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外湾 する。	口縁部横ナデ後内面に横方向 のヘラ磨き、胴部内面ヘラナ デ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラ ナデ後ヘラ磨き。	口縁部 の1/2	床直No.3 SI-21埋土	
8	土師器 甕	底径 器高	(8.0) (5.0)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。 焼成良好	淡褐色	不明：平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後ヘラ磨き。	底部の 1/2	竈	輪積痕 木菜 痕
9	土師器 甕	口径 底径 器高	24.8 9.5 29.7	A 黒色細砂粒 赤色 粗砂粒（鉄粒）。白 色砂粒 半透明砂粒を 含む。 焼成良好	乳白色	C：口縁部は外傾 し、胴部は張らず に緩やかにすぼま る。	口縁部横ナデ後内面横方向の ヘラ磨き、胴部内面ヘラ磨 き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ 磨き。	9/10	床直No.6	筒抜け 輪積 痕 別作り

SI17

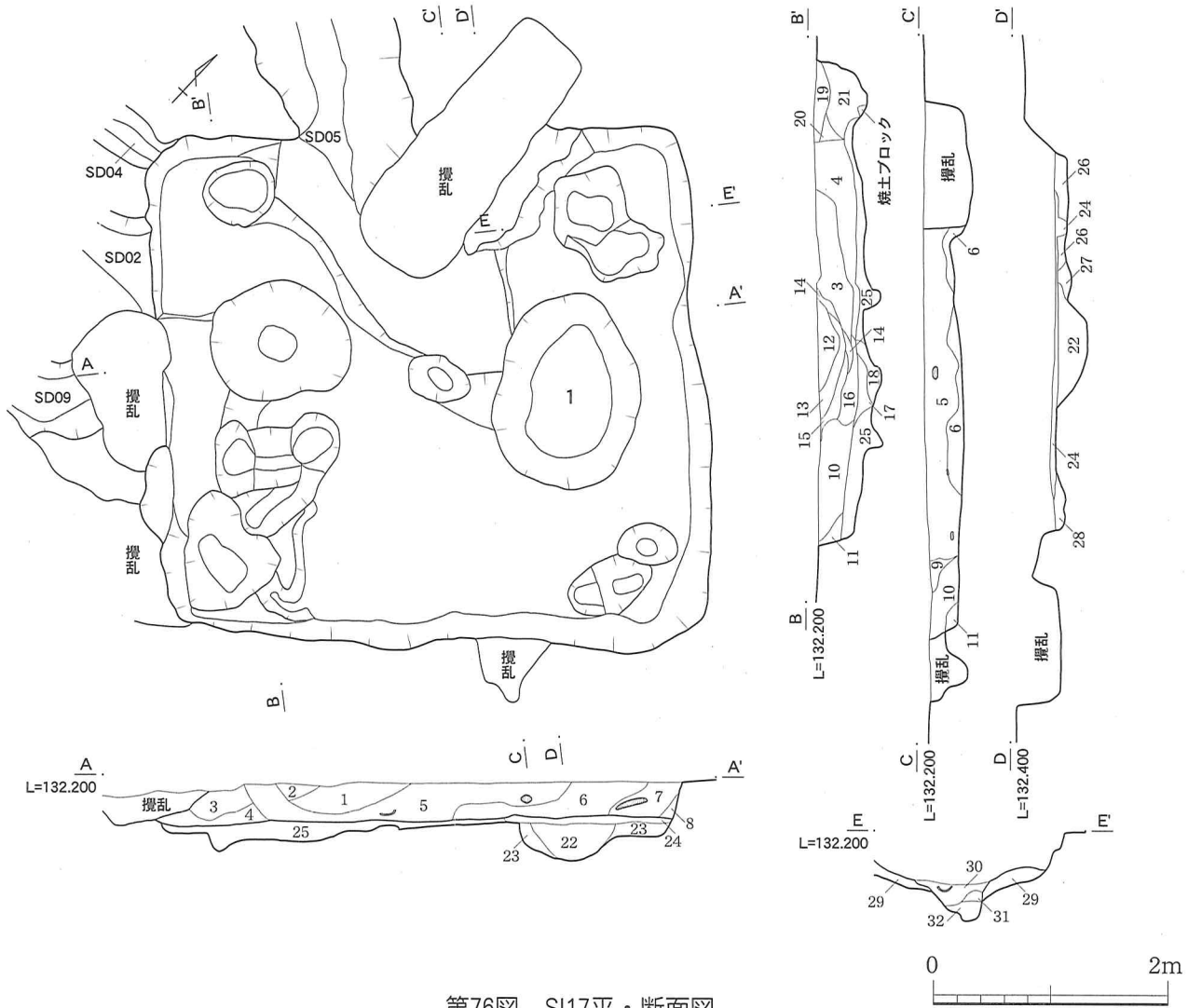
位置 ウ5F8杭付近。規模 東西4.6m×南北4.4m。主軸方向 N-45°-E 床面 概ね平坦。壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 無。貯蔵穴 1カ所。カマド 無。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4、甕2である。備考 SD05に切られる。

第37表 SI17床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.65	1.20	0.36	楕円形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	



第75図 SI17遺物平面図

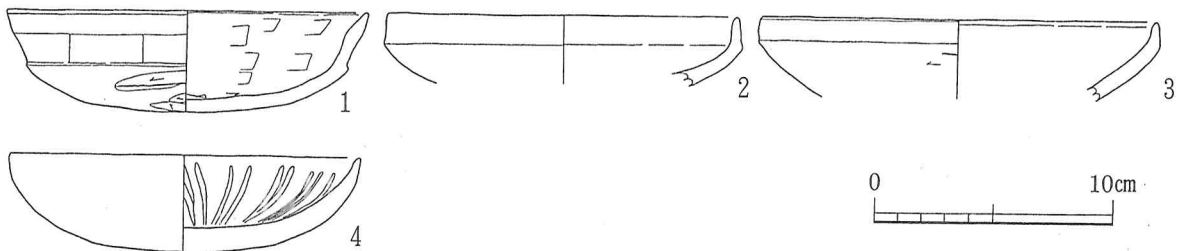


第76図 SI17平・断面図

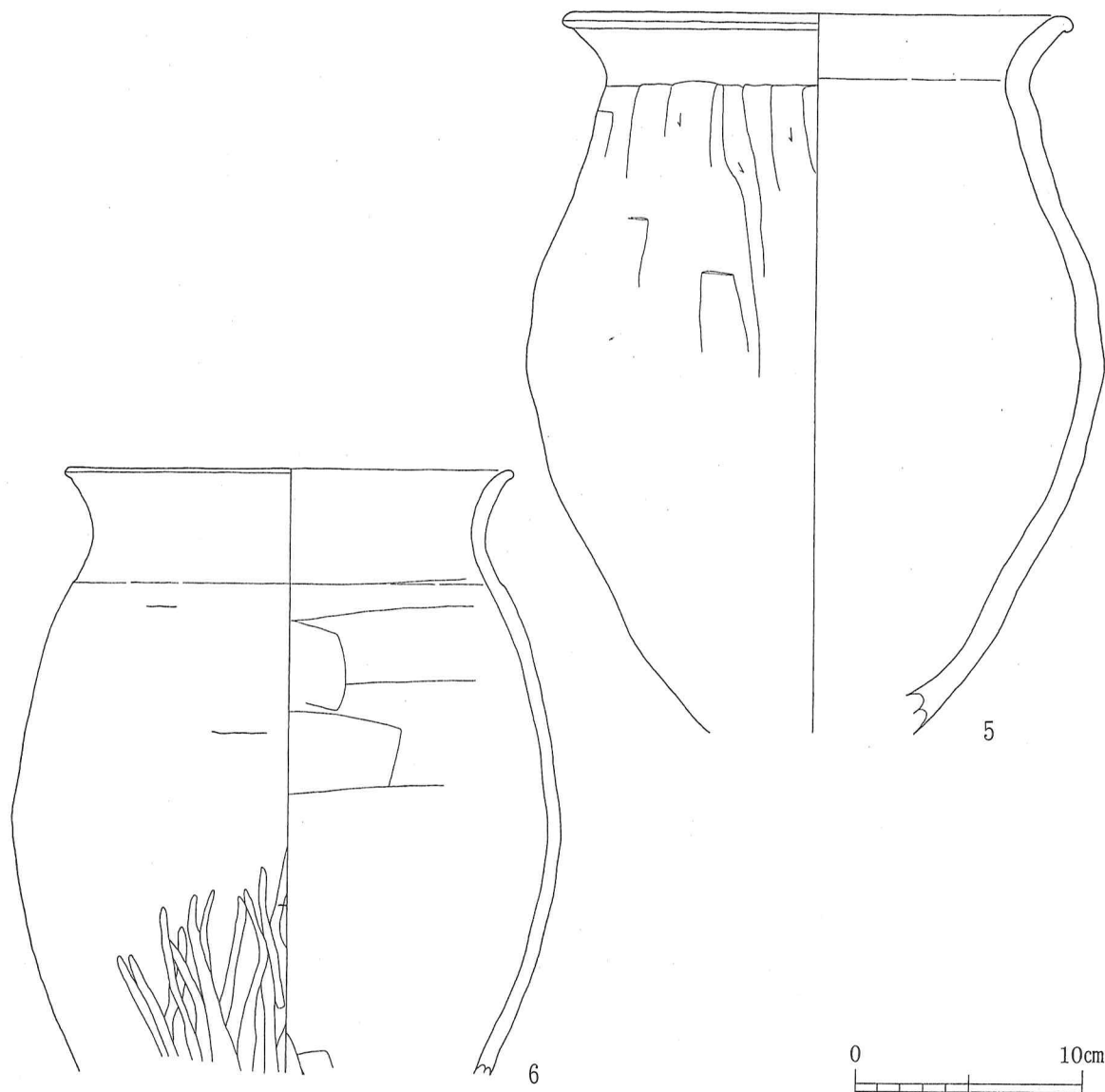
SI17

- 1 黒褐色土 微小IPB・微小SPB少量、IPB・SPB微量、砂R少量、粒子が細かい、硬く縮まっている
- 2 明褐色土 LR少量、小LB微量、硬く縮まっている
- 3 黒褐色土II 微小IPB・LR少量、硬く縮まっている、キメ細かい
- 4 暗黄褐色土 3cm大のLB少量、LR多量、小IPB微量
- 5 暗黄褐色土 微LR多量、キメ細かく柔らかい、小IPB微量
- 6 淡褐色土 微小IPB・LR多量、小IPB少量、柔らかい
- 7 淡褐色土II 6層より微小IPBが少ない、柔らかい
- 8 暗黄褐色土II 微小IPB・LR多量
- 9 淡黄褐色土 LR多量、焼土R少量、植物根多量
- 10 明淡褐色土 LR多量、微小IPB少量、小LB微量、焼土R少量、柔らかい
- 11 明淡褐色土II 10層にCRが多量に混入
- 12 黄褐色土 L主体
- 13 暗褐色土 小IPB少量
- 14 明褐色土II LR少量、小LB微量
- 15 明褐色土III 14層よりLRが少ない
- 16 暗黄褐色土III 2~3cm大のLB少量、LR多量、微小IPB少量

- 17 黄褐色土II L主体、小IPB微量、硬く縮まっている(張床)
- 18 淡褐色土III 微LR多量、1cm大のLB少量、硬く縮まっている
- 19 明淡褐色土III LR均一に混入
- 20 淡黄褐色土II LR極多量、3cm大のLB・小IPB少量
- 21 明淡褐色土IV 19層より小IPBが増える
- 22 暗黄褐色土IV 1~2cm大のLB・LRやや多量、小IPB多量、小SPB微量(人為埋土)
- 23 明黄褐色土 3~4cm大のLB・LR多量、小IPBやや多量
- 24 暗褐色土II LR微量、微小IPB少量、硬く縮まっている
- 25 淡黄褐色土III LR多量、小IPB少量、小SPB微量、2~4cm大のLB少量、硬く縮まっている
- 26 黄褐色土III LR多量、微小IPB少量、微SPB・GR微量
- 27 明黄褐色土II 23層に5~8cm大のLBが含まれる
- 28 暗淡褐色土II 小LB少量、微小IPB微量、LR・焼土B少量
- 29 明黄褐色土III 4~5cm大のLB多量、小IPB少量、硬く縮まっている(張床)
- 30 明褐色土IV LR・微LB少量、小IPB・微SPB微量
- 31 淡黄褐色土IV LR多量、小LB少量、小IPB微量、硬く縮まっている
- 32 暗黄褐色土V LR少量、微LBやや多量、微小IPB少量



第77図 SI17出土遺物実測図(1)



第78図 SI17出土遺物実測図(2)

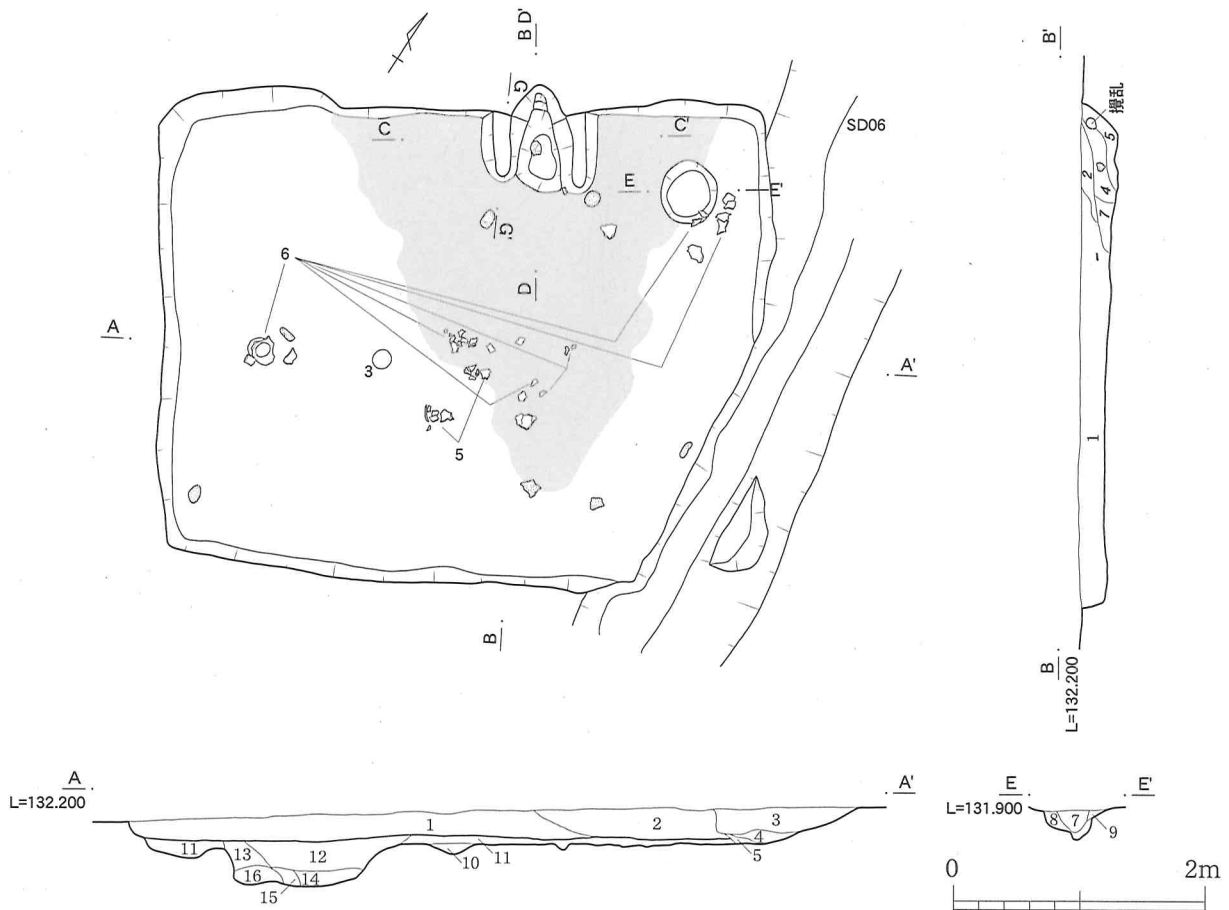
第38表 SI17土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 14.8 器高 4.2	A 黒色細砂粒 赤色砂粒 (鉄粒)。焼成良好	橙褐色	A: 口縁部は外反し、体部外面に稜を有する。	体部内面へらナデ、口縁部から体部内面に横ナデ、体部外面へら削り。	9/10	床直No.4	輪積痕 漆仕上げ 体部内面に放射状のへらの圧痕
2	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 (3.0)	A 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部外面稜近くに削り後ナデ、へらナデ後へら磨き。	1/8	埋土	
3	土師器 坏	口径 (16.6) 器高 (3.3)	A 透明細砂粒 黒色細砂粒を含む。焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のへら磨き、体部内面不定方向のへら磨き、体部外面へら削り後一定方向のへら磨き。	1/5	床直No.1	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 (14.3) 器高 4.0	A 透明細砂粒 赤色砂粒 (二次)を含む。焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ、外面に横方向のへら磨き、体部内面ナデ後放射状のへら磨き、体部外面へら削り後不定方向のへら磨き。	1/4	床直No.15	漆仕上げ 口縁端部内面摩耗

5	土師器 甕	口径 (21.6) 器高 (31.2)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。赤色粗砂粒 (二次) 2~4 ^{mm} 大粗 粒を含む。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は 「く」の字を呈 し、胴部中位に最 大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後中位から下位に粗 いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/3	床直 No.1,2,8,9, 11,13,14,26	別作り 内面 剥離が激し い。
6	土師器 甕	口径 (19.1) 器高 (26.3)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。白色粗砂粒 を含む。 焼成良好	橙褐色	C1: 口縁部は外 湾し、胴部中位に 最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り後一部ヘラナデ、中 位から下位にヘラ磨き、口縁 部横ナデ。	2/3	床直 No.2,6,12,1 6,19,20,24	輪積痕 内外 面煤付着

S118

位置 ウ4F7杭付近。規模 東西4.8m×南北3.7m。主軸方向 N-33°-W 床面 若干の凹凸がある。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 無。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4、甕2である。備考 SD06を切る。



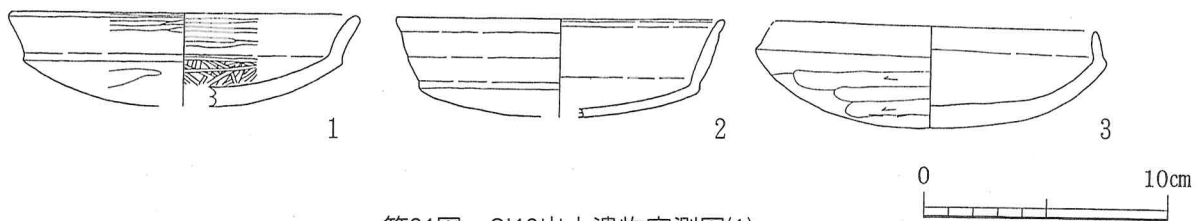
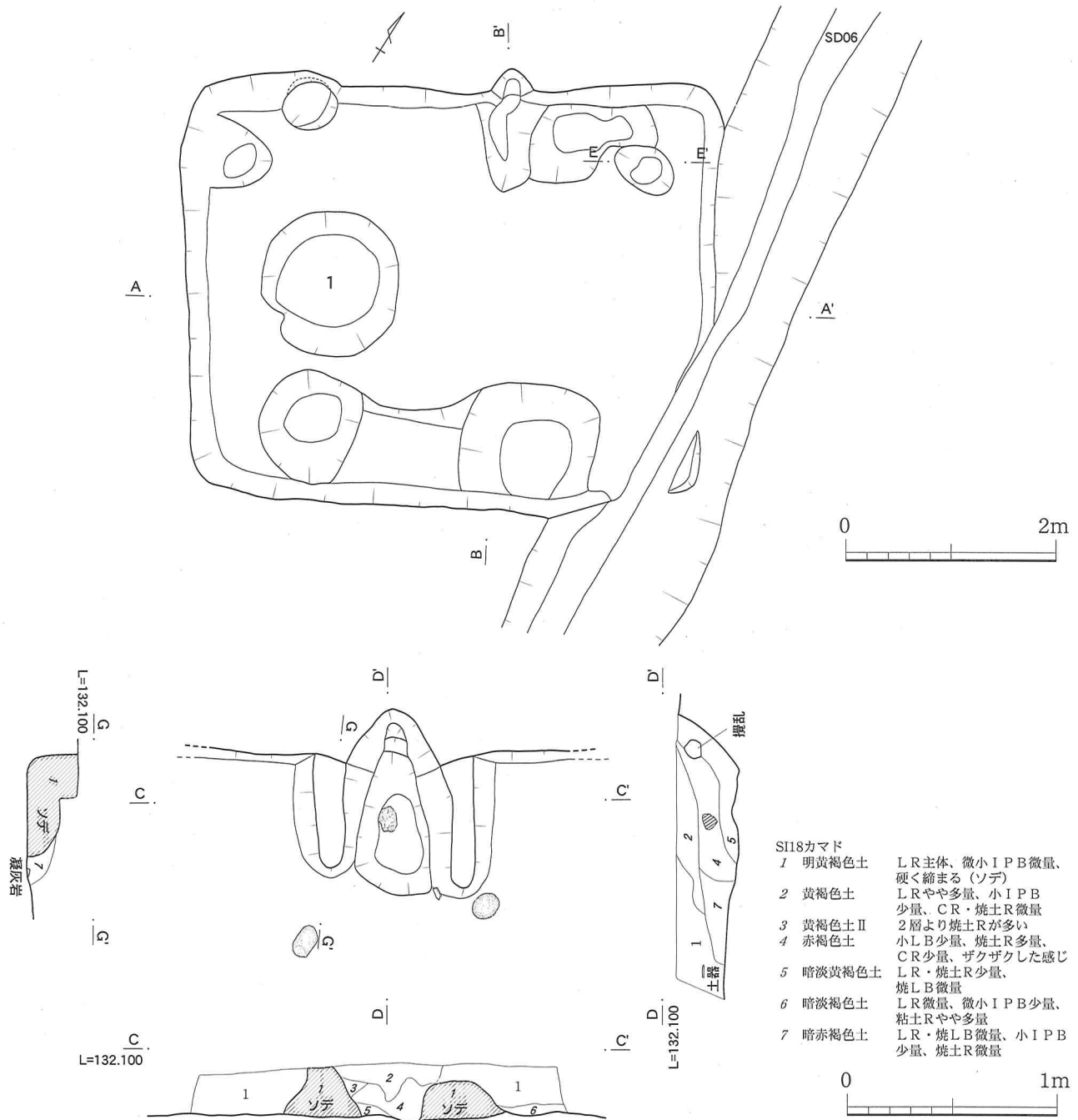
S118

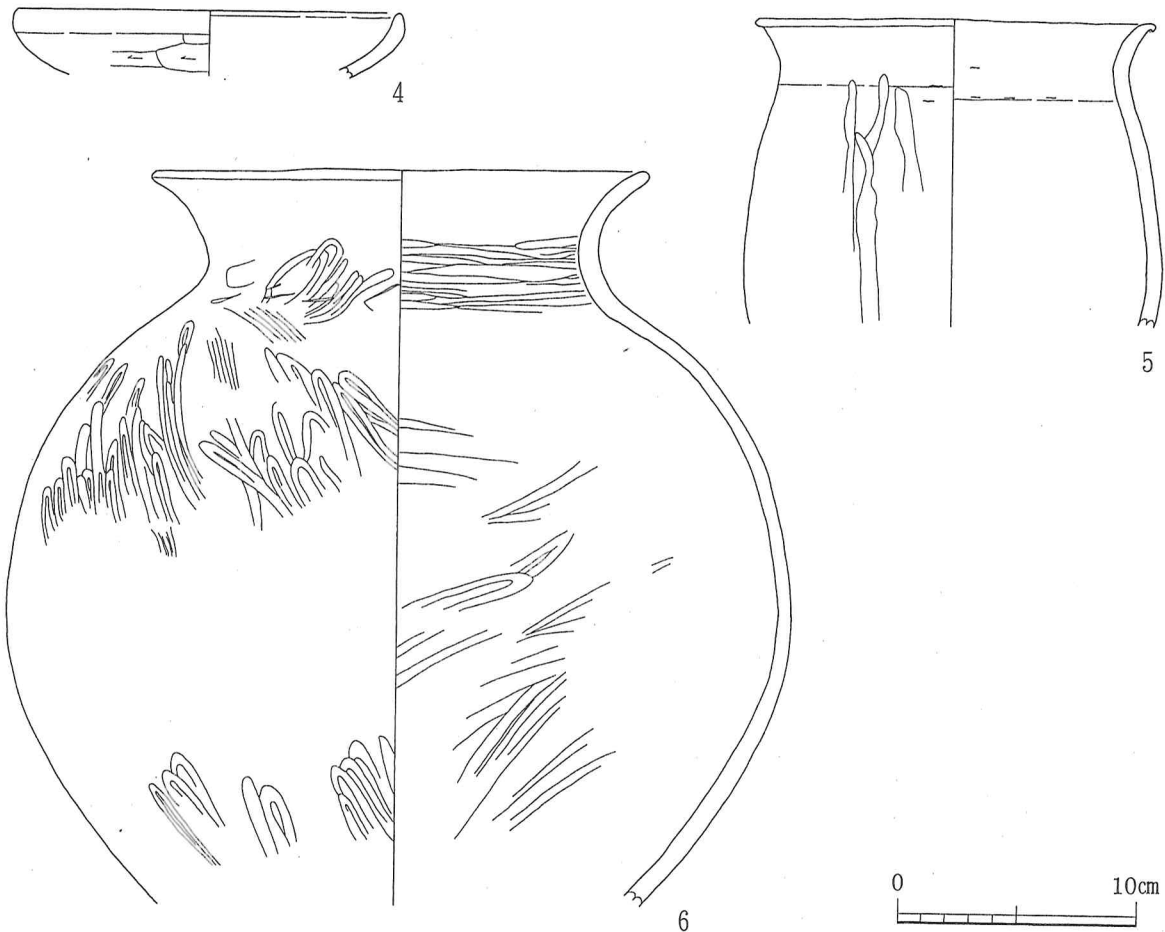
- | | | | |
|----------|-------------------------|------------|-------------------|
| 1 黒褐色土 | LR・小IPB少量 | 11 暗黄褐色土 | LB多量、黒色土混入、硬い(張床) |
| 2 暗褐色土 | LR・小IPB・小SPB少量、焼土R多量 | 12 暗褐色土III | 小LB・微小IPB多量、SPB少量 |
| 3 黒色土 | 微小IPB・LR微量 | 13 暗褐色土IV | 12層より小LB少ない |
| 4 黒褐色土II | LR少量、小IPB微量、3~6cm大のLB混入 | 14 黒褐色土III | LR・微小IPB少量、IPB微量 |
| 5 暗褐色土II | 2層よりLRが少ない、焼土なし | 15 明褐色土 | LR多量、IPB微量、柔らかい |
| 6 淡褐色土 | LR多量、小IPB少量 | 16 暗黄褐色土II | LB少量、LR多量、微小IPB少量 |
| 7 暗黄褐色土 | LR・微小IPB少量 | | |
| 8 淡黄褐色土 | LR主体、微小IPB微量 | | |
| 9 暗黄褐色土 | LR少量 | | |
| 10 淡黄褐色土 | LR極多量、小LB微量、小IPB少量 | | |

第79図 S118断・遺物平面図

第39表 SI18床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.40	1.24	0.35	円形	ほぼ平坦	ほぼ垂直 大きく開きながら立ち上がる	





第82図 SI18出土遺物実測図(2)

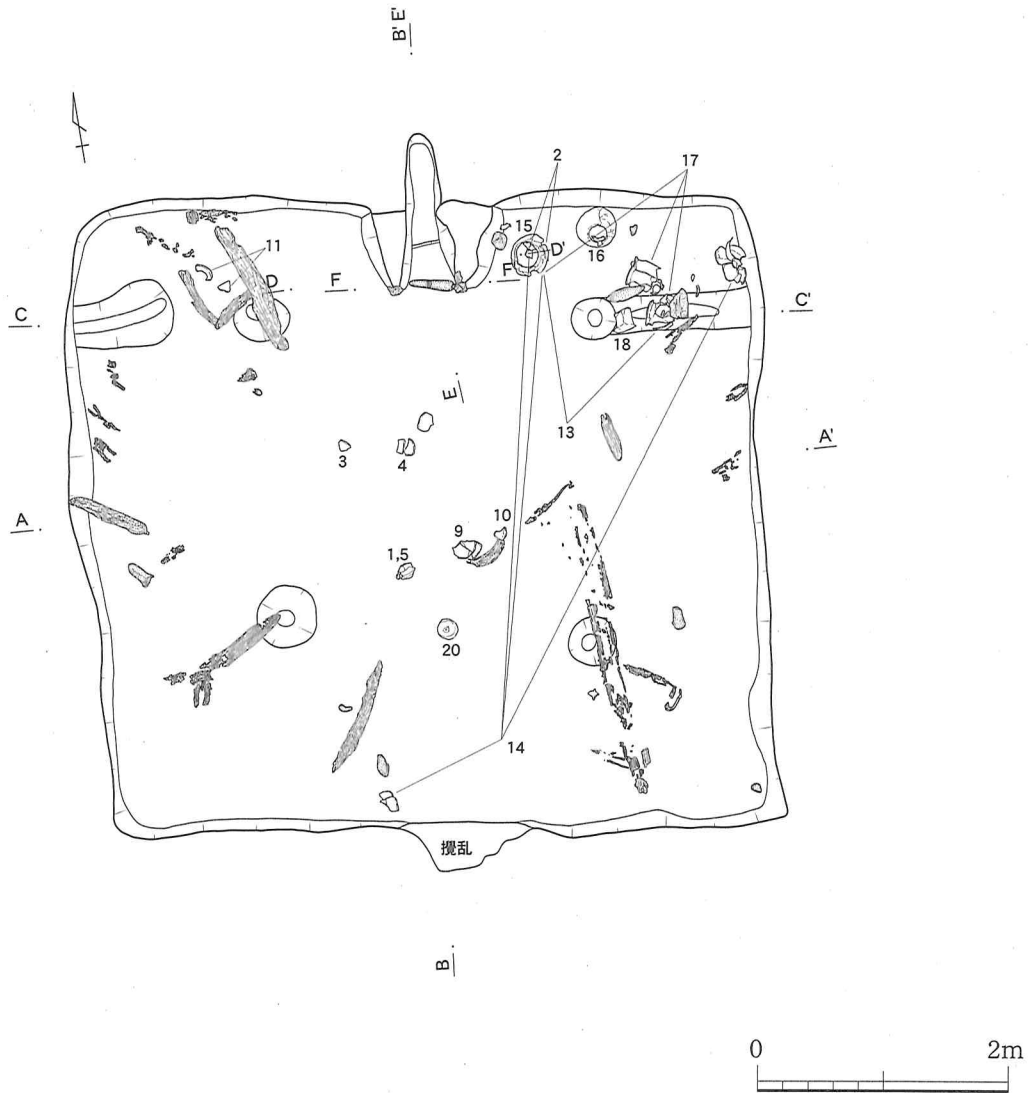
第40表 SI18土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (14.1) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	暗褐色	A: 口縁部は外反し, 体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き, 体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き, 口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.5) 器高 4.0	A 黒色細砂粒 赤色砂粒(鉄粒)。白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B: 口縁部は外傾し, 体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ, 体部外面ヘラ削り, 口縁部横ナデ後外面端部付近と中位に3 ^ミ , 下端に5 ^ミ 幅の工具による強いヘラナデ, 内面端部付近に3 ^ミ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/2	床直	漆仕上げ 内面剥離
3	土師器 坏	口径 13.5 器高 4.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は内傾し, 体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き, 体部外面ヘラ削り一部ナデ後一定方向のヘラ磨き, 口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.1	輪積痕 漆仕上げ 口縁部内面に偶発的と思われるヘラ痕あり。
4	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 (2.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く立ち, 体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面横ナデ, 体部外面ヘラ削り後粗い一定方向のヘラ磨き。	1/12	竈	

5	土師器 小型甕	口径 (16.4) 器高 (12.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	暗褐色	C1: 口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	口縁部横ナデ、胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後粗いヘラ磨き。	3/4	床直No.3,4	輪積痕 内外面煤付着
6	土師器 甕	口径 20.2 器高 (30.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明粗砂粒を含む。焼成良好	乳白色	A: 口縁部は外湾し、胴部は球形で中位に最大径を持つ。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、胴部内面ヘラナデ後粗いヘラ磨き、頸部外面から胴部外面にかけてヘラナデ後頸部ヘラ磨き、中位にヘラ削り後全体に粗いヘラ磨き。	1/2	床直No.2,4,7,9,12,13	煤付着 別作り内面剥離が激しい。

S119

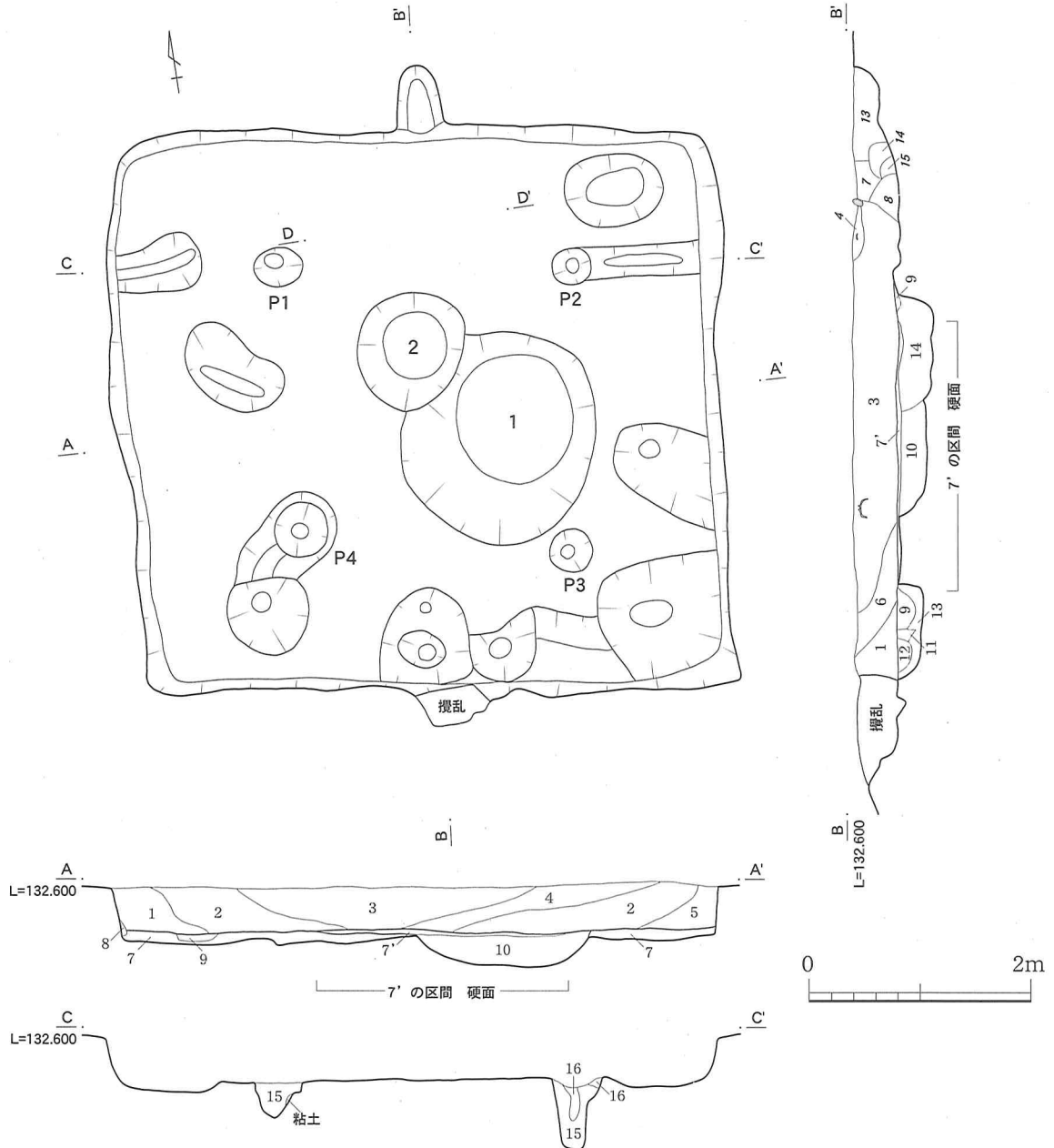
位置 ウ8F2杭付近。規模 東西5.5m×南北5.1m。主軸方向 N-9°-E 床面 概ね平坦。壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁 遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 高坏2, 鉢4, 甕6, 甌1, 須恵器高坏1である。備考 南壁中央床にピット。



第83図 S119遺物平面図

第41表 SI19床下土坑一覽表

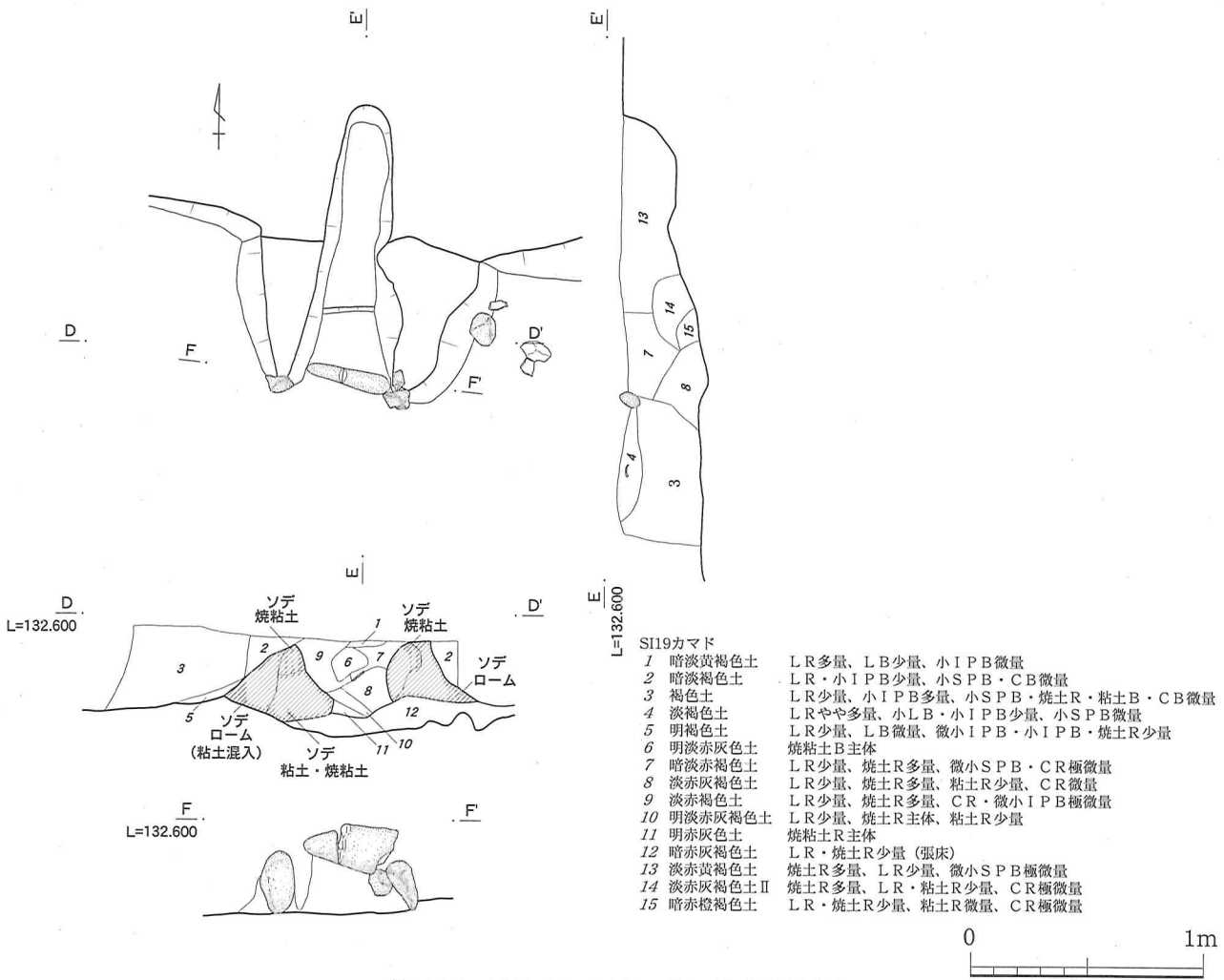
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.90	1.70	0.30	円形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	土坑2と重複、土坑2が新しい
2	1.06	0.95		円形			



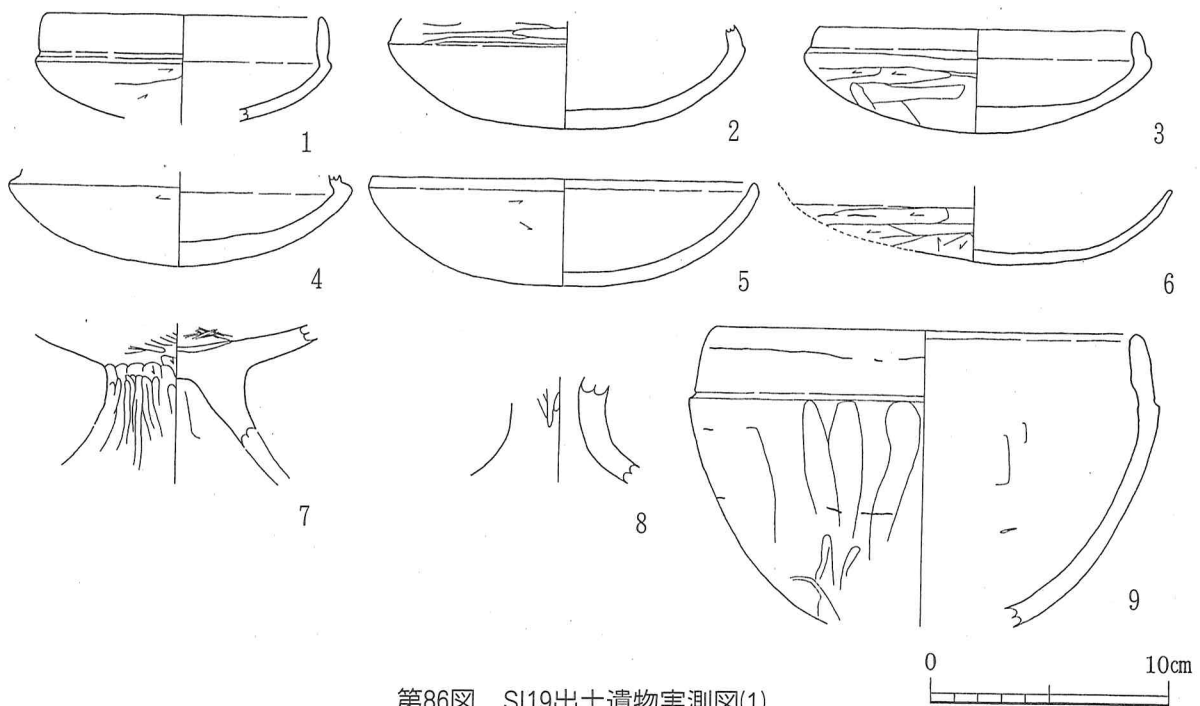
SI19

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| 1 暗褐色土 | LR微量、小IPB・微小IPB少量、小SPB微量、CB混入 |
| 2 暗淡褐色土 | LR・小IPB・微小IPB少量、SPB微量 |
| 3 暗褐色土II | LR少量、小IPB多量、微小IPB少量、小SPB・小粘土B微量 |
| 4 暗淡黄褐色土 | LR・微小IPB・小IPB少量、微小SPB微量 |
| 5 暗褐色土III | LR・微小IPB少量、小IPB・小SPB微量、小CB混入 |
| 6 暗淡褐色土II | 2層よりLRやや多い |
| 7 暗黄褐色土 | LB多量、小LB少量、LR多量、小IPB少量(張床) |
| 7' 暗黄褐色土II | 7層の硬面 |
| 8 淡褐色土 | LR多量、柔らかい |
| 9 暗褐色土IV | 小LB・LR少量、小IPB・微小IPB微量 |
| 10 褐色土 | LB・小LB・LR多量、小IPB少量、微小IPB多量 |
| 11 黒褐色土 | LR少量、小IPB微量 |
| 12 暗淡黄褐色土II | LR多量、微小IPB少量、黒色土少量混入 |
| 13 黄褐色土 | L主体、微小IPB・微小SPB微量、黒色土微量混入(ソフトローム) |
| 14 褐色土II | LB・小LB・LR多量、4~5cm大のIPB・小IPB少量、微小IPB多量 |
| 15 暗淡黄褐色土III | LR極多量、微小IPB微量、小IPB少量、小SPB極微量 |
| 16 暗淡褐色土III | LRやや多量、小IPB微量、CB少量 |

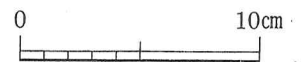
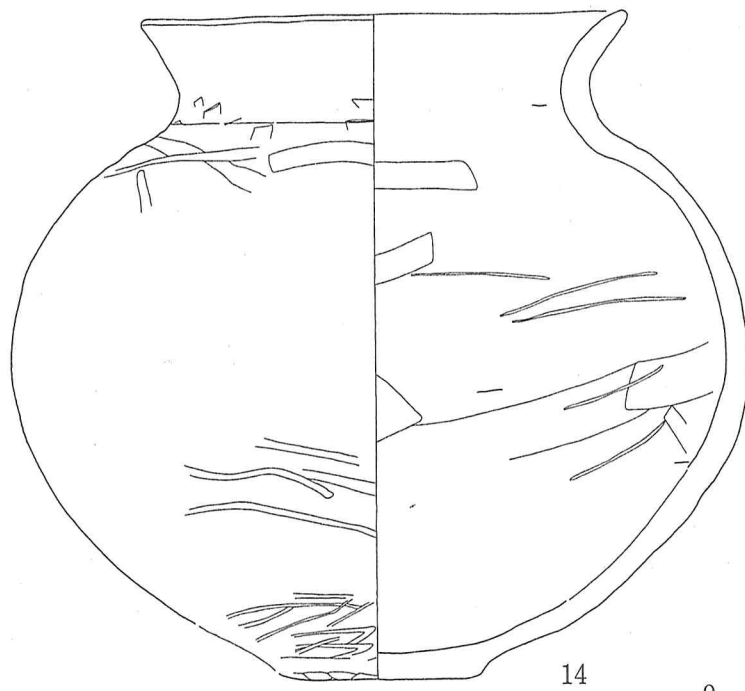
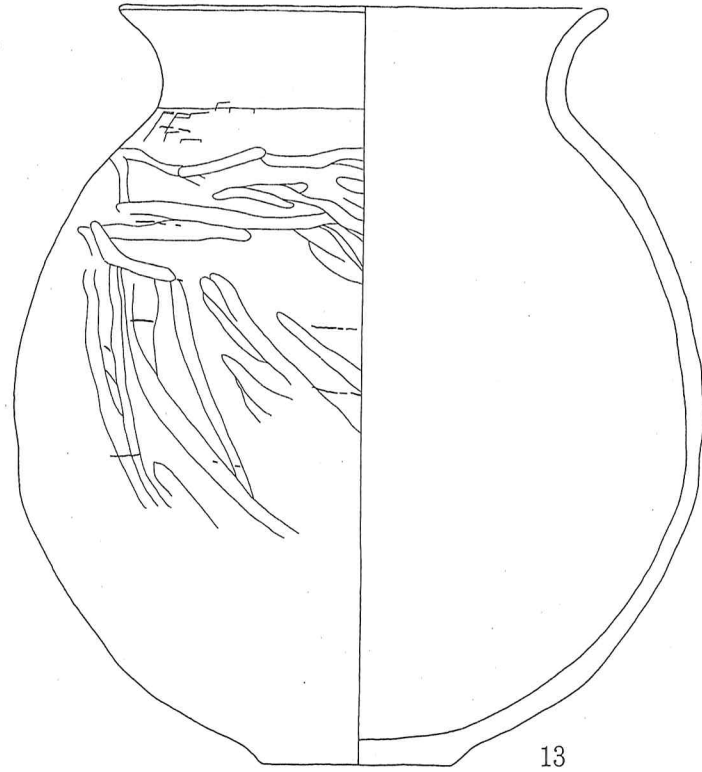
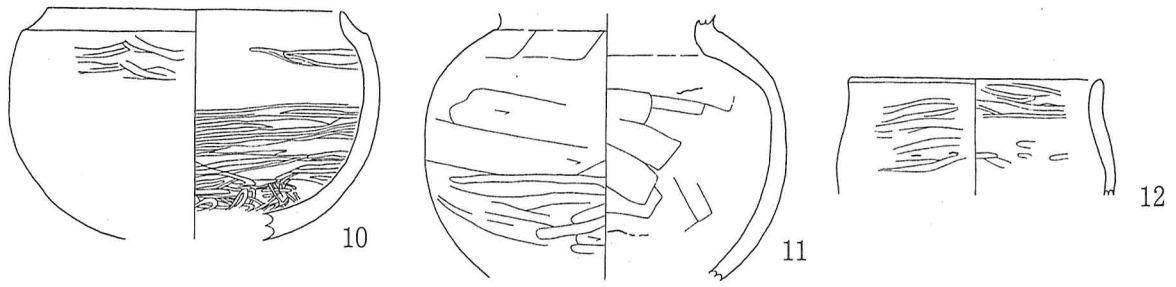
第84図 SI19平・断面図



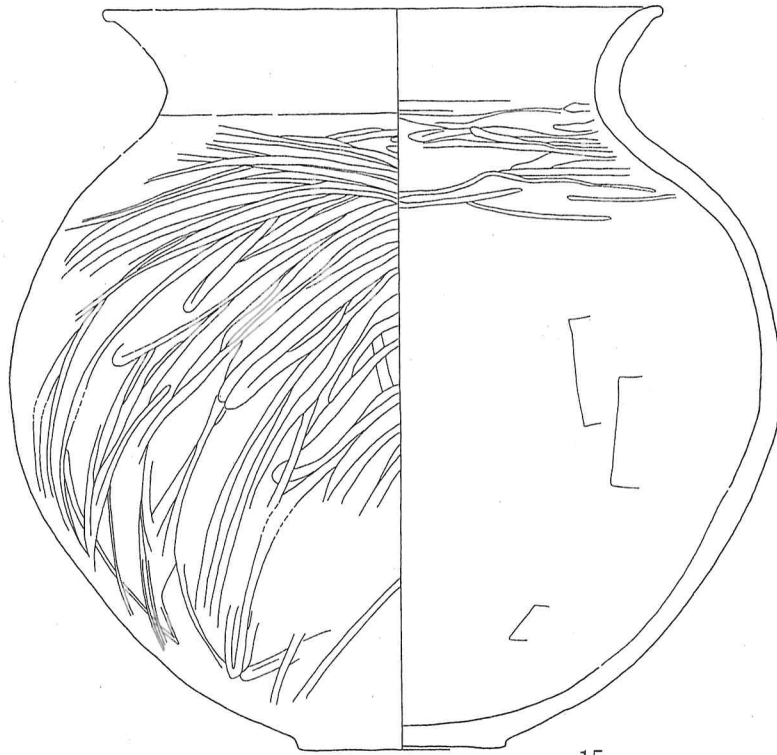
第85図 SI19カマド平・断・遺物平面図



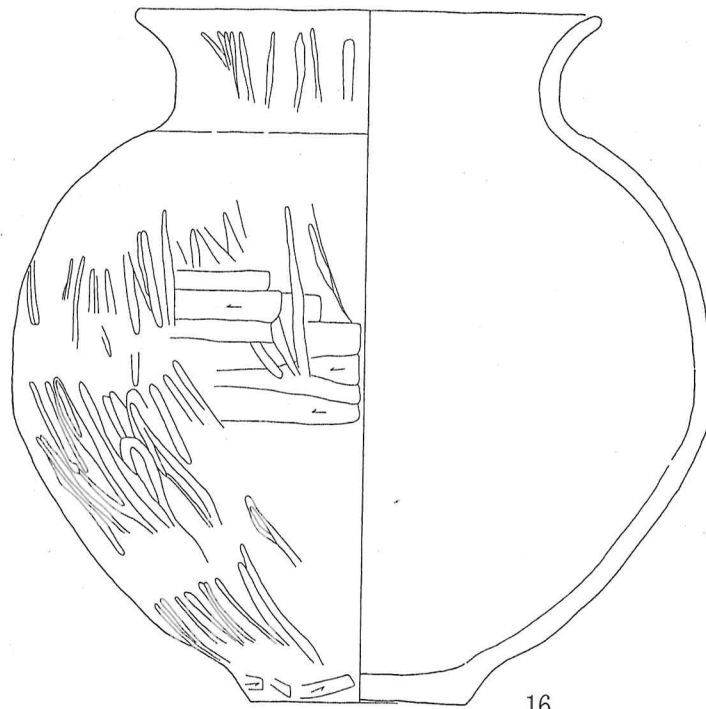
第86図 SI19出土遺物実測図(1)



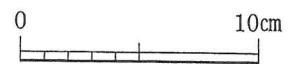
第87図 SI19出土遺物実測図(2)



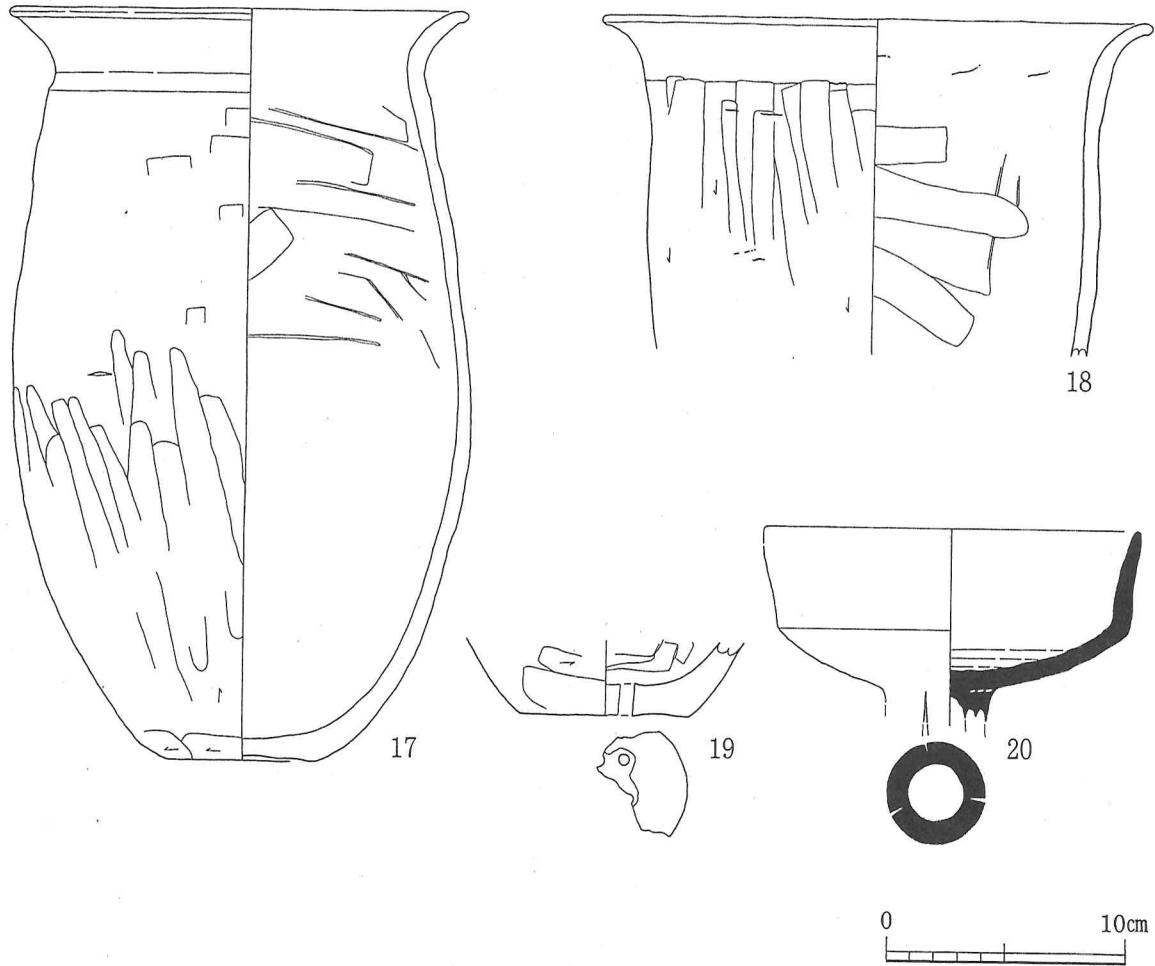
15



16



第88图 SI19出土遺物実測図(3)



第89図 SI19出土遺物実測図(4)

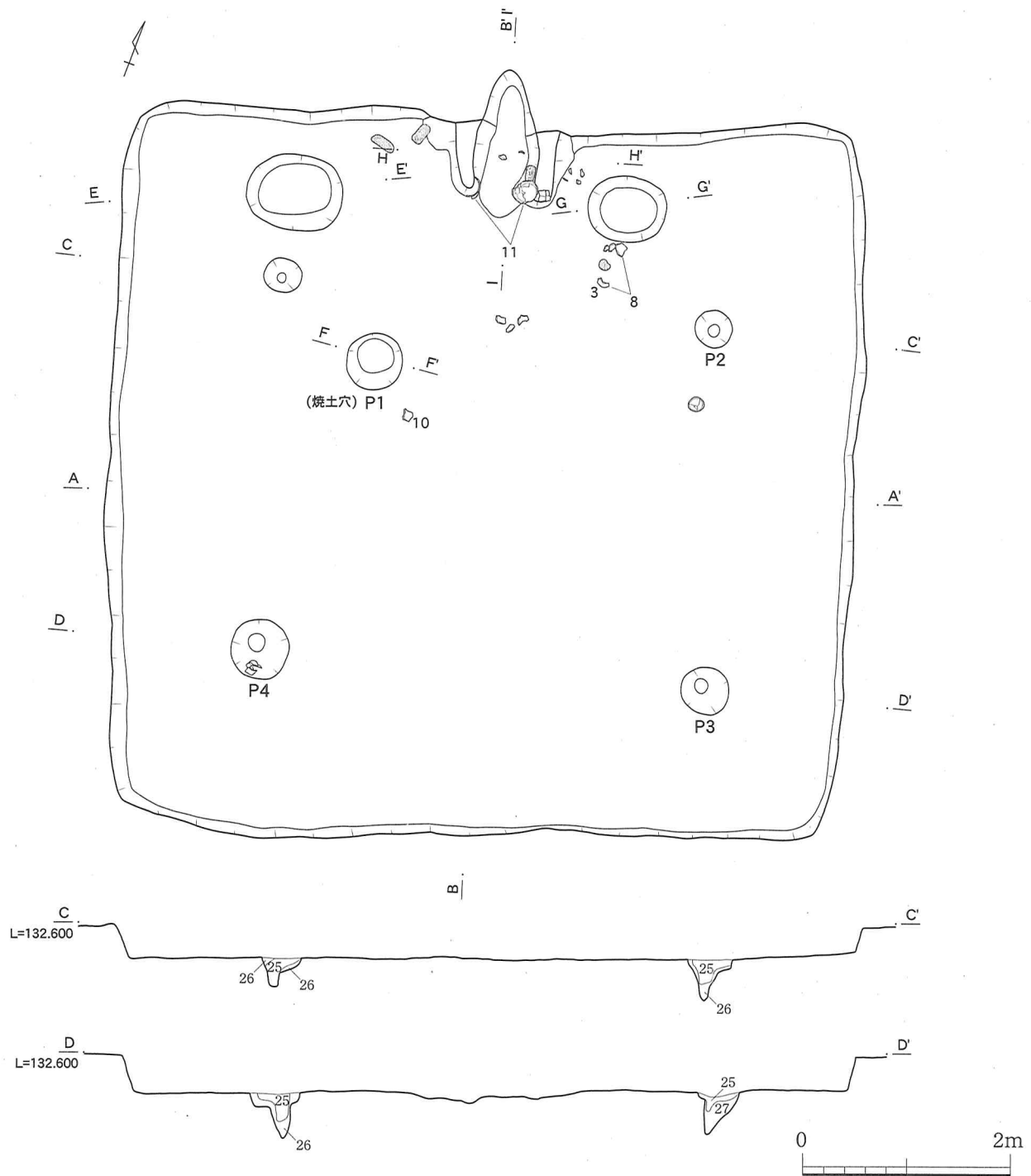
第42表 SI19土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (11.2) 器高 (4.3)	A 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部から体部内面に横ナデ、口縁部外面下端に3 ³ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	床直No.1	漆仕上げ 外面煤付着 外面剥離
2	土師器 坏	口径 (13.8) 器高 (4.4)	A 黒色細砂粒 赤色砂粒(鉄粒)。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.10 竈No.1	輪積痕 剥離、摩耗が激しい。
3	土師器 坏	口径 (13.3) 器高 4.3	A 混和材が少ない。 焼成良好	乳白色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、一定方向のヘラ磨き、口縁部外面稜付近に3 ³ 幅工具による強いヘラナデ。	1/4	床直No.7	漆仕上げ 口縁部端部摩耗
4	土師器 坏	口径 (12.6) 器高 (3.9)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、粗い不定方向のヘラ磨き、口縁部外面下端に4 ³ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/4	床直No.5	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 4.4	A 黒色細砂粒 赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後、不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面下端に3 ³ 幅の工具による強いヘラナデ。	2/3	床直No.1	
6	土師器 坏	口径 (16.4) 器高 3.2	A 黒色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く外傾し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部に横方向のヘラ磨き。	1/2	埋土	輪積痕 漆仕上げ 歪み有り。

7	土師器 高坏	器高 (5.0)	A 黒色細砂粒 赤色砂粒 (二次)。透明細砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	A2:脚部は「八」の字に開く。	坏部内面不定方向のヘラ磨き、坏部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、脚部内面ヘラナデ、脚部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	坏底部の1/2~脚部の1/2	埋土	内面黒色処理 内面剥離
8	土師器 高坏	器高 (4.3)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	不明:脚部上半柱状で下半は「八」の字に開く。	脚部内面上半ヘラナデ、下半横ナデ、脚部外面上半ヘラ削り後ヘラ磨き、下半横ナデ。	脚部	埋土	
9	土師器 鉢	口径 (17.8) 器高 (12.2)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。金雲母を含む。 焼成良好	褐色	A:口縁部は内傾し、体部は球形で外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に4 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	床直No.14	輪積痕 内外面煤付着
10	土師器 鉢	口径 12.0 器高 (9.5)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。透明細砂粒 赤色砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	A:口縁部は内傾し、体部は丸みを帯びる。	体部内面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面に横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.15	輪積痕 口縁部外面に葉脈圧痕 内外面煤付着
11	土師器 鉢	口径 (8.9) 器高 (11.0)	A 黒色細砂粒 黒色砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D1:体部は中位よりやや上に最大径を持ち、球形。	体部内面ヘラナデ、体部外面上半ヘラ削り後ヘラナデ、中位から下半にヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に3 ^{mm} 幅の工具による強いヘラナデ。	4/5	床直No.8,9 竈	輪積痕 内外面煤付着
12	土師器 鉢	口径 (10.6) 器高 (4.8)	A 透明細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	D2:口縁部は直立し、体部はやや張る。	体部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	口縁部の1/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ
13	土師器 甕	口径 19.8 底径 7.8 器高 31.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	A:口縁部は外湾し、胴部は中位に最大径を持つ球形で、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ、一部ヘラ削り後ヘラ磨き、底部付近にヘラ削り、口縁部横ナデ後外面に縦方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.10,13 竈	輪積痕 内外面煤付着 別作り 燈色の火襷痕
14	土師器 甕	口径 19.9 底径 8.4 器高 27.5	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	A:口縁部は外傾し、胴部は中位に最大径を持つ球形で、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位から中位にかけてヘラナデ、下位ヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面にヘラナデ、外面に指押さえ。	4/5	床直No.4,10,12 竈No.1 出入口P	輪積痕 内外面煤付着 黒斑 別作り 摩擦している。
15	土師器 甕	口径 (23.0) 底径 8.6 器高 30.7	A 黒色細砂粒 白色砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	A:口縁部は外傾し、胴部は中位に最大径を持つ球形で、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面に横方向のヘラ磨き。	9/10	床直No.10	輪積痕 黒斑 内外面煤付着 別作り
16	土師器 甕	口径 (19.0) 底径 9.0 器高 28.6	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	B:口縁部は外湾し、胴部は中位に最大径を持つ球形で、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位ヘラナデ後ヘラ磨き、中位から下位ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面に縦方向のヘラ磨き。	9/10	床直No.11 竈東袖内	黒斑 内外面煤付着 別作り
17	土師器 甕	口径 18.3 底径 6.1 器高 31.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒 白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外傾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は長胴きみで、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位ヘラナデ、中位から下位にヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.10,13,17	内外面煤付着 別作り
18	土師器 甕	口径 (22.6) 器高 (13.8)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色粗砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	褐色	D:口縁部は外湾し、胴部は長胴きみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/8	床直No.16	輪積痕 内外面煤付着
19	土師器 甕	底径 (7.0) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	B:平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	底部の1/3	埋土	多孔孔径6 ^{mm} 、木葉痕 煤付着
20	須恵器 高坏	口径 15.6 器高 (8.0)	A 黒色細砂粒 赤色粗砂粒 (二次)。半透明砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	体部はわずかに開き、坏部外面に稜を有する。	坏底部内外面口クロナデ、脚部外面回転ヘラ削り、外面口クロナデ。	坏部~脚上部	床直No.2	口クロ成形 脚部三方透かし

SI20

位置 ウ9F2杭付近。規模 東西7.3m×南北6.8m。主軸方向 N-28°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏7、埴1、鉢1、甕1、甕1、ミニチュア土器1、須恵器甕破片1、壺口縁1である。



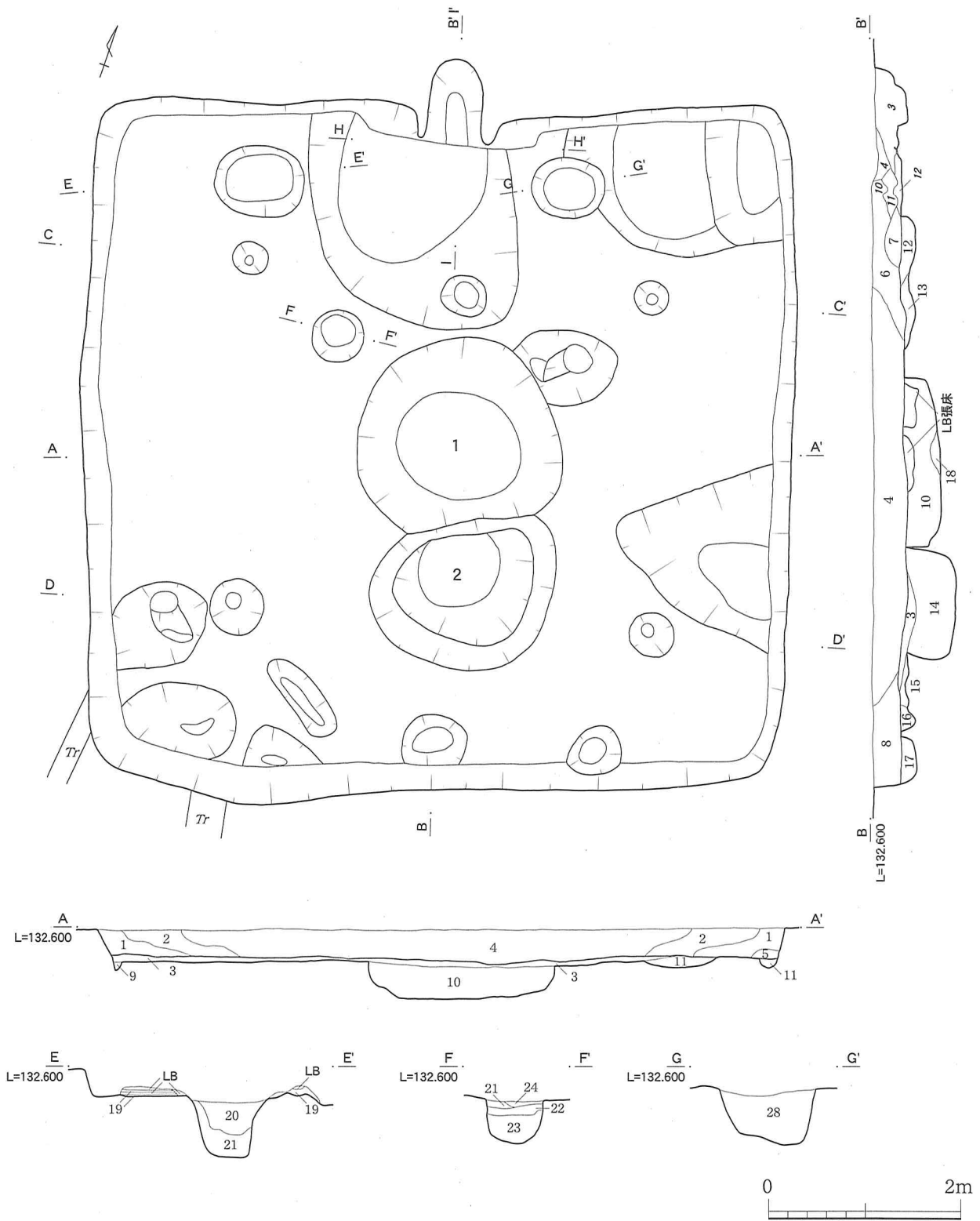
S120

- | | | | |
|-------------|--|--------------|-------------------------------------|
| 1 暗褐色土 | LR少量、小IPB多量、微小SPB少量 | 15 暗淡黄褐色土III | 10層に比べてIPBがやや多量 |
| 2 暗淡褐色土 | LR・小IPB多量、微小SPB少量 | 16 暗褐色土III | LRが少量均一混入 |
| 3 暗淡黄褐色土 | LR多量、小LB少量、小IPB微量、小SPB極微量、小CB混入 | 17 暗褐色土V | LR少量、微小IPB微量 |
| 4 暗褐色土II | LR・小IPB少量、小SPB微量、小CB混入 | 18 暗褐色土VI | 10層に黒色土が混じる |
| 5 淡黄褐色土 | 小LB多量、小IPB・微小IPB微量 | 19 黒褐色土 | LR・微小IPB少量、微小SPB極微量 |
| 6 明淡黄褐色土 | LR・小LB多量、小IPB少量、微小SPB微量 | 20 暗淡黄褐色土IV | LR多量、微小IPB少量、小IPB微量、微小SPB極微量 |
| 7 暗橙褐色土 | LR微量、焼土R少量 | 21 明淡褐色土 | LR多量、焼土R少量、微小IPBやや微量 |
| 8 暗淡褐色土II | LR・小IPB・小SPB少量 | 22 淡赤褐色土 | 焼土主体、LR・微小IPB少量 |
| 9 淡褐色土 | LRと黒色土の均一混入 | 23 暗褐色土IV | LR多量、微小IPB微量、小IPB少量、焼土R・小SPB・小粘土B微量 |
| 10 暗淡黄褐色土II | 3~4cm大のLB・小LB少量、LR極多量、小IPB・微小IPB少量、G小片微量混入 | 24 黒褐色土II | LR・微小IPB・小IPB少量、小SPB微量、小焼粘土B混入 |
| 11 暗褐色土III | LR・小IPB・微小IPB少量 | 25 暗淡黄褐色土V | 20層より微小IPB・小IPB少ない |
| 12 暗淡赤褐色土 | 小LB少量、LR多量、小IPB・微小IPB・焼土R少量 | 26 黄褐色土 | L主体、微小IPB・小IPB微量 |
| 13 暗褐色土IV | 11層に焼土少量混入 | 27 黄褐色土II | 26層より微小IPB多い |
| 14 褐色土 | 1~2cm大のLB少量、LR多量、小IPB少量、焼土多量 | 28 明黄赤褐色土 | LR多量、LB少量、焼土R極多量 |

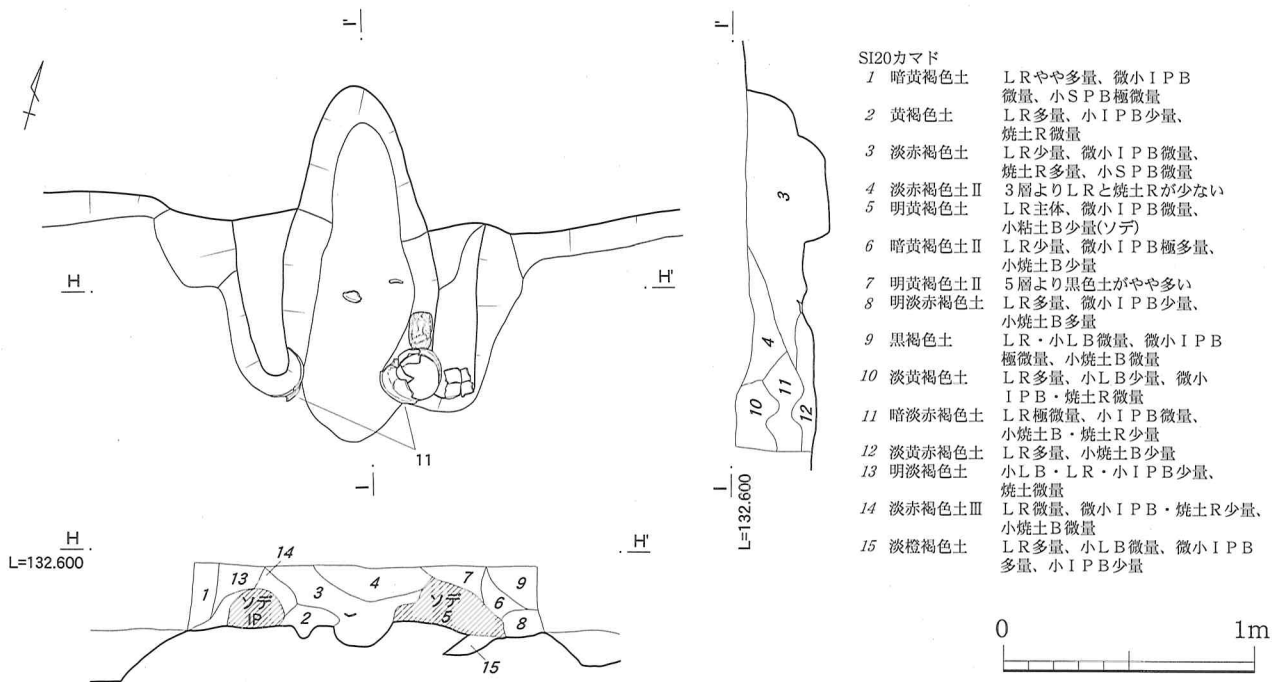
第90図 S120断・遺物平面図

第43表 SI20床下土坑一覧表

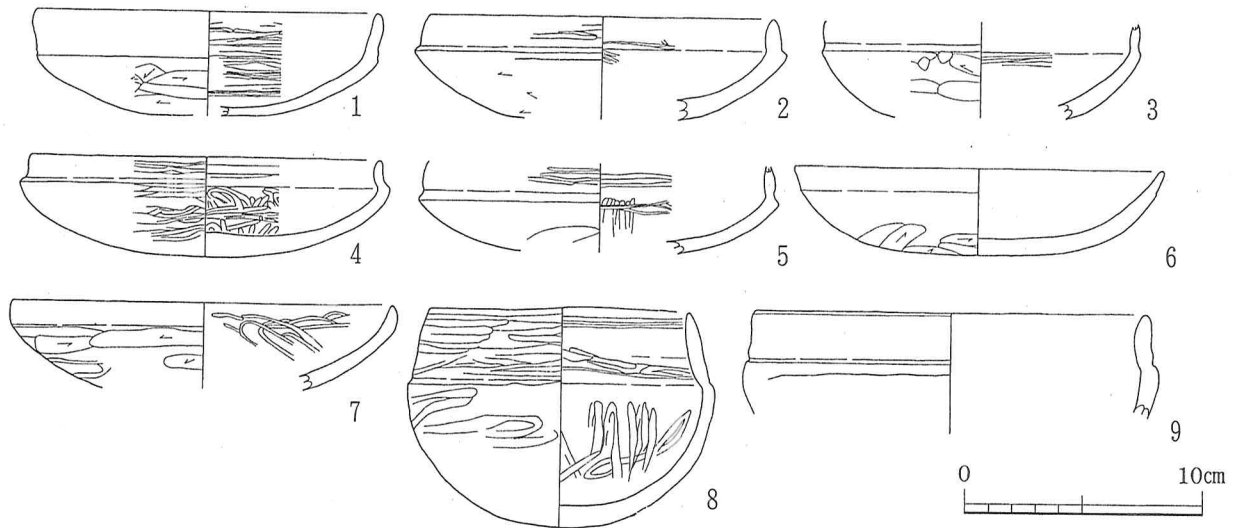
No.	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	形	底面	壁	その他
1	2.15	1.92	0.32	円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	土坑2と隣合っている
2	1.50	1.16	-	不整形			



第91図 SI20平・断面図



第92図 SI20カマド平・断・遺物平面図

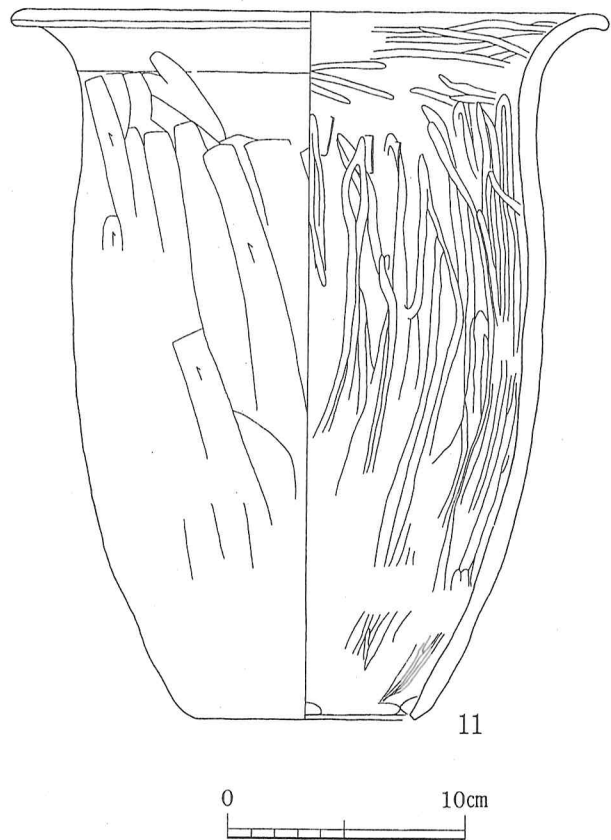
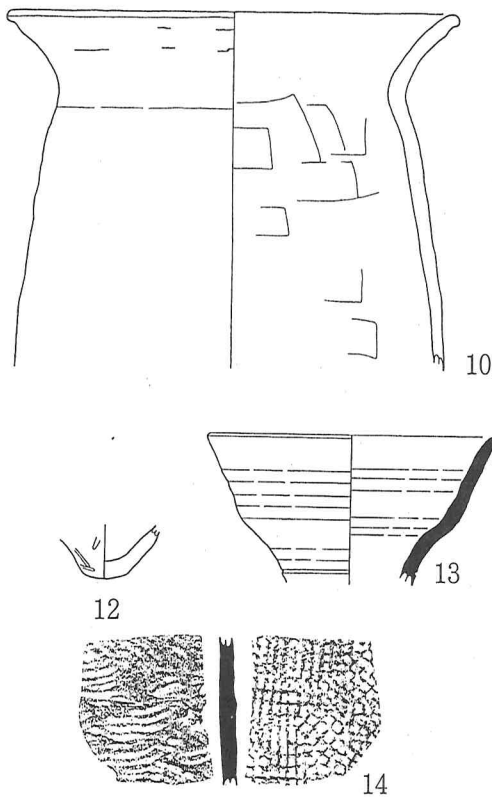


第93図 SI20出土遺物実測図(1)

第44表 SI20土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (4.3)	A 赤色粗砂粒 (二次) 黒色細砂粒。 焼成良好	橙褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	1/4	埋土	
2	土師器 坏	口径 (14.2) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/2	床下	輪積痕
3	土師器 坏	口径 (13.2) 器高 (3.9)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、下端内外面に3cm幅の工具による強いヘラナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/4	床直No.2	漆仕上げ 口縁部端部摩耗

4	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 4.1	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	内:黒色 外:乳白色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	3/5	埋土	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	褐色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	1/3	床下	漆仕上げ 口縁端部摩耗
6	土師器 坏	口径 (15.4) 器高 3.6	A 透明細砂粒 半透明細砂粒。黒色細砂粒を含む。焼成良好	乳白色	E:口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	1/4	床直	漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/4	床直	漆仕上げ
8	土師器 埴	口径 10.6 器高 9.2	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明細砂粒を含む。焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	C:口縁部は内傾し、体部は半球形。体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面ヘラナデ後不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.1,2	輪積痕 内面黒色処理
9	土師器 鉢	口径 (16.4) 器高 (4.3)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	褐色	A:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後下端に3cm幅の工具による強いヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	口縁部の1/3	埋土	輪積痕



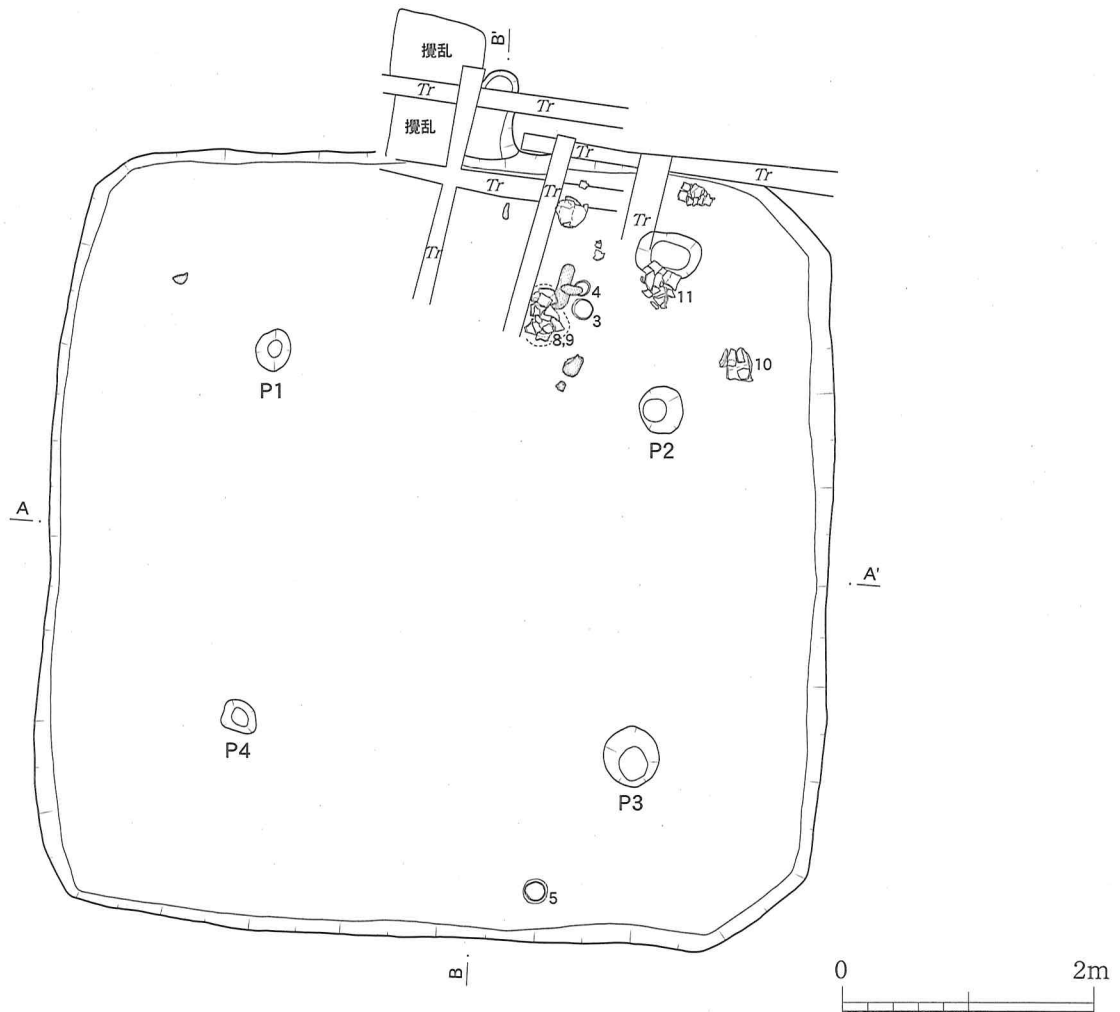
第94図 S120出土遺物実測図(2)

10	土師器 甕	口径 18.2 器高 (14.8)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。白色砂粒 赤色砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	橙褐色	D:口縁部は外傾し、胴部は長胴ぎみ。	口縁部内面横のヘラナデ後横ナデ、口縁部外面縦方向のヘラナデ後横ナデ後指押さえ、胴部内外面ヘラナデ。	2/5	床直No.4	輪積痕 煤付着
----	----------	----------------------	---------------------------------------	-----	--------------------	---	-----	--------	---------

11	土師器 甌	口径 底径 器高	24.2 9.2 29.4	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色粗砂粒（鉄粒）を含む。焼成良好	褐色	C：口縁部は外湾し、胴部はやや張る。	口縁部横ナデ後内面に横方向のヘラ磨き。体部内面ヘラナデ後縦方向のヘラ磨き。体部外面ヘラ削り一部ヘラナデ後縦方向のヘラ磨き。	4/5	床直 竈No.4,5	筒抜け 輪積 痕 別作り
12	土師器 ミニチュア土器	底径 器高	1.6 (2.2)	A 白色細砂粒。赤色砂粒（二次）を含む。焼成良好	褐色	A：体部は「ハ」の字に開き、底部は丸い。	体部内面ナデ、体部外面縦方向の削り後縦方向のヘラ磨き。	底部	埋土	
13	須恵器 壺	口径 器高	(11.8) (6.2)	A 白色細砂粒 白色砂粒。焼成良好	暗灰色	口縁部は段を持ち、「ハ」の字に開く。	ロクロナデ。	口縁部の2/3	埋土	ロクロ成形 自然釉付着 歪み有り。
14	須恵器 甕			A 白色細砂粒。焼成良好	灰白色		胴部内面同心円の叩き後指押さえ、胴部外面格子目状叩き。	破片	埋土	

SI21

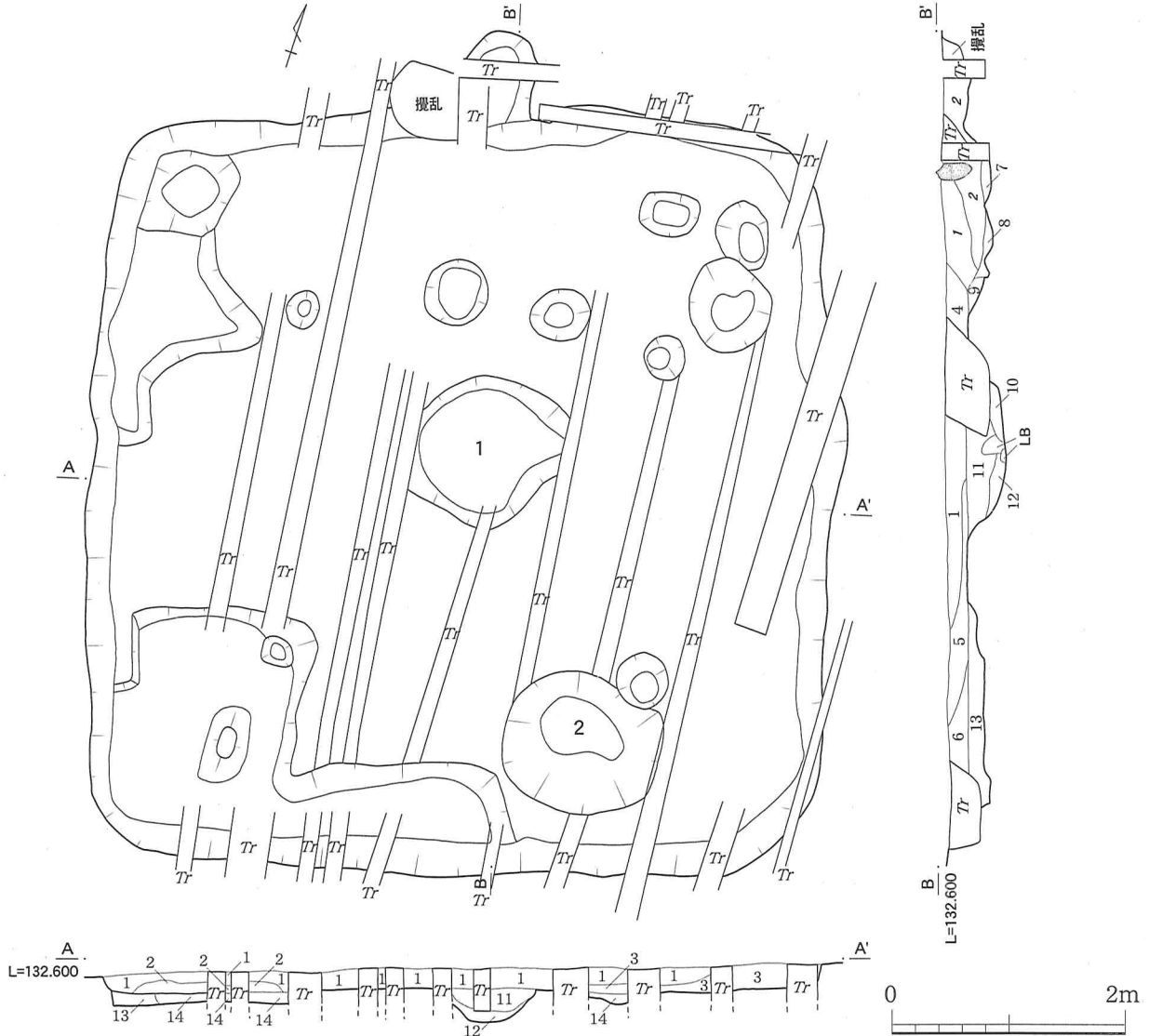
位置 ウ9F3杭付近。規模 東西6.2m×南北6.2m。主軸方向 N-20°-W 床面 概ね平坦。壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4, 埴1, 鉢1, 甕3, 甌2である。



第95図 SI21遺物平面図

第45表 床下土坑一覽表

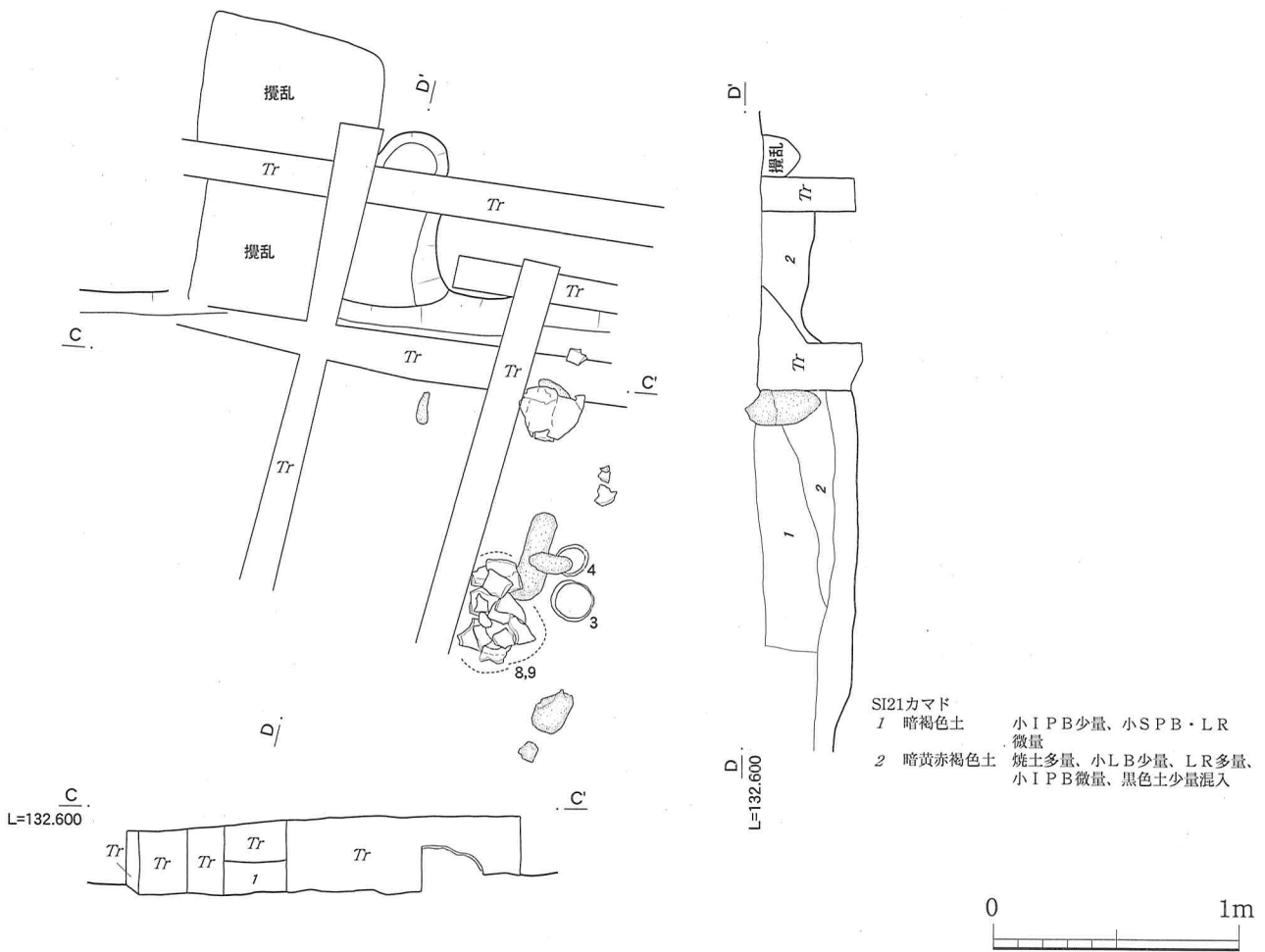
No.	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	形	底面	壁	その他
1	1.50	1.22	0.35	円形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	
2	1.40	1.17	—	円形			



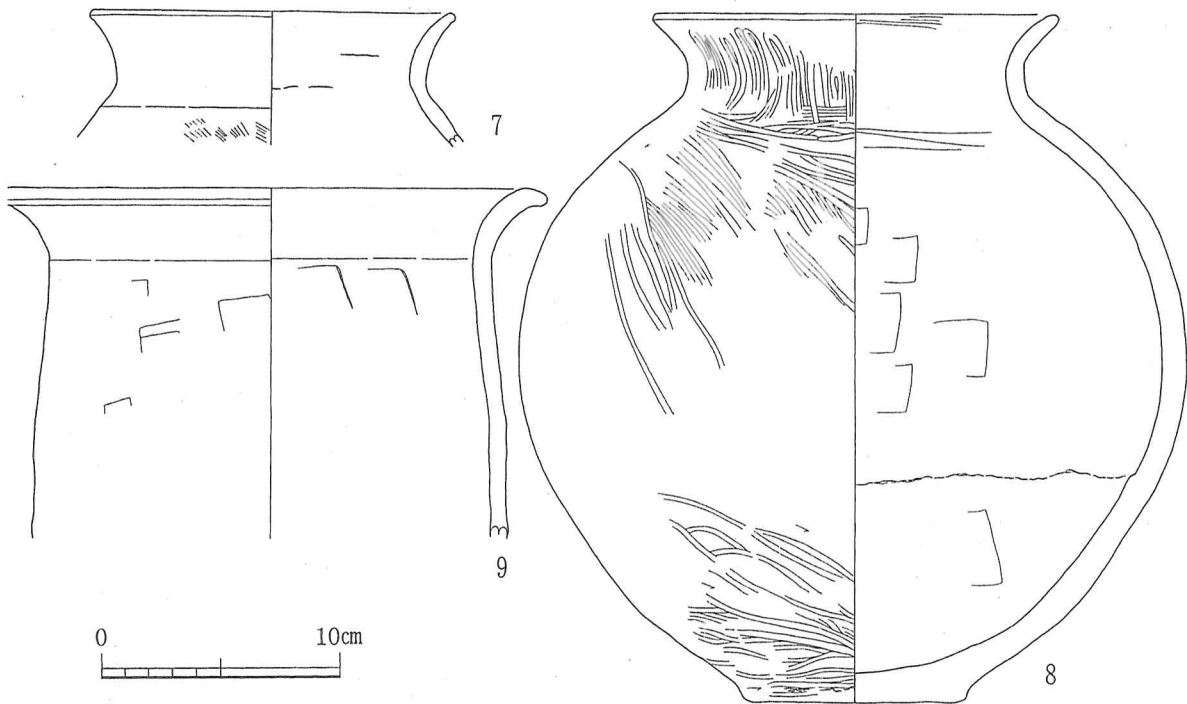
SI21

- | | | | |
|----------|----------------------------|-------------|---------------------------|
| 1 黒褐色土 | LR・小IPB少量、小SPB微量 | 8 褐色土 | LB・小LB・小IPB・微小IPB少量、焼土R微量 |
| 2 暗黄褐色土 | LR多量、微小IPB・小IPB少量、C混入 | 9 暗黄褐色土II | IPB少量、微小IPB多量、微小SPB少量 |
| 3 淡褐色土 | LR多量、微小IPB少量、小IPB・小SPB微量 | 10 暗淡黄褐色土II | 小LB・LR・小IPB・微小IPB多量 |
| 4 淡褐色土II | 3層にC混入 | 11 黒褐色土III | LR多量、小IPB・微小IPB少量、小SPB微量 |
| 5 暗淡黄褐色土 | LB・橙色LB・小IPB少量、LR多量 | 12 暗褐色土 | 小LB少量、LR・小IPB・微小IPB多量 |
| 6 黒褐色土II | LR少量、小IPB・微小IPB・微小SPB微量 | 13 淡褐色土III | LR多量、小IPB・微小IPB少量 |
| 7 暗赤褐色土 | 小LB・LR少量、焼土B・焼土R多量、黒色土少量混入 | 14 暗褐色土 | 小LB・LR・小IPB少量、微小IPB微量 |

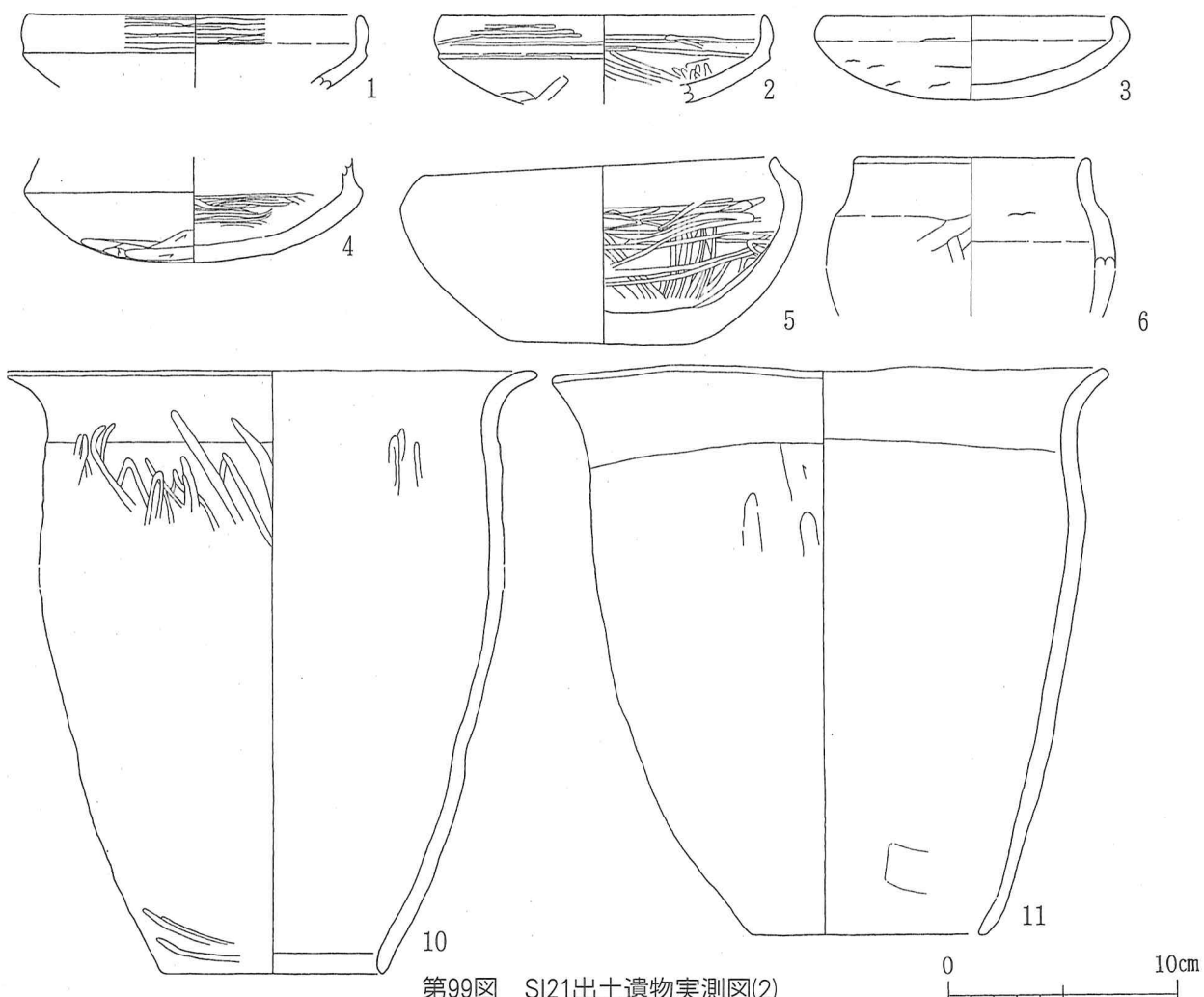
第96図 SI21平・断面図



第97図 SI21カマド平・断・遺物平面図



第98図 SI21出土遺物実測図(1)



第99図 SI21出土遺物実測図(2)

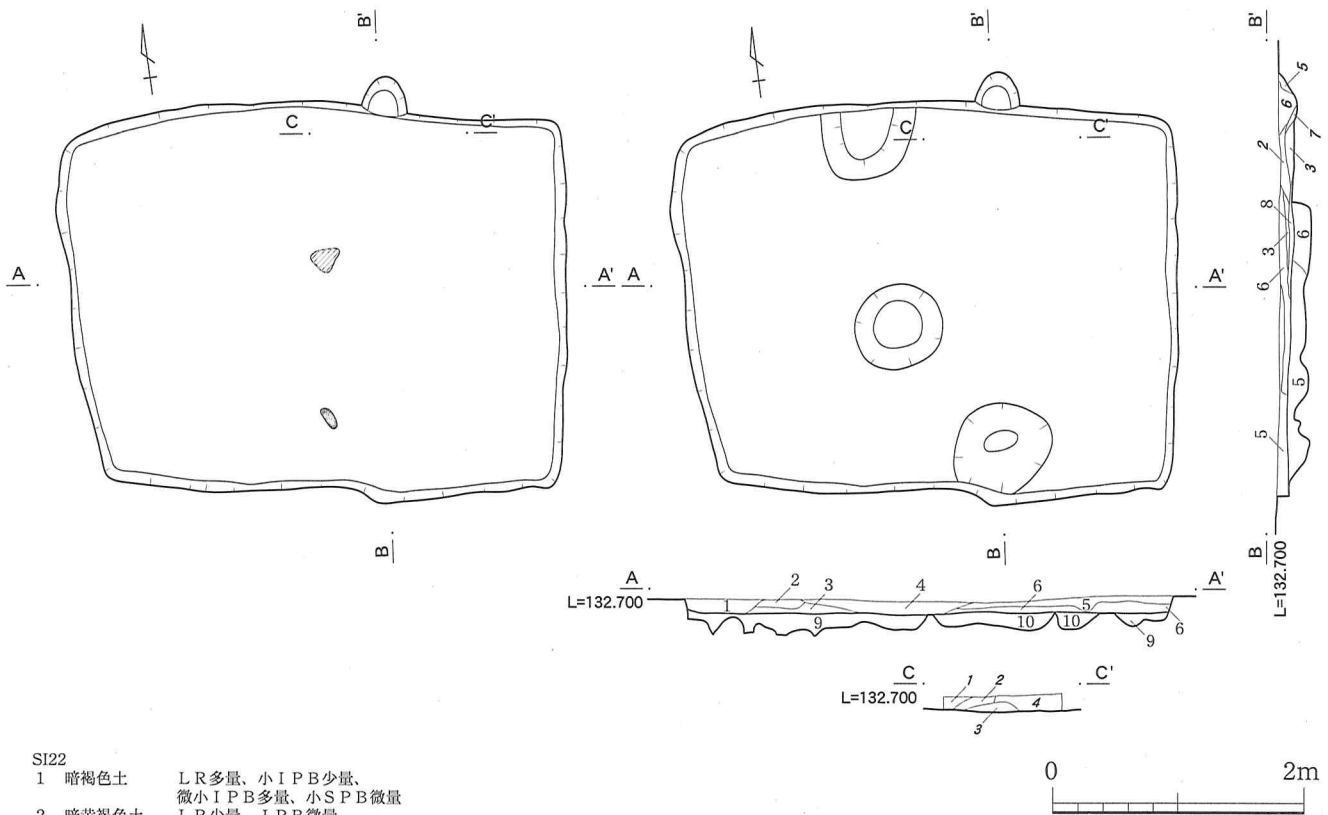
第46表 SI21土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (14.1) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒。白色細砂粒 赤色粗砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	暗褐色	C : 縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (14.0) 器高 (3.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 赤色粗砂粒 (二次) を含む。 焼成良好	褐色	C : 縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面に横方向のヘラ磨き。	1/4	埋土	漆仕上げ
3	土師器 杯	口径 12.8 器高 3.6	A 黒色細砂粒 赤色粗砂粒 (鉄粒) 透明細砂粒。 焼成良好	橙褐色	D : 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.3	漆仕上げ 摩擦、剥離が激しい。
4	土師器 杯	口径 (13.3) 器高 (4.5)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒 半透明砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D : 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、外面下端に3cm幅の工具による強い横ナデ。	ほぼ完形	床直No.2	漆仕上げ 輪積痕 内面剥離 口縁部摩擦
5	土師器 碗	口径 15.2 底径 8.2 器高 8.0	A 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色粗砂粒 (二次) 半透明砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:乳白色	E : 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。平底。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.6	内面黒色処理 摩擦、剥離が激しい。
6	土師器 鉢	口径 (10.0) 器高 (4.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	D2 : 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。体部は膨らみをみせる。	体部内面ナデ、体部外面ヘラナデ後粗い不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/8	竈	輪積痕
7	土師器 小型甕	口径 (14.8) 器高 (5.3)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	暗褐色	A : 口縁部は外傾し、頸部でくびれる。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ハケメ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/2	竈	輪積痕 煤付着
8	土師器 甕	口径 16.7 底径 9.4 器高 28.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	B : 口縁部は外湾し、頸部はやや直立する。胴部中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上半ナデ、下半ヘラ削り後斜め方向のヘラ磨き、底部外面横方向のヘラ削り後横方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	床直No.4 竈	輪積痕 別作り 黒斑

9	土師器 甕	口径 21.2 器高 (14.5)	B 黒色細砂粒 透明細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外湾し、胴部は長胴がみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に2 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	口縁部の3/4~胴部上半一部	床直No.4	内外面煤付着
10	土師器 甕	口径 (22.3) 底径 (9.4) 器高 25.8	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	褐色	C: 口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.5	筒抜け 輪積痕
11	土師器 甕	口径 (24.0) 底径 10.2 器高 24.1	B 黒色細砂粒 白色細砂粒 半透明砂粒。白色粗砂粒 赤色粗砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は外湾し、胴部はあまり張らずにすぼまっていく。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.10	筒抜け 別作り

SI22

位置 エ0F2杭付近。規模 東西3.9m×南北3.1m。主軸方向 N-10°-E 床面 概ね平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は無い。備考 南壁中央床にピット。



SI22

- 1 暗褐色土 L R多量、小 I P B少量、微小 I P B多量、小 S P B微量
- 2 暗黄褐色土 L R少量、I P B微量、小 I P B少量、微小 I P B多量
- 3 淡褐色土 L R多量、小 I P B微量、微小 I P B少量
- 4 黒褐色土 小 I P B少量、小 S P B微量
- 5 暗褐色土 II L R・小 I P B・小 S P B微量、粘土 B極微量
- 6 暗橙褐色土 小 I P B・微小 I P B多量、小 S P B極微量、微小 S P B微量
- 7 白褐色土 小 I P B・微小 I P B微量、粘土主体
- 8 暗橙褐色土 II 小 I P B・I P B多量
- 9 淡黄橙褐色土 L R少量、L B微量、小 L B極微量、微小 I P B・小 I P B多量、I P B微量、微小 S P B・微小 I P B少量、小粘土 B極微量
- 10 橙褐色土 L R少量、微小 I P B多量、小 I P B・微小 S P B少量、微小 I P B極微量、黒色土混入

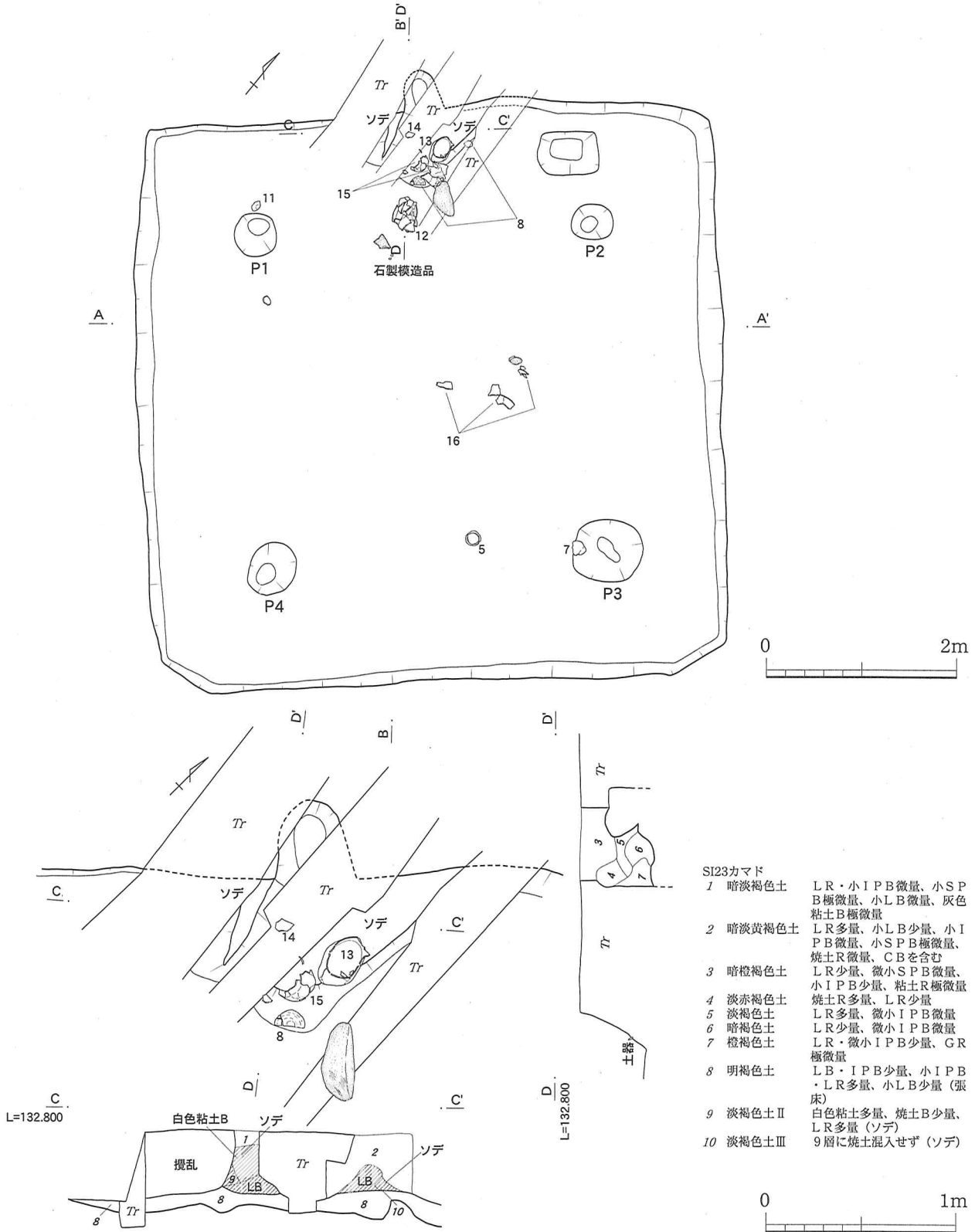
SI22カマド

- 1 黒褐色土 小 I P B・微小 I P B微量
- 2 褐色土 小 I P B・微小 I P B多量、焼土少量
- 3 暗橙褐色土 I P B・微小 I P B多量
- 4 暗褐色土 粘土 R・焼土少量、L R微量、微小 I P B少量
- 5 暗橙褐色土 II 微小 I P Bやや多量、小 S P B・I P B・焼土 R微量
- 6 明淡褐色土 小 I P B多量、粘土 R極多量、焼土 R少量、微小 S P B微量、灰混入
- 7 明淡褐色土 II 6層より黒色土多め

第100図 SI22平・断・カマド断面図

SI23

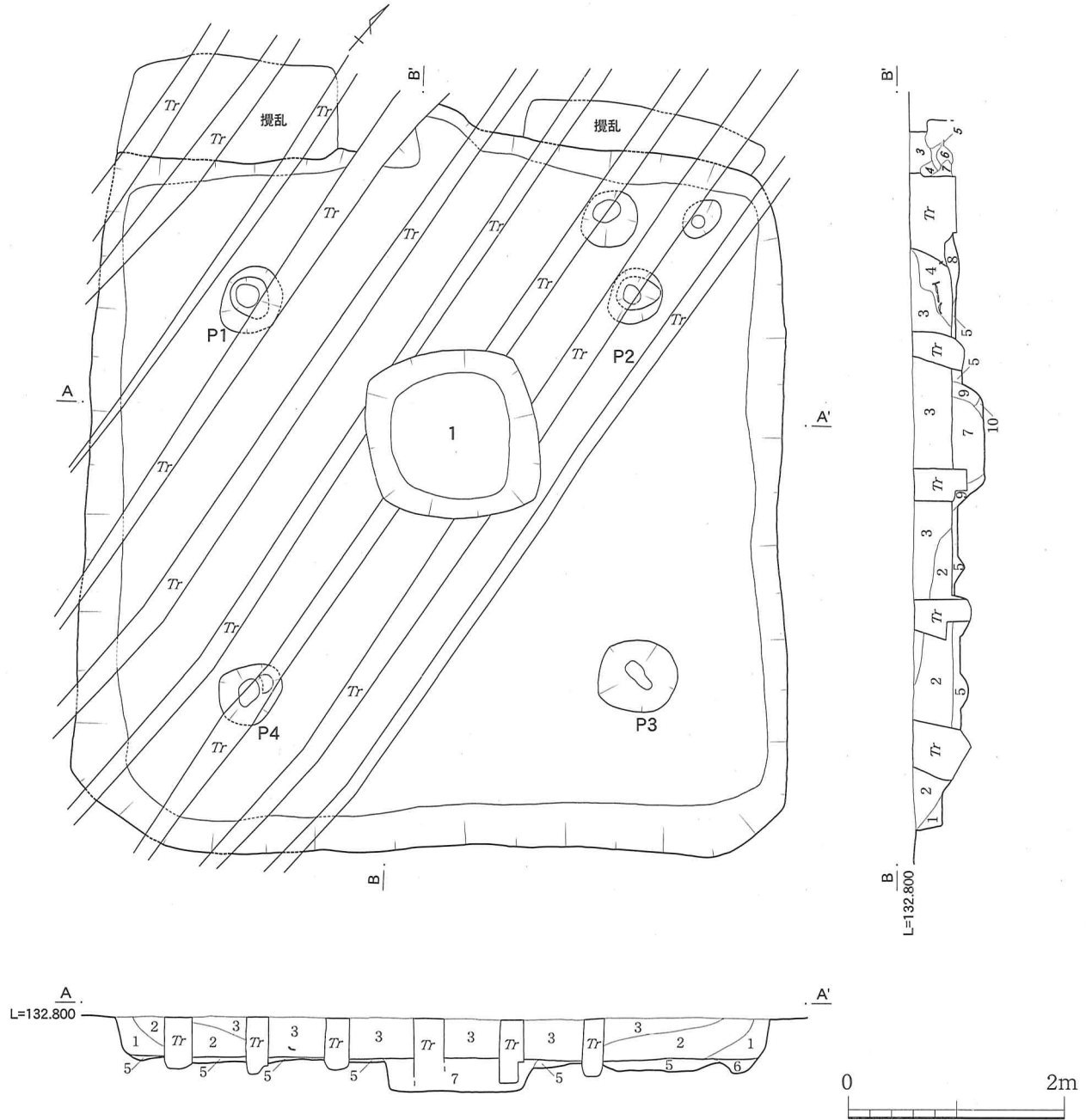
位置 エOF3杭付近。規模 東西6.2m×南北5.9m。主軸方向 N-40°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏10, 手捏土器1, 甕4, 甌1, 石製模造品白玉2である。



第101図 SI23遺物平・カマド平・断・遺物平面図

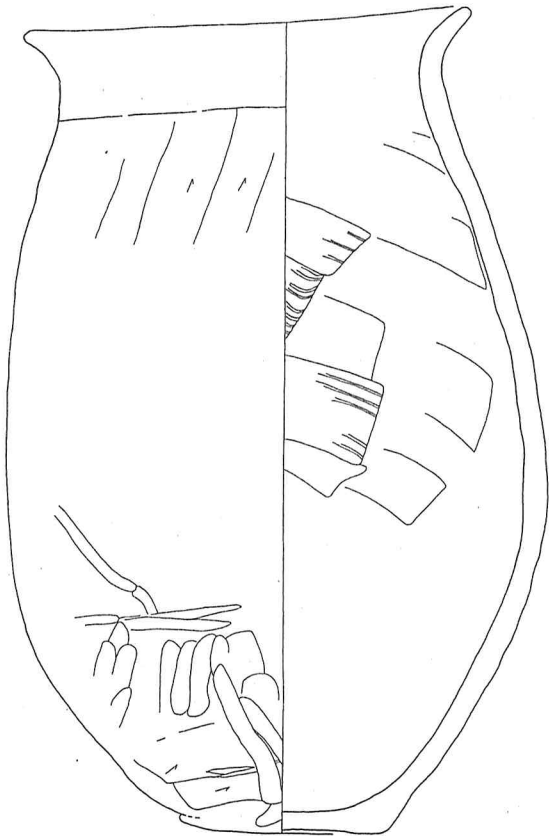
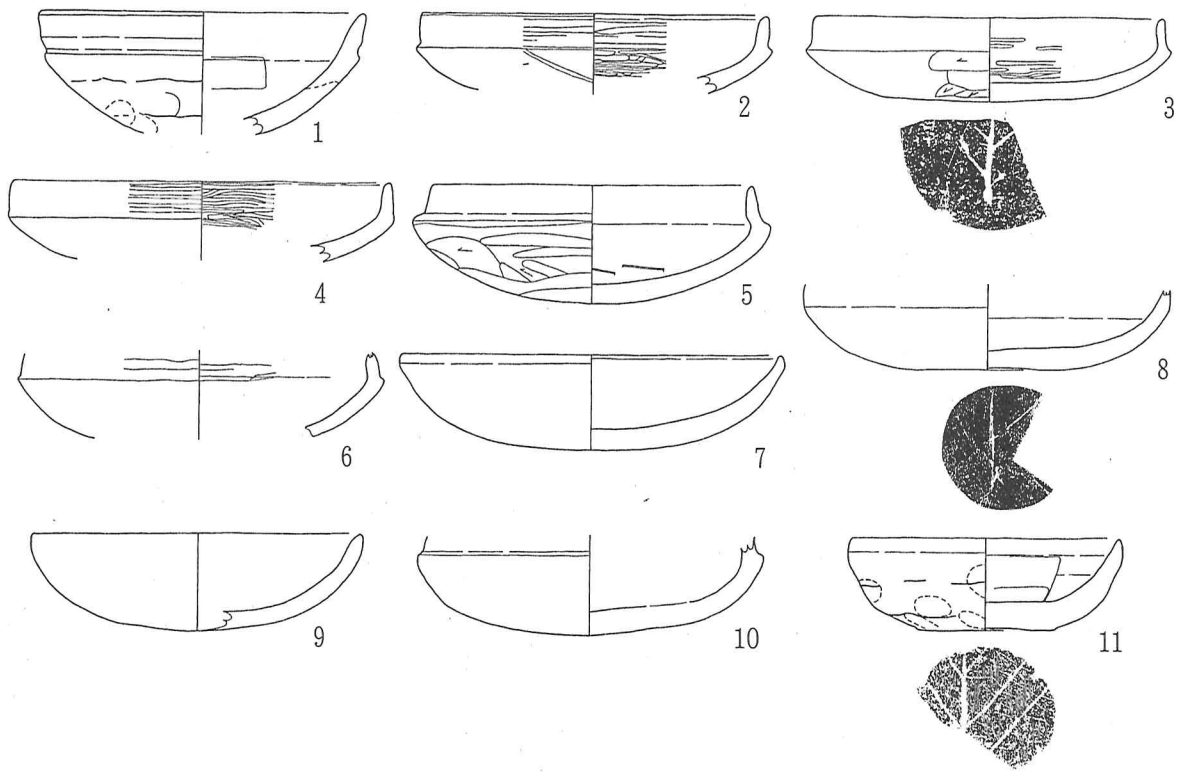
第47表 SI23床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.86	1.55	0.31	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	

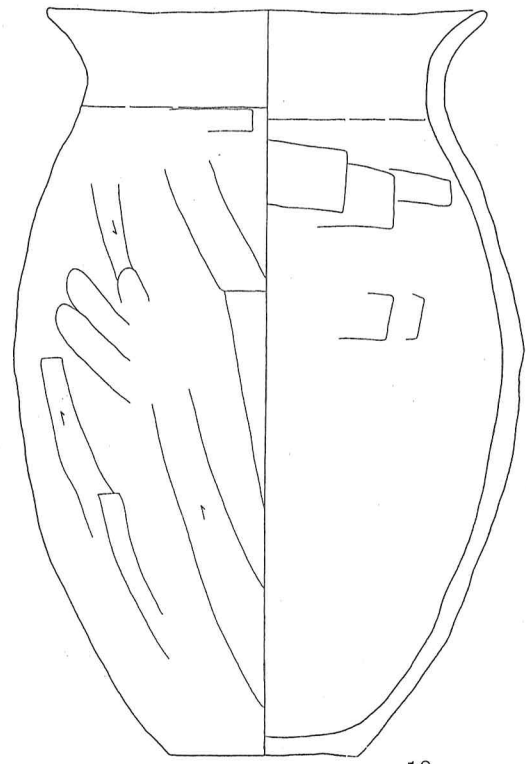


- SI23
- 1 黒褐色土 小IPB少量、LR微量
 - 2 褐色土 微小IPB多量、LR少量、SPB・CR微量
 - 3 黒褐色土II 微小IPB・LR・微小SPB微量
 - 4 淡褐色土 LR多量、小IPB少量
 - 5 暗黄褐色土 LR・小IPB・微小IPB多量、微小SPB微量
 - 6 暗褐色土 LR多量、小IPB微量、微小IPB少量
 - 7 明褐色土 LR多量、1~2cm大のLB微量、2~3cm大のIPB少量、微小IPB多量
 - 8 明褐色土II 7層に粘土Rが混入
 - 9 暗橙褐色土 7層より小IPBが増える
 - 10 明黄褐色土 LB主体、黒色土と小IPBが混入

第102図 SI23平・断面図



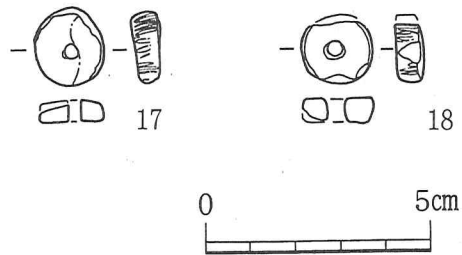
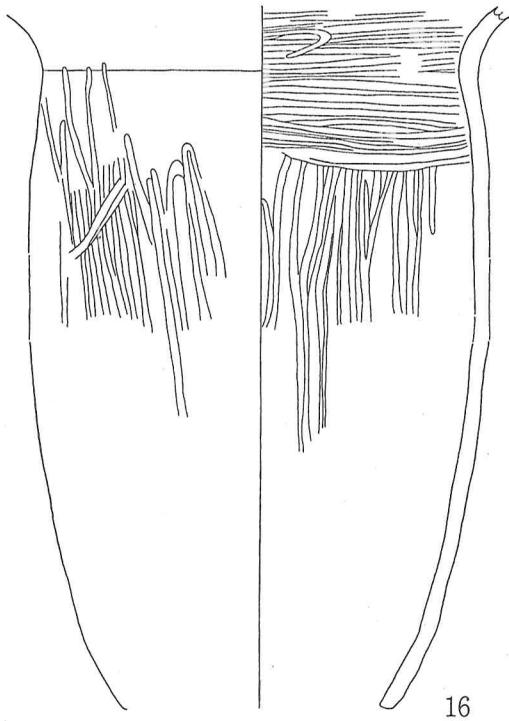
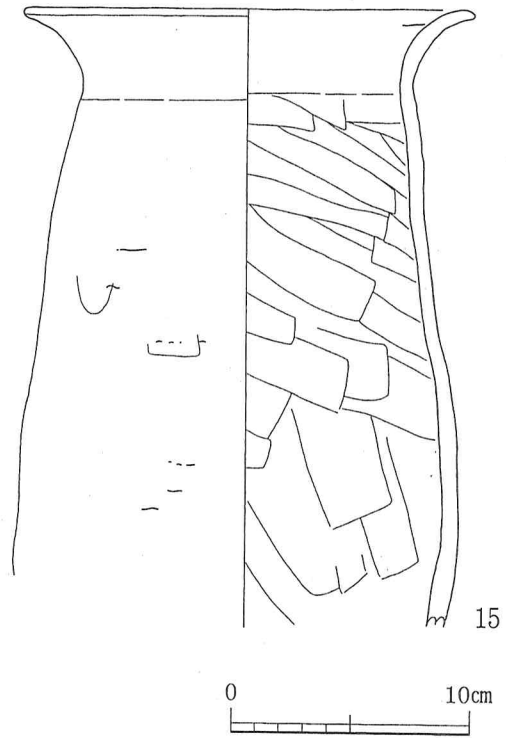
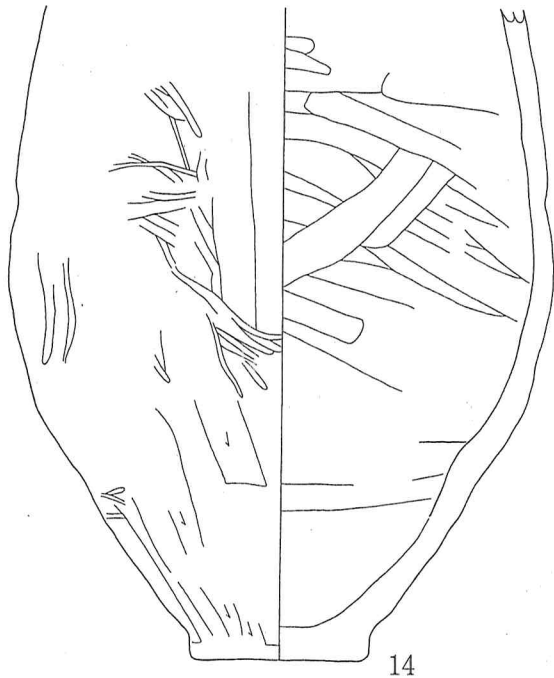
12



13



第103图 SI23出土遺物実測図(1)



第104図 SI23出土遺物実測図(2)

第48表 SI23土器観察表

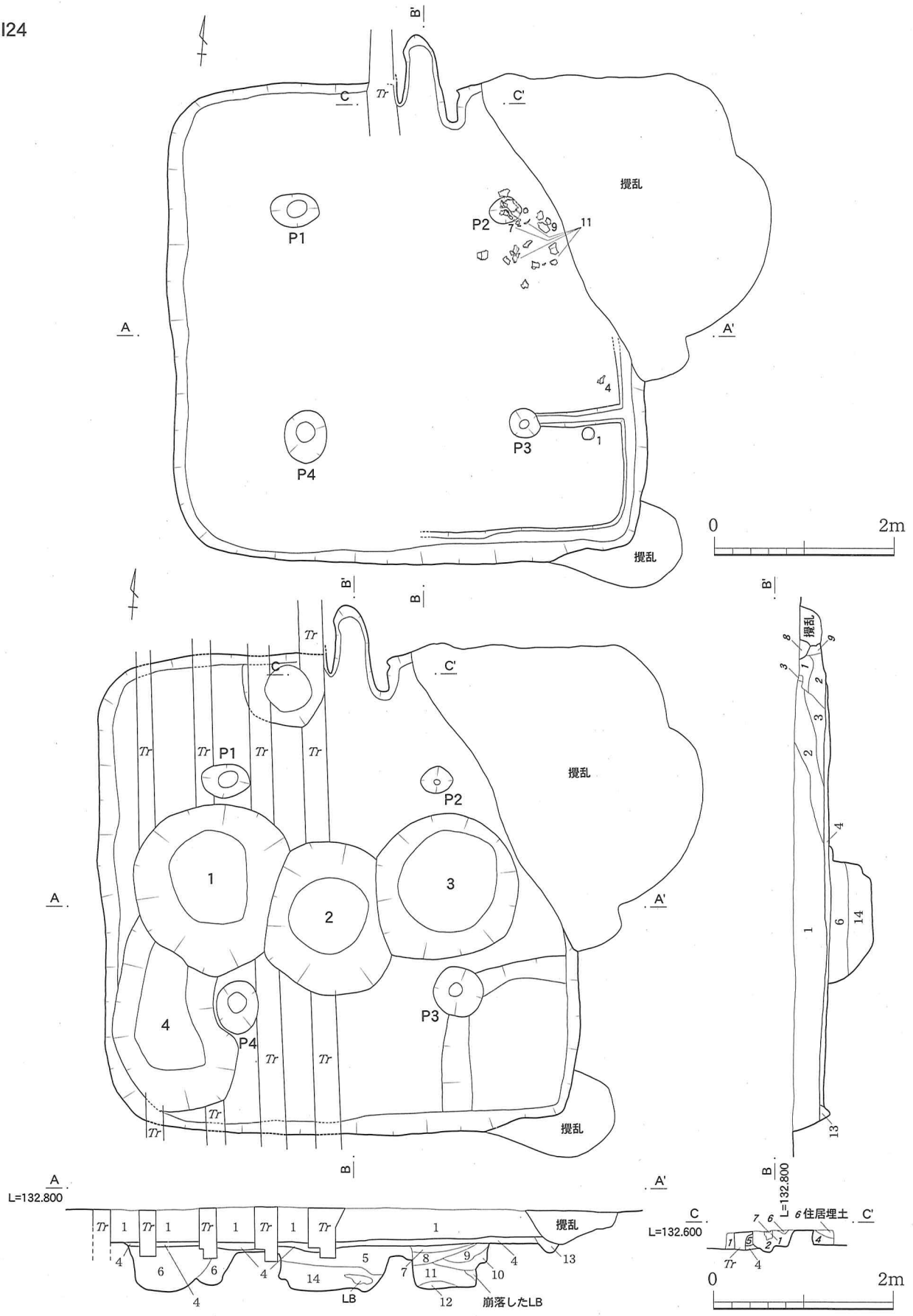
No.	器種	寸法 (・)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.1) 器高 (5.0)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。白色砂粒を 含む。 焼成良好	褐色	B: 口縁部は外傾 し、体部外面に稜 を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面 ナデ後指押さえ、口縁部横ナ デ後外面下端に5・幅工具に よる強いヘラナデ。	1/4	埋土	輪積痕 偶発 的と思われる ヘラの圧痕
2	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (3.2)	A 白色細砂粒。透明 細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。	体部内外面ナデ後一定方向の ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横 方向のヘラ磨き。	1/10	埋土	漆仕上げ

3	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 3.5	A 白色細砂粒 黑色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	内:黒色 外:橙褐色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	埋土	輪積痕 木葉痕 内面黒色処理
4	土師器 坏	口径 (15.4) 器高 (3.2)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒を含む。焼成良好	暗褐色	C:口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後ヘラ削り、一部ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に2 ^号 幅工具による強いヘラナデ。	1/10	埋土	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 13.3 器高 4.9	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。焼成良好	褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に2 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	完形	床直No.9	漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (14.2) 器高 (3.7)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に3 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	1/2	床下	漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 (15.7) 器高 4.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	暗褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面横方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.10	漆仕上げ 内面剥離
8	土師器 坏	口径 (15.2) 器高 (3.5)	A 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	橙褐色	E:口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	3/4	床直No.1 竈No.3	輪積痕 木葉痕 漆仕上げ
9	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	淡褐色	H:口縁部は外傾する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	埋土	
10	土師器 坏	口径 (13.0) 器高 (4.2)	A 黒色細砂粒。焼成やや良好	乳白色	不明:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き。	4/5	床下	内面剥離、摩耗が激しい。
11	土師器 手捏土器	口径 (11.3) 底径 (5.8) 器高 3.8	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。焼成良好	内:暗褐色 外:乳白色	体部は内湾ぎみに立ち上がる。平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後指押さえ、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.4	輪積痕 木葉痕
12	土師器 甕	口径 17.8 底径 8.6 器高 34.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。2~4 ^号 大粗粒を含む。焼成良好	褐色	C1:口縁部は外傾する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、一部ヘラナデ後縦方向のヘラ磨き、接合部に横方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.3	輪積痕 黒斑 煤付着 粘土付着 別作り
13	土師器 甕	口径 18.3 底径 8.3 器高 30.8	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。2~5 ^号 大粗粒を含む。焼成良好	褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.1	輪積痕 煤付着 粘土付着 別作り 歪み有り。
14	土師器 甕	底径 7.0 器高 (27.0)	A 白色砂粒 黒色砂粒 2~6 ^号 大粗粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	褐色	C1:胴部はやや張り、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	2/3	竈No.4	輪積痕 煤付着 別作り
15	土師器 甕	口径 18.2 器高 (25.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外湾し、胴部は長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.2 竈No.2	輪積痕 内外面煤付着
16	土師器 甕	底径 (11.0) 器高 (29.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	暗褐色	C:口縁部は外傾し、胴部はあまり張らず緩やかにすぼまっていく。	胴部内外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ、内面横方向のヘラ磨き。	1/4	床直 No.6,7,8	筒抜け 輪積痕 煤付着

第49表 SI23石製模造品白玉観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				重量	色調	材質	出土位置	備考
		最大径	最大厚	孔径						
17	石製模造 品 白玉	1.5	0.5	0.31 0.35		2.0	暗灰色	滑石	床直	
18	石製模造 品 白玉	1.6	0.5	0.35 0.38		1.7	暗灰色	滑石	床直	

SI24



第105図 SI24平・断・遺物平面図

SI24

1	黒褐色土	小IPB少量、小SPB微量
2	淡褐色土	LR多量、微小IPB微量、GR極微量、焼土R・CR微量
3	褐色土	LR・焼土R少量、CR微量
4	黒褐色土II	LR・微小SPB少量(張床)
5	明褐色土	2~3cm大のLB微量、LR多量、2~3cm大のIPB微量、小IPB・微小IPB多量
6	明褐色土II	5層よりブロックが細かく、黒色土が少量混入
7	黒褐色土III	4層よりLRが多い
8	暗褐色土	LR・微小IPB多量、小IPB少量、黒色土がブロックで混入
9	暗褐色土	小LB・LR多量、微小IPB少量、小IPB微量
10	明褐色土	小LB・LR・小IPB多量
11	暗褐色土	LR多量、LB・微小IPB・小IPB少量
12	明褐色土	LR主体、ソフトローム
13	黒褐色土IV	7層に似ているが小LBが少量混入
14	明褐色土III	5層に3~4cm大のLB混入

SI24カマド

1	明赤褐色土	焼土R多量、LR少量
2	暗赤褐色土	LR・焼土R少量、粘土R・CR微量
3	黄褐色土	LR主体
4	淡黄赤褐色土	LR多量、焼土R少量、粘土R極微量
5	黄褐色土II	LB主体、焼土R極微量
6	淡赤褐色土	LR・焼土R少量
7	淡褐色土	LR少量
8	赤褐色土	LR少量、焼土R多量
9	淡黄褐色土	LR主体、焼土R微量

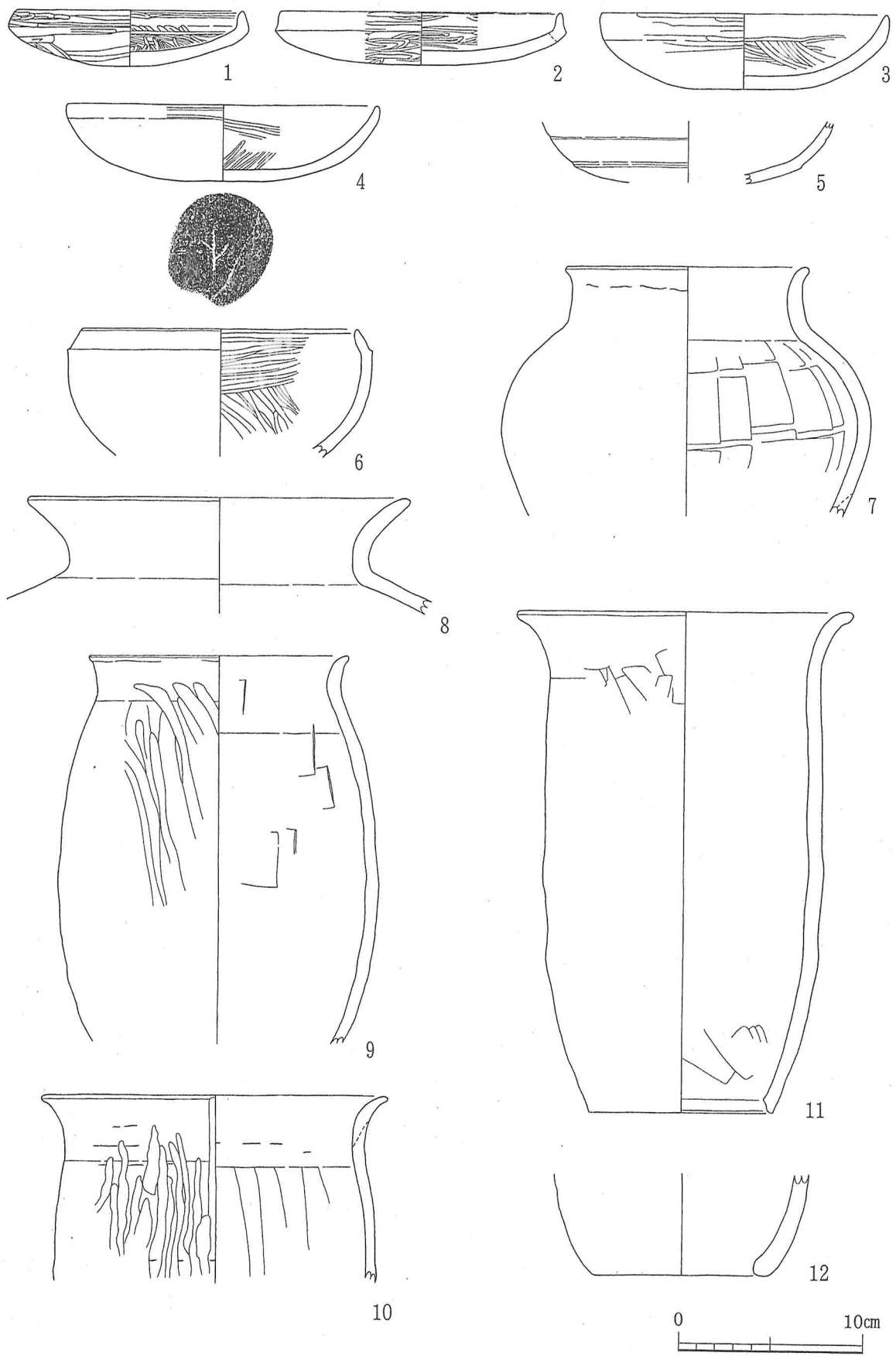
位置 エOF4杭付近。規模 東西5.0m×南北5.3m。主軸方向 N-6°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 4基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏5、埴1、甕4、甗2である。

第50表 SI24床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.91	1.82	0.54	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる 大きく開きながら立ち上がる	土坑2・4と重複、土坑4が古く2が新しい
2	1.75	1.23	0.53	円形	平坦	オーバーハング やや開きながら立ち上がる	土坑1・3と重複、土坑1が古く3が新しい
3	1.75	1.62	0.55	円形	平坦	ほぼ垂直	
4	2.23	1.09	-	楕円形			

第51表 SI24土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 12.0 器高 3.0	A 白色細砂粒 透明細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は短く立ち、器高は低い。体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	完形	床直No.12	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 2.8	A 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は短く内傾し、器高は低い。体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/5	埋土	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 4.0	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	2/3	埋土	漆仕上げ 外面剥離
4	土師器 坏	口径 (16.4) 器高 4.1	A 白色砂粒 赤色砂粒(鉄粒)。半透明砂粒を含む。 焼成良好	内:褐色 外:淡褐色	E: 口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/2	床直No.11	漆仕上げ 内面剥離 木葉痕
5	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 (3.3)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	F: 口縁部は外傾し、体部外面と口縁部に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面中位と下端に2 ³ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/5	埋土	漆仕上げ 内面剥離
6	土師器 埴	口径 (14.6) 器高 (6.7)	A 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	C: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。体部は半球形。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	漆仕上げ
7	土師器 小型甕	口径 13.0 器高 (13.3)	A 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	赤褐色	B: 口縁部は直立後端部で外に開き、胴部は大きく張る。	胴部内面横方向のヘラナデ、胴部外面縦方向のヘラナデ、接合部のみに横方向のヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/4	床直No.2	輪積痕 別作り
8	土師器 甕	口径 (19.8) 器高 (6.3)	B 白色砂粒 半透明砂粒。 焼成良好	乳白色	A: 口縁部は「く」の字を呈し、胴部は大きく開いて行く。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/2	埋土	

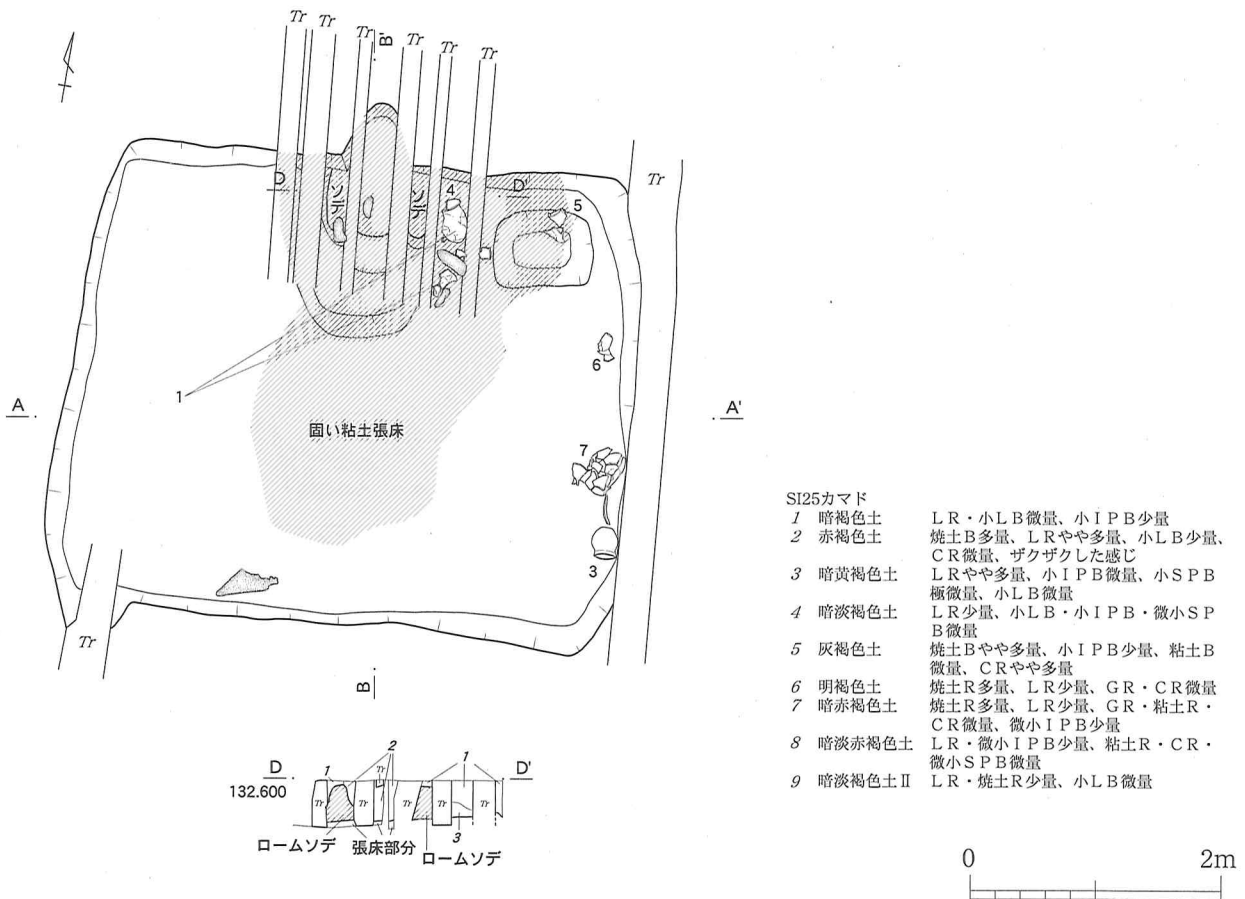


第106图 SI24出土遺物実測図

9	土師器 甕	口径 (13.4) 器高 (20.8)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は短めで外傾し、胴部はやや張る。	胴部内外面ヘラナデ後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	床直No.5	口縁部火を受けている。
10	土師器 甕	口径 (18.0) 器高 (9.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾し、胴部はあまり張らない。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ後胴部外面ヘラ磨き。	口縁部の1/6~ 胴部上半一部	埋土	内外面煤付着
11	土師器 甕	口径 (17.8) 底径 (10.0) 器高 26.8	B 白色砂粒 白色細砂粒 半透明砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	内:乳白色 外:黒褐色	C: 口縁部は外傾し、胴部は長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	床直 No.2,4,7,8	筒抜け 別作り
12	土師器 甕	底径 (8.4) 器高 (5.4)	B 白色砂粒。半透明粗砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	C:		底部の 1/12	埋土	筒抜け 付着物摩耗が激しい。

SI25

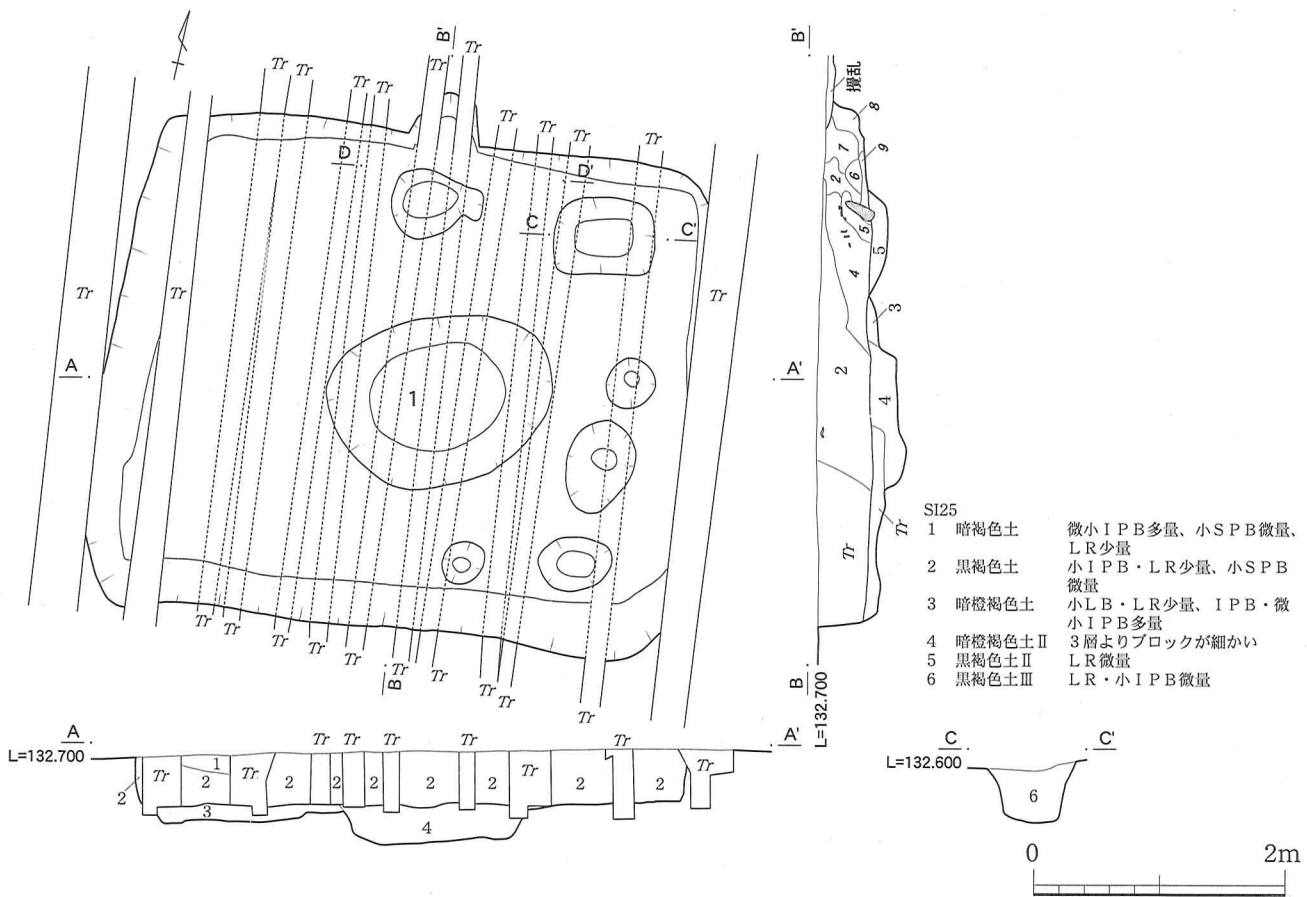
位置 ウ9F4杭付近。規模 東西4.5m×南北3.7m。主軸方向 N-7°-W 床面 平面。壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 無。貯蔵穴 1ヵ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器鉢1, 甕5, 甕1である。



第107図 SI25遺物平・カマド平・断面図

第52表 SI25床下土坑一覧表

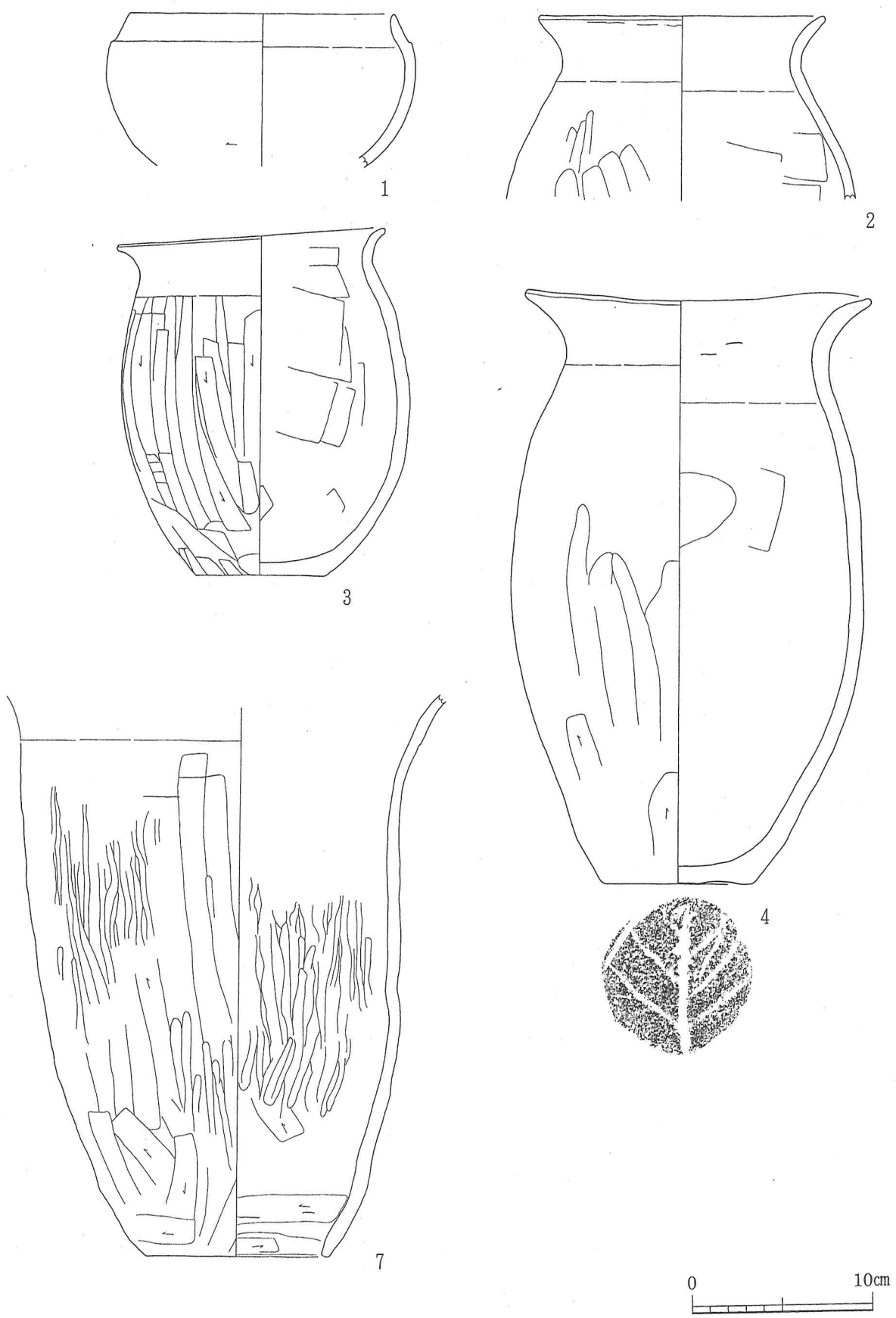
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.78	1.33	0.38	楕円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	



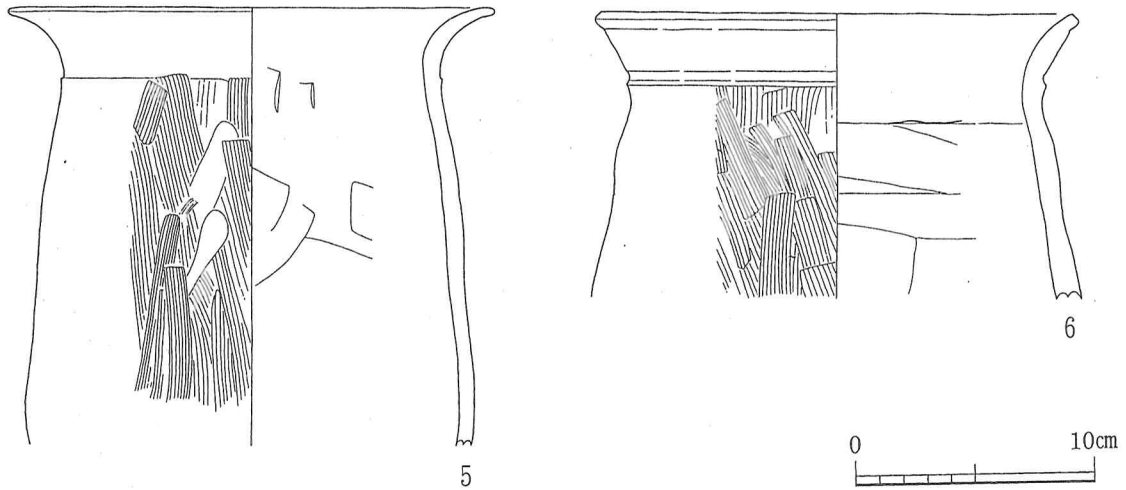
第108図 SI25平・断面図

第53表 SI25土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器鉢	口径 (14.2) 器高 (8.3)	A 黒色細砂粒。黒色砂粒を含む。焼成良好	褐色	A: 口縁部は内傾し、体部は球形。	体部内面ヘラナデ。体部外面ナデ後下半にヘラ削り、体部全体にヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	床直No.6,9	輪積痕
2	土師器小型甕	口径 (15.6) 器高 (10.0)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。焼成良好	淡褐色	A: 口縁部は外傾する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	口縁部の1/3~胴部上半一部	竈	輪積痕 煤付着
3	土師器小型甕	口径 14.4 底径 7.0 器高 19.1	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。2 ⁵ 大粗砂粒を含む。焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外湾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.1	内外面煤付着
4	土師器甕	口径 18.9 底径 8.4 器高 32.5	A 乳白色細砂粒~粗粒(二次)。焼成良好	褐色	C2: 口縁部は外湾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	7/8	床直No.6	輪積痕 木葉痕 乳白色の粘土付着 炭化物付着 別作り
5	土師器甕	口径 19.5 器高 (18.1)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	褐色	D: 口縁部は外湾し、頸部外面下端に稜を有する。長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ハケメ、口縁部横ナデ。	1/3	床直No.5	内外面煤付着
6	土師器甕	口径 (19.4) 器高 (11.7)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒 2~3 ⁵ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾かに外傾し、端部で面取りされ、頸部外面下端に稜を有する。胴部はあまり張らない。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ハケメ、口縁部横ナデ後外面下端に4 ⁵ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/6	床直No.4 竈	輪積痕
7	土師器甕	底径 9.9 器高 (30.7)	A 白色細砂粒 白色粗砂粒 2~5 ⁵ 大粗粒。赤色粗砂粒(鉄粒)を含む。焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は緩やかに外傾し、胴部はすぼまる。	胴部内面上位から中位にヘラナデ、下位にヘラ削り、全体に粗いヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.3	筒抜け 輪積痕 内外面煤付着



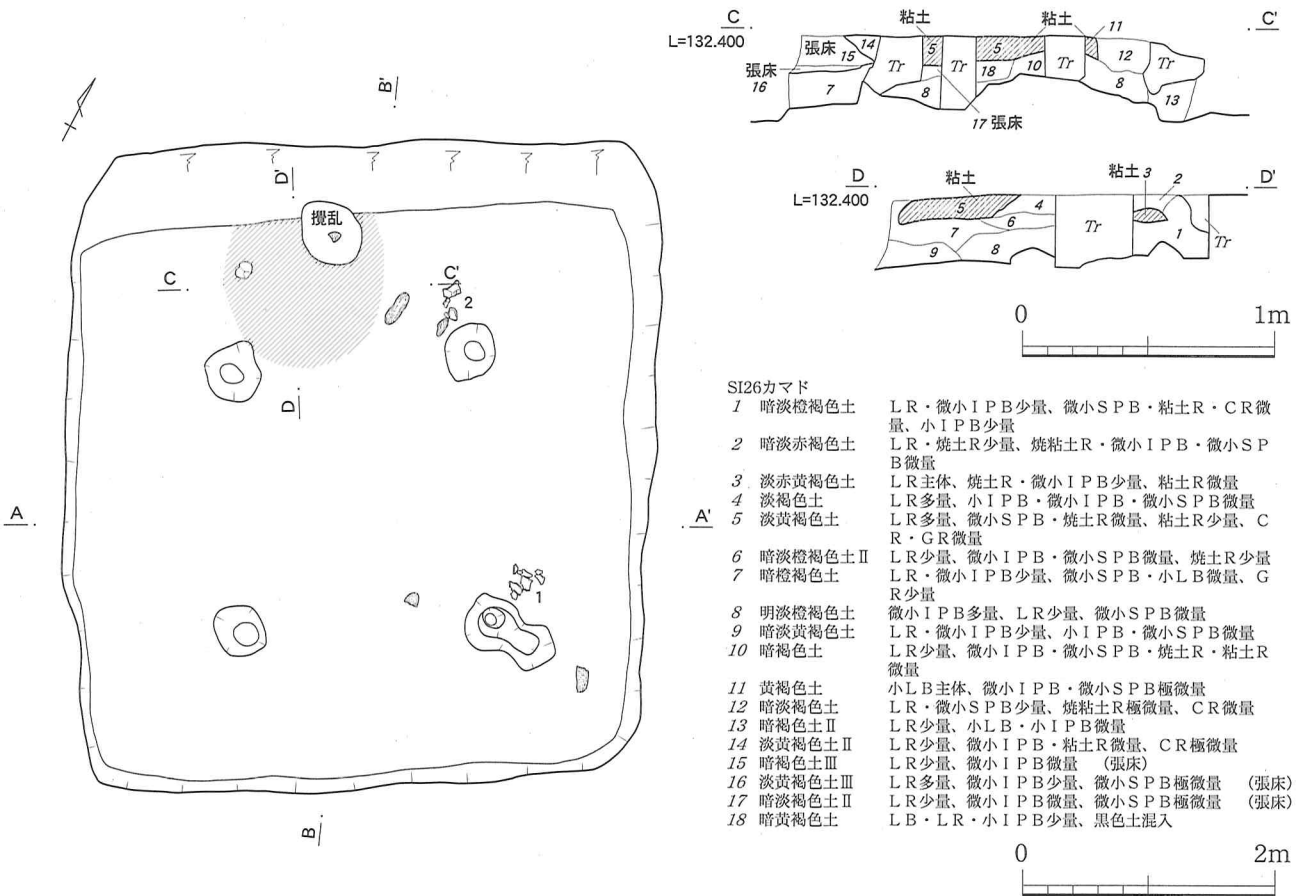
第109図 SI25出土遺物実測図(1)



第110図 SI25出土遺物実測図(2)

SI26

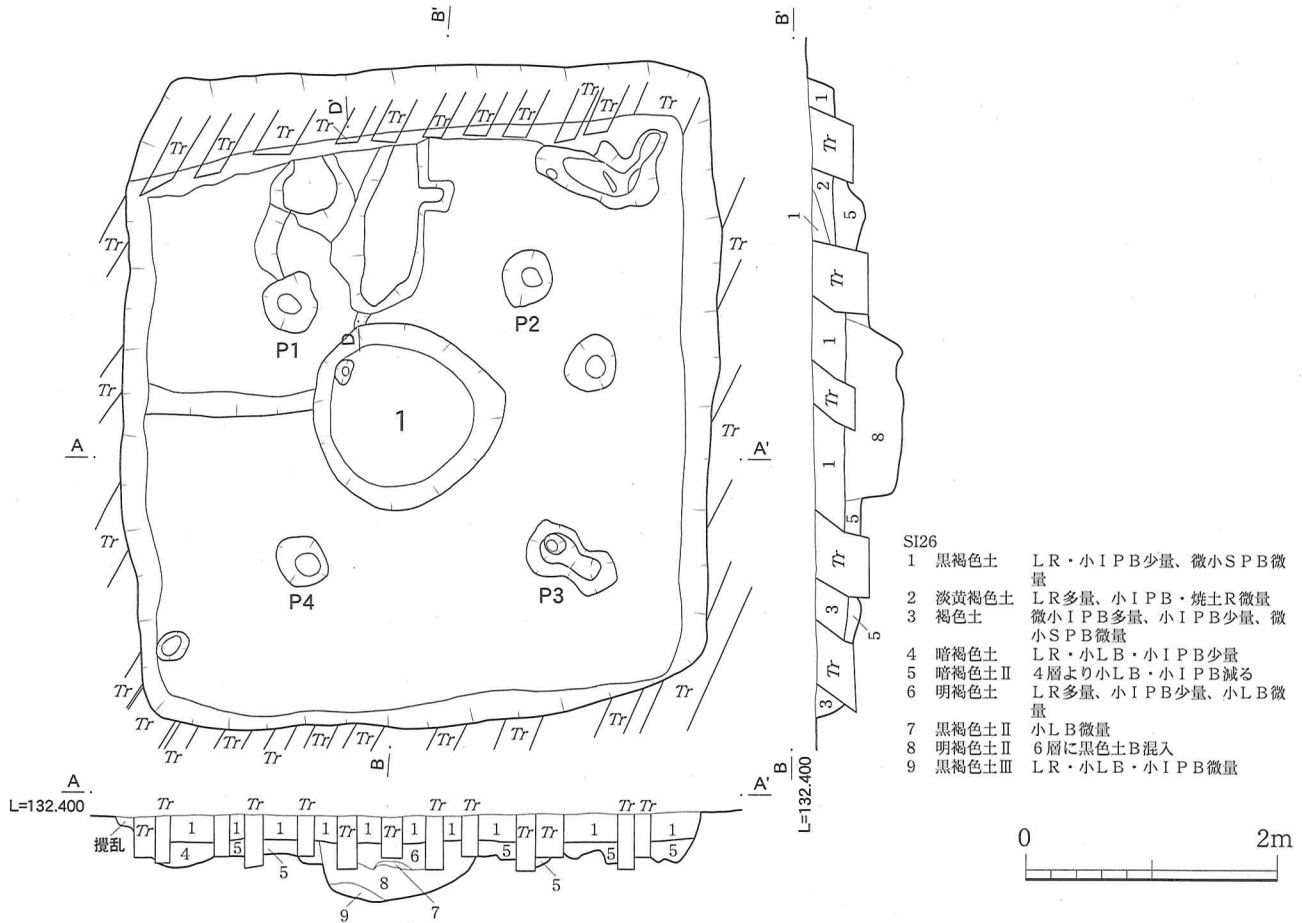
位置 ウ9F5杭付近。規模 東西4.7m×南北5.1m。主軸方向 N-32°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器甕2である。



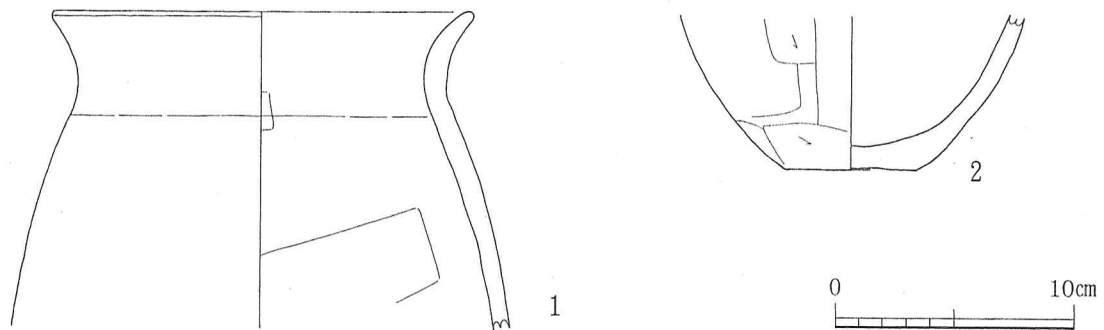
第111図 SI26遺物平・カマド断面図

第54表 SI26床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.55	1.47	0.45	円形	丸底	やや開きながら立ち上がる 大きく開きながら立ち上がる	



第112図 SI26平・断面図



第113図 SI26出土遺物実測図

第55表 SI26土器観察表

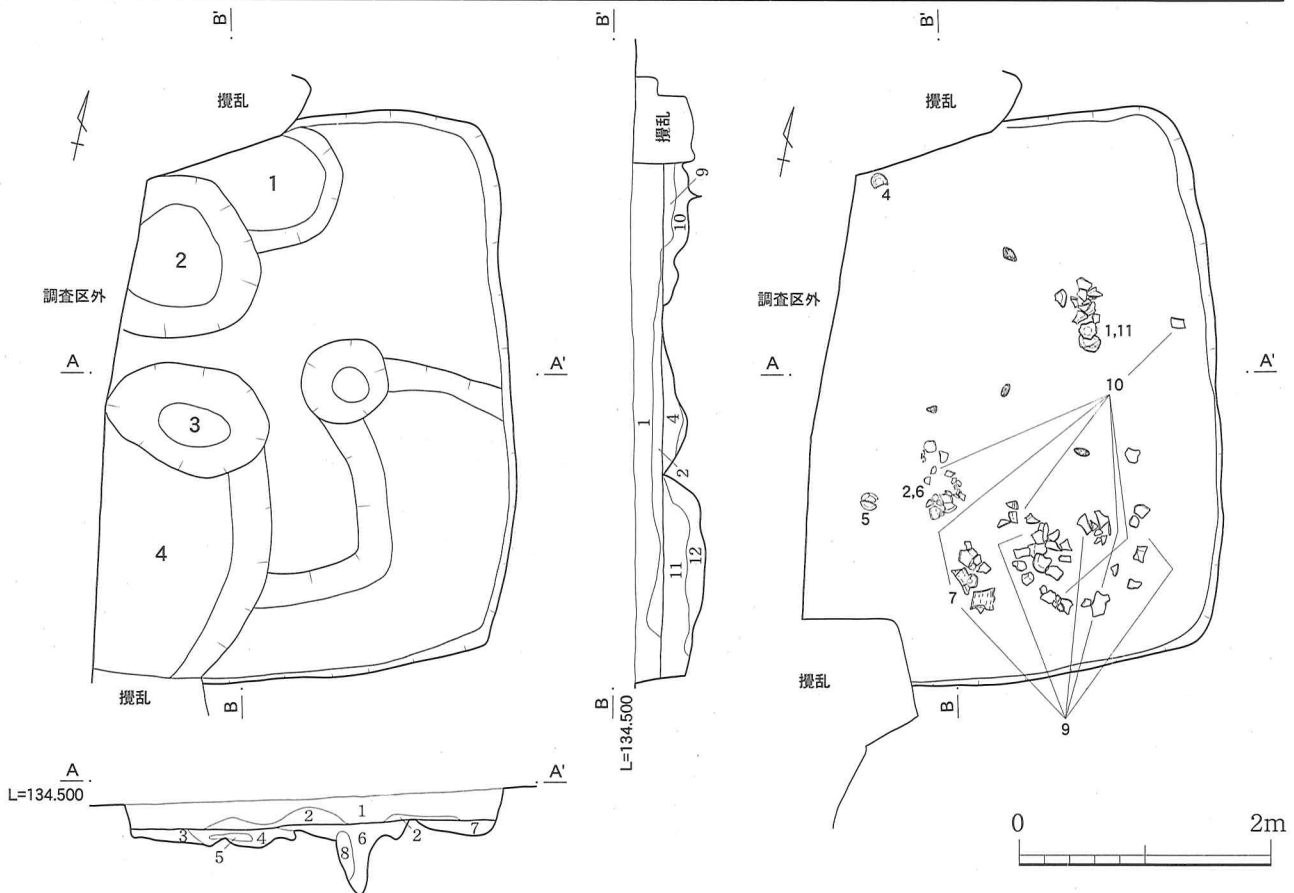
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 甕	口径 (17.2) 器高 (13.1)	A 半透明砂粒 透明 細砂粒。 焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4~胴部上半一部	床直No. 2	
2	土師器 甕	底径 5.5 器高 (6.4)	A 半透明砂粒 白色 砂粒。 焼成良好	内: 淡褐色 外: 褐色	不明: 平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	底部	床直No. 1	灰色付着物 内面剥離

SI27

位置 ウ4F1杭付近。規模 東西3.3m×南北4.4m。主軸方向 N-18°-W 床面 平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 4基。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 無。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏7、甕4である。

第56表 SI27床下土坑一覧表

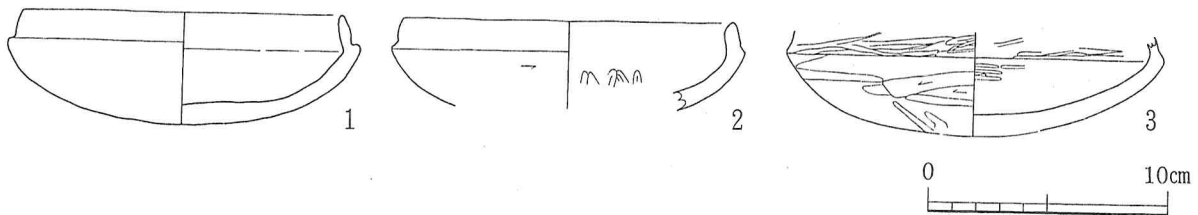
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.42	1.05	0.29				
2	1.33	1.00		円形			
3	1.30	0.85		楕円形			
4	2.15	1.35					



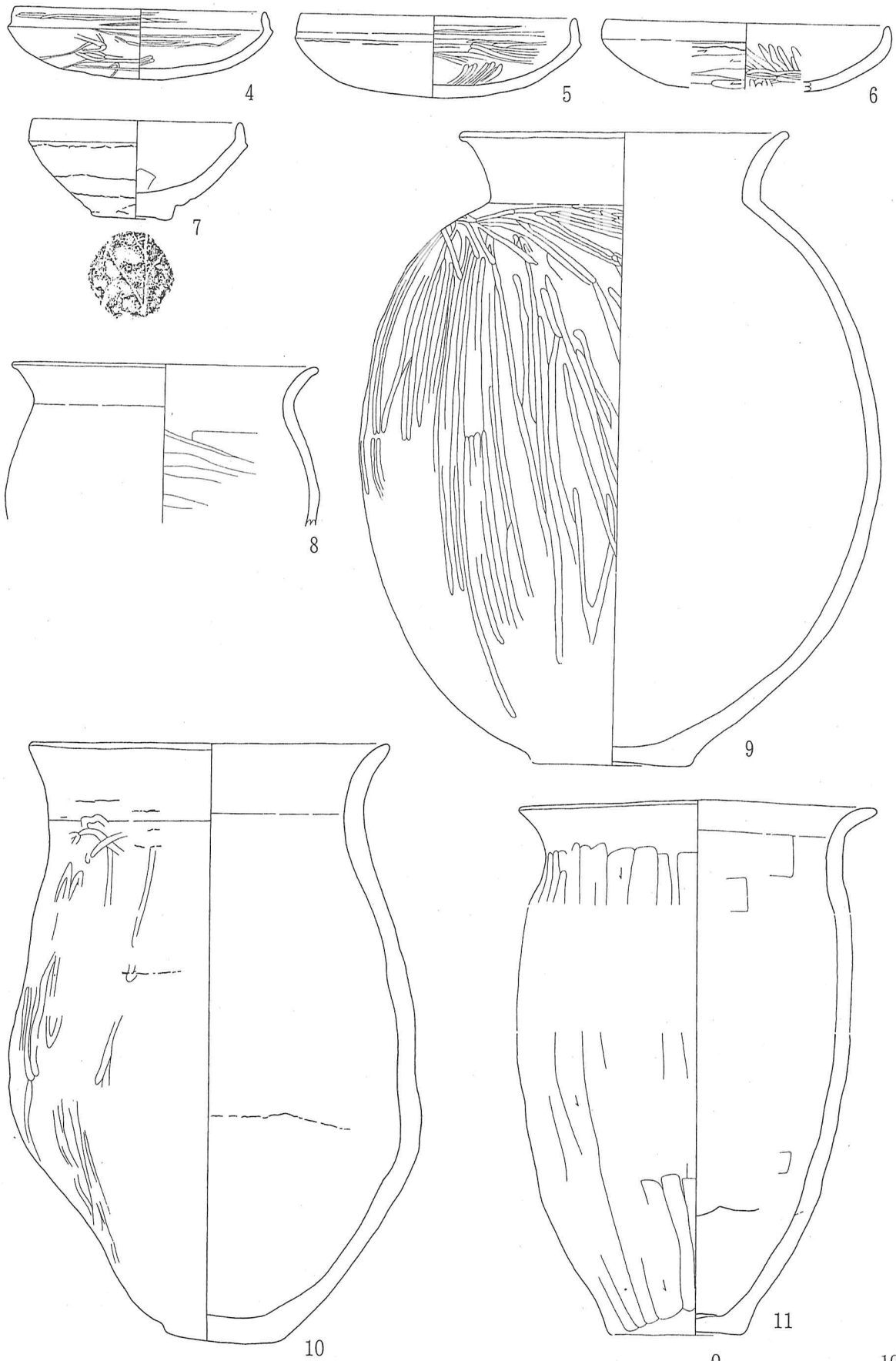
第114図 SI27平・断・遺物平面図

SI27

- | | | | |
|---------|---|------------|--------------------|
| 1 褐色土 | LR少量、小LB・小IPB微量、小SPB極微量、
焼土B(焼粘土)・CR微量混入 | 7 暗黄褐色土 | LR多量、微小IPB微量 |
| 2 明褐色土 | LR多量、LB少量、小IPB微量、小SPB・
焼土(焼粘土)極微量、CR微量混入 | 8 暗淡黄褐色土 | LR多量、微小IPB・小IPB微量 |
| 3 暗褐色土 | LR少量、微小IPB微量、小IPB少量、粘土R微量 | 9 暗褐色土II | LR微量、小IPB少量、小SPB微量 |
| 4 暗淡褐色土 | LR少量、微小IPB・小IPB微量、粘土R少量 | 10 暗淡褐色土II | LRやや多量、小IPB微量 |
| 5 灰白褐色土 | LR・微小IPB微量、粘土R多量 | 11 黄褐色土 | L主体、微小IPB・小IPB微量 |
| 6 明淡褐色土 | LR多量、微小IPB・小IPB少量、小SPB微量 | 12 明黄褐色土 | L主体、小IPB微量 |



第115図 SI27出土遺物実測図(1)



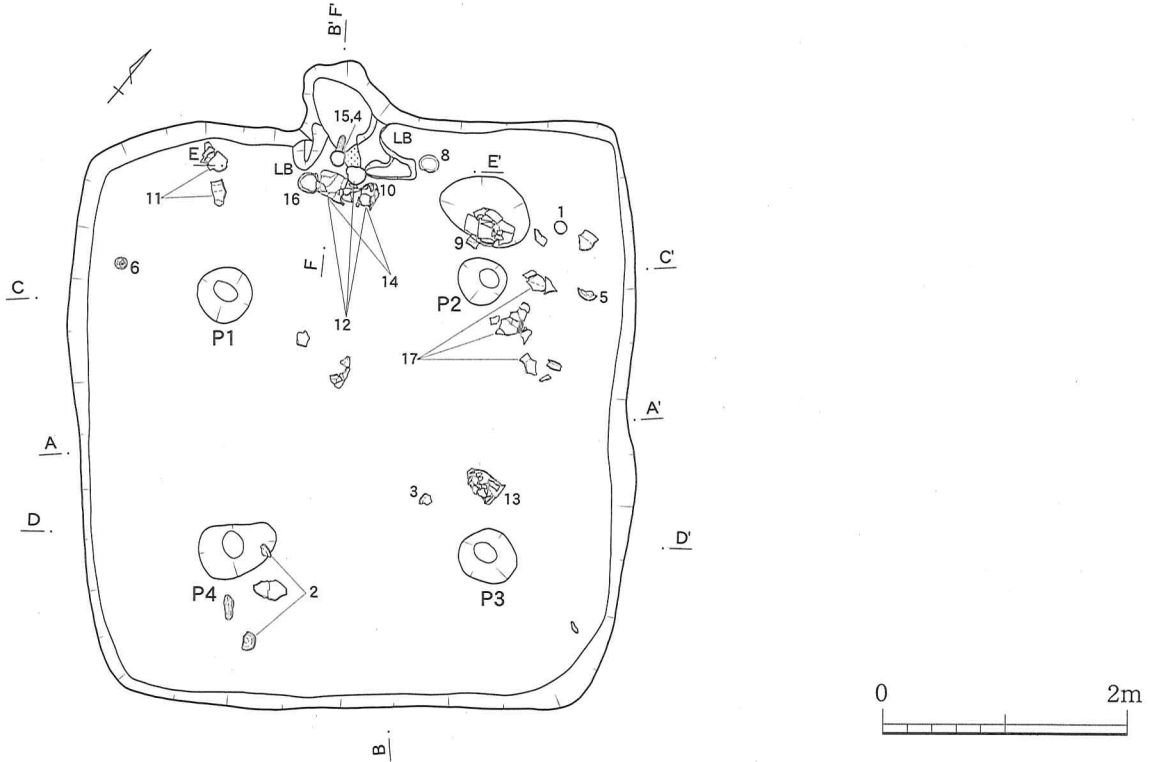
第116图 SI27出土遺物実測図(2)

第57表 SI27土器観察表

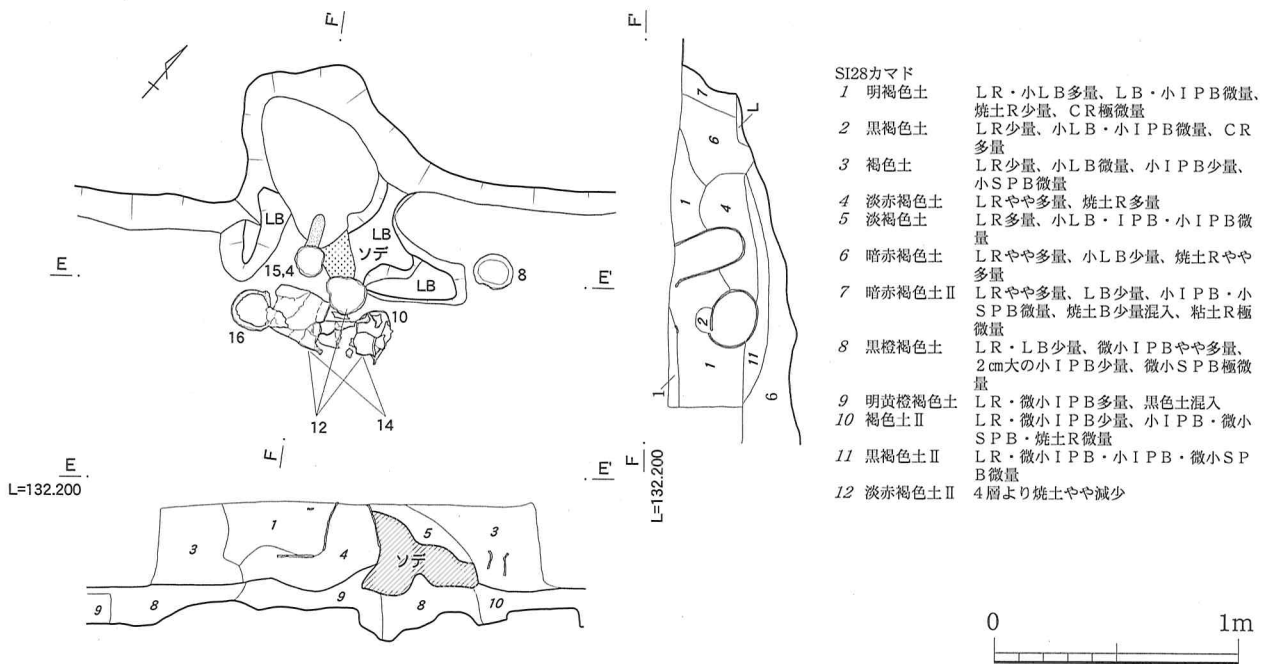
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 13.2 器高 4.6	A 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部から体部内面横ナデ後口縁部外面下端に4 ⁵ 幅の工具による強いヘラナデ。	9/10	床直No.5	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に4 ⁵ 幅の工具による強い横ナデ。	1/8	床直No.3	
3	土師器 坏	口径 (15.1) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	9/10	埋土	漆仕上げ 底部外面剥離
4	土師器 坏	口径 13.4 器高 3.8	A 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後口縁部から体部内面にかけて横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.1	輪積痕 漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 14.8 器高 4.4	A 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	内:乳白色 外:褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後口縁部から体部内面にかけて横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	9/10	床直No.2	輪積痕 漆仕上げ 剥離、摩耗が激しい。
6	土師器 坏	口径 (15.4) 器高 (3.6)	A 白色砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	1/5	床直No.3	輪積痕 黒斑
7	土師器 坏	口径 11.0 底径 4.3 器高 5.3	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	その他：口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	ほぼ完形	床直No.4	輪積痕 木葉痕 漆仕上げ 指押さえ
8	土師器 小型甕	口径 (16.0) 器高 (8.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	A：口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4~胴部上半一部	埋土	剥離が激しい。
9	土師器 甕	口径 17.4 底径 (8.6) 器高 34.1	A 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	A：口縁部は外傾し、胴部は中位に最大径を持つ球形で、底部は平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面縦方向のヘラ磨き後上半に斜め方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.4,8,9,10,11	輪積痕 内外面煤付着 別作り
10	土師器 甕	口径 18.8 底径 6.0 器高 32.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 半透明砂粒。2~5 ⁵ 大粗粒を含む。 焼成良好	乳白色	C1：口縁部は緩やかに外傾し、胴部は中位に最大径を有し、小さくすぼまっていく。	胴部内面ヘラナデ後下半ヘラ磨き、胴部外面ヘラナデ後下半ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	床直No.3,4,6,10,11,12	輪積痕 内外面煤付着 粘土付着 別作り 歪み有り。剥離が激しい。
11	土師器 甕	口径 19.0 底径 (7.3) 器高 28.7	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 半透明砂粒。2~4 ⁵ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外傾し、胴部は長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	床直No.5	輪積痕 粘土煤付着 別作り

SI28

位置 ウ5F2杭付近。規模 東西4.5m×南北4.8m。主軸方向 N-42°-W 床面 概ね平坦。壁 開きながら立ち上がる。床下土坑 1基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏5, 高坏1, 鉢1, 甕9, 甑1である。



第117図 SI28遺物平面図



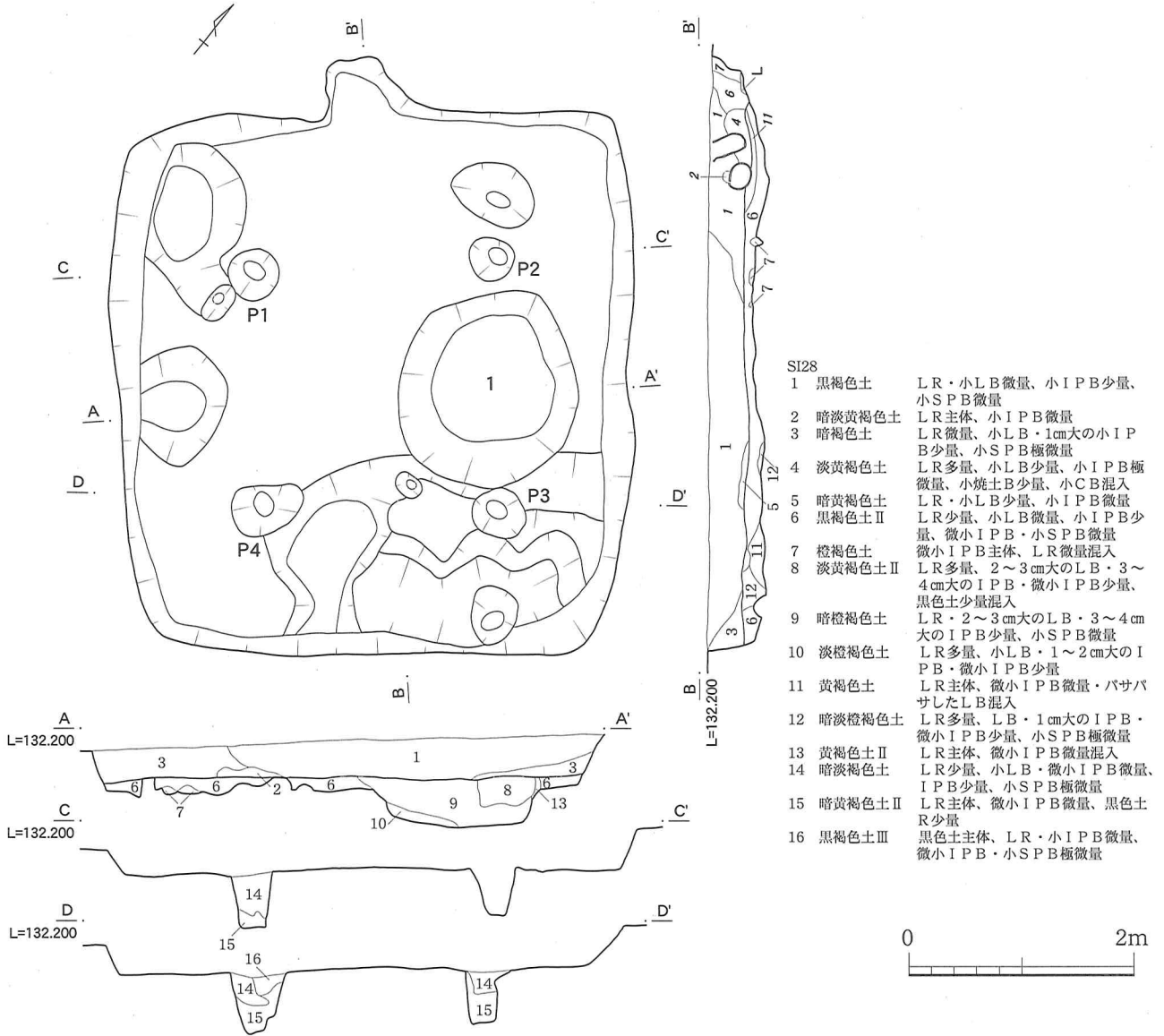
SI28カマド

- | | |
|------------|--|
| 1 明褐色土 | LR・小LB多量、LB・小IPB微量、
焼土R少量、CR極微量 |
| 2 黒褐色土 | LR少量、小LB・小IPB微量、CR
多量 |
| 3 褐色土 | LRやや多量、小LB微量、小IPB少量、
小SPB微量 |
| 4 淡赤褐色土 | LRやや多量、焼土R多量 |
| 5 淡褐色土 | LR多量、小LB・IPB・小IPB微
量 |
| 6 暗赤褐色土 | LRやや多量、小LB少量、焼土Rやや
多量 |
| 7 暗赤褐色土II | LRやや多量、LB少量、小IPB・小
SPB微量、焼土B少量混入、粘土R極
微量 |
| 8 黒橙褐色土 | LR・LB少量、微小IPBやや多量、
2cm大の小IPB少量、微小SPB極微
量 |
| 9 明黄橙褐色土 | LR・微小IPB多量、黒色土混入 |
| 10 褐色土II | LR・微小IPB少量、小IPB・微小
SPB・焼土R微量 |
| 11 黒褐色土II | LR・微小IPB・小IPB・微小SP
B微量 |
| 12 淡赤褐色土II | 4層より焼土やや減少 |

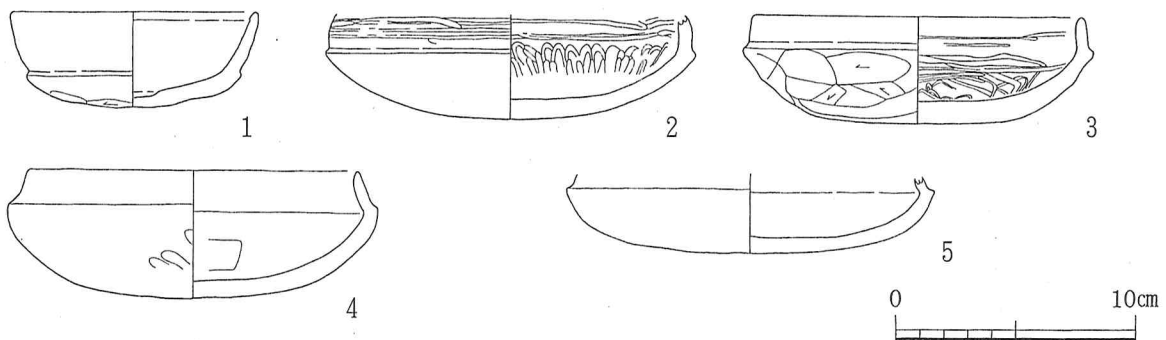
第118図 SI28カマド平・断・遺物平面図

第58表 SI28床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.79	1.68	0.44	円形	ほぼ平坦	オーバーハング やや開きながら立ち上がる	



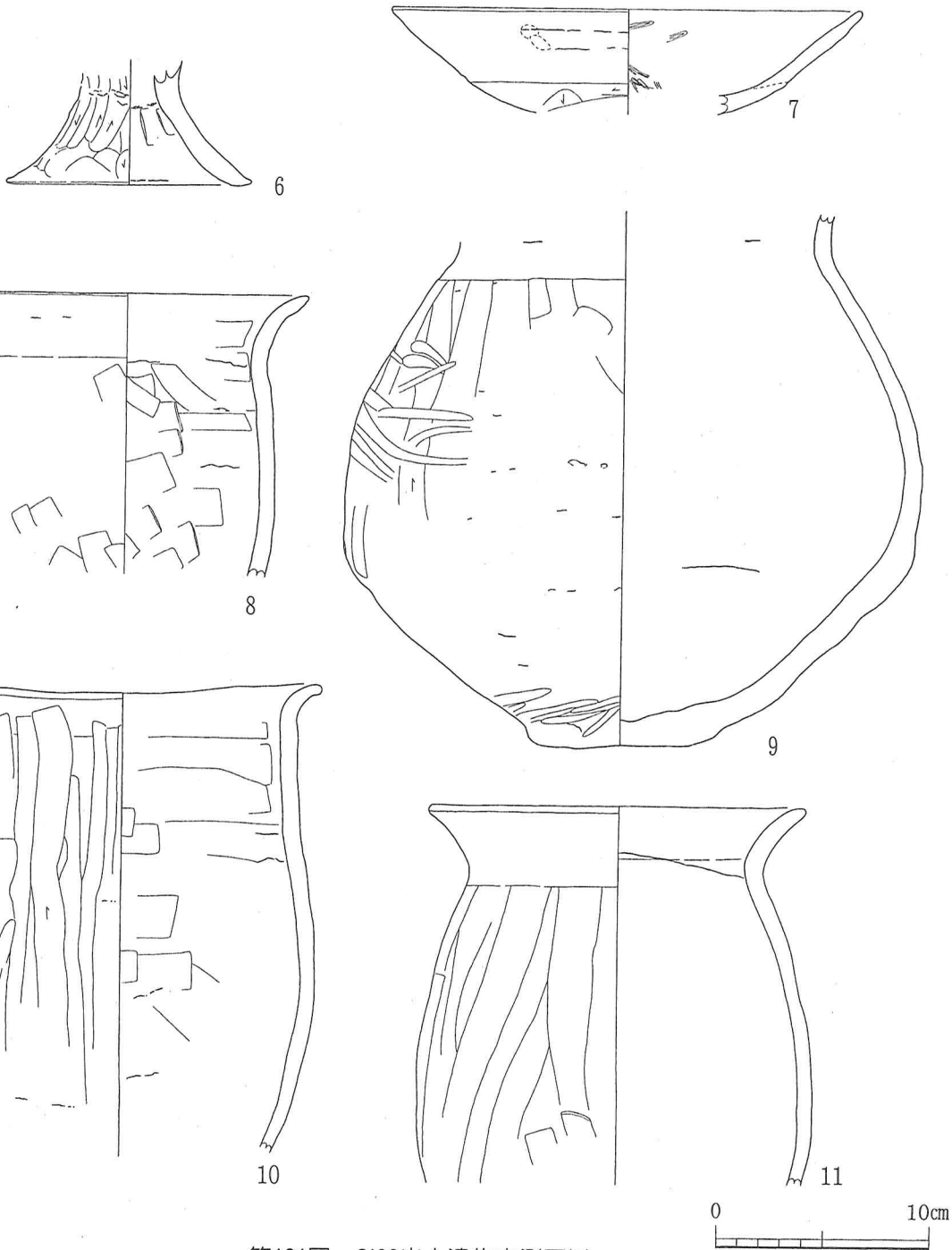
第119図 SI28平・断面図



第120図 SI28出土遺物実測図(1)

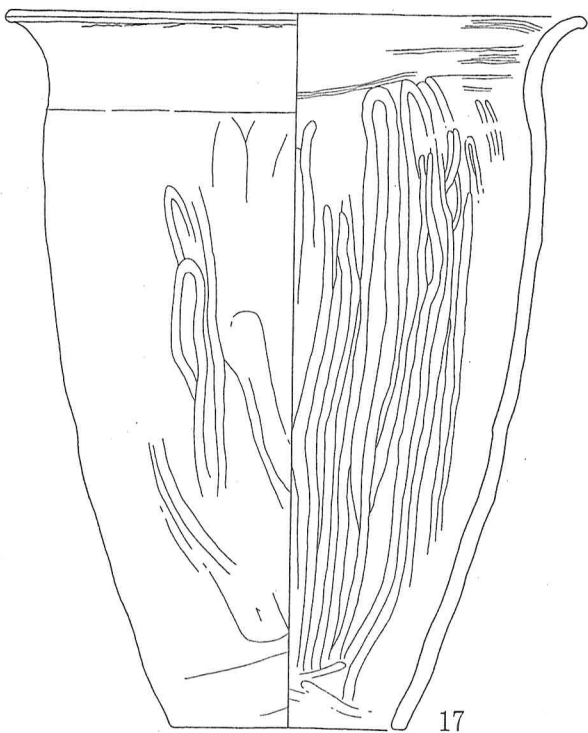
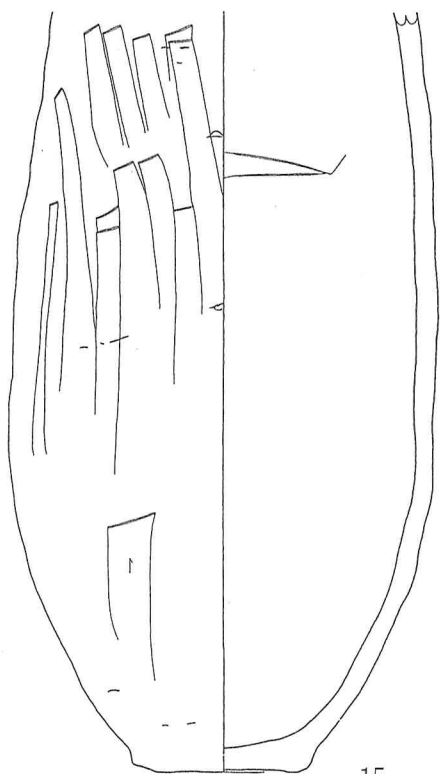
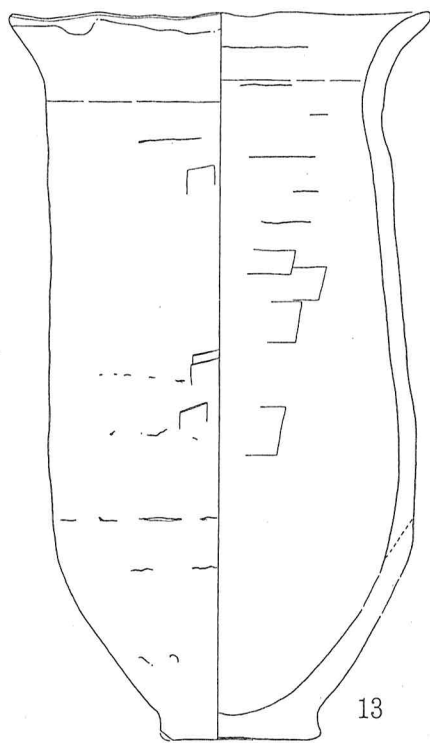
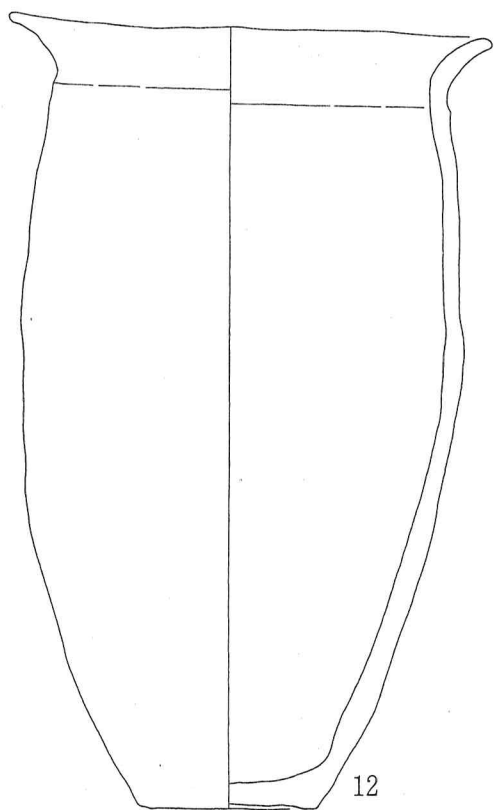
第59表 SI28土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 10.0 器高 4.0	A 赤色細砂粒 (鉄粒)。 焼成良好	淡褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、中央に窪み、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に4 ⁵ 幅の工具による強いヘラナデ。	ほぼ完形	床直No.2	
2	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 (4.3)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.19 竈	漆仕上げ 外面の剥離が激しい。
3	土師器 坏	口径 13.8 器高 4.4	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	橙褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面に横方向のヘラ磨き、外面下端に4 ⁵ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/2	床直No.12	

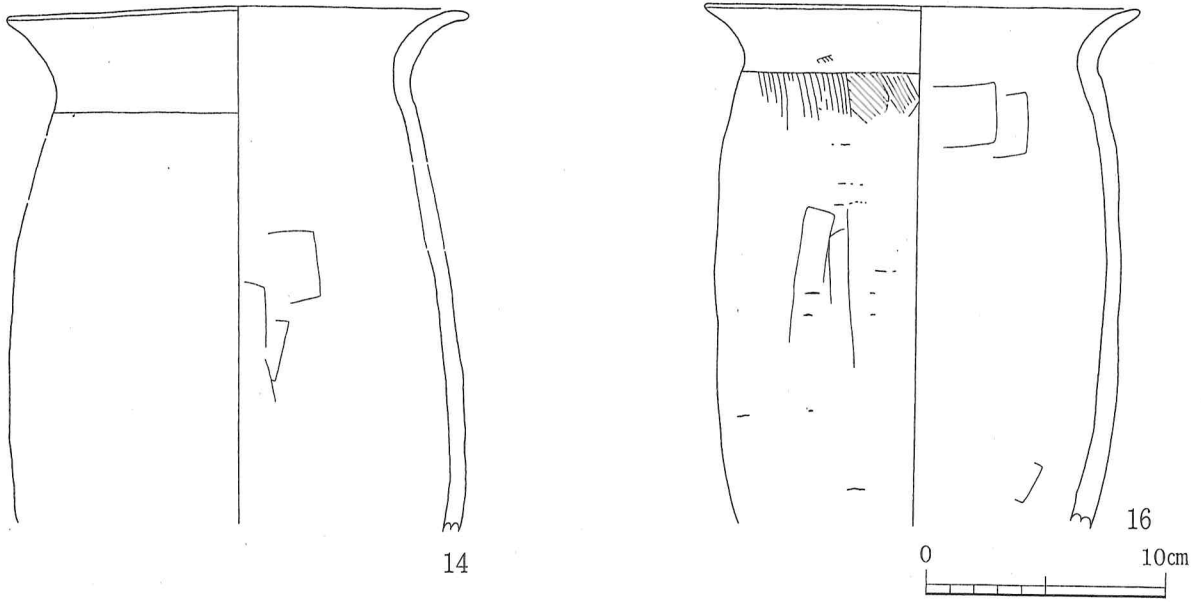


第121図 SI28出土遺物実測図(2)

4	土師器 坏	口径 器高	13.5 5.3	A 白色細砂粒 黑色砂粒。 焼成良好	暗褐色	D:口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、粗い一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.2	内面剥離 火を受けている。
5	土師器 坏	口径 器高	(14.0) (3.2)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。赤色粗砂粒(鉄粒) 白色砂粒を含む。 焼成良好	内:暗褐色 外:灰褐色	D:口縁部は内傾し、器高は浅い。体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	9/10	床直No.4	漆仕上げ 内面剥離 外面摩擦が激しい。
6	土師器 高坏	裾径 器高	11.2 (5.7)	A 黑色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	A2:脚部は「ハ」の字状に開く。	脚部内面ヘラナデ、脚部外面ヘラ削り後下半にナデ。	脚部	床直No.17	輪積痕
7	土師器 鉢	口径 器高	(21.8) (4.9)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	C:口縁部は大きく外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面に横方向のヘラ磨き、外面輪積痕上に指押さえ、外面下端に3 ^号 幅の工具による強いヘラナデ。	1/4	竈	輪積痕 内面黒色処理 粘土付着
8	土師器 小型甕	口径 器高	16.4 (13.1)	A 黑色細砂粒 白色細砂粒。金雲母 赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	乳白色	D:口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.1	輪積痕 内外面煤付着 粘土付着
9	土師器 甕	底径 器高	7.0 (24.9)	A 黑色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	A:口縁部は緩やかに外湾し、胴部は中位に最大径を持ち、小さくすぼまる。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、一部ヘラナデ後不定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.6	輪積痕 葉脈庄痕 内面剥離 内外面煤付着 別作り
10	土師器 甕	口径 器高	17.8 (21.6)	A 黑色砂粒 白色砂粒。2~3 ^号 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部は中位でやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	竈No.7	輪積痕 内面剥離 煤付着 別作り
11	土師器 甕	口径 器高	(17.2) (17.5)	A 黑色細砂粒 白色砂粒。2~4 ^号 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1:口縁部は外傾し、胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/2	床直No.15,16	輪積痕 煤付着
12	土師器 甕	口径 底径 器高	19.7 7.3 32.9	A 黑色細砂粒 白色細砂粒。赤色粗粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	橙褐色	C2:口縁部は外傾し、頸部外面下端に稜を有する。長胴。凹底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.3,4,5	輪積痕 内外面煤付着 粘土付着 外面剥離
13	土師器 甕	口径 底径 器高	17.5 (6.7) 30.2	A 黑色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外傾し、胴部は長胴で、下半に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	9/10	床直No.11	輪積痕 粘土付着 別作り 剥離が激しい。歪み有り。
14	土師器 甕	口径 器高	(18.2) (21.6)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D:口縁部は外湾し、胴部は長胴のみ。	胴部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	2/3	竈No.4,5	内外面煤付着 歪み有り。
15	土師器 甕	底径 器高	7.0 (31.5)	A 黑色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D:胴部は長胴で下半に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、一部ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.2	内面乳白色の付着物 内面剥離 内外面煤付着 別作り
16	土師器 甕	口径 器高	17.6 (21.5)	A 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	D:口縁部は外傾し、胴部は長胴のみ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位ハケメ後ヘラ磨き、中位から下位にヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部外面にハケメ後横ナデ。	2/3	竈No.6	輪積痕 粘土付着 内外面煤付着 剥離が激しい。
17	土師器 甕	口径 底径 器高	23.8 (9.7) 29.6	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。赤色粗粒(鉄粒) 2~5 ^号 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	C:口縁部は外湾し、胴部は張らずにすぼまる。	胴部内面ヘラ磨き、胴部外面上位から中位にヘラナデ後縦方向のヘラ磨き、下位にヘラ削り後横方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面に横方向のヘラ磨き。	2/3	床直No.5,7,9	筒抜け 輪積痕 内外面煤付着



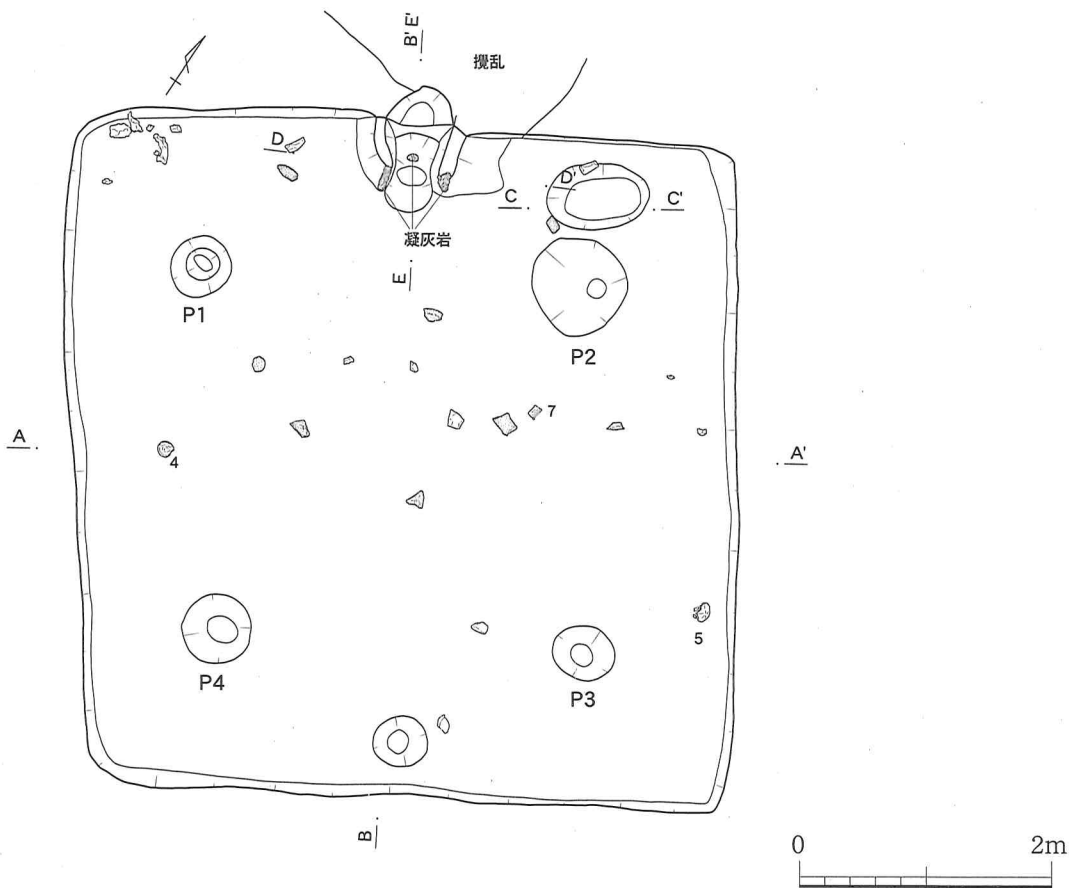
第122図 SI28出土遺物実測図(3)



第123図 SI28出土遺物実測図(4)

SI29

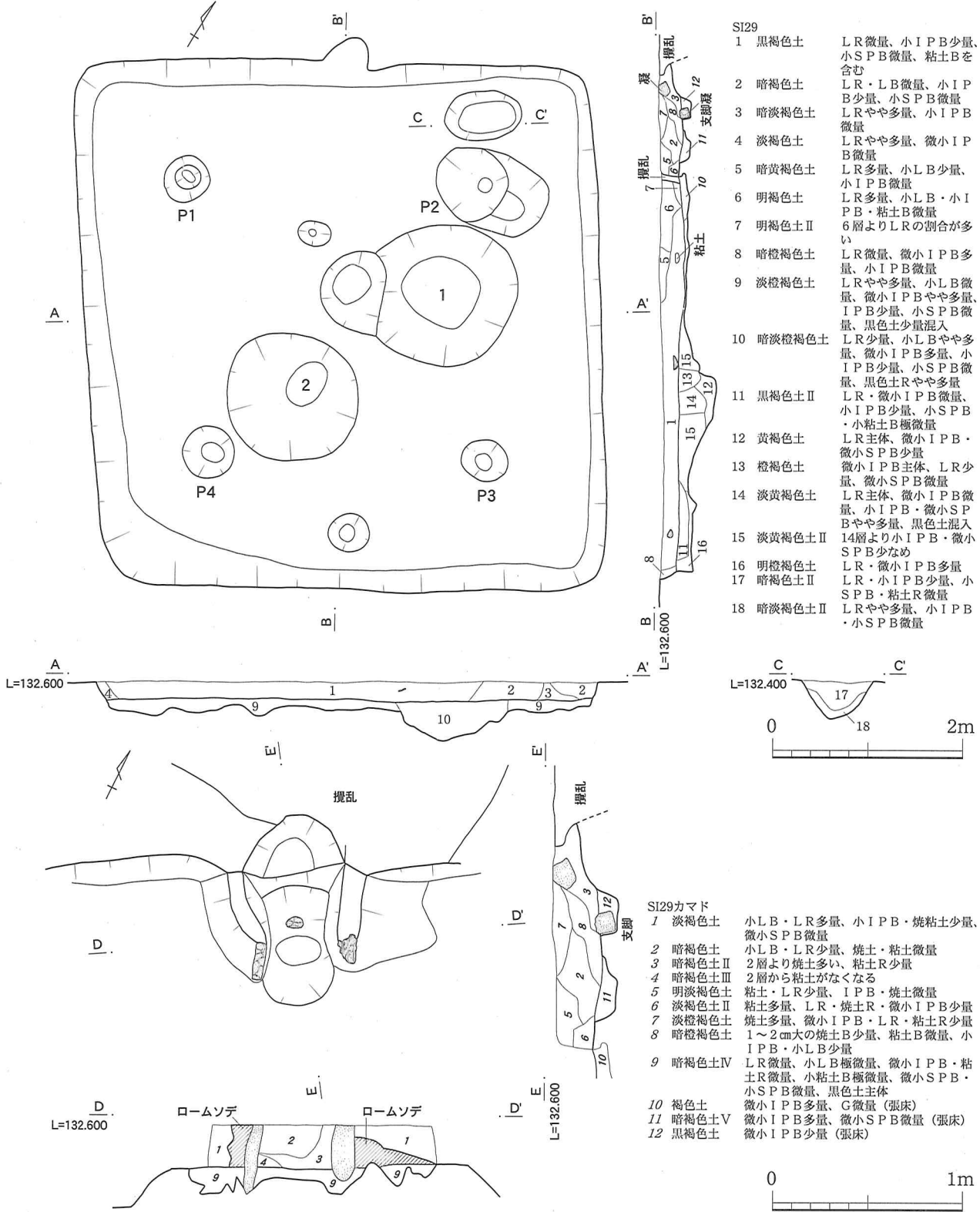
位置 ウ6F0杭付近。規模 東西5.3m×南北5.4m。主軸方向 N-33°-W 床面 概ね平坦。壁 開きながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁 遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 甕2である。



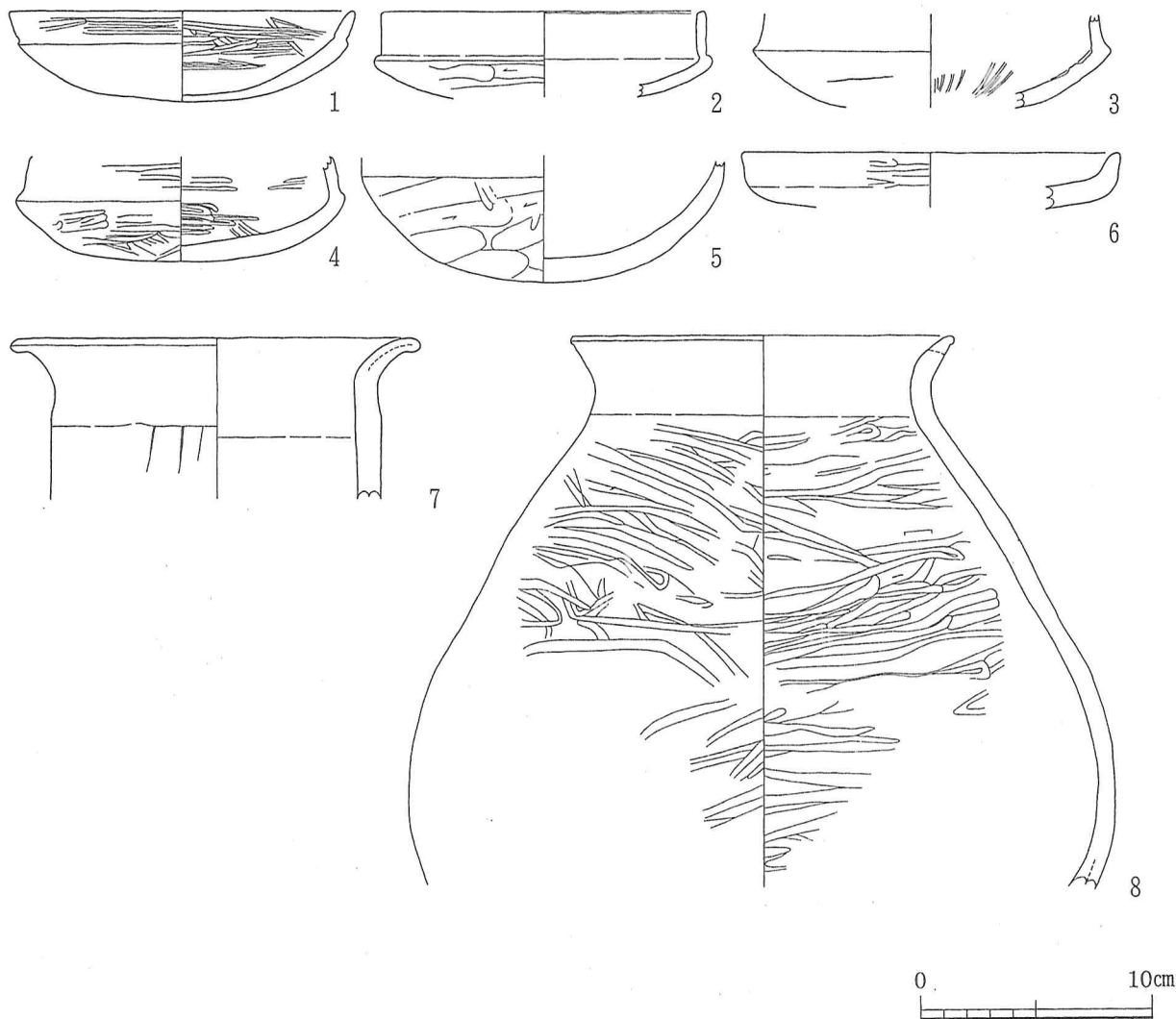
第124図 SI29遺物平面図

第60表 SI29床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.64	1.49	0.41	円形	丸底	大きく開きながら立ち上がる	
2	1.43	1.35		円形			



第125図 SI29平・断・カマド平・断面図



第126図 SI29出土遺物実測図

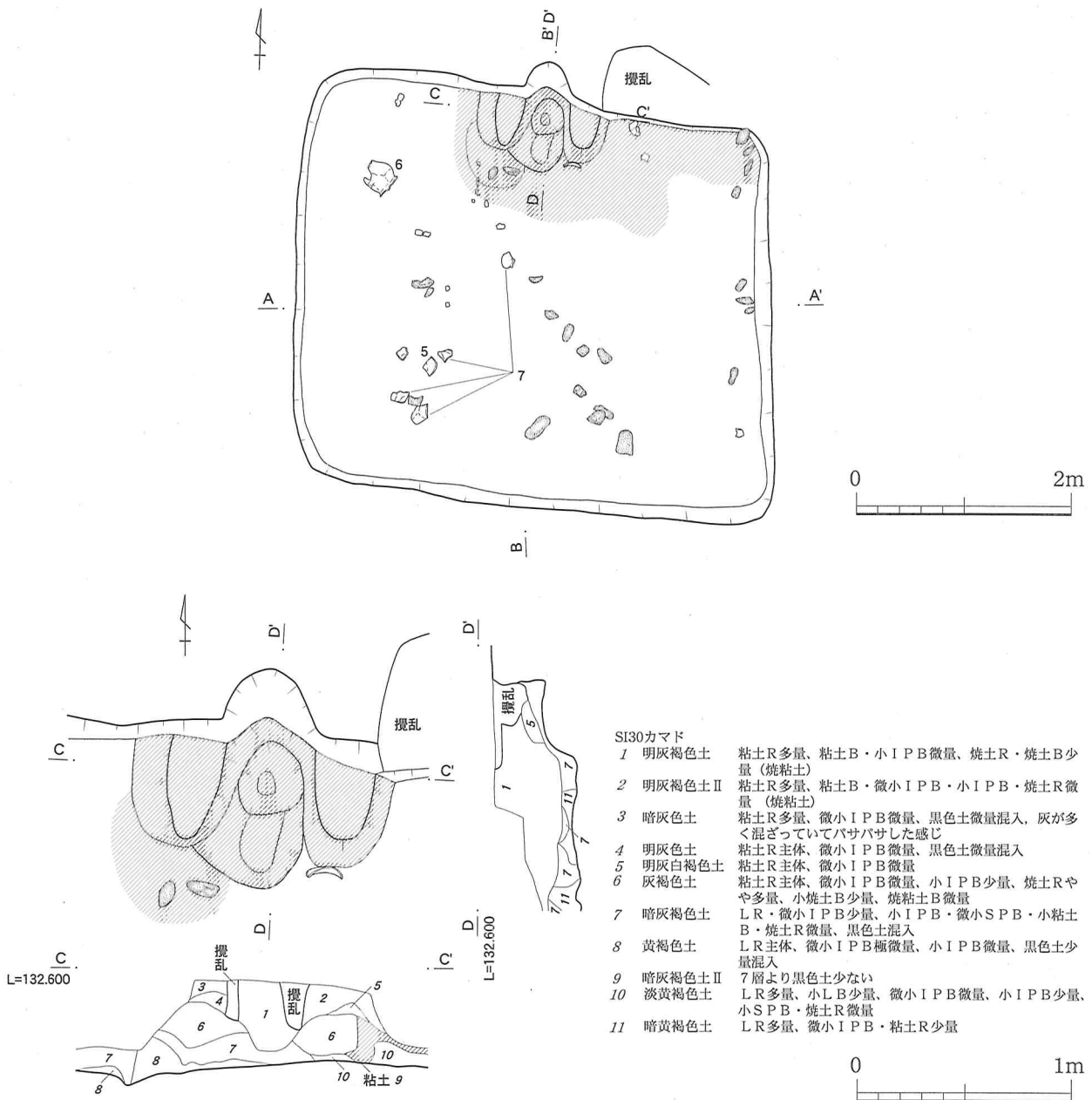
第61表 SI29土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 14.4 器高 3.9	A 黒色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	B：口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	4/5	埋土	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (13.8) 器高 (3.7)	A 黒色細砂粒。赤色砂粒（鉄粒）を含む。 焼成良好	淡褐色	C：口縁部は直立し、端部で面取りされる。体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面下端に2 ^番 幅の工具による強いヘラナデ。	1/8	埋土	
3	土師器 杯	口径 (14.4) 器高 (4.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/3	埋土	輪積痕 漆仕上げ剥離、摩耗が激しい。
4	土師器 杯	口径 (12.6) 器高 (4.5)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.4	漆仕上げ剥離、摩耗が激しい。
5	土師器 杯	口径 (15.6) 器高 (5.3)	A 白色細砂粒 赤色粗砂粒（鉄粒） 白色砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部から体部内面に横ナデ。	9/10	床直No.1	

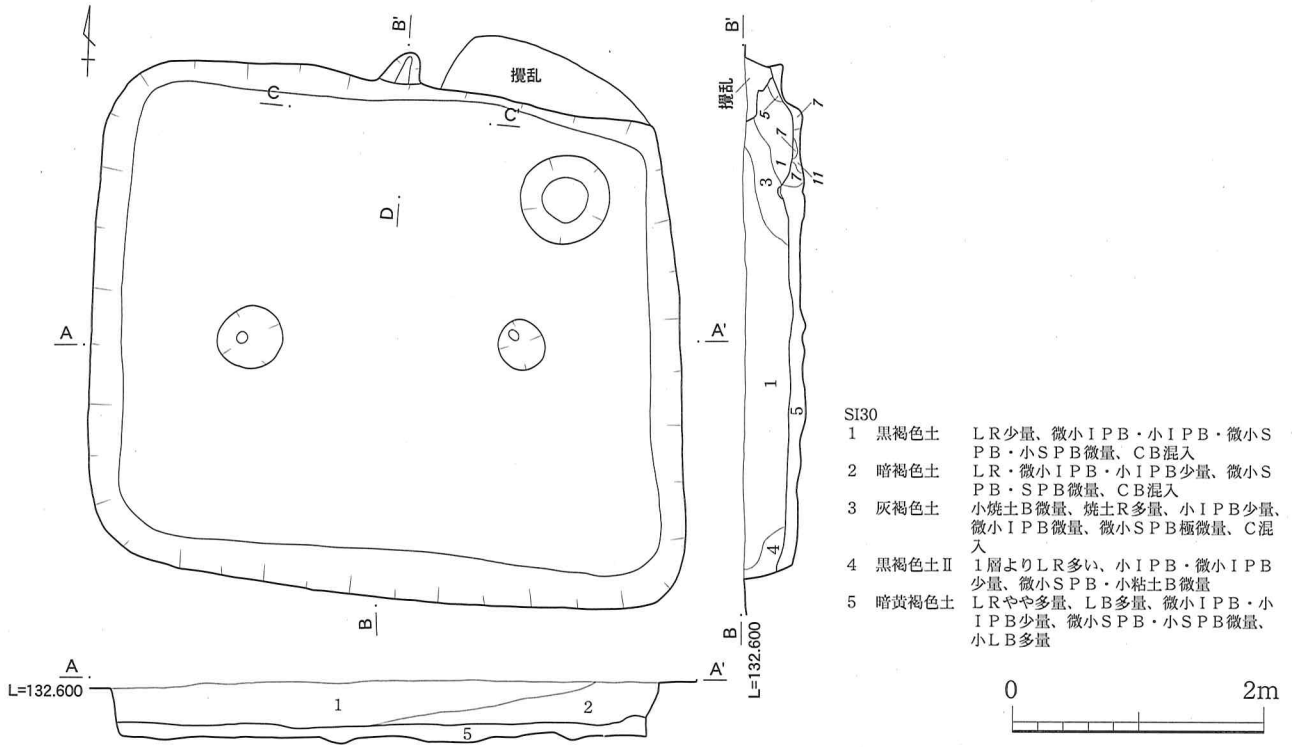
6	土師器 坏	口径 (16.2) 器高 (2.4)	A 混和材が少なく、 軽い。 焼成良好	淡褐色	その他：口縁部は 外傾し、体部外面 に弱い稜を有す る。	体部内面へラ磨き、体部外面 一定方向のへラ磨き、口縁部 横ナデ後横方向のへラ磨き。	1/15	埋土	漆仕上げ
7	土師器 小型甕	口径 (16.6) 器高 (6.9)	A 白色砂粒 黒色細 砂粒。半透明砂粒を 含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外傾 する。	胴部内面へラナデ、胴部外面 ナデ、口縁部横ナデ。	口縁部 の1/6	床直No.3	輪積痕 内外 面煤付着
8	土師器 甕	口径 (16.4) 器高 (23.6)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。赤色粗砂粒 (鉄粒) 2~4mm大粗 粒を含む。 焼成良好	褐色	A：口縁部は外傾 し、胴部は大きく 張る。	胴部内面へラナデ、一部へラ 削り後へラ磨き、胴部外面上 半へラナデ後斜め方向のへラ 磨き、下半へラ削り後横方向 のへラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	埋土	輪積痕 内外 面煤付着

SI30

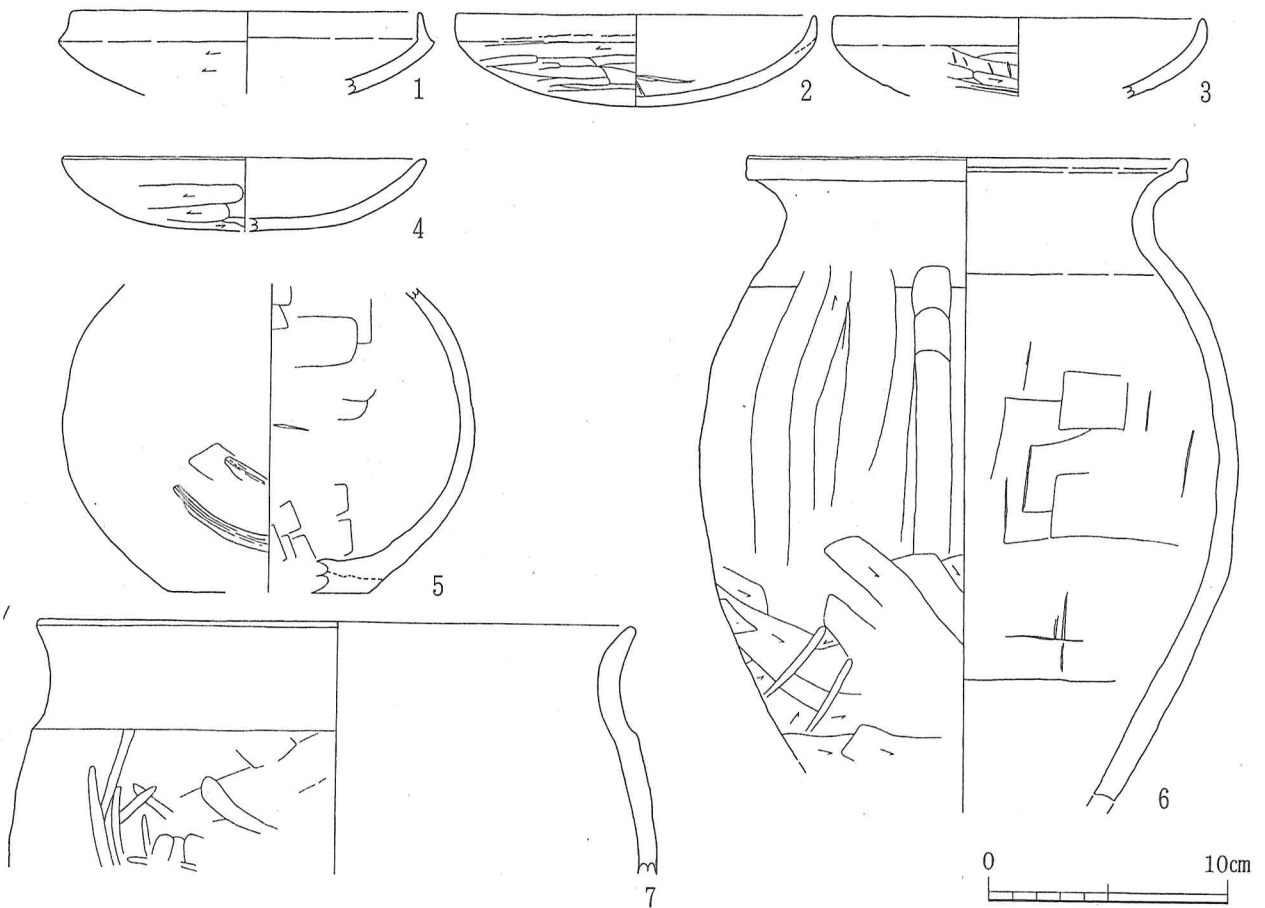
位置 ウ7F1杭付近。規模 東西4.4m×南北3.7m。主軸方向 N-6°-E 床面 概ね平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 2カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4、鉢1、甕2である。



第127図 SI30遺物平・カマド平・断・遺物平面図



第128図 SI30平・断面図



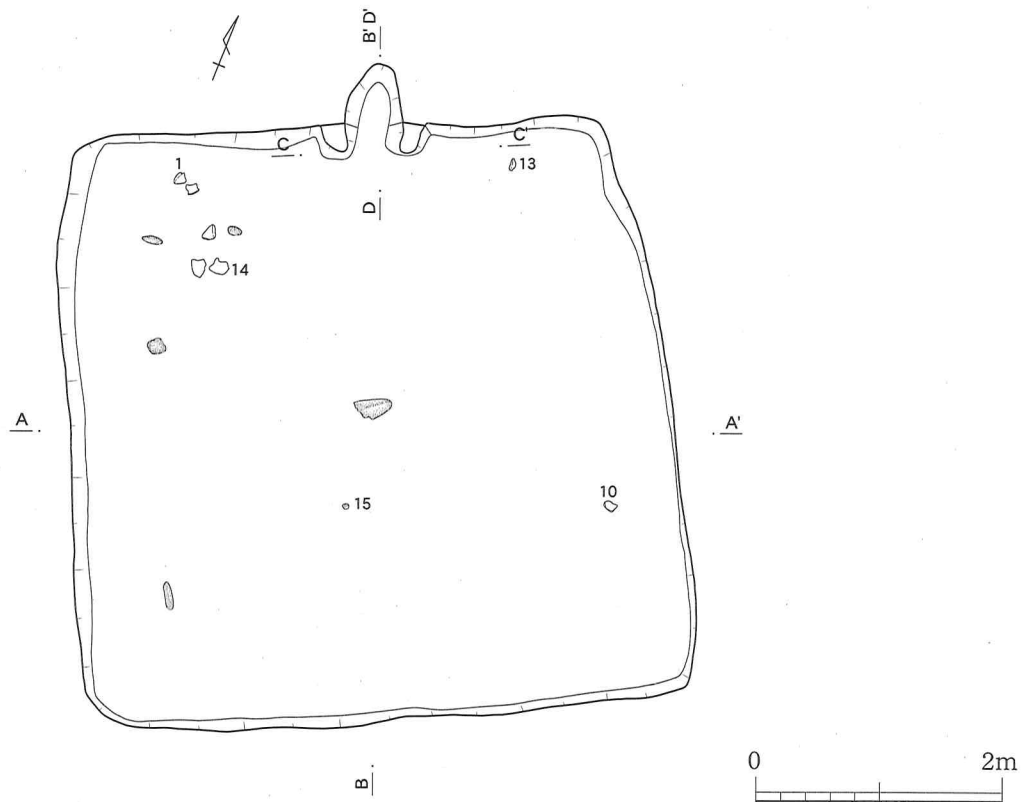
第129図SI30出土遺物実測図(1)

第62表 SI30土器観察表

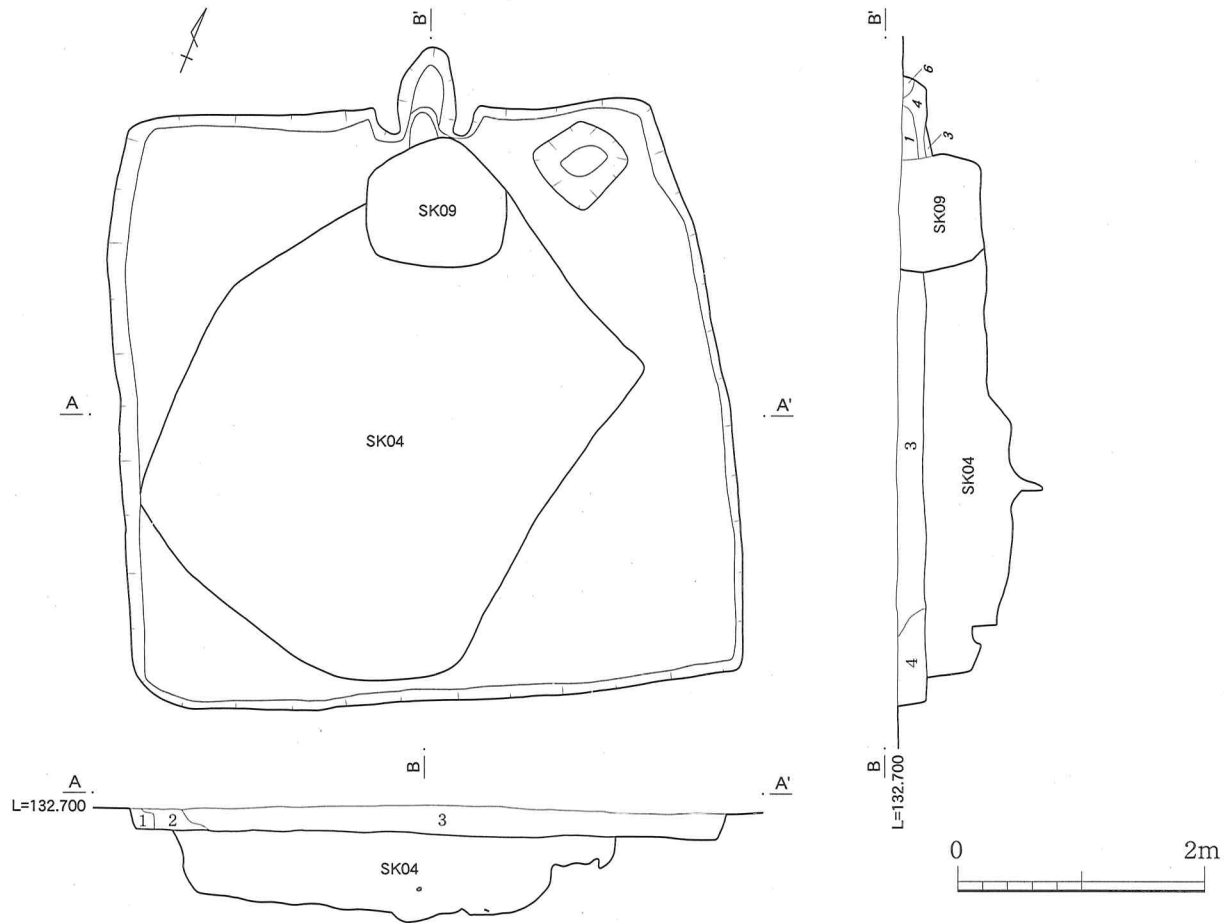
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (14.2) 器高 (3.4)	A 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ後放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/5	埋土	漆仕上げ 口縁端部摩耗
2	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 3.8	A 混和材が少ない。 焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面に横ナデ、体部内面ヘラナデ後粗い不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (15.4) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E：口縁部は短く立ち、体部外面に弱い稜を有する。	体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/12	埋土	漆仕上げ
4	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 透明細砂粒。赤色細砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	淡褐色	H：口縁部は外傾する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/6	床直	漆仕上げ
5	土師器 鉢	口径 (8.4) 器高 (12.7)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 半透明砂粒。 焼成良好	淡褐色	D1：胴部は球形で、底部は平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面上半ヘラナデ、下半強いヘラナデ。	1/3	床直No.3	内外面煤付着 内面剥離 葉脈圧痕
6	土師器 甕	口径 17.9 器高 (26.6)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。2~5 ^{mm} 大粗粒を含む。 焼成良好	暗褐色	C1：口縁部は外傾し、端部をつまみ上げる。胴部はやや張る。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面上半ヘラナデ、下半にヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.1	輪積痕 煤付着 粘土付着 別作り
7	土師器 甕	口径 24.6 器高 (10.2)	A 黒色砂粒 半透明砂粒。2~5 ^{mm} 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は緩やかに外湾し、頸部外面下端に稜を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ後ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	床直 No.4,5,6,7	輪積痕 内面剥離が激しい。

SI31

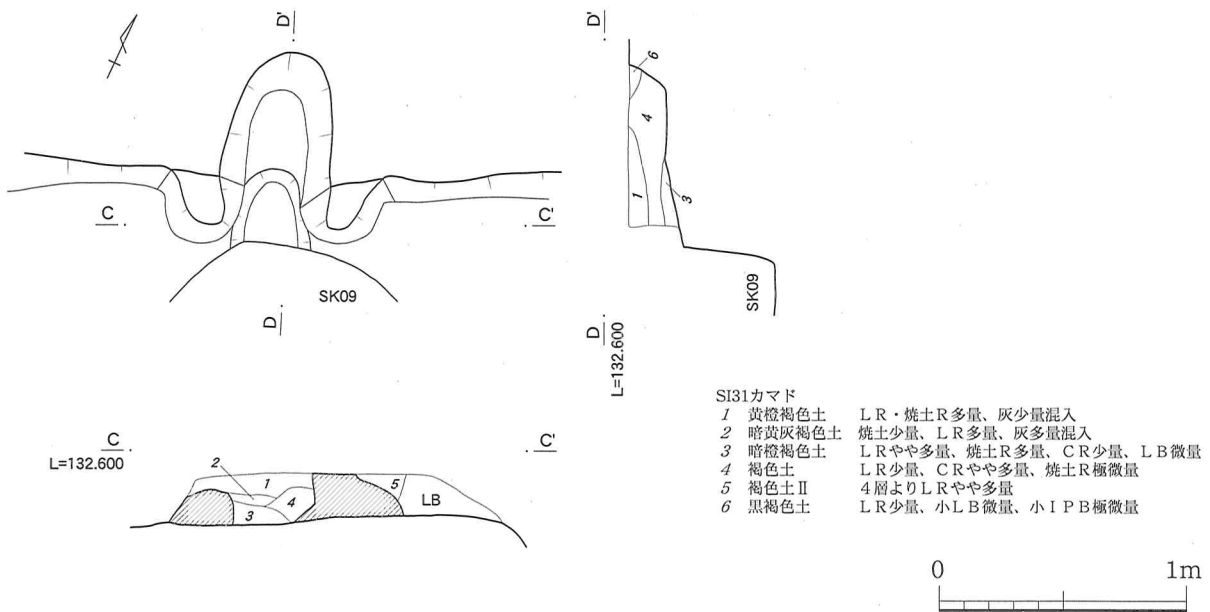
位置 ウ8F1杭付近。規模 東西4.9m×南北4.9m。主軸方向 N-24°-W 床面 平且 壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏9, 手捏土器1, 鉢1, 甕2, 甑1, ミニチュア土器1である。



第130図 SI31遺物平面図

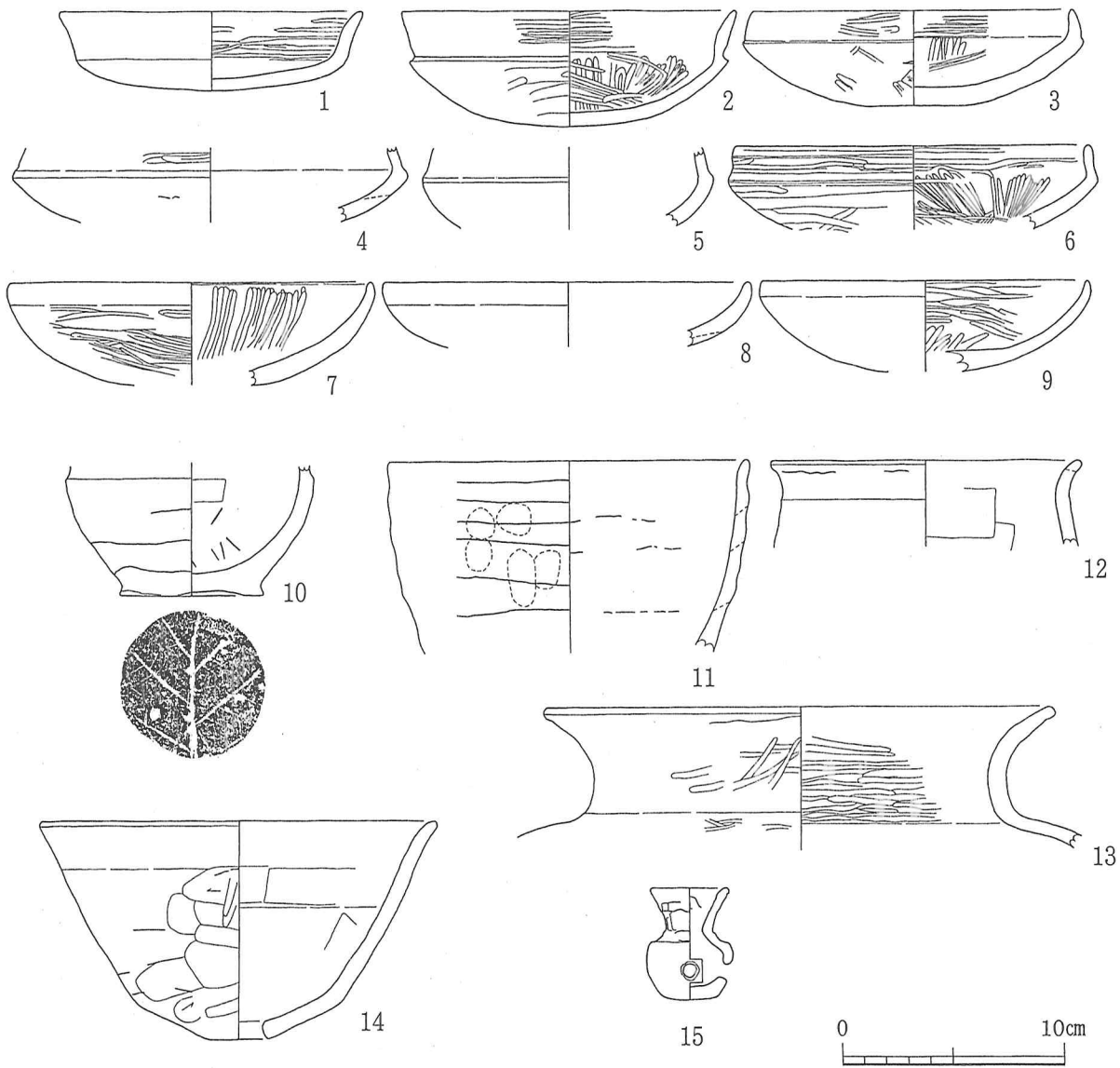


- SI31
- | | |
|---------|----------------------------|
| 1 黒褐色土 | 小IPB・小SPB微量、黒色土主体 |
| 2 淡黄褐色土 | LR多量、微小IPB・微小SPB微量 |
| 3 暗褐色土 | LR微量、小LB・微小IPB少量、微小SPB微量 |
| 4 暗黄褐色土 | LR多量、小IPB少量、IPB微量、微小SPB極微量 |



- SI31カマド
- | | |
|----------|------------------------|
| 1 黄橙褐色土 | LR・焼土R多量、灰少量混入 |
| 2 暗黄灰褐色土 | 焼土少量、LR多量、灰多量混入 |
| 3 暗橙褐色土 | LRやや多量、焼土R多量、CR少量、LB微量 |
| 4 褐色土 | LR少量、CRやや多量、焼土R極微量 |
| 5 褐色土II | 4層よりLRやや多量 |
| 6 黒褐色土 | LR少量、小LB微量、小IPB極微量 |

第131図 SI31平・断・カマド平・断面図



第132図 SI31出土遺物実測図

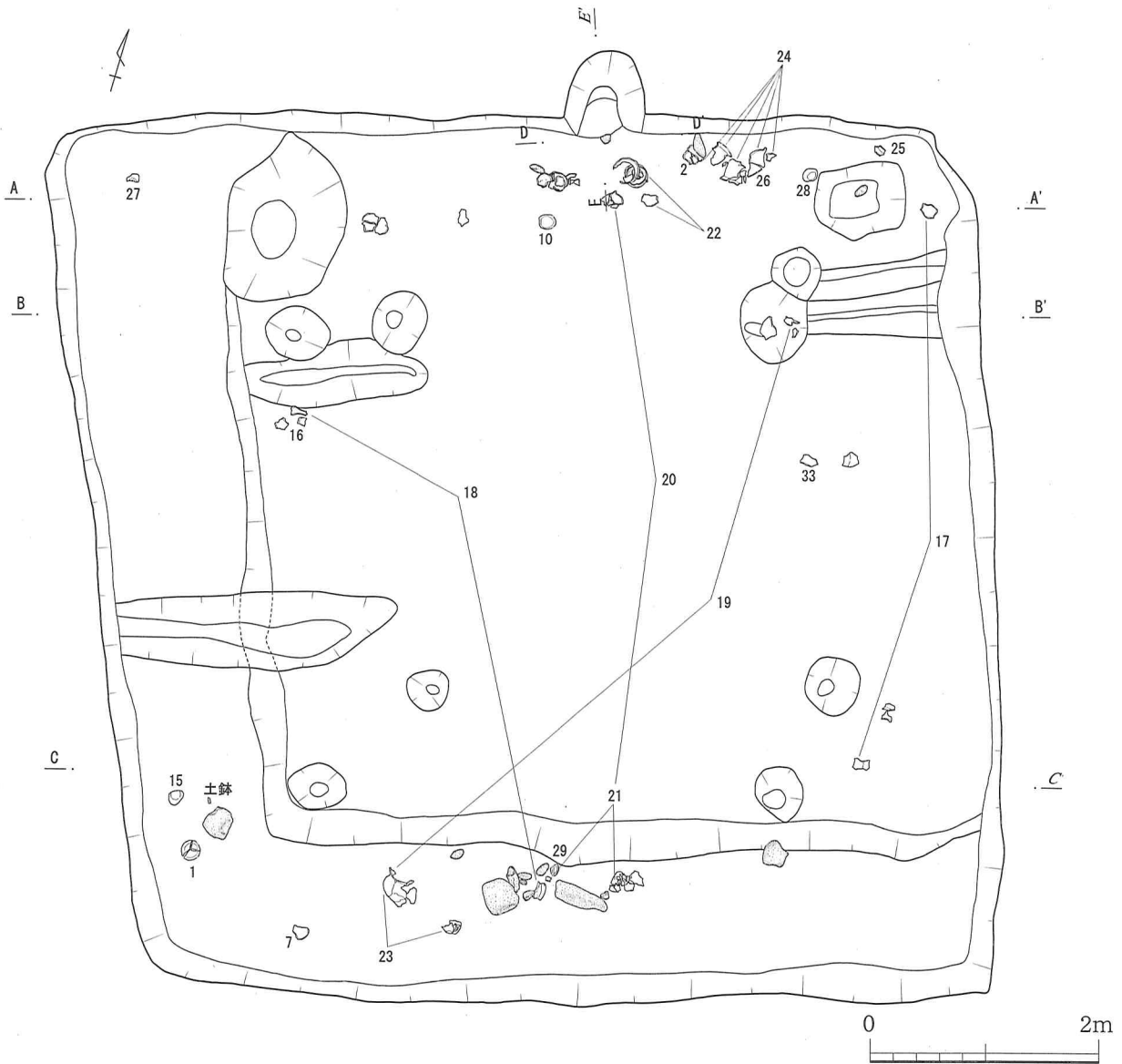
第63表 SI31土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.2) 器高 3.5	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は直立後外湾し、端部内面に弱い稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ、内面横方向のヘラ磨き、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、ヘラ磨き。	2/3	床直No.1	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 5.1	A 白色細砂粒 白色砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	B: 薄手。口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、外面下端に3cm幅の工具による強いヘラナデ、体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/4	埋土	内面黒色処理 黒斑
3	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 4.2	A 白色細砂粒 白色砂粒。黒色細砂粒 透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/5	埋土下層	輪積痕
4	土師器 坏	口径 (16.0) 器高 (3.3)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後外面下端に3cm幅の工具による強いヘラナデ、横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	輪積痕 漆仕上げ

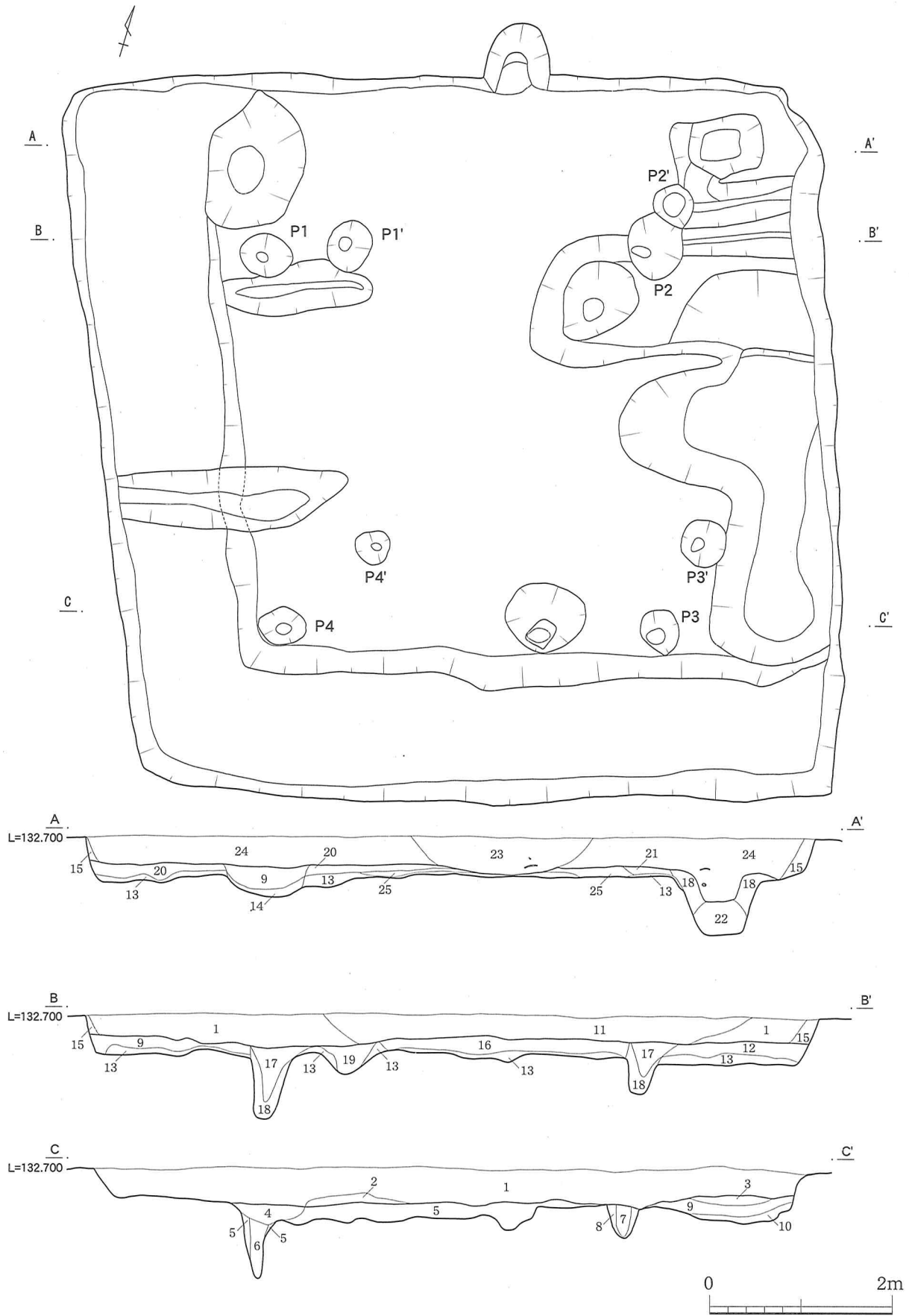
5	土師器 坏	口径 (12.0) 器高 (3.5)	A 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後外面下端に2 ₅ 幅の工具による強いヘラナデ、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/8	埋土下層	漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (15.9) 器高 (3.7)	A 半透明砂粒 赤色細砂粒 (鉄粒)。焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾後直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 (16.0) 器高 (4.6)	A 透明細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	内:乳白色 外:淡褐色	E: 口縁部は短く内湾し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き、口縁部外面横方向のヘラ磨き。	1/4	埋土下層	輪積痕 黒斑
8	土師器 坏	口径 (16.1) 器高 (2.9)	A 透明細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く内湾し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/6	埋土	輪積痕 黒斑
9	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 (4.1)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く内湾し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/3	埋土	漆仕上げ
10	土師器 手捏土器	底径 6.2 器高 (5.8)	A 白色細砂粒 白色砂粒。焼成良好	褐色	体部は内湾する。平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.7	輪積痕 指押さえ 木葉痕
11	土師器 鉢	口径 (16.0) 器高 (8.5)	A 黒色細砂粒。焼成良好	乳白色	B: 口縁部は外傾する。体部は丸みをもってすばまる。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ、口縁部横ナデ。	1/8	埋土	輪積痕 指押さえ
12	土師器 小型甕	口径 (13.8) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 透明細砂粒 赤色細砂粒 (二次)。焼成良好	橙褐色	C1: 口縁部は短く外湾し、端部外面に稜を有する。頸部外面下端に稜を有する。	胴部内外面ヘラナデ後口縁部横ナデ。	口縁部の3/4	埋土	輪積痕 黒斑 付着物
13	土師器 甕	口径 (22.6) 器高 (6.3)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色細砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	B: 口縁部は直立後大きく外傾し、端部は外面に巻き込むように仕上げる。	胴部内面ヘラナデ後粗い一定方向のヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、外面縦方向のヘラ磨き。	口縁部の1/4	床直No.8	黒斑
14	土師器 甕	口径 (17.4) 器高 9.7	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	褐色	A1: 口縁部は大きく外傾し、胴部は張らずにすばまる。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面横方向のヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ。	1/4	床直No.5	単孔 輪積痕 黒斑 面取り
15	土師器 ミニチュア土器	口径 (3.4) 器高 5.0	A 白色細砂粒。焼成良好	暗褐色	B: 口縁部は外傾し、体部は球形。体部中半に直径6 ₅ の円孔有り。	ナデ。	5/6	床直No.6	輪積痕 指押さえ

SI32

位置 ウ9F0杭付近。規模 東西7.8m×南北7.7m。主軸方向 N-17°-W 床面 凹凸がある。壁 ほぼ垂直に立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 4ヵ所+4ヵ所。貯蔵穴 1ヵ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏14, 埴1, 高坏1, 鉢1, 甕10, 須恵器坏1, 甕破片5, 甕口縁1, 提瓶破片1, 甕1, 土鍾1, 鉄製品刀子1である。備考 北壁, 東壁は拡張せず, 西壁1.4m, 南壁1.2mを広げている。



第133図 SI32遺物平面図

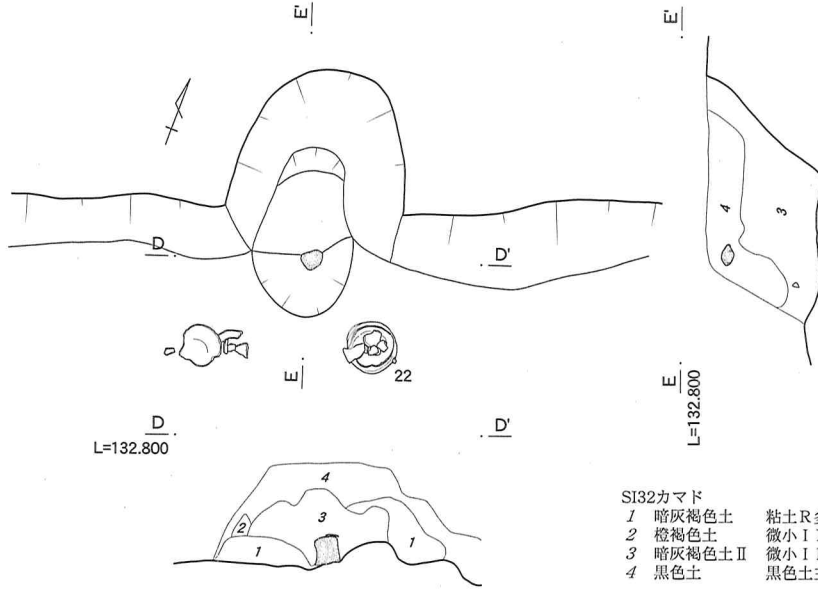


第134图 SI32平·断面图

SI32

- 1 褐色土 LR多量、微小IPB多量、微小SPB微量
- 2 暗黄褐色土 LB・LR多量、小IPB少量、微小IPB多量、微小SPB微量
- 3 暗黄褐色土II 2層よりIPBが多量
- 4 淡褐色土 LR・微小IPB少量
- 5 暗黄褐色土 LR多量、小IPB・微小IPB少量、黒色土少量混入
- 6 暗黄褐色土II LR・小IPB少量、微小IPB微量
- 7 暗黄褐色土III LR主体、小IPB極微量
- 8 淡黄褐色土 LR主体
- 9 黒褐色土 小LB少量、小IPB微量
- 10 暗黄褐色土 3cm大のLB・3cm大のIPB少量、小IPB微量、黒色土微量混入
- 11 暗褐色土 LR・小IPB少量、小SPB微量
- 12 暗黄褐色土 LR・小IPB少量、小SPB微量

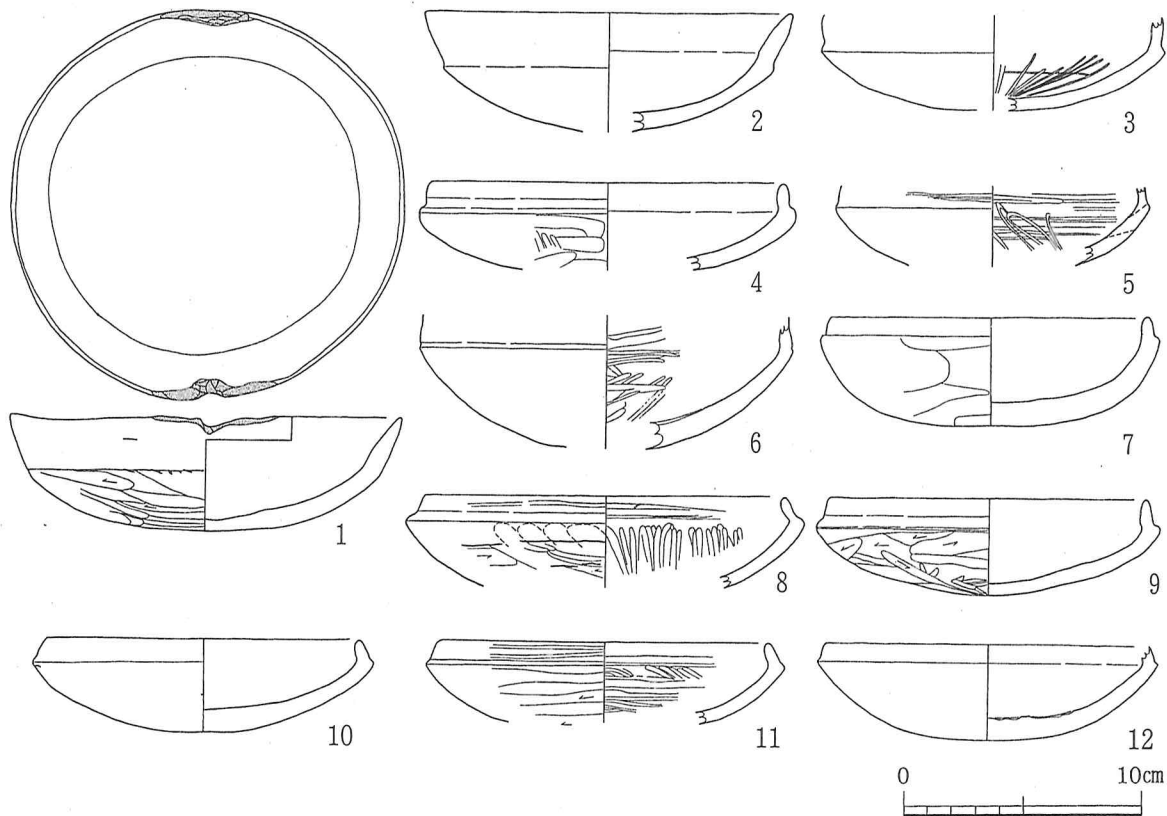
- 13 黄褐色土 LB主体、微小IPB少量、小IPB微量、微小SPB極微量
- 14 黒褐色土II 小IPB微量、小SPB極微量
- 15 暗黄褐色土 LR微量、小IPB少量、微小IPBやや多量
- 16 暗黄褐色土II LR少量、小IPB微量、粘土R少量、焼土R微量
- 17 暗黄褐色土III LR・小IPB少量、小SPB微量
- 18 暗黄褐色土IV LR多量、微小IPB微量
- 19 黒褐色土III 小LB微量、小IPB少量、小SPB・粘土R・CR極微量
- 20 明黄褐色土 LR多量、小IPB少量、微小IPB多量、小SPB微量
- 21 暗黄褐色土III LR主体、小IPB・小SPB微量
- 22 暗黄褐色土IV LR少量、小IPB・微小IPB・微小SPB微量
- 23 暗褐色土II 11層に粘土Rが少量混入
- 24 暗黄褐色土V LR微量、小IPBやや多量、小SPB・粘土R微量
- 25 明灰褐色土 LRやや多量、小IPB・小粘土B少量、粘土R多量、焼土R微量



SI32カマド

- 1 暗灰褐色土 粘土R多量、小粘土B微量、焼土R少量、微小IPB微量
- 2 橙褐色土 微小IPB多量、粘土B極微量、粘土R微量
- 3 暗灰褐色土II 微小IPB・小IPB微量、焼粘土R多量、粘土B極微量
- 4 黒色土 黒色土主体、微小IPB微量、粘土R・焼土R少量

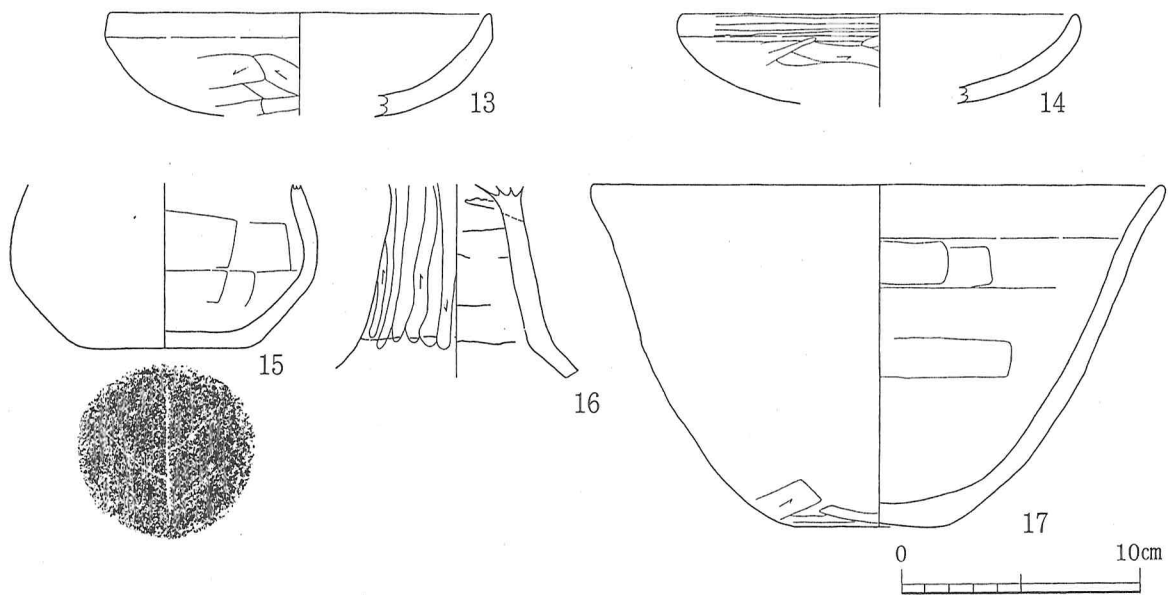
第135図 SI32カマド平・断・遺物平面図



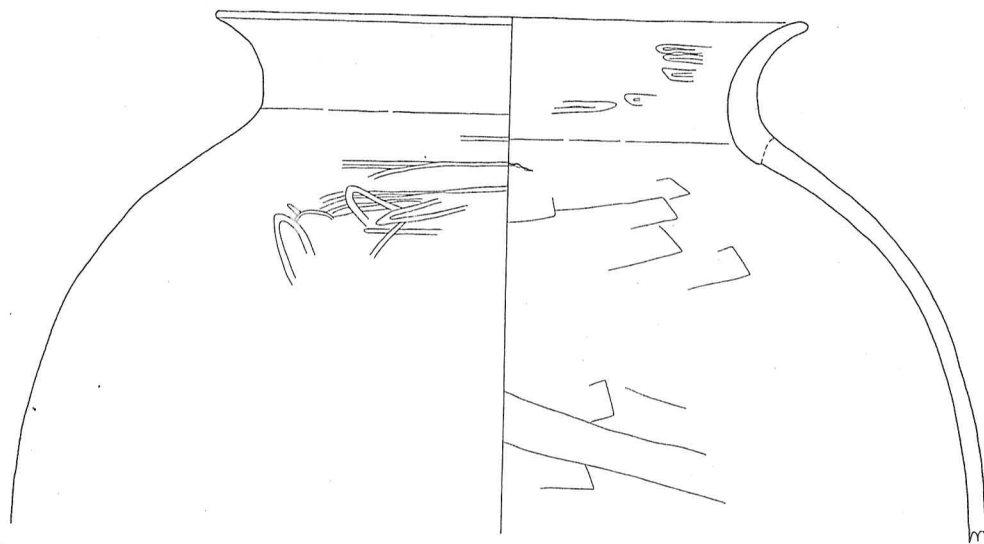
第136図 SI32出土遺物実測図(1)

第64表 SI32土器観察表

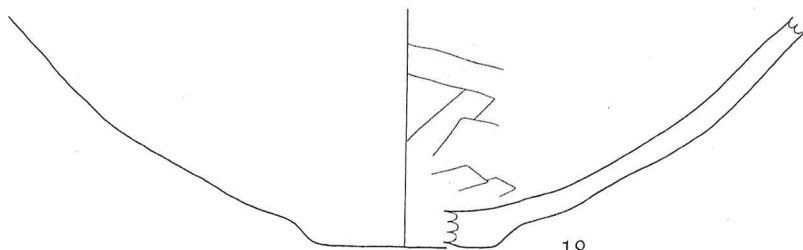
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 15.8 器高 4.8	A 赤色砂粒 (鉄粒) 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	完形	床直No.2	輪積痕 口縁端部にキザミ状の痕跡
2	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (4.9)	A 赤色粗砂粒 (鉄粒)。 焼成良好	乳白色	B: 口縁部は直線的に外傾し、体部外面に稜を有する。		3/5	床直No.22	摩耗
3	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.9)	A 混和材が少ない。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ後体部内面に粗い放射状のヘラ磨き。	1/4	埋土	漆仕上げ 剥離
4	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に4.5cm幅の工具によるヘラナデ。	1/6	埋土	付着物
5	土師器 坏	口径 (12.4) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C: 小ぶり。口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ後口縁部から体部内面にかけて横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	1/5	埋土	輪積痕 黒斑
6	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 (5.6)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	内:淡褐色 外:褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。体部は半球形。	体部内面に不定方向のヘラ磨き、口縁部内面横方向のヘラ磨き、外面下端に3.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	埋土	剥離 漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 4.5	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 厚みがあり口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に3.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	2/3	床直No.7	摩耗 漆仕上げ
8	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 (3.7)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は強く内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/8	埋土	輪積痕 漆仕上げ 剥離 指押さえ
9	土師器 坏	口径 (13.2) 器高 4.0	A 透明細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は内傾後直立し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後外面下端に4.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	1/4	埋土	漆仕上げ
10	土師器 坏	口径 12.8 器高 3.9	A 透明細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	乳白色	D: 口縁部は強く内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.6	摩耗
11	土師器 坏	口径 (13.5) 器高 (3.4)	A 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は強く内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面斜め、横方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	1/5	埋土	漆仕上げ
12	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (4.0)	A 半透明砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は短く内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ。	2/3	埋土	漆仕上げ 剥離



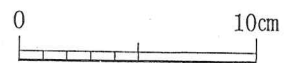
第137図 SI32出土遺物実測図(2)



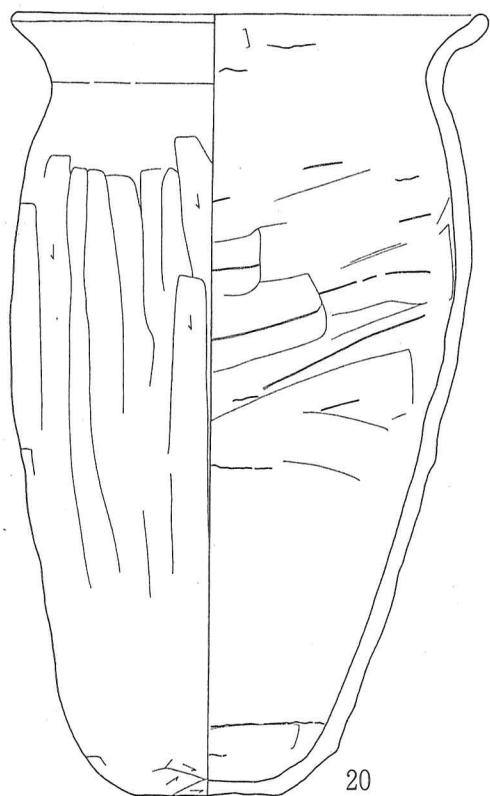
18



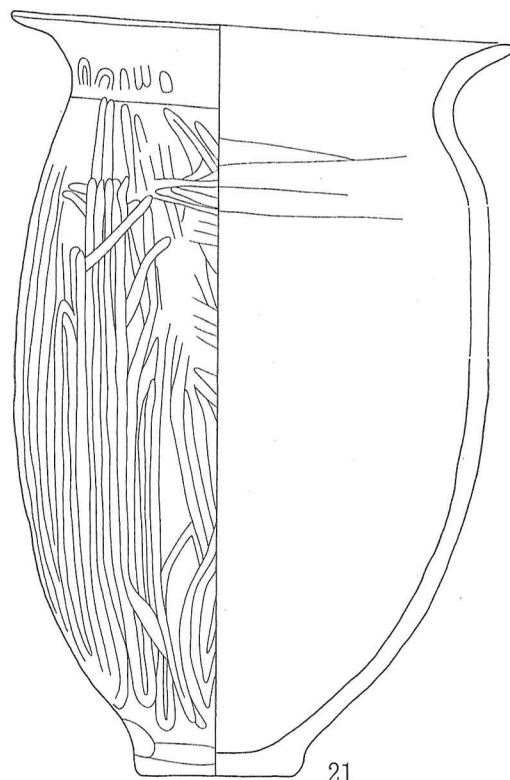
19



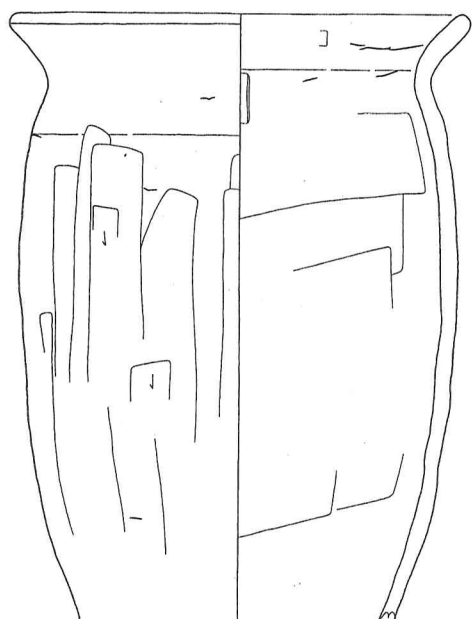
第138图 SI32出土遺物実測図(3)



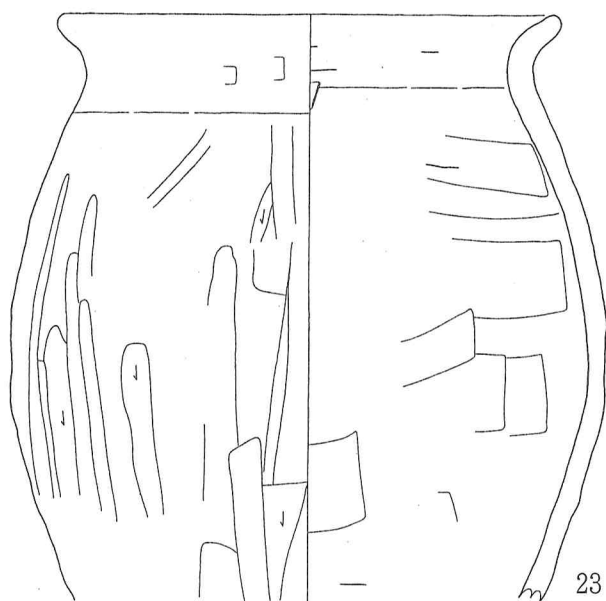
20



21



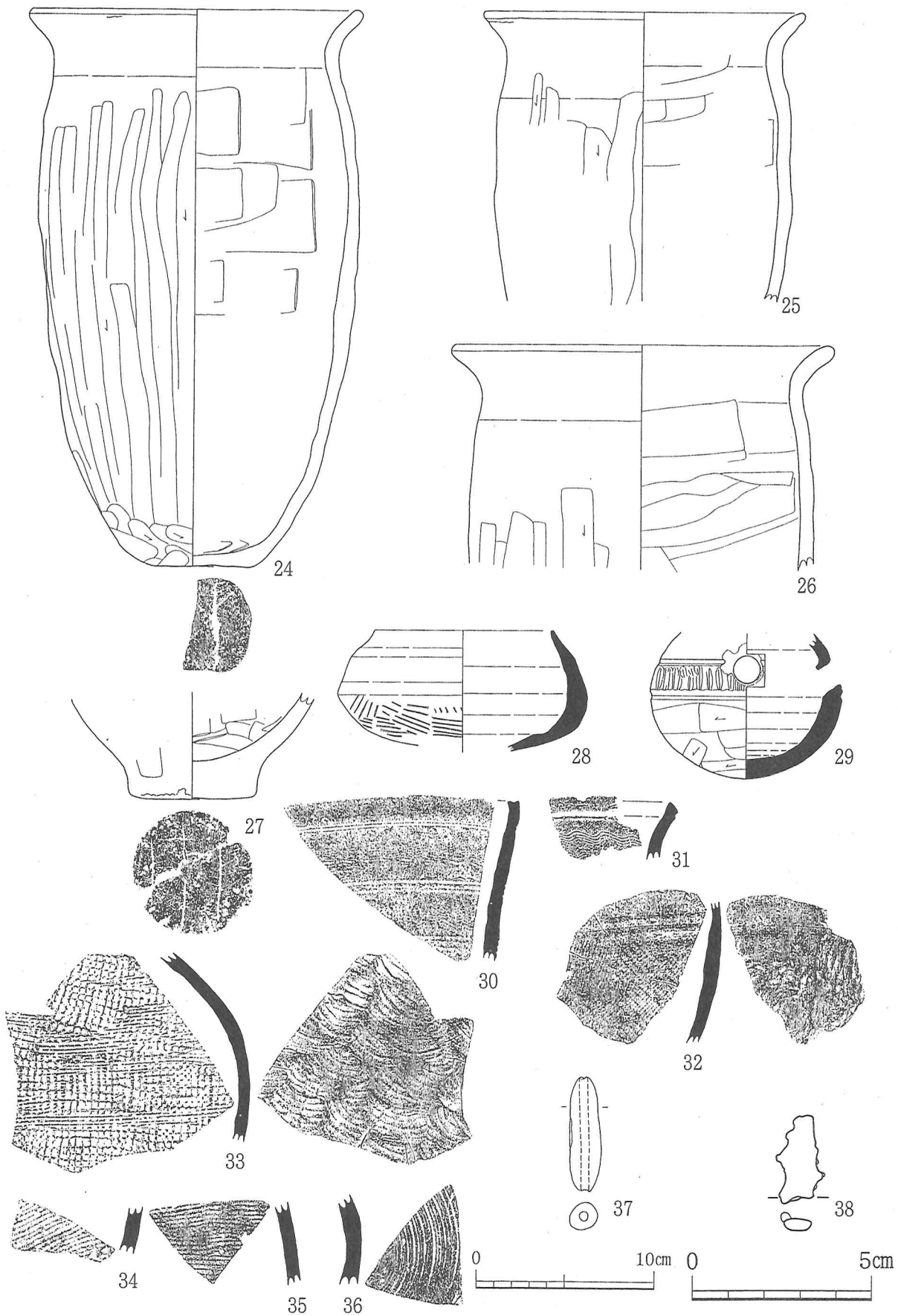
22



23



第139図 SI32出土遺物実測図(4)



第140图 SI32出土遺物実測図(5)

13	土師器 坏	口径 器高	(15.6) (4.2)	A 白色砂粒 透明細砂粒。赤色砂粒 (二次) を含む。焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/4	床直	剥離 漆仕上げ
14	土師器 坏	口径 器高	(16.4) (3.7)	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く内湾し、体部外面に弱い稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後外面横方向のヘラ磨き。	1/3	埋土	漆仕上げ 剥離
15	土師器 碗	口径 底径 器高	(10.8) 6.6 (6.8)	A 黒色砂粒 半透明細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	乳白色	E: 口縁部はやや外湾する。体部は半球形。平底。	体部内面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	2/3	床直No.1	輪積痕 木葉痕 剥離 摩耗 黒斑
16	土師器 高坏	器高	(8.0)	A 黒色砂粒 白色砂粒。焼成良好	淡褐色	B2: 坏底部から直線的に開き、裾部はさらに外に開く。	脚部外面縦方向のヘラ削り、裾部内外面横ナデ。	脚部の1/2	床直No.29	輪積痕 指おさえ
17	土師器 鉢	口径 底径 器高	23.6 5.8 14.2	A 白色細砂粒 透明細砂粒。3~6 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	乳白色	B: 体部から口縁部にかけて外傾する。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラナデ、底部ヘラ削り、口縁部横ナデ。	3/4	床直 No.10,16	摩耗 黒斑
18	土師器 甕	口径 底径 器高	(24.4) (7.8) [39.0]	A 白色細砂粒 白色砂粒 半透明砂粒。黒色細砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	A: 大型。口縁部は直立後外湾し、端部外面に稜を有する。胴部は球形。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後縦横方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ、内面横方向のヘラ磨き。	1/6	床直No.8,29	輪積痕 黒斑 別作り
19	土師器 甕	器高	(23.0)	B 白色細砂粒 透明細砂粒。黒色細砂粒を含む。焼成良好	乳白色	A: 口縁部は外傾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は球形。	胴部内面ヘラナデ、口縁部横ナデ後一部横方向のヘラ磨き。	1/4	床直No.3,14	黒斑 摩耗
20	土師器 甕	口径 底径 器高	19.2 6.0 32.4	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。3~6 ^ミ 大粗粒を多量に含む。焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は直立し、端部をつまみ上げる。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面縦方向のヘラ削り、底部外面付近横方向のヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.9,24	輪積痕 黒斑 煤付着 粘土付着
21	土師器 甕	口径 底径 器高	21.0 6.4 31.5	A 白色細砂粒 赤色砂粒 (二次) 白色砂粒。2~5 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	褐色	C1: 口縁部は「く」の字状に外傾する。長胴。平底。	胴部内外面ヘラナデ、底部外面付近横方向のヘラナデ、口縁部横ナデ後外面から胴部外面にかけてヘラ磨き。	4/5	床直No.9	輪積痕 黒斑
22	土師器 甕	口径 器高	18.2 (25.1)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。2~5 ^ミ 大粗粒を多量に含む。焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外傾し、端部外面に弱い稜を有する。長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.23 竈No.2	輪積痕 粘土付着 別作り
23	土師器 甕	口径 器高	20.4 (24.4)	A 白色砂粒 白色細砂粒。2~4 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は短く外傾し、端部をつまみ上げる。端部外面に弱い稜を有する。胴部中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	床直No.3,31	輪積痕 黒斑
24	土師器 甕	口径 底径 器高	17.8 5.3 31.2	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。2~7 ^ミ 大粗粒を多量に含む。焼成良好	褐色	C2: 口縁部は外傾し、端部外面に弱い稜を有する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直 No.18,19,20 ,21,22	木葉痕 粘土付着 煤付着 別作り
25	土師器 甕	口径 器高	(18.0) (16.0)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。2~6 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾し、端部外面に弱い稜を有する。長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	口縁部の1/3~胴部上半一部	床直No.17	輪積痕 粘土付着
26	土師器 甕	口径 器高	(21.0) (12.6)	A 白色細砂粒。3~6 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾し、端部外面に弱い稜を有する。長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/10	床直No.19	輪積痕 煤付着
27	土師器 甕	底径 器高	7.0 (6.0)	A 白色砂粒 透明細砂粒。2~5 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	乳白色	不明: 厚手。平底。	胴部内面下半ヘラナデ、胴部外面下半縦方向のナデ、底部外面付近横方向のナデ。	底部	床直No.30	木葉痕
28	須恵器 坏	口径 器高	10.0 (6.7)	A 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	青灰色	口縁部は内傾し、端部は薄く仕上げる。	ロクロナデ、底部外面平行叩き。	9/10	床直No.5	ロクロ成形
29	須恵器 甕	器高	(8.1)	A 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	暗灰色	小型。体部は球形。体部中半に直径1.5 ^ミ の円孔有り。	内外面ロクロナデ、底部外面回転ヘラ削り、体部上半に平行横位沈線を施し、内に連続短縦沈線を施す。	1/2	床直No.4	ロクロ成形 付着物 自然釉付着

30	須恵器 甕	A 白色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	青灰色	口縁部は直立し、 端部は平坦面を持ち 内側に稜を有する。	ロクロナデ、口縁端部、胴部 に沈線を施す。	口縁部 破片	埋土	ロクロ成形 自然釉付着
31	須恵器 甕	A 白色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	青灰色		ロクロナデ、口縁部外面襷描 き波状文、端部一条の沈線。	口縁部 破片	埋土	ロクロ成形
32	須恵器 甕	A 白色砂粒。 焼成良好	灰褐色		外面横ナデ後平行叩き、内面 横ナデ後同心円叩き、指押さ え。	破片	埋土	
33	須恵器 甕	A 白色細砂粒 白色 砂粒。黒色砂粒を含 む。 焼成良好	灰色		外面格子目状叩き後カキ目、 内面同心円叩き、指押さえ。	破片	床直No.13	
34	須恵器 甕	A 白色細砂粒。 焼成良好	青灰色		外面平行叩き。	破片	埋土	自然釉付着
35	須恵器 甕	A 白色細砂粒。 焼成良好	青灰色		外面平行叩き。	破片	埋土	
36	須恵器 提瓶	A 白色細砂粒 白色 砂粒。白色粗砂粒を 含む。 焼成良好	灰色		内外面ロクロナデ。	破片	埋土	ロクロ成形

第65表 SI32土錘観察表

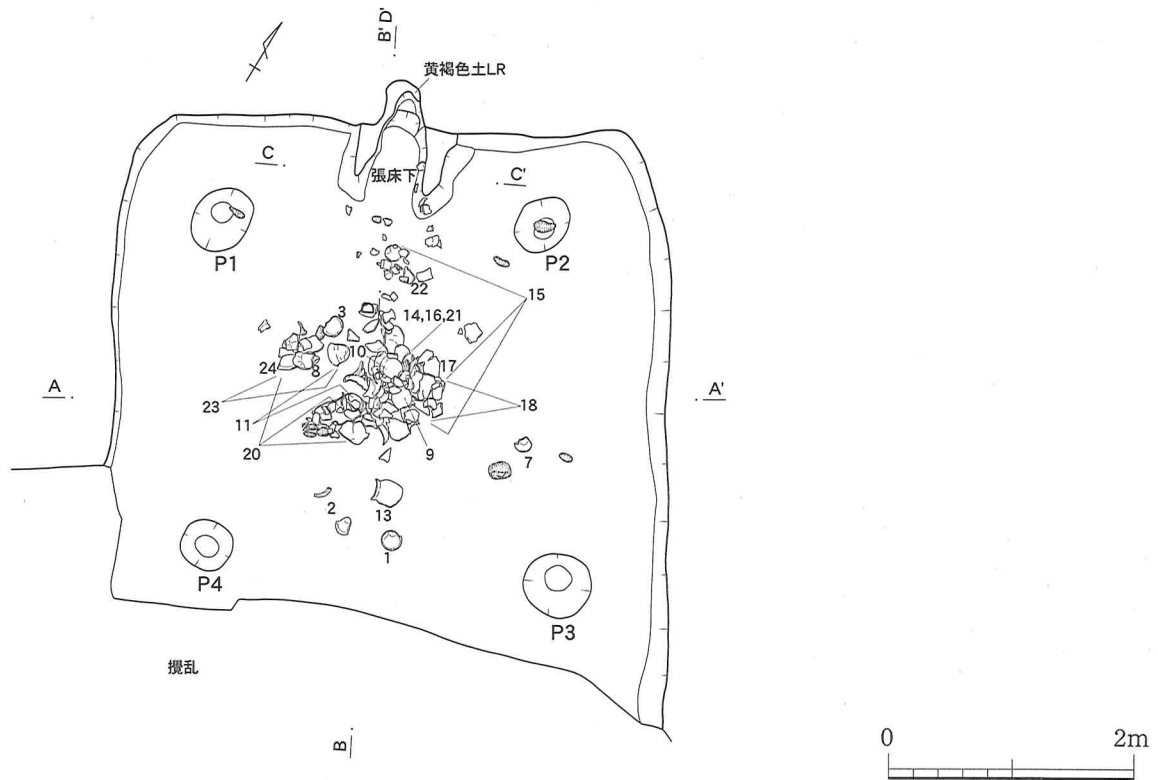
No.	器種	寸法 (cm・g)				胎土・焼成	色調	器形・調 整の特徴	残存率	出土位置
		長さ	最大径	孔径	重量					
37	土錘	6.3	1.7	0.5	13.8	A 赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	灰褐色	A:ナデ	完形	床直

第66表 SI32鉄製品刀子観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				色調	遺存状態	出土位置	備考
		最大長	最大幅	最大厚	重量				
38	鉄製品 刀子	2.3	1.1	0.3	1.4	赤褐色	柄部のみ	埋土	

SI33

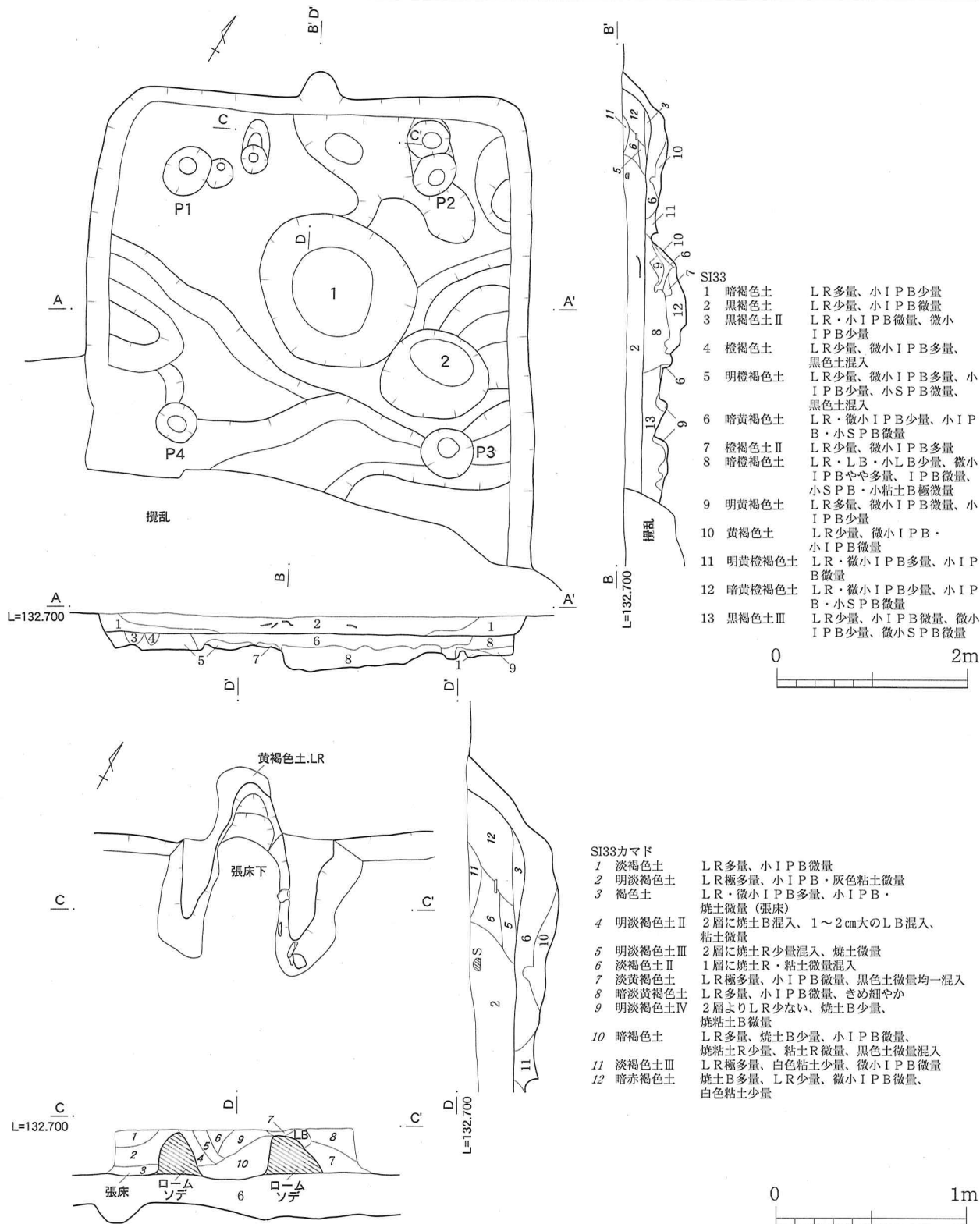
位置 工0F2杭付近。規模 東西4.4m×南北 4.6m。主軸方向 N-25°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏7, 高坏1, 甕14, 甔2である。



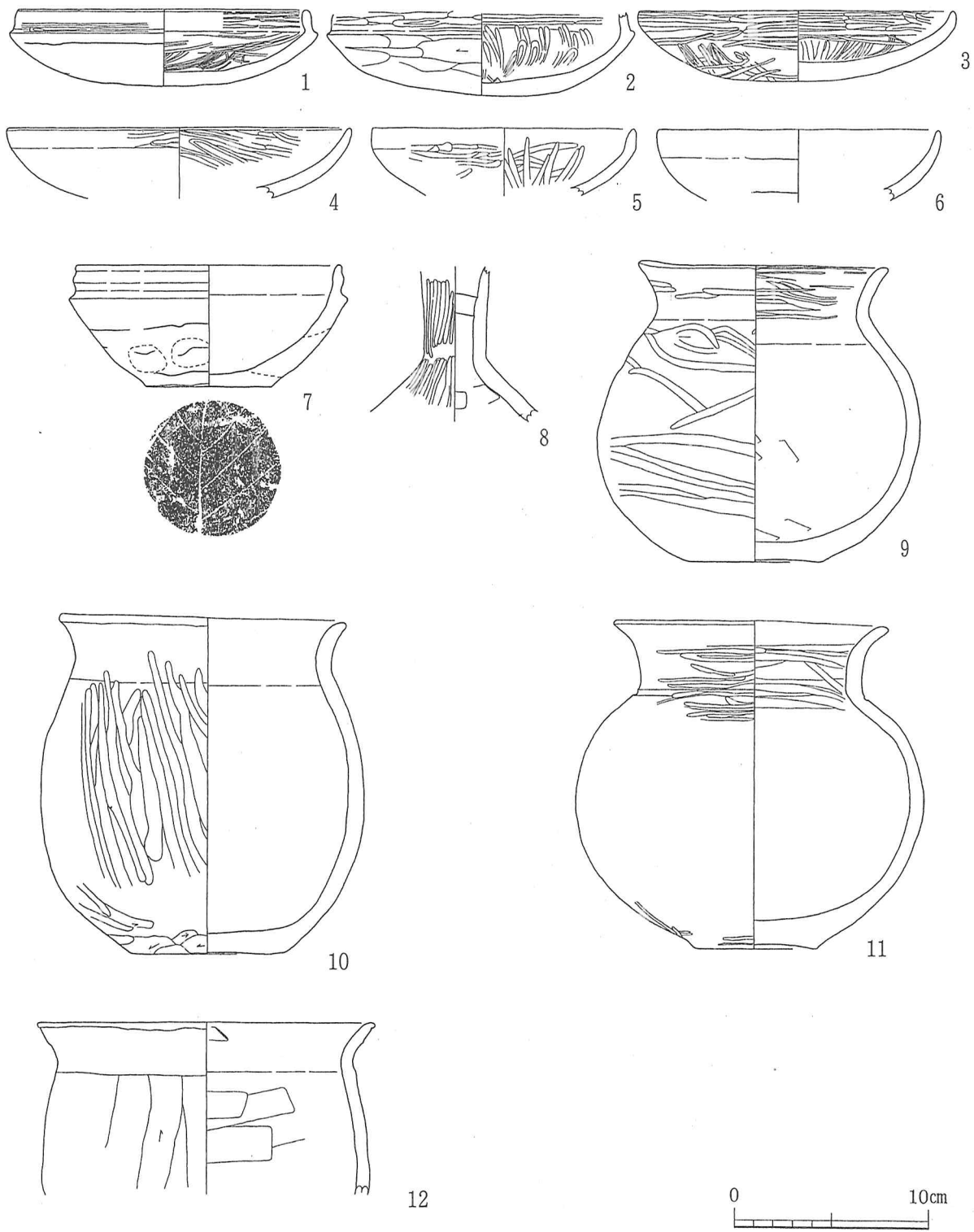
第141図 SI33遺物平面図

第67表 SI33床下土坑一覽表

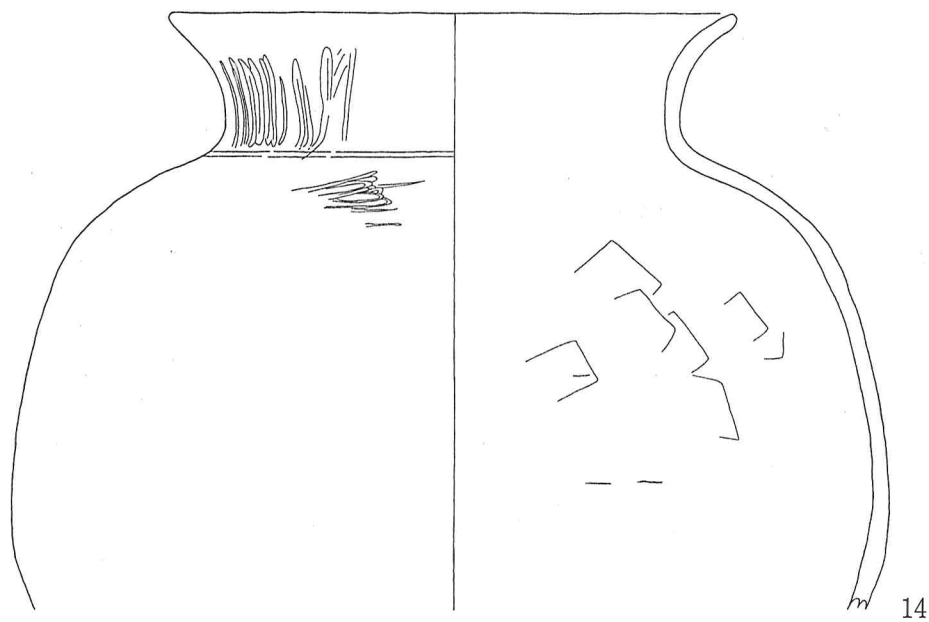
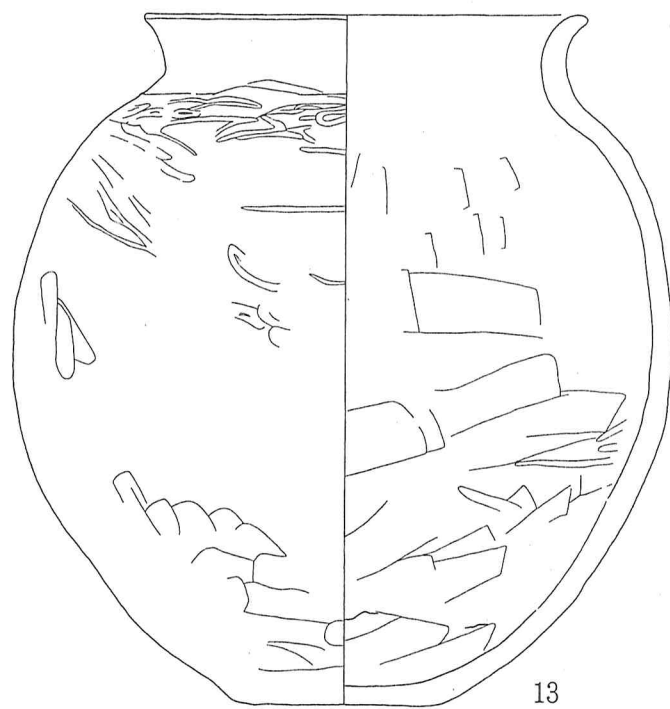
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.77	1.55	0.40	円形	ほぼ平坦	ほぼ垂直 大きく開きながら立ち上がる	
2	1.00	0.90	-	円形			



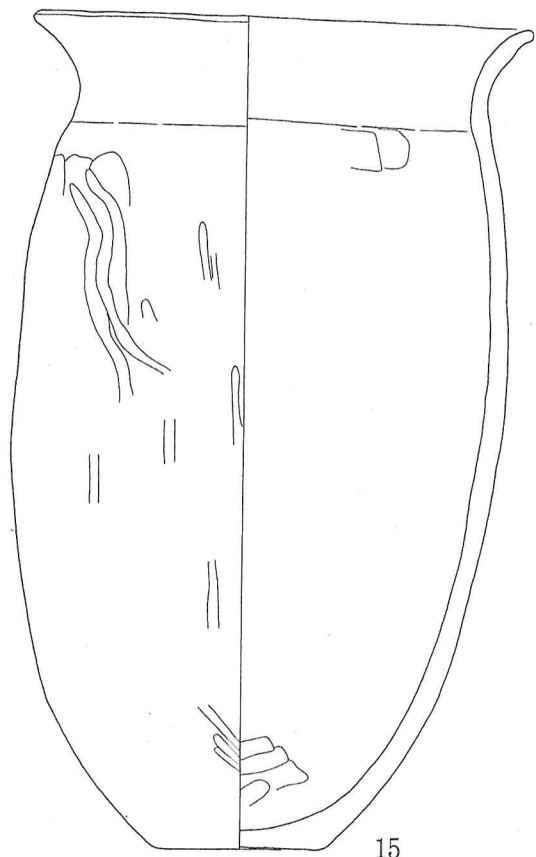
第142図 SI33平・断・カマド平・断面図



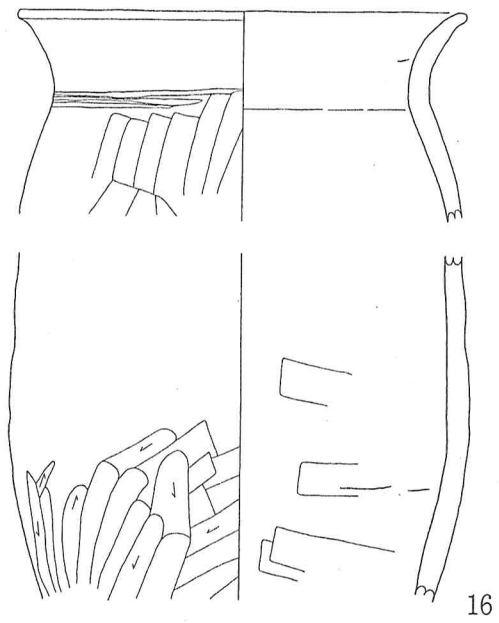
第143図 SI33出土遺物実測図(1)



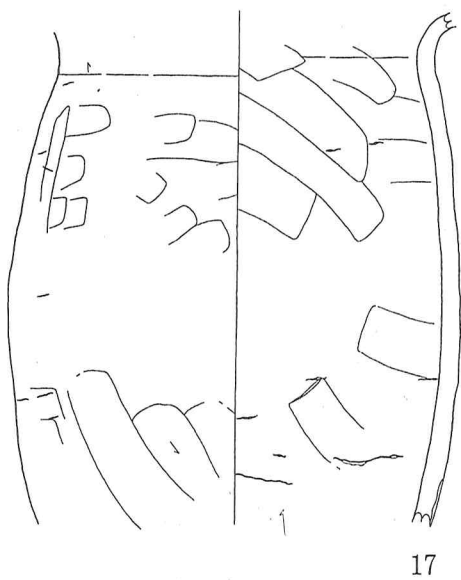
第144图 SI33出土遺物実測図(2)



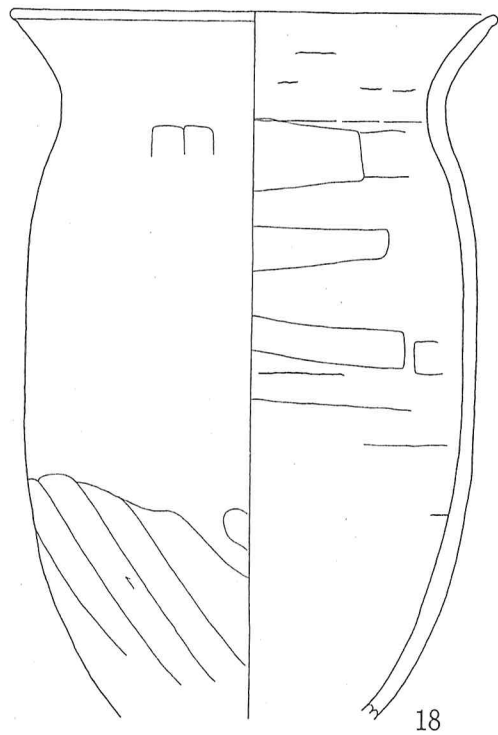
15



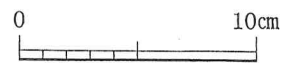
16



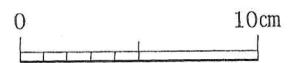
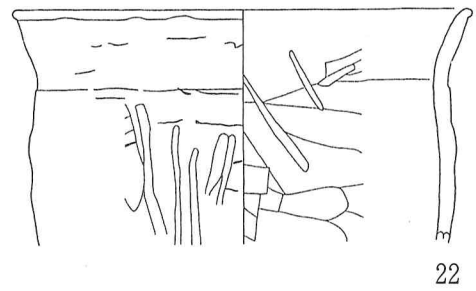
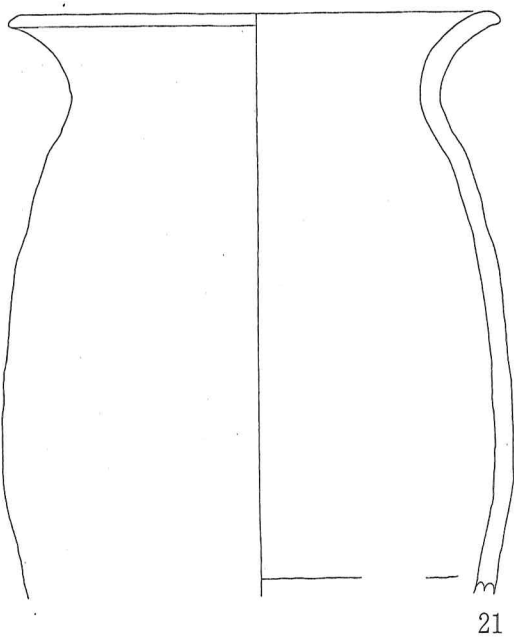
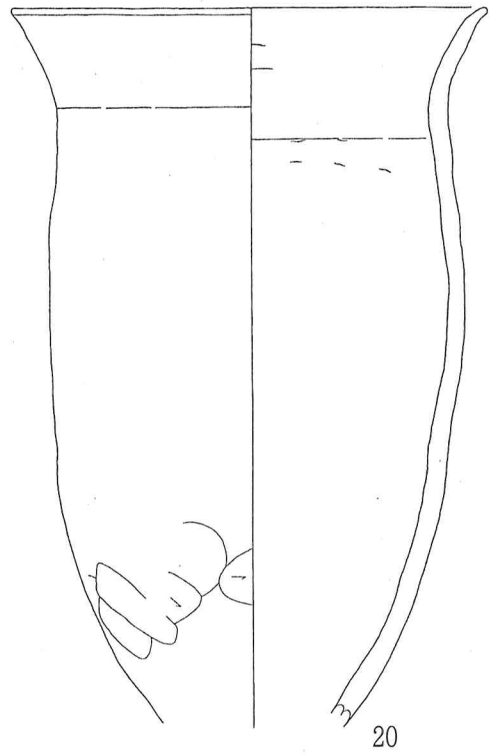
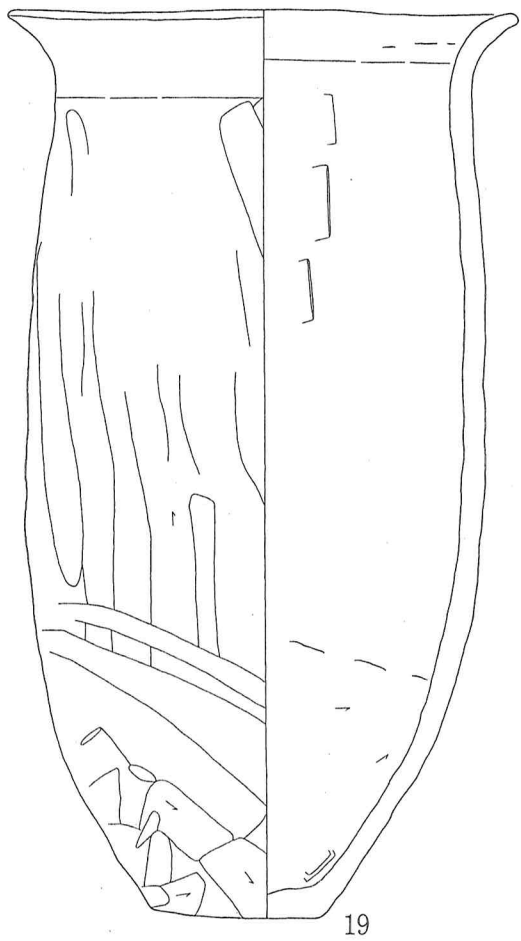
17



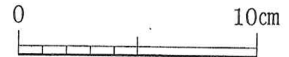
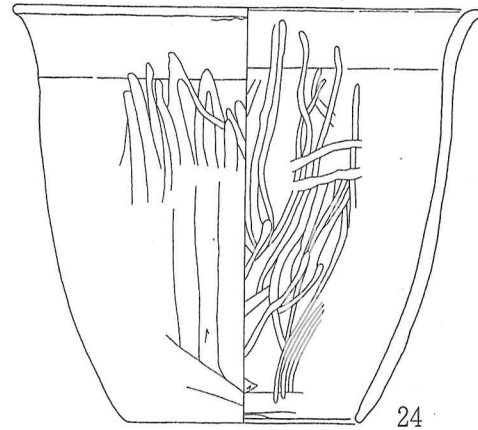
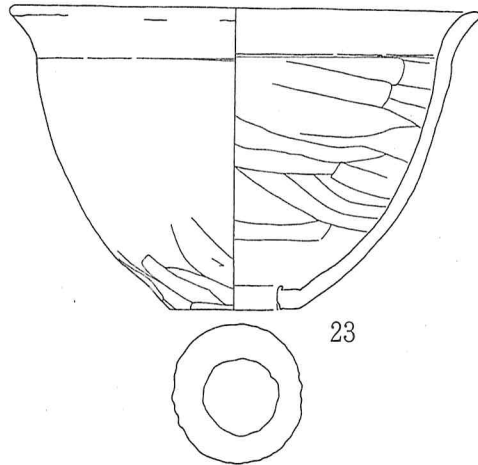
18



第145図 SI33出土遺物実測図(3)



第146图 SI33出土遺物実測図(4)



第147図 SI33出土遺物実測図(5)

第68表 SI33土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 14.6 器高 3.9	A 白色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	暗褐色	D：口縁部は短くやや内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部内外面横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	9/10	床直No.3	輪積痕 黒色処理
2	土師器 杯	口径 (14.6) 器高 (4.3)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 白色砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面放射状、一定方向のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	3/4	床直No.2	
3	土師器 杯	口径 16.2 器高 3.6	A 白色細砂粒 白色砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	E：口縁部は短く内湾する。丸底。	口縁部横ナデ、体部内面に放射状のヘラ磨き、口縁部横方向のヘラ磨き、底部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	4/5	床直No.7	輪積痕 漆仕上げ
4	土師器 杯	口径 (17.2) 器高 (3.6)	A 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E：口縁部は短く外傾し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて一定方向のヘラ磨き、体部外面一定方向のヘラ磨き、口縁部外面横方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	輪積痕 漆仕上げ
5	土師器 杯	口径 (13.4) 器高 (3.4)	A 白色細砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	内:淡褐色 外:褐色	E：口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ磨き。	1/8	竈	
6	土師器 杯	口径 (14.4) 器高 (3.7)	A 黒色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	E：体部から口縁部にかけて内湾し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面ヘラ削り。	1/7	埋土	輪積痕 漆仕上げ
7	土師器 杯	口径 (13.2) 底径 6.4 器高 6.2	A 黒色細砂粒 白色砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	その他；口縁部はやや直立し、体部外面に稜を有する。平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ナデ、口縁部横ナデ後外面下端に6 ³ 幅の工具による強いヘラナデ。	2/3	床直No.5	輪積痕 木葉痕 指押さえ
8	土師器 高杯	器高 (7.9)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B3：脚部はやや長く、裾部は「ハ」の字状に開く。	脚部、裾部ヘラ磨き。	脚部	床直No.14	輪積痕 漆仕上げ
9	土師器 小型甕	口径 12.6 底径 7.0 器高 15.2	A 透明細砂粒 白色細砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A：小型。口縁部は外傾し、胴部は球形。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ナデ、ヘラ磨き、口縁部横ナデ後内外面ヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.17	黒斑 付着物
10	土師器 小型甕	口径 14.1 底径 7.6 器高 17.3	A 白色細砂粒 透明細砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	A：小型。口縁部はやや外傾し、胴部は張りが少ない。平底。	胴部内面ヘラナデ、口縁部横ナデ後胴部外面ヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.8	付着物 黒斑
11	土師器 小型甕	口径 13.7 底径 6.2 器高 16.7	A 透明細砂粒 白色細砂粒。白色粗砂粒を含む。 焼成良好	橙褐色	B：小型。口縁部は直立後外傾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部は球形。平底。	胴部内面ヘラナデ、口縁部から胴部外面にかけてヘラ磨き。	9/10	床直No.9,10	煤付着 黒斑
12	土師器 小型甕	口径 (16.6) 器高 (8.7)	A 透明細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D：口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。胴部は張りが無い。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ。	口縁部の1/4	床直	煤付着

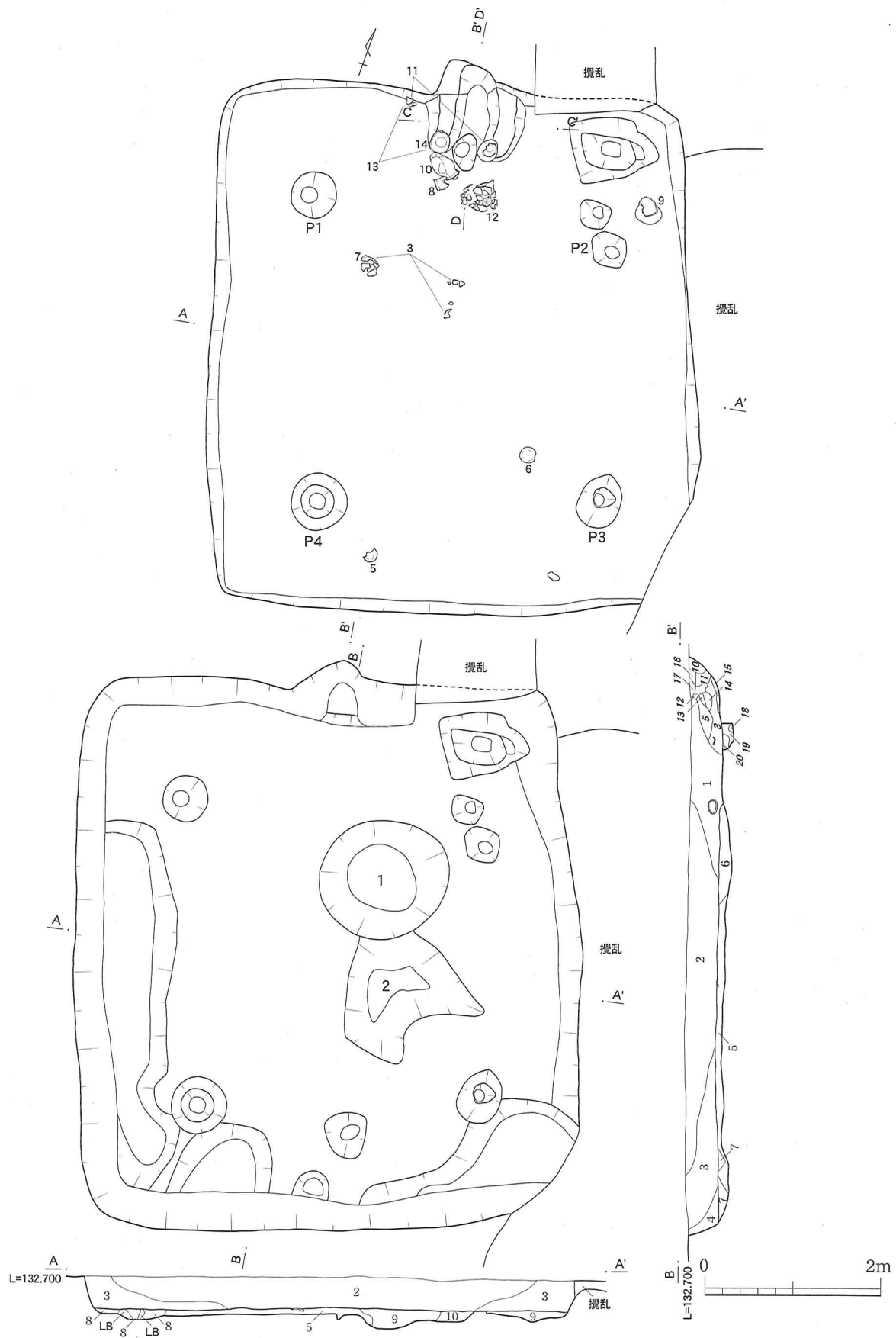
13	土師器 甕	口径 底径 器高	18.0 8.6 28.5	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は短く 外湾する。胴部は 球形。平底。	口縁部横ナデ, 胴部内面ヘラ ナデ, 胴部外面ナデ後ヘラ磨 き。	ほぼ完 形	床直No.4	輪積痕
14	土師器 甕	口径 器高	(23.3) (24.7)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	B: 大型。口縁部 は直立後外傾し、 頸部外面下端に稜 を有する。胴部は 球形。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 上半横方向のヘラ磨き, 中半 縦方向のヘラ磨き, 口縁部横 ナデ後外面縦方向のヘラ磨 き。	2/3	床直No.18	輪積痕 黒斑
15	土師器 甕	口径 底径 器高	20.1 6.4 34.6	A 白色砂粒 黒色細 砂粒 白色細砂粒。透 明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C1: 口縁部はや やかに外湾し、端 部外面に稜を有す る。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ナデ後ヘラ磨き, 口縁部横ナ デ。	3/4	床直 No.15,16,21	輪積痕 黒斑
16	土師器 甕	口径 器高	(18.6) [24.2]	A 黒色細砂粒 白色 砂粒。2~4 ₀ 大粗粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は緩 やかに外湾し、端 部外面に稜を有す る。長胴。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ヘラナデ後下半ヘラ削り, 頸 部外面に3 ₀ 幅の工具による 強いヘラナデ。	3/5	床直No.18	輪積痕 黒斑 煤付着
17	土師器 甕	器高	(21.3)	A 黒色細砂粒 透明 細砂粒。半透明砂粒 白色粗砂粒を含む。 焼成良好	内: 淡褐色 外: 褐色	C1: 長胴。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ヘラナデ後下半ヘラ削り, 口 縁部横ナデ。	2/3	床直No.15	輪積痕 煤付 着
18	土師器 甕	口径 器高	(20.2) (29.2)	A 黒色細砂粒。白色 砂粒 赤色砂粒 (鉄 粒)を含む。 焼成良好	内: 褐色 外: 淡褐色	C2: 口縁部は大 きく外傾し、端部 外面に稜を有す る。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ヘラナデ後下半ヘラ削り, 口 縁部横ナデ。	2/3	床直 No.15,16	輪積痕 別作 り 煤付着
19	土師器 甕	口径 底径 器高	20.4 7.0 37.4	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	内: 暗褐色 外: 褐色	D: 口縁部はや やかに外湾し、端 部外面に稜を有す る。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ後一部ヘラ 削り, 胴部外面上位ヘラナ デ, 中位ヘラ削り後ナデ, 下 位ヘラ削り, 口縁部横ナデ。	ほぼ完 形	床直No.18	輪積痕
20	土師器 甕	口径 器高	19.8 (29.7)	A 白色細砂粒 白色 砂粒 半透明砂粒。黒 色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は外傾 し、胴部はすばま る。長胴。	胴部内面ヘラナデ後下半ヘラ 削り, 胴部外面ヘラナデ後下 半ヘラ削り, 口縁部横ナデ。	9/10	床直 No.11,12,13	輪積痕 黒斑 煤付着 粘土 付着
21	土師器 甕	口径 器高	19.2 (24.0)	A 黒色細砂粒 白色 砂粒。2~5 ₀ 大粗粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は緩 やかに外湾し、端 部外面に稜を有す る。長胴。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ヘラナデ後下半ヘラ削り, 口 縁部横ナデ。	4/5	床直No.18	輪積痕 煤付 着
22	土師器 甕	口径 器高	(19.0) (9.7)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部はや やかに外傾し、端 部外面に稜を有す る。胴部は張り が無い。	胴部外面ヘラナデ後ヘラ磨 き, 口縁部横ナデ, 胴部内面 ヘラナデ。	口縁部 の1/4	床直No.22	輪積痕 粘土 付着
23	土師器 甕	口径 底径 器高	19.0 5.4 12.5	A 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	A2: 胴部から直 線的に口縁部に至 り外傾する。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面 ヘラナデ後下半ヘラ削り, 口 縁部横ナデ。	ほぼ完 形	床直No.9,13	単孔 輪積痕 黒斑 剥離
24	土師器 甕	口径 底径 器高	(19.6) (9.3) 17.1	A 黒色細砂粒 黒色 細砂粒。透明細砂粒 白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C: 胴部から直 線的に口縁部に至 り外傾する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ 磨き, 胴部内面ナデ, 底部内 面横方向のヘラ削り後全体に 縦方向のヘラ磨き, 胴部外面 ヘラ削り, 底部外面横方向の ヘラ削り後全体に縦方向のヘ ラ磨き。	1/5	床直No.13	筒抜け 黒斑

SI34

位置 エ2F1杭付近。規模 東西5.4m×南北5.9m。主軸方向 N-21°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 鉢1, 甕6, 甌1である。備考 南壁中央床にピット。

第69表 SI34床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.50	1.34	-	円形			土坑2と重複、土坑1が新しい
2	1.60	1.10	0.22	不整形	ほぼ平坦	大きく開きながら立ち上がる	

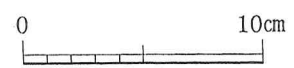
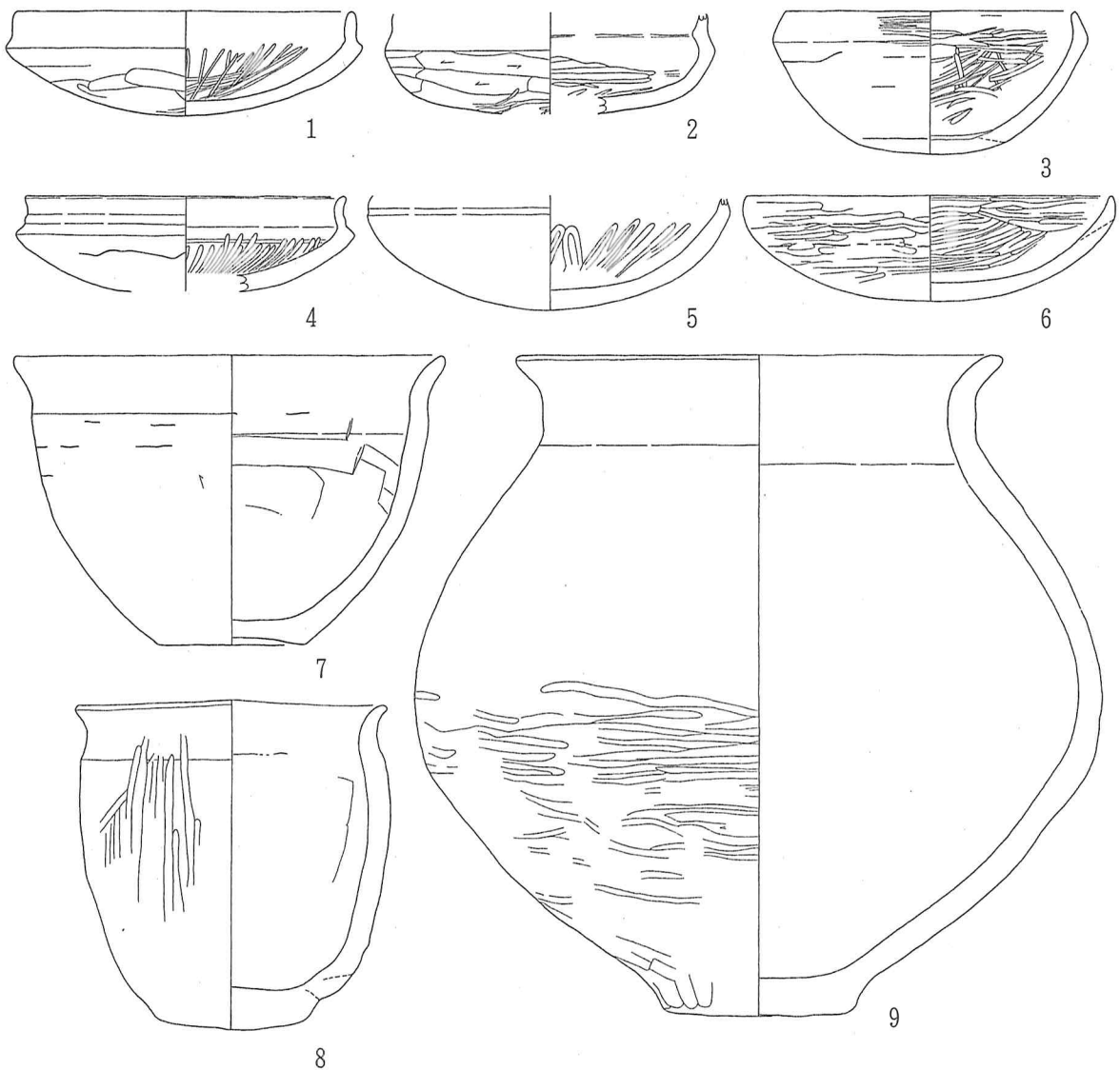


第148图 SI34平·断·遺物平面图

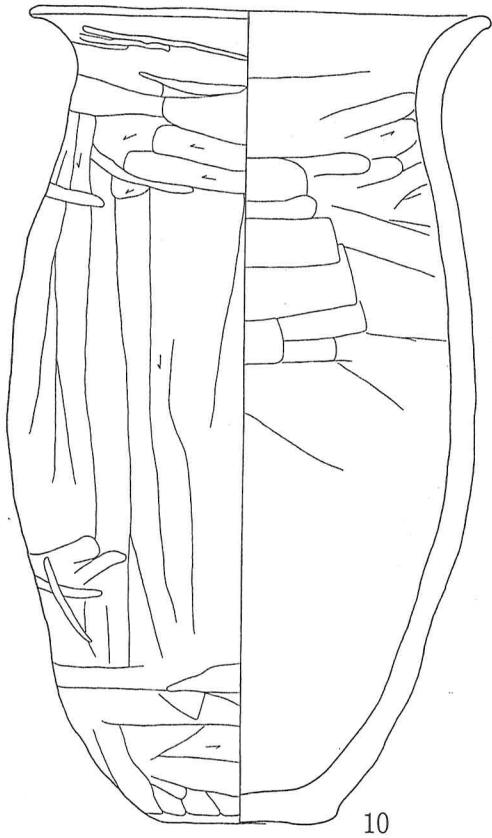
SI34

- 1 淡褐色土 LR多量、小IPB・微小IPB少量、微小SPB・焼土微量
 - 2 黒褐色土 LR・小IPB少量、小SPB微量
 - 3 黒褐色土II 2層より小IPB増える
 - 4 暗黄褐色土 微小IPB多量、LR少量、小IPB微量
 - 5 暗淡黄褐色土 LR多量、LB・微小IPB・小IPB少量、小SPB微量
 - 6 淡褐色土II LR多量、微小IPB・小IPB少量、小SPB・CR微量
 - 7 暗橙褐色土 LR少量、LB微量、微小IPB多量、小IPBやや多量、小SPB微量
 - 8 暗褐色土 LR・小IPB少量、小SPB微量
 - 9 暗橙褐色土II LR少量、微小IPB多量、小IPBやや多量、小SPB多量
 - 10 明褐色土 LR・微小IPBやや多量、小SPB少量
- SI34カマド
- 1 暗褐色土 LR少量、小LBやや多量、小IPB微量、小SPB極微量、焼土R少量
 - 2 黄褐色土 LR多量、小LBやや多量、焼土R少量、CR微量(ソデ)
 - 3 暗赤褐色土 LRやや多量、小LB・小IPB少量、小SPB微量、焼土R多量、粘土R極微量
 - 4 褐色土 LR・小LB・小IPB少量、小SPB微量

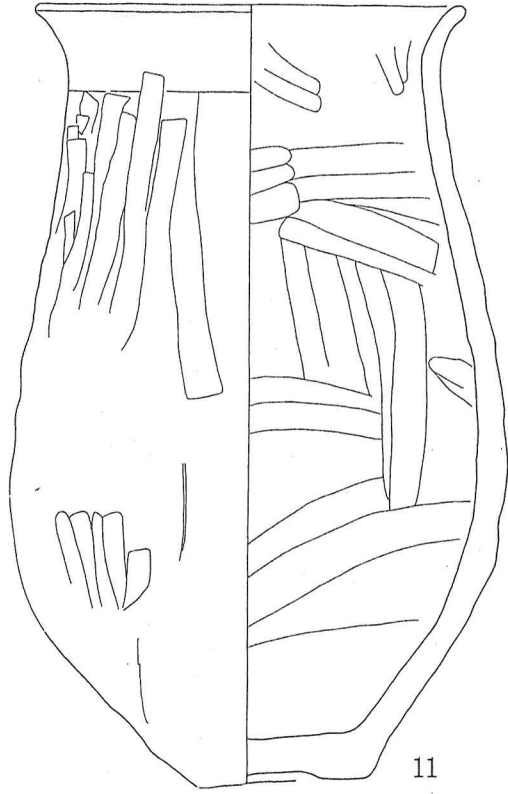
- 5 暗淡黄褐色土 LR・小LBやや多量、小IPB・焼土R・CR微量、黒色土混入
- 6 暗淡黄褐色土II 5層に比べて焼土少ない(ソデ)
- 7 暗黄褐色土 LRやや多量、小LB多量、小IPB・焼土R少量、小焼土R微量(ソデ)
- 8 黄褐色土II 2層よりやや焼土少ない(ソデ)
- 9 暗淡褐色土 LRやや多量、小LB微量、小IPB少量、小SPB・焼土R微量
- 10 淡黄褐色土 LR多量、微小IPB・小IPB微量、焼土R少量
- 11 暗赤褐色土II 3層よりも焼土R少ない
- 12 暗淡赤褐色土 LR少量、微小IPB微量、焼土R多量、小IPB微量
- 13 明淡赤褐色土 LR少量、焼土R多量
- 14 暗淡赤褐色土II 12層よりもLR少ない
- 15 暗淡赤褐色土III 14層より焼土R多い
- 16 暗淡赤褐色土IV 15層よりLR多い
- 17 暗淡赤褐色土V 16層より焼土R多い
- 18 暗褐色土II 1層より小焼土Rが少ない
- 19 淡黄褐色土II LR多量、微小IPB少量
- 20 暗淡橙褐色土 LR・微小IPB少量



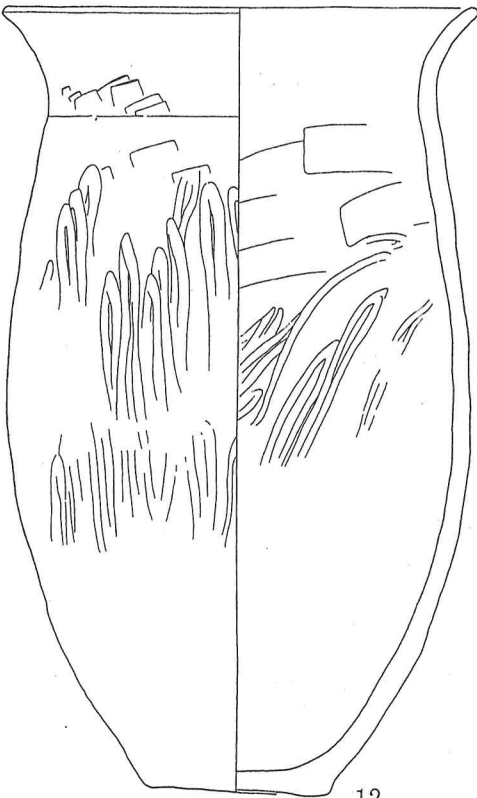
第149図 SI34出土遺物実測図(1)



10



11



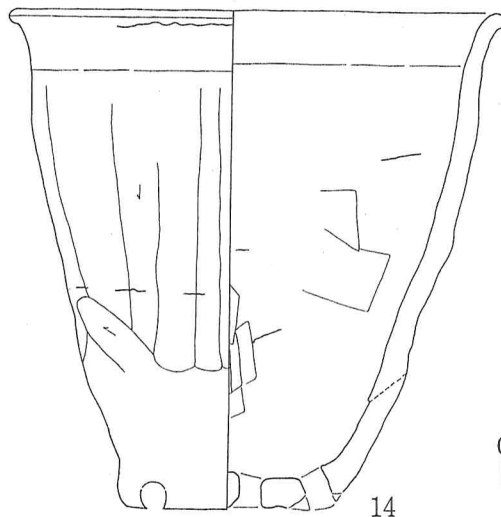
12



13



第150图 SI34出土遺物実測図(2)



第151図 SI34出土遺物実測図(3)

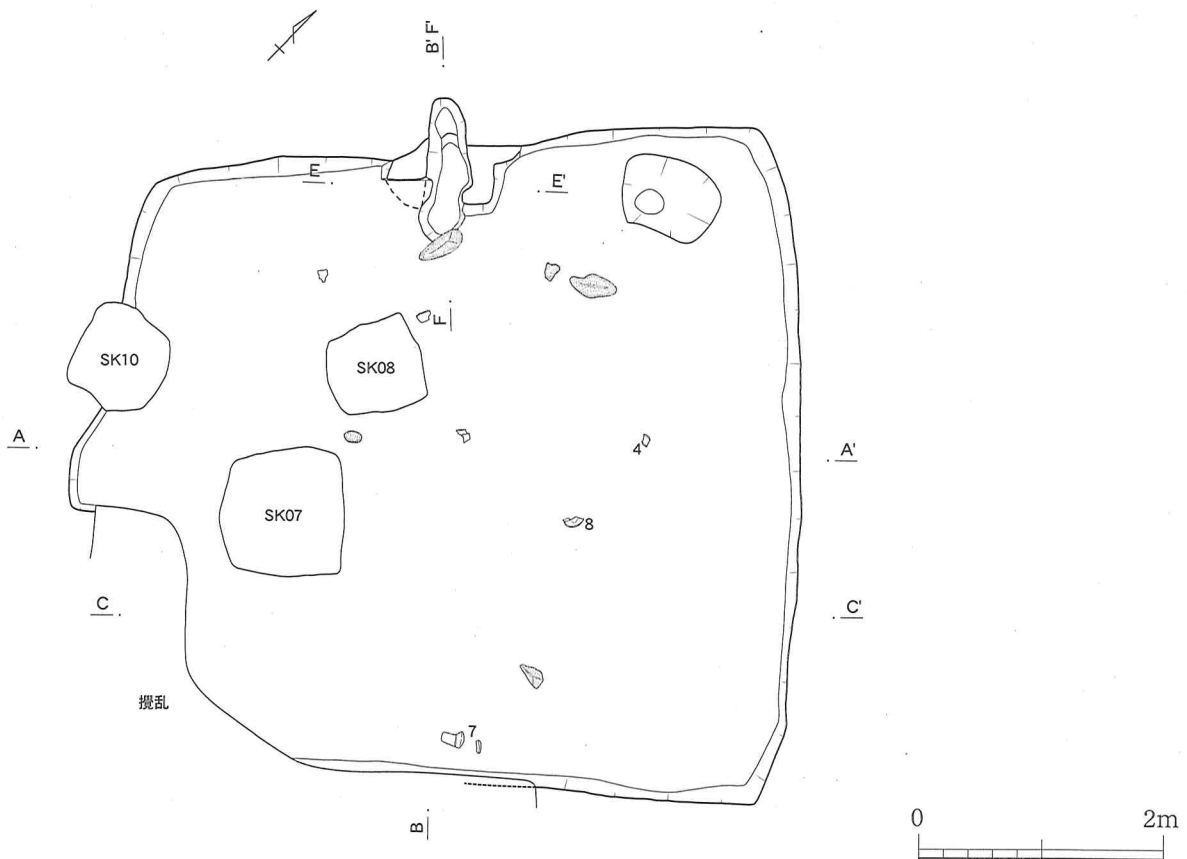
第70表 SI34土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 14.3 器高 4.5	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	暗褐色	C：口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ、体部内面ナデ後放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	埋土	漆仕上げ 黒斑 剥離
2	土師器 杯	口径 (13.6) 器高 (4.3)	A 黒色細砂粒。赤色細砂粒 (二次) を含む。焼成良好	暗褐色	C：口縁部は内傾後直立し、体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ後内面一部ヘラ磨き、体部内面横方向のヘラ磨き後放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後粗いヘラ磨き。	1/3	埋土	漆仕上げ
3	土師器 杯	口径 12.8 器高 6.2	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。体部は半球形。	体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後一定方向のヘラ磨き。	3/4	床直 No.4,5,6	輪積痕 黒斑
4	土師器 杯	口径 (13.5) 器高 (4.1)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。焼成良好	暗褐色	D：口縁部は直立後外傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/4	埋土	輪積痕 黒色処理
5	土師器 杯	口径 (15.4) 器高 (5.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	褐色	E：口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面に3 ⁵ / ₁₀ 幅の工具による強いヘラナデ、体部内面放射状のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	4/5	床直No.9	漆仕上げ 黒斑 剥離
6	土師器 杯	口径 16.0 器高 4.6	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後不定方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.7	輪積痕 漆仕上げ
7	土師器 鉢	口径 (18.4) 底径 6.4 器高 12.5	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	B：口縁部は外湾する。体部は緩やかな丸みを持つ。平底。	体部内面ヘラナデ、体部外面ヘラ削り後ナデ、口縁部横ナデ。	1/2	床直No.6	輪積痕 黒斑
8	土師器 小型甕	口径 13.2 底径 (6.4) 器高 14.3	A 黒色細砂粒 白色砂粒。4~7 ⁵ / ₁₀ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	C1：小型。口縁部は外湾し、端部外面、頸部外面下端に稜を有する。胴部は厚みがあり緩やかな丸みを持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	9/10	床直No.3 竈	輪積痕 別作り
9	土師器 甕	口径 20.8 底径 8.4 器高 28.7	A 黒色細砂粒 透明細砂粒 半透明細砂粒。2~4 ⁵ / ₁₀ 大粗粒を含む。焼成良好	褐色	B：大型。口縁部は直立後外傾する。胴部中半に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後半横方向のヘラ磨き。	9/10	床直No.1	煤付着 黒斑剥離 付着物別作り 重い

10	土師器 甕	口径 底径 器高	18.6 6.4 33.6	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。半透明砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	C1: 大型。口縁部は外湾し、端部外面に稜を有する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ後上半横方向のヘラ削り、胴部外面縦方向のヘラ削り後上半、下半横方向のヘラ削り、底部外面付近縦方向のヘラ削り、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	9/10	竈No.3	輪積痕 煤付着 別作り
11	土師器 甕	口径 底径 器高	17.6 7.2 32.4	A 黒色細砂粒 透明細砂粒 白色細砂粒。2~3 ^{mm} 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	C1: 大型。口縁部はやや外傾し、端部外面に稜を有する。胴部下半に最大径を持つ。凹底。	胴部内面ヘラナデ後下半縦方向のヘラナデ、胴部外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	9/10	竈No.1,5	輪積痕 煤付着 黒斑 剥離 付着物 別作り 重い
12	土師器 甕	口径 底径 器高	19.1 7.5 32.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色粗砂粒(二次) 白色砂粒を含む。焼成良好	褐色	C2: 大型。口縁部は外湾する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ後中位ヘラ磨き、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	9/10	床直No.2	煤付着 粘土付着 黒斑
13	土師器 甕	口径 底径 器高	(21.6) 6.0 [33.0]	B 白色細砂粒 白色砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 大型。口縁部は大きく外傾する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ後下半斜め方向のヘラ削り、胴部外面ヘラナデ後下半縦方向のヘラ削り、底部外面付近横方向のヘラ削り。	3/4	竈No.1,2	輪積痕 黒斑 煤付着 粘土付着 別作り
14	土師器 甕	口径 底径 器高	(19.7) 8.5 20.5	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 半透明砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	B: 胴部から直線的に口縁部に至り、外傾する。端部外面に稜を有する。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラナデ、口縁部横ナデ。底部内面から穿孔。	4/5	竈No.2	多孔 孔径9 ^{mm} 、輪積痕 黒斑 付着物 別作り 歪み有り。

SI35

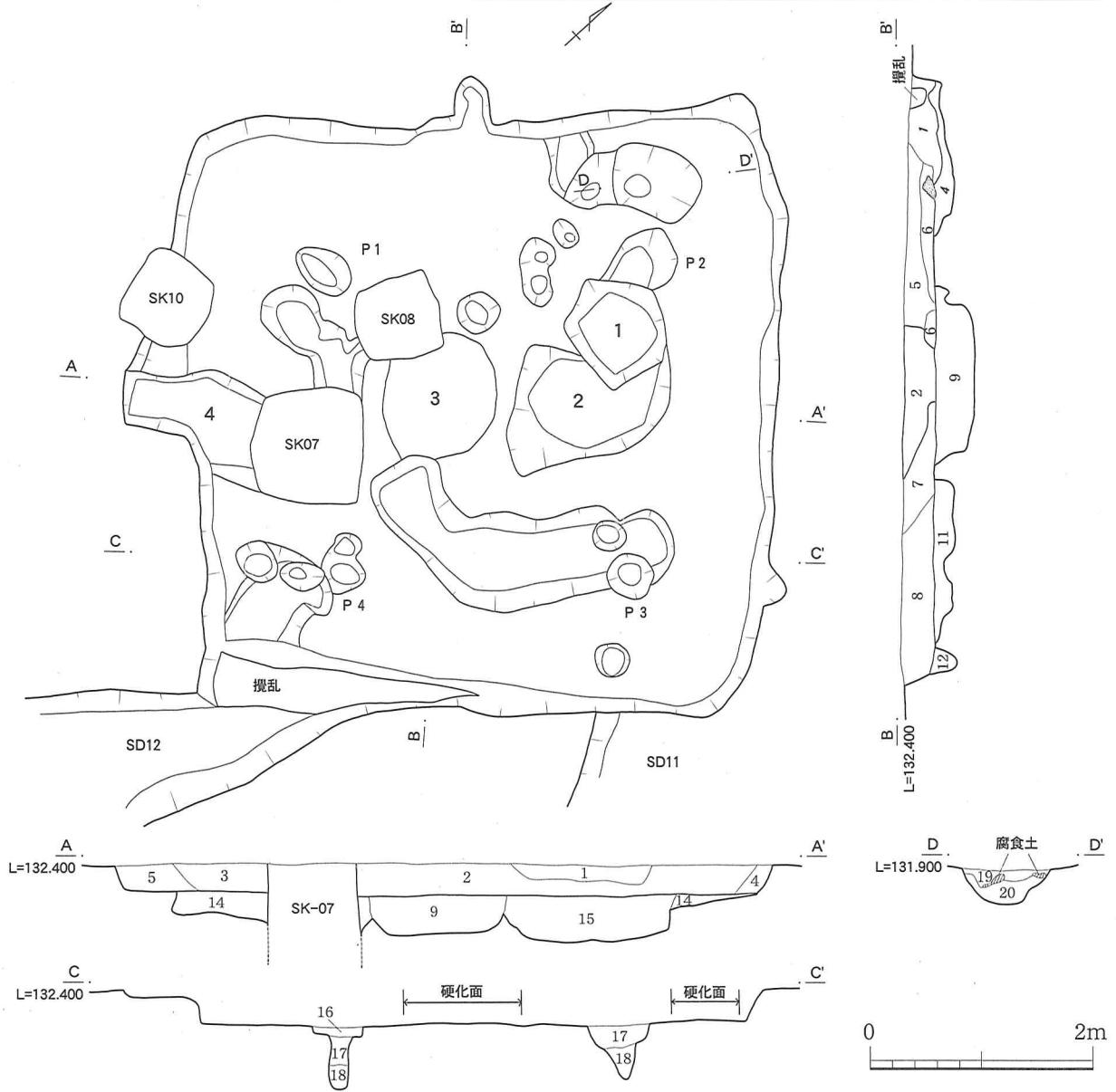
位置 ウ5F0杭付近。規模 東西5.7m×南北5.2m。主軸方向 N-50°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 4基。柱穴 4ヵ所。貯蔵穴 1ヵ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏8, 甕1, 須恵器坏蓋1である。備考 SD11・12を切る。



第152図 SI35遺物平面図

第71表 SI35床下土坑一覧表

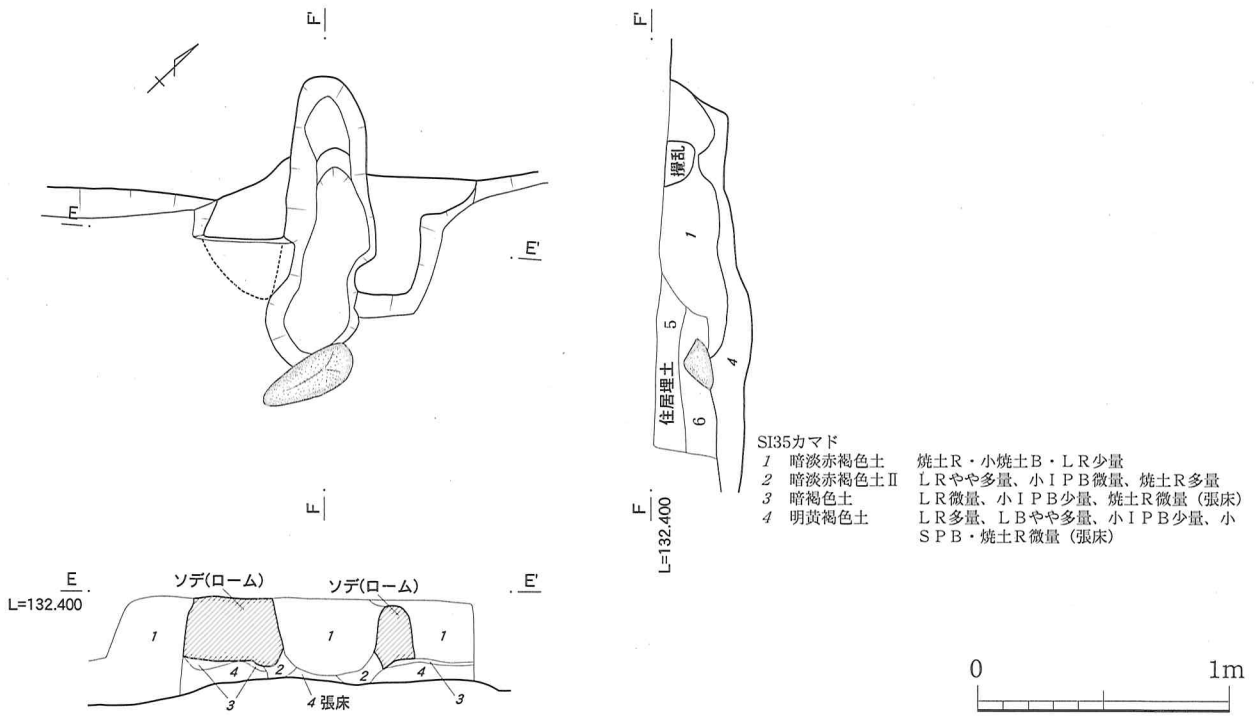
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	0.96	0.85		円形			土坑2と切り合い、土坑1が新しい
2	1.61	0.91	0.40	不整形	ほぼ平坦	ほぼ垂直 大きく開きながら立ち上がる	
3	1.13	1.02	0.25	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	
4	1.28	0.64	0.26	不整形	平坦	オーバーハング	



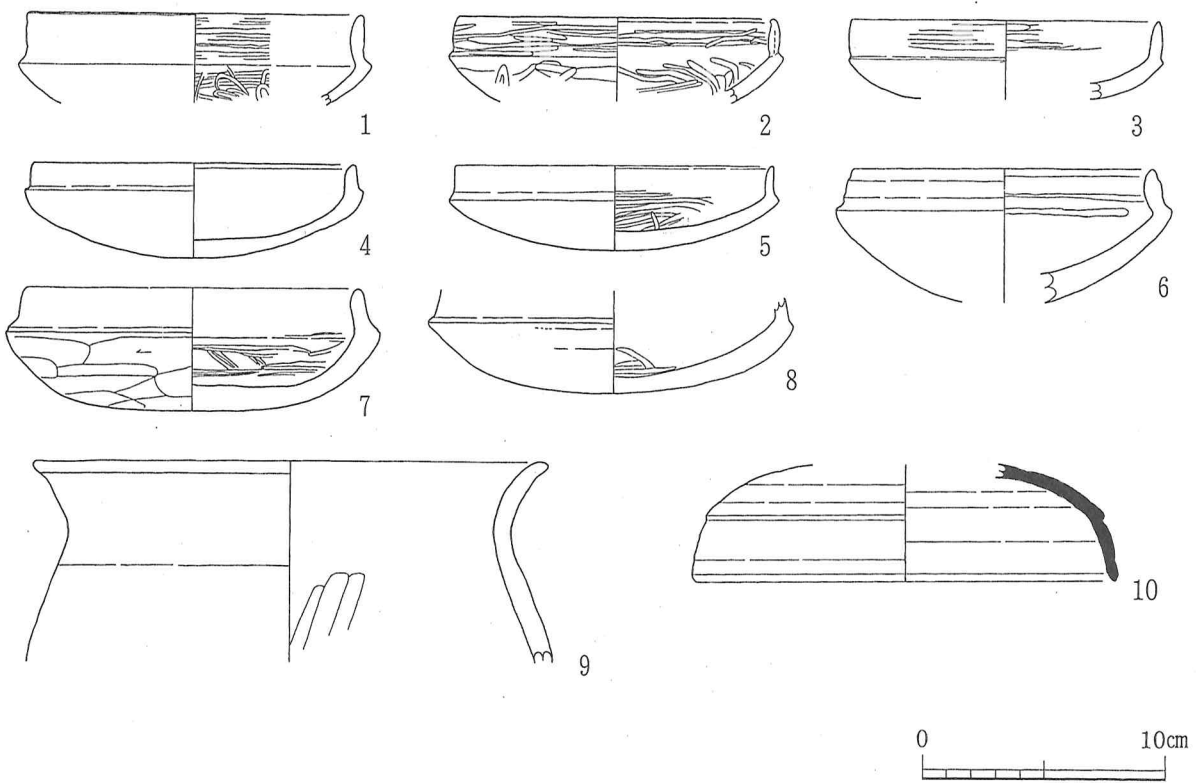
SI35

- | | | | |
|-----------|----------------------------------|-------------|--------------------------------------|
| 1 暗褐色土 | LR少量、小LB微量、小IPB少量 | 11 暗淡橙褐色土 | LR・微小IPB少量、微小SPB微量 |
| 2 淡褐色土 | LR多量、LB微量、小IPB少量、CB微量混入 | 12 淡黄褐色土 | LR多量、微小IPB微量 |
| 3 暗褐色土II | LR少量、小LB微量、小IPB少量、小SPB極微量 | 13 暗褐色土III | LR・小LB・10~15cm大のLB少量、微小SPB微量、微小IPB少量 |
| 4 明淡褐色土 | LR多量、LB・小IPB微量 | 14 暗淡褐色土 | LR・微小IPB少量 |
| 5 褐色土 | LR少量、小LB微量、小IPB少量、小SPB極微量、CB微量混入 | 15 淡黄褐色土II | LR多量、小LB・微小IPB少量 |
| 6 暗黄褐色土 | LR多量、小IPB微量 | 16 暗褐色土IV | LR少量、微小IPB微量(張床) |
| 7 明褐色土 | LRやや多量、LB・小IPB少量、小SPB極微量 | 17 褐色土III | 小LB少量、LR多量、微小IPB微量 |
| 8 褐色土II | LR少量、LB微量、小IPB少量、小SPB微量 | 18 暗黄褐色土 | 小LB・LR多量、小IPB微量 |
| 9 淡黄橙褐色土 | LR多量、小LB少量、微小SPB微量、微小IPB・小IPB少量 | 19 暗淡褐色土II | LR少量、微小IPB・微小SPB極微量 |
| 10 暗淡赤褐色土 | LR多量、微小IPB・焼土R少量 | 20 淡黄橙褐色土II | LR多量、小LB微量、微小IPB少量、微小SPB極微量、柔らかく緩んだ層 |

第153図 SI35平・断面図



第154図 SI35カマド平・断面図



第155図 SI35出土遺物実測図

第72表 SI35土器観察表

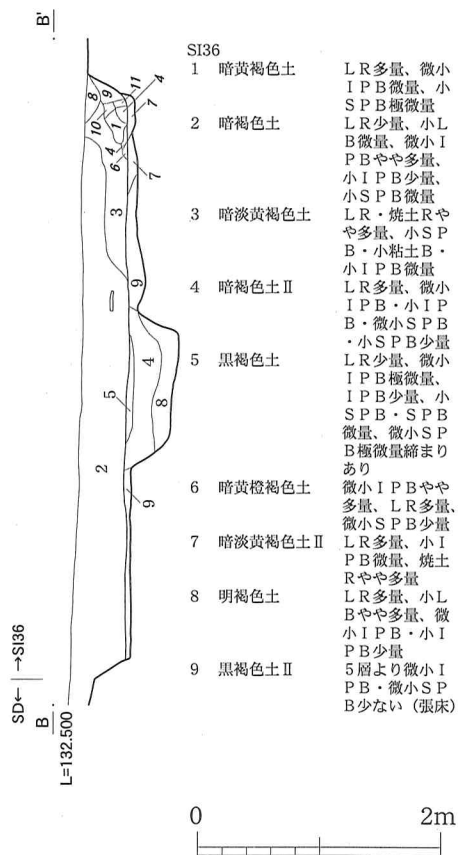
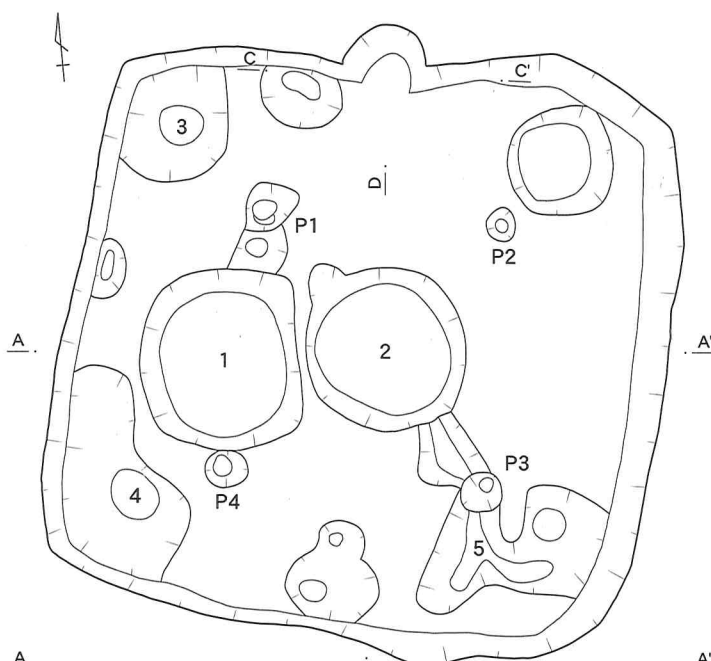
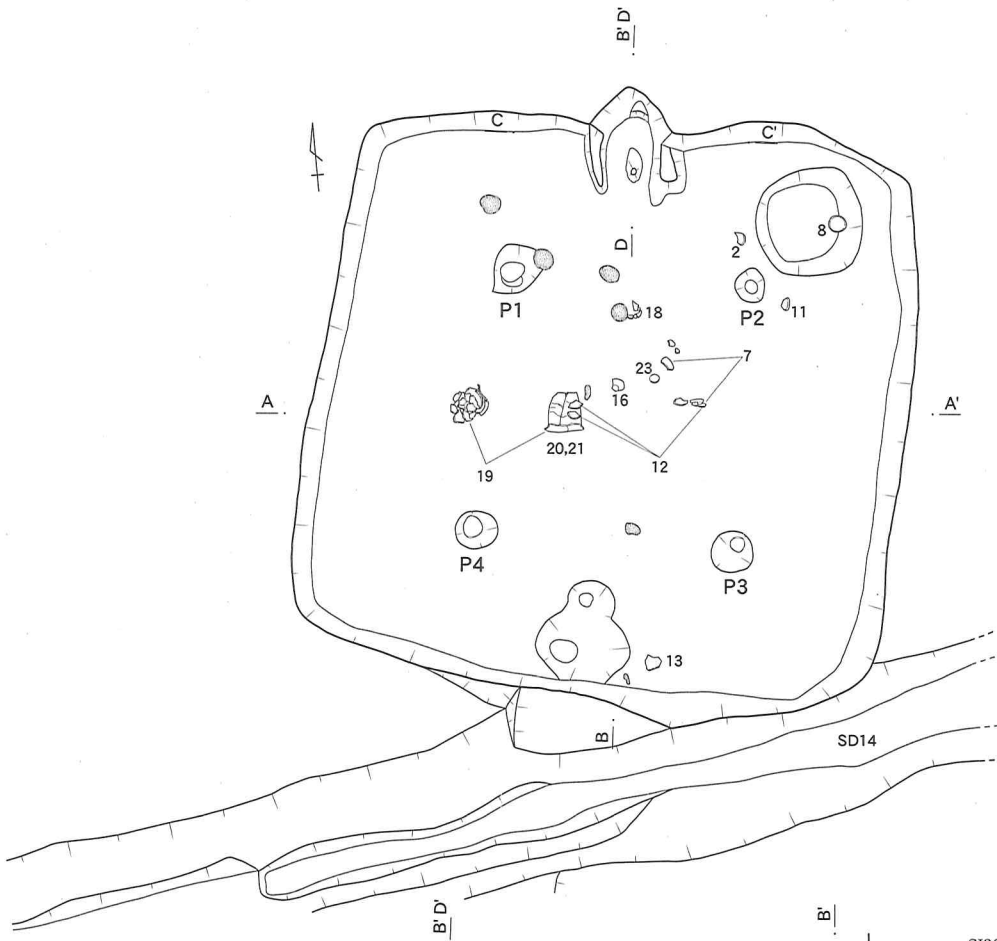
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 (3.6)	A 透明細砂粒 白色 細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。	体部内面横方向のヘラ磨き後 不定方向のヘラ磨き、口縁部 内面横方向のヘラ磨き。	1/9	埋土	内面黒色処理 剥離 摩耗
2	土師器 坏	口径 (12.8) 器高 (3.4)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立 し、端部内面に稜 を有する。体部外 面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨 き、口縁部横方向のヘラ磨 き、体部外面ナデ後ヘラ削 り、一定方向のヘラ磨き。	1/6	埋土	黒斑
3	土師器 坏	口径 (12.6) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。	口縁部横方向のヘラ磨き、体 部内外面一定方向のヘラ磨 き。	1/7	埋土	
4	土師器 坏	口径 (13.0) 器高 3.8	A 赤色細砂粒 (鉄 粒)。白色細砂粒を 含む。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部はやや 短く直立し、端部 内面に稜を有す る。体部外面に稜 を有する。丸底。	体部内面ナデ。口縁部から体 部内面にかけて横ナデ、体部 外面ヘラナデ。	1/5	床直No.4	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (12.9) 器高 3.4	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立 し、体部外面に稜 を有する。丸底。	体部内面不定方向のヘラ磨 き、口縁部内面横方向のヘラ 磨き、体部外面ヘラナデ。	1/5	埋土	漆仕上げ
6	土師器 坏	口径 (12.2) 器高 (5.4)	A 黒色細砂粒。赤色 砂粒 (鉄粒) を含 む。 焼成やや良好	淡褐色	D: 口縁部は内傾 し、端部内面に稜 を有する。体部外 面に稜を有する。 丸底。	口縁部横ナデ後内面横方向の ヘラ磨き、外面下端に5 ^{mm} 幅 の工具による強いヘラナデ。	1/2	埋土	剥離 摩耗
7	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 5.0	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒 透明細砂粒。 白色砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は内傾 し、体部外面に稜 を有する。丸底。	体部内面ナデ後口縁部から体 部内面にかけて横ナデ、体部 内面一定方向のヘラ磨き、体 部外面ヘラ削り。	9/10	床直No.6	漆仕上げ 付 着物 摩耗
8	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒を含 む。 焼成良好	暗褐色	D: 体部外面に稜 を有する。丸底。	体部内面ナデ。口縁部から体 部内面にかけて横ナデ、体部 内面一定方向のヘラ磨き、体 部外面ヘラ削り。	4/5	床直No.5	輪積痕 漆仕 上げ 剥離
9	土師器 甕	口径 (20.0) 器高 (8.1)	B 半透明砂粒 黒色 砂粒。白色砂粒を含 む。 焼成良好	乳白色	C1: 口縁部は外 湾し、端部外面に 稜を有する。	胴部外面ヘラナデ後口縁部横 ナデ。	口縁部 の1/8	埋土	摩耗
10	須恵器 坏蓋	口径 (17.2) 器高 (4.7)	A 白色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	青灰色	口縁端部は内傾 し、外面に稜を有 し、丸みを持ち天 井部に至る。	ロクロナデ。	1/12	埋土	ロクロ成形

SI36

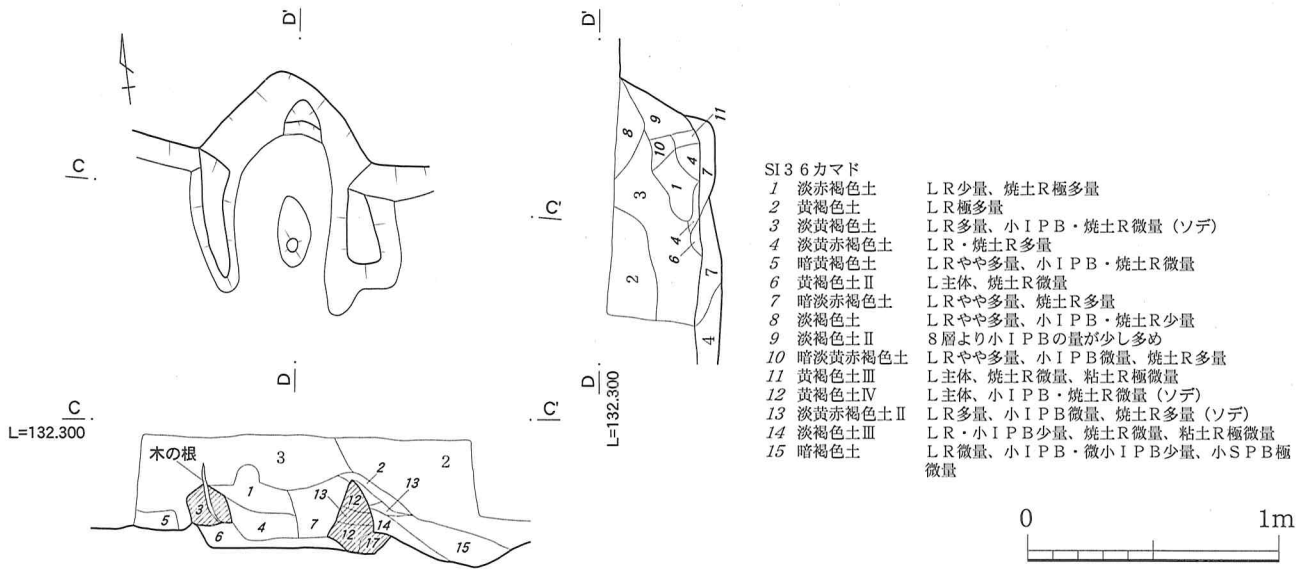
位置 ウ9E6杭付近。規模 東西4.8m×南北4.6m。主軸方向 N-8°-E 床面 平坦。壁 壁面はや
や開きながら立ち上がる。床下土坑 5基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺
物は、土師器坏12、高坏4、鉢1、甕2、甗2、ミニチュア土器1、台付甕1、須恵器提瓶破片1である。備考 SD14
を切る。南壁中央にピット。

第73表 SI36床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.60	1.31	0.35	円形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	
2	1.64	1.30	0.36	円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	
3	1.14	0.84	-	円形			
4	1.85	0.90	-	不整形			
5	1.70	0.35	-	不整形			

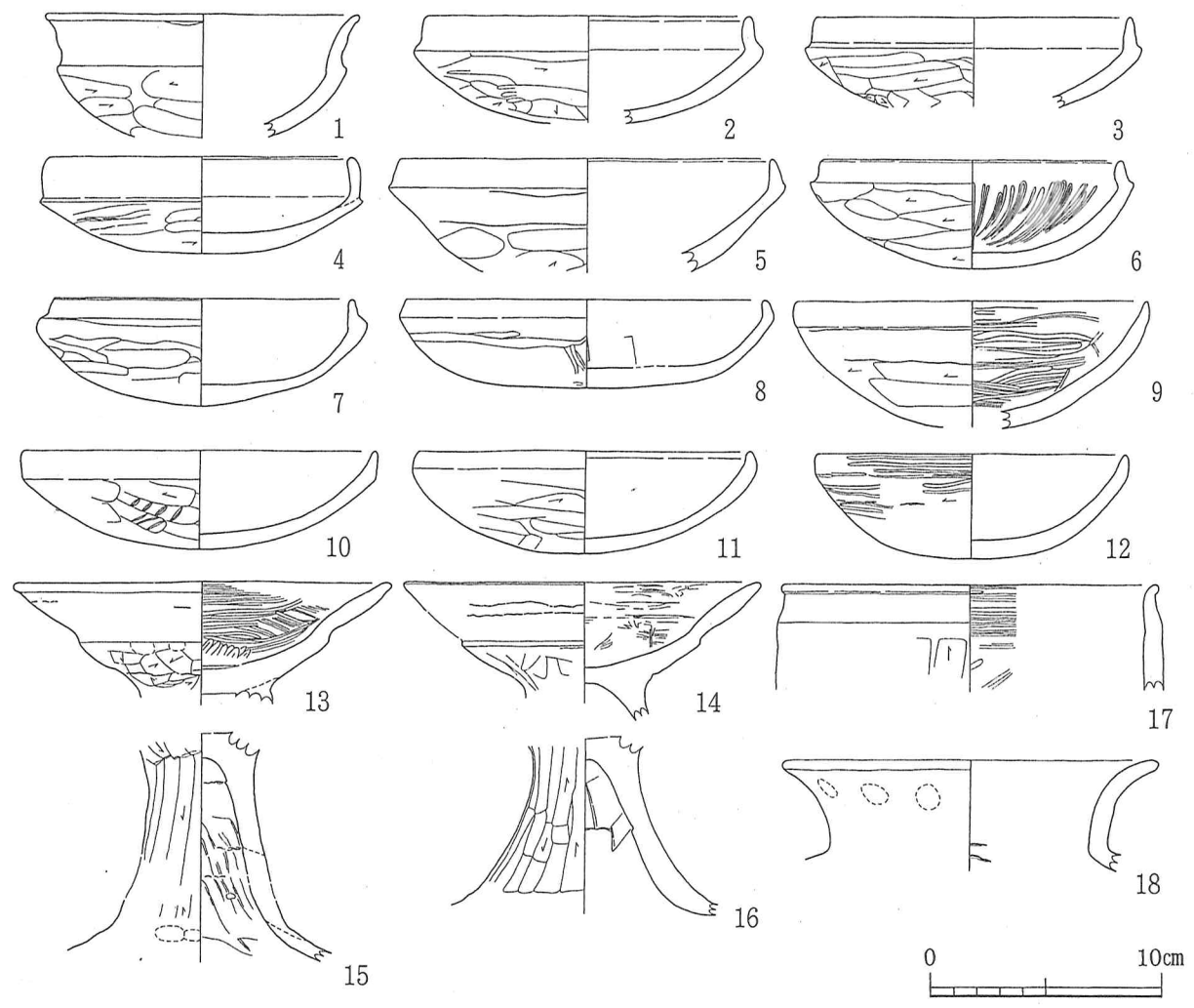


第156図 SI36平・断・遺物平面図

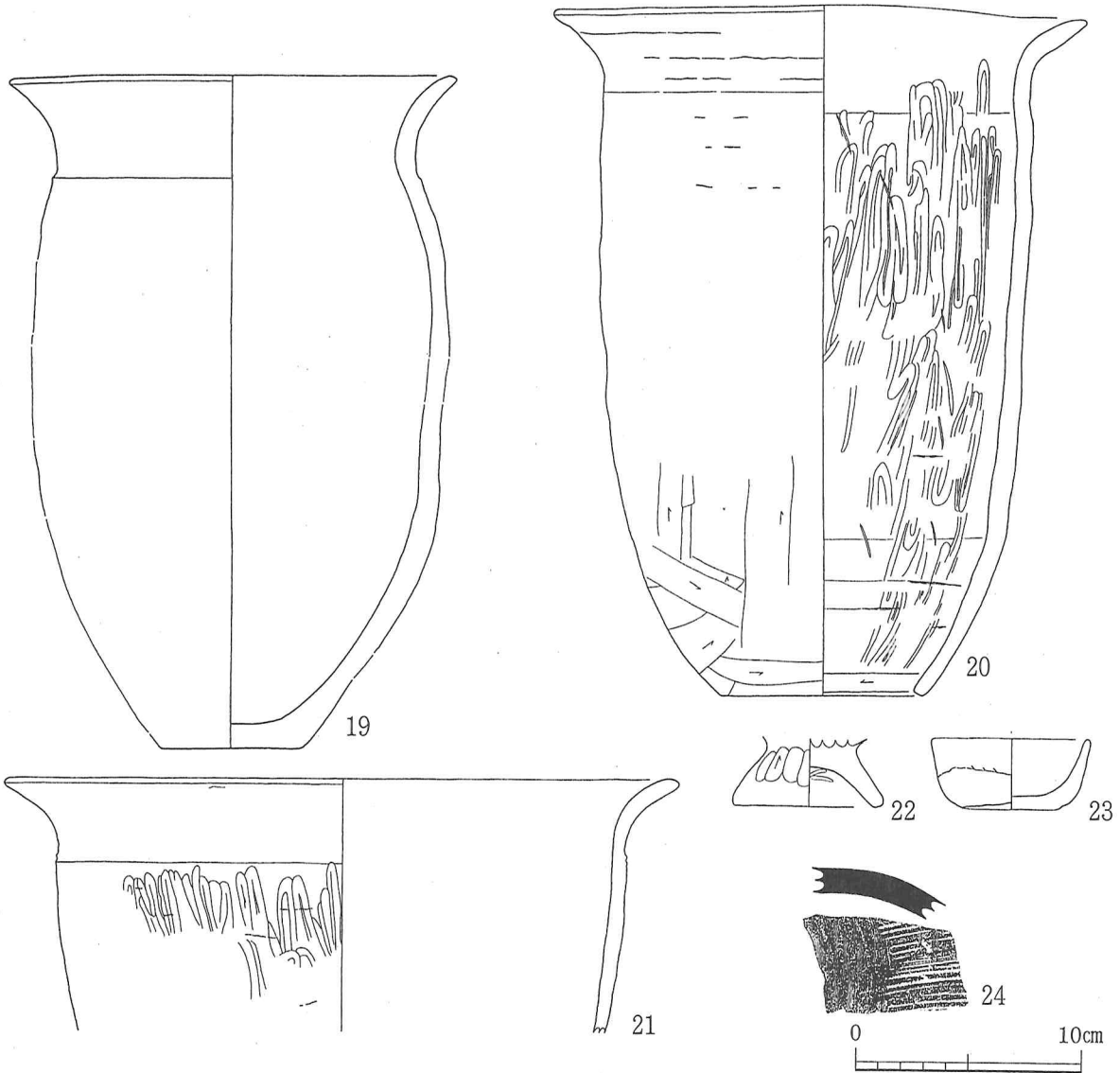


- SI36カマド
- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 淡赤褐色土 | LR少量、焼土R極多量 |
| 2 黄褐色土 | LR極多量 |
| 3 淡黄褐色土 | LR多量、小IPB・焼土R微量(ソデ) |
| 4 淡黄赤褐色土 | LR・焼土R多量 |
| 5 暗黄褐色土 | LRやや多量、小IPB・焼土R微量 |
| 6 黄褐色土II | L主体、焼土R微量 |
| 7 暗黄赤褐色土 | LRやや多量、焼土R多量 |
| 8 淡褐色土 | LRやや多量、小IPB・焼土R少量 |
| 9 淡褐色土II | 8層より小IPBの量が少し多め |
| 10 暗黄赤褐色土 | LRやや多量、小IPB微量、焼土R多量 |
| 11 黄褐色土III | L主体、焼土R微量、粘土R極微量 |
| 12 黄褐色土IV | L主体、小IPB・焼土R微量(ソデ) |
| 13 淡黄赤褐色土II | LR多量、小IPB微量、焼土R多量(ソデ) |
| 14 淡褐色土III | LR・小IPB少量、焼土R微量、粘土R極微量 |
| 15 暗褐色土 | LR微量、小IPB・微小IPB少量、小SPB極微量 |

第157図 SI36カマド平・断面図



第158図 SI36出土遺物実測図(1)



第159図 SI36出土遺物実測図(2)

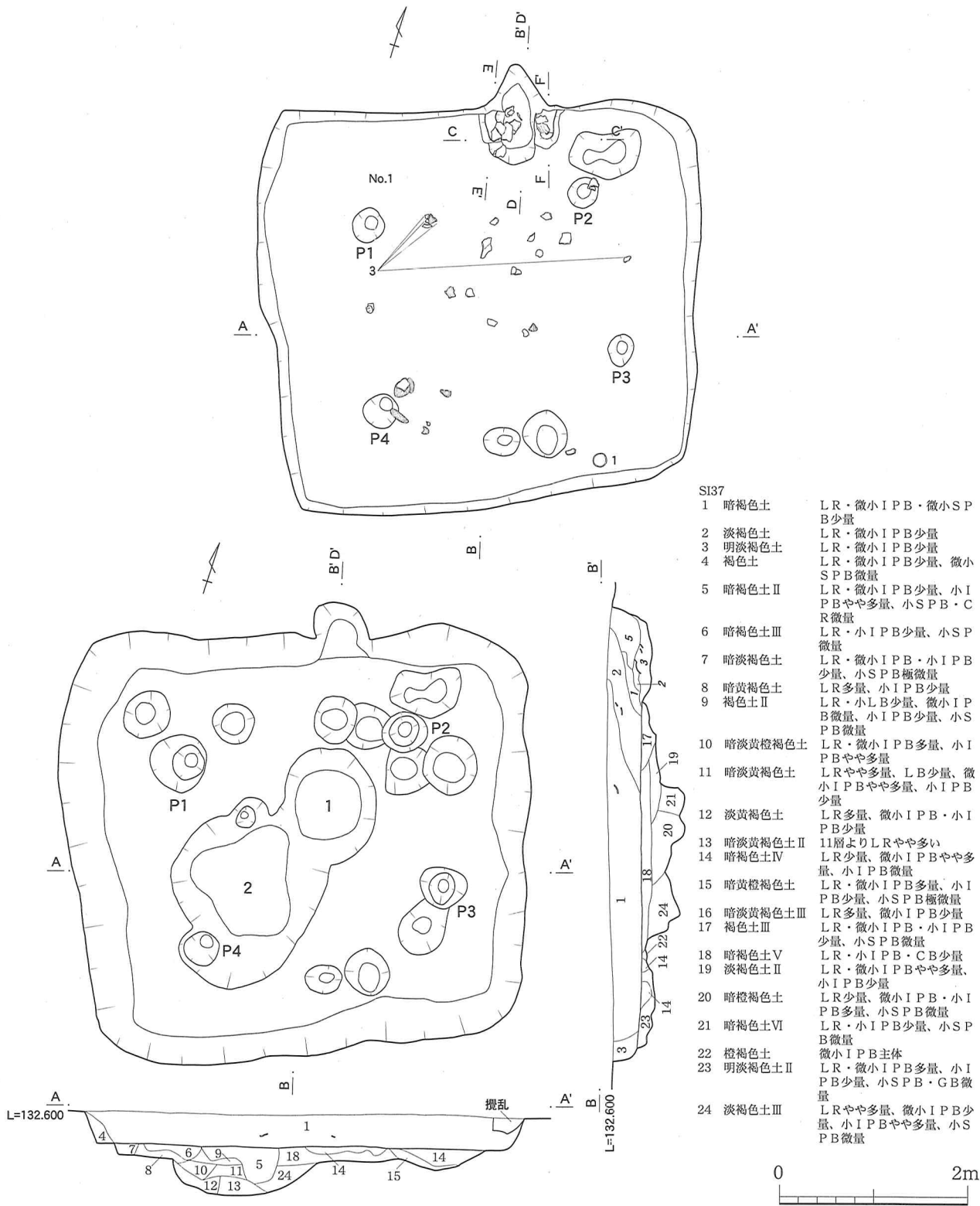
第74表 SI36土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.1) 器高 (5.2)	A 赤色砂粒 (鉄粒)。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A：口縁部は大きく外反し，端部外面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ，体部外面へラ削り。	1/5	埋土	漆付着
2	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (4.5)	A 白色細砂粒。 焼成良好	黒褐色	C：口縁部は内傾後直立し，体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ後口縁部から体部内面にかけて横ナデ，体部外面へラ削り。	1/2	床直No. 3	漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C：口縁部は直立し，体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ後口縁部から体部内面にかけて横ナデ，口縁部外面下端に5 ^{mm} 幅の工具による強いへラナデ，体部外面へラ削り。	1/5	埋土	漆付着
4	土師器 坏	口径 (12.6) 器高 4.1	A 白色砂粒 白色細砂粒。黒色砂粒を含む。 焼成良好	内：黒色 外：褐色	D：口縁部は内傾し，端部内面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面へラナデ，口縁部横ナデ，体部外面へラ削り後一定方向のへラ磨き。	1/3	埋土	輪積痕 内面黒色処理
5	土師器 坏	口径 (15.8) 器高 (4.8)	A 黒色砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	D：口縁部は内傾し，体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ，口縁部から体部内面にかけて横ナデ，体部外面ナデ後へラ削り。	1/3	埋土	輪積痕
6	土師器 坏	口径 13.0 器高 4.6	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	D：口縁部は短く内傾し，体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後体部内面に放射状のへラ磨き，体部外面へラ削り。	9/10	埋土	黒斑

7	土師器 坏	口径 器高	12.5 4.6	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	褐色	D：口縁部は短く内 傾し、体部外面に稜 を有する。丸底。	体部内面ナデ後口縁部か ら体部内面にかけて横ナ デ、体部外面ヘラ削り。	ほぼ完 形	床直 No. 6, 7	漆仕上げ
8	土師器 坏	口径 器高	15.1 3.8	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は短く内 傾し、体部外面に弱 い稜を有する。	体部内面ナデ後口縁部か ら体部内面にかけて横ナ デ、体部外面ナデ後ヘラ 削り、ヘラ磨き。	ほぼ完 形	床直No. 1	剥離 漆付 着
9	土師器 坏	口径 器高	15.2 (5.5)	A 白色細砂粒 白色 砂粒。透明細砂粒を 含む。 焼成良好	褐色	E：口縁部は短く直 立し、体部外面に弱 い稜を有する。丸 底。	体部内面一定方向のヘラ 磨き、口縁部内面横方向 のヘラ磨き、体部外面ヘ ラ削り。	4/5	埋土	輪積痕 漆 仕上げ
10	土師器 坏	口径 器高	14.8 4.2	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く直 立し、体部外面に弱 い稜を有する。丸 底。	体部内面ナデ後口縁部か ら体部内面にかけて横ナ デ、体部外面ヘラ削り。	2/3	埋土	
11	土師器 坏	口径 器高	14.0 4.3	A 白色細砂粒を含 む。 焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く内 傾し、体部外面に弱 い稜を有する。丸 底。	体部内面ナデ後口縁部か ら体部内面にかけて横ナ デ、体部外面ヘラ削り。	4/5	床直No. 2	剥離痕 黒 斑
12	土師器 坏	口径 器高	(13.4) 4.4	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。透明細砂粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く直 立し、体部外面に弱 い稜を有する。丸 底。	体部内面一定方向のヘラ 磨き、口縁部横方向のヘ ラ磨き、体部外面ヘラ削 り後一定方向のヘラ磨 き。	3/4	床直 No. 7, 11	輪積痕 黒 斑 剥離
13	土師器 高坏	口径 器高	15.6 (5.2)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。赤色砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	不明:口縁部は大き く外傾し、体部外面 に稜を有する。	坏底部外面ヘラ削り後口 縁部横ナデ、口縁部内面 横方向のヘラ磨き、坏底 部一定方向のヘラ磨き。	坏部	床直No. 14	輪積痕 内 面黒色処 理
14	土師器 高坏	口径 器高	15.0 (5.9)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	不明:口縁部は大き く外傾し、体部外面 に稜を有する。	坏底部外面ヘラ削り後口 縁部横ナデ、口縁部内面 横方向のヘラ磨き、坏底 部一定方向のヘラ磨き。	坏部の 4/5	床下	輪積痕 内 面黒色処 理
15	土師器 高坏	器高	(9.7)	A 白色細砂粒 黒色 砂粒。白色砂粒を含 む。 焼成良好	赤褐色	B2：脚部はやや長 く、裾部は「ハ」の 字状に開く。	脚部外面ヘラ削り、裾部 外面横ナデ。	脚部	埋土	指押さえ
16	土師器 高坏	器高	(7.5)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	B2：脚部はやや長 く、裾部は「ハ」の 字状に開く。	脚部外面ヘラ削り、裾部 外面横ナデ。	坏底部 ～裾部	床直No. 10	
17	土師器 鉢	口径 器高	(16.2) (4.5)	A 白色細砂粒を含 む。 焼成良好	内:黒色 外:褐色	不明:口縁部は内傾 し、端部をつまみ上 げ、端部外面に稜を 有する。体部は直線 的。	体部外面ヘラ削り後ヘラ ナデ、口縁部内外面横ナ デ後ヘラ磨き、体部内面 不定方向のヘラ磨き。	口縁部 の1/10 ～体部 上半一 部	埋土	内面黒色 処理
18	土師器 甕	口径 器高	15.8 (4.7)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	乳白色	B：口縁部は直立後 外湾し、端部外面に 稜を有する。	口縁部横ナデ。	口縁部 の9/10	床直No. 4	輪積痕 指 押さえ
19	土師器 甕	口径 底径 器高	19.0 6.2 29.4	B 黒色砂粒 白色砂 粒。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は外湾 し、頸部外面下端に 稜を有する。長胴。 平底。		5/6	床直 No. 12, 13	剥離 摩耗 付着物
20	土師器 瓶	口径 底径 器高	23.4 8.9 30.2	A 黒色砂粒 白色砂 粒。赤色砂粒(鉄 粒)を含む。 焼成良好	赤褐色	C：口縁部は大きく 外湾し、端部外面に 稜を有する。体部は すぼまる。	口縁部横ナデ、胴部内外 面ヘラナデ後口縁部から 胴部内面にかけてヘラ磨 き、外面下半縦方向のヘ ラ削り、底部内外面付近 横方向のヘラ削り。	9/10	床直No. 12	筒抜け 輪 積痕 黒斑 煤付着 粘 土付着
21	土師器 瓶	口径 器高	(28.8) (11.0)	A 黒色細砂粒 赤色 細砂粒(鉄粒)。 焼成良好	乳白色	C：口縁部は外湾 し、頸部外面下端に 稜を有する。胴部は すぼまる。	胴部外面ヘラナデ後ヘラ 磨き、口縁部から胴部内 面にかけて横方向のヘラ 磨き、口縁部外面下端に2 ミリの幅の工具による強いヘ ラナデ。	口縁部 の1/8 ～胴部 上半一 部	床直No. 12	輪積痕 剥 離 黒斑
22	土師器 台付甕	底径 器高	6.3 (3.0)	A 白色砂粒 黒色細 砂粒。 焼成良好	橙褐色	裾部は内湾する。	脚台部内外面ヘラナデ。	脚台部	埋土	
23	土師器 ミニ チュア 土器	口径 底径 器高	6.9 4.4 3.1	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C：体部から口縁部 にかけて外傾する。 平底。	口縁部から体部内面にか けてヘラナデ、体部外面 ナデ。	5/6	床直No. 9	輪積痕 黒 斑
24	須恵器 提瓶			A 白色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	灰色		ロクロナデ、体部外面に 櫛状工具の縦位沈線群。	破片	埋土	ロクロ成 形

SI37

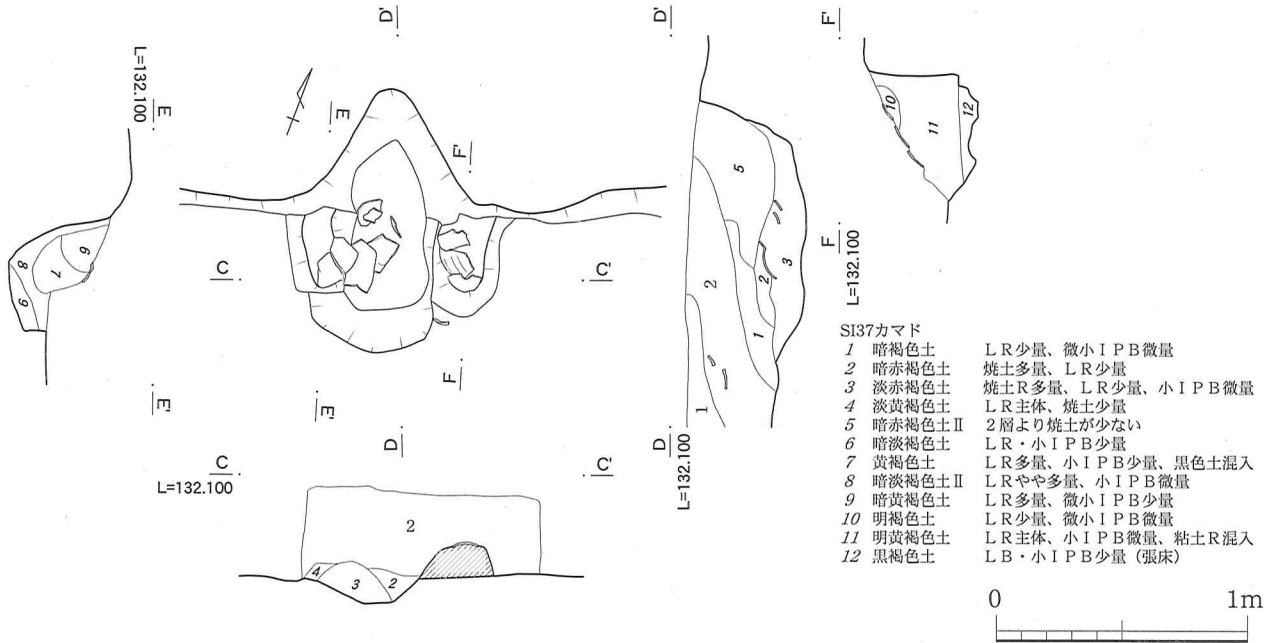
位置 エ2E7杭付近。規模 東西4.6m×南北4.2m。主軸方向 N-20°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開ながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏1, 甕1, 須恵器甕1である。



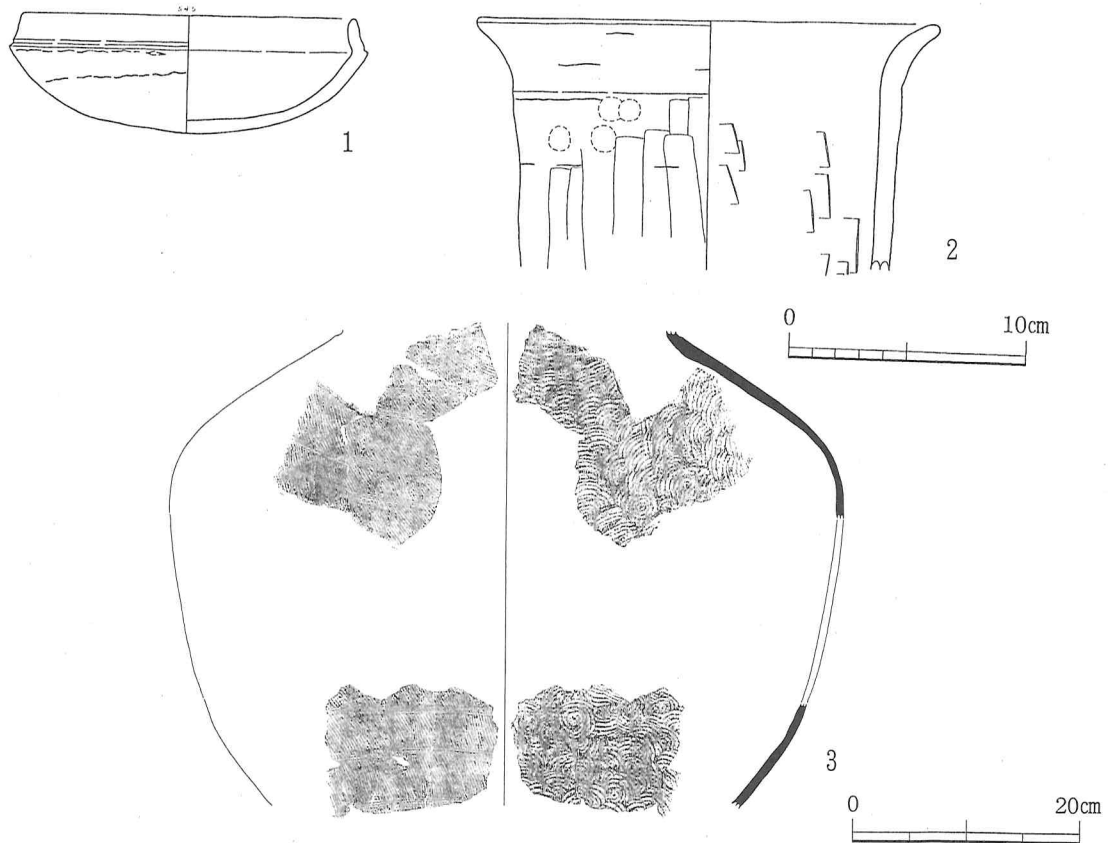
第160図 SI37平・断・遺物平面図

第75表 SI37床下土坑一覽表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.24	0.79	0.35	円形	丸	大きく開きながら立ち上がる	土坑2と重複、土坑1が新しい
2	1.55	1.20	0.20	不整形	平坦	大きく開きながら立ち上がる	



第161図 SI37カマド平・断・遺物平面図

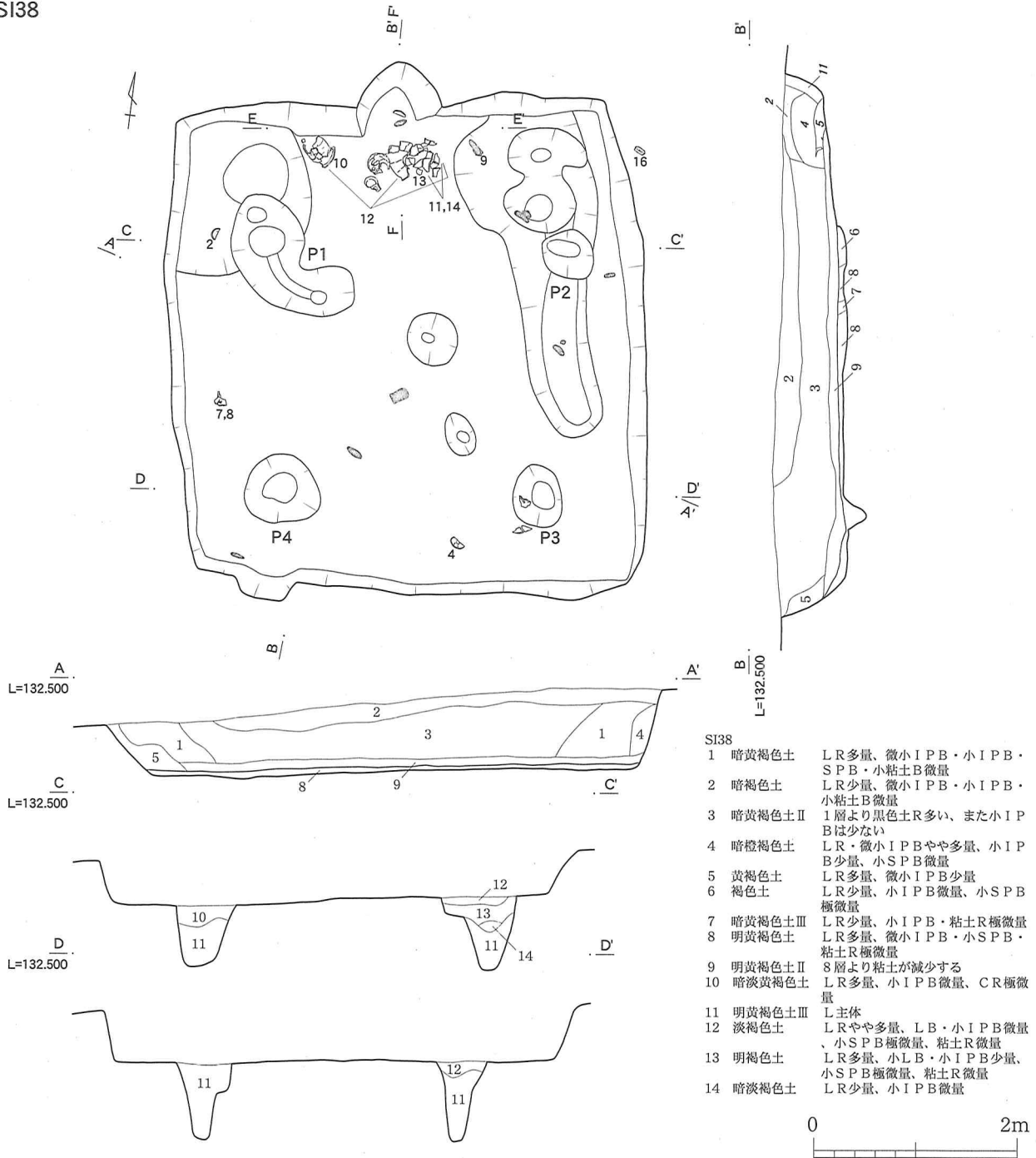


第162図 SI37出土遺物実測図

第76表 SI37土器観察表

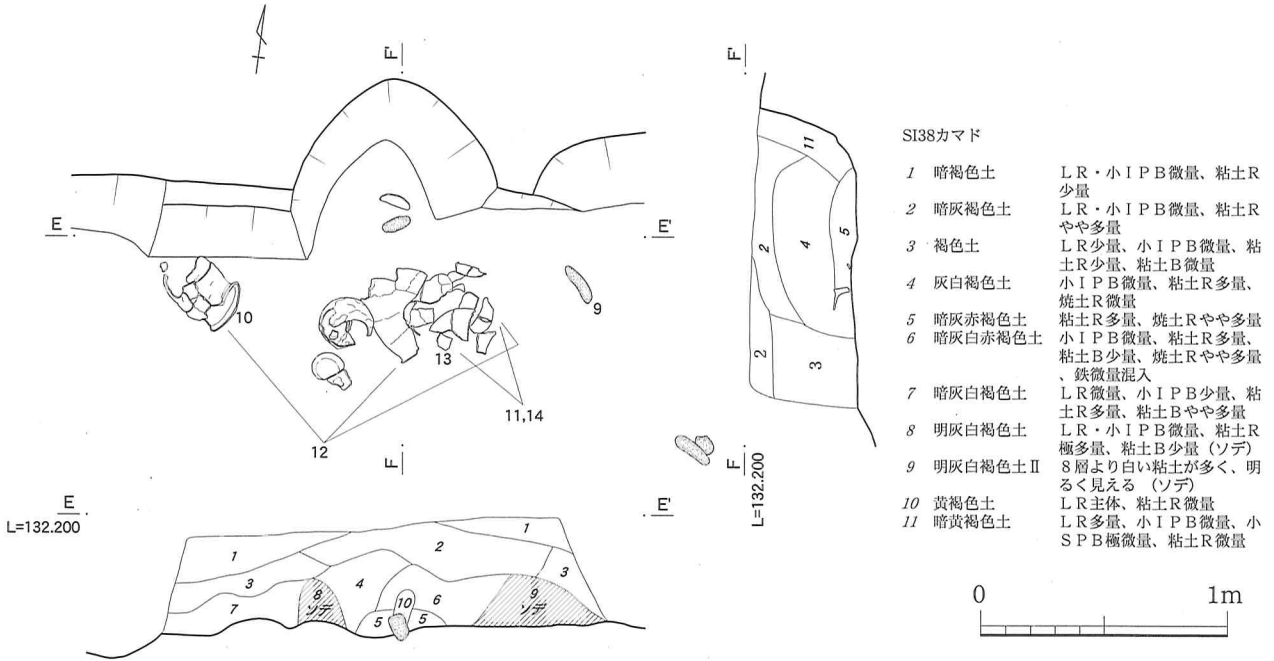
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 13.6 器高 4.8	A 黒色細砂粒 白色 砂粒。焼成良好	淡褐色	D：口縁部は内傾 し、体部外面に稜 を有する。丸底。	体部外面ヘラ削り後ヘラナ デ、口縁部から体部内面にか けて横ナデ、口縁部外面下端 に3°幅の工具による強いヘ ラナデ。	ほぼ完 形	床直No.12	輪積痕 黒斑
2	土師器 甕	口径 (19.2) 器高 (10.2)	A 黒色砂粒 白色砂 粒。2~5°大粗粒を 含む。焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外湾 的、胴部は直線 的。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面 ヘラ削り、口縁部横ナデ。	口縁部 の1/4~ 胴部上 半一部	竈	輪積痕 剥離 指押さえ
3	須志器 甕	器高 [29.7]	A 白色細砂粒 白色 粗砂粒。赤色粗砂粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	青灰色	胴部上半に最大径 を持つ。	ロクロナデ、胴部内面同心円 の叩き、胴部外面平行叩き後 カキ目。	胴部一 部	床直 No.2,3,7,9 竈	ロクロ成形 カキ目

SI38

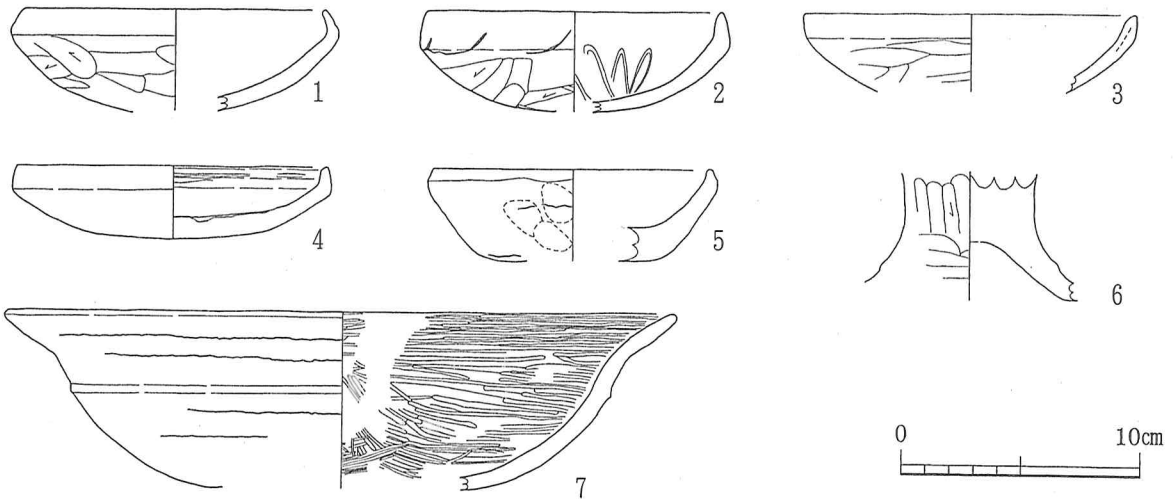


第163図 SI38平・断・遺物平面図

位置 ウ5E7杭付近。規模 東西4.6m×南北4.7m。主軸方向 N-10°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4, 手捏土器1, 高坏1, 鉢1, 甕8, 須恵器壺1である。



第164図 SI38カマド平・断・遺物平面図

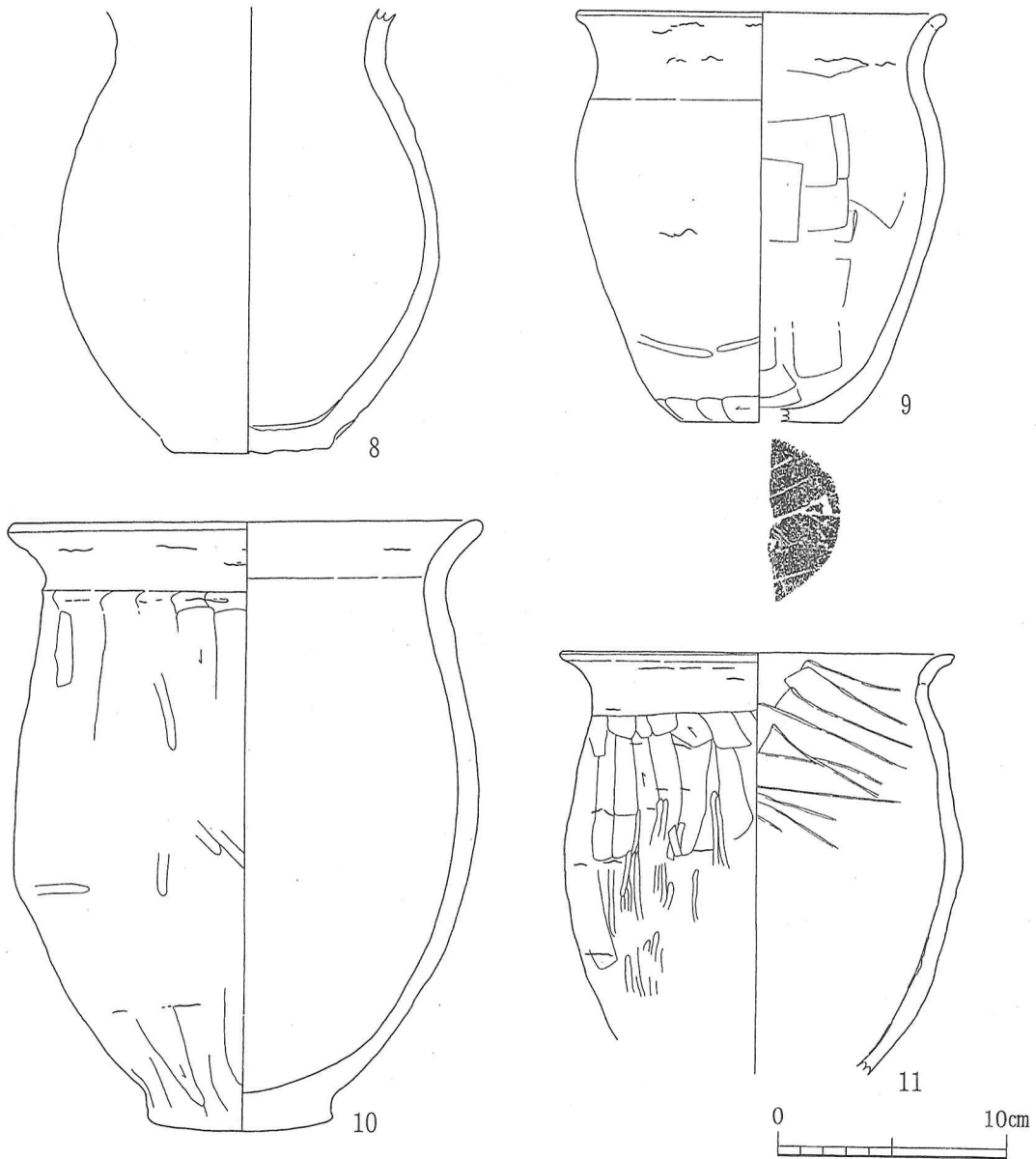


第165図 SI38出土遺物実測図(1)

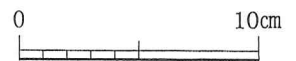
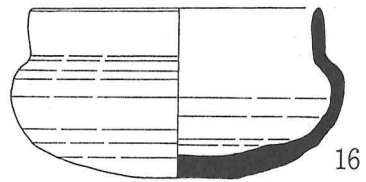
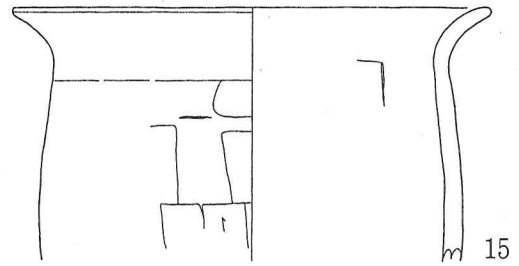
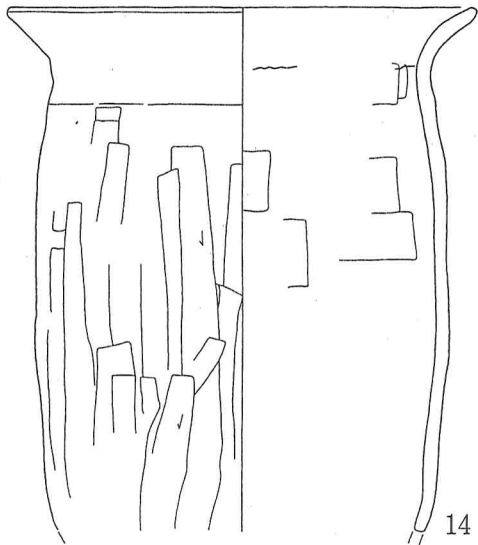
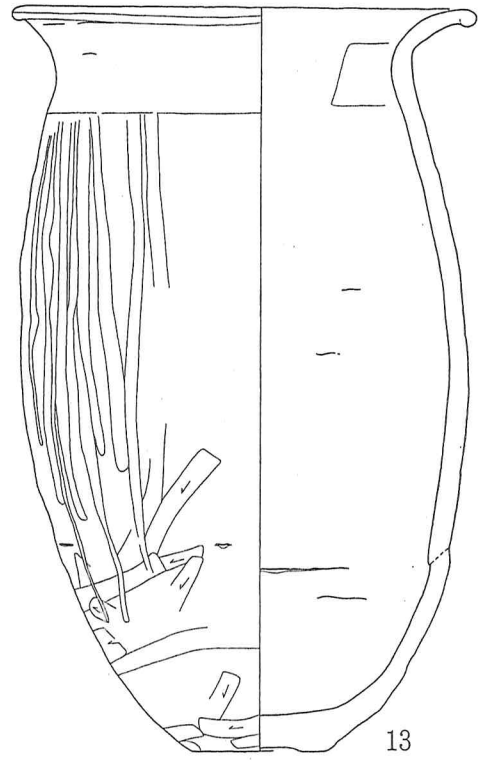
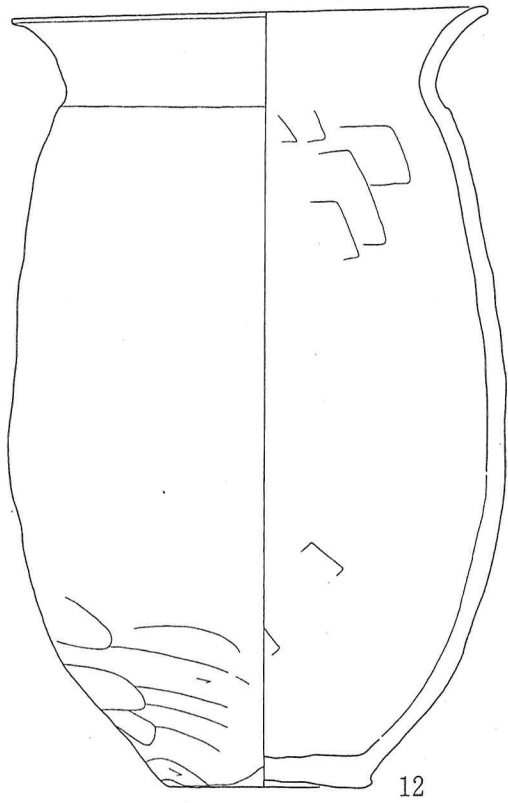
第77表 SI38土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (12.2) 器高 (4.2)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色砂粒(二次)(鉄粒)を含む。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は短く内傾し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面へラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/3	埋土	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (12.2) 器高 (4.2)	A 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成やや良好	淡褐色	E: 小ぶりで口縁部は直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部内面放射状のへラ磨き、体部外面ナデ後へラ削り。	1/2	床直No.1	輪積痕 漆仕上げ 剥離 摩耗 指押さえ
3	土師器 坏	口径 (13.8) 器高 (3.2)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	暗褐色	E: 口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。	体部外面へラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/5	埋土	輪積痕 漆付着

4	土師器 坏	口径 12.6 器高 3.0	A 白色砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	E:口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後口縁部内面横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	2/3	床直No.3	剥離
5	土師器 手捏土器	口径 (11.6) 底径 (7.2) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色細砂粒(二次)を含む。焼成良好	褐色	口縁部は短く直立する。底部は厚手。平底。	体部内外面ナデ、口縁部横ナデ。	1/3	埋土	輪積痕 指押さえ 歪み有り。
6	土師器 高坏	器高 (5.2)	A 黒色細砂粒 黒色砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	淡褐色	A1:脚部は短く、裾部は「八」の字状に開く。	脚部外面ヘラ削り、裾部外面ヘラナデ。	脚部の1/5	埋土	
7	土師器 鉢	口径 (27.4) 器高 (7.3)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	C:口縁部は大きく外湾し、体部外面に稜を有する。体部は丸みを持つ。	口縁部横ナデ、体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部内面横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後ヘラ削り。	1/3	床直No.2	輪積痕 内面黒色処理



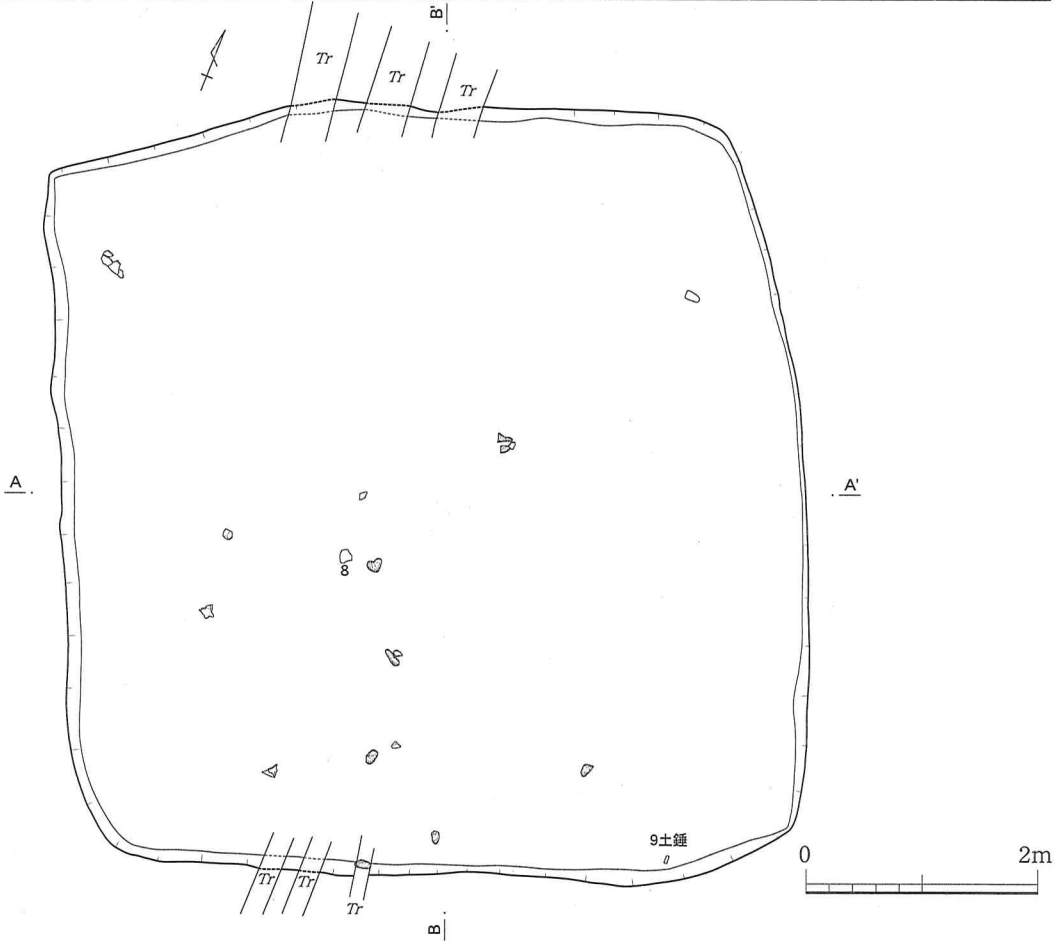
第166図 SI38出土遺物実測図(2)



第167图 SI38出土遺物実測図(3)

8	土師器 小型甕	底径 6.8 器高 (19.1)	A 白色砂粒 黑色砂粒。 焼成良好	橙褐色	A：胴部は球形。 平底。		3/4	床直No.2	摩耗 剥離
9	土師器 小型甕	口径 (15.5) 底径 (7.0) 器高 17.6	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1：小型。口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。胴部上半に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ後一部ヘラ磨き、底部外面付近横方向のヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	床直No.6 竈	輪積痕 黒斑 別作り 木葉痕
10	土師器 甕	口径 19.6 底径 7.8 器高 26.2	A 白色砂粒 黑色砂粒 赤色粗粒 (鉄粒)。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は外傾し、端部外面、頸部外面下端に稜を有する。胴部は丸みを持つ。平底。	胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	ほぼ完形	竈No.1	輪積痕 別作り 煤付着 付着物 摩耗 剥離
11	土師器 甕	口径 16.8 器高 (18.0)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。赤色粗粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	淡褐色	C1：口縁部は外湾し、端部外面に稜を有する。胴部は中位に最大径を持つ。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	5/6	竈No.4,6	輪積痕 剥離 煤付着
12	土師器 甕	口径 19.3 底径 8.3 器高 32.1	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 白色砂粒。2~8 ^μ 大粗粒 (鉄粒) を含む。 焼成良好	淡褐色	C1：口縁部は薄手で外湾し、頸部外面下端に稜を有する。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後半横方向のヘラ削り、口縁部横ナデ、頸部1/4幅の強いナデ。	9/10	竈No.1,3,6	剥離 黒斑
13	土師器 甕	口径 18.5 底径 5.6 器高 30.8	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。2~6 ^μ 大粗粒を含む。 焼成良好	褐色	C1：口縁部は「く」の字を呈し、端部は巻き込むように仕上げる。長胴。凹底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラナデ後ヘラ削り、ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	9/10	竈No.4	輪積痕 別作り 付着物 剥離 黒斑
14	土師器 甕	口径 19.2 器高 (21.5)	A 白色細砂粒。2~5 ^μ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外湾する。長胴。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後口縁部横ナデ。	2/3	竈No.4,6	輪積痕 煤付着
15	土師器 甕	口径 (19.8) 器高 (10.5)	A 白色砂粒。2~4 ^μ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は外湾し、胴部は直線的。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ヘラ削り後口縁部横ナデ。	口縁部の1/4~胴部上半一部	埋土	輪積痕
16	須恵器 壺	口径 12.0 器高 7.0	A 白色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	灰色	口縁部は直立する。体部は楕円形。	ロクロナデ、底部外面ヘラ削り。	ほぼ完形	竈No.7	自然釉付着 ロクロ成形

SI39

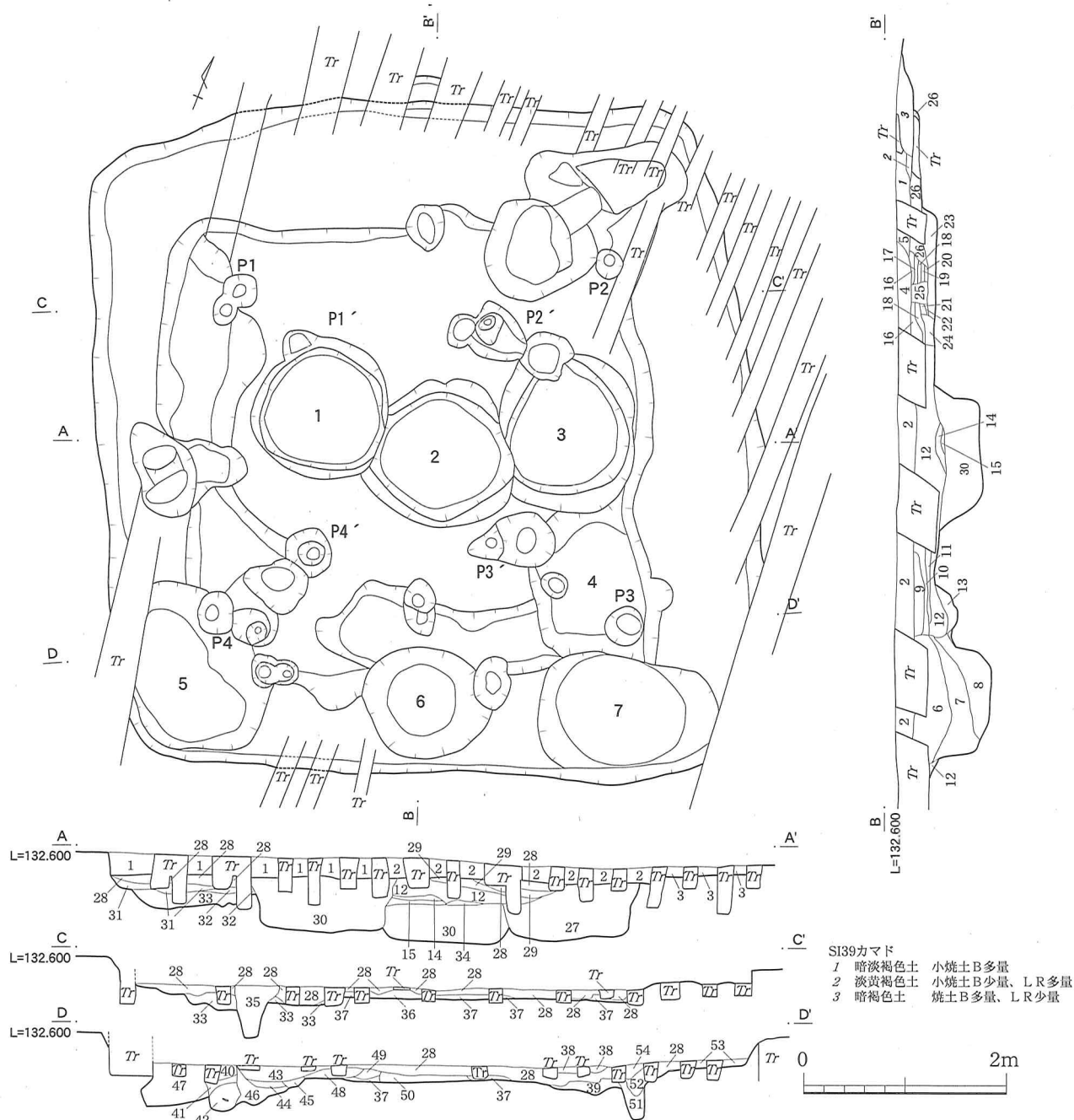


第168図 SI39遺物平面図

位置 ウ9F6杭付近。規模 東西6.3m×南北6.5m。主軸方向 N-27° -W 床面 ほぼ平坦。壁 ほぼ垂直。床下土坑 7基。柱穴 4カ所+4カ所。貯蔵穴 無。カマド 北壁 遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4, 高坏1, 鉢1, 甕1, 須恵器壺1, 土錘4である。備考 全方向に0.5m~1.0m拡張している。

第78表 SI39床下土坑一覧表

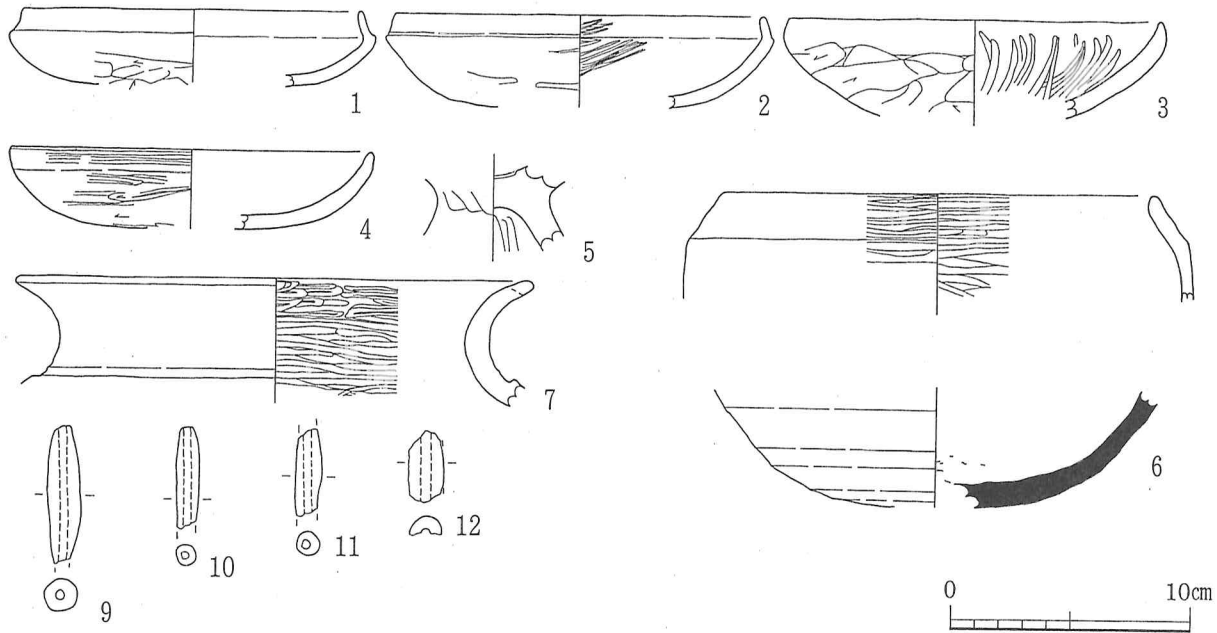
No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.56	1.40	0.55	円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	土坑2と重複、土坑1が新しい
2	1.50	1.44	0.62	円形	平坦	やや開きながら立ち上がる	土坑3と重複、土坑2が新しい
3	1.69	1.25	0.53	円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	土坑4と重複、土坑3が新しい
4	1.75	1.05	0.26	不整形	ほぼ平坦	大きく開きながら立ち上がる	土坑7と重複、土坑4が新しい
5	1.82	1.20	0.42	楕円形	ほぼ平坦	オーバーハング	
6	1.30	1.05	0.74	円形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	
7	1.80	1.04	-	楕円形			



第169図 SI39平・断面図

- SI39
- 1 暗褐色土 LR・微小IPB少量
 - 2 暗淡褐色土 LR・微小IPB少量
 - 3 黄褐色土 LR少量
 - 4 明淡褐色土 LR少量、微小IPB少量、微小SPB微量
 - 5 淡黄褐色土 LR少量、微小IPB少量、植物根混入
 - 6 暗褐色土II LR微量、小IPB少量、小LB・小SPB微量
 - 7 褐色土 LR微量、LB・小IPB少量、微小IPB微量
 - 8 黒褐色土 LR・LB・小IPB微量
 - 9 暗黄褐色土 LR少量、小LB微量、小IPB少量、CR微量
 - 10 暗淡褐色土II LR・小LB微量、IPB少量、小IPB微量
 - 11 暗淡褐色土III 10層に小LB混入
 - 12 暗褐色土III LR・LB微量、小LB少量、小IPBやや少量、CR微量、粘土B含む
 - 13 淡黄褐色土II LRやや多量、LB少量、小IPB微量
 - 14 暗褐色土IV 12層よりIPBが多い
 - 15 黒褐色土II LR微量、IPB少量
 - 16 暗淡黄褐色土 LR少量、小LBやや少量、小IPB少量
 - 17 黒褐色土III LR極微量、小SPB微量
 - 18 暗淡褐色土IV LR微量、小LBやや少量、小IPB少量
 - 19 黒褐色土IV 17層よりLRが多い
 - 20 淡黄褐色土III LR微量、小LBやや多量、微小IPB微量
 - 21 黄褐色土II LR・小LBやや多量、小IPB極微量
 - 22 暗黄褐色土II LR少量、小LB微量、小IPBやや少量
 - 23 黄褐色土III 21層より小IPB多い、黒色土混入
 - 24 暗淡褐色土V 18層より小LBが少ない、粒が細かい
 - 25 淡褐色土 LRやや少量、小IPB微量、小LB少量、CR極微量、小SPB微量、黒色土混入
 - 26 暗淡黄褐色土II LRやや少量、小LB・小IPB少量、CR微量、縞状に黒色土混入
 - 27 暗褐色土V LR微量、3~5cm大のLB・小LB・2~3cm大のIPB・小IPB少量、微小IPB・微小SPB微量(人為一括埋土)

- 28 暗褐色土VI LR微量、小LB微量、IPB少量、微小SPB極微量
- 29 暗黄褐色土III LR少量、小LBやや多量、小IPB少量、微小SPB微量
- 30 暗淡褐色土VI LR少量、小LBやや少量、IPB少量、小IPBやや少量、小SPB・GR微量(人為一括埋土)
- 31 暗赤褐色土 LR微量、微小IPB多量、小IPBやや多量、小LB微量
- 32 黒褐色土V LR極微量、微小IPB少量、小IPB微量
- 33 暗黄褐色土IV LR少量、LBやや多量、IPB少量、小IPB微量
- 34 黄褐色土IV LR少量、LBやや多量、微小IPB少量
- 35 暗淡黄褐色土III LRやや少量、小LB少量、小IPB・CR微量、微小SPB極微量、キメが細かい
- 36 淡赤褐色土 LR・小LBやや多量、小IPB多量、焼土Bやや多量、ザクザクした感じ
- 37 明黄褐色土 LRやや多量、LB多量、小IPB微量
- 38 淡褐色土II LR少量、小IPB・微小SPB極微量
- 39 淡黄褐色土IV LR・LBやや多量、小IPB少量、GR微量
- 40 暗褐色土VII LR少量、小LB微量、小IPB少量、焼土B微量
- 41 淡黄褐色土V LRやや少量、LB・焼土B・焼土R少量
- 42 明赤褐色土 焼土R・焼土B主体、小LB少量、ザクザクした感じ
- 43 黒褐色土VI LR・小LB・小IPB微量
- 44 暗淡赤褐色土 焼土Bやや多量、LR・小LB微量、微小SPB極微量
- 45 赤褐色土 焼土R・焼土B主体、LR微量
- 46 明淡褐色土II LR少量、LB微量、小LB・小IPB少量、焼土B微量、粘土B含む
- 47 暗淡褐色土VII LR微量、LB少量、小IPBやや少量、微小SPB微量(一括埋土)
- 48 黄褐色土V LBやや多量、小IPB少量、微小SPB極微量
- 49 淡褐色土III LR・LB・小IPB少量
- 50 褐色土II LR少量、LBやや多量、IPB微量、小IPB少量、GR微量
- 51 黒褐色土VII LR・小IPB・小LB微量
- 52 暗淡黄褐色土IV LR少量、小LBやや少量、小IPB微量、微小SPB極微量
- 53 橙褐色土 微小IPB・IPB主体、LR微量
- 54 暗褐色土VII LR微量、小IPB少量、小LB・微小SPB微量



第170図 SI39出土遺物実測図

第79表 SI39土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 杯	口径 (13.8) 器高 (3.1)	A 白色細砂粒 白色 砂粒。 焼成良好	暗褐色	D: 口縁部は短く 内傾し、体部外面 に稜を有する。	口縁部から体部内面に かけて横ナデ、体部外面 へラ削り。	1/8	埋土	漆仕上げ
2	土師器 杯	口径 (15.3) 器高 (3.8)	A 白色細砂粒 透明 細砂粒。白色砂粒を 含む。 焼成良好	黒色	D: 口縁部は短く 内傾し、体部外面 に稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向の へラ磨き、体部内面一定 方向のへラ磨き、体部 外面へラ削り後へラナ デ。	1/6	床下	黒色処理
3	土師器 杯	口径 (15.5) 器高 (4.0)	A 白色細砂粒 白色 砂粒。2~3 ^ミ 大粗粒 を含む。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く 直立し、体部外面 に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面に かけて横ナデ放射状の へラ磨き、体部外面 へラ削り。	1/5	埋土	漆仕上げ
4	土師器 杯	口径 (14.8) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く 外傾し、体部外面 に弱い稜を有する。 体部は丸みを持つ。	口縁部から体部内面に かけて横方向のへラ磨 き、体部外面へラ削り 後不定方向のへラ磨 き。	1/6	床下	一部黒色処理

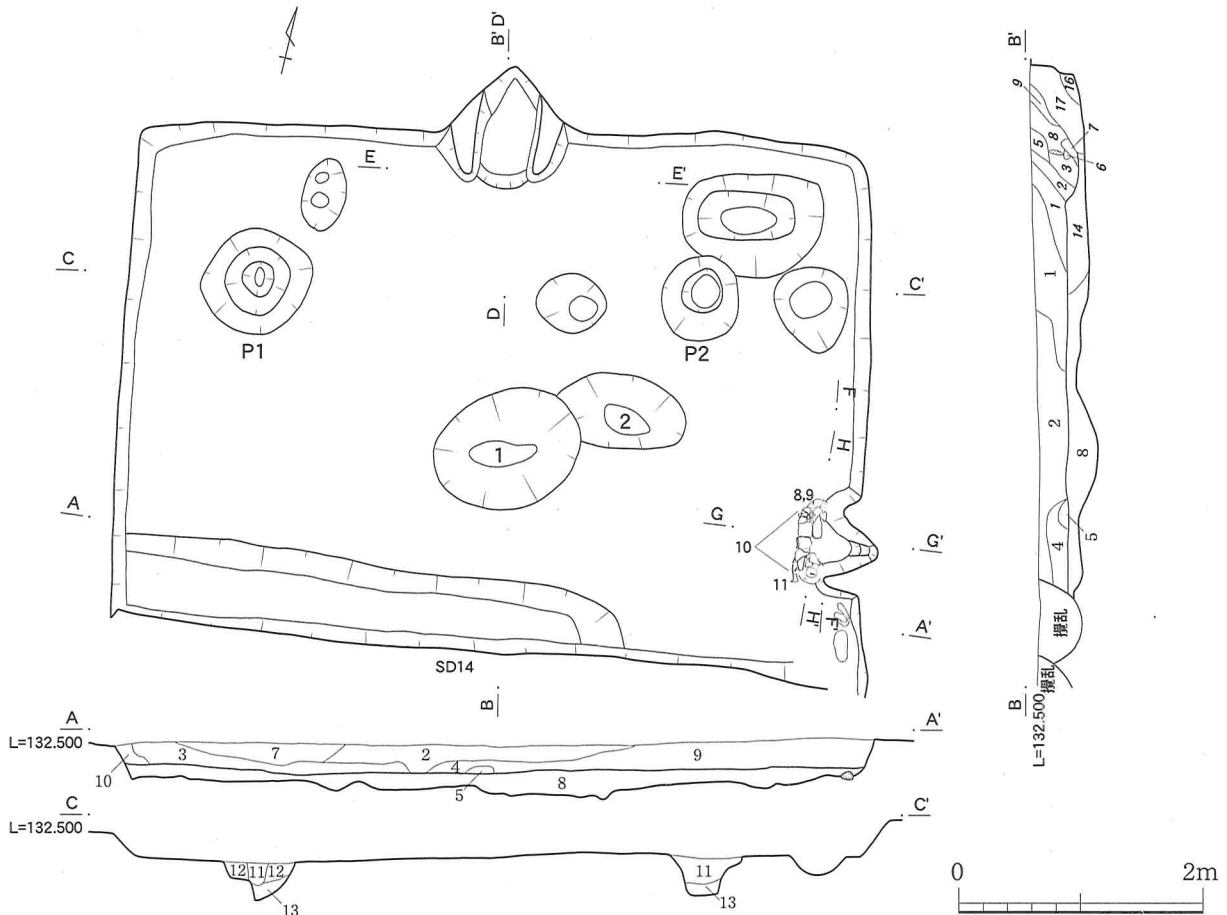
5	土師器 高坏	器高 (3.5)	A 赤色砂粒 (鉄粒) 白色細砂粒。白色砂 粒を含む。 焼成良好	内:黒色 外:淡褐色	A2: 短脚。	坏底部内面へラ磨き、脚部外 面へラナデ後一部へラ削り。	坏底部 ~脚上 部	カクラン	内面黒色処理
6	土師器 鉢	口径 (17.8) 器高 (4.4)	A 白色細砂粒 透明 細砂粒。 焼成良好	褐色	A: 口縁部は内傾 する。	口縁部内外面横方向のへラ磨 き。	口縁部 の1/12	床下	一部黒色処理
7	土師器 甕	口径 (21.0) 器高 (5.2)	A 白色細砂粒 赤色 砂粒 (鉄粒)。 焼成良好	内:淡褐色 外:褐色	A: 口縁部は外湾 し、頸部外面下端 に稜を有する。	口縁部横ナデ、内面横方向の へラ磨き。	口縁部 の1/8	埋土	煤付着
8	須恵器 壺	器高 (5.1)	A 白色細砂粒 白色 砂粒。赤色粗砂粒 (鉄粒)を含む。 焼成良好	暗灰色	胴部は球形。	ロクロナデ。外面回転へラ削 り。	底部の 1/4	床直No.6	ロクロ成形 輪積痕

第80表 SI39土錘観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				胎土・焼成	色調	器形・調整の 特徴	残存率	出土位置
		長さ	最大径	孔径	重量					
9	土錘	5.7	1.4	0.3	8.7	A 黒色細砂粒を 含む。 焼成良好	淡褐色	A: ミガキ	ほぼ完形	床直No.8
10	土錘	4.2	1.0	0.3	3.3	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	褐色	A: ナデ	ほぼ完形	埋土
11	土錘	3.6	1.1	0.4	3.0	A 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	不明: ミガキ	4/5	埋土
12	土錘	(3.0)	1.4	0.4	(2.6)	A 黒色細砂粒。 焼成良好	乳白色	不明:	1/4	埋土

SI40

位置 ウ7E7杭付近。規模 東西6.2m×南北4.2m。主軸方向 N-11°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 2基。柱穴 2カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 東・北壁。遺物実測可能な遺物は、土師器坏6、鉢1、甕3、甑1、須恵器甕破片1である。備考 SD14に切られる。



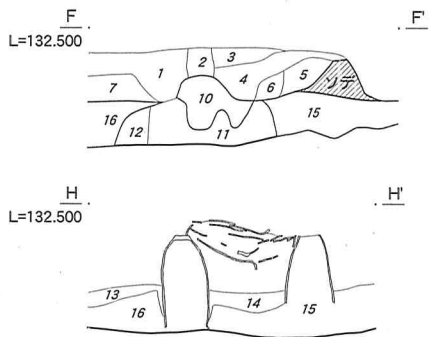
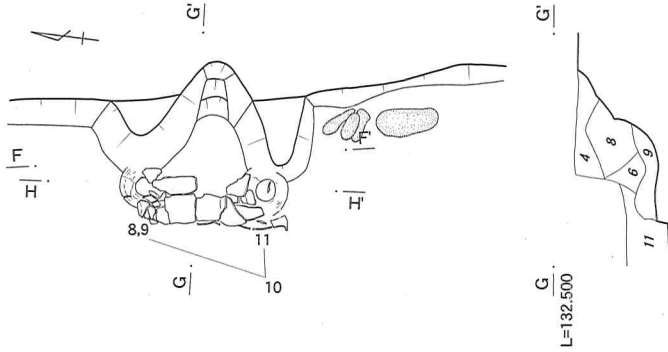
第171図 SI40平・断面図

- | | | | |
|------------|---------------------------------|------------|---------------------------------|
| 1 暗淡灰褐色土 | L R多量、微小IPB・微小SPB微量、粘土多量 | 8 暗黄褐色土 | L R多量、微小IPB少量、小IPB微量 |
| 2 暗褐色土 | L R少量、微小SPB・微小IPB極微量 | 9 淡褐色土II | 小LB少量、L R多量、微小IPB微量、ブロック状の褐色土混入 |
| 3 淡褐色土 | L R多量、微小IPB極微量 | 10 暗淡棕褐色土 | 微小IPB少量 |
| 4 暗淡褐色土 | L R多量、微小SPB・微小IPB極微量 | 11 暗淡褐色土IV | L R・小IPB少量、小SPB微量 |
| 5 暗淡褐色土II | 4層よりL Rがさらに増加 | 12 暗淡黄褐色土 | L R多量、小IPB微量 |
| 6 暗淡褐色土III | 5層にL Bが微量混入 | 13 淡黄褐色土 | L主体 |
| 7 暗褐色土II | 微小SPB微量、微小IPB極微量、L Rがブロック状に多量混入 | | |

第81表 SI40床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.20	1.00	—	円形			土坑2と重複、土坑1が新しい
2	1.05	0.62	—	楕円形			

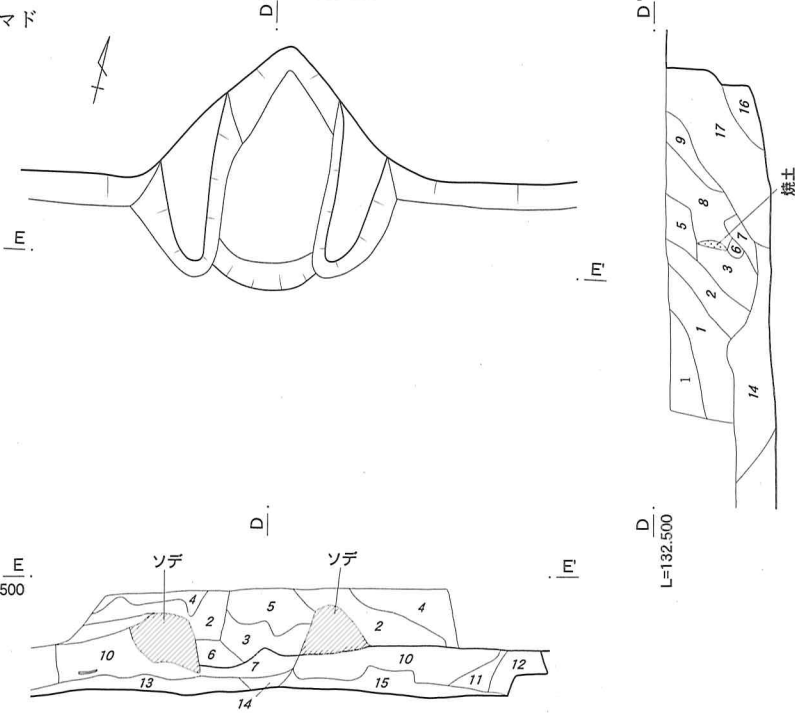
東カマド



SI40東カマド

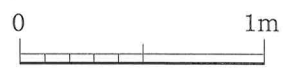
- | | |
|------------|---------------------------------|
| 1 暗褐色土 | L R・小IPB少量、微小SPB微量 |
| 2 淡褐色土 | L Rやや多量、小IPB微量 |
| 3 褐色土 | L R少量、小IPB微量、焼土R少量 |
| 4 暗褐色土II | 1層に焼土が微量混入 |
| 5 黒褐色土 | L R微量、小IPB少量 |
| 6 暗黄褐色土 | L R少量、LB (層の半分を占める)、小IPB微量 |
| 7 明褐色土 | L Rやや多量、小IPB少量、小SPB・粘土B微量 |
| 8 暗淡褐色土 | L R・小IPB少量、微小SPB微量 |
| 9 暗黄褐色土II | L R多量、微小IPB・小IPB微量 |
| 10 暗淡褐色土II | L R・小IPB少量、小SPB・焼土R微量 |
| 11 黄褐色土 | L R多量、微小IPB少量、微小SPB・焼土R微量 |
| 12 暗淡黄褐色土 | L R主体、微小IPB微量、小IPB・粘土R極微量、黒色土混入 |
| 13 褐色土II | L R多量、小LB・小IPB微量 |
| 14 褐色土III | 13層に焼土Rが混入 |
| 15 黄褐色土II | L R多量、小LB少量、小IPB微量 |
| 16 明黄褐色土 | L主体、微小IPB微量 |

北カマド

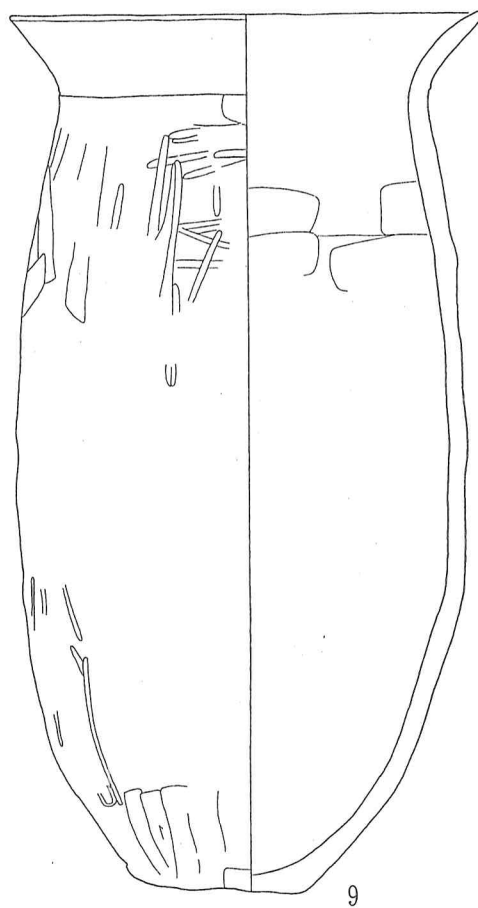
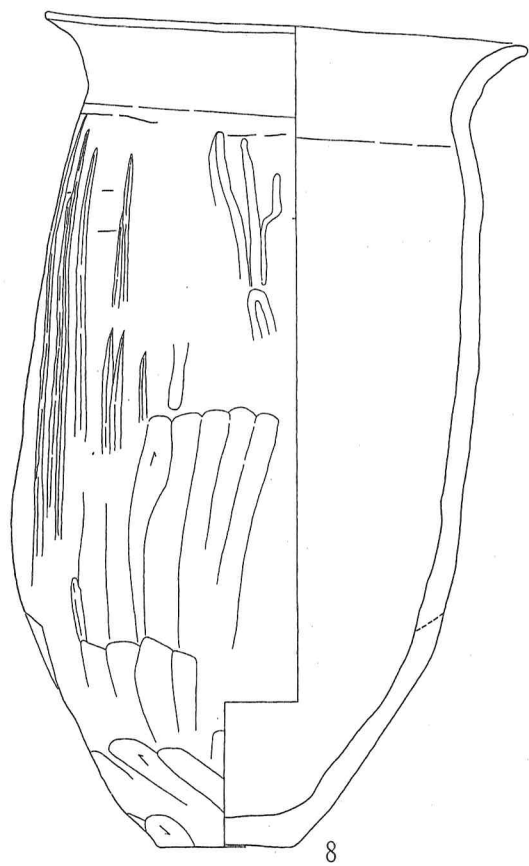
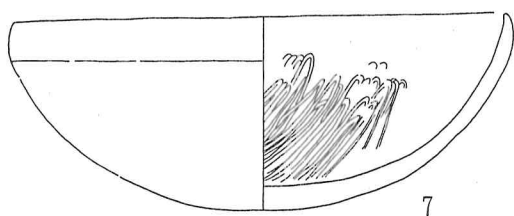
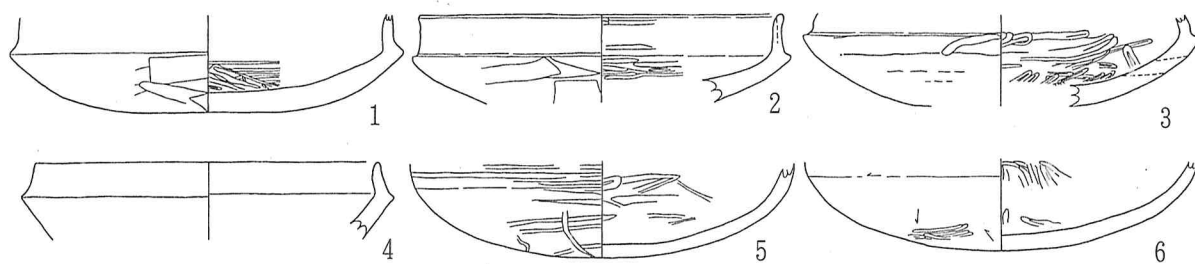


SI40北カマド

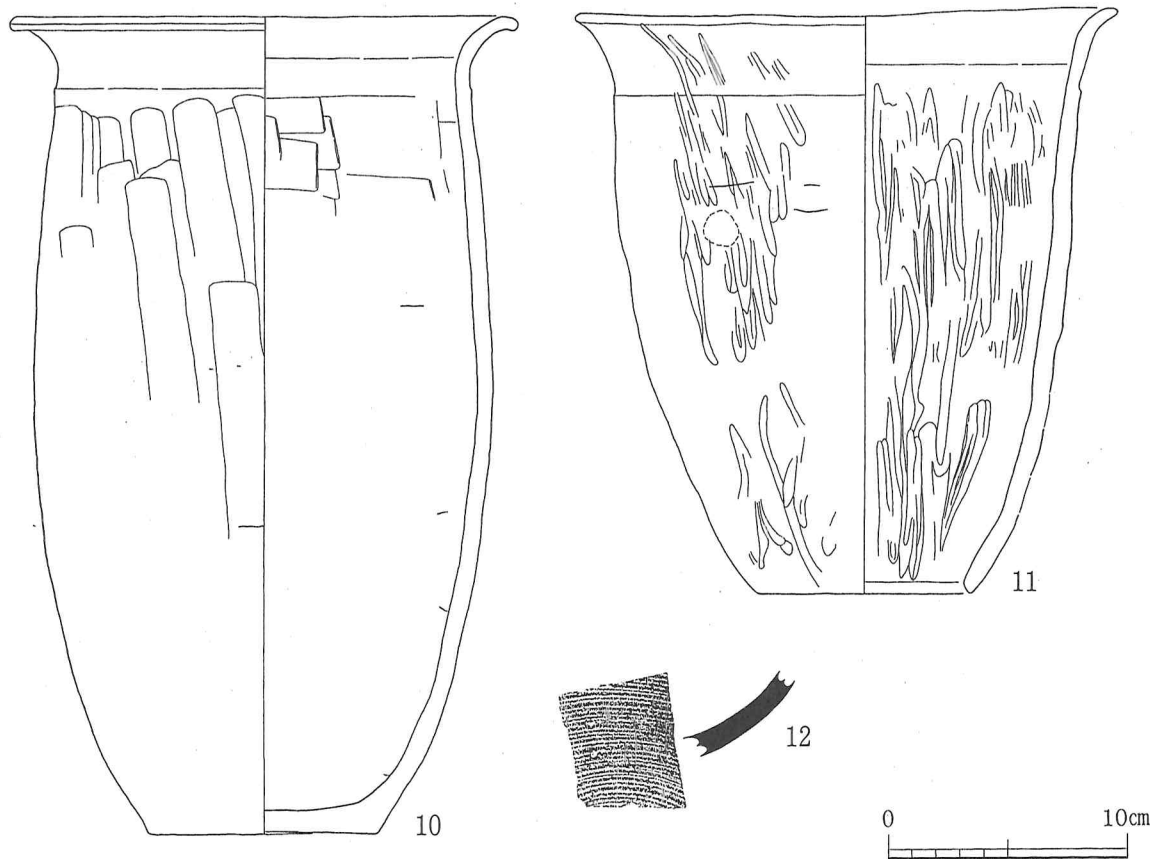
- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 暗淡灰褐色土 | 粘土Rやや多量、粘土B微量、焼土R少量 |
| 2 淡灰白褐色土 | 粘土R極多量、小IPB・小SPB微量、焼土R少量 |
| 3 淡灰赤褐色土 | L R微量、粘土R多量、粘土B微量、焼土R多量 |
| 4 暗淡灰褐色土II | 層より粒が細かい、焼土が少ない |
| 5 暗淡灰赤白褐色土 | 粘土R多量、粘土B微量、焼土R少量 |
| 6 淡灰赤白褐色土 | 粘土R主体、粘土B微量、焼土Rやや多量 |
| 7 暗淡灰赤褐色土 | L R少量、粘土Rやや多量、焼土R多量 |
| 8 淡灰赤褐色土II | 3層よりやや焼土が少ない |
| 9 暗淡灰褐色土III | 粘土R・焼土R少量 |
| 10 暗灰褐色土 | L R少量、微小IPB・焼土R微量、粘土R主体 |
| 11 暗灰褐色土II | 10層より黒色土Rがやや多い |
| 12 暗灰褐色土III | 11層より焼土Rがやや多い |
| 13 暗黄褐色土 | L R多量、微小IPB少量、小IPB・焼土R微量 |
| 14 暗淡灰赤褐色土II | 7層よりL Rがやや多い |
| 15 暗淡褐色土IV | 12層よりL Rがやや多い |
| 16 淡灰黄褐色土 | L R多量、粘土R少量 |
| 17 暗淡灰褐色土IV | 9層より焼土が多い |



第172図 SI40東カマド、北カマド平・断・遺物平面面図



第173図 SI40出土遺物実測図(1)



第174図 SI40出土遺物実測図(2)

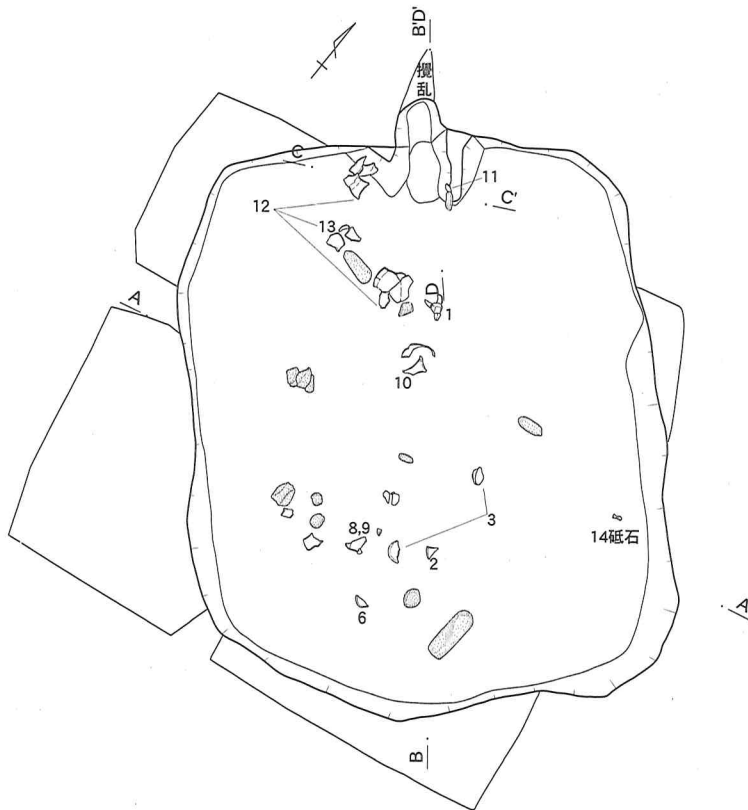
第82表 SI40土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (4.0)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。やや丸底。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部内面不定方向のヘラ磨き。	2/3	埋土	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒 黑色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ、内面横方向のヘラ磨き、体部内面ヘラナデ後ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り。	1/6	埋土	輪積痕 漆仕上げ
3	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 (3.8)	A 黑色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	口縁部内面横方向のヘラ磨き、体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/4	埋土	輪積痕 黒斑 指押さえ
4	土師器 坏	口径 (14.0) 器高 (3.2)	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り、口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き。	1/15	床下	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (16.0) 器高 (3.9)	A 白色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く外傾し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き、体部内面ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	2/3	埋土	剥離 黒斑
6	土師器 坏	口径 (16.2) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒 白色砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	黒褐色	E: 口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面不定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	3/5	埋土	漆仕上げ 剥離 摩耗
7	土師器 鉢	口径 20.3 器高 8.2	A 白色砂粒 黑色細砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は内湾し、体部は丸みを持つ。丸底。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	3/4	埋土	輪積痕 黒斑 漆付着
8	土師器 甕	口径 19.4 底径 5.6 器高 34.6	A 黑色砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	C1: 口縁部は外湾し、端部外面に稜を有する。長胴。平底。	胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、体部外面ヘラナデ後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	東竈No.1	輪積痕 剥離 摩耗 別作り 煤付着 粘土付着 歪み有り。

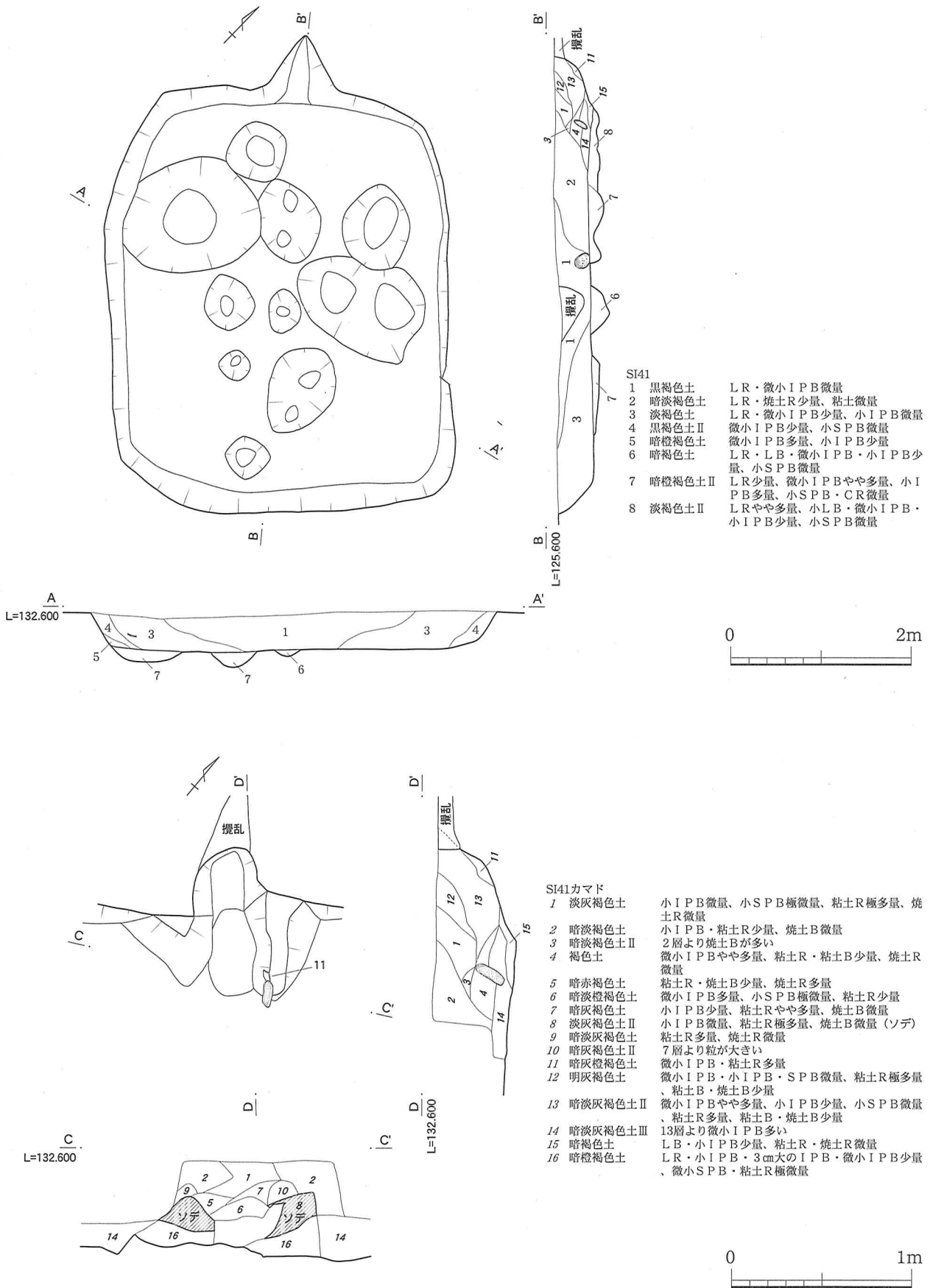
9	土師器 甕	口径 (19.5) 底径 7.3 器高 36.4	A 白色砂粒 白色細砂粒。2~4 ^{mm} 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 薄手。口縁部は緩やかに外傾し、頸部外面下端に稜を有する。長胴。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラナデ後へラ磨き、底部外面付近へラ削り、口縁部横ナデ。	2/3	東電No.1	輪積痕 剥離 摩耗 別作り 煤付着 粘土付着
10	土師器 甕	口径 20.0 底径 9.4 器高 33.7	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は外湾し、端部は巻き込むように仕上げる。頸部外面下端に稜を有する。長胴。平底。	胴部内外面へラナデ、底部外面付近へラ削り、口縁部横ナデ。	3/4	東電No.1,2	輪積痕 剥離 摩耗 付着物 粘土付着 別作り 煤付着
11	土師器 甕	口径 (22.4) 底径 9.0 器高 24.2	A 黒色砂粒 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部はやや外湾し、頸部外面下端に稜を有する。胴部はすぼまる。	胴部内面へラナデ後へラ磨き、胴部外面へラ削り後へラ磨き、口縁部横ナデ。	9/10	東電No.2	筒抜け 輪積 痕 剥離 摩耗 煤付着 黒斑 粘土付着 指 押しえ
12	須恵器 甕		A 白色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	灰色		ロクロナデ。外面櫛描状の回転によるナデ。	破片	埋土	ロクロ成形

SI41

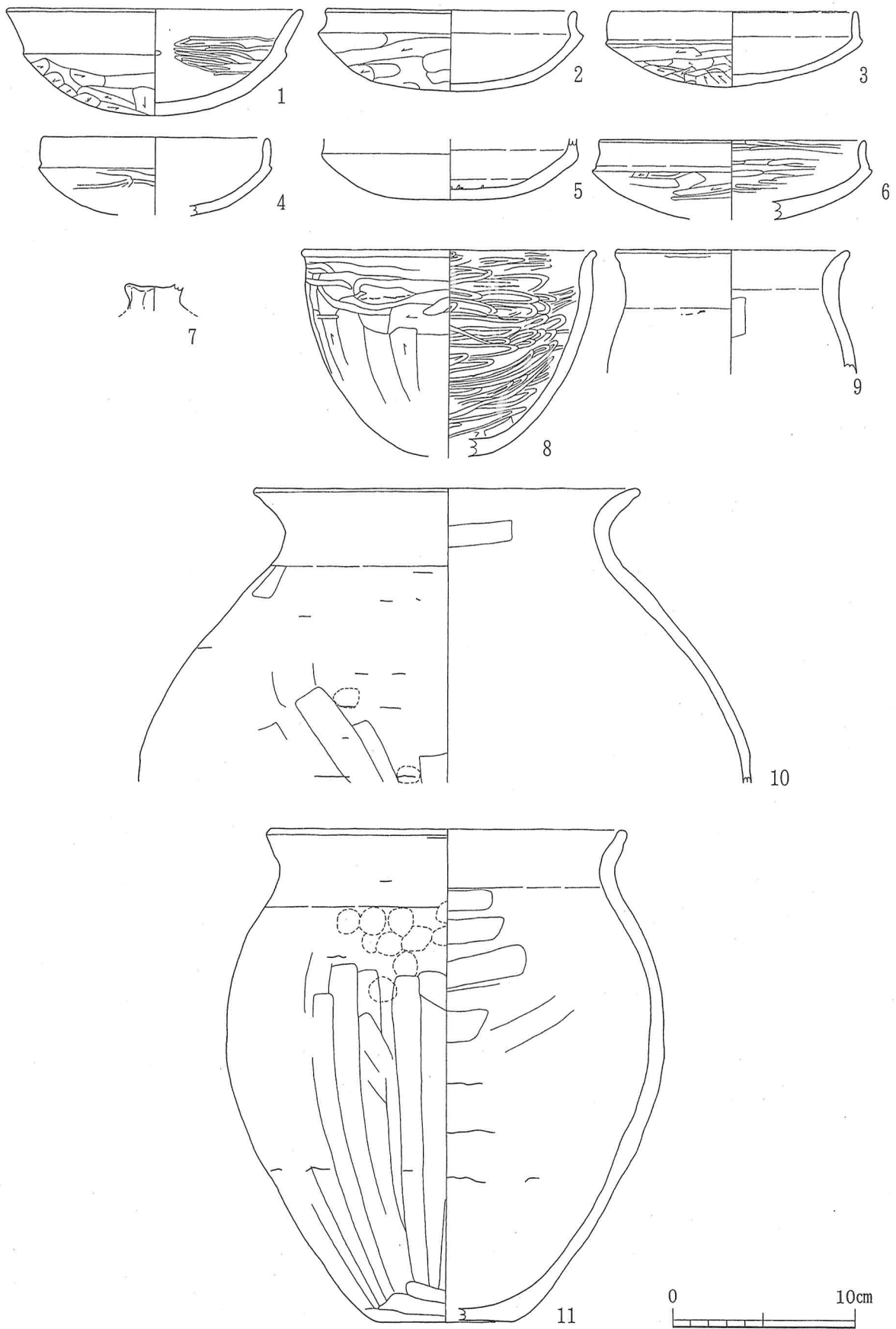
位置 ウ8E7杭付近。規模 東西3.6m×南北4.5m。主軸方向 N-40°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 無。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏6, 鉢1, 甕3, 甕2, 蓋1, 砥石1である。



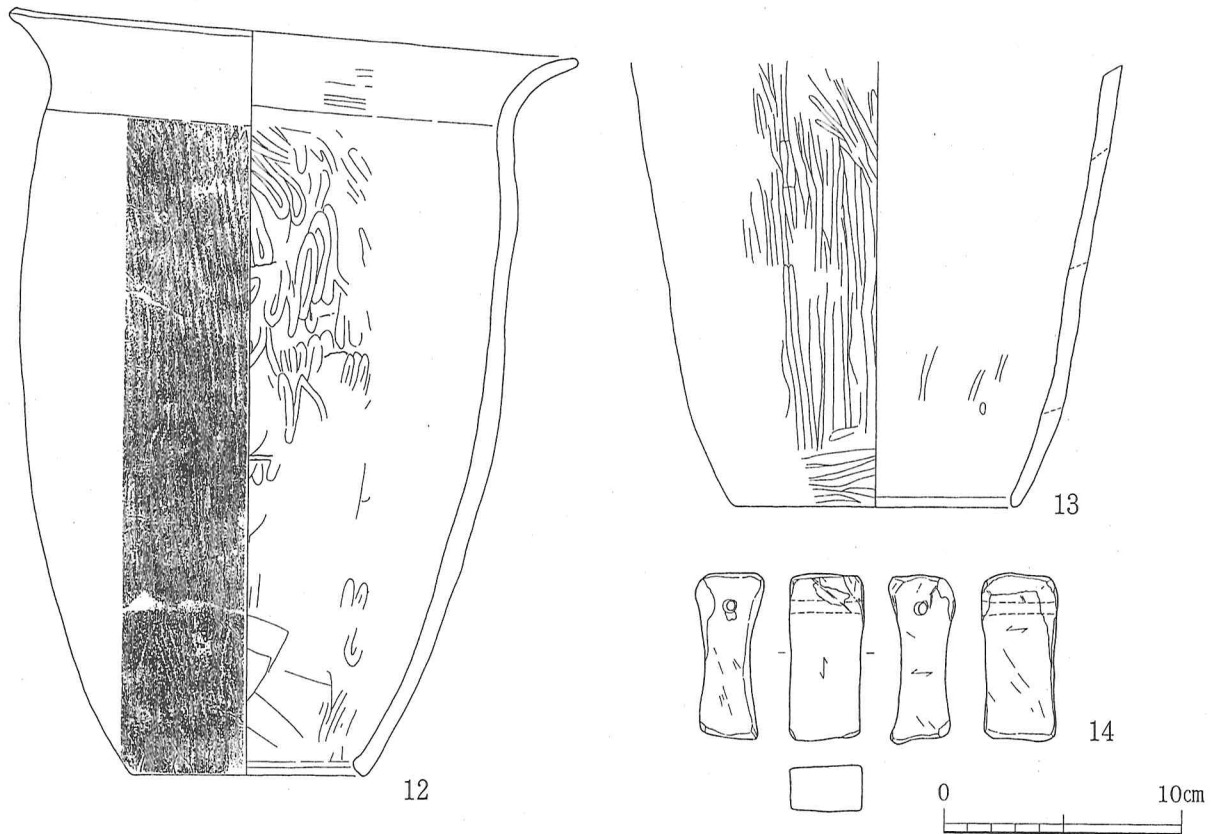
第175図 SI41遺物平面図



第176図 SI41平・断・カマド平・断面図



第177图 SI41出土遺物実測図(1)



第178図 SI41出土遺物実測図(2)

第83表 SI41土器観察表

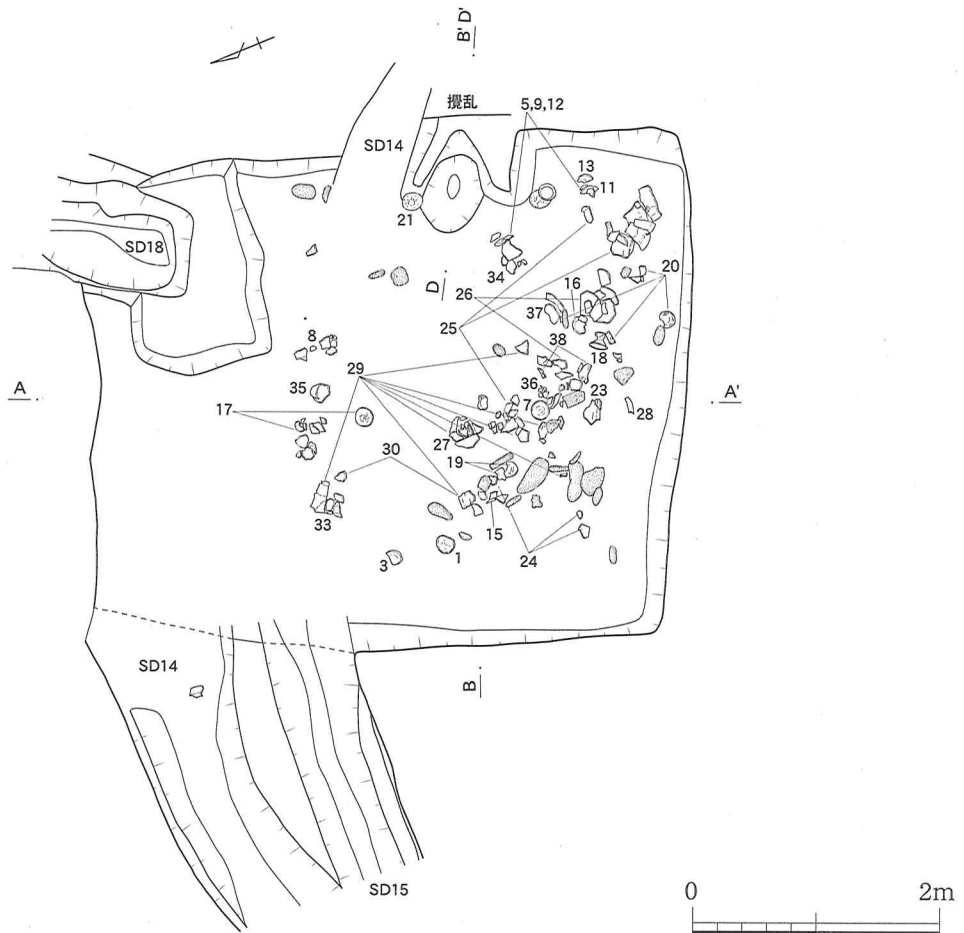
No.	器種	寸法(・)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 15.6 器高 5.8	A 赤色砂粒(鉄粒) 白色細砂粒。 焼成良好	橙褐色	A: 口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面へラナデ後一定方向のへら磨き、体部外面ナデ後へら削り、口縁部横ナデ。	4/5	床直No. 13 甕	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 4.4	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	A: 薄手。口縁部は外湾し、端部外面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面へラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/4	床直No. 6	黒斑
3	土師器 坏	口径 13.5 器高 4.1	A 白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 薄手。口縁部はやや直立し、端部内面に稜を有する。体部外面に稜を有する。	体部内面へラナデ、体部外面ナデ後へら削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	ほぼ完形	床直No. 5, 7	黒斑 剥離
4	土師器 坏	口径 (12.2) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面へラ削り後粗い横方向のへら磨き、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/4	埋土	摩耗 黒斑
5	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒。赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	褐色	C: 体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面へラナデ後一定方向のへら磨き、口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面へら削り後へら磨き。	2/5	埋土	黒斑
6	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 (4.3)	A 白色細砂粒。透明細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾後直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部横ナデ、内面横方向のへら磨き、体部内面一定方向のへら磨き、体部外面へら削り。	1/4	床直No. 9	漆仕上げ 剥離
7	土師器 蓋	つまみ径 (2.7) つまみ高 (1.6)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色		ナデ	つまみ	埋土	接合痕 摩耗 指押さえ
8	土師器 鉢	口径 (15.6) 器高 (11.2)	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	B: 口縁部は短く直立後外傾し、端部外面に稜を有する。体部はすぼまる。丸底。	口縁部横ナデ後横方向のへら磨き、体部内面一定方向のへら磨き、体部外面へら削り後へら磨き。	1/4	床直No. 8	剥離

9	土師器 小型甕	口径 (12.8) 器高 (6.7)	A 白色細砂粒 2~5 _μ 大粗粒。 焼成良好	淡褐色	C1: 小型。口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/9	床直No.8	輪積痕 煤付着 剥離
10	土師器 甕	口径 20.8 器高 (16.0)	A 黒色砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	A: 薄手。口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。胴部は球形。	胴部外面ヘラナデ、口縁部横ナデ。	1/5	床直No.4 竈	輪積痕 剥離 指押さえ
11	土師器 甕	口径 (19.0) 底径 (7.4) 器高 26.7	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒) 2~7 _μ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は外傾し、端部内外面に稜を有する。胴部中位に最大径を持つ。平底。	胴部内面ヘラナデ、胴部外面ナデ後ヘラ削り、底部外面付近横方向のヘラ削り、口縁部横ナデ。	1/3	竈No. 1	輪積痕 剥離 付着物 煤付着 別作り 指押さえ
12	土師器 甕	口径 (23.1) 底径 9.6 器高 31.7	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。赤色粗砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	乳白色	C: 口縁部は外湾し、胴部はすぼまる。	胴部内面ヘラナデ後底部内面付近横、斜め方向のヘラ削り、ヘラ磨き、胴部外面上半叩き後ヘラ磨き、下半ヘラ削り後ヘラナデ、口縁部横ナデ後外面縦方向のヘラナデ、内外面横方向のヘラ磨き。	4/5	床直 No.1,2,3	筒抜け 輪積痕 黒斑 歪み有り。
13	土師器 甕	底径 (11.6) 器高 (18.3)	A 半透明砂粒。白色細砂粒 赤色砂粒(二次)を含む。 焼成良好	淡褐色	C: 胴部はすぼまる。	胴部内面ヘラナデ、底部内面付近横方向のヘラナデ後ヘラ磨き、胴部外面ヘラ磨き、底部外面付近横方向のヘラ磨き。	1/8	床直No.2	筒抜け 黒斑 剥離

第84表 SI41砥石観察表

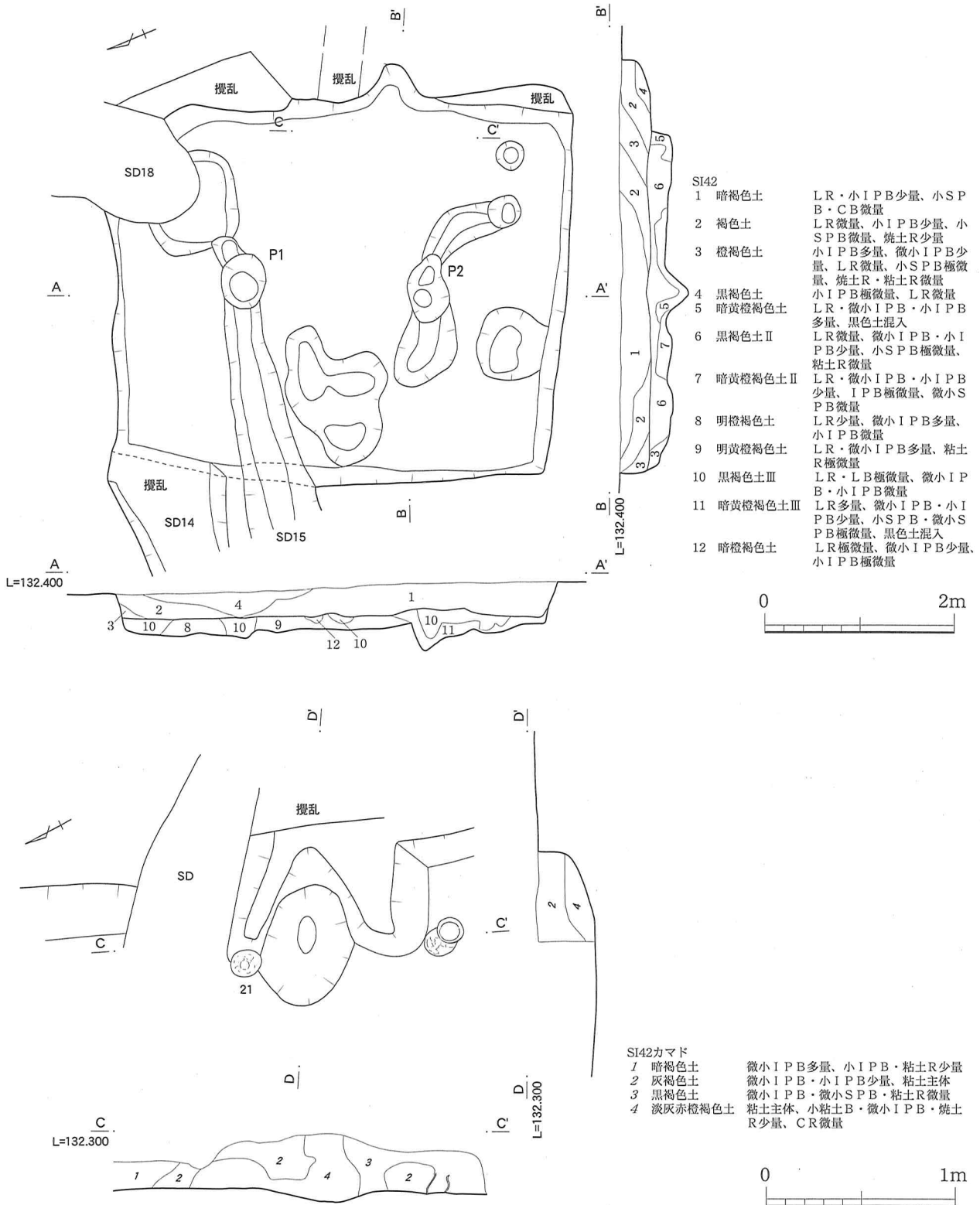
No.	器種	寸法 (cm・g)				材質	使用面	残存率	出土位置	備考
		最大長	最大幅	最大厚	重量					
14	砥石	6.8	3.0	2.4	38.5	泥岩	四面	ほぼ完形	床直	穿孔1 著しい磨耗

SI42

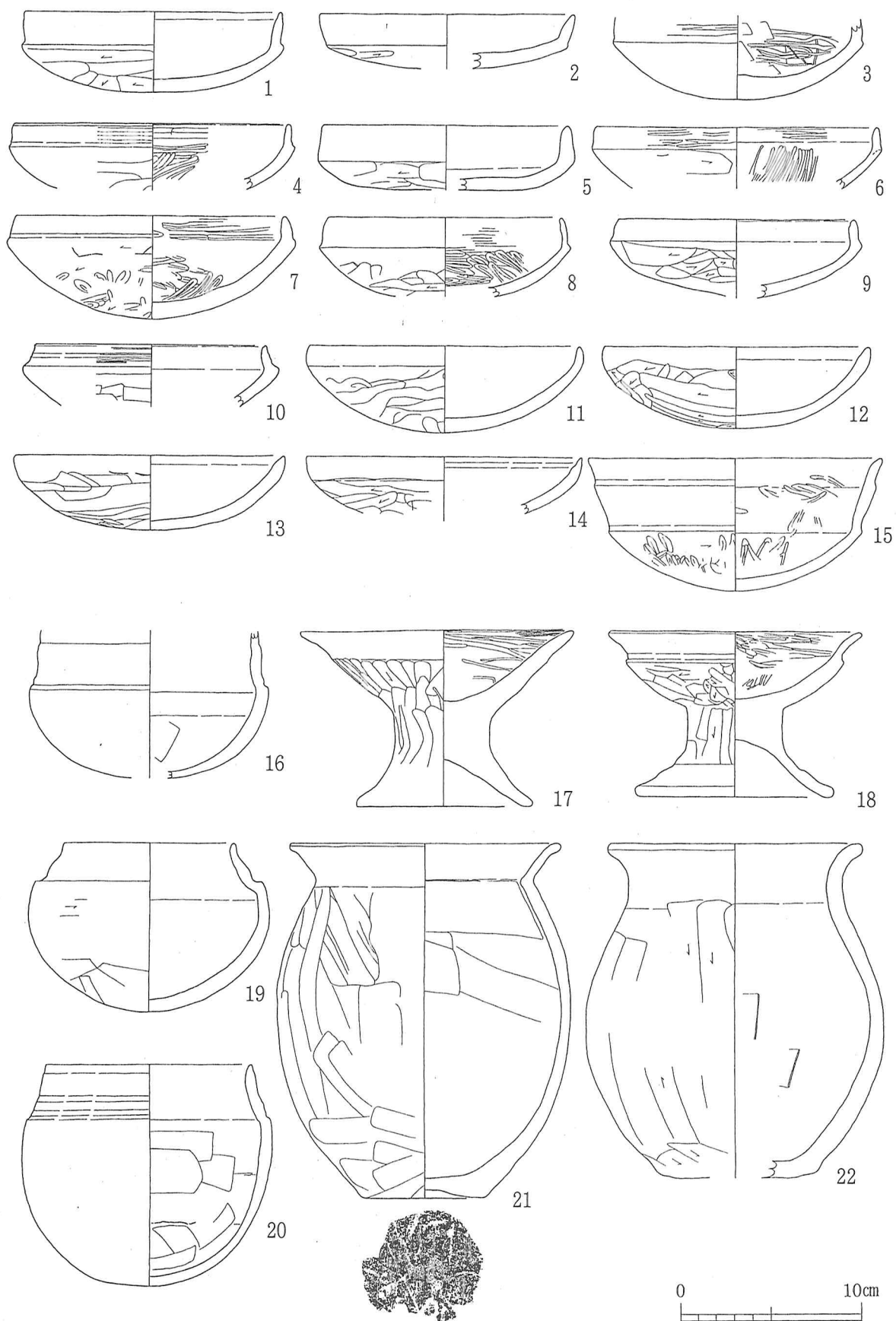


第179図 SI42遺物平面図

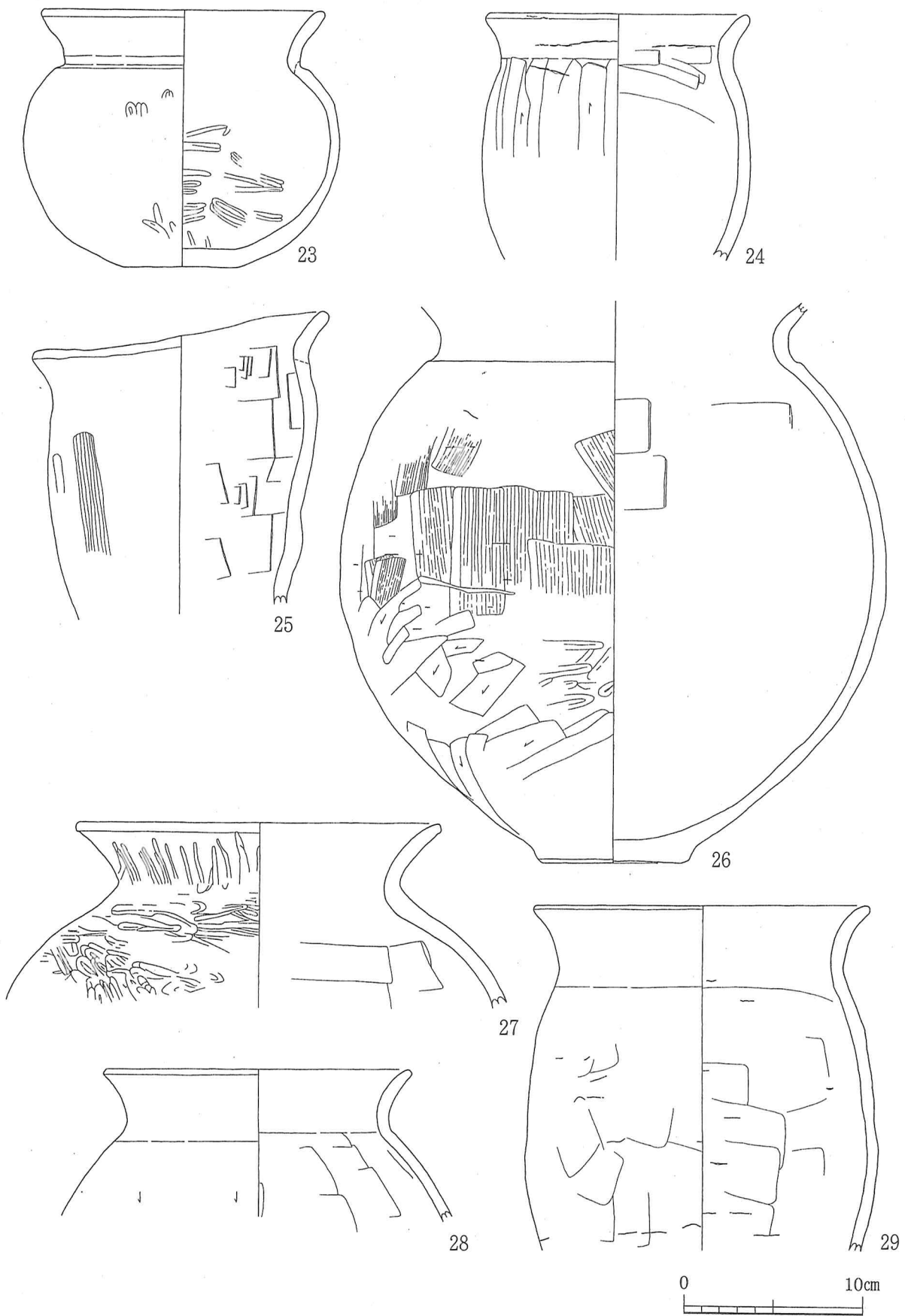
位置 エ0E7杭付近。規模 東西4.0m×南北4.0m。主軸方向 E-20°-S 床面 凹凸がある。壁 や垂直に立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 無。貯蔵穴 2カ所。カマド 東壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏15, 埴1, 高坏2, 鉢2, 甕14, 甑3, 須恵器甕破片2, 壺1, 砥石1である。備考 SD14・15・18に切られる。



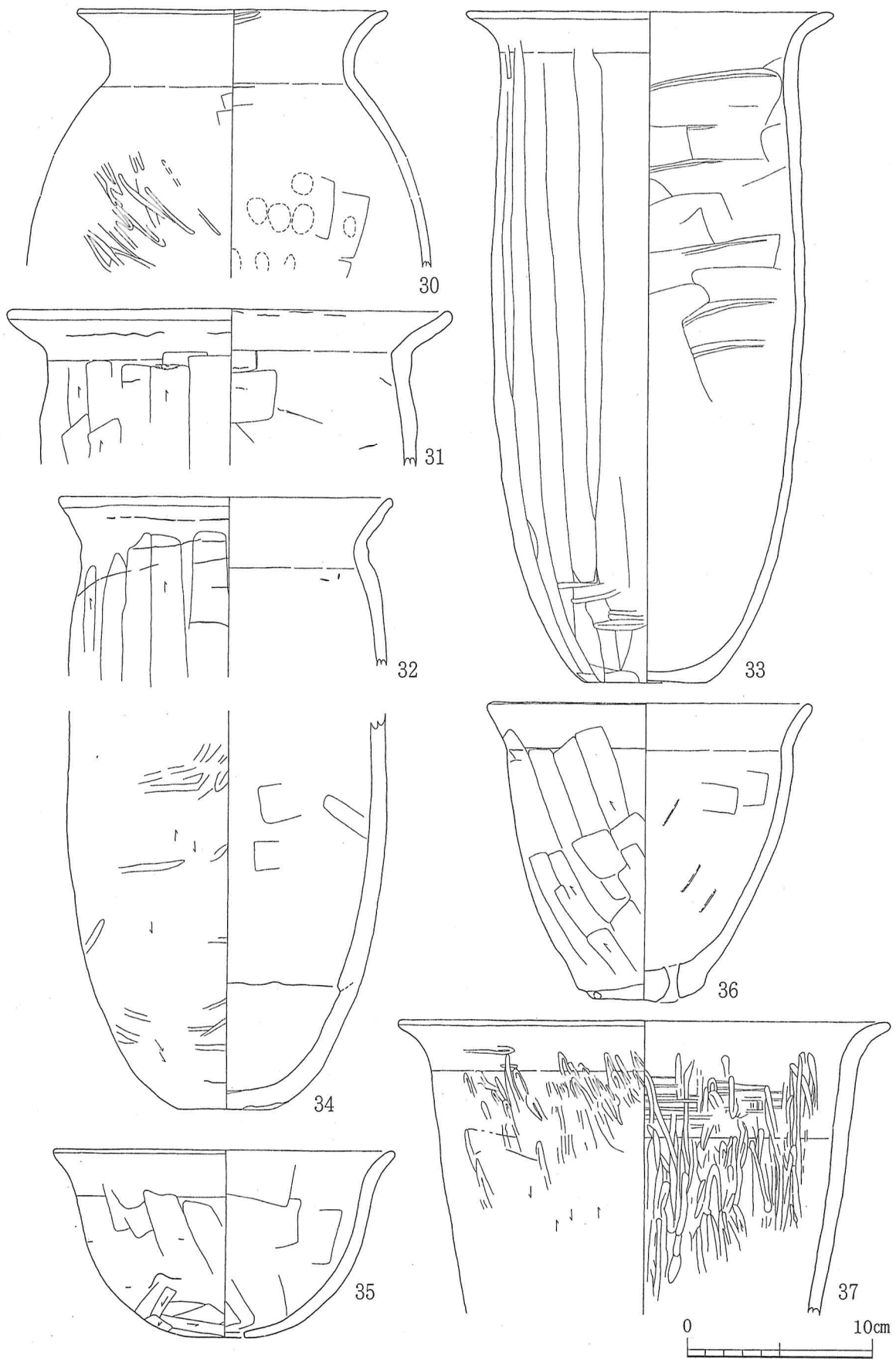
第180図 SI42平・断・カマド平・断・遺物平面図



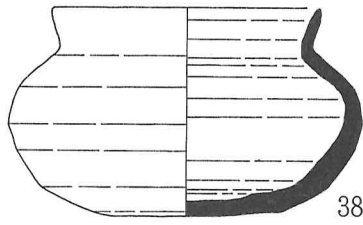
第181图 SI42出土遺物実測図(1)



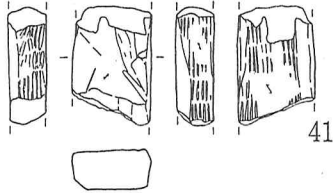
第182図 SI42出土遺物実測図(2)



第183图SI42出土遺物実測図(3)



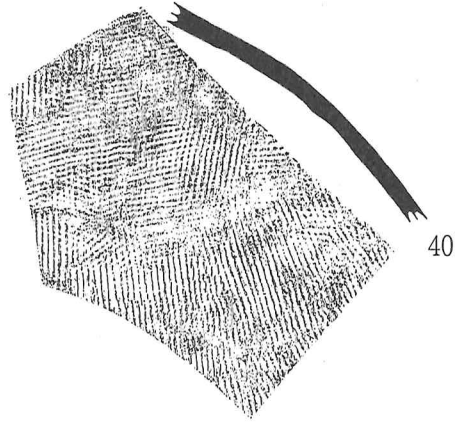
38



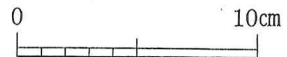
41



39



40



第184図 SI42出土遺物実測図(4)

第85表 SI42土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 13.8 器高 4.3	A 半透明砂粒を含む。 焼成良好	乳白色	B: 口縁部は直線的にやや外傾し、端部内面に弱い稜を有する。体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ、口縁部外面下端に2.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	ほぼ完形	床直No.12	
2	土師器 坏	口径 (13.8) 器高 (3.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	B: 口縁部は外傾し、体部外面に稜を有する。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、粗いヘラ磨き、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/2	埋土	黒斑 剥離 粘土付着 灰付着
3	土師器 坏	口径 (13.4) 器高 (4.4)	A 白色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	褐色	C: 口縁部はやや短く直立し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	2/3	床直No.11	輪積痕 剥離、摩耗が激しい。
4	土師器 坏	口径 (14.8) 器高 (3.5)	A 白色細砂粒。 焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は短く直立し、端部内面に弱い稜を有する。体部外面に稜を有する。	体部内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横方向のヘラ磨き、外面下端に3.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	1/4	埋土	輪積痕 漆仕上げ 剥離
5	土師器 坏	口径 (13.3) 器高 (3.5)	A 赤色砂粒 (二次)。白色細砂粒を含む。 焼成良好	内:暗褐色 外:褐色	C: 厚手。口縁部は直立し、体部外面に稜を有する。	体部外面ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	1/3	床直No.44	漆仕上げ 剥離 摩耗
6	土師器 坏	口径 (15.6) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。 焼成良好	黒色	C: 口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。	体部外面ヘラ削り後粗いヘラ磨き、口縁部横ナデ、横方向のヘラ磨き後体部内面放射状のヘラ磨き。	1/8	埋土	輪積痕 漆仕上げ
7	土師器 坏	口径 14.6 器高 5.6	A 白色細砂粒 黒色細砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D: 厚手。口縁部は短く内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ヘラナデ後一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ後横方向のヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.22	輪積痕 黒斑 摩耗
8	土師器 坏	口径 (12.7) 器高 (4.3)	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D: 薄手。口縁部は内湾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ、内面横方向のヘラ磨き、体部内面一定方向のヘラ磨き。	1/5	床直No.4	内面黒色処理
9	土師器 坏	口径 13.0 器高 (4.3)	A 白色細砂粒。 焼成良好	黒褐色	D: 口縁部は内傾後直立し、端部内面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ、口縁部外面下端に3.5cm幅の工具による強いヘラナデ。	9/10	床直No.44	漆仕上げ 剥離 内面に布目の痕有り。
10	土師器 坏	口径 (12.3) 器高 (3.3)	A 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	D: 口縁部は内傾し、端部内面に稜を有する。体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後体部外面ヘラ削り。	1/12	埋土	
11	土師器 坏	口径 14.7 器高 4.7	A 黒色細砂粒。白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	E: 口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後一部に幅広のヘラ磨き、口縁部から体部内面にかけて横ナデ。	ほぼ完形	床直No.42	漆付着 剥離
12	土師器 坏	口径 14.6 器高 4.4	A 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く外傾し、口縁部内面及び体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ後口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面ヘラ削り。	ほぼ完形	床直No.44	漆仕上げ 剥離

13	土師器 坏	口径 (14.5) 器高 4.1	A 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く外傾し、口縁部内面及び体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ後口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面へラ削り。	3/5	床直No.43	輪積痕 漆仕上げ 剥離
14	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (3.1)	A 白色細砂粒。 焼成良好	内:褐色 外:暗褐色	E: 口縁部は短く直立し、口縁部内面及び体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後口縁部内面に3 ⁵ / ₉ 幅の強いナデ、体部外面へラ削り。	1/5	カクラン	一部黒色
15	土師器 坏	口径 (16.0) 器高 7.3	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	F: 口縁部は外傾し、体部内面に弱い稜を有する。口縁部外面と体部外面に二条の稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ後中位と下端に2 ⁵ / ₉ 幅の工具による強いへラナデ、体部から口縁部内面にかけて横方向のへラ磨き後粗い放射状のへラ磨き、体部外面へラ削り後へラ磨き。	1/4	床直No.14	漆仕上げ 摩耗
16	土師器 埴	口径 (11.4) 器高 (8.0)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	橙褐色	D: 口縁部はやや内傾後直立し、口縁部外面と体部外面に二条の稜を有する。	体部内面へラナデ、体部外面へラ削り、口縁部から体部内面にかけて横ナデ後外面中位と下端に強いへラナデ。	1/2	床直No.36	付着物 剥離 黒斑
17	土師器 高坏	口径 14.7 裾径 9.4 器高 9.6	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	橙褐色	A1: 坏部は半球形状で丸みを帯び、底部に稜は無い。短脚で裾部は「ハ」の字を呈し外反する。	坏底部外面へラ削り後口縁部横ナデ、坏部から口縁部内面にかけてへラ磨き、坏底部から脚部外面にかけてへラ削り後裾部横ナデ。	ほぼ完形	床直No.7	黒斑
18	土師器 高坏	口径 13.6 裾径 10.0 器高 9.0	A 黒色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A1: 坏部は半球形状で丸みを帯び、底部に稜を有する。短脚で裾部は「ハ」の字を呈し外反する。	坏底部外面へラ削り後口縁部横ナデ、外面下端に2 ⁵ / ₉ 幅の工具による強いへラナデ、坏底部内面一定方向のへラ磨き、口縁部内面横方向のへラ磨き、脚部外面へラ削り後裾部横ナデ。	9/10	床直No.38	黒斑
19	土師器 鉢	口径 9.2 器高 9.2	A 黒色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	A: 口縁部は内傾後短く直立する。体部は球形。	体部内面へラナデ、体部外面へラナデ後へラ削り、口縁部横ナデ、外面下端に強いナデ。	4/5	床直No.16,17	内面に漆付着 外面剥離が激しい。
20	土師器 鉢	口径 11.0 器高 12.0	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。赤色砂粒(鉄粒)を含む。 焼成良好	淡褐色	A: 口縁部は緩やかに内傾後短く直立する。体部は球形。	体部内面へラナデ、体部外面上半横方向のへラ削り、下半不定方向のへラ削り、口縁部横ナデ、外面下端に強いナデ。	9/10	床直No.35,39,46	輪積痕 付着物 黒斑
21	土師器 小型甕	口径 14.6 底径 6.6 器高 19.3	A 白色細砂粒 透明細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A: 小型。口縁部は「く」の字を呈し、端部はさらに外傾し、外面に稜を有する。胴部は中位に最大径を持つ。平底。	胴部内外面へラナデ、底部外面付近横方向のへラ削り、口縁部横ナデ。	9/10	竈No.1	輪積痕 木葉痕 煤付着 付着物 内面剥離が激しい。
22	土師器 小型甕	口径 (13.6) 底径 (9.0) 器高 18.2	B 白色砂粒 半透明砂粒。2~5 ⁵ / ₉ 大粗粒を含む。 焼成良好	淡褐色	A: 小型。口縁部は短く外湾し、端部外面に稜を有する。胴部中位に最大径を持つ。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラ削り後底部外面付近斜め方向のへラ削り、口縁部横ナデ。	1/2	埋土	剥離が激しい。
23	土師器 小型甕	口径 (15.3) 底径 6.4 器高 14.0	A 白色細砂粒 黒色細砂粒 透明細砂粒。 焼成良好	淡褐色	B: 小型。口縁部は「く」の字を呈し、端部及び頸部外面下端に稜を有する。胴部は上半に最大径を持つ。平底。	胴部内面ナデ後下半に横方向のへラ磨き、胴部外面ナデ後へラ磨き、口縁部横ナデ、頸部外面に強いナデ。	1/3	床直No.30	剥離 摩耗 黒斑
24	土師器 小型甕	口径 (14.2) 器高 (13.5)	A 黒色粗砂粒 黒色砂粒 黒色細砂粒。白色砂粒を含む。 焼成良好	赤褐色	C1: 小型。厚手。口縁部は短く外傾し、胴部は張りが少ない。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラ削り後口縁部横ナデ。	1/3	床直No.15,32	輪積痕 剥離
25	土師器 小型甕	口径 16.1 器高 (15.7)	B 半透明粗砂粒 2~10 ⁵ / ₉ 大粗粒。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は短く外傾し、胴部はすばまる。	胴部内外面へラナデ後口縁部横ナデ。	2/3	床直No.21,41	輪積痕 煤付着 別作り 外面剥離が激しい。歪み有り。
26	土師器 甕	底径 8.2 器高 (30.7)	A 白色細砂粒 白色砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	褐色	A: 薄手。頸部外面下端に稜を有する。胴部は球形。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラナデ後下半へラ削り後一部へラ磨き、底部外面付近横方向のへラ削り、口縁部横ナデ、頸部外面強いナデ。	3/4	床直No.28,37	輪積痕 煤付着 黒斑 別作り 内面剥離、摩耗が激しい。
27	土師器 甕	口径 (19.6) 器高 (10.1)	A 白色細砂粒 半透明砂粒。 焼成良好	淡褐色	A: 口縁部は外傾し、端部外面に稜を有する。胴部は球形。	胴部内面へラナデ、胴部外面ハケメ後一部へラ磨き、口縁部横ナデ後外面縦方向のへラ磨き。	1/3	床直No.18	輪積痕 剥離 黒斑
28	土師器 甕	口径 (16.6) 器高 (8.4)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	乳白色	B: 薄手。口縁部は外湾し、端部外面に稜を有する。	胴部内面へラナデ、胴部外面へラ削り後口縁部横ナデ。	口縁部の1/2~胴部上半一部	床直No.33	黒斑

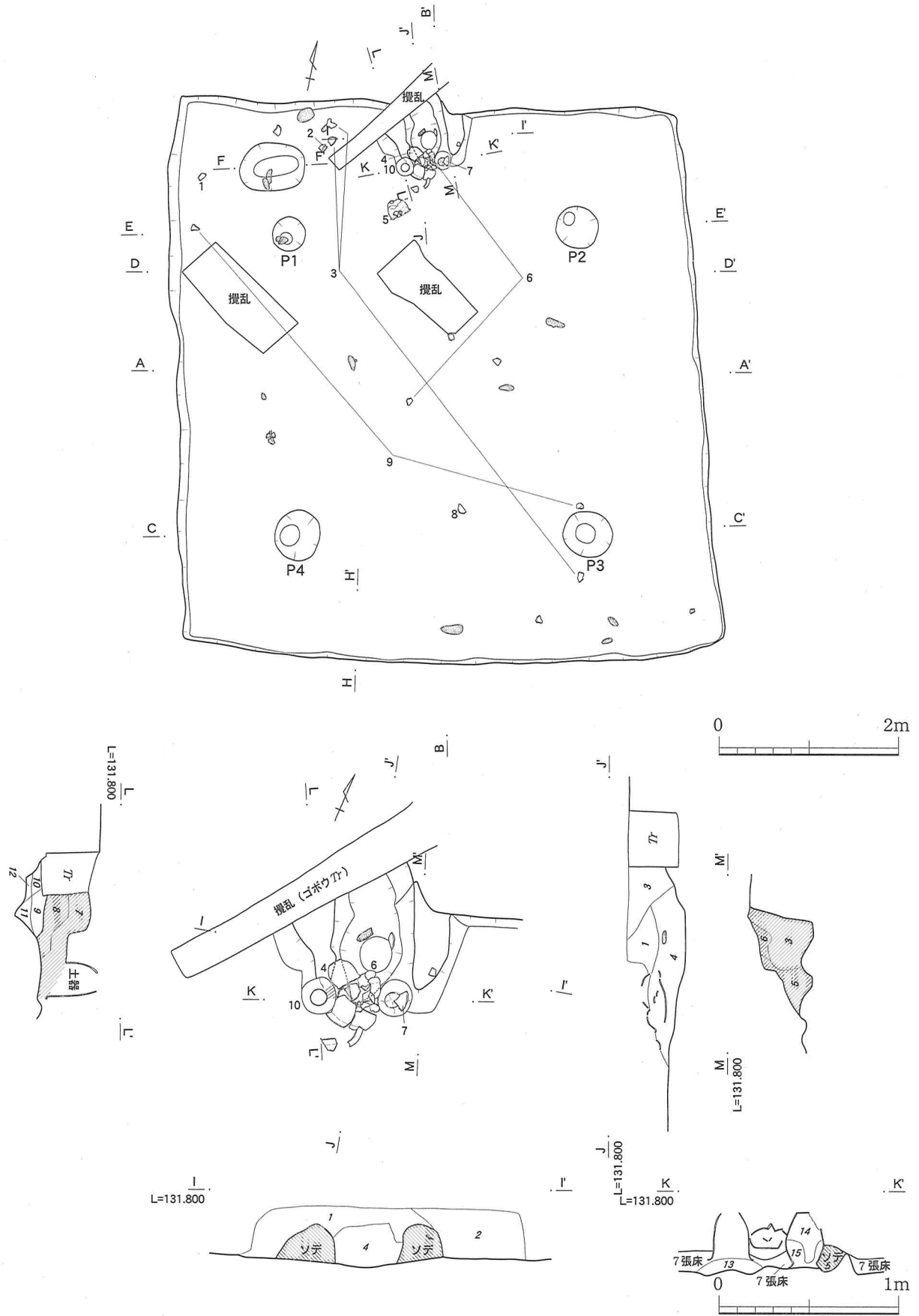
29	土師器 甕	口径 18.4 器高 (18.9)	A 黒色細砂粒 白色砂粒。半透明粗砂粒 赤色粗砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	褐色	C1: 口縁部はやや内傾後外湾する。端部外面に弱い稜を有する。胴部は張りが少ない。	胴部内外面ヘラナデ後口縁部横ナデ。	2/3	床直 No.10,13,18,20,24,25,31	輪積痕 黒斑 粘土付着
30	土師器 甕	口径 (16.4) 器高 (13.7)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒。焼成良好	褐色	C1: 薄手。口縁部はやや直立後外湾する。端部外面に稜を有する。胴部はふくらみを持つ。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラナデ後斜め方向の粗いヘラ磨き, 口縁部横ナデ, 端部内面に横方向のヘラ磨き。	1/5	床直No.9,13	輪積痕 指押さえ 黒斑
31	土師器 甕	口径 23.2 器高 (8.3)	A 黒色砂粒 白色細砂粒。2~3 ^ミ 大粗粒を含む。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は屈曲し, 外傾する。端部外面に稜を有する。胴部はふくらみをもたず, 直線的。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラ削り後口縁部横ナデ。	口縁部~胴部上半一部	埋土	輪積痕 黒斑 粘土付着 剥離が激しい。
32	土師器 甕	口径 17.4 器高 (9.7)	A 黒色砂粒 白色砂粒。焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は緩やかに外傾し, 端部外面に稜を有する。胴部はふくらみをもたず, 直線的。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラ削り後口縁部横ナデ。	1/4	埋土	輪積痕
33	土師器 甕	口径 (19.5) 底径 7.0 器高 35.8	A 黒色粗砂粒 白色砂粒。焼成良好	褐色	D: 口縁部は短く外湾し, 端部は丸みを持つ。長胴。平底。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラ削り後底部外面付近横方向のヘラ削り, 一部ヘラ磨き, 口縁部横ナデ。	1/2	床直No.10	胴部内面下半剥離が激しい。
34	土師器 甕	底径 (5.0) 器高 (21.3)	A 黒色砂粒 白色細砂粒。白色砂粒を含む。焼成良好	褐色	不明: 長胴。底径が小さい平底。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ヘラ削り後一部ヘラ磨き, 底部外面付近横方向のヘラナデ。	底部~胴部下半一部	床直No.45	輪積痕 別作り付着物 煤付着 内外面剥離が激しい。
35	土師器 甕	口径 (17.8) 器高 10.0	A 黒色砂粒 白色砂粒 半透明砂粒。黒色細砂粒を含む。焼成良好	褐色	A2: 口縁部は緩やかに外湾し, 端部外面に稜を有する。胴部は球形。	胴部内面ヘラナデ, 胴部外面ナデ後下半ヘラ削り, 口縁部横ナデ。	4/5	床直No.6	単孔 孔径22 ^ミ 輪積痕 煤付着
36	土師器 甕	口径 17.0 底径 6.6 器高 16.0	A 黒色粗砂粒 赤色粗砂粒 (二次) (鉄粒)。白色粗砂粒を含む。焼成良好	赤褐色	B: 口縁部は外傾し, 端部外面に稜を有する。胴部はすぼまる。	胴部内面ヘラナデ, 口縁部横ナデ後胴部外面ヘラ削り。底部外面から穿孔。	9/10	床直No.23	多孔 (10個) 孔径7 ^ミ 煤付着 剥離 摩耗
37	土師器 甕	口径 (26.4) 器高 (15.6)	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 黒色砂粒。赤色粗砂粒 (鉄粒) を含む。焼成良好	暗褐色	C: 口縁部は外湾し, 端部は丸みを持つ。胴部はすぼまる。	胴部内面平行叩き, 胴部外面ヘラ削り, 口縁部横ナデ後胴部内外面ヘラ磨き。	1/6	床直No.34	輪積痕 煤付着 黒斑
38	須恵器 壺	口径 (10.8) 器高 8.6	A 白色細砂粒 白色砂粒。焼成良好	灰色	口縁部は短く直立し, 胴部は上半に最大径を持つ。丸底。	ロクロナデ, 底部外面回転ヘラ削り。	4/5	床直 No.26,29	ロクロ成形 自然釉付着 輪積痕 剥離
39	須恵器 甕		A 白色細砂粒を含む。焼成良好	青灰色		ロクロナデ, 外面叩き。	破片	埋土	ロクロ成形 自然釉付着
40	須恵器 甕		A 白色細砂粒 白色砂粒。焼成良好	青灰色		胴部外面平行叩き。	破片	埋土	ロクロ成形 自然釉付着

第36表 SI42砥石観察表

No.	器種	寸法 (cm・g)				材質	使用面	残存率	出土位置	備考
		最大長	最大幅	最大厚	重量					
41	砥石	(4.9)	3.2	1.6	(39.5)	泥岩	一面	不明	埋土	あまり使用していない。

SI43

位置 エ3E7杭付近。規模 東西5.8m×南北6.1m。主軸方向 N-10°-W 床面 平坦。壁 壁面はやや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は, 土師器坏3, 甕6, 甕1である。

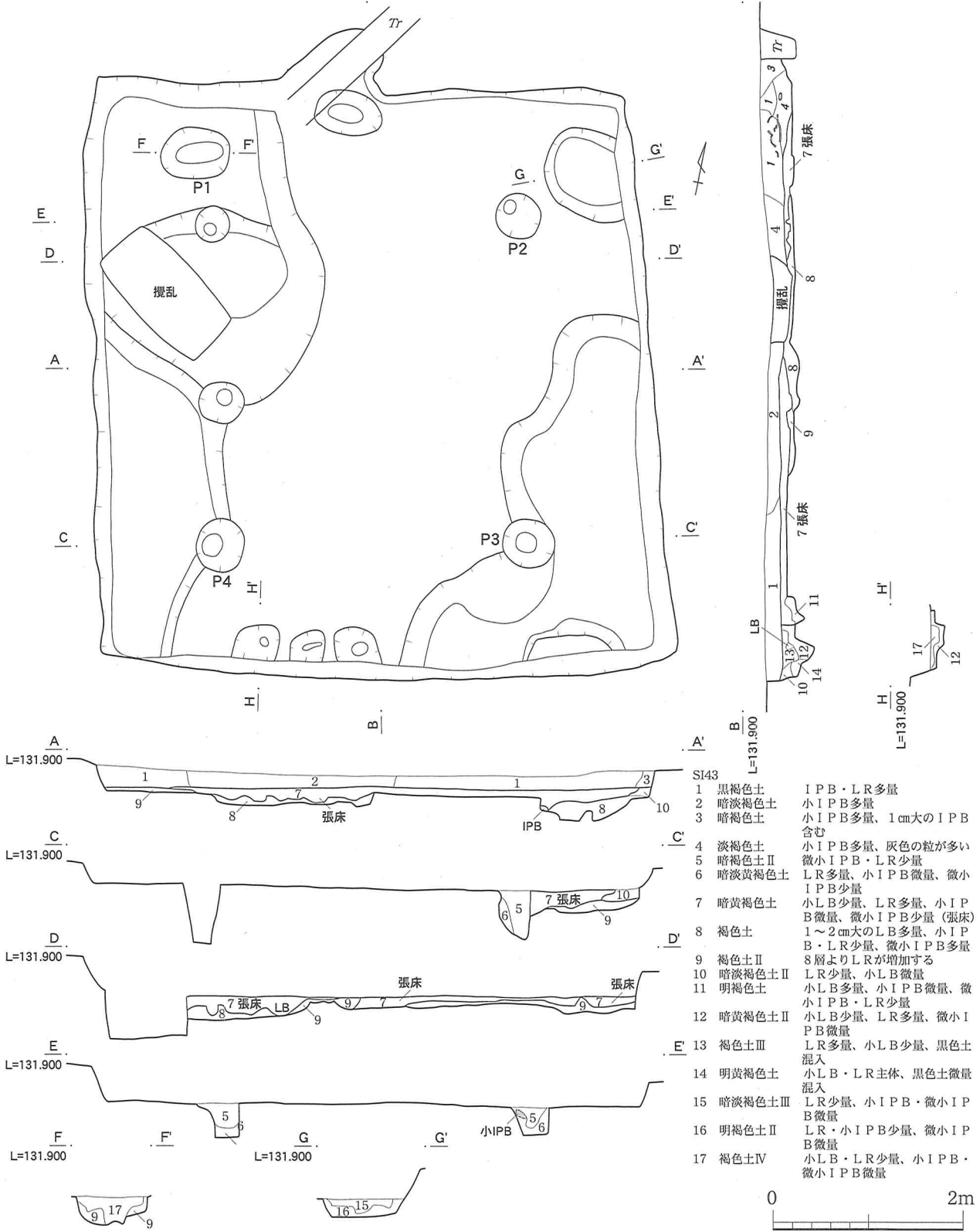


第185図 SI43遺物平・カマド平・断・遺物平面図

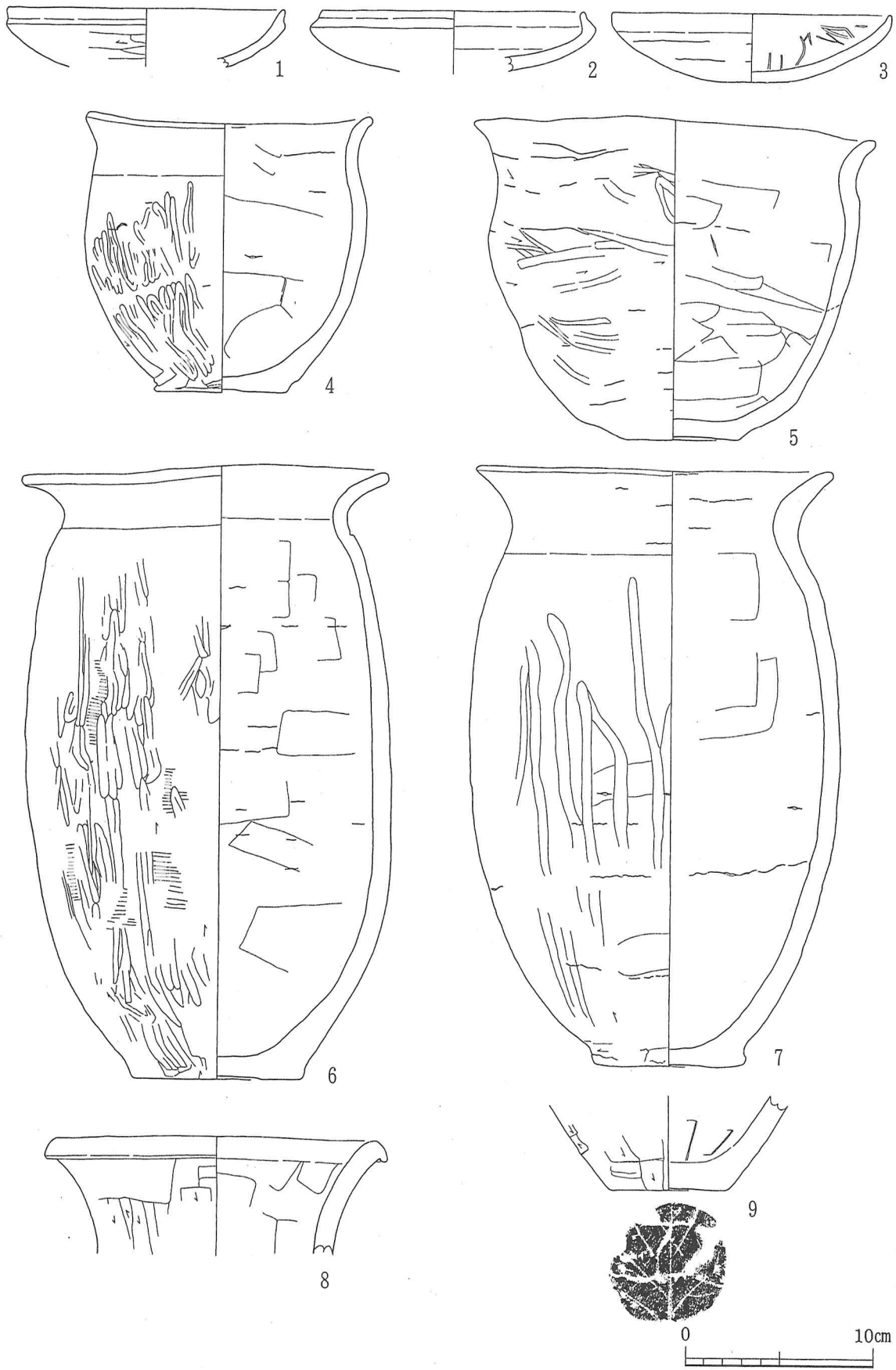
SI43カマド

- 1 明褐色土 LR少量、小IPB微量、粘土Rやや多量、焼粘土少量、CR極微量
- 2 暗褐色土 LR微量、微小IPB少量、小SPB微量
- 3 明灰褐色土 粘土R多量、LR・小IPB微量、2~3cm大の粘土B含む(ソデ)
- 4 褐色土 LR・小焼粘土R少量、小IPB微量、6cm大の暗灰褐色土の粘土含む
- 5 暗灰褐色土 LR・小IPB微量、粘土少量、焼粘土微量(ソデ)
- 6 暗淡灰褐色土 粘土Rやや多量、LR・小IPB微量、CR含む(ソデ)
- 7 淡灰褐色土 1~2cm大の粘土B・焼粘土・灰少量、小IB微量(ソデ)

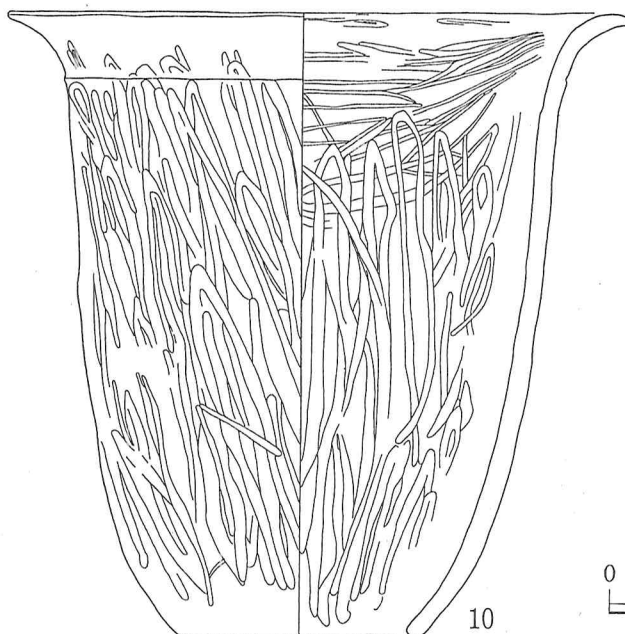
- 8 灰褐色土 粘土B主体、灰少量、小IPB微量(ソデ)
- 9 暗淡褐色土 LR少量、小IPBやや少量、粘土R微量(張床)
- 10 明赤褐色土 微小IPB主体、LR微量
- 11 淡黄褐色土 LRやや多量、小IPB微量(キヌ細かい)
- 12 暗褐色土II LR・小IPB・小LB微量
- 13 淡黄褐色土II LRやや多量、小IPB・小LB少量、小粘土B・焼土R微量
- 14 黒褐色土 LR・微小IPB微量、小粘土Bを含む
- 15 褐色土II LR少量、小IPB・小粘土B・焼粘土B微量



第186図 SI43平・断面図



第187图 SI43出土遺物実測図(1)



第188図 SI43出土遺物実測図(2)

第87表 SI43土器観察表

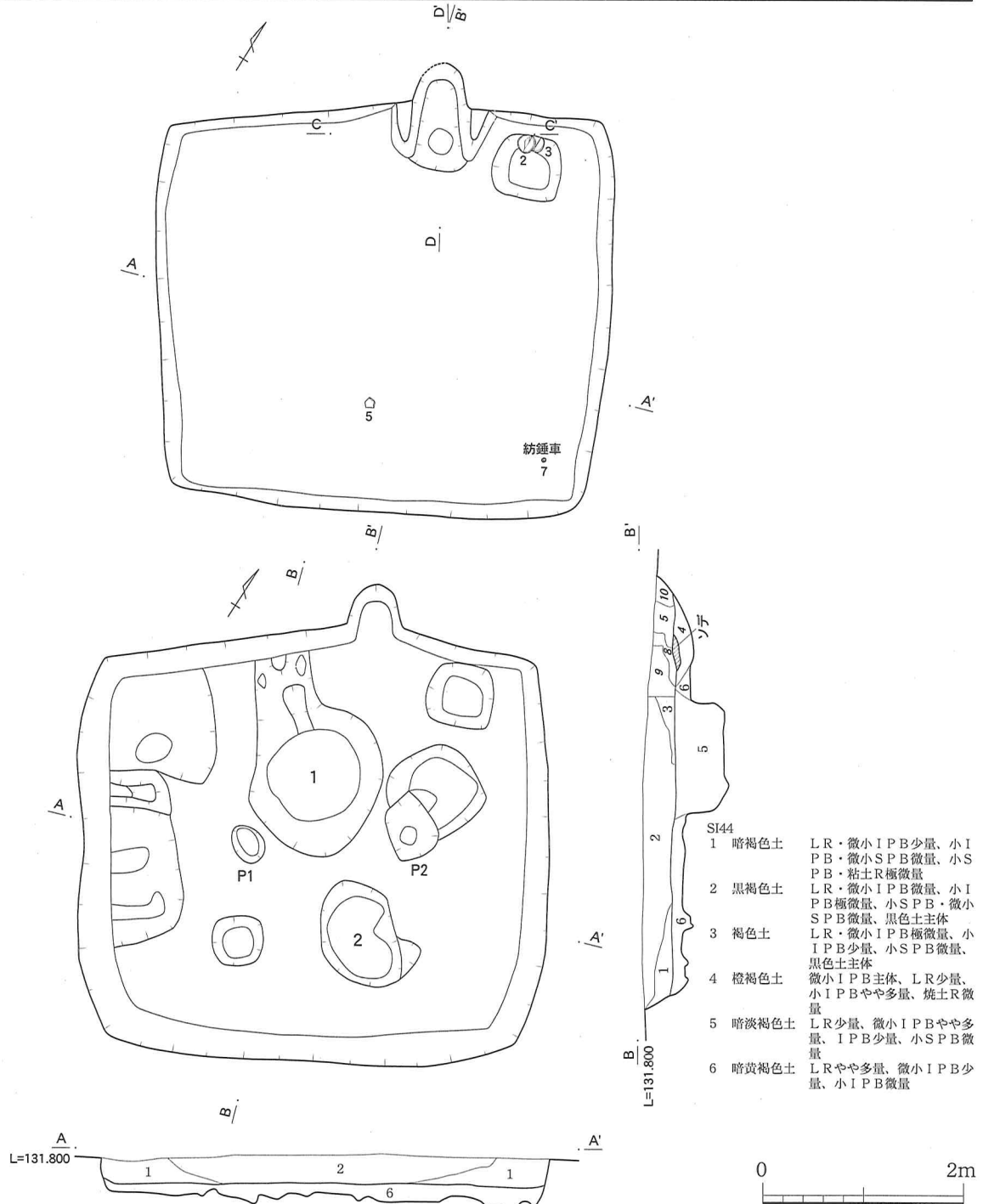
No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (14.4) 器高 (3.1)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C: 口縁部は短く 直立し、体部外面 に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて 横ナデ後体部外面へラ削り。	1/4	床直No.18	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (13.7) 器高 (3.2)	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。 焼成良好	淡褐色	D: 口縁部は内傾 後短く直立する。 体部外面に稜を有 する。丸底。	口縁部から体部内面にかけて 横ナデ、口縁部外面下端に強い ナデ。	3/8	床直No.12	摩耗 剥離 黒 斑
3	土師器 坏	口径 15.0 器高 3.6	A 白色砂粒。半透明 粗砂粒を含む。 焼成良好	褐色	E: 口縁部は短く 直立し、体部外面 に弱い稜を有す る。丸底。	体部内面不定方向のへラ磨 き、体部外面へラ削り、口縁 部横ナデ後内面横方向のへラ 磨き。	7/8	床直 No.2,13,14	輪積痕 黒斑 剥離 摩耗 一 部黒色
4	土師器 小型甕	口径 14.6 底径 6.9 器高 14.7	A 透明細砂粒 半透 明砂粒。白色細砂粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	C1: 小型。口縁 部は緩やかに外湾 し、端部外面に稜 を有する。胴部上 半に最大径を持 つ。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面 へラ削り後へラ磨き。	9/10	竈No.4	輪積痕 煤付 着 附着物 剥 離 摩耗
5	土師器 小型甕	口径 20.5 底径 6.0 器高 17.1	A 白色砂粒。2~6 ^号 大粗粒 半透明砂粒を 含む。 焼成良好	褐色	D: 外湾する口縁 部は最大径を持 つ。胴部は張りが 弱い。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面 上半へラ削り後粗いへラナ デ、下半へラナデ、口縁部横 ナデ。	ほぼ完 形	床直No.9	輪積痕 附着 物 黒斑
6	土師器 甕	口径 18.9 底径 8.8 器高 32.6	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒 白色砂粒。赤 色砂粒 (鉄粒) を含 む。 焼成良好	淡褐色	C1: 口縁部は 「く」の字を呈 し、端部外面、頸 部外面下端に稜を 有する。長胴。平 底。	胴部内面へラナデ、胴部外面 へラ削り後へラナデ、叩き へラ磨き、口縁部横ナデ、頸 部外面に強いナデ。	ほぼ完 形	床直No.6 竈No.2	輪積痕 黒斑 煤附着 別作 り
7	土師器 甕	口径 18.7 底径 8.0 器高 31.7	A 半透明粗砂粒 白 色砂粒。2~4 ^号 大粗 粒を含む。 焼成良好	乳白色	C1: 厚手。口縁 部は外傾する。長 胴。平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面 へラ削り後ナデ、一部へラ磨 き、底部外面付近横方向のへ ラナデ、口縁部横ナデ。	4/5	竈No.8	輪積痕 煤付 着 粘土附着 別作り
8	土師器 甕	口径 (16.8) 器高 (6.3)	A 白色細砂粒 金雲 母。白色砂粒を含 む。 焼成良好	褐色	その他: 口縁部は 外傾し、端部は巻 き込むように仕上 げ、外面に平坦 面、稜を有する。 長頸。	口縁部外面縦方向のへラ削り 後横ナデ。	口縁部 の1/4	床直No.4	
9	土師器 甕	底径 (6.2) 器高 (5.0)	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	不明: 平底。	胴部内面へラナデ、胴部外面 へラ削り後一部へラ磨き。	底部~ 胴部下 半一部	床直No.3,19	輪積痕 木葉 痕 粘土附着
10	土師器 甕	口径 25.3 底径 9.5 器高 25.8	A 白色細砂粒 黒色 細砂粒 透明細砂粒。 白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C: 口縁部は外湾 し、頸部外面下端 に稜を有する。胴 部はすばまる。	口縁部横ナデ、内面横方向の へラ磨き後胴部内面へラ磨 き、口縁部から胴部外面にか けてへラ磨き。	3/4	竈No.7	筒抜け 黒斑

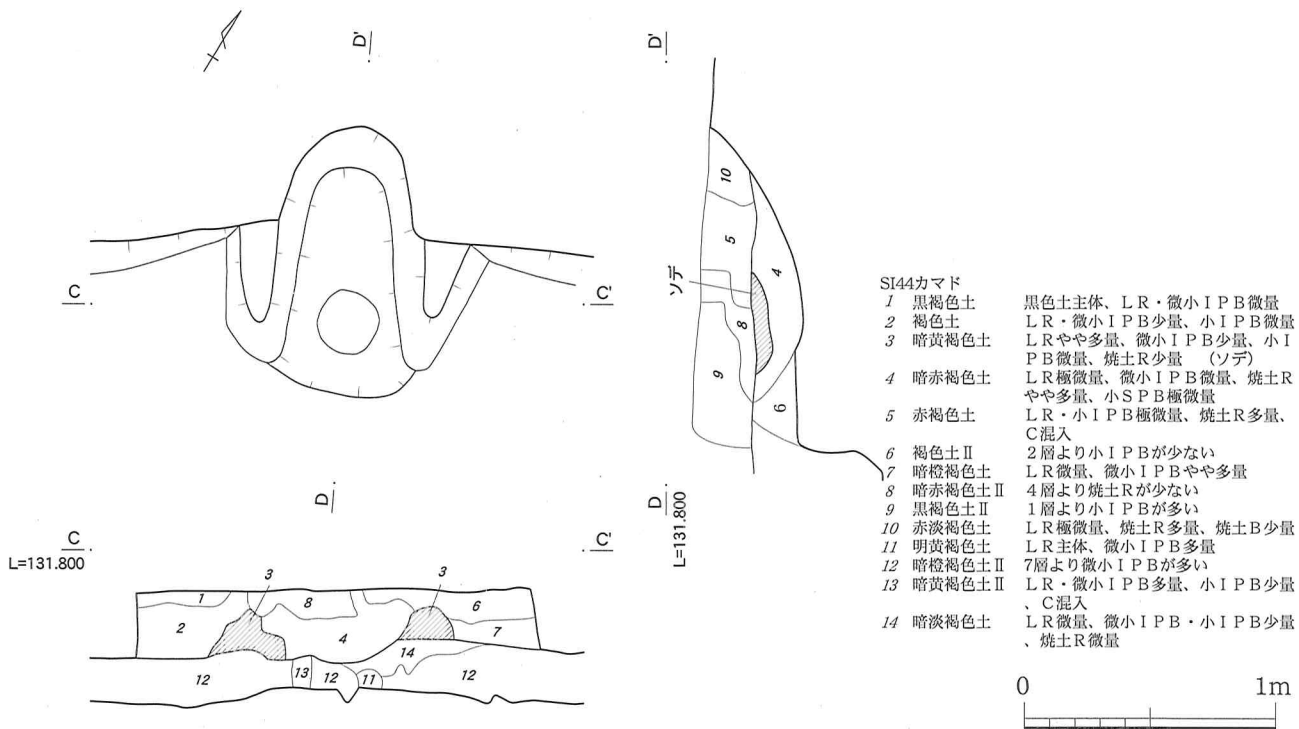
SI44

位置 エ0E5杭付近。規模 東西4.4m×南北4.0m。主軸方向 N-31°-W 床面 やや平坦。壁 ほぼ垂直。床下土坑 2基。柱穴 2カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏4, 須恵器甕破片2, 石製紡錘車1である。

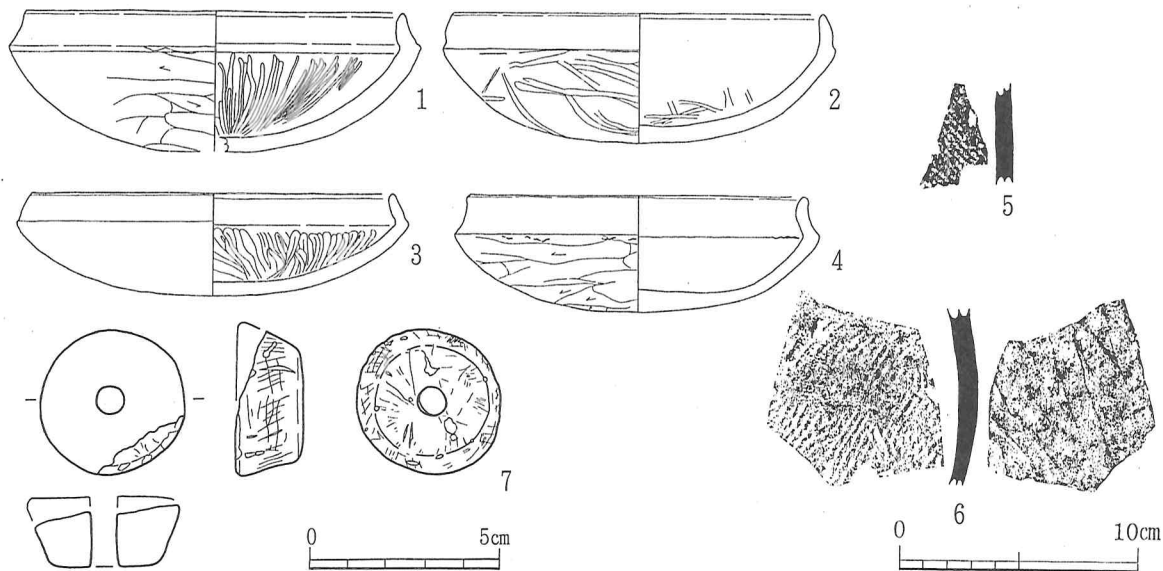
第88表 SI44床下土坑一覧表

No.	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	形	底面	壁	その他
1	1.43	1.23	0.49	不整形	ほぼ平坦	やや開きながら立ち上がる	
2	1.10	0.74	-	楕円形			





第190図 SI44カマド平・断面図



第191図 SI44出土遺物実測図

第89表 SI44土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (15.5) 器高 (5.8)	A 白色砂粒 黒色細砂粒 白色細砂粒。 焼成良好	褐色	D：口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部外面ナデ後ヘラ削り、口縁部横ナデ後体部内面放射状のヘラ磨き。	1/4	竈	一部黒色粘土附着
2	土師器 坏	口径 (15.4) 器高 5.3	A 黒色細砂粒 白色細砂粒 白色砂粒。 焼成良好	橙褐色	D：大ぶり、口縁部は内傾し、端部内面に弱い稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ後ヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、口縁部横ナデ。	4/5	床直No.2	輪痕 剥離 黒斑
3	土師器 坏	口径 14.8 器高 4.2	A 黒色細砂粒 白色細砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	D：口縁部は内傾し、端部内面に稜を有する。体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面一定方向のヘラ磨き、口縁部外面横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	ほぼ完形	床直No.3	漆仕上げ

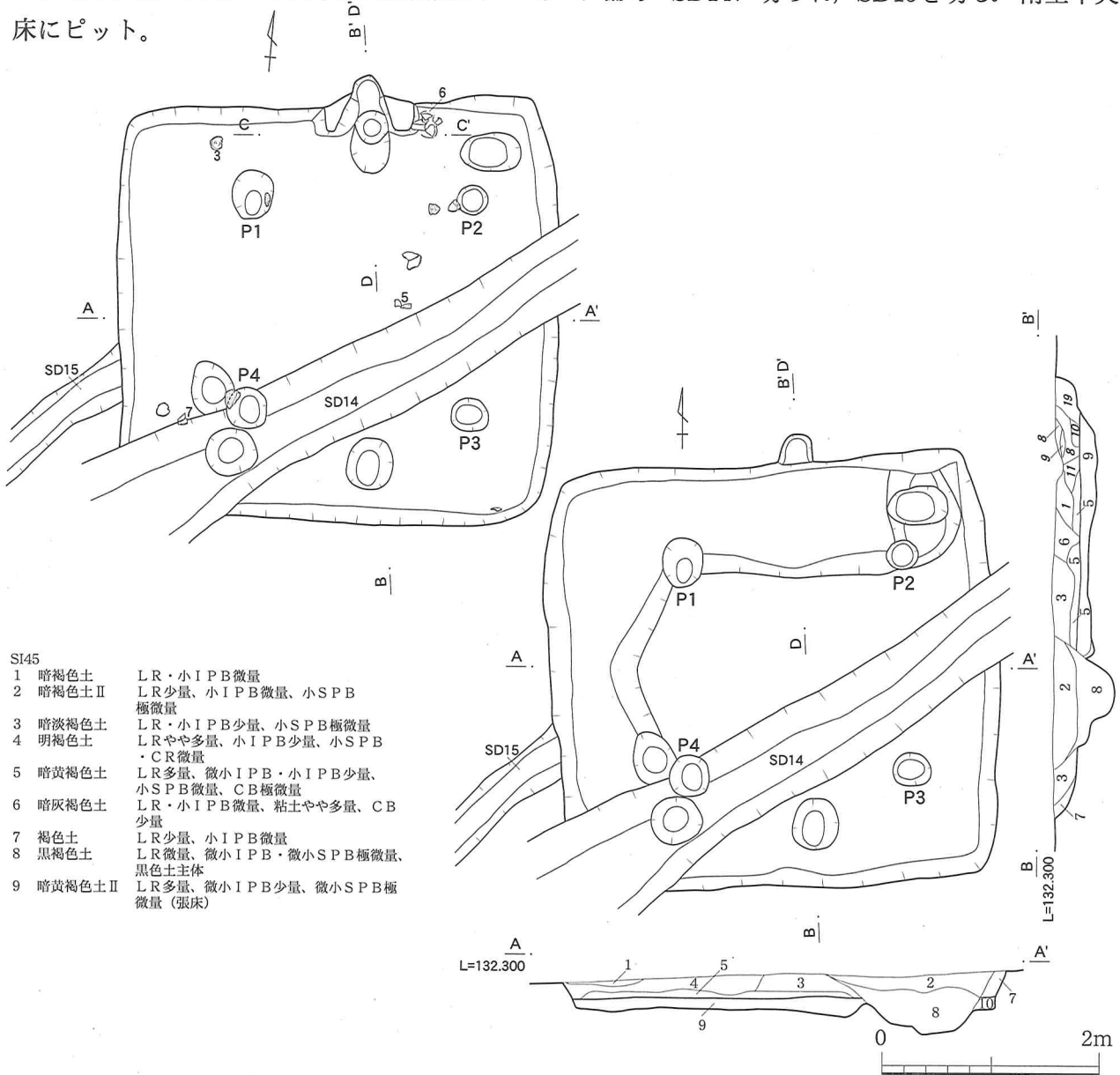
4	土師器 坏	口径 器高	13.8 4.8	A 黒色細砂粒 白色 細砂粒。半透明砂粒 を含む。 焼成良好	淡褐色	D : 口縁部は内 傾し、体部外面に 稜を有する。丸 底。	体部内面ナデ後口縁部から体 部内面にかけて横ナデ、体部 外面へ削り。	3/4	竈	輪積痕 剥離 黒斑
5	須恵器 甕			A 白色細砂粒。白色 砂粒を含む。 焼成良好	暗灰色		胴部内面ナデ、胴部外面平行 叩き後ナデ。	破片	床直No.1	
6	須恵器 甕			A 白色細砂粒。 焼成良好	青灰色		胴部外面平行叩き。	破片	埋土	自然釉付着

第90表 SI44石製紡錘車観察表

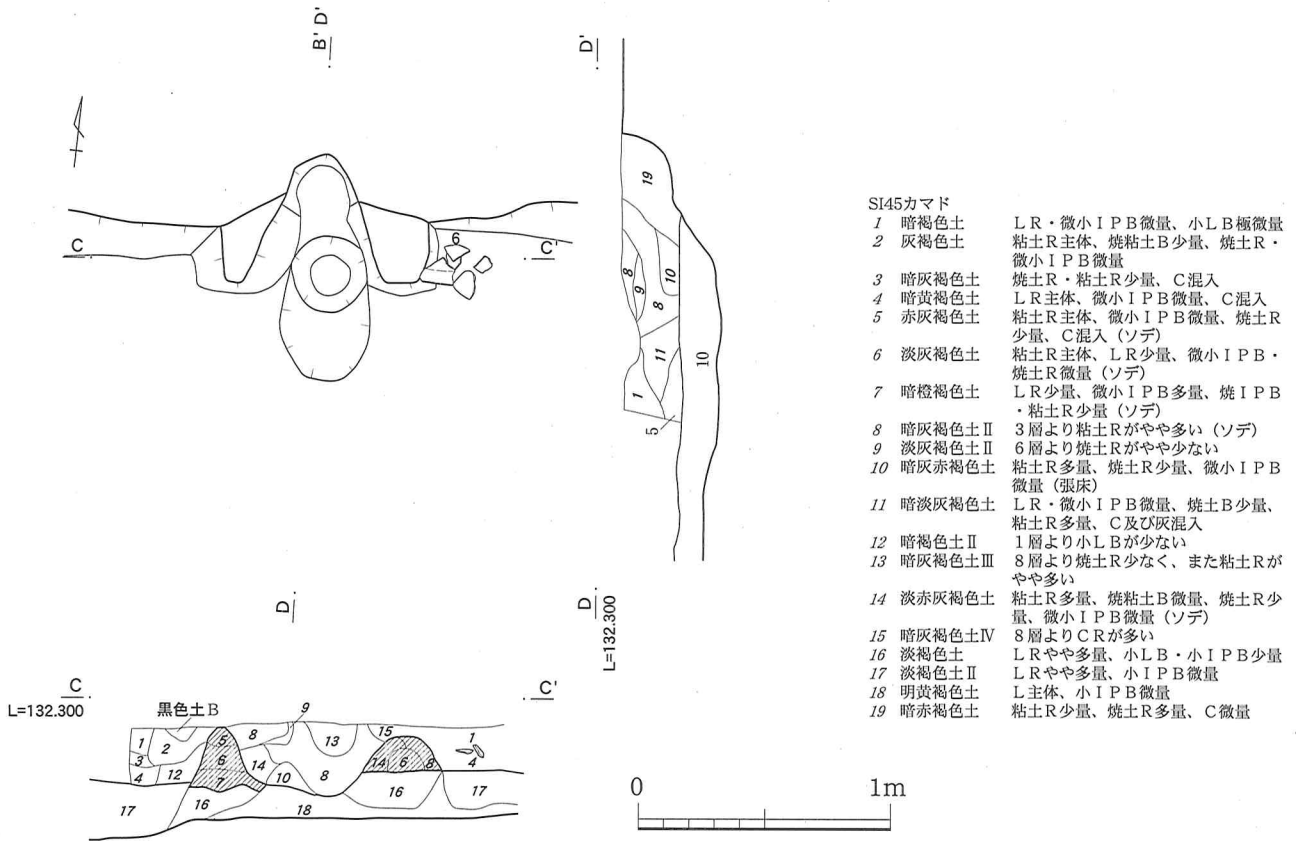
No.	器種	寸法 (cm・g)					重量	特徴	材質	残存率	出土位置
		上径	下径	厚	上孔径	下孔径					
7	石製 紡錘車	3.9	(2.4)	1.4	0.7	0.7	(33.9)	全面擦痕。 截頭円錐形	蛇紋岩	4/5	床直

SI45

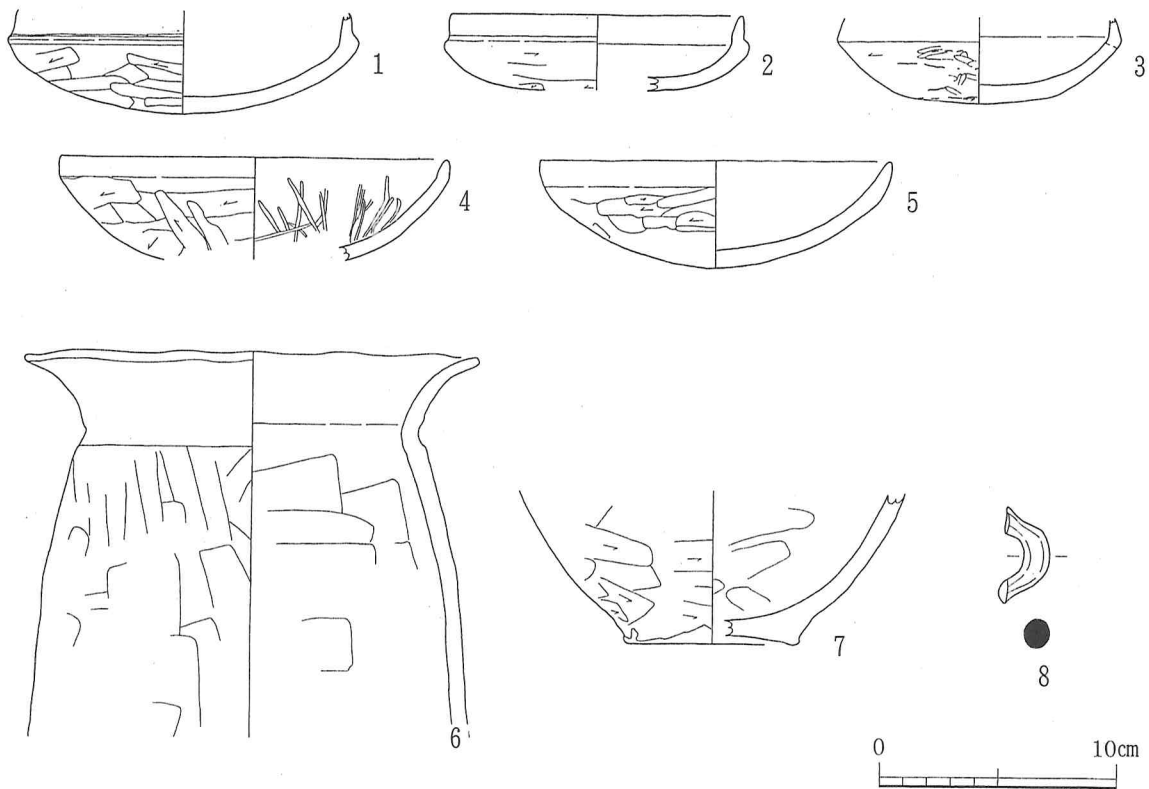
位置 ウ5E8杭付近。規模 東西4.0m×南北3.8m。主軸方向 N-7°-W 床面 ほぼ平坦。壁 壁面は、やや開きながら立ち上がる。床下土坑 無。柱穴 4カ所。貯蔵穴 1カ所。カマド 北壁。遺物 実測可能な遺物は、土師器坏5, 甕2, 須恵器提瓶把手1である。備考 SD14に切られ, SD15を切る。南壁中央床にピット。



第192図 SI45平・断・遺物平面図



第193図 SI45カマド平・断・遺物平面図



第91表 SI45土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)	胎土・焼成	色調	器形の特徴	調整	残存率	出土位置	備考
1	土師器 坏	口径 (13.6) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒を含む。 焼成良好	褐色	C：口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り。口縁部から体部内面にかけて横ナデ後口縁部外面下端に3 ³ / ₄ 幅の工具による強いヘラナデ。	1/3	竈	漆仕上げ
2	土師器 坏	口径 (12.0) 器高 (3.1)	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	C：口縁部は短く直立し、体部外面に稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ、体部外面ナデ後ヘラ削り。	1/6	床下	粘土付着 剥離
3	土師器 坏	口径 (11.2) 器高 (3.6)	A 白色細砂粒 赤色砂粒（鉄粒）。白色砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	D：小ぶり。口縁部は内傾し、体部外面に稜を有する。丸底。	口縁部横ナデ後内面横方向のヘラ磨き、体部内面上半横方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	9/10	床直No.1	輪積痕 漆仕上げ 剥離
4	土師器 坏	口径 (15.9) 器高 (4.2)	A 白色細砂粒 白色砂粒。黒色細砂粒を含む。 焼成良好	暗褐色	E：口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。	口縁部から体部内面にかけて横ナデ後内面一定方向のヘラ磨き、体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。	1/6	床下	漆仕上げ
5	土師器 坏	口径 (14.6) 器高 4.4	A 白色細砂粒。 焼成良好	淡褐色	E：口縁部は短く直立し、体部外面に弱い稜を有する。丸底。	体部内面ナデ、口縁部から体部内面にかけて横ナデ後体部外面ヘラ削り。	1/3	床直No.4	漆付着 黒斑
6	土師器 甕	口径 (18.4) 器高 (16.0)	A 白色細砂粒 白色砂粒を含む。 焼成良好	淡褐色	C1：薄手。口縁部は「く」の字を呈し、端部はさらに外傾する。頸部外面下端に稜を有する。長胴。	胴部内外面ヘラナデ、口縁部横ナデ後外面下端に8 ³ / ₄ 幅のナデ。	1/6	竈No.1	煤付着 付着物 剥離
7	土師器 甕	底径 (7.0) 器高 (6.3)	A 白色細砂粒 白色砂粒。半透明砂粒を含む。 焼成良好	内:乳白色 外:淡褐色	不明：平底。	胴部内面ヘラナデ、底部外面付近横方向のヘラ削り。	底部の1/2～胴部下半一部	床直No.5	黒斑
8	須恵器 提瓶		A 白色細砂粒。 焼成良好	青灰色		ナデ。	把手	埋土	自然釉付着